

MITSUBISHI

三菱電機 設備用・産業用パッケージエアコン 2004年度版 スプリット形 PF(H)K,PFTK,PFK-F新冷媒シリーズ

設計・工事マニュアル

R407C対応

2004 三菱電機 設備用・産業用パッケージエアコン 設計・工事マニュアル

三菱電機株式会社 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66 冷熱システム製作所 (073)436-9807
お問い合わせは下記へどうぞ

冷熱電住事業部北海道統括営業部/(株)三菱電機ライフファシリティーズ北海道社	〒004-8610	札幌市厚別区大谷地東2-1-11	(011) 893-1342
冷熱電住事業部東北統括営業部/(株)三菱電機ライフファシリティーズ東北社	〒983-0035	仙台市宮城野区日の出町2-2-33	(022) 231-2785
電材住設事業部東京統括営業部/(株)三菱電機ライフファシリティーズ東京社	〒110-0015	東京都台東区東上野4-10-3 (浅野ビル)	(03) 3847-4119
冷熱システム事業部首都圏冷熱営業部	〒108-0074	東京都港区高輪3-26-33 (秀和品川ビル)	(03) 5798-2161
開越グループ	〒331-0812	さいたま市北区宮原町3-46-1	(048) 662-3882
新潟地区	〒950-2023	新潟市新字大通3699-1 (菱電社ビル)	(025) 260-5405
神奈川グループ	〒231-0032	横浜市中区不老町3-12-5 (下山関内ビル)	(045) 222-7721
冷熱電住事業部中部北陸統括営業部/(株)三菱電機ライフファシリティーズ中部社	〒461-0041	名古屋市中区山田東町2-65	(052) 725-2045
北陸営業本部	〒920-0811	金沢市小坂町西81	(076) 252-9935
電材住設事業部関西統括営業部/(株)三菱電機ライフファシリティーズ関西社	〒564-0063	吹田市江坂町2-7-8	(06) 6338-7881
冷熱システム事業部関西冷熱営業部	〒530-0005	大阪市北区中之島2-3-18 (新朝日ビル)	(06) 6221-5702
京滋事業所	〒612-0029	京都市伏見区深草西浦町8-142 (アイジーシービル)	(075) 646-0123
兵庫事業所	〒651-0093	神戸市中央区二宮町1-2-3 (益田ビル)	(078) 222-3843
冷熱電住事業部中四国統括営業部/(株)三菱電機ライフファシリティーズ中四国社	〒733-0833	広島市西区商工センター6-2-17	(082) 278-7001
四国営業本部	〒761-1705	香川県香川郡香川町大字川東下717-1 (新空港通り)	(087) 879-1066
冷熱電住事業部九州統括営業部/(株)三菱電機ライフファシリティーズ九州社	〒816-0088	福岡市博多区板付4-6-35	(092) 571-7014
(株)三菱電機ライフネットワーク本社	〒141-0022	東京都品川区東五反田1-22-1 (五反田ANビル)	(03) 3448-6828
北海道本部	〒004-8610	札幌市厚別区大谷地東2-1-11	(011) 893-1371
東北本部	〒983-0035	仙台市宮城野区日の出町2-2-33	(022) 231-2672
開越本部	〒331-0811	さいたま市北区吉野町2-275 (テネメント・ニッカン3F)	(048) 651-3216
首都圏本部	〒141-0022	東京都品川区東五反田1-22-1 (五反田ANビル)	(03) 3448-6828
東京中央本部	〒110-0005	東京都台東区上野3-2-4	(03) 5818-2547
中部本部	〒461-0005	名古屋市東区東桜1-4-3 (大信ビル2F)	(052) 972-7216
関西本部	〒556-0006	大阪市浪速区日本橋東3-10-6	(06) 6633-6010
西日本本部	〒733-0833	広島市西区商工センター6-2-17	(082) 278-1327
九州本部	〒816-0088	福岡市博多区板付4-6-35	(092) 571-4992
沖繩三菱電機販売(株)	〒901-2223	沖縄県宜野湾市字大山7-12-1	(098) 898-1111
冷熱システム製作所	〒640-8686	和歌山市手平6-5-66	(073) 436-9807
長崎工場	〒851-2102	長崎県西彼杵郡時津町浜田郷517-7	(095) 881-1141
静岡製作所	〒422-8528	静岡市 小島3-18-1	(054) 287-3050
中津川製作所	〒508-8666	岐阜県中津川市駒場町1-3	(0573) 66-8220

室内ユニット 標準仕様

- PFAK-P140AW(M)-A
- PFAK-P224AW(M)-A
- PFAK-P280AW(M)-A
- PFAK-P450AW(M)-A
- PFAK-P560AW(M)-A
- PFAK-P630AW(M)-A
- PFAK-P800AW(M)-A
- PFAK-P1120AW(M)-A-L,R
- PFAK-P1400AW(M)-A-L,R

中温仕様

- PFTK-P125AW(M)-A
- PFTK-P200AW(M)-A
- PFTK-P250AW(M)-A
- PFTK-P400AW(M)-A
- PFTK-P500AW(M)-A
- PFTK-P600AW(M)-A
- PFTK-P750AW(M)-A
- PFTK-P1000AW(M)-A-L,R
- PFTK-P1250AW(M)-A-L,R

オールフレッシュ仕様

- PFAK-P167AW(M)-A-F
- PFAK-P265AW(M)-A-F
- PFAK-P335AW(M)-A-F
- PFAK-P530AW(M)-A-F
- PFAK-P670AW(M)-A-F

室外ユニット

- PU(H)K-P140AW-A
- PU(H)K-P224(U)AW-A
- PU(H)K-P280(U)AW-A



設計サポートStation
三菱電機 冷熱・換気・照明設備機器の情報サービスホームページ
<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/sss/>

三菱電機冷熱相談センター
0037-80-2224(フリーダイヤル)/073-427-2224(携帯電話対応)
FAX(365日・24時間受付)
0037-80-2229(フリーダイヤル)/073-428-2229(通常FAX)

三菱電機株式会社

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。

⚠ 注意 誤った取扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しく下さい。
- お使いになる方は、いつでも見られる所に大切に保管し、移設・修理の時は、工事をされる方にお渡しください。

また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

⚠ 警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼してください。

- ご自分で据付け工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

据付工事は、この据付説明書に従って確実に行ってください。

- 据付けに不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

据付けは、質量に十分耐える所に確実に行ってください。

- 強度が不足している場合は、ユニット落下により、けがの原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施行し、必ず専用回路を使用してください。

- 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。

- 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

室外ユニットの端子カバー(パネル)を確実に取付けてください。

- 端子カバー(パネル)の取付けに不備があると、ほこり・水等により、火災・感電の原因になります。

台風等の強風、地震に備え、所定の据付工事を行ってください。

- 据付工事に不備があると、転倒等による事故の原因になります。

据付けや移設の場合は、冷凍サイクル内に指定冷媒(R407C)以外のものを混入させないでください。

- 空気等を混入すると、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂等の原因になります。

空気清浄機、加湿器、暖房用電気ヒーター等の別売品は必ず当社指定の製品を使用してください。

- また、取付けは専門の業者に依頼してください。ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

小部屋へ据付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。

- 限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付けてください。万一冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。

改修は絶対にしないでください。また、修理は、お買上げの販売店にご相談ください。

- 修理に不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。

エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。

- 据付けに不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。

熱交換器のフィン表面を素手で触れないように注意してください。

- 取扱いに不備があると、切傷の原因になります。

設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。

- 冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

作業中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気してください。

- 冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

保護装置の改造や設定変更をしないでください。

- 圧力開閉器や温度開閉器等の保護装置を短絡して強制的運転を行ったり、当社指定品以外のものを使用すると火災や爆発の原因となります。

冷媒R407C使用機器としての注意点

⚠️ 注意

既設の冷媒配管を流用しないでください。

- 既設の配管内部には、従来の冷凍機油や冷媒中の塩素が大量に含まれ、これらの物質が新しい機器の冷凍機油劣化等の原因になります。

逆流防止器付真空ポンプを使用してください。

- 冷媒回路内に真空ポンプ油が逆流し、機器の冷凍器油劣化等の原因になります。

冷媒配管はJIS H3300「銅及び銅合金継目無管」のC1220のリン脱酸銅を使用してください。また、管の内外面は美麗であり、使用上有害なイオウ、酸化物、ゴミ、切粉、油脂、水分等（コンタミネーション）の付着がないことを確認してください。

- 冷媒配管の内部にコンタミネーションの付着があると、冷凍機油劣化等の原因になります。

従来の冷媒に使用している下記に示す工具類は使用しないでください。

（ゲージマニホールド・チャージホース・ガス漏れ検知器・逆流防止器・冷媒チャージ用口金・真空度計・冷媒回収装置）

- 従来の冷媒・冷凍機油が混入しますと、冷凍機油劣化の原因になります。
- 水分が混入しますと、冷凍機油劣化の原因になります。
- 冷媒中に塩素を含まないため、従来の冷媒用ガス漏れ検知器では反応しません。

据付けに使用する配管は屋内に保管し、両端ともロウ付けする直前までシールしておいてください。（エルボ等の継手はビニール袋等に包んだ状態で保管）

- 冷媒回路内にほこり、ゴミ、水分が混入しますと、油の劣化・圧縮機故障の原因となります。

チャージングシリンダーを使用しないでください。

- チャージングシリンダーを使用すると冷媒の組成が変化し、能力不足等の原因になります。

フレア・フランジ接続部に塗布する冷凍機油は、エステル油又はエーテル油又はアルキルベンゼン（少量）を使用してください。

- 鉱油が多量に混入すると、冷凍機油劣化の原因となります。

工具類の管理は従来以上に注意してください。

- 冷媒回路内にほこり、ゴミ、水分等が混入しますと、冷凍機油劣化の原因になります。

液冷媒にて封入してください。

- ガス冷媒で封入するとポンペ内冷媒の組成が変化し、能力不足等の原因になります。

R407C以外の冷媒は使用しないでください。

- R407C以外（R22等）を使用すると、塩素により冷凍機油劣化等の原因になります。

据付けをする前に

⚠注意

可燃性ガスの漏れるおそれがある場所への設置は行わないでください。

- 万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因になります。

食品・動植物・精密機器・美術品の保存等特殊用途には使用しないでください。

- 食品の品質低下等の原因になります。

特殊環境には、使用しないでください。

- 油・蒸気の多いところや、酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等を頻繁に使用するところで使用しますと、性能を著しく低下させたり、感電、故障、発煙、発火等の原因になります。
- 有機溶剤、腐食ガス（アンモニア、硫黄化合物、酸等）の雰囲気では、ガス漏れ、水漏れの原因になります。

病院、通信事業所などに据付される場合は、ノイズに対する備えを十分に行って施工してください。

- インバーター機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤動作や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になります。

濡れて困るものの上にユニットを据付けしないでください。

- 湿度が80%を超える場合やドレン出口が詰まっている場合は、室内ユニットからも露が落ちる場合もあります。また、室外ユニットからもドレンが垂れますので必要に応じ室外ユニットも集中排水工事をしてください。

据付け(移設)・電気工事をする前に

⚠注意

アース工事を行ってください。

- アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電、発煙、発火、およびノイズによる誤操作の原因になります。

電源配線は、張力がかからないように配線工事をしてください。

- 断線したり、発熱・火災の原因になります。

電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。

- 漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になります。

電源配線は、電流容量、規格品の配線にて工事をしてください。

- 漏電や発熱・火災の原因になります。

正しい容量のブレーカーやヒューズ以外は使用しないでください。

- 大きな容量のヒューズや針金・銅線を使用すると故障や火災の原因になります。

エアコンを水洗いしないでください。

- 感電の原因になります。

長期使用で据付台等が傷んでないか注意してください。

- 傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、けが等の原因になります。

ドレン配管は、据付説明書に従って確実に排水するよう配管し、結露が生じないように保温してください。

- 配管工事に不備があると、水漏れし、家財等を濡らす原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に

⚠注意

製品の運搬には、十分注意してください。

- 20kg以上の製品の運搬は、1人でしないでください。
- 製品によってはPPバンドによる梱包を行っていますが、危険ですので運搬の手段に使用しないでください。
- 熱交換器のフィン表面で切傷する場合がありますので、素手で触れないように注意してください。
- 室外ユニットの搬入を行う場合は、ユニットベースの指定位置にて吊り下げてください。また、適宜、室外ユニットが横ずれしないよう固定し、確実に4点支持で実施してください。3点支持等で運搬・吊下げしますと不安定となり、落下の原因になります。

梱包材の処理は確実に行ってください。

- 梱包材には「クギ」等の金属あるいは、木片等を使用していますので放置状態にしますと「さし傷」などの原因になります。
- 包装用のポリフクロで子供が遊ばないように、破いてから廃棄してください。窒息事故等の原因になります。

試運転をする前に

⚠注意

運転を開始する12時間以上前に電源を入れてください。

- 故障の原因になります。シーズン中は電源を切らないでください。

運転停止後、すぐに電源を切らないでください。

- 必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因になります。

濡れた手でスイッチを操作しないでください。

- 感電の原因になります。

運転中及び運転停止直後の冷媒配管に素手で触れないでください。

- 運転中、停止直後の冷媒配管や圧縮機などの冷媒回路部品は流れる冷媒の状態により、低温と高温になります。素手で触れると凍傷や火傷になるおそれがあります。

パネルやガードを外したまま運転しないでください。

- 機器の回転物、高温部、高電圧に触れると巻込まれたり、火傷や感電によりケガの原因になります。

目次

安全のために必ず守ること

・ 機器概要

1. 機器構成表1
2. 運転可能温度範囲2
3. 注意事項2

・ 冷媒配管設計

1. 冷媒配管の選定3

・ 配線設計

1. 配線設計にあたって4
2. 機外配線図4
3. 主電源の配線太さおよび開閉器容量 5
 - (1) 室外ユニット
 - (2) 室内ユニット
4. 制御配線の種類と許容長さ7
5. システム接続例9
6. システム制御17
 - (1) 室内ユニットのシステム制御
 - (2) 室外ユニットのシステム制御
7. 外部接続回路19
 - (1) 外部接続回路パターン
 - (2) 応用配線要領と入力端子

・ 据付スペース

1. 据付場所の選定23
 - (1) 室外ユニット
2. 据付スペース23
 - (1) 室外ユニット
 - 単独設置の場合
 - 集中設置・連続設置の場合
 - (2) 室内ユニット

・ 製品仕様

1. 仕様表28
2. 外形寸法図33
 - (1) 室外ユニット
 - (2) リモコン
 - (3) 室内ユニット
3. 電気配線図47
 - (1) 室外ユニット
 - (2) 室内ユニット

・ 製品データ

1. 冷房・暖房能力特性69
 - (1) 冷房・暖房能力の求め方
 - (2) 能力・入力補正
 - (3) 冷媒配管長による冷房能力補正係数
 - (4) 冷媒配管長による暖房能力補正係数
 - (5) 霜取補正
 - (6) 風量変化による能力・入力補正係数
 - (7) バイパスファクター線図

2. 取付可能部品表97
3. 騒音データ128
4. 送風機性能線図140
5. 耐震強度計算書145
6. 振動レベル値166
7. 別売部品167

(1) 別売部品外形図

PFAK-P224,280AW(M)-A

PFAK-P450,560AW(M)-A

(2) 別売部品組込電気配線図

(3) 別売性能線図

・ 据付工事

1. 室外ユニットの据付け187
 - (1) 製品吊下げ方法
 - (2) 据付け
 - (3) アンカーボルト位置
 - (4) 下配管・下配線時の注意
 - (5) 冷媒配管取出し方向
2. 雪・季節風に対する注意191
 - (1) 寒冷地域・積雪地域での防風・防雪対策
 - (2) 季節風対策
 - (3) 雪に対する注意
3. 室内ユニットの据付け193
4. 冷媒配管工事196
 - (1) 注意事項
 - (2) 冷媒追加充てん量の算出方法
 - (3) 配管接続・バルブ操作のご注意
 - (4) 気密試験・真空引き・冷媒充てん
 - (5) 冷媒配管の断熱
5. ドレン配管工事(室内ユニット) 209
6. 電気工事210
 - (1) 制御箱及び配線接続位置
 - (2) リモコン・室外伝送線の接続
 - (3) アドレス設定
 - (4) ディップスイッチによる機能選択
 - (5) リモコン内蔵センサーによる室温検知
 - (6) 外部接続回路の配線
7. 試運転236
 - (1) 試運転時のチェックポイント
 - (2) 試運転操作
 - (3) 試運転不具合時の対応
 - (4) 次の現象は故障(異常)ではありません。
8. 関連資料243
 - (1) 施工・システムセットのチェックポイント
 - (2) 室内ユニットの分割搬入
 - (3) ファン用ベアリング一覧表
 - (4) 重心位置
 - (5) 内部構造図
 - (6) 別売部品組込み配置図
 - (7) 電磁接触器余剰接点数
 - (8) プーリーボス部形状
 - (9) 恒温恒湿回路例

機器概要

1. 機器構成表

標準

容量	5馬力	8馬力	10馬力	16馬力	20馬力	
セット形名	PF(H)K-P140AW(M)-A	PF(H)K-P224AW(M)(U)-A	PF(H)K-P280AW(M)(U)-A	PF(H)K-P450AW(M)(U)-A	PF(H)K-P560AW(M)(U)-A	
室内ユニット形名	PFAK-P140AW(M)-A	PFAK-P224AW(M)-A	PFAK-P280AW(M)-A	PFAK-P450AW(M)-A	PFAK-P560AW(M)-A	
室外ユニット	容量	5馬力	8馬力	10馬力	8馬力	10馬力
	形名	PU(H)K-P140AW-A	PU(H)K-P224(U)AW-A	PU(H)K-P280(U)AW-A	PU(H)K-P224(U)AW-A	PU(H)K-P280(U)AW-A
	接続台数	1台	1台	1台	2台	2台

容量	24馬力	30馬力	40馬力	50馬力	
セット形名	PF(H)K-P630AW(M)(U)-A	PF(H)K-P800AW(M)(U)-A	PF(H)K-P1120AW(M)(U)-A-L,R	PF(H)K-P1400AW(M)(U)-A-L,R	
室内ユニット形名	PFAK-P630AW(M)-A	PFAK-P800AW(M)-A	PFAK-P1120AW(M)-A-L,R	PFAK-P1400AW(M)-A-L,R	
室外ユニット	容量	8馬力	10馬力	10馬力	10馬力
	形名	PU(H)K-P224(U)AW-A	PU(H)K-P280(U)AW-A	PU(H)K-P280(U)AW-A	PU(H)K-P280(U)AW-A
	接続台数	3台	3台	4台	5台

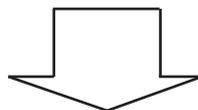
中温

容量	5馬力	8馬力	10馬力	16馬力	20馬力	
セット形名	PFTK-P125AW(M)-A	PFTK-P200AW(M)(U)-A	PFTK-P250AW(M)(U)-A	PFTK-P400AW(M)(U)-A	PFTK-P500AW(M)(U)-A	
室内ユニット形名	PFTK-P125AW(M)-A	PFTK-P200AW(M)-A	PFTK-P250AW(M)-A	PFTK-P400AW(M)-A	PFTK-P500AW(M)-A	
室外ユニット	容量	5馬力	8馬力	10馬力	8馬力	10馬力
	形名	PUK-P140AW-A	PUK-P224(U)AW-A	PUK-P280(U)AW-A	PUK-P224(U)AW-A	PUK-P280(U)AW-A
	接続台数	1台	1台	1台	2台	2台

容量	24馬力	30馬力	40馬力	50馬力	
セット形名	PFTK-P600AW(M)(U)-A	PFTK-P750AW(M)(U)-A	PFTK-P1000AW(M)(U)-A-L,R	PFTK-P1250AW(M)(U)-A-L,R	
室内ユニット形名	PFTK-P600AW(M)-A	PFTK-P750AW(M)-A	PFTK-P1000AW(M)-A-L,R	PFTK-P1250AW(M)-A-L,R	
室外ユニット	容量	8馬力	10馬力	10馬力	10馬力
	形名	PUK-P224(U)AW-A	PUK-P280(U)AW-A	PUK-P280(U)AW-A	PUK-P280(U)AW-A
	接続台数	3台	3台	4台	5台

オールフレッシュ

容量	5馬力	8馬力	10馬力	16馬力	20馬力	
セット形名	PFK-P167AW(M)-A-F	PFK-P265AW(M)(U)-A-F	PFK-P335AW(M)(U)-A-F	PFK-P530AW(M)(U)-A-F	PFK-P670AW(M)(U)-A-F	
室内ユニット形名	PFAK-P167AW(M)-A-F	PFAK-P265AW(M)-A-F	PFAK-P335AW(M)-A-F	PFAK-P530AW(M)-A-F	PFAK-P670AW(M)-A-F	
室外ユニット	容量	5馬力	8馬力	10馬力	8馬力	10馬力
	形名	PUK-P140AW-A	PUK-P224(U)AW-A	PUK-P280(U)AW-A	PUK-P224(U)AW-A	PUK-P280(U)AW-A
	接続台数	1台	1台	1台	2台	2台



リモコン	ワイヤードリモコン(PAR - 20MA) ¹ ² ・ワイヤレスリモコン(PAR - FL39M/FA31M) ³
------	--

- 1.ワイヤードリモコンは本体内蔵です。
- 2.室内ユニットがAWM形の場合、別売のM-NET集中管理リモコン・M-NETリモコンの接続が可能です。(現地工事)
- 3.ワイヤレスリモコンは別売部品です。
受光アダプター(PAR-FA31M)は、室内ユニット以外の受信可能な場所に設置してください。(P217参照ください)

2. 運転可能温度範囲

	標準冷房時	標準暖房時	中 温	オールフレッシュ
室内吸込空気温度	湿球温度 15～24	乾球温度 15～28	湿球温度 10～22.5	湿球温度 15～30
室外吸込空気温度	乾球温度 -5～43	湿球温度 -15～15.5	乾球温度 -15～43	乾球温度 20～43

注1. 室内ユニット周囲空気が、露点温度23 以上で長時間運転されますと、室内ユニットの結露水が垂れて水漏れに至るおそれがあります。

3. 注意事項

・ノイズの影響について

注意事項	対応方法
<p>空調機はマイコンを使用しておりますので、わずかながら電源、伝送線、本体から放射ノイズを出しております。電氣的に微細な信号を増幅するような機器（ワイヤレスマイク、医療機器等）の近傍に据付けた場合、これらの機器がノイズの影響を受け、誤動作を起こす場合があります。また、強いノイズを発生させる機器（放電加工機等）の近傍に空調機を据付けられた場合、これらの発生するノイズにより空調機が誤動作する場合も考えられます。これらが予め懸念される場合は、右記の対応を実施してください。</p>	<p>ノイズの影響を受けやすい機器（ワイヤレスマイクの受信器やアンテナ等）は、できる限りユニットの伝送線、電源線ならびに本体から離して設置してください。 強いノイズを発生させる機器の電源線とは空調機電源と分離し、伝送線、電源線、ユニット本体はできる限り分離して設置してください。</p>

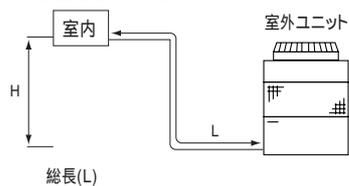
冷媒配管設計

1.冷媒配管の選定

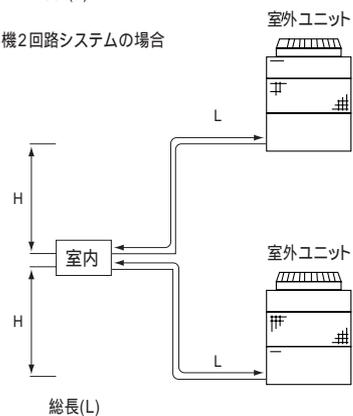
配管の制限

室外ユニット形名	配管サイズ		配管実長 L 最遠実長 (室内~室外間)	高低差 H 室内 ~ 室外	バンド数
	ガス側 主管部	液側 主管部			
P140AW-A形	19.05	9.52	50m	40m	15力所
P224AW-A形	25.4	12.7			
P280AW-A形	28.58				
P224UAW-A形	25.4	12.7	100m	40m	30力所
P280UAW-A形	28.58				

室外機1回路システムの場合



室外機2回路システムの場合



配線設計

1. 配線設計にあたって

1. 「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および電力会社の規定に従ってください。
2. 電気配線工事は電力会社の認定工事店で行ってください。

⚠ 警告

電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規程」、および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電源回路に容量不足や施工不備があると、ユニットが正常運転ができなくなったり、最悪の場合、感電・発煙・火災の原因になります。

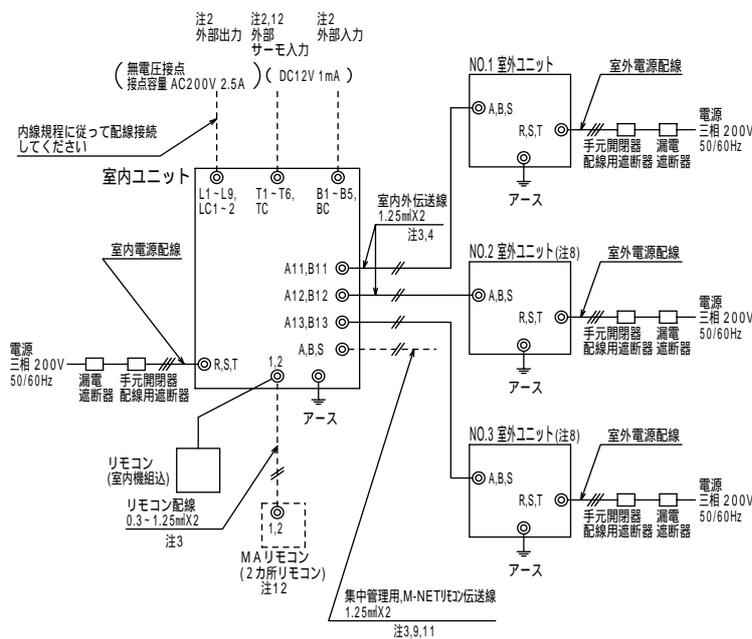
3. 電源は必ず専用の分岐回路からとり、漏電しゃ断器を取付けます。
4. ユニットの外部では、制御回路の電線（室内外伝送線・MAリモコン線・集中管理用M-NET伝送線）と電源配線が直接接触しないように施設してください。
5. 配線の接続はネジの緩みのないように確実に行ってください。
6. 天井裏内の配線（電源・室内外伝送線・MAリモコン線・集中管理用M-NET伝送線）はネズミ等により、かじられ切断する場合があります、できる限り鉄管等の保護管内に通してください。（制御回路の電線と電源配線を同一電線管に入れないでください。）
7. MAリモコン用・室内外伝送線用・集中管理用M-NET伝送線用端子台には200V電源を接続しないでください。（故障します。）
8. 室内ユニットとリモコンおよび室外ユニットを必ず配線接続します。
9. D種接地工事は室外ユニットで行います。
10. 制御配線は以下の条件からお選びください。

⚠ 注意

室外ユニット側で確実にアースを行ってください。アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電、発煙、発火およびノイズによる誤動作の原因になります。

2. 機外配線図

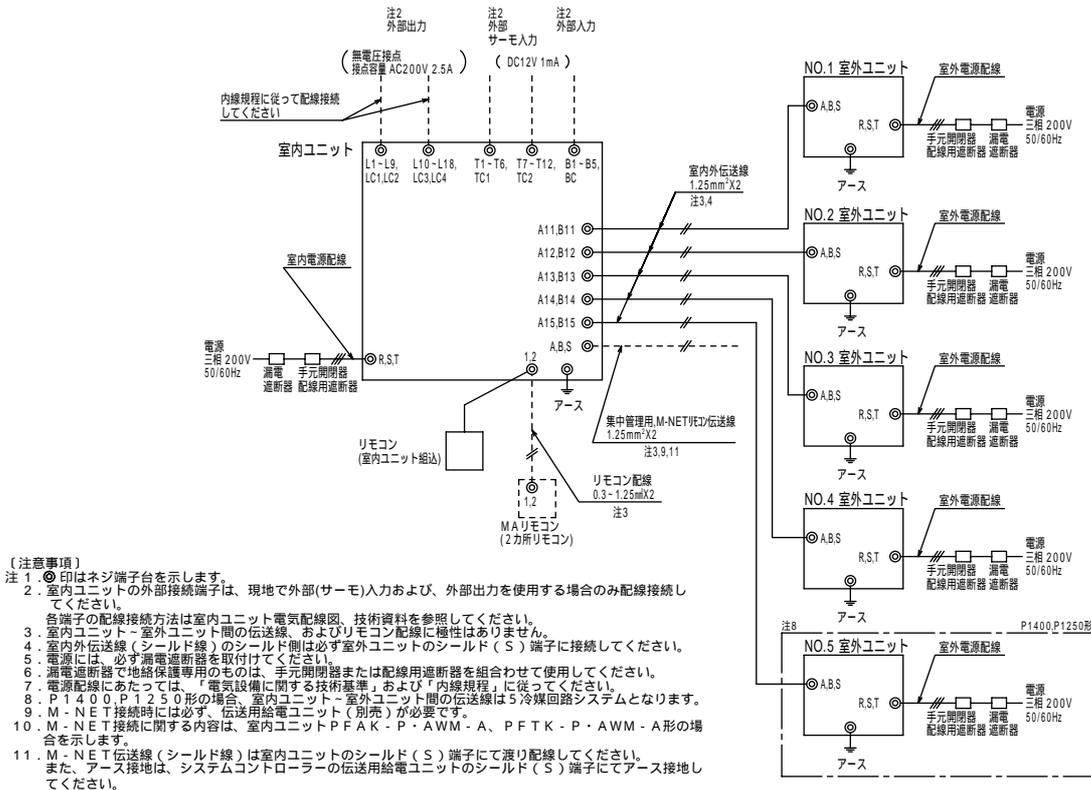
PFAK-P140～P800・P167～P670-F, PFTK-P125～P750形



【注意事項】

- 注1 ◎印はネジ端子台を示します。
2. 室内ユニットの外部接続端子は、現地で外部(サーモ)入力および外部出力を使用する場合のみ配線接続してください。各端子の配線接続方法は室内ユニット電気配線図、技術資料を参照してください。
3. 室内ユニット～室外ユニット間の伝送線、およびリモコン配線に極性はありません。
4. 室内外伝送線(シールド線)のシールド側は必ず室外ユニットのシールド(S)端子に接続してください。
5. 電源には、必ず漏電遮断器を取付けてください。
6. 漏電遮断器で地絡保護専用のものは、手元開閉器または配線用遮断器を組合わせて使用してください。
7. 電源配線に当っては、「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従ってください。
8. NO.2室外ユニットおよび室内ユニット～NO.2室外ユニット間の伝送線は、2冷媒回路システムの場合NO.3室外ユニットおよび室内ユニット～NO.3室外ユニット間の伝送線は、3冷媒回路システムの場合を示します。
9. M-NET接続時には必ず、伝送用給電ユニット(別売)が必要です。
10. M-NET接続に関する内容は、室内ユニットPFAK(PFTK)・P・AWM・A(-F)形の場合を示します。
11. M-NET伝送線(シールド線)のシールド側は室内ユニットのシールド(S)端子にて渡り配線してください。また、アース接地は、システムコントローラーの伝送用給電ユニットのシールド(S)端子にてアース接地してください。
12. PFAK-P・AW(M)・A-F(オールフレッシュ用)の場合は、室内温度調節のため外部サーモ入力もしくは2カ所リモコンにして室内にリモコンを設置(そのリモコン内蔵センサーを使用)してください。

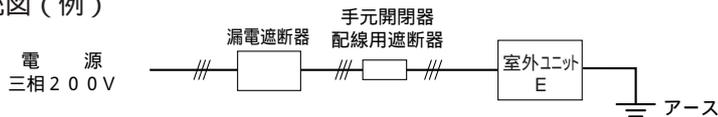
PFAK-P1120・P1400, PFTK-P1000・P1250形



3.主電源の配線太さおよび開閉器容量

(1)室外ユニット

配線系統図(例)



主電源の配線太さおよび開閉器容量

形名	最小電線太さ			漏電遮断器 *1,*2	手元開閉器		配線用遮断器 NFB (A)
	幹線	分岐	アース		開閉器容量 (A)	過電流保護器 (A) *3	
室外ユニット	P140形	5.5mm ²	-	2.0mm ² 以上	40A 30mA 0.1s以下	60	40
	P224形	8mm ²	-	3.5mm ² 以上	60A	60	50
	P280形	14mm ²	-	5.5mm ² 以上	100mA 0.1s以下	60	60

- (注)
*1. 電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。
*2. 漏電遮断器で地絡保護専用のものは、手元開閉器又は配線用遮断器を組合わせて使用してください。
*3. 過電流保護器は、B種ヒューズを使用する場合について示します。

警告

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

注意

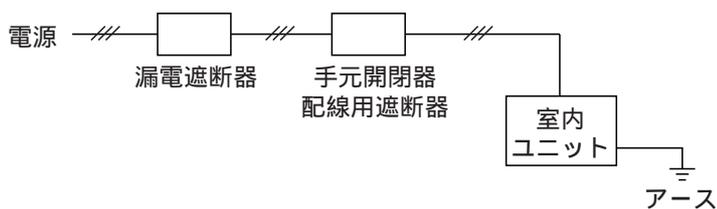
漏電遮断器の取付けが必要です。漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になります。

注意

正しい容量の遮断器やヒューズ以外は使用しないでください。大きな容量のヒューズや針金・銅線を使用すると故障や火災の原因になります。

(2)室内ユニット

配線系統図 (例)



主電源の配線太さおよび開閉器容量

PFAK-P140 ~ P800・P167 ~ P670-F, PFTK-P125 ~ P750形

形名	電動機出力	電線太さ		漏電遮断器	手元開閉器		配線用遮断器
		電源配線	アース		開閉器容量	過電流保護器	
PFAK-P140AW(M)-A PFTK-P125AW(M)-A PFAK-P167AW(M)-A-F 2	0.75kW 1 1.5kW	1.6mm	1.6mm	15A(NV30-C(当社)) 3	15A	15A(B種ヒューズ)	15A(NF30-C(当社))
PFAK-P224,280AW(M)-A PFTK-P200,250AW(M)-A PFAK-P265,335AW(M)-A-F 2	1.5kW 1 2.2kW	1.6mm	1.6mm	15A(NV30-C(当社)) 3	15A	15A(B種ヒューズ)	15A(NF30-C(当社))
PFAK-P450AW(M)-A PFTK-P400AW(M)-A PFAK-P530AW(M)-A-F 2	2.2kW 1 3.7kW	1.6mm	1.6mm	30A(NV30-C(当社)) 3	30A	20A(B種ヒューズ)	30A(NF30-C(当社))
PFAK-P560AW(M)-A PFTK-P500AW(M)-A PFAK-P670AW(M)-A-F 2	3.7kW 1 5.5kW	1.6mm	1.6mm	30A(NV30-C(当社)) 3	30A	30A(B種ヒューズ)	30A(NF30-C(当社))
PFAK-P630AW(M)-A PFTK-P600AW(M)-A	3.7kW 1 5.5kW 7.5kW	1.6mm 5.5mm ² 8mm ²	1.6mm 5.5mm ² 5.5mm ²	30A(NV30-C(当社)) 3 75A(NV100-C(当社)) 4 100A(NV100-C(当社)) 5	30A 60A 100A	30A(B種ヒューズ) 50A(B種ヒューズ) 75A(B種ヒューズ)	30A(NF30-C(当社)) 75A(NF100-C(当社)) 100A(NF100-C(当社))
PFAK-P800AW(M)-A PFTK-P750AW(M)-A	5.5kW 1 7.5kW 11kW	5.5mm ² 8mm ² 14mm ²	5.5mm ² 5.5mm ² 8mm ²	75A(NV100-C(当社)) 4 100A(NV100-C(当社)) 5 125A(NV225-C(当社)) 5	60A 100A 100A	50A(B種ヒューズ) 75A(B種ヒューズ) 100A(B種ヒューズ)	75A(NF100-C(当社)) 100A(NF100-C(当社)) 125A(NF225-C(当社))

- 1 標準仕様の電動機出力を示します。
- 2 オールフレシタイプ(-F)は電動機の変更ができません。
- 3 漏電遮断器は感度 30mA 0.1s 以下を使用してください。
- 4 漏電遮断器は感度 100mA 0.1s 以下を使用してください。
- 5 漏電遮断器は感度 100 ~ 200mA 0.1s 以下を使用してください。

PFAK-P1120・P1400, PFTK-P1000・P1250形

形名	電動機出力	電線太さ		漏電遮断器	手元開閉器		配線用遮断器
		電源配線	アース		開閉器容量	過電流保護器	
PFAK-P1120AW(M)-A PFTK-P1000AW(M)-A	5.5kW 7.5kW 1 11kW	5.5mm ² 8mm ² 14mm ²	5.5mm ² 5.5mm ² 8mm ²	75A(NV100-C(当社)) 2 100A(NV100-C(当社)) 3 125A(NV125-C(当社)) 3	60A 100A 100A	50A(B種ヒューズ) 75A(B種ヒューズ) 100A(B種ヒューズ)	75A(NF100-C(当社)) 100A(NF100-C(当社)) 125A(NF225-C(当社))
PFAK-P1400AW(M)-A PFTK-P1250AW(M)-A	7.5kW 11kW 1 15kW	8mm ² 14mm ² 22mm ²	5.5mm ² 8mm ² 8mm ²	100A(NV100-C(当社)) 3 125A(NV125-C(当社)) 3 125A(NV125-C(当社)) 3	100A 100A 100A	75A(B種ヒューズ) 100A(B種ヒューズ) 100A(B種ヒューズ)	100A(NF100-C(当社)) 125A(NF225-C(当社)) 125A(NF225-C(当社))

- 1 標準仕様の電動機出力を示します。
- 2 漏電遮断器は感度 100mA 0.1s 以下を使用してください。
- 3 漏電遮断器は感度 100 ~ 200mA 0.1s 以下を使用してください。

注1.電源には、必ず漏電遮断器を取付けてください。

- 2.漏電遮断器で地絡保護専用のものは、手元開閉器または配線用遮断器を合わせて使用してください。
- 3.電源配線にあたっては「電気設備に関する技術基準」および「内線規程」に従ってください。

⚠ 注意

正しい容量のブレーカーやヒューズ以外は使用しないでください。大きな容量のヒューズや針金・銅線を使用すると故障や火災の原因になります。

4.制御配線の種類と許容長さ

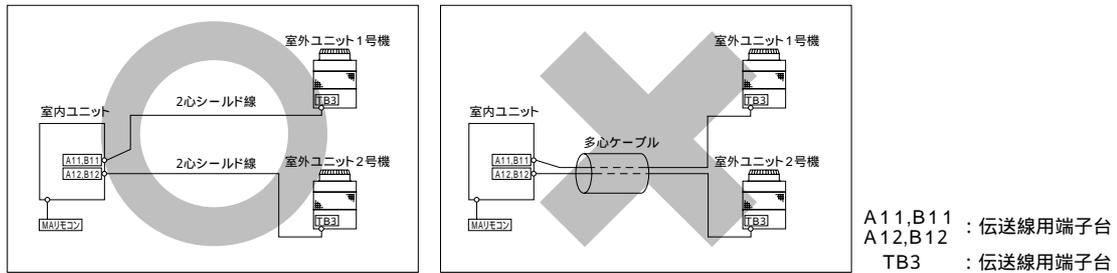
制御配線には、「室内外伝送線」・「MAリモコン線（2リモコンの場合）」・「集中管理用M-NET伝送線」があります。

システム構成により、配線の種類および許容長さが異なります。配線工事の前に、必ず以下の（1）～（3）をご覧ください。

また、以下に示すように、伝送線が長い場合やノイズ源がユニットに近傍している場合は、ノイズ障害防止のためにユニット本体をノイズ源から離すと共に、シールド線の仕様を推奨します。

室内外伝送線用配線は、2心線をご使用ください。（下図○印）

系統の異なる室内外伝送線用配線を多心の同一ケーブルを使用して配線しますと、室内外伝送信号の送・受信が正常にできなくなり、誤動作の原因になりますので絶対に行わないでください。（下図×印）



(1) 室内外伝送線配線

システム構成		単一冷媒システムシステムの場合		複数冷媒システムシステムの場合
配線の種類	伝送線の長さ	120m未満	120m以上	長さに無関係
	対象施設例 (ノイズ判定)	住宅及び独立店舗など ノイズ発生がない施設	ビル、診療所、病院、通信事業所など インバーター機器、自家発電機器、高周波医療機器、 無線通信装置などによるノイズの発生が想定される施設	全ての施設
	線種	VCTF・VCTEK・CVV・ CVS・VVR・VVF・VCT 又はシールド線 CVVS・CPEVS	シールド線 CVVS・CPEVS	
	線数	2心ケーブル		
	線径	1.25mm ² 以上		
室内外伝送線最遠長		最大120m		最大200m

(2) MAリモコン配線

		MAリモコン（注1）
配線の種類		VCTF、VCTFK、CVV、CVS、 VVR、VVF、VCT
	線数	2心ケーブル
	線径	0.3～1.25mm ² （注3） （0.75～1.25mm ² ）（注4）
総延長		最大200m

(3)集中管理用M-NET伝送線配線 (PFAK-P・AWM-A , PFTK-P・AWM-A , PFAK-P・AWM-A-F形の場合)
 集中管理リモコン配線

システム構成		単一冷媒システムシステムの場合	複数冷媒システムシステムの場合
配線の種類	伝送線の長さ	長さに無関係	
	対象施設例 (ノイズ判定)	全ての施設	
	線種	シールド線 CVVS・CPEVS	
	線数	2心ケーブル	
	線径	1.25mm ² 以上	
集中管理リモコン配線最遠長		最大200m	

M-NETリモコン配線

		M-NETリモコン(注2)	
配線の種類	伝送線の長さ	10m以下	10mを超える場合
	線種	VCTF、VCTEK、CVV、CVS、 VVR、VVF、VCT	(3) 集中管理リモコン配線と同一仕様 となります
	線数	2心ケーブル	
	線径	0.5 ~ 1.25mm ² (注3) (0.75 ~ 1.25mm ²)(注4)	
M-NETリモコン配線最遠長		最大10m	10mを超える部分は、集中管理リモコン配線 最遠長の内数としてください

注1.MAリモコンとは、MAリモコンおよびワイヤレスリモコンを示します。

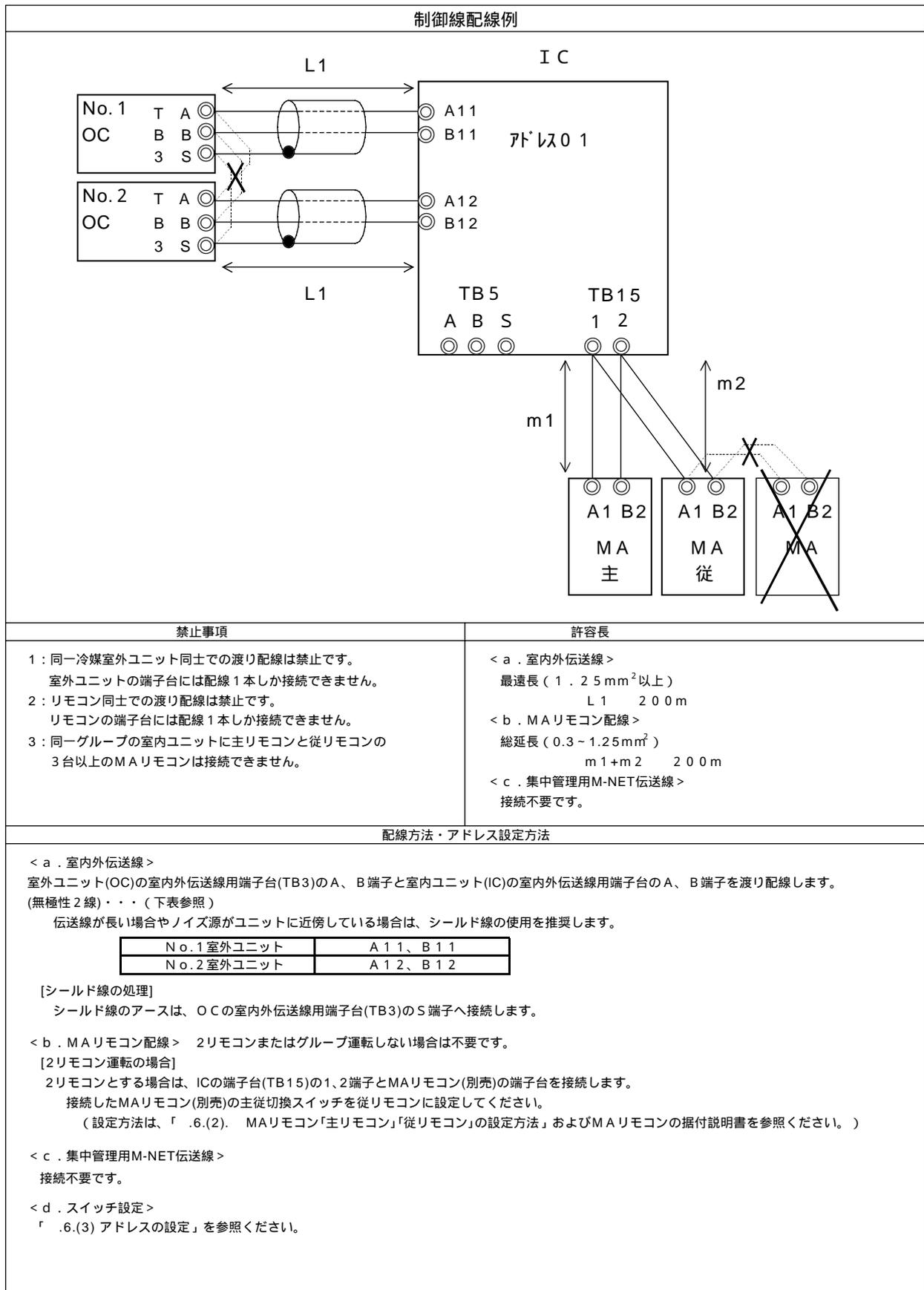
2.M-NETリモコンとは、MEリモコンおよびコンパクトリモコンを示します。

3.作業上、0.75mm²までの線径を推奨します。

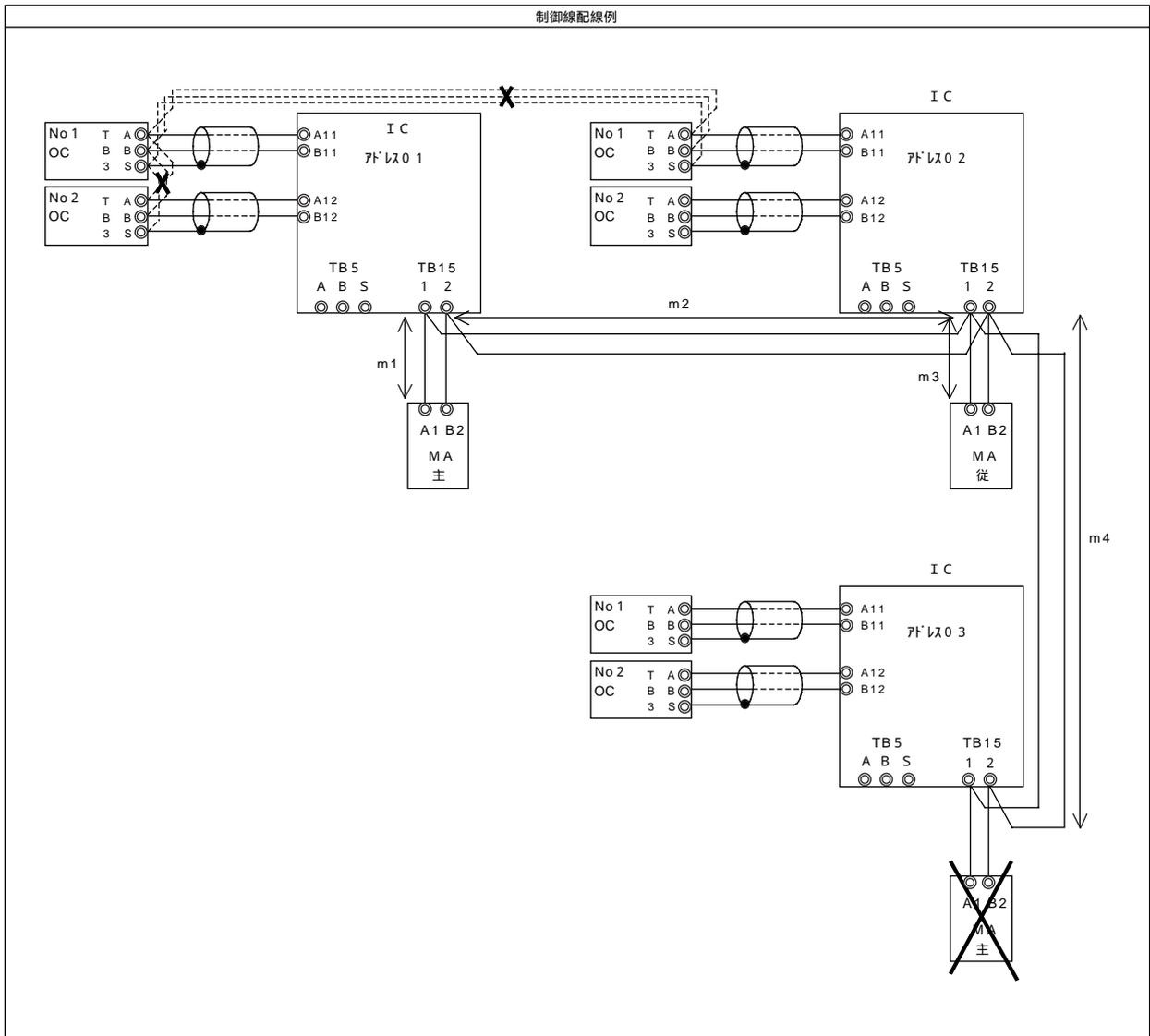
4.()内は、コンパクトリモコンの線径です。

5. システム接続例

(1) MAリモコンを用いたシステム
 単一冷媒システムの場合 (PFAK-P・AW-A, PFTK-P・AW-A, PFAK-P・AW-A-Fの場合)



異冷媒グルーピング運転の場合 (PFAK-P・AW-A , PFTK-P・AW-A , PFAK-P・AW-A-Fの場合)

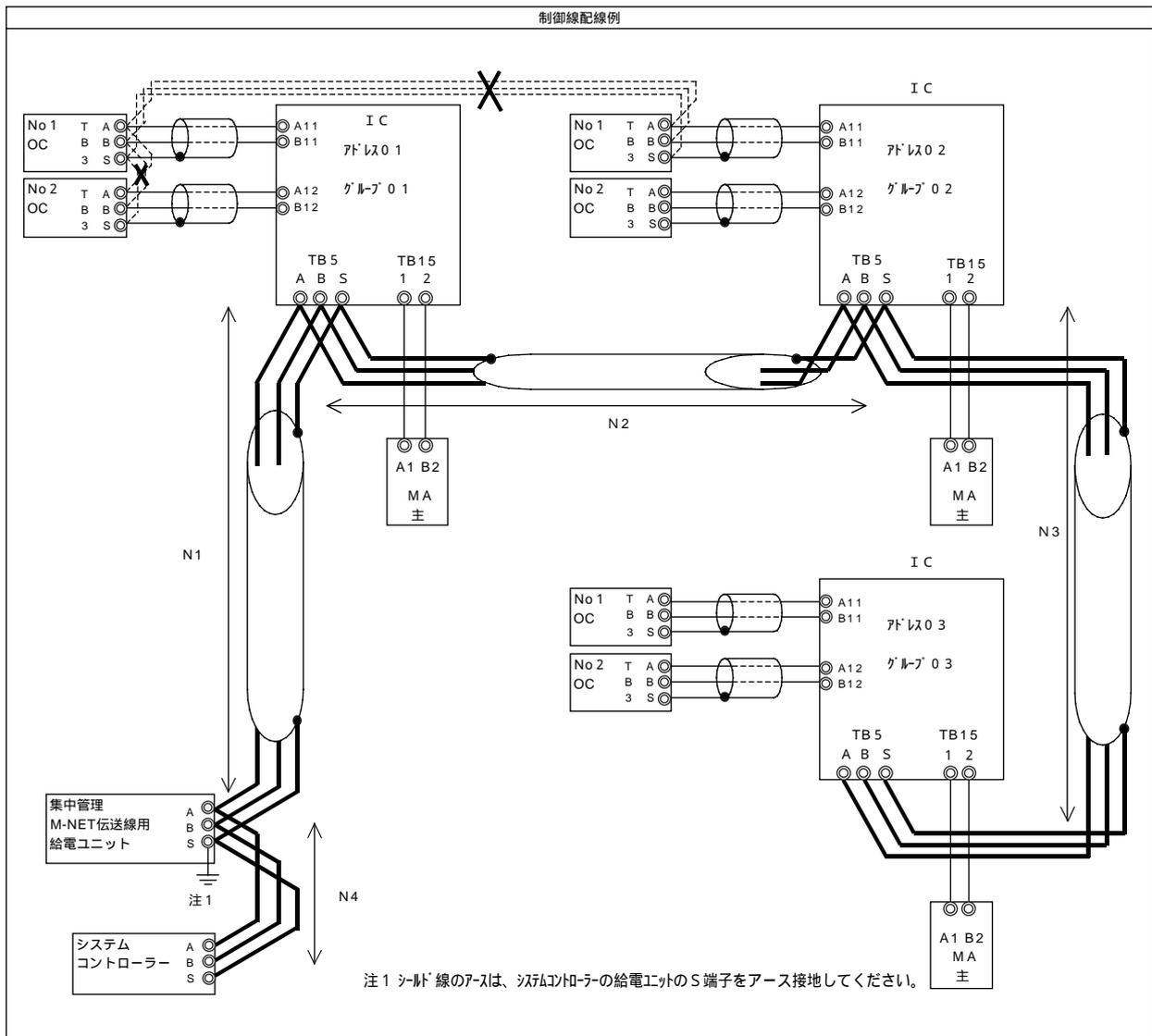


禁止事項	許容長
1: 同一冷媒室外ユニット同士での渡り配線は禁止です。室外ユニットの端子台には配線1本しか接続できません。 2: リモコン同士での渡り配線は禁止です。リモコンの端子台には配線1本しか接続できません。 3: 同一グループの室内ユニットに主リモコンと従リモコンの3台以上のMAリモコンは接続できません。 室外ユニットが3台以上になる場合は、MAリモコンを2台以下となるように室内ユニットに取付けられているMAリモコン配線をTB15から外してください。 4: 異冷媒室外ユニット同士での渡り配線は禁止です。室外ユニットの端子台には配線1本しか接続できません。	< a . 室内外伝送線 > (1) と同様 < b . MAリモコン配線 > 総延長 (0.3 ~ 1.25 mm ²) $m1 + m2 + m3 + m4$ 200 m < c . 集中管理用M-NET伝送線 > 接続不要です。

配線方法・アドレス設定方法

< a . 室内外伝送線 > (1) と同様 [シールド線の処理] (1) と同様 < b . MAリモコン配線 > 異冷媒グルーピング運転の場合、必ず一方の室内ユニットのMAリモコンを「従リモコン」設定してください。 [2リモコン運転の場合] (1) と同様 [室内グループ運転の場合] ICをグループ運転する場合は、両方のICの端子台(TB15)の1,2端子同士を接続します。(無極性2線) 一方の室内ユニットのリモコンの主従切換スイッチを従リモコンに設定してください。 同一グループ内の一番機能が多い室内ユニットのアドレスを01 ~ 50の若い番号に設定してください。 < c . 集中管理用M-NET伝送線 > 接続不要です。 < d . スイッチ設定 > 「 .6.(3) アドレスの設定」を参照ください。
--

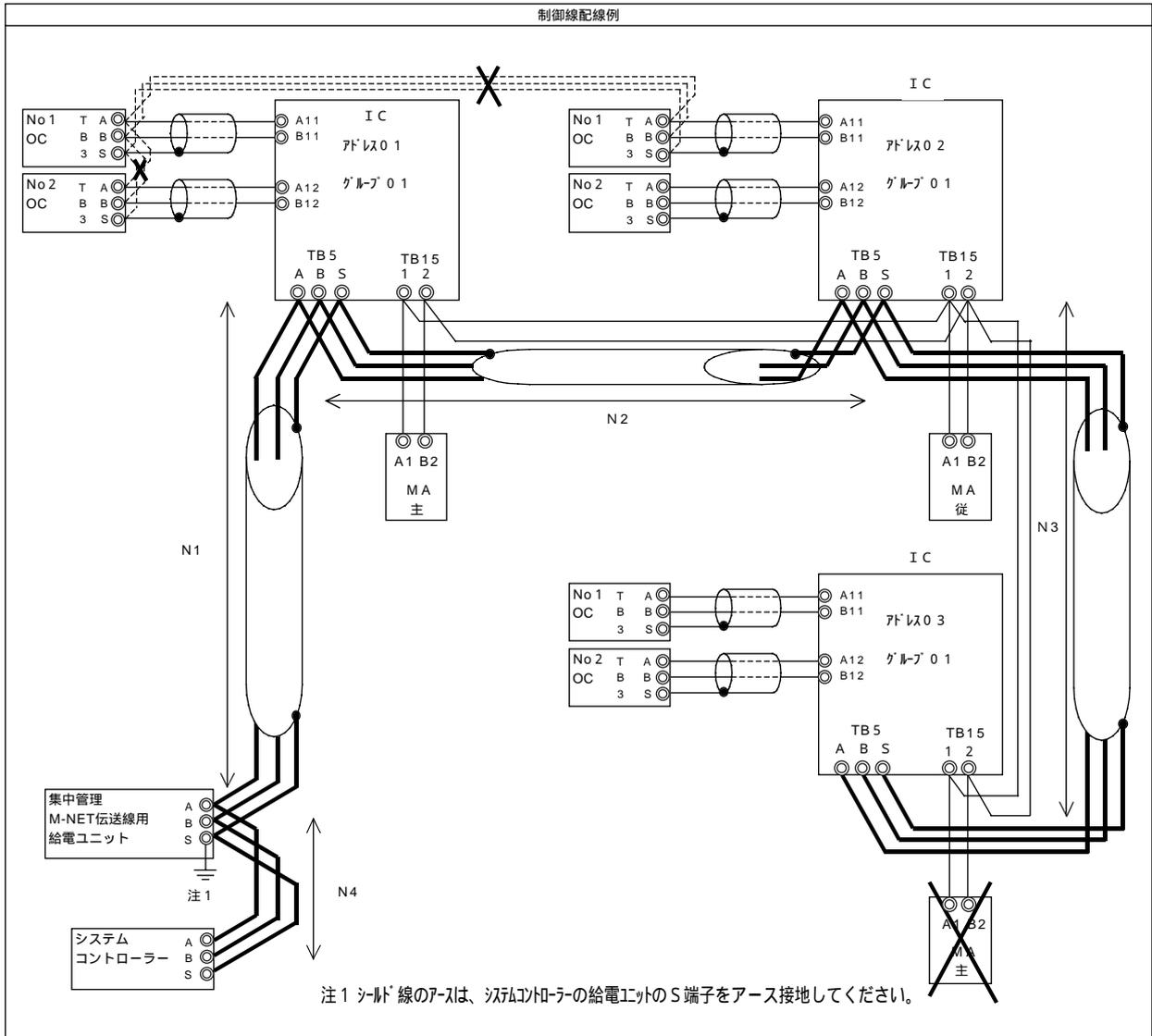
集中管理用M-NET伝送線にシステムコントローラーを接続し、1グループ1台管理した場合
(PFAK-P・AWM-A, PFTK-P・AWM-A, PFAK-P・AWM-A-Fの場合)



禁止事項	許容長
<ol style="list-style-type: none"> 1:同一冷媒室外ユニット同士での渡り配線は禁止です。室外ユニットの端子台には配線1本しか接続できません。 2:リモコン同士での渡り配線は禁止です。リモコンの端子台には配線1本しか接続できません。 3:同一グループの室内ユニットに主リモコンと従リモコンの3台以上のMAリモコンは接続できません。 室内ユニットが3台以上になる場合は、MAリモコンが2台以下となるように室内ユニットに取付けられているMAリモコン配線をTB15から外してください。 4:異冷媒室外ユニット同士での渡り配線は禁止です。室外ユニットの端子台には配線1本しか接続できません。 5:室内ユニットの集中管理用M-NET伝送端子台(TB5)のS端子のアース処理は不要です。 	<p>< a . 室内外伝送線 > (1) と同様</p> <p>< b . MAリモコン配線 > (1) と同様</p> <p>< c . 集中管理用M-NET伝送線 > 最遠長 (1 . 2 5 mm² 以上) N 1 + N 2 + N 3 + N 4 2 0 0 m</p>

配線方法・アドレス設定方法
<p>< a . 室内外伝送線 > (1) と同様 [シールド線の処理] (1) と同様</p> <p>< b . MAリモコン配線 > 2リモコンまたはグループ運転しない場合は不要です。 [2リモコン運転の場合] (1) と同様</p> <p>< c . 集中管理用M-NET伝送線 > 各室内ユニット(IC)の集中管理用M-NET伝送線用端子台(TB5)のA、B端子を渡り配線します。 必ずシールド線をご使用ください。 [シールド線の処理] シールド線のアースは、各ICの端子台(TB5)のS端子を渡り配線します。システムコントローラーの給電ユニットのS端子をアース接地してください。 給電ユニットからアース接地できない場合は、1台の室内ユニットの端子台(TB5)のS端子から電気品箱のアースネジ(E)に接続してください。</p> <p>< d . スイッチ設定 > 「 . 6.(3) アドレスの設定 」を参照ください。</p>

集中管理用M-NET伝送線にシステムコントローラーを接続し、1グループ3台管理した場合
(PFAK-P・AWM-A, PFTK-P・AWM-A, PFAK-P・AWM-A-Fの場合)



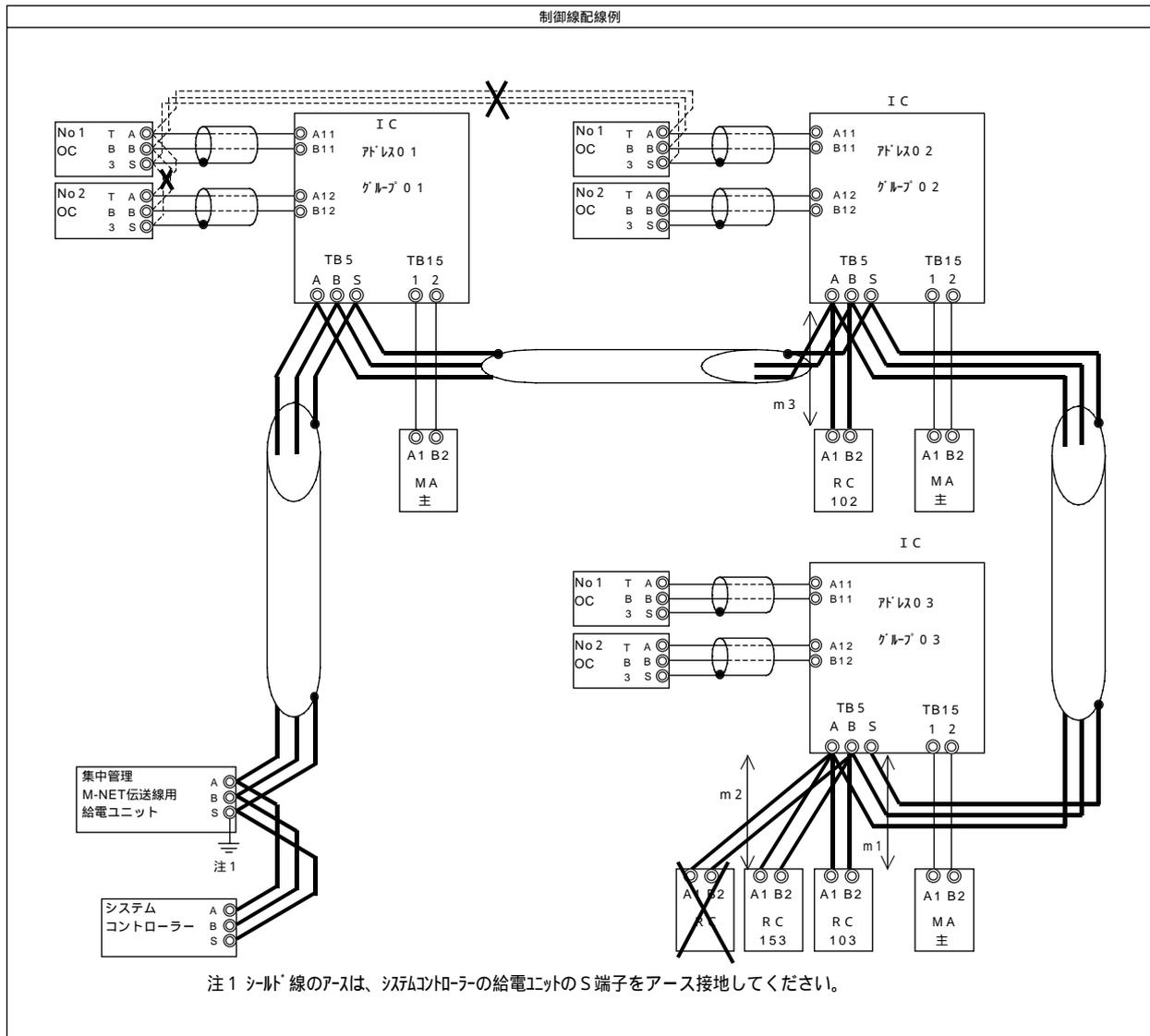
禁止事項	許容長
1:同一冷媒室外ユニット同士での渡り配線は禁止です。室外ユニットの端子台には配線1本しか接続できません。 2:リモコン同士での渡り配線は禁止です。リモコンの端子台には配線1本しか接続できません。 3:同一グループの室内ユニットに主リモコンと従リモコンの3台以上のMAリモコンは接続できません。 室内ユニットが3台以上になる場合は、MAリモコンが2台以下となるように室内ユニットに取付けられているMAリモコン配線をTB15から外してください。 4:異冷媒室外ユニット同士での渡り配線は禁止です。室外ユニットの端子台には配線1本しか接続できません。 5:室内ユニットの集中管理用M-NET伝送端子台(TB5)のS端子のアース処理は不要です。	< a . 室内外伝送線 > (1) と同様 [シールド線の処理] (1) と同様 < b . MAリモコン配線 > 異冷媒グループ運転の場合、必ず一方の室内ユニットのMAリモコンを「従リモコン」設定してください。 (1) と同様 [室内グループ運転の場合] (1) と同様 システムコントローラーにてグループ運転する場合でも、グループ運転する室内ユニットの端子台(TB15)の1、2端子同士を接続します。(無極性2線) < c . 集中管理用M-NET伝送線 > (1) と同様 [シールド線の処理] (1) と同様 < d . スイッチ設定 > 「 . 6.(3) アドレスの設定」を参照ください。

配線方法・アドレス設定方法

< a . 室内外伝送線 > (1) と同様 [シールド線の処理] (1) と同様 < b . MAリモコン配線 > 異冷媒グループ運転の場合、必ず一方の室内ユニットのMAリモコンを「従リモコン」設定してください。 [2リモコン運転の場合] (1) と同様 [室内グループ運転の場合] (1) と同様 システムコントローラーにてグループ運転する場合でも、グループ運転する室内ユニットの端子台(TB15)の1、2端子同士を接続します。(無極性2線) < c . 集中管理用M-NET伝送線 > (1) と同様 [シールド線の処理] (1) と同様 < d . スイッチ設定 > 「 . 6.(3) アドレスの設定」を参照ください。
--

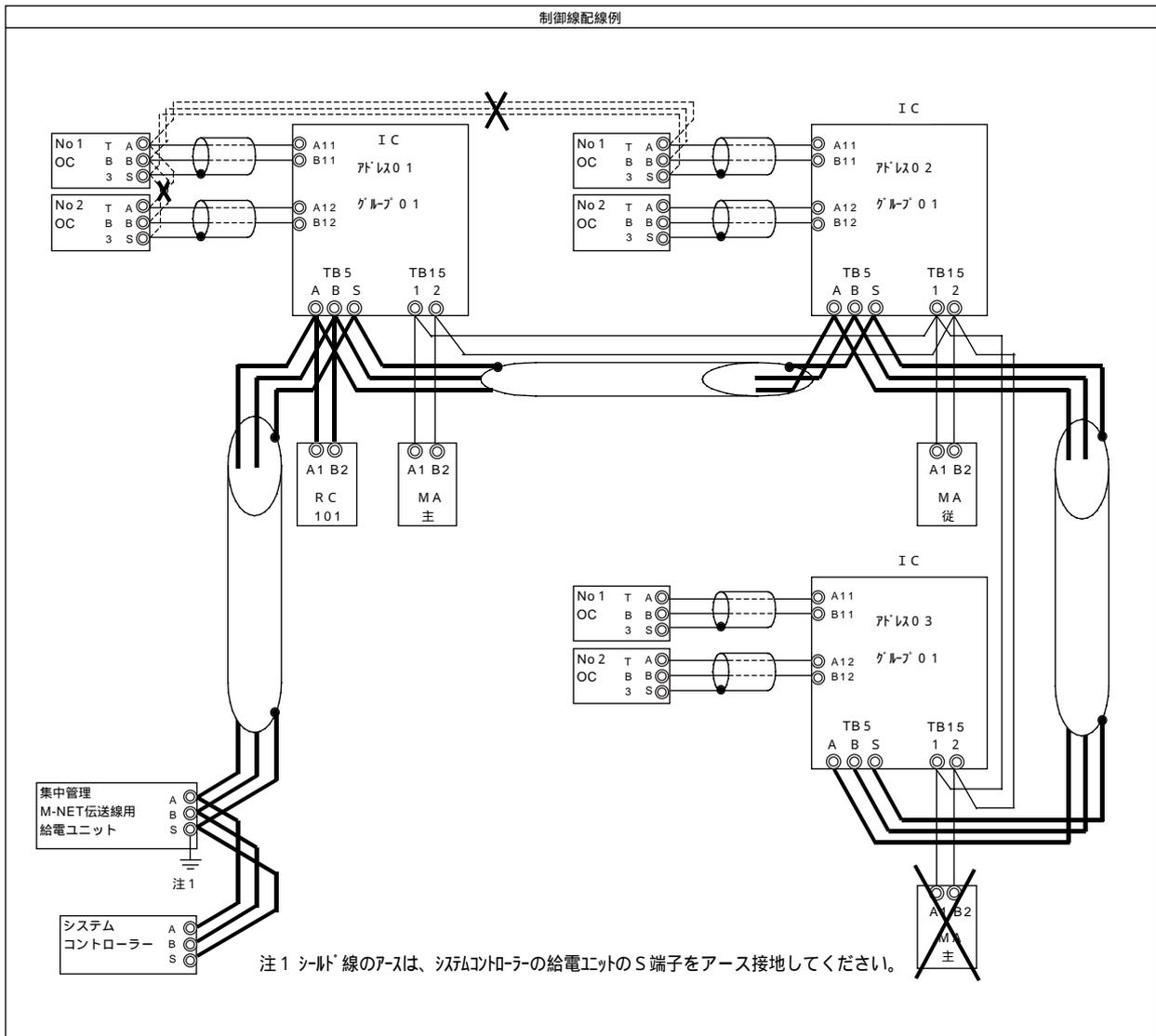
(2) MAリモコンとM-NETリモコンを混在したシステム

集中管理用M-NET伝送線にシステムコントローラーを接続し、1グループ1台管理した場合
(PFAK-P・AWM-A, PFTK-P・AWM-A, PFAK-P・AWM-A-Fの場合)



禁止事項	許容長
<ol style="list-style-type: none"> 1: 同一冷媒室外ユニット同士での渡り配線は禁止です。室外ユニットの端子台には配線1本しか接続できません。 2: リモコン同士での渡り配線は禁止です。リモコンの端子台には配線1本しか接続できません。 3: 同一グループの室内ユニットに主リモコンと従リモコンの3台以上のMAリモコンは接続できません。 室内ユニットが3台以上になる場合は、MAリモコンが2台以下となるように室内ユニットに取付けられているMAリモコン配線をTB15から外してください。 4: 異冷媒室外ユニット同士での渡り配線は禁止です。室外ユニットの端子台には配線1本しか接続できません。 5: 室内ユニットの集中管理用M-NET伝送端子台(TB5)のS端子のアース処理は不要です。 6: 同一グループの室内ユニットに3台以上のM-NETリモコンは接続できません。 	<p>< a . 室内外伝送線 > (1) と同様</p> <p>< b . MAリモコン配線 > (1) と同様</p> <p>< c . 集中管理用M-NET伝送線 > (1) と同様</p> <p>< d . M-NETリモコン配線 > 総延長(0.5~0.75mm²) m1+m2 10m m3 10m 注. 但し、10mを超える場合は、配線径を1.25mm²とし < c.集中管理用M-NET伝送線 >の内数としてください。</p>
配線方法・アドレス設定方法	
<p>< a . 室内外伝送線 > (1) と同様 [シールド線の処理] (1) と同様</p> <p>< b . MAリモコン配線 > 2リモコンまたはグループ運転しない場合は不要です。 [2リモコン運転の場合] (1) と同様</p> <p>< c . 集中管理用M-NET伝送線 > (1) と同様 [シールド線の処理] (1) と同様</p>	<p>< d . M-NETリモコン配線 > 室内ユニット(IC)の集中管理用M-NET伝送線用端子台(TB15)のA, B端子をそれぞれM-NETリモコン(RC)の端子台に接続します。(無極性2線) [2リモコン運転の場合] 2リモコンとする場合は、ICの端子台(TB5)のA, B端子と2つのRCの端子台をそれぞれ接続します。</p> <p>< e . スイッチ設定 > 「.6.(3) アドレスの設定」を参照ください。</p>

集中管理用M-NET伝送線にシステムコントローラーを接続し、1グループ3台管理した場合
(PFAK-P・AWM-A, PFTK-P・AWM-A, PFAK-P・AWM-A-Fの場合)

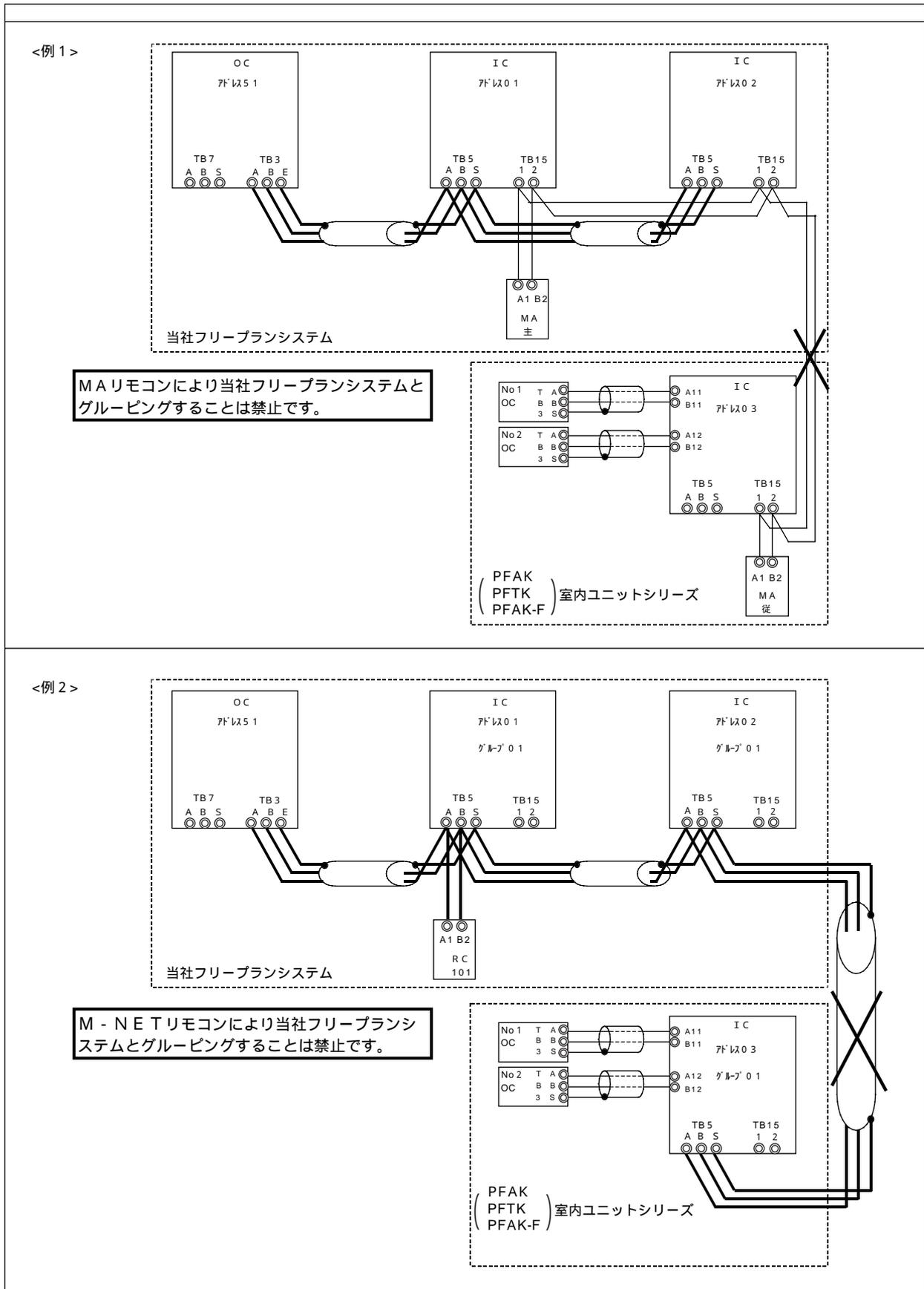


禁止事項	許容長
<ol style="list-style-type: none"> 1: 同一冷媒室外ユニット同士での渡り配線は禁止です。室外ユニットの端子台には配線1本しか接続できません。 2: リモコン同士での渡り配線は禁止です。リモコンの端子台には配線1本しか接続できません。 3: 同一グループの室内ユニットに主リモコンと従リモコンの3台以上のMAリモコンは接続できません。 室内ユニットが3台以上になる場合は、MAリモコンが2台以下となるように室内ユニットに取付けられているMAリモコン配線をTB15から外してください。 4: 異冷媒室外ユニット同士での渡り配線は禁止です。室外ユニットの端子台には配線1本しか接続できません。 5: 室内ユニットの集中管理用M-NET伝送端子台(TB5)のS端子のアース処理は不要です。 6: 同一グループの室内ユニットに3台以上のM-NETリモコンは接続できません。 	<ul style="list-style-type: none"> < a . 室内外伝送線 > (1) と同様 < b . MAリモコン配線 > (1) と同様 < c . 集中管理用M-NET伝送線 > (1) と同様 < d . M-NETリモコン配線 > (2) と同様

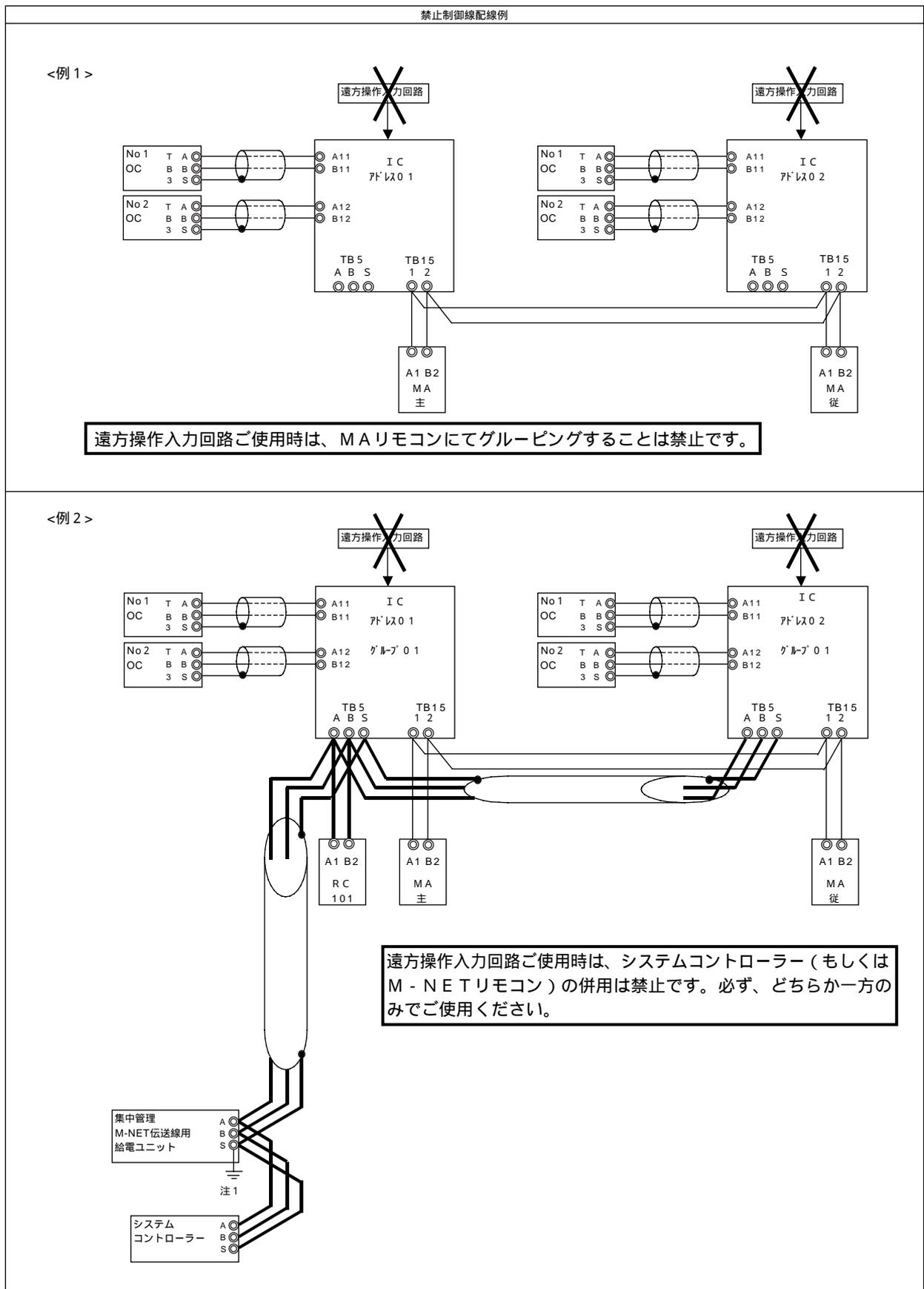
配線方法・アドレス設定方法	
<ul style="list-style-type: none"> < a . 室内外伝送線 > (1) と同様 [シールド線の処理] (1) と同様 < b . MAリモコン配線 > 異冷媒グループリング運転の場合、必ず一方の室内ユニットのMAリモコンを「従リモコン」設定してください。 [2リモコン運転の場合] (1) と同様 [室内グループ運転の場合] (1) と同様 システムコントローラーにてグループ運転する場合でも、グループ運転する室内ユニットの端子台(TB15)の1,2端子同士を接続します。(無極性2線) < c . 集中管理用M-NET伝送線 > (1) と同様 [シールド線の処理] (1) と同様 	<ul style="list-style-type: none"> < d . M-NETリモコン配線 > (2) と同様 [2リモコン運転の場合] (2) と同様 [室内グループ運転の場合] ICをグループ運転する場合は、同一グループとするICの親機ICの端子台(TB5)のA, B端子とRCの端子台を接続します。(無極性2線) 機能が異なる室内ユニットを同一グループ運転する場合は、同一グループ内の一番機能が多い室内ユニットを親機としてください。 < e . スイッチ設定 > 「 . 6.(3) アドレスの設定」を参照ください。

(3)システム構成における禁止事項

当社フリープランシステムとの混在

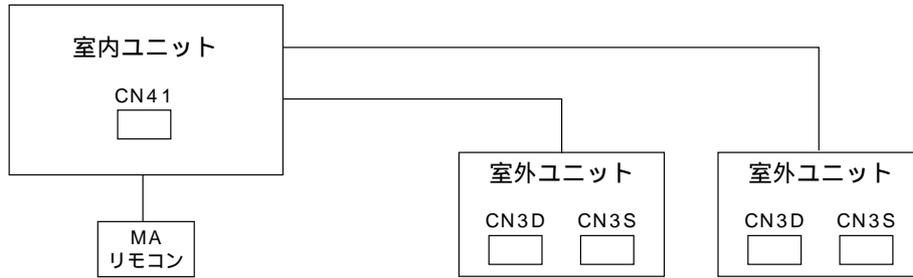


遠方操作入力回路との混在



6.システム制御

【入出力コネクタの仕様】



P140機種：CN3D，CN3Sは存在しません。

(1) 室内ユニットのシステム制御

各種発停制御（室内ユニット設定）

室内ユニットのDIPSW（SW4-1）により、室内ユニット毎の発停制御が可能です。

機能	室内ユニット復電時の動作	設定(SW4) (注1)
		1
停電自動復帰	電源を切る（停電する）前に運転していた場合に運転開始（約3分後）	ON
	電源を切る（停電する）前の状態にかかわらず停止のまま	OFF

（注1）室内ユニットグループ内の全ユニットのDIPSWの設定が必要です。

入出力信号用コネクタを使用した各種制御（各種オプションによる接続）

分類	使用用途	機能	使用端子
入力 (注1)	室内ユニットグループ毎にHA, JEMA規格によるHA端子で、 発停制御をする方法 * 本規格に合致したテレコンからの発停制御として使用可能	発停(パルス) (HA, JEMA規格) (注2)	CN41

（注1）信号入力は、グループ内の親機のみ接続してください。

（注2）グループ運転で発停入力を使用する場合は、手元リモコンが必要です。（MAリモコン又はM-NETリモコン）

(i) 入出力信号組合せ制限

	発停の種類		HA発停 (JEMA)	復電自動復帰
	種類	端子		
1	HA発停(JEMA)	CN41	/	
2	復電自動復帰	-		

（注1）HA発停（JEMA）・復電自動復帰は、遠方/手元切換(DIPSW1-5・6)が“手元”(OFF)に設定されている場合のみ使用可能です。ご使用には十分ご注意ください。

(ii) HA発停（JEMA）入力仕様

項目	内容
入力信号	パルス信号（a接点）
パルス規格	<p style="text-align: center;">200ms以上</p>

(2) 室外ユニットのシステム制御

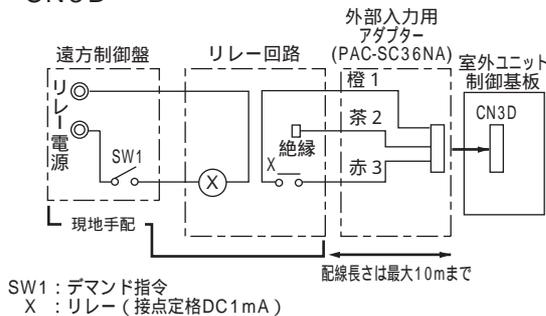
入出力信号用コネクタを使用した各種制御（各種オプションによる接続）

分類	使用用途	機能	使用端子
入力 (注1)	室外ユニットへの外部からの入力により、冷暖房運転の禁止（サーモOFF）制御をする方法 *冷媒系統毎のデマンド制御として使用可能	デマンド(レベル)	CN3D
	スノーセンサーからの降雪信号をうけて、強制的に室外ユニットを送風運転します。	スノーセンサー 信号入力(レベル)	CN3S

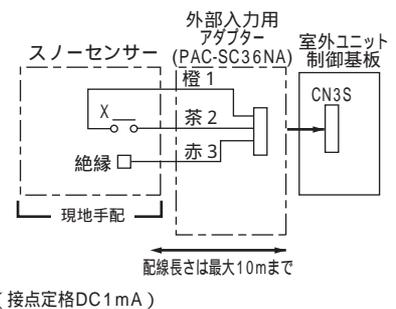
(注1) 適用機種 PUHK-P224/P280AW-A, PUK-P224/P280AW-A, PUHK-P224/P280UAW-A, PUK-P224/P280UAW-A

室外ユニット 入出力コネクタ

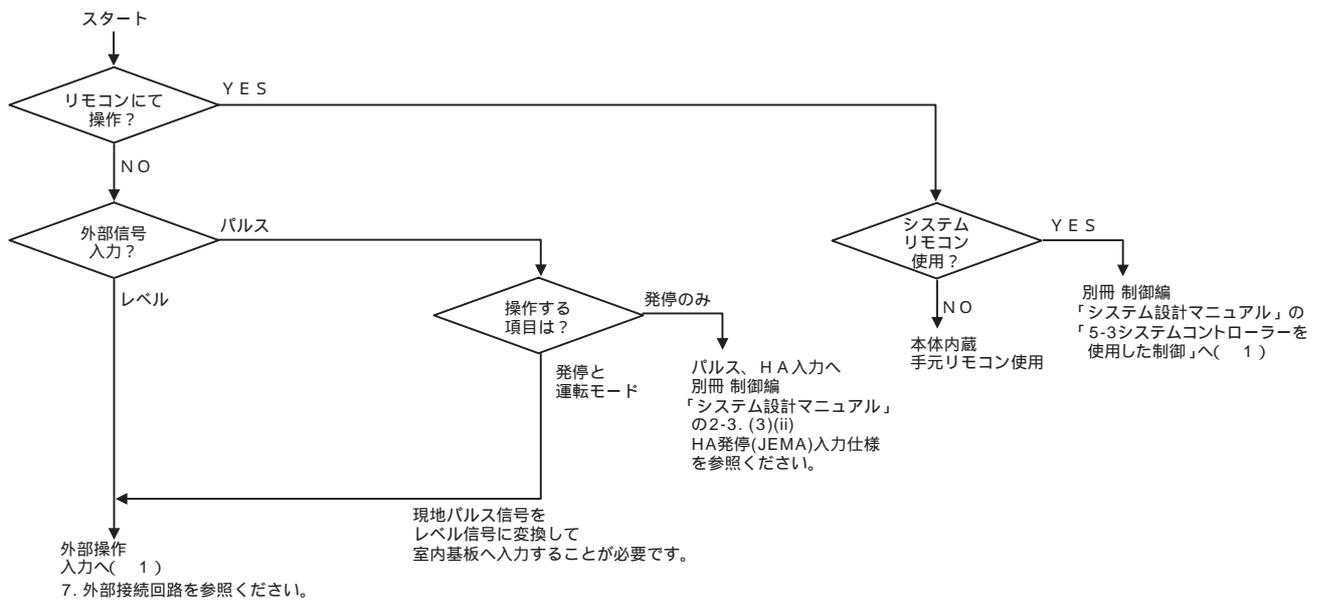
CN3D



CN3S



発停操作選択フローチャート



1 外部操作入力とシステムコントローラーは併用できません。

7.外部接続回路

室内ユニットの操作入力や信号出力は、標準装備のリモコンやM-NETによる集中管理のほかに、外部の制御盤とのリレー入出力信号配線の接続が可能です。

現地制御盤からの信号入力配線（運転ON/OFF、冷暖房切替入力等）を直接室内ユニットに接続することが可能です。（ただし、入力接点には微小電流対応のものを使用してください。入力接点が微小電流対応でない場合は、現地リレー（微小電流用リレー）追加により、レベル信号入力の接続が可能です。さらに、200V配線やパルス信号による入力時等でも、遠方操作キット（オプション部品）の追加により接続ができます。

出力については、無電圧接点出力端子を室内ユニットには標準で装備しており、運転・異常表示等の信号取出が可能です。

これらにより、現地側の状況に応じた配線接続が可能なほか、エアコンの更新時も既設の現地制御盤をできるだけ流用しながら改装することができます。

(1) 外部接続回路パターン

外部操作・外部サーモ入力時の回路パターンは、操作入力別に下記の番号（No.）に分類して示します。これらの分類にしたがって、配線パターンを決定してください。

リモコンまたは外部操作による運転操作設定は、室内ユニット電気品箱内の端子B1（RC / 遠方）のON / OFFと、室内基板上的SW1-5のON / OFFの組合せで決定され、下表の組合せとなります。（工場出荷時のSW1-5の設定は、OFFです。）

端子B1	SW1-5	運転操作設定	設定認識条件
OFF	OFF	本体内蔵MAリモコン	SW1-5は、電源投入時の設定で認識します。端子B1は、常時設定変更可能です。但し、端子B1がONの場合、SW1-5の設定に関わらず、運転操作設定はリモコンとなります。
OFF	ON	外部操作	
ON	OFF	本体内蔵MAリモコン	
ON	ON	本体内蔵MAリモコン	

外部サーモ入力は、室内基板上的SW1-6のON / OFF状態で決定され、OFF時はサーミスターによるサーモ検知設定（工場出荷時設定）ON時は現地配線による外部サーモ入力設定となります。

SW1-6は、電源投入時の設定で認識します。

（SW設定変更する場合）

一度電源をOFFさせてSW1-5とSW1-6の設定変更後、再度電源をONし立上げ直してください。外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流接点を使用してください。

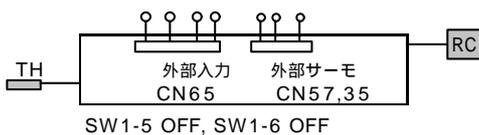
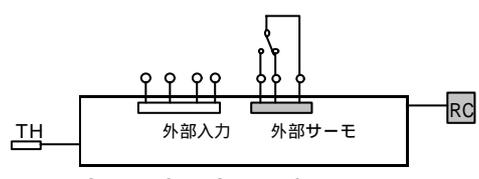
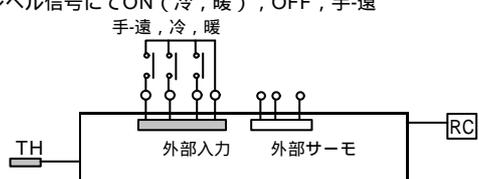
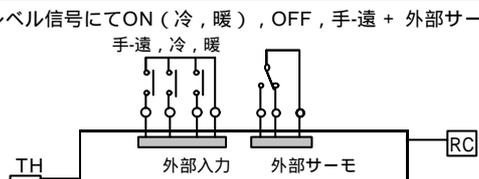
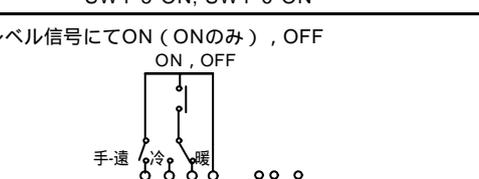
配線長が100mを超える場合は、必ず100m以内で現地信号をリレー受けして、リレー接点を端子台に接続してください。低電圧線と電源線は、必ず別の電線管を通してください。

パルス信号や、AC200V等の有電圧の入力を行う場合は、別売部品「遠方操作キットPAC-CG91RCK」をご使用ください。（下記No.5、6）



上記No.2の設定（Dip SW1-5 OFF, Dip SW1-6 ON）の場合、自動運転はできません。

図中、RCはリモコン、THはサーミスターを示します。

操作部	No.	仕様と回路図	運転 ON/OFF	冷暖 切換	温度 設定	温度 検知	遠方手 元切換	リモコン 表示	必要別売部品	
リモコン	1	標準出荷状態  SW1-5 OFF, SW1-6 OFF	リモコン	リモコン	リモコン	サーミスター	-	全て		
	2	外部サーモ接続  SW1-5 OFF, SW1-6 ON	リモコン	リモコン	現地 サーモ	外部 サーモ	-	全て (設定温は ダミー 表示 吸込温は サーミスター 検知温度 表示)		
外部操作	冷・暖・送風別 ON/OFF	3	レベル信号にてON(冷,暖), OFF, 手-遠 手-遠, 冷, 暖  SW1-5 ON, SW1-6 OFF	レベル 信号	レベル 信号	リモコン	サーミスター	レベル 信号	全て	
		4	レベル信号にてON(冷,暖), OFF, 手-遠 + 外部サーモ 手-遠, 冷, 暖  SW1-5 ON, SW1-6 ON	レベル 信号	レベル 信号	現地 サーモ	外部 サーモ	レベル 信号	全て (設定温は ダミー 表示 吸込温は サーミスター 検知温度 表示)	
	運転ON/OFF (冷暖切換)	3	レベル信号にてON(ONのみ), OFF ON, OFF  SW1-5 ON, SW1-6 OFF	レベル 信号	スイッチ	リモコン	サーミスター	スイッチ	全て	
		4	レベル信号にてON(ONのみ), OFF + 外部サーモ ON, OFF  SW1-5 ON, SW1-6 ON	レベル 信号	スイッチ	現地 サーモ	外部 サーモ	スイッチ	全て (設定温は ダミー 表示 吸込温は サーミスター 検知温度 表示)	

操作部	No.	仕様と回路図	運転 ON/OFF	冷暖 切換	温度 設定	温度 検知	遠方手 元切換	リモコン 表示	必要別売部品
冷・暖・送風別 ON/OFF	5	<p>パルスおよびレベル信号にてON(冷, 暖), OFF, 手-遠 手-遠, 冷, 暖</p> <p>SW1-5 ON, SW1-6 OFF</p>	パルス および レベル 信号	パルス および レベル 信号	リモコン	サーミスタ	パルス および レベル 信号	全て	遠方操作キット
	6	<p>パルスおよびレベル信号にてON(冷, 暖), OFF, 手-遠 + 外部サーモ</p> <p>SW1-5 ON, SW1-6 ON</p>	パルス および レベル 信号	パルス および レベル 信号	現地 サーモ	外部 サーモ	パルス および レベル 信号	全て (設定温は ダミー 表示 吸込温は サーミスタ 検知温度 表示)	遠方操作キット
外部操作	5	<p>パルスおよびレベル信号にてON(ONのみ), OFF</p> <p>SW1-5 ON, SW1-6 OFF</p>	パルス および レベル 信号	スイッチ (に 内蔵)	リモコン	サーミスタ	スイッチ (に 内蔵)	全て	遠方操作キット
	6	<p>パルスおよびレベル信号にてON(ONのみ), OFF + 外部サーモ</p> <p>SW1-5 ON, SW1-6 ON</p>	パルス および レベル 信号	スイッチ (に 内蔵)	現地 サーモ	外部 サーモ	スイッチ (に 内蔵)	全て (設定温は ダミー 表示 吸込温は サーミスタ 検知温度 表示)	遠方操作キット

遠方手元切換入力が入力ONの場合、リモコン優先となり、運転ON/OFF、冷暖切換操作はリモコンから行います。
 温度設定および温度検知の切換えは、外部サーモ設定(SW1-6)により決定します。(03年4月生産分より対応しています。)
 別途部品「遠方操作キット」(PAC-CG91RCK)をご使用の配線接続方法は、別売部品の取付説明書をご覧ください。
 外部接続回路使用時のリモコン操作

Dip SW	リモコン操作
1 - 5 ON時	“集中管理表示” リモコン運転操作 [ON/OFF モード] 禁止(無効)
1 - 6 ON時	“集中管理表示” リモコン運転操作 [設定温度] 禁止(無効)

(2) 応用配線要領と入力端子

入出力仕様	項目	対応方法	別売部品	入出力端子	参照回路図
入力	リモートコントローラー	MAリモコン標準装備 (MAリモコン別売あり)		CN3A(TB15)	49～68ページ 電気配線図
サーモ入力	ルームサーモ (外部サーモ)	外部サーモ接続端子に取込	-	CN57,CN35	222～233ページ 参照
入力	緊急停止 (火災停止)	シーケンス変更	-	基板外の 電源配線S1,S2	
出力	遠方運転表示	室内基板接続端子から取出	-	CN75(L1,L2), CN47(L4,L5)	234ページ参照
出力	遠方一括異常表示	室内基板接続端子から取出	-	CN76(L6)	234ページ参照
出力	室外ユニット異常表示	室内基板接続端子から取出	-	CN76(L7,L8), CN36(L9)	234ページ参照
(制御)	停電解除時自動復帰	標準にて機能あり。 (室内基板デバッグスイッチ4-1ON)	-	-	
(制御)	送風機残留運転 (余熱排除)	標準にて機能あり。	-	-	
(制御)	圧縮機再起動遅延	標準にて3分再起動防止機能あり (室外ユニット)	-	-	
(制御)	プログラムタイマーによる 運転停止	推奨回路提示	-	-	
入力	冷暖自動切換	標準仕様に有り。 又は外部入力接続端子に取込。	-	CN65(B5)	
(制御)	独立保護制御 (16・20馬力)	標準仕様。	-	-	
(制御)	瞬時停電対策回路	標準にて機能有り。	-	-	
出力	ファンインターロック	52F ON時出力端子あり	-	CN75(L2)	
出力	圧縮機インターロック	サーモON時出力端子あり	-	CN75(L3)	
出力	運転モード表示	室内基板接続端子から取出	-	CN75(L1,L2), CN47(L4,L5)	
入力	デマンド信号入力	室外ユニット基板接続端子に取込	-	CN3D	48ページ 電気配線図
入力	運転ON/OFF (レベル信号)	外部入力接続端子に取込 (又は別売遠方操作キット取付対応)	(PAC-CG91RCK)	CN65	221ページ参照
入力	運転ON/OFF (パルス信号)	外部入力接続端子に取込 (別売遠方操作キット取付対応)	PAC-CG91RCK	CN65	221ページ参照
入力	進相コンデンサー組込 (圧縮機)	別売部品取付	PAC-CP29～37CA	-	
入力	進相コンデンサー組込 (全電動機)		-	基板外の 電源配線に設定	
(制御)	圧縮機積算時間計組込	室外ユニット基板にて対応可能	-	-	

据付スペース

1. 据付場所の選定

(1) 室外ユニット

- 他の熱源から直接ふく射熱を受けないところ。
- ユニットから発生する騒音が隣家に迷惑のかからないところ。
- 強風が吹きつけないところ。
- 本体の質量に十分耐えられる強度のあるところ。
- 暖房運転時には、ユニットからドレンが流れますのでご注意ください。
- 次項「2. 据付スペース」に示すサービス、風路スペースがあるところ。
- 可燃性ガスの発生、流入、滞留、漏れのおそれがある場所では、火災をおこす危険性がありますので設置しないでください。
- 酸性の溶液や特殊なスプレー(イオウ系)を頻繁に使用する場所は避けてください。
- 油、蒸気、硫化ガスの多い特殊環境では使用しないでください。
- 外気10℃以下にて冷房運転を実施する可能性がある場合は、ユニットの安定した運転を確保するため、室外ユニットに直接雨雪が当たらない場所を選定するか、吹出ダクト、吸込ダクトを取付けるようにしてください。
- 電源および室内側ユニットとの配線配管に便利なところ。
- ユニットの重さ、振動に耐え水平に据付けできるところ。

次の環境汚染地域にユニットを据付ける場合は、耐塩害仕様（BSタイプ）、耐重塩害仕様（BSGタイプ）のユニットを選定してください。

- 潮風にはかからないが、その雰囲気にあるような場所（室外ユニットの設置場所から海までの距離が300mを越え1km以内のところ）に据付ける場合は耐塩害仕様（BSタイプ）のユニット。
- 潮風の影響を受ける場所に据付ける場合は耐重塩害仕様（BSGタイプ）のユニット。

2. 据付スペース

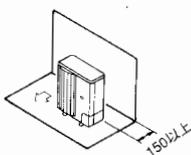
(1) 室外ユニット

PU(H)K-P140AW-A

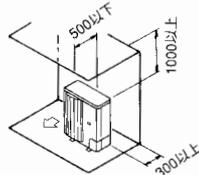
- 別売エアガイド（PAC-SF09AG）を使用する場合は、エアガイドの説明書または技術資料の指示に従って据付けてください。

1) 単独設置時の周囲必要空間

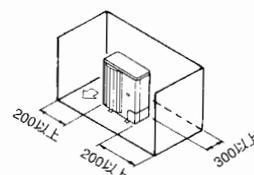
(1) 背面に障害物がある場合
(正面、側面、上方は開放)



(2) 背面と上方に障害物がある場合
(正面、側面は開放)

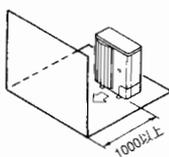


(3) 背面と側面に障害物がある場合
(正面、上方は開放)



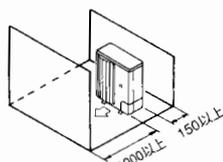
※別売吹出ガイドを“上吹き”でご使用にならないでください。

(4) 正面に障害物がある場合
(背面、側面、上方は開放)



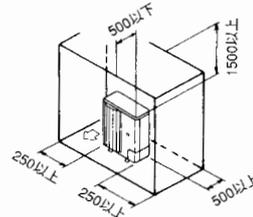
※別売吹出ガイドをご使用の場合は500以上。

(5) 背面と正面に障害物がある場合
(側面、上方は開放)



※別売吹出ガイドをご使用の場合は500以上。

(6) 背面と側面および上方に障害物がある場合
(正面は開放)

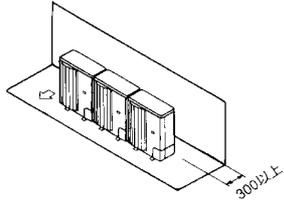


※別売吹出ガイドを“上吹き”でご使用にならないでください。

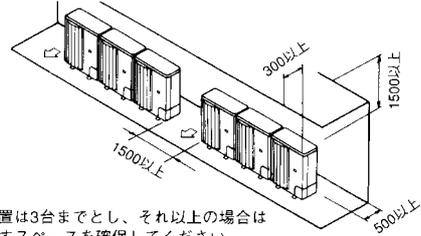
2) 複数台設置時の周囲必要空間

- 横連続設置の場合、ユニット間は10以上確保してください。

(1) 背面に障害物がある場合
(正面、側面、上方は開放)

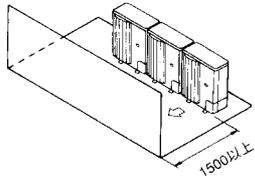


(2) 背面と上方に障害物がある場合
(正面、側面は開放)



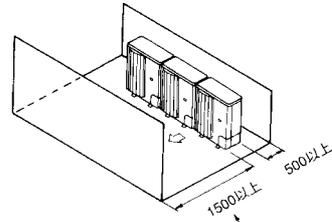
※横連続設置は3台までとし、それ以上の場合は上図に示すスペースを確保してください。
※別売吹出ガイドを“上吹き”でご使用にならないでください。

(3) 正面に障害物がある場合
(背面、側面、上方は開放)



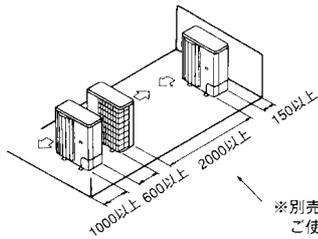
※別売吹出ガイドをご使用の場合は1000以上

(4) 背面と正面に障害物がある場合
(側面、上方は開放)



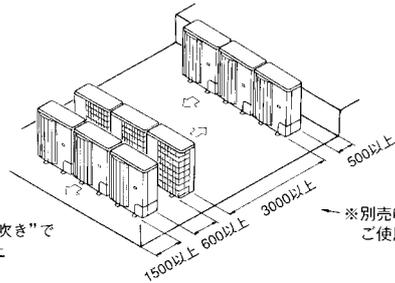
※別売吹出ガイドをご使用の場合は1000以上

(5) 1台多列設置の場合



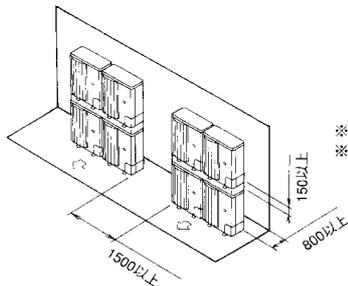
※別売吹出ガイドを“上吹き”でご使用の場合1000以上

(6) 複数台多列設置の場合



※別売吹出ガイドを“上吹き”でご使用の場合1500以上

(7) 段積み設置の場合

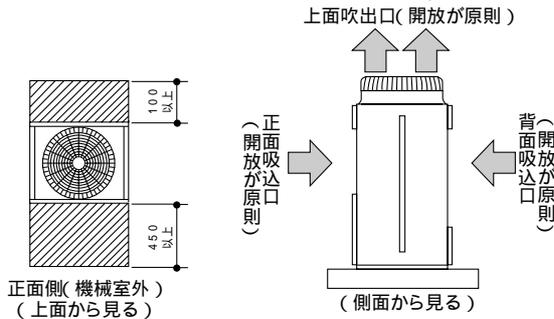


※段積みは2段までとしてください。
※横連続設置は2台までとし、それ以上の場合は左図に示すスペースを確保してください。

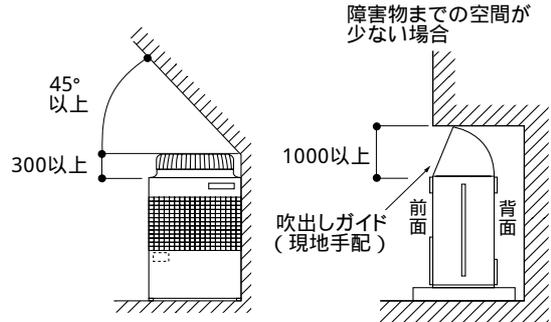
PU(H)K-P224・P280(U)AW-A

単独設置の場合【必要空間の基本】

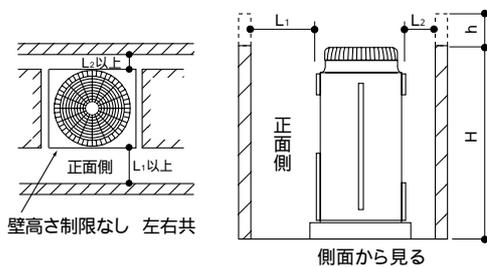
後面側は吸込空気の関係上100mm以上必要ですが、後面からのサービス等を考慮した場合、前面同様450mm程度開いていた方が便利です。



【ユニットの上方に障害物がある場合】



【ユニット左右から吸込空気が入る場合】

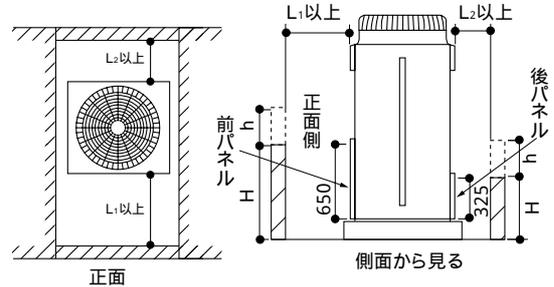


(注)・前、後の壁高さ<H>は、ユニットの全高以下のこと。
・前、後の壁高さ<H'>がユニットの全高を超える場合は、上図のh寸法を右表のL₁、L₂に加算してください。

$h = \text{壁高さ} < H' > - \text{ユニット全高}$

L ₁	L ₂
450	100

【ユニット周囲が壁の場合】



(注)・前、後の壁高さ<H>はユニットの前、後パネルの高さ以下のこと。

・前、後の壁高さ<H'>がパネル高さを超える場合は、上図のh寸法を下表のL₁、L₂に加算してください。

$h = \text{壁高さ} < H' > - \text{パネル高さ}$

例 $h = 100$ の場合

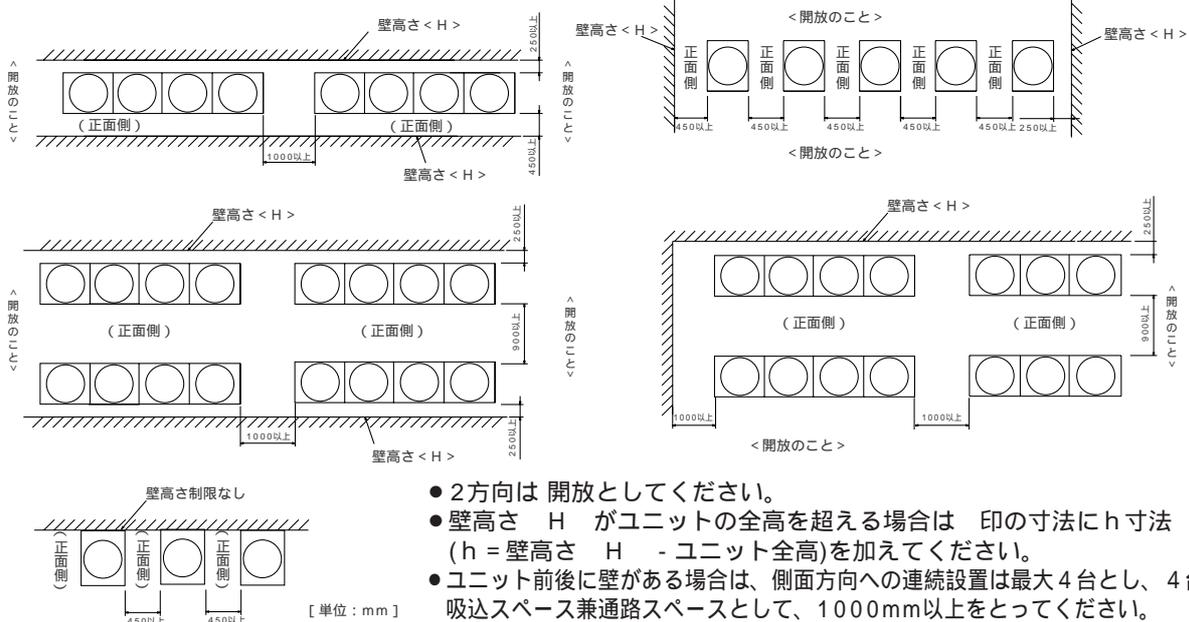
L₁寸法は $450 + 100 = 550$

となります。

L ₁	L ₂
450	100

集中設置・連続設置の場合

多数のユニットを設置する場合は、人の通路、風の流通を考慮して、各ブロック間に下図スペースをとってください。



項目	形名	PU(H)K-P140AW-A	PU(H)K-P224(U)AW-A	PU(H)K-P280(U)AW-A
圧力計		-	PAC-KA63PG	
防雪ダクト	吹出側	PAC-SF14BD	PAC-KB72TD	
	吸込側		PAC-KB82SD	
集中排水ドレンパン		PAC-SF17DP	PAC-KB92DPT	
進相コンデンサー (50Hz)		PAC-SF03CA	PAC-620CA	PAC-622CA
進相コンデンサー (60Hz)		PAC-SF02CA	PAC-621CA	PAC-623CA
後配管キット		-	PAC-KB62RPT	

(2) 室内ユニット

据付場所の選定

- 吹出空気が部屋全体に行渡るところ。
- 侵入外気の影響のないところ。
- 吹出空気、吸込空気の流れに障害物のないところ。
- 油の飛沫や蒸気のないところ。
- 可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれのないところ。
- 高周波を発生する機械のないところ。
- 吹出口側に火災報知器（センサー部）が位置しないようにしてください。
（暖房運転時に吹出温風により火災報知器が誤作動するおそれがあります。）
- 酸性の溶液などを頻繁に使用するところは避けてください。
- 特殊なスプレー（イオウ系）などを頻繁に使用するところは避けてください。



警告

据付けは、質量に十分耐える場所に
確実に行ってください。

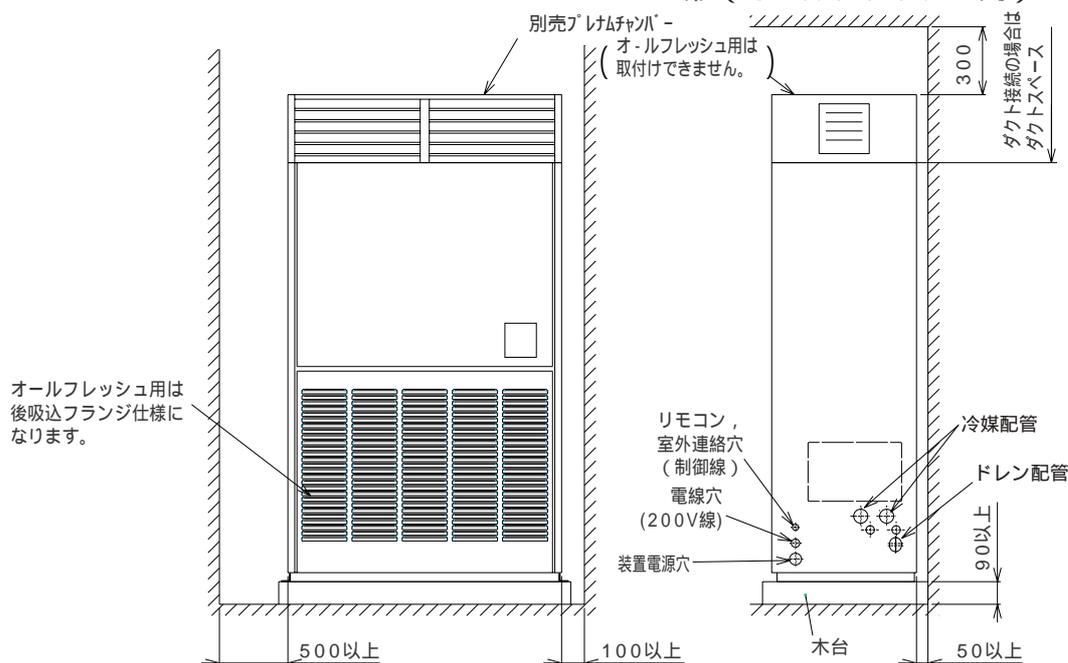
- 強度不足の場合は、ユニットの転倒により、
ケガの原因になります。

室内ユニットの質量に十分耐える強固な構造の床に据付けます。

据付・サービススペースの確保

(単位 mm)

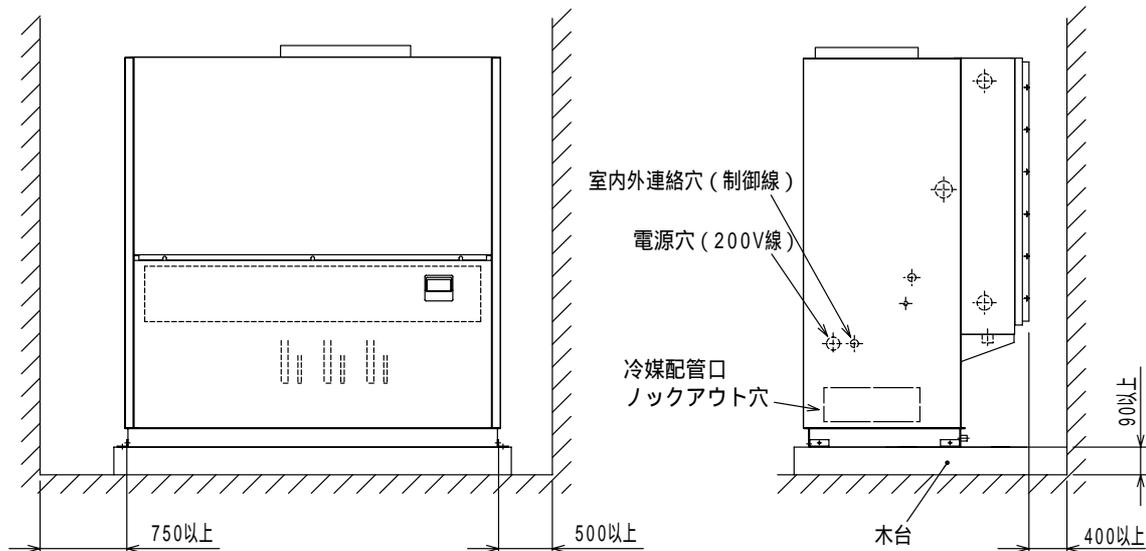
PFAK-P140・P224・P280・P450・P560形
PFTK-P125・P200・P250・P400・P500形
PFAK-P167・P265・P335・P530・P670形（オールフレッシュ用）



- 強固な床面を選定し、ドレン排水の便を図るため、ならびにエアコンから床への振動伝播防止のため、9cm以上の木台を使用してください。
本図は、P450形ユニットを示しています。他の機種についても必要スペース寸法は同じです。

PFAK-P630・P800形
PFTK-P600・P750形

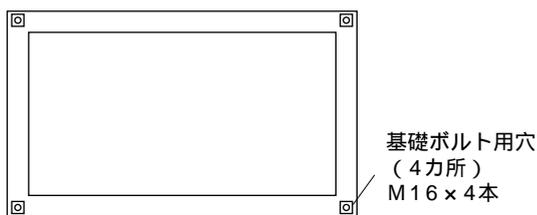
(単位 mm)



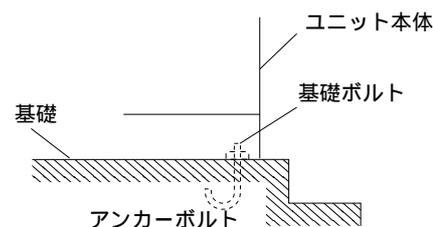
- 強固な床面を選定し、ドレン排水の便を図るため、ならびにエアコンから床への振動伝播防止のため、9cm以上の木台を使用してください。配管・配線等の据付工事のスペースは別途確保してください。

PFAK-P1120・P1400形
PFTK-P1000・P1250形

ユニットを設置する場合には、コンクリートなどのしっかりした基礎の上に図1、2に示すようにユニットを載せてください。また、基礎は床面より100mm以上高くし、水平度を取ってください。(基礎がしっかりしていませんと、振動発生の原因となります。)

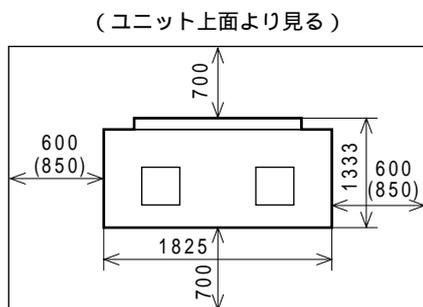


【図1】基礎図



【図2】アンカーボルト設置図

保守・点検、エアフィルター拔出し、配管・配線作業が容易にできるように、また、後面吸込口の風路がふさがれないように図3に示したスペースを必ず確保してください。



【図3】サービススペース

注:() 寸法は送風機軸の引出しスペースです。

製品仕様

1.仕様表

(1)標準仕様

項目		セット形名	PF(H)K -P140AW(M)-A	PF(H)K -P224AW(M)(U)-A	PF(H)K -P280AW(M)(U)-A	PF(H)K -P450AW(M)(U)-A	PF(H)K -P560AW(M)(U)-A	
標準仕様 注1	冷房	定格冷房能力 (50Hz/60Hz)	kW 12.5/14.0	20.0/22.4	25.0/28.0	40.0/45.0	50.0/56.0	
		定格消費電力 (50Hz/60Hz)	kW 5.10/6.15	7.91/9.55	9.68/11.81	14.54/18.00	18.08/23.10	
		運転電流 (50Hz/60Hz)	A 20.6/21.5	27.8/30.6	33.4/37.2	51.2/57.1	64.5/73.5	
		運転力率 (50Hz/60Hz)	% 71/82	82/90	84/92	82/91	81/91	
		エネルギー消費効率 (50Hz/60Hz)	- 2.45/2.27	2.53/2.35	2.58/2.37	2.75/2.50	2.77/2.42	
		エネルギー消費効率 (50Hz/60Hz)	- 3.13/2.88	3.03/2.64	3.21/2.85	3.16/2.67	3.26/2.83	
	暖房	定格暖房能力 (50Hz/60Hz)	kW 15.0/17.0	23.6/26.5	30.0/33.5	47.5/53.0	60.0/67.0	
		定格消費電力 (50Hz/60Hz)	kW 4.78/5.89	7.79/10.02	9.34/11.77	15.02/19.85	18.39/23.67	
		運転電流 (50Hz/60Hz)	A 20.1/21.0	27.6/31.0	32.2/35.8	52.9/59.7	63.5/73.6	
		運転力率 (50Hz/60Hz)	% 68/80	81/93	84/95	82/96	84/93	
		エネルギー消費効率 (50Hz/60Hz)	- 3.13/2.88	3.03/2.64	3.21/2.85	3.16/2.67	3.26/2.83	
		エネルギー消費効率 (50Hz/60Hz)	- 3.13/2.88	3.03/2.64	3.21/2.85	3.16/2.67	3.26/2.83	
低温	暖房能力 (50Hz/60Hz)	kW 11.2/12.5	17.7/20.0	22.0/26.0	35.4/40.0	45.0/50.0		
	消費電力 (50Hz/60Hz)	kW 4.14/5.36	6.84/8.62	8.25/10.62	13.34/17.44	15.14/20.05		
始動電流 (50Hz/60Hz)	室外ユニット(1台)	A 135/135	207/187	265/239	207/187	265/239		
	室内ユニット	A 22.8/20.4	51/44	51/44	60/52	112/96		
室内ユニット	形名	-	PFAK-P140AW(M)-A	PFAK-P224AW(M)-A	PFAK-P280AW(M)-A	PFAK-P450AW(M)-A	PFAK-P560AW(M)-A	
	定格電源	-	三相200V 50/60Hz					
	外形寸法 (H×W×D)	mm	1748×760×485	1748×980×485	1748×1200×485	1899×1200×635	1899×1420×635	
	外装	-	鋼板粉体塗装 マンセル 5Y8/1					
	熱交換器形式	-	クロスフィン					
	送風機	形式×個数	-	シロッコファン×1		シロッコファン×2		
		風量	m ³ /min	45	70	90	140	180
		機外静圧 注2	Pa	30	30	30	30/130	
		電動機出力	kW	0.75		1.5	2.2	3.7
	防音・断熱材	-	グラスウール					
	エアフィルター	-	不織布					
	ドレン配管サイズ	-	1B メネジ			1 1/4B メネジ		
	運転音 (A特性値) (50Hz/60Hz) 注5	dB	49/49	53/53	55/55	53/55	57/60	
	製品質量	kg	108	123	147	235	257	
室外ユニット	形名	-	PU(H)K-P140AW-A	PU(H)K-P224(U)AW-A	PU(H)K-P280(U)AW-A	PU(H)K-P224(U)AW-A×2台	PU(H)K-P280(U)AW-A×2台	
	定格電源	-	三相200V 50/60Hz					
	外形寸法 (H×W×D)	mm	1260×1050×330(+20)	1715×990×840		(1715×990×840)×2台		
	外装	-	鋼板粉体塗装 マンセル 5Y8/1					
	熱交換器形式	-	クロスフィン					
	圧縮機	形式×個数	-	全密閉形×1		(全密閉形×1)×2台		
		始動方式/ 称出力	kW	直入/3.5	直入/5.5	直入/7.5	(直入/5.5)×2台	(直入/7.5)×2台
		1日の冷凍能力	法定トン	1.49/1.80	2.33/2.77	2.89/3.44	(2.33/2.77)×2台	(2.89/3.44)×2台
		クランクケースヒーター	kW	0.025	0.05		0.05×2台	
	送風機	形式×個数	-	プロペラファン×2		プロペラファン×1		(プロペラファン×1)×2台
		風量	m ³ /min	85	185		185×2台	
		電動機出力	kW	0.07×2	0.38		0.38×2台	
	霜取り方式	-	リバースサイクル					
	保護装置	圧力計	-	-				
圧力開閉器		-	高圧側3.24MPa、低圧側0.03MPa		高圧側3.3MPa、低圧側0MPa			
圧縮機		-	CT検知		熱動過電流継電器			
送風機		-	温度開閉器(内蔵)					
運転音 (A特性値) (50Hz/60Hz) 注4・5	AW	dB	47/47	冷房56/56(付付+55/55)暖房58/58	冷房57/57(付付+55/55)暖房59/59	冷房56/56(付付+55/55)暖房58/58	冷房57/57(付付+55/55)暖房59/59	
	UAW	dB	-	冷房56/56(付付+55/55)暖房56/57	冷房57/57(付付+55/55)暖房57/59	冷房56/56(付付+55/55)暖房56/57	冷房57/57(付付+55/55)暖房57/59	
製品質量	AW	kg	108	215	220	215×2台	220×2台	
	UAW	kg	-	230	235	230×2台	235×2台	
冷媒配管寸法	ガス配管	mm	19.05	25.4	28.6	25.4×2台	28.6×2台	
	液配管	mm	9.52	12.7		12.7×2台		
冷媒	種類/ 出荷時封入量	AW	kg R407C×4.6	R407C×6.0	R407C×6.5	(R407C×6.0)×2台	(R407C×6.5)×2台	
	制御方式	UAW	-	R407C×7.0	R407C×7.5	(R407C×7.0)×2台	(R407C×7.5)×2台	
冷凍機油(種類×封入量)	AW	ℓ	MMMAWPOE×1.76	DAPHNE FVC68D×3.0	DAPHNE FVC68D×4.0	(DAPHNE FVC68D×3.0)×2台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×2台	
	UAW	ℓ	-	DAPHNE FVC68D×4.0	DAPHNE FVC68D×4.0	(DAPHNE FVC68D×4.0)×2台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×2台	
電線太さ 室外/室内	-	-	5.5mm ² /1.6mm	8mm ² /1.6mm	14mm ² /1.6mm	8mm ² ×2台/1.6mm	14mm ² ×2台/1.6mm	
内外接続線/リモコン電線太さ	mm ²	-	1.25以上/0.3~1.25					
内外接続線長さ(最大)<室内-室外>	m	-	200					
冷媒配管長/高低差	AW	m	実長50、相当長62.5/40					
	UAW	m	-	実長100、相当長125/40				
アース線サイズ(室外/室内)	-	-	2.0mm以上/1.6mm以上	3.5mm ² 以上/1.6mm以上	5.5mm ² 以上/1.6mm以上	3.5mm ² 以上×2台/1.6mm以上	5.5mm ² 以上×2台/1.6mm以上	
配線用遮断器	開閉器(室外/室内)	A	40/15	60/15		60×2台/30		
	漏電遮断器(室外/室内)	A	40/15	60/15		60×2台/30		

注1. 運転特性は次の条件で運転したときの数値です。
冷房能力(室内側: 乾球温度27.0・湿球温度19.0、室外側: 乾球温度35.0)、暖房能力(室内側: 乾球温度20.0、室外側: 乾球温度7.0・湿球温度6.0)
暖房低温能力(室内側: 乾球温度20.0、室外側: 乾球温度2.0・湿球温度1.0)
に準じて冷媒配管長7.5mで運転した場合の値を示します。

注2. 50Hz地区の場合、モーターブリーディング(可変ブリーディング)をP140形は 93.9(出荷時は 77.9)、P224・P280形は 140(出荷時は 116.7)に調整した値を示します。

注3. PUKタイプは、暖房運転できません。

注4. 運転音は室外ユニット1台あたりの値です。

注5. 運転音はJIS規格に準じて反響音の少ない無音室で測定した値です。実際に据付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響等の影響を受け表示数値より大きくなるのが普通です。

注6. 室内ユニット周囲空気が、露点温度23 以上で長時間運転されると、室内ユニットの結露水が垂れて水漏れに至るおそれがあります。

項目	セット形名	PF(H)K -P630AW(M)(U)-A	PF(H)K -P800AW(M)(U)-A	PF(H)K -P1120AW(M)(U)-A-L,R	PF(H)K -P1400AW(M)(U)-A-L,R			
標準仕様 注1	冷房	定格冷房能力 (50Hz/60Hz)	kW	60.0/67.0	75.0/84.0	100.0/112.0	125.0/140.0	
		定格消費電力 (50Hz/60Hz)	kW	23.46/28.94	29.70/37.06	40.34/50.40	50.40/62.70	
		運転電流 (50Hz/60Hz)	A	79.2/90.5	101.5/116.0	137.3/157.9	173.5/196.6	
		運転力率 (50Hz/60Hz)	%	85/92	84/92	84/92	83/92	
		エネルギー消費効率 (50Hz/60Hz)	-	2.55/2.31	2.52/2.26	2.47/2.22	2.48/2.23	
	暖房	定格暖房能力 (50Hz/60Hz)	kW	71.0/80.0	90.0/100.0	120.0/134.0	150.0/167.0	
		定格消費電力 (50Hz/60Hz)	kW	23.10/30.35	28.68/36.94	38.98/50.24	48.70/62.50	
		運転電流 (50Hz/60Hz)	A	78.6/91.7	97.9/111.8	132.5/152.3	167.5/189.6	
		運転力率 (50Hz/60Hz)	%	84/95	84/95	84/95	83/95	
		エネルギー消費効率 (50Hz/60Hz)	-	3.07/2.63	3.13/2.70	3.07/2.66	3.08/2.67	
	注3	低温	暖房能力 (50Hz/60Hz)	kW	23.0/60.0	67.5/75.4	90.0/100.0	112.5/125.6
			消費電力 (50Hz/60Hz)	kW	20.35/26.83	25.87/33.26	34.75/44.94	42.89/56.45
		始動電流 (50Hz/60Hz)	室外ユニット (1台)	A	207/187	265/239	265/239	265/239
			室内ユニット	A	60/52	112/96	112/96	112/96
		室内ユニット	形名	-	PFAK-P630AW(M)-A	PFAK-P800AW(M)-A	PFAK-P1120AW(M)-A-L,R	PFAK-P1400AW(M)-A-L,R
定格電源	-		三相200V 50/60Hz					
外形寸法 (H×W×D)	mm		1860×1750×1064		1890×1835×1333			
外装	-		鋼板粉体塗装 マンセル 5Y8/1					
熱交換器形式	-		クロスフィン					
送風機	形式×個数		-	シロッコファン×2				
	風量		m³/min	210	260	360	450	
	機外静圧 注2		Pa	100/250	100/310	62/294	82/294	
	電動機出力		kW	3.7	5.5	7.5	11	
防音・断熱材	-		グラスウール					
エアフィルター	-		PPハニカム					
ドレン配管サイズ	-		1 1/4B メネジ		1 1/4B オネジ			
運転音 (A特性値 Y 50Hz/60Hz) 注5	dB		63/63	65/65	68/68	69/69		
製品質量	kg		410	425	600	650		
室外ユニット	形名		-	PU(H)K-P224(U)AW-A×3台	PU(H)K-P280(U)AW-A×3台	PU(H)K-P280(U)AW-A×4台	PU(H)K-P280(U)AW-A×5台	
	定格電源	-	三相200V 50/60Hz					
	外形寸法 (H×W×D)	mm	(1715×990×840)×3台		(1715×990×840)×4台	(1715×990×840)×5台		
	外装	-	鋼板粉体塗装 マンセル 5Y8/1					
	熱交換器形式	-	クロスフィン					
	圧縮機	形式×個数	-	(全密閉形×1)×3台		(全密閉形×1)×4台	(全密閉形×1)×5台	
		始動方式/ 称出力	kW	(直入/5.5)×3台	(直入/7.5)×3台	(直入/7.5)×4台	(直入/7.5)×5台	
		1日の冷凍能力	法定トン	(2.33/2.77)×3台	(2.89/3.44)×3台	(2.89/3.44)×4台	(2.89/3.44)×5台	
		クランクケースヒーター	kW	0.05×3台	0.05×3台	0.05×4台	0.05×5台	
	送風機	形式×個数	-	(プロペラファン×1)×3台		(プロペラファン×1)×4台	(プロペラファン×1)×5台	
		風量	m³/min	185×3台		185×4台	185×5台	
		電動機出力	kW	0.38×3台		0.38×4台	0.38×5台	
		霜取方式	-	リバースサイクル				
	圧力計	-	-					
	保護装置	圧力開閉器	-	高圧側3.3MPa、低圧側0MPa				
圧縮機		-	熱動過電流継電器					
送風機		-	温度開閉器(内蔵)					
運転音 (A特性値) (50Hz/60Hz) 注4・5	AW	dB	冷房56/56(111/111)55/55, 暖房58/58	冷房57/57(111/111)55/55, 暖房59/59	冷房57/57(111/111)55/55, 暖房59/59	冷房57/57(111/111)55/55, 暖房59/59		
	UAW	dB	冷房56/56(111/111)55/55, 暖房56/57	冷房57/57(111/111)55/55, 暖房57/59	冷房57/57(111/111)55/55, 暖房57/59	冷房57/57(111/111)55/55, 暖房57/59		
製品質量	AW	kg	215×3台	220×3台	220×4台	220×5台		
	UAW	kg	230×3台	235×3台	235×4台	235×5台		
冷媒配管寸法	ガス配管	mm	25.4×3台	28.6×3台	28.6×4台	28.6×5台		
	液配管	mm	12.7×3台		12.7×4台	12.7×5台		
冷媒	種類/ 出荷時封入量	AW UAW	(R407C×6.0)×3台	(R407C×6.5)×3台	(R407C×6.5)×4台	(R407C×6.5)×5台		
	制御方式	-	(R407C×7.0)×3台	(R407C×7.5)×3台	(R407C×7.5)×4台	(R407C×7.5)×5台		
冷凍機油 (種類×封入量)	AW UAW	ℓ	(DAPHNE FVC68D×3.0)×3台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×3台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×4台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×5台		
電線太さ 室外/室内	-	-	8mm²×3台 / 1.6mm	14mm²×3台 / 5.5mm²以上	14mm²×4台 / 8mm²	14mm²×5台 / 14mm²		
内外接続線 / リモコン電線太さ	mm²	-	1.25以上 / 0.3~1.25					
内外接続線長さ (最大) <室内-室外>	m	-	200					
冷媒配管長 / 高低差	AW	m	実長50、相当長62.5 / 40					
	UAW	m	実長100、相当長125 / 40					
アース線サイズ (室外/室内)	-	-	3.5mm²以上×3台 / 1.6mm以上	5.5mm²以上×3台 / 5.5mm²以上	5.5mm²以上×4台 / 5.5mm²以上	5.5mm²以上×5台 / 8mm²以上		
配線用遮断器	開閉器 (室外/室内)	A	60×3台/30	60×3台/60	60×4台/100	60×5台/100		
	漏電遮断器 (室外/室内)	A	60×3台/30	60×3台/75	60×4台/100	60×5台/125		

注1. 運転特性は次の条件で運転したときの数値です。
冷房能力(室内側: 乾球温度27.0、湿球温度19.0、室外側: 乾球温度35.0)、暖房能力(室内側: 乾球温度20.0、室外側: 乾球温度7.0、湿球温度6.0)
暖房低温能力(室内側: 乾球温度20.0、室外側: 乾球温度2.0、湿球温度1.0)
に準じて冷媒配管長7.5mで運転した場合の値を示します。

注2. PUKタイプは、暖房運転できません。

注3. 運転音は室外ユニット1台あたりの値です。

注4. 運転音はJIS規格に準じて反響音の少ない無響音室で測定した値です。実際に据付けた状態だと、周囲の騒音や反響等の影響を受け表示数値より大きくなるのが普通です。

注5. 室内ユニット周囲空気が、露点温度23℃以上で長時間運転されると、室内ユニットの結露水が垂れて水漏れに至るおそれがあります。

(2)中温仕様

項目		セット形名	PFTK -P125AW(M)-A	PFTK -P200AW(M)(U)-A	PFTK -P250AW(M)(U)-A	PFTK -P400AW(M)(U)-A	PFTK -P500AW(M)(U)-A	
標準仕様	冷房	定格冷房能力 (50Hz/60Hz)	kW	11.2/12.5	18.0/20.0	23.6/25.0	36.0/40.0	45.0/50.0
		定格消費電力 (50Hz/60Hz)	kW	4.95/6.01	7.53/9.05	9.10/11.20	14.19/17.39	18.39/22.50
		運転電流 (50Hz/60Hz)	A	20.1/21.2	26.2/29.0	31.6/35.9	49.4/55.8	64.0/72.2
		運転力率 (50Hz/60Hz)	%	71/81	83/90	83/90	83/90	83/90
		エネルギー消費効率 (50Hz/60Hz)	-	2.26/2.08	2.39/2.21	2.59/2.23	2.51/2.30	2.47/2.22
注1	始動電流 (50Hz/60Hz)	室外ユニット(1台)	A	135/135	207/187	265/239	207/187	265/239
		室内ユニット	A	22.8/20.4	51/44	51/44	60/52	112/96
室内ユニット	形名	-	PFTK-P125AW(M)-A	PFTK-P200AW(M)-A	PFTK-P250AW(M)-A	PFTK-P400AW(M)-A	PFTK-P500AW(M)-A	
	定格電源	-	三相200V 50/60Hz					
	外形寸法 (H×W×D)	mm	1748×760×485	1748×980×485	1748×1200×485	1899×1200×635	1899×1420×635	
	外装	-	鋼板粉体塗装 マンセル 5Y8/1					
	熱交換器形式	-	クロスフィン					
	送風機	形式×個数	-	シロッコファン×1		シロッコファン×2		
		風量	m³/min	45	70	90	140	180
		機外静圧 注2	Pa	30	30	30	30/130	
		電動機出力	kW	0.75	1.5		2.2	3.7
		防音・断熱材	-	グラスウール				
	エアフィルター	-	不織布					
	ドレン配管サイズ	-	1B メネジ			1 1/4B メネジ		
運転音(A特性値) (50Hz/60Hz)注4	dB	49/49	53/53	55/55	53/55	57/60		
製品質量	kg	108	123	147	235	257		
室外ユニット	形名	-	PUK-P140AW-A	PUK-P224(U)AW-A	PUK-P280(U)AW-A	PUK-P224(U)AW-A×2台	PUK-P280(U)AW-A×2台	
	定格電源	-	三相200V 50/60Hz					
	外形寸法 (H×W×D)	mm	1260×1050×330(+20)	1715×990×840		(1715×990×840)×2台		
	外装	-	鋼板粉体塗装 マンセル 5Y8/1					
	熱交換器形式	-	クロスフィン					
	圧縮機	形式×個数	-	全密閉形×1			(全密閉形×1)×2台	
		始動方式/称出出力	kW	直入/3.5	直入/5.5	直入/7.5	(直入/5.5)×2台	(直入/7.5)×2台
		1日の冷凍能力	法定トン	1.49/1.80	2.33/2.77	2.89/3.44	(2.33/2.77)×2台	(2.89/3.44)×2台
		クランクケースヒーター	kW	0.025	0.05		0.05×2台	
	送風機	形式×個数	-	プロペラファン×2	プロペラファン×1		(プロペラファン×1)×2台	
		風量	m³/min	85	185		185×2台	
		電動機出力	kW	0.07×2	0.38		0.38×2台	
保護装置	圧力計	-	-					
	圧力開閉器	-	高圧側3.2MPa、低圧側0.03MPa		高圧側3.3MPa、低圧側0MPa			
	圧縮機	-	CT検知		熱動過電流継電器			
	送風機	-	温度開閉器(内蔵)					
	運転音(A特性値) (50Hz/60Hz)注3・4	AW UAW	dB	47/47	56/56(111E-1' 55/55)	57/57(111E-1' 55/55)	56/56(111E-1' 55/55)	57/57(111E-1' 55/55)
製品質量	AW	kg	108	215	220	215×2台	220×2台	
	UAW	kg	-	230	235	230×2台	235×2台	
冷媒配管寸法	ガス配管	mm	19.05	25.4	28.6	25.4×2台	28.6×2台	
	液配管	mm	9.52	12.7		12.7×2台		
冷媒	種類/出荷時封入量	AW UAW	kg	R407C×4.6	R407C×6.0	R407C×6.5	(R407C×6.0)×2台	(R407C×6.5)×2台
	制御方式	-	電子膨張弁					
冷凍機油(種類×封入量)	AW	ℓ	MMMAWPOE×1.76	DAPHNE FVC68D×3.0	DAPHNE FVC68D×4.0	(DAPHNE FVC68D×3.0)×2台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×2台	
	UAW	ℓ	-	DAPHNE FVC68D×4.0	DAPHNE FVC68D×4.0	(DAPHNE FVC68D×4.0)×2台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×2台	
電線太さ 室外/室内	-	-	5.5mm² / 1.6mm	8mm² / 1.6mm	14mm² / 1.6mm	8mm²×2台 / 1.6mm	14mm²×2台 / 1.6mm	
内外接続線/リモコン電線太さ	mm²	-	1.25以上 / 0.3~1.25					
内外接続線長さ(最大)<室内-室外>	m	-	200					
冷媒配管長/高低差	AW	m	実長50、相当長62.5 / 40					
	UAW	m	- 実長100、相当長125 / 40					
アース線サイズ(室外/室内)	-	-	2.0mm以上 / 1.6mm以上	3.5mm²以上 / 1.6mm以上	5.5mm²以上 / 1.6mm以上	3.5mm²以上×2台 / 1.6mm以上	5.5mm²以上×2台 / 1.6mm以上	
配線用遮断器	開閉器(室外/室内)	A	40/15	60/15		60×2台/30		
	漏電遮断器(室外/室内)	A	40/15	60/15		60×2台/30		

注1. 運転特性は次の条件で運転したときの数値です。
冷房能力(室内側:乾球温度20.0・湿球温度14.0、室外側:乾球温度35.0)に準じて冷媒配管長7.5mで運転した場合の値を示します。
注2. 50Hz地区の場合、モータープーリー径(可変プーリー)をP125形は 93.9(出荷時は 77.9)、P200・P250形は 140(出荷時は 116.7)に調整した値を示します。
注3. 運転音は室外ユニット1台あたりの値です。
注4. 運転音はJIS規格に準じて反響音の少ない無響音室で測定した値です。実際に据付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響等の影響を受け表示数値より大きくなるのが普通です。
注5. 室内ユニット周囲空気が、露点温度23℃以上で長時間運転されると、室内ユニットの結露水が垂れて水漏れに至るおそれがあります。

項目		セット形名	PFTK -P600AW(M)(U)-A	PFTK -P750AW(M)(U)-A	PFTK -P1000AW(M)(U)-A-L,R	PFTK -P1250AW(M)(U)-A-L,R	
標準仕様	冷房	定格冷房能力 (50Hz/60Hz)	kW	54.0/60.0	67.5/75.0	90.0/100.0	112.5/125.0
		定格消費電力 (50Hz/60Hz)	kW	22.33/27.45	27.96/35.23	38.02/47.96	47.50/59.65
		運転電流 (50Hz/60Hz)	A	74.4/85.9	96.1/112.2	130.1/152.8	164.4/190.2
		運転力率 (50Hz/60Hz)	%	86/92	83/90	84/90	83/90
		エネルギー消費効率 (50Hz/60Hz)	-	2.41/2.18	2.41/2.12	2.36/2.08	2.36/2.09
注1	始動電流 (50Hz/60Hz)	室外ユニット(1台)	A	207/187	265/239	265/239	265/239
		室内ユニット	A	60/52	112/96	112/96	112/96
室内ユニット	送風機	形名	-	PFTK-P600AW(M)-A	PFTK-P750AW(M)-A	PFTK-P1000AW(M)-A-L,R	PFTK-P1250AW(M)-A-L,R
		定格電源	-	三相200V 50/60Hz			
		外形寸法 (H×W×D)	mm	1860×1750×1064		1890×1835×1333	
		外装	-	鋼板粉体塗装 マンセル 5Y8/1			
		熱交換器形式	-	クロスフィン			
		形式×個数	-	シロッコファン×2			
		風量	m ³ /min	210	260	360	450
		機外静圧 注2	Pa	100/250	100/310	62/294	82/294
		電動機出力	kW	3.7	5.5	7.5	11
		防音・断熱材	-	グラスウール			
		エアフィルター	-	PPハニカム			
		室外ユニット	圧縮機	形名	-	PUK-P224(U)AW-A×3台	PUK-P280(U)AW-A×3台
定格電源	-			三相200V 50/60Hz			
外形寸法 (H×W×D)	mm			(1715×990×840)×3台		(1715×990×840)×4台	(1715×990×840)×5台
外装	-			鋼板粉体塗装 マンセル 5Y8/1			
熱交換器形式	-			クロスフィン			
形式×個数	-			(全密閉形×1)×3台		(全密閉形×1)×4台	(全密閉形×1)×5台
始動方式/ 称出力	kW			(直入/5.5)×3台	(直入/7.5)×3台	(直入/7.5)×4台	(直入/7.5)×5台
1日の冷凍能力	法定トン			(2.33/2.77)×3台	(2.89/3.44)×3台	(2.89/3.44)×4台	(2.89/3.44)×5台
クランクケースヒーター	kW			0.05×3台	0.05×3台	0.05×4台	0.05×5台
形式×個数	-			(プロベラファン×1)×3台		(プロベラファン×1)×4台	(プロベラファン×1)×5台
風量	m ³ /min			185×3台		185×4台	185×5台
電動機出力	kW			0.38×3台		0.38×4台	0.38×5台
保護装置	送風機	圧力計	-	-			
		圧力開閉器	-	高圧側3.3MPa、低圧側0MPa			
		圧縮機	-	熱動過電流継電器			
		送風機	-	温度開閉器(内蔵)			
注1	運転音(A特性値) (50Hz/60Hz)注3・4	AW	dB	56/56(1台1台) 55/55)	57/57(1台1台) 55/55)	57/57(1台1台) 55/55)	57/57(1台1台) 55/55)
		UAW	dB	56/56(1台1台) 55/55)	57/57(1台1台) 55/55)	57/57(1台1台) 55/55)	57/57(1台1台) 55/55)
注2	製品質量	AW	kg	215×3台	220×3台	220×4台	220×5台
		UAW	kg	230×3台	235×3台	235×4台	235×5台
冷媒配管寸法	ガス配管	mm	25.4×3台	28.6×3台	28.6×4台	28.6×5台	
		液配管	mm	12.7×3台		12.7×4台	12.7×5台
冷媒	種類/ 出荷時封入量	AW	kg	(R407C×6.0)×3台	(R407C×6.5)×3台	(R407C×6.5)×4台	(R407C×6.5)×5台
		UAW	kg	(R407C×7.0)×3台	(R407C×7.5)×3台	(R407C×7.5)×4台	(R407C×7.5)×5台
注3	制御方式	-					毛細管、電子膨張弁
		AW	ℓ	(DAPHNE FVC68D×3.0)×3台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×3台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×4台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×5台
注4	冷凍機油(種類×封入量)	UAW	ℓ	(DAPHNE FVC68D×4.0)×3台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×3台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×4台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×5台
		AW	ℓ	(DAPHNE FVC68D×4.0)×3台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×3台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×4台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×5台
電線太さ 室外/室内	-	AW	-	8mm ² ×3台/1.6mm	14mm ² ×3台/5.5mm ²	14mm ² ×4台/8mm ²	14mm ² ×5台/14mm ²
		UAW	-	1.25以上/0.3~1.25			
内外接続線/ リモコン電線太さ	mm ²	200					
		実長50、相当長62.5/40					
冷媒配管長/ 高低差	m	実長100、相当長125/40					
		-					
アース線サイズ(室外/室内)	-	3.5mm ² 以上×3台/1.6mm以上					
		5.5mm ² 以上×3台/5.5mm ² 以上					
配線用遮断器	開閉器(室外/室内)	A	60×3台/30	60×3台/60	60×4台/100	60×5台/100	
		A	60×3台/30	60×3台/75	60×4台/100	60×5台/125	

注1. 運転特性は次の条件で運転したときの数値です。
冷房能力(室内側: 乾球温度20.0・湿球温度14.0、室外側: 乾球温度35.0) に準じて冷媒配管長7.5mで運転した場合の値を示します。
注2. 運転音は室外ユニット1台あたりの値です。
注3. 運転音はJIS規格に準じて反響音の少ない無響音室で測定した値です。実際に据付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響等の影響を受け表示数値より大きくなるのが普通です。
注4. 室内ユニット周囲空気が、露点温度23℃以上で長時間運転されると、室内ユニットの結露水が垂れて水滴に至るおそれがあります。

(3)オールフレッシュ仕様

項目		セット形名		PFK -P167AW(M)-A-F	PFK -P265AW(M)(U)-A-F	PFK -P335AW(M)(U)-A-F	PFK -P530AW(M)(U)-A-F	PFK -P670AW(M)(U)-A-F
標準仕様	冷房	定格冷房能力 (50Hz/60Hz)	kW	15.0/16.7	23.6/26.5	30.0/33.5	47.2/53.0	60.0/67.0
		定格消費電力 (50Hz/60Hz)	kW	4.91/5.99	7.50/9.58	8.90/11.30	14.77/18.84	18.54/22.76
		運転電流 (50Hz/60Hz)	A	20.5/21.3	27.4/30.8	31.1/36.2	53.2/60.8	67.2/73.3
		運転力率 (50Hz/60Hz)	%	69/81	79/90	83/90	80/90	80/90
		エネルギー消費効率 (50Hz/60Hz)	-	3.05/2.79	3.15/2.77	3.37/2.96	3.20/2.81	3.24/2.94
注1	始動電流 (50Hz/60Hz)	室外ユニット(1台)	A	135/135	207/187	265/239	207/187	265/239
		室内ユニット	A	22.8/20.4	51/44	51/44	60/52	112/96
室内ユニット	形名	-	PFK-P167AW(M)-A-F	PFK-P265AW(M)-A-F	PFK-P335AW(M)-A-F	PFK-P530AW(M)-A-F	PFK-P670AW(M)-A-F	
	定格電源	-	三相200V 50/60Hz					
	外形寸法 (H×W×D)	mm	1748×760×485	1748×980×485	1748×1200×485	1899×1200×635	1899×1420×635	
	外装	-	鋼板粉体塗装 マンセル 5Y8/1					
	熱交換器形式	-	クロスフィン					
	送風機	形式×個数	-	シロッコファン×1			シロッコファン×2	
		風量	m ³ /min	20	35	45	70	90
		機外静圧 注2	Pa	80	90	80	110/180	110/190
		電動機出力	kW	0.75	1.5		2.2	3.7
	防音・断熱材	-	グラスウール					
	エアフィルター	-	不織布					
	ドレン配管サイズ	-	1B メネジ			1 1/4B メネジ		
運転音(A特性値) (50Hz/60Hz)注4	dB	40/40	47/47	48.5/48.5	48/50	50/53		
製品質量	kg	110	126	150	239	262		
室外ユニット	形名	-	PUK-P140AW-A	PUK-P224(U)AW-A	PUK-P280(U)AW-A	PUK-P224(U)AW-A×2台	PUK-P280(U)AW-A×2台	
	定格電源	-	三相200V 50/60Hz					
	外形寸法 (H×W×D)	mm	1260×1050×330(+20)	1715×990×840		(1715×990×840)×2台		
	外装	-	鋼板粉体塗装 マンセル 5Y8/1					
	熱交換器形式	-	クロスフィン					
	圧縮機	形式×個数	-	全密閉形×1			(全密閉形×1)×2台	
		始動方式/称呼出力	kW	直入/3.5	直入/5.5	直入/7.5	(直入/5.5)×2台	(直入/7.5)×2台
		1日の冷凍能力	法定トン	1.49/1.80	2.33/2.77	2.89/3.44	(2.33/2.77)×2台	(2.89/3.44)×2台
		クランクケースヒーター	kW	0.025	0.05		0.05×2台	
	送風機	形式×個数	-	プロペラファン×2		プロペラファン×1		
		風量	m ³ /min	85	185		185×2台	
		電動機出力	kW	0.07×2	0.38		0.38×2台	
圧力計	-	-						
圧力開閉器	-	高圧側3.24MPa、低圧側0.03MPa	高圧側3.3MPa、低圧側0MPa					
圧縮機	-	CT検知						
送風機	-	温度開閉器(内蔵)						
運転音(A特性値) (50Hz/60Hz)注3・4	AW	dB	47/47	56/56(1台1台 55/55)	57/57(1台1台 55/55)	56/56(1台1台 55/55)	57/57(1台1台 55/55)	
	UAW	dB	-	56/56(1台1台 55/55)	57/57(1台1台 55/55)	56/56(1台1台 55/55)	57/57(1台1台 55/55)	
製品質量	AW	kg	108	215	220	215×2台	220×2台	
	UAW	kg	-	230	235	230×2台	235×2台	
冷媒配管寸法	ガス配管	mm	19.05	25.4	28.6	25.4×2台	28.6×2台	
	液配管	mm	9.52	12.7		12.7×2台		
冷媒	種類/出荷時封入量	AW	R407C×4.6	R407C×6.0	R407C×6.5	(R407C×6.0)×2台	(R407C×6.5)×2台	
	AW	kg	-	R407C×7.0	R407C×7.5	(R407C×7.0)×2台	(R407C×7.5)×2台	
制御方式	-	電子膨張弁						
冷凍機油(種類×封入量)	AW	ℓ	MMMAWPOE×1.76	DAPHNE FVC68D×3.0	DAPHNE FVC68D×4.0	(DAPHNE FVC68D×3.0)×2台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×2台	
	UAW	ℓ	-	DAPHNE FVC68D×4.0	DAPHNE FVC68D×4.0	(DAPHNE FVC68D×4.0)×2台	(DAPHNE FVC68D×4.0)×2台	
電線太さ 室外/室内	-	5.5mm ² /1.6mm	8mm ² /1.6mm	14mm ² /1.6mm	8mm ² ×2台/1.6mm	14mm ² ×2台/1.6mm		
内外接続線/リモコン電線太さ	mm ²	1.25以上/0.3~1.25						
内外接続線長さ(最大)<室内-室外>	m	200						
冷媒配管長/高低差	AW	m	実長50、相当長62.5/40					
	UAW	m	-	実長100、相当長125/40				
アース線サイズ(室外/室内)	-	2.0mm以上/1.6mm以上	3.5mm ² 以上/1.6mm以上	5.5mm ² 以上/1.6mm以上	3.5mm ² 以上×2台/1.6mm以上	5.5mm ² 以上×2台/1.6mm以上		
配線用遮断器	開閉器(室外/室内)	A	40/15	60/15		60×2台/30		
	漏電遮断器(室外/室内)	A	40/15	60/15		60×2台/30		

注1. 運転特性は次の条件で運転したときの数値です。

冷房能力(室内側: 乾球温度33.0、湿球温度28.0、室外側: 乾球温度33.0)

に準じて冷媒配管長7.5mで運転した場合の値を示します。

注2. 50Hz地区の場合、モータープーリー径(可変プーリー)をP167形は 93.9(出荷時は 77.9)、P265・P335形は 140(出荷時は 116.7)に調整した値を示します。

注3. 運転音は室外ユニット1台あたりの値です。

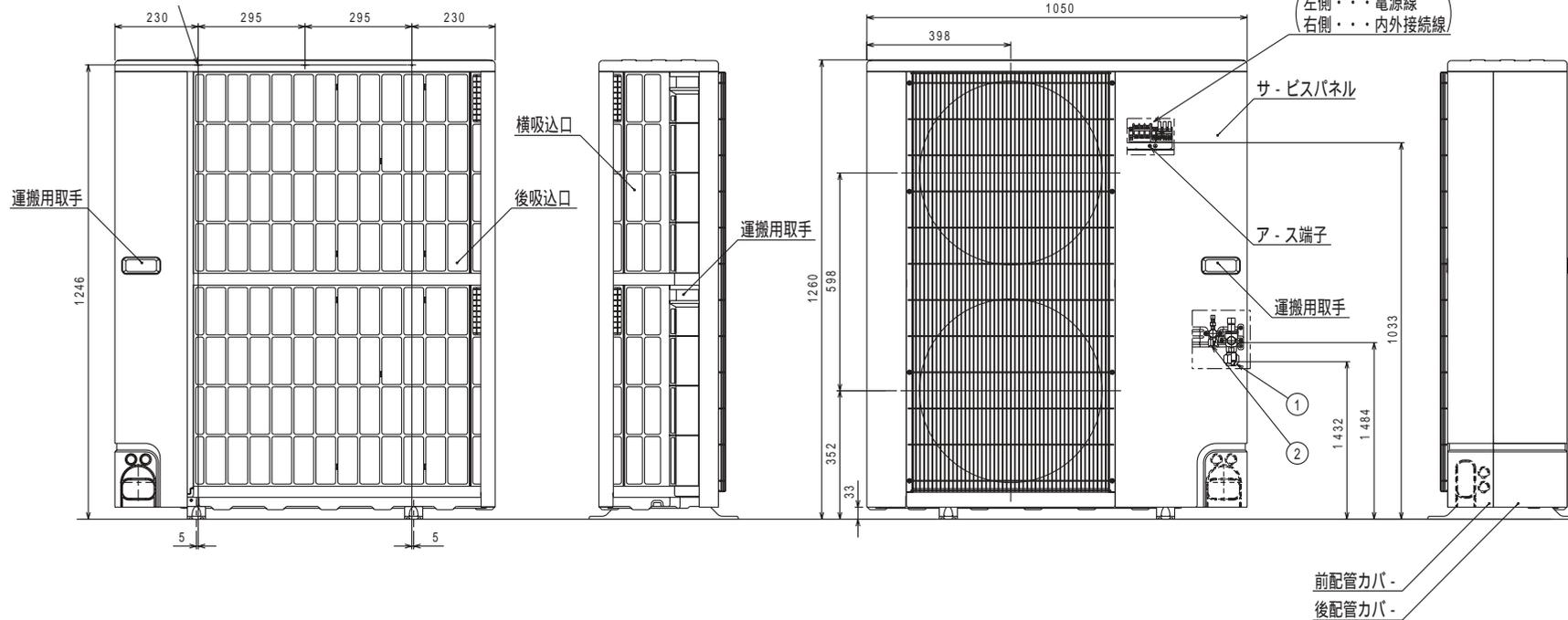
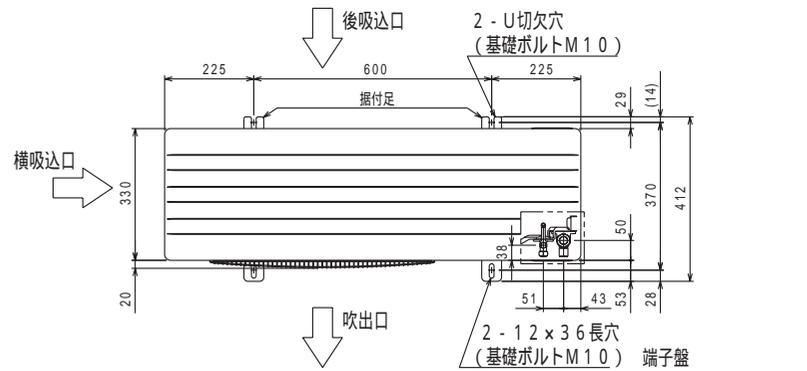
注4. 運転音はJIS規格に準じて反響音の少ない無響音室で測定した値です。実際に据付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響等の影響を受け表示数値より大きくなるのが普通です。

注5. 室内ユニット周囲空気が、露点温度23℃以上で長時間運転されると、室内ユニットの結露水が垂れて水漏れに至るおそれがあります。

2.外形寸法図
 (1) 室外ユニット
 PU(H)K-P140AW-A

記号説明

- ① ……冷媒ガス配管接続口 (フレア接続) 19.05 (3/4F)
 - ② ……冷媒液配管接続口 (フレア接続) 9.52 (3/8F)
 - 1 ……ストップバルブの接続先端寸法を示します
 - ③ ……3 - 3.6 穴 (ユニット上部固定用下穴)
- この穴は、ユニットの据付足を固定した上で、さらに上部固定をされる場合にご利用ください。尚、ご使用可能なネジは、セルフタッピングネジ 5 x L 15 以下 (現地手配) です。



PU(H)K-P224・280(U)AW-A

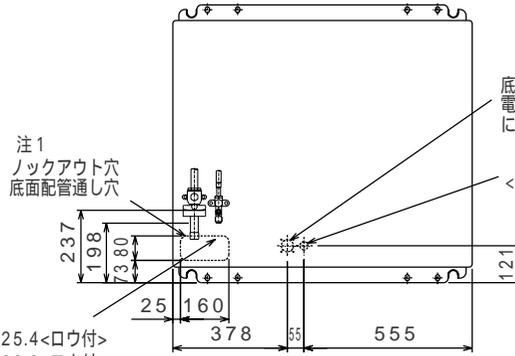
<付属品>

- ・冷媒<ガス>接続管・・・1個
(ユニットに取付済)
- ・接続管用パッキン・・・1個
(ボ-ルバルブ付近に取付)
- ・電線管取付板(本体同色塗装)
40, 33・・・各1個
- ・タッピンネジ 4X12・・・4本

注1. 下配管取出しをする場合は
底面配管通し穴を基礎で
ふさがぬようにしてください

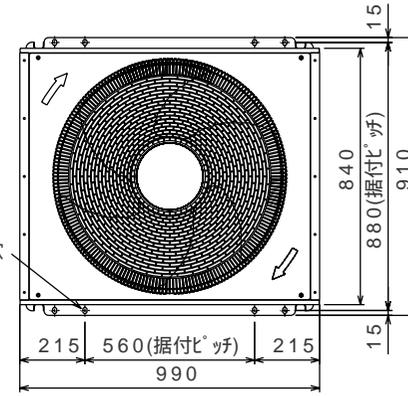
接続管
P224形: 25.4<口ウ付>
P280形: 28.6<口ウ付>

注1
ノックアウト穴
底面配管通し穴



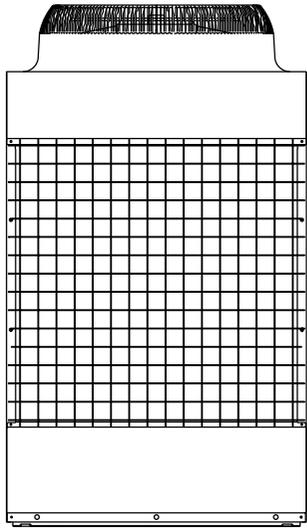
断面 X - X

2X2-14X20長穴

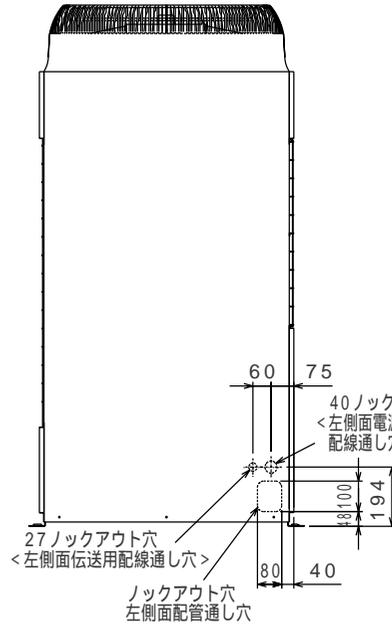


平面図

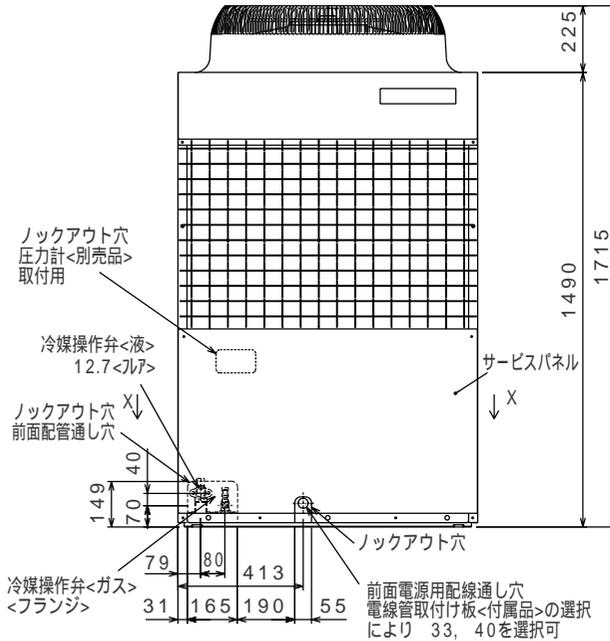
34



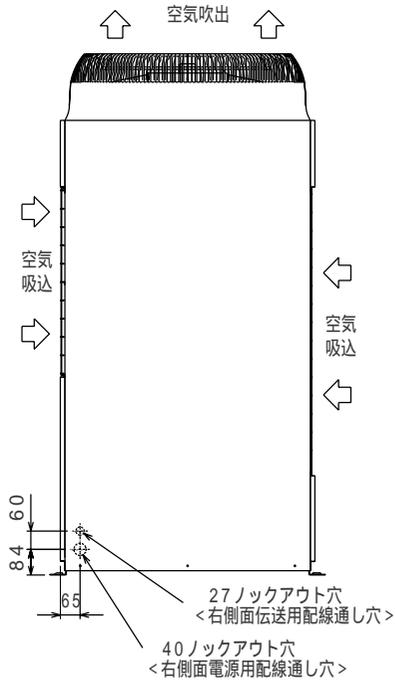
背面図



左側面図



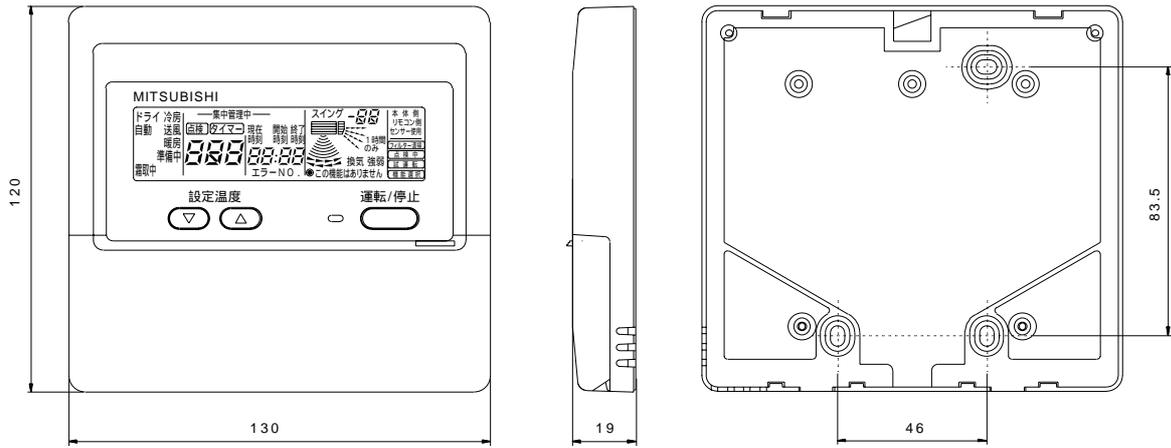
正面図



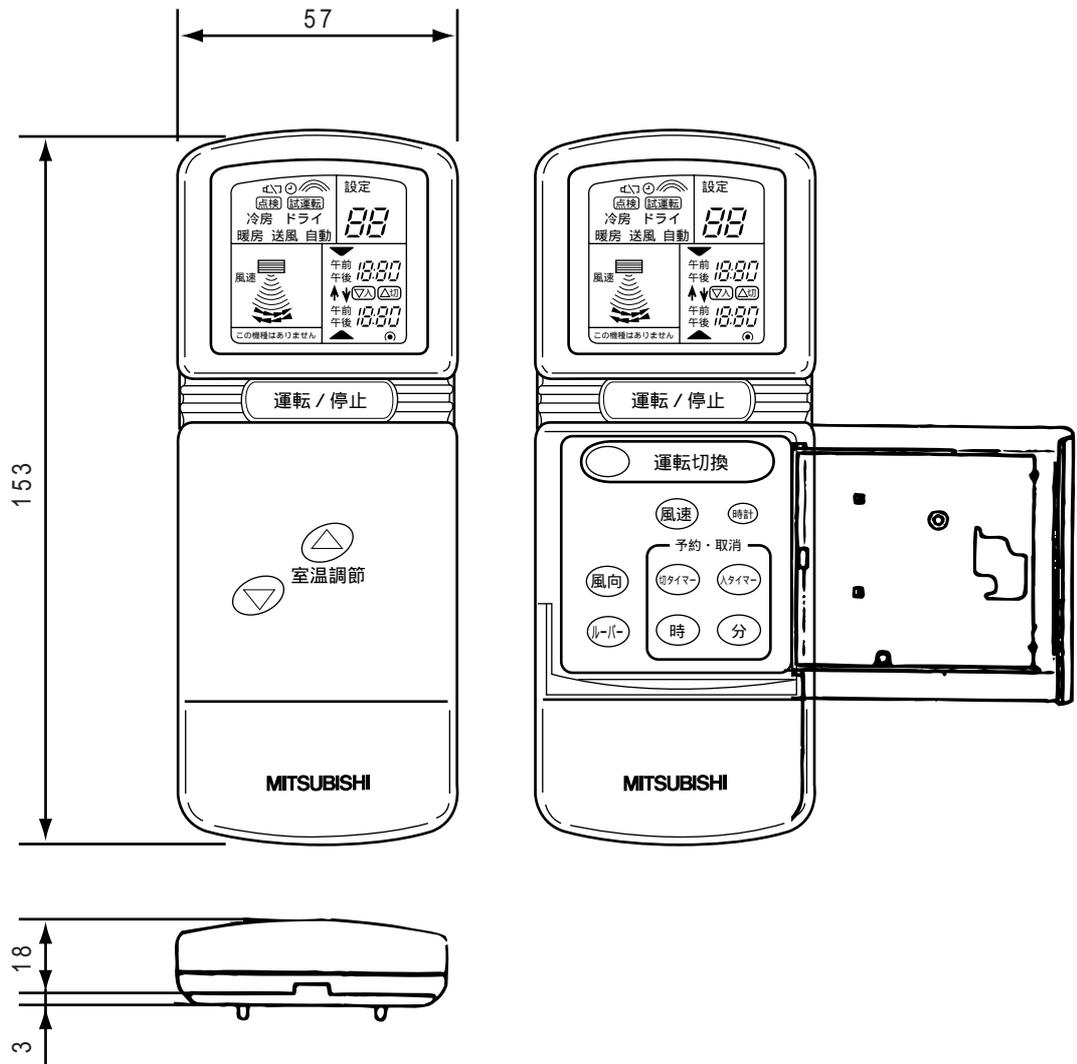
右側面図

(2)リモコン

ワイヤードリモコン (室内ユニット操作部)



ワイヤレスリモコン



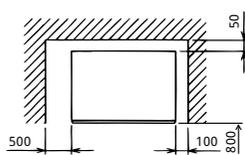
(3)室内ユニット
PFAK-P140・224・280AW(M)-A
PFTK-P125・200・250AW(M)-A

	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L
PFAK-P140(V)AW(M)-A PFTK-P125(V)AW(M)-A	760	742	822	794	383	343	154	230	10	68.5	-
PFAK-P224(V)AW(M)-A PFTK-P200(V)AW(M)-A	980	962	1042	1014	715	675	108	640	16	29.5	160
PFAK-P280(V)AW(M)-A PFTK-P250(V)AW(M)-A	1200	1182	1262	1234	895	835	160	800	18	39.5	160

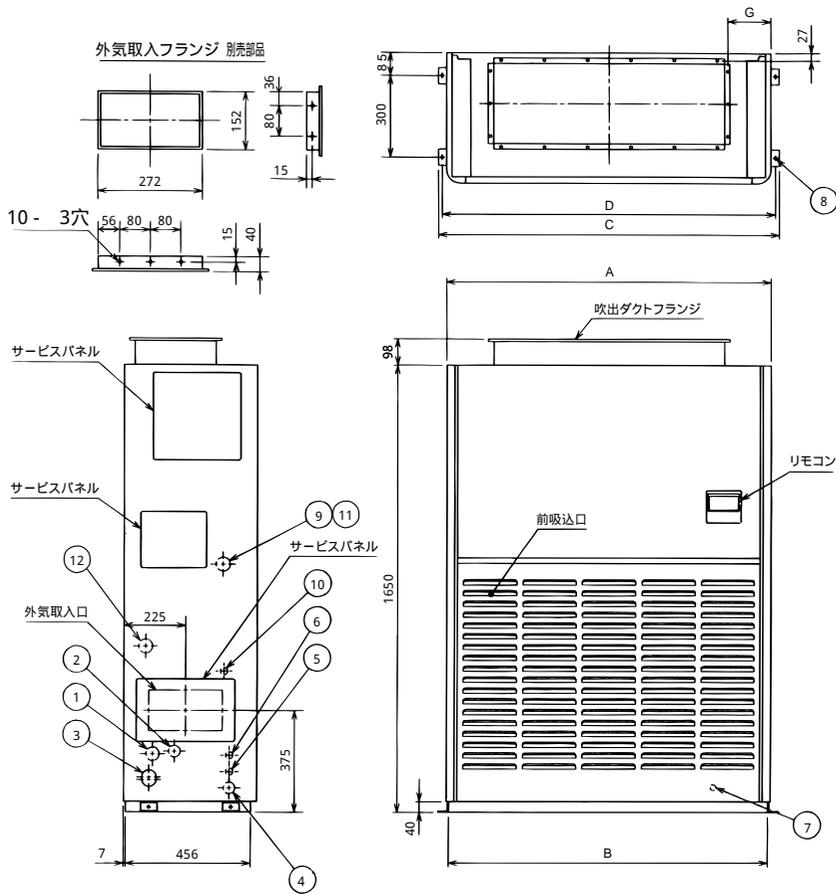
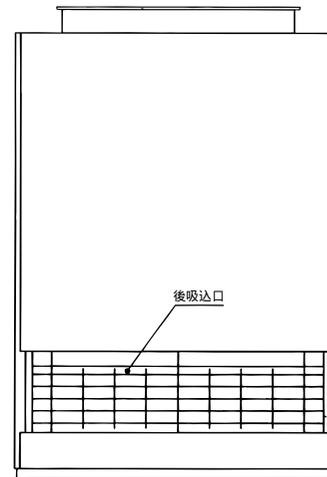
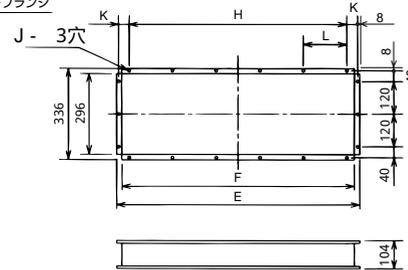
NO.	名称	NO.	名称
1	冷媒配管<ガス>..... P140,P125: 19.05 P224,P200: 25.4, P280,P250: 28.6 吋付	7	ア - ス端子 (制御箱内に設置).....5秒
2	冷媒配管<液>..... P140・P125: 9.52 P224・P280,P200・P250: 12.7 吋付	8	基礎ボルト穴.....4- 12
3	ドレン穴.....1B	9	透湿膜加湿器配管穴..... 52
4	装置電源穴..... 43	10	加湿器配管穴..... 27
5	電線穴..... 27	11	加熱器(蒸気入口・温水出口)・・P140・224, P125・200 : 1B P280, P250 : 11/4B
6	室内外連絡穴, 伝送線穴..... 27	12	加熱器(蒸気出口・温水入口)・・P140・224, P125・200 : 1B P280, P250 : 11/4B

- 注1. 伝送線と電圧200V以上の配線は必ず分けた経路としてください。
 注2. 設置する部屋の気密性が高い場合、室内が負圧となり、部屋の扉が開かない等の問題が発生する場合がありますので、室内が負圧にならないような通気孔等を設けてください。
 注3. 透湿膜加湿器はヒートポンプ機種のみ取付可能です。

通風・サービススペース
通常最低限必要な寸法を示します。



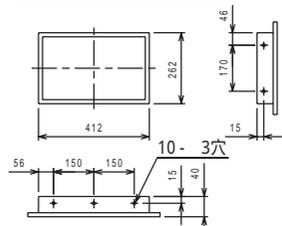
吹出ダクトフランジ



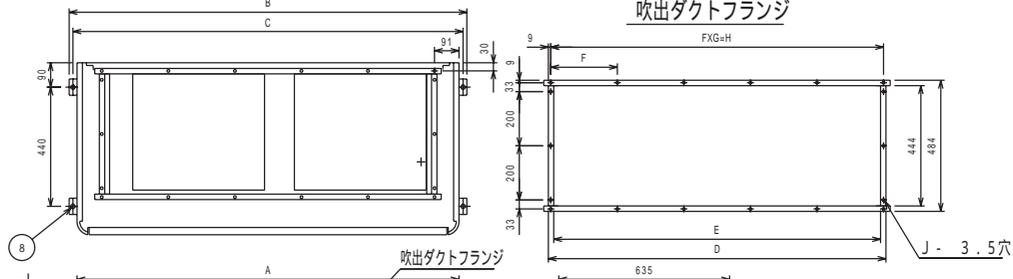
	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	NO.	名称	NO.	名称
PFAK-P450(V)AW(M)-A PFTK-P400(V)AW(M)-A	1200	1258	1230	1046	1006	257	4	1028	16	1178	1	冷媒配管<ガス>…P450,P400: 25.4, P560,P500: 28.6 口付	7	ア-ス端子(制御箱内に設置)…5枚
PFAK-P560(V)AW(M)-A PFTK-P500(V)AW(M)-A	1420	1478	1450	1255	1215	247	5	1235	18	1398	2	冷媒配管<液>… 12.7 口付	8	基礎ボルト穴…4- 12
											3	ドレン穴… 1 1/4B	9	透湿膜加湿器配管穴… 52
											4	装置電源穴… 52	10	加湿器配管穴… 27
											5	電線穴… 37	11	加熱器(蒸気・温水)… 11/2B
											6	室内外連絡穴,伝送線穴… 27		

- 注1. 別売加湿器(透湿膜を除く)を組込んで右配管取り出しにする場合は別途、別売右配管部品(加湿器組込用)が必要となります。
- 注2. 伝送線と電圧200V以上の配線は必ず分けた経路としてください。
- 注3. 設置する部屋の気密性が高い場合、室内が負圧となり、部屋の扉が開かない等の問題が発生する場合がありますので、室内が負圧にならないような通気孔等を設けてください。
- 注4. 透湿膜加湿器はヒートポンプ機種のみ取付可能です。

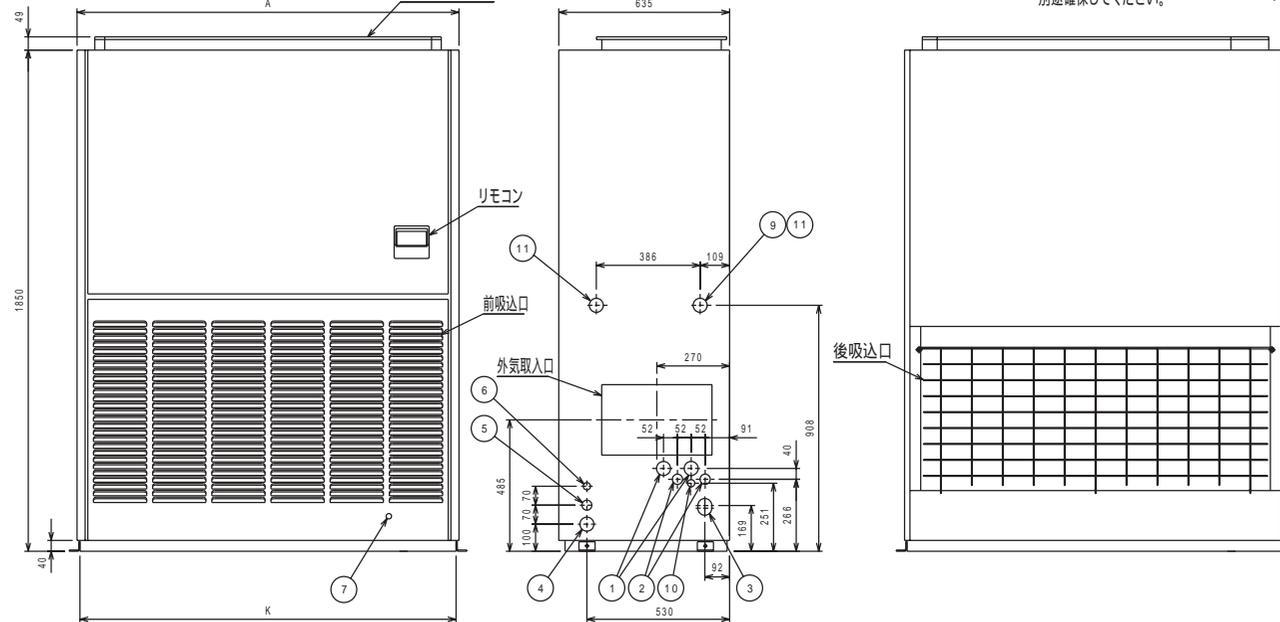
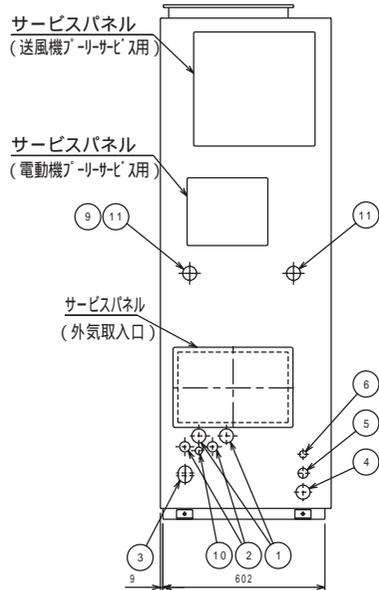
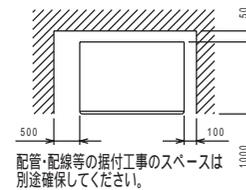
外気取入フランジ 別売部品



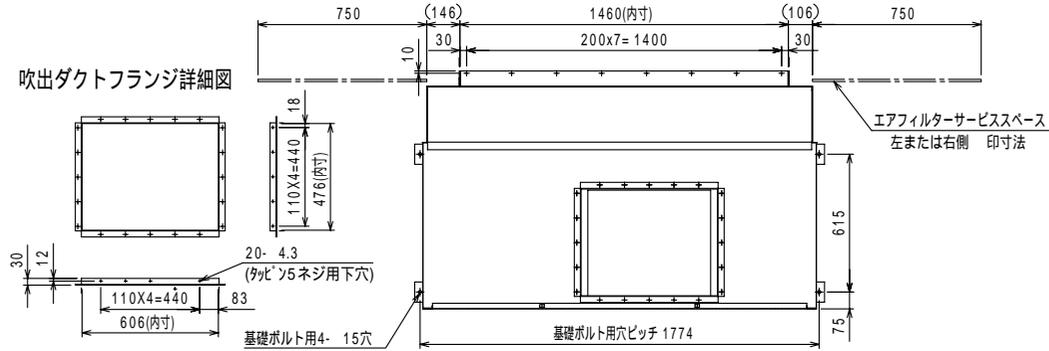
吹出ダクトフランジ



通風・サービススペース
通常最低限必要な寸法を示します。



吹出ダクトフランジ詳細図

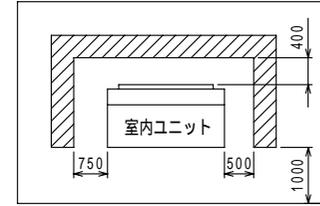


No.	名称
①	No.1 冷媒配管(ガス) A<ロウ付>
②	No.1 冷媒配管(液) B<ロウ付>
③	No.2 冷媒配管(ガス) A<ロウ付>
④	No.2 冷媒配管(液) B<ロウ付>
⑤	No.3 冷媒配管(ガス) A<ロウ付>
⑥	No.3 冷媒配管(液) B<ロウ付>
⑦	電源穴(200V線) 62ノックアウト穴
⑧	室内外連絡穴(制御線) 38ノックアウト穴
⑨	加湿器配管接続口 38ノックアウト穴
⑩	加湿器電源穴 22ノックアウト穴
⑪	アース端子(制御箱内に設置) 5ネジ
⑫	加熱器(温水出口・蒸気入口) 70ノックアウト穴:2B
⑬	加熱器(温水入口・蒸気出口) 70ノックアウト穴:2B

注1. エアフィルターサービススペース(印)の寸法をユニットの左側面又は右側面に必ず確保してください。
注2. 設置する部屋の気密性が高い場合、室内が負圧となり、部屋の扉が開かない等の問題が発生する場合がありますので、室内が負圧にならないような通気孔等を設けてください。

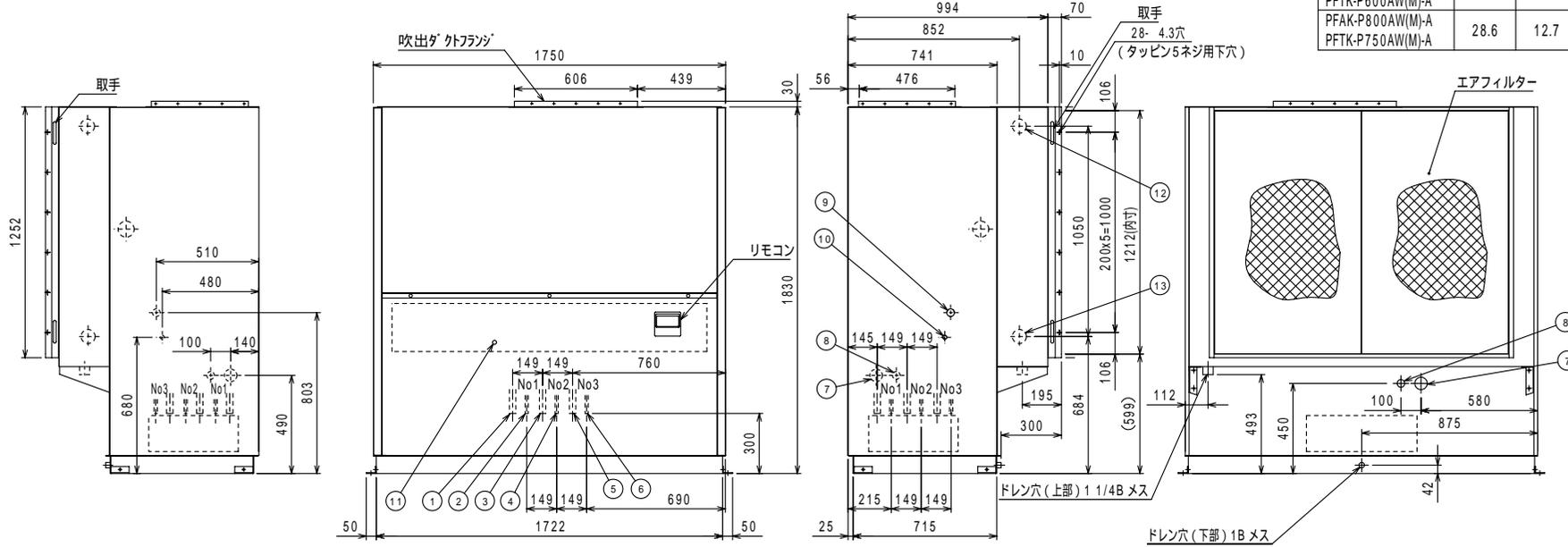
通風・サービススペース

図中寸法は最小寸法を示します。



配管・配線の据付工事のスペースは別途確保してください。また、エアフィルターのサービスを本体右側から行う場合は、図中印の寸法を確保してください。

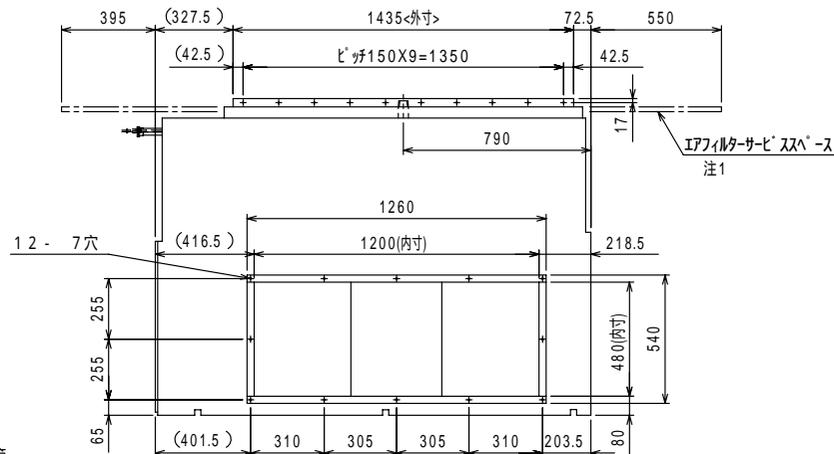
	A	B
PFAK-P630AW(M)-A	25.4	12.7
PFTK-P600AW(M)-A		
PFAK-P800AW(M)-A	28.6	12.7
PFTK-P750AW(M)-A		



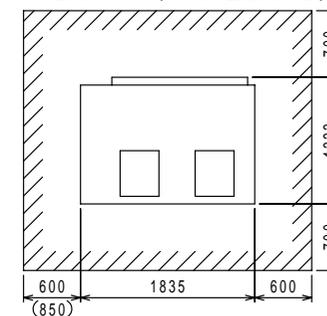
PFPAK-P1120AW(M)-A-L
PFTK-P1000AW(M)-A-L

- 注1. エアフィルターサービススペース「印」の寸法をユニットの左側面又は右側面に必ず確保してください。
2. 電源の引込みはユニット右側面からが標準です。
(左側面からの引込みも可能です)
3. ドレン配管はユニット背面から接続してください。
4. 加湿器用の配管接続方向はユニット右側面が標準ですが、左側面接続にも対応可能です。
5. 加湿器は受注組込部品となります。
6. 設置する部屋の気密性が高い場合、室内が負圧となり、部屋の扉が開かない等の問題が発生する場合がありますので、室内が負圧にならないような通気孔を設けてください。
7. 出荷時、吹出ダクトフランジはユニット内に付属しています。
8. チャージ管を取外す際は先端を切断し、ガスを抜いてください。ガスを抜かず作業した場合、ロウが飛散おそれがあります。

番号	名称
①	No.1 冷媒配管(液) 12.7<ロウ付>
②	No.1 冷媒配管(ガス) 28.6<ロウ付>
③	No.2 冷媒配管(液) 12.7<ロウ付>
④	No.2 冷媒配管(ガス) 28.6<ロウ付>
⑤	No.3 冷媒配管(液) 12.7<ロウ付>
⑥	No.3 冷媒配管(ガス) 28.6<ロウ付>
⑦	No.4 冷媒配管(液) 12.7<ロウ付>
⑧	No.4 冷媒配管(ガス) 28.6<ロウ付>
⑨	ドレン配管 PT1-1/4オネジ
⑩	加湿器接続口 PT1メネジ(水・蒸気スプレー)
⑪	電源取入口(右側面は現地加工 30~60)
⑫	室内外連絡線取入口(右側面は現地加工 30~60)
⑬	基礎ボルト用穴 4-20穴
⑭	アース端子(制御箱内に設置)

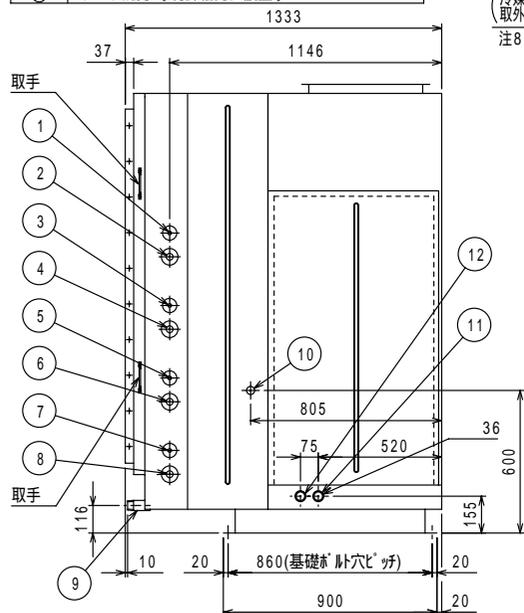


サービススペース (ユニット上面より見る)

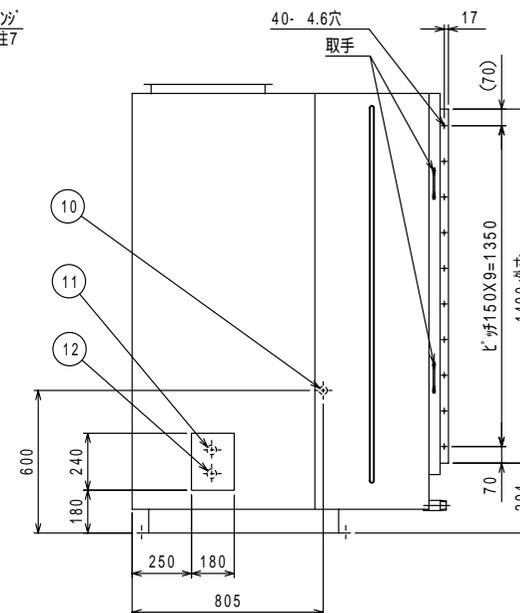
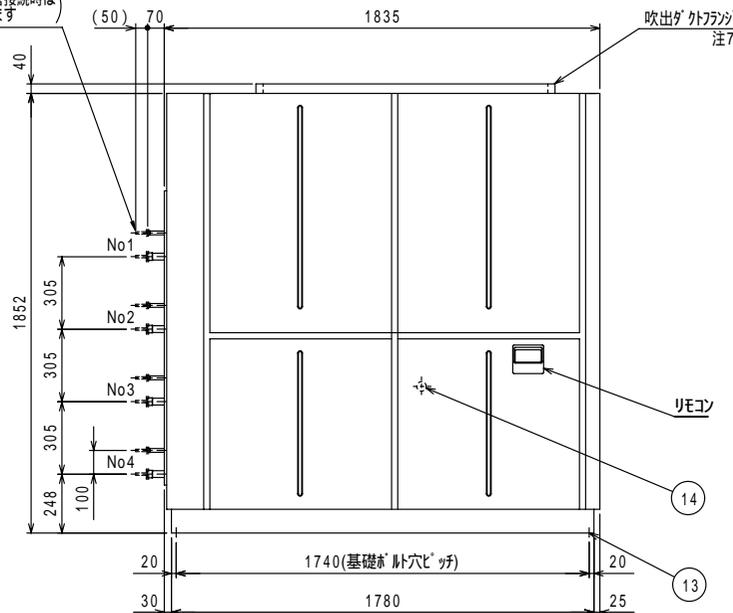


・配管・配線等の据付工事のスペースは別途確保してください。
() 寸法は送風機軸の引出しスペースです。

39



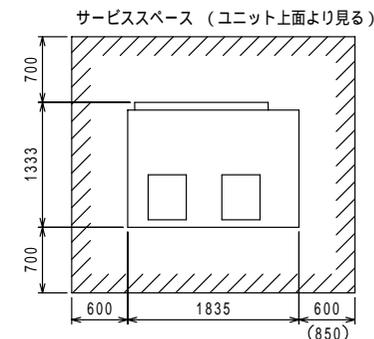
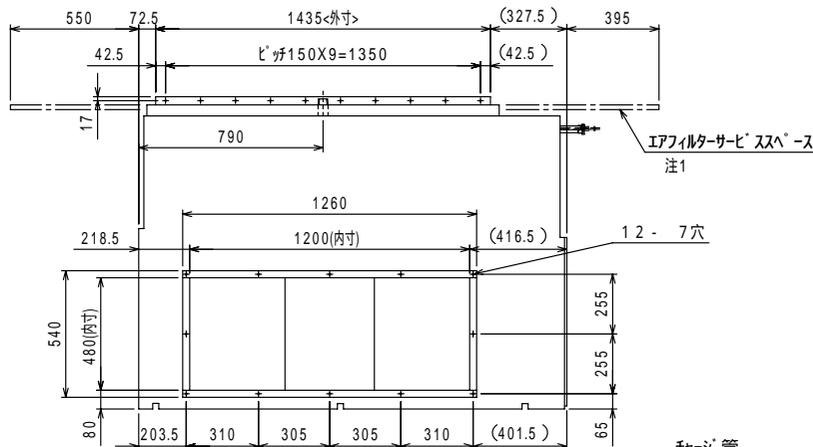
チャージ管
(冷媒配管接続時は
取外します)
注8



PFAK-P1120AW(M)-A-R
PFTK-P1000AW(M)-A-R

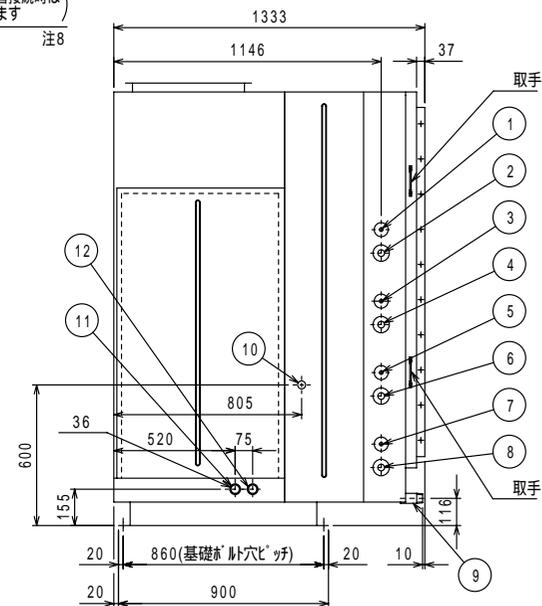
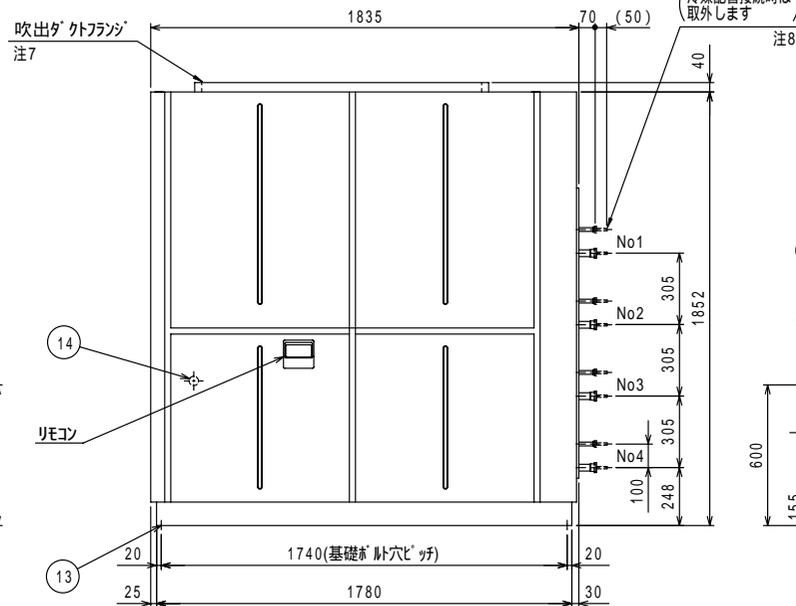
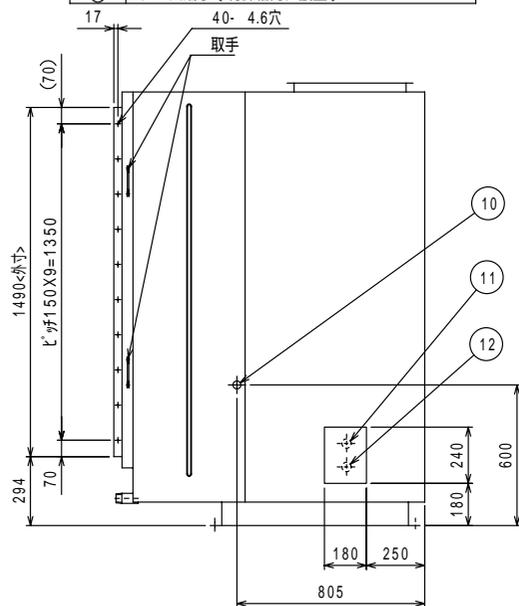
- 注1. エアフィルターサービススペース「印」の寸法をユニットの左側面又は右側面に必ず確保してください。
 2. 電源の引込みはユニット左側面からが標準です。(右側面からの引込みも可能です)
 3. ドレン配管はユニット背面から接続してください。
 4. 加湿器用の配管接続方向はユニット左側面が標準ですが、右側面接続にも対応可能です。
 5. 加湿器は受注組込部品となります。
 6. 設置する部屋の気密性が高い場合、室内が負圧となり、部屋の扉が開かない等の問題が発生する場合がありますので、室内が負圧にならないような通気孔を設けてください。
 7. 出荷時、吹出ダクトフランジはユニット内に付属しています。
 8. チャージ管を取外す際は先端を切断し、ガスを抜いてください。ガスを抜かず作業した場合、ロウが飛散のおそれがあります。

番号	名称
①	No.1 冷媒配管(液) 12.7<ロウ付>
②	No.1 冷媒配管(ガス) 28.6<ロウ付>
③	No.2 冷媒配管(液) 12.7<ロウ付>
④	No.2 冷媒配管(ガス) 28.6<ロウ付>
⑤	No.3 冷媒配管(液) 12.7<ロウ付>
⑥	No.3 冷媒配管(ガス) 28.6<ロウ付>
⑦	No.4 冷媒配管(液) 12.7<ロウ付>
⑧	No.4 冷媒配管(ガス) 28.6<ロウ付>
⑨	ドレン配管 P T 1 - 1 / 4 オネジ
⑩	加湿器接続口 P T 1メネジ(水・蒸気スプレー)
⑪	電源取入口 (左側面は現地加工 30 - 60)
⑫	室内外連絡線取入口 (左側面は現地加工 30 - 60)
⑬	基礎ボルト用穴 4 - 20穴
⑭	アース端子(制御箱内に設置)



・配管・配線等の据付工事のスペースは別途確保してください。
 () 寸法は送風機軸の引出しスペースです。

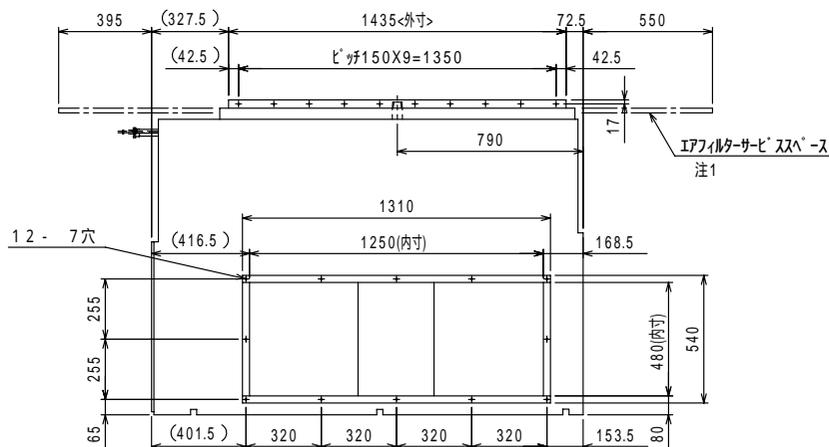
40



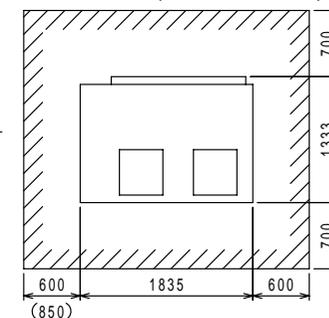
PFAK-P1400AW(M)-A-L
PFTK-P1250AW(M)-A-L

- 注1. エアフィルタサービススペース「印」の寸法をユニットの左側面又は右側面に必ず確保してください。
2. 電源の引込みはユニット右側面からが標準です。(左側面からの引込みも可能です)
3. ドレン配管はユニット背面から接続してください。
4. 加湿器用の配管接続方向はユニット右側面が標準ですが、左側面接続にも対応可能です。
5. 加湿器は受注組込部品となります。
6. 設置する部屋の気密性が高い場合、室内が負圧となり、部屋の扉が開かない等の問題が発生する場合がありますので、室内が負圧にならないような通気孔を設けてください。
7. 出荷時、吹出ダクトフランジはユニット内に付属しています。
8. チャージ管を取外す際は先端を切断し、ガスを抜いてください。ガスを抜かずに作業した場合、ロウが飛散のおそれがあります。

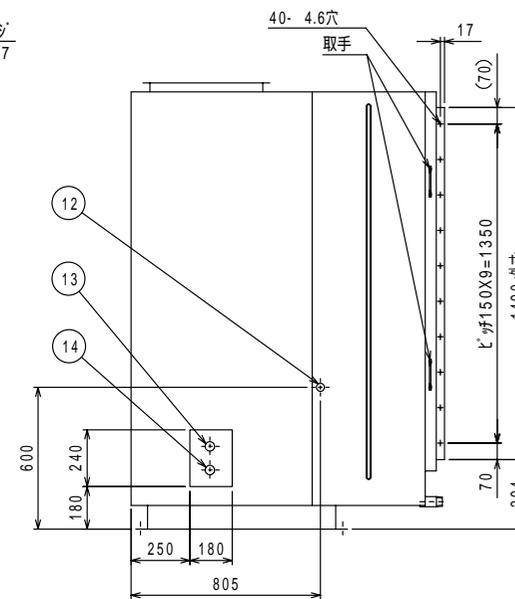
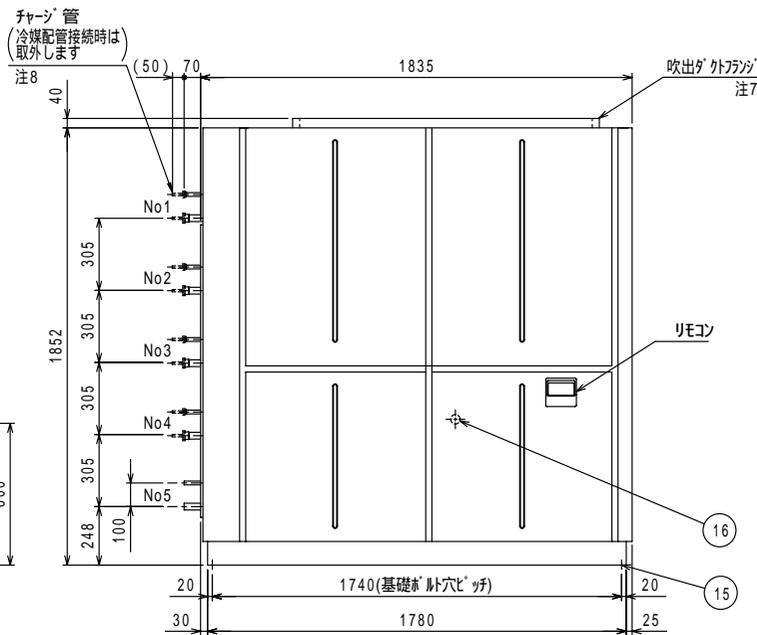
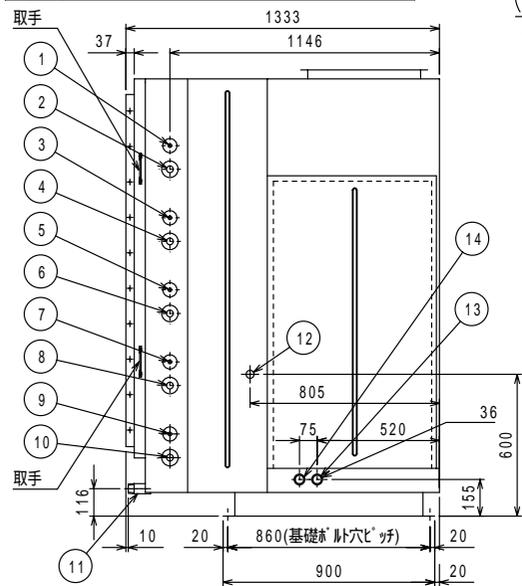
番号	名称
①	No.1 冷媒配管(液) 12.7<ロウ付>
②	No.1 冷媒配管(ガス) 28.6<ロウ付>
③	No.2 冷媒配管(液) 12.7<ロウ付>
④	No.2 冷媒配管(ガス) 28.6<ロウ付>
⑤	No.3 冷媒配管(液) 12.7<ロウ付>
⑥	No.3 冷媒配管(ガス) 28.6<ロウ付>
⑦	No.4 冷媒配管(液) 12.7<ロウ付>
⑧	No.4 冷媒配管(ガス) 28.6<ロウ付>
⑨	No.5 冷媒配管(液) 12.7<ロウ付>
⑩	No.5 冷媒配管(ガス) 28.6<ロウ付>
⑪	ドレン配管 PT1-1/4 オネジ
⑫	加湿器接続口 PT1メネジ(水・蒸気スプレー)
⑬	電源取入口(右側面は現地加工 30×60)
⑭	室内外連絡線取入口(右側面は現地加工 30×60)
⑮	基礎ボルト用穴 4-20穴
⑯	アース端子(制御箱内に設置)



サービススペース (ユニット上面より見る)



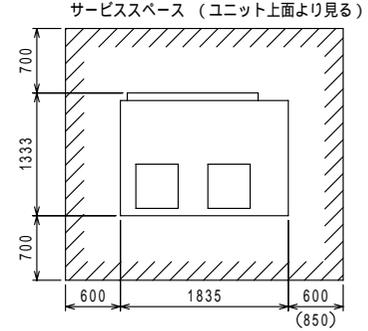
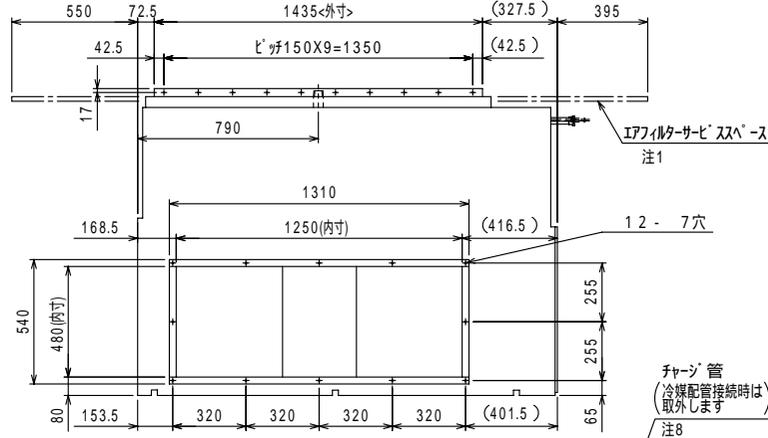
・配管・配線等の据付工事のスペースは別途確保してください。
 () 寸法は送風機軸の引出しスペースです。



PFAK-P1400AW(M)-A-R
PFTK-P1250AW(M)-A-R

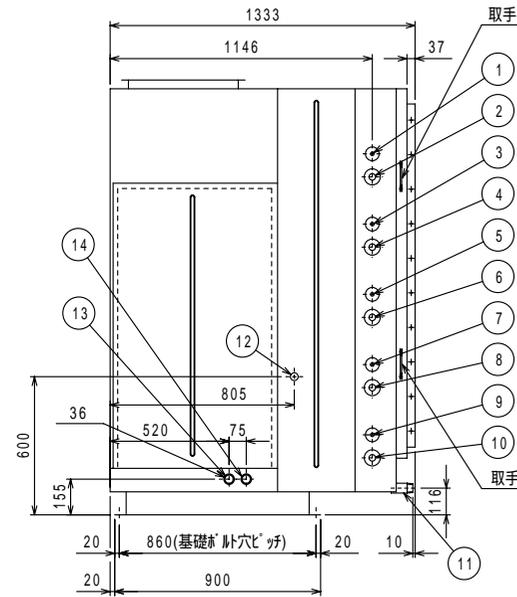
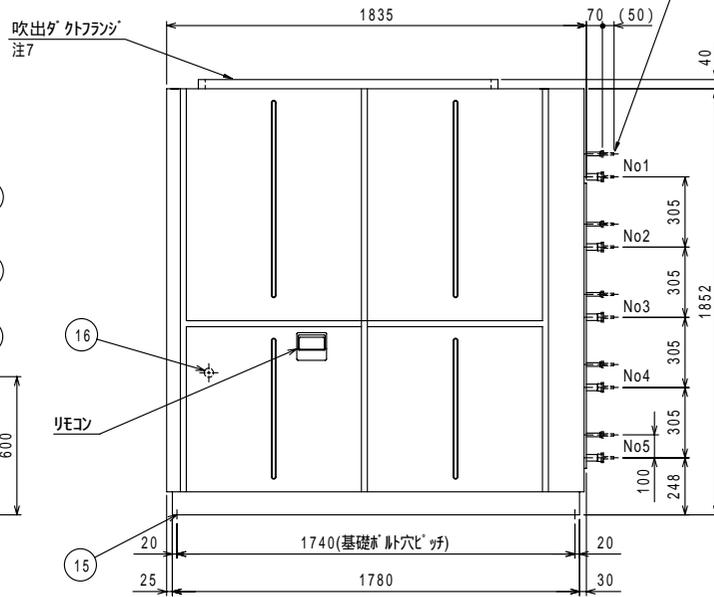
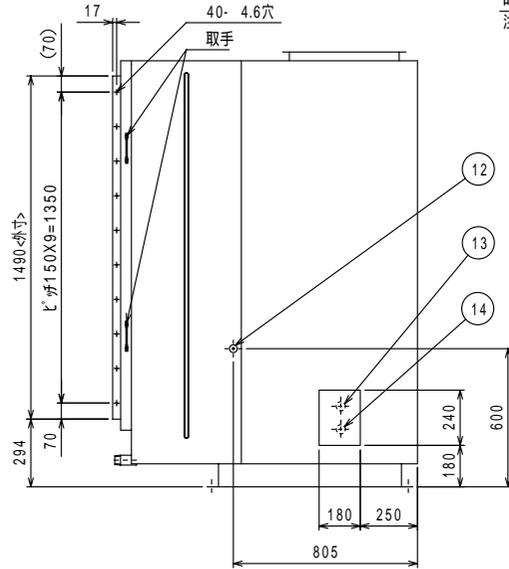
- 注1. エアフィルターサービススペース「印」の寸法をユニットの左側面又は右側面に必ず確保してください。
2. 電源の引込みはユニット左側面からが標準です。(右側面からの引込みも可能です)
3. ドレン配管はユニット背面から接続してください。
4. 加湿器用の配管接続方向はユニット左側面が標準ですが、右側面接続にも対応可能です。
5. 加湿器は受注組込部品となります。
6. 設置する部屋の気密性が高い場合、室内が負圧となり、部屋の扉が開かない等の問題が発生する場合がありますので、室内が負圧にならないような通気孔を設けてください。
7. 出荷時、吹出ダクトフランジはユニット内に付属しています。
8. チャージ管を取外す際は先端を切断し、ガスを抜いてください。ガスを抜かずに作業した場合、ロウが飛散するおそれがあります。

番号	名称
①	No.1 冷媒配管(液) 12.7<ロウ付>
②	No.1 冷媒配管(ガス) 28.6<ロウ付>
③	No.2 冷媒配管(液) 12.7<ロウ付>
④	No.2 冷媒配管(ガス) 28.6<ロウ付>
⑤	No.3 冷媒配管(液) 12.7<ロウ付>
⑥	No.3 冷媒配管(ガス) 28.6<ロウ付>
⑦	No.4 冷媒配管(液) 12.7<ロウ付>
⑧	No.4 冷媒配管(ガス) 28.6<ロウ付>
⑨	No.5 冷媒配管(液) 12.7<ロウ付>
⑩	No.5 冷媒配管(ガス) 28.6<ロウ付>
⑪	ドレン配管 P T 1 - 1 / 4 オネフ
⑫	加湿器接続口 P T 1 メネジ(水・蒸気スプレー)
⑬	電源取入口 (左側面は現地加工 30 - 60)
⑭	室内外連絡線取入口 (左側面は現地加工 30 - 60)
⑮	基礎ボルト用穴 4 - 20穴
⑯	アース端子(制御箱内に設置)

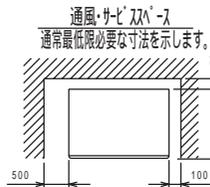


・配管・配線等の据付工事のスペースは別途確保してください。
・() 寸法は送風機軸の引出しスペースです。

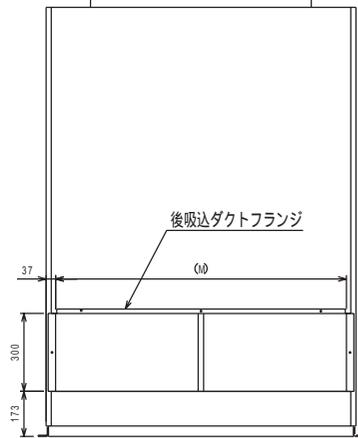
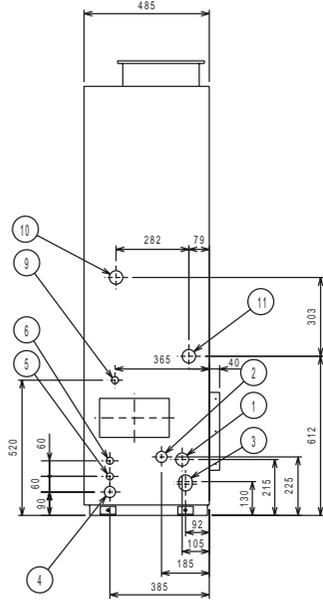
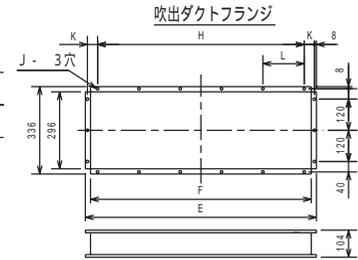
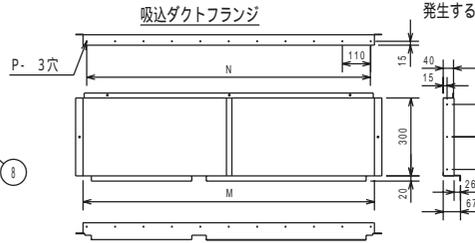
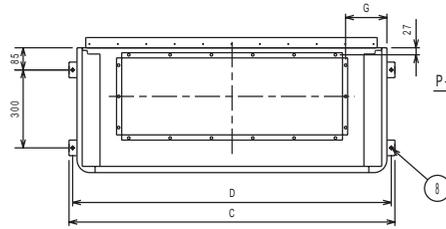
42



	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	P
PFAK-P167(V)AW(M)-A-F	760	742	822	794	383	343	154	230	10	68.5	-	686	660	20
PFAK-P265(V)AW(M)-A-F	980	962	1042	1014	715	675	108	640	16	29.5	160	906	880	24
PFAK-P335(V)AW(M)-A-F	1200	1182	1262	1234	895	835	160	800	18	39.5	160	1126	1100	28

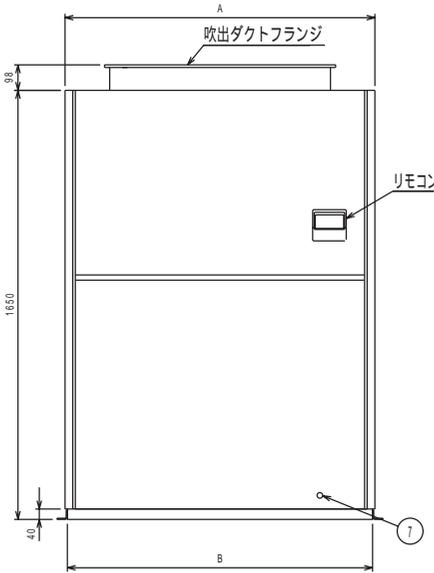
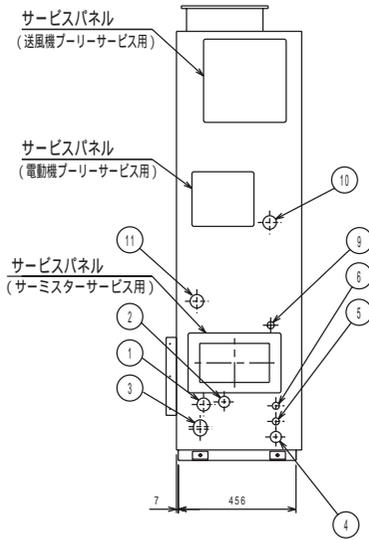


配管・配線等の据付工事のスペースは別途確保してください。



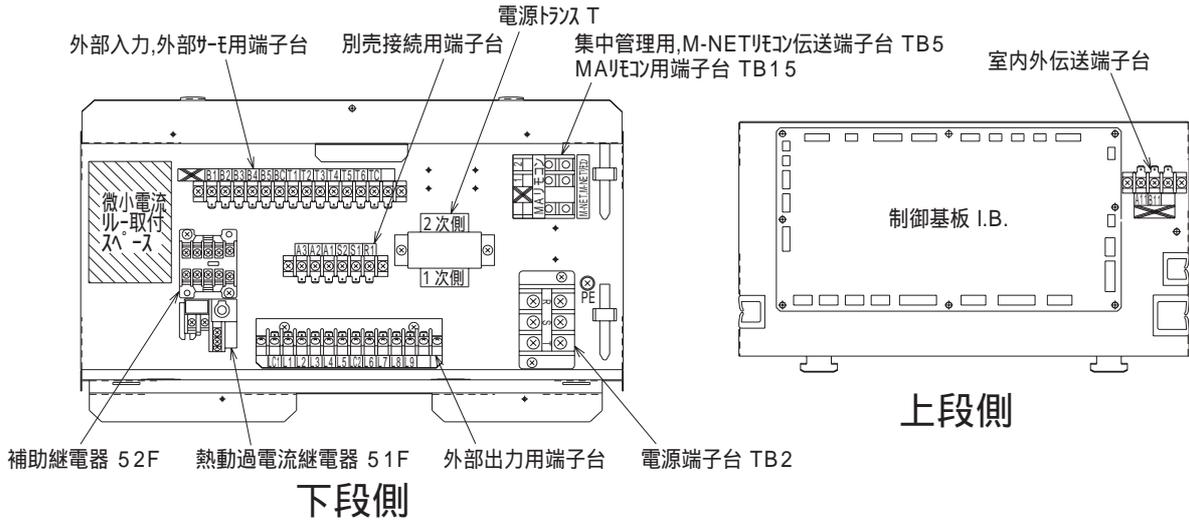
NO.	名称	NO.	名称
1	冷媒配管<ガス>..... P167: 19.05 P265: 25.4, P335: 28.6 吋付	6	室内外連絡穴, 伝送線穴..... 27
2	冷媒配管<液>..... P167: 9.52 P265, P335: 12.7 吋付	7	アース端子(制御箱内に設置).....5秒
3	ドレン穴..... 1B	8	基礎ボルト穴.....4- 12
4	装置電源穴..... 43	9	加湿器配管穴..... 27
5	電線穴..... 27	10	加熱器(蒸気入口・温水出口)・P167・265:1B, P335:11/4B
		11	加熱器(蒸気出口・温水入口)・P167・265:1B, P335:11/4B

注1. 伝送線と電圧200V以上の配線は必ず分けた経路としてください。
 2. 設置する部屋の気密性が高い場合、室内が負圧となり、部屋の扉が開かない等の問題が発生する場合がありますので、室内が負圧にならないような通気孔等を設けてください。

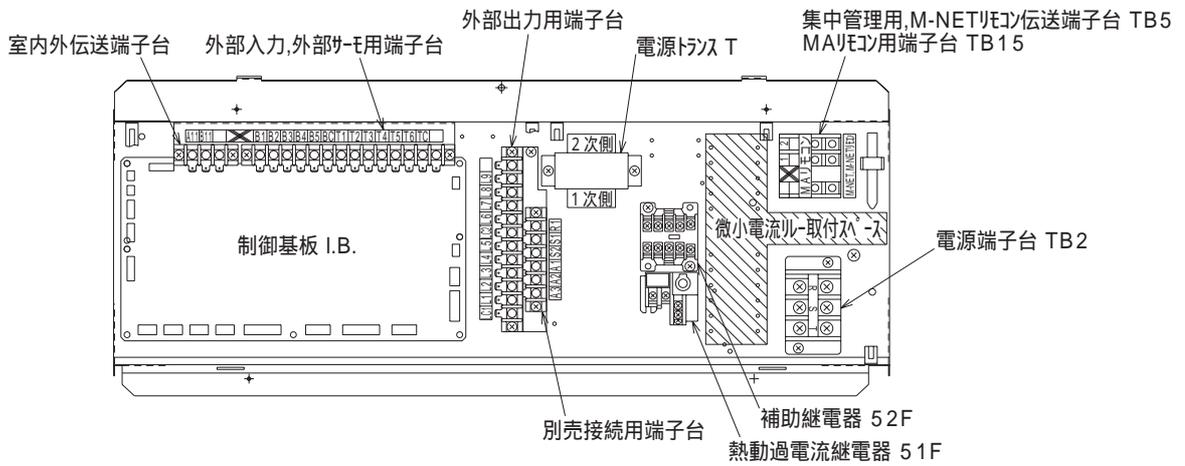


(4)室内ユニット電気品箱

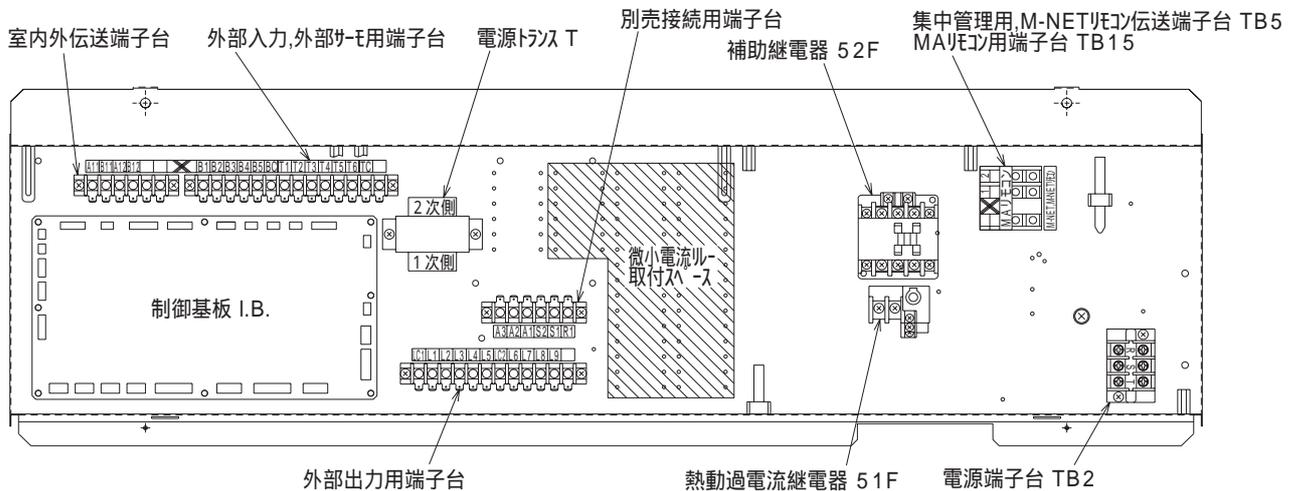
PFAK-P140AW(M)-A, PFTK-P125AW(M)-A, PFAK-P167AW(M)-A-F形



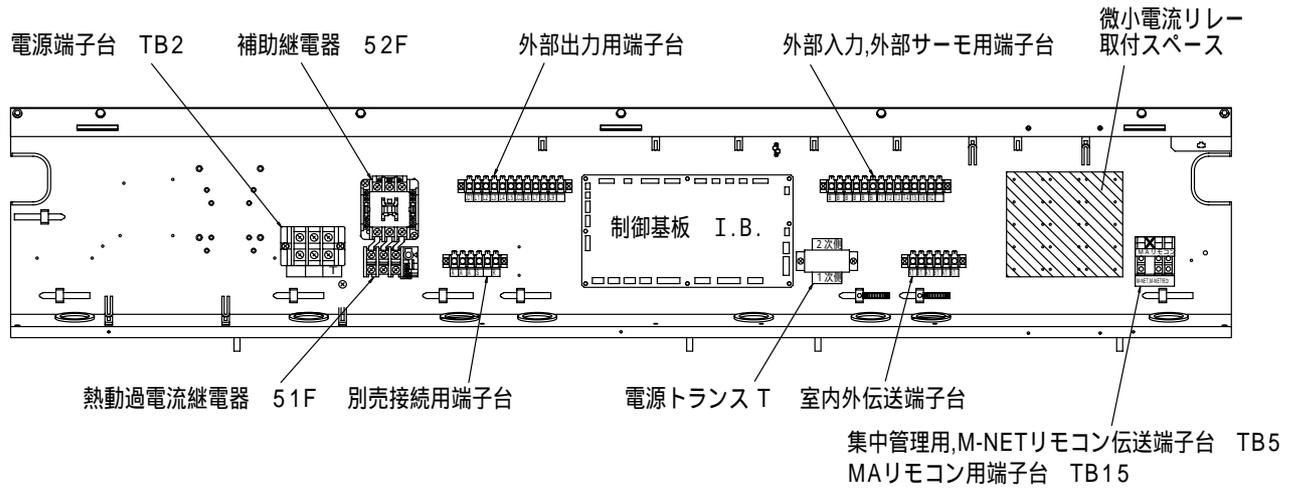
PFAK-P224,280AW(M)-A, PFTK-P200,250AW(M)-A, PFAK-P265,335AW(M)-A-F形



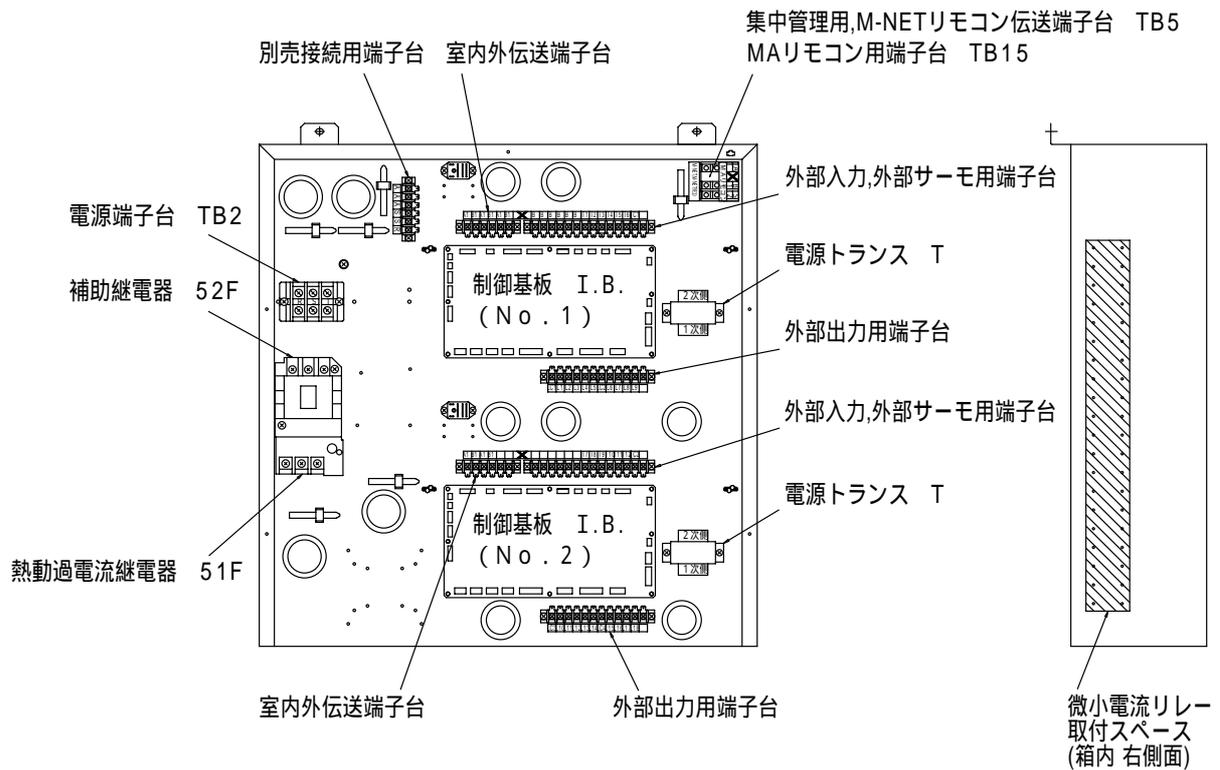
PFAK-P450,560AW(M)-A, PFTK-P400,500AW(M)-A, PFAK-P530,670AW(M)-A-F形



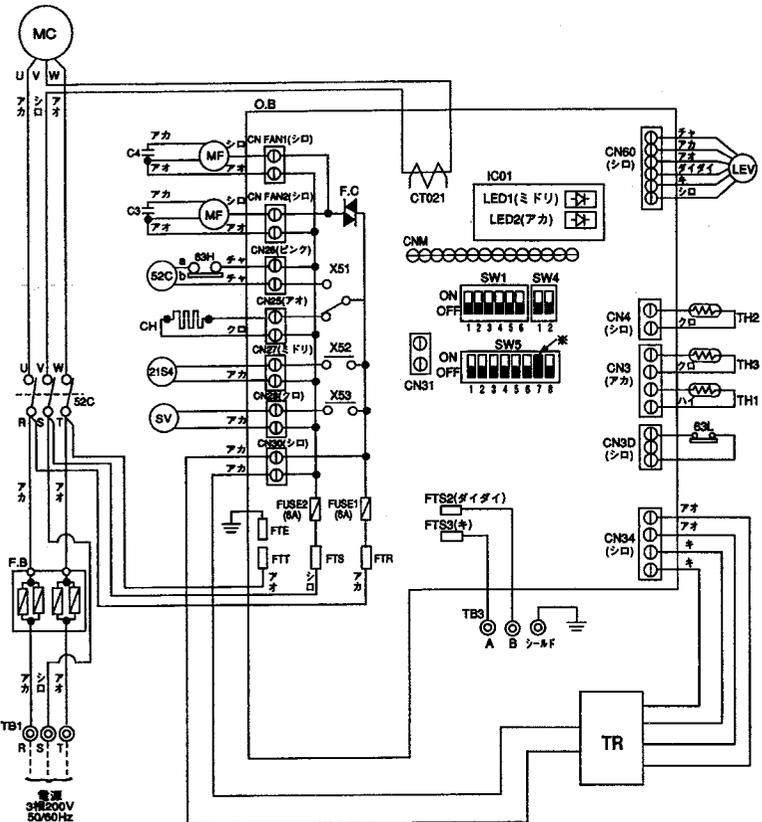
PFAK-P630,800AW(M)-A,PFTK-P600,750AW(M)-A形



PFAK-P1120,1400AW(M)-A,PFTK-P1000,1250AW(M)-A形



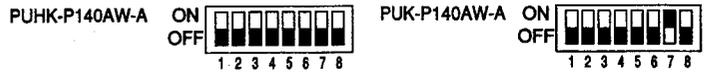
3. 電気配線図 (1) 室外ユニット PU(H)K-P140AW-A



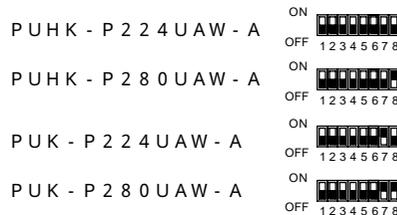
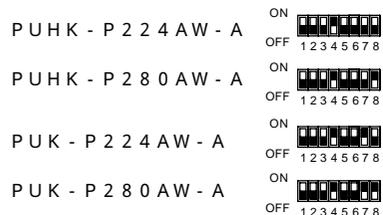
記号説明

記号	名称	記号	名称
MC	圧縮機用電動機	O.B	室外コントローラーボード
MF	送風機用電動機<インナーサーモ付>	FUSE1 O.B	ヒューズ<6A>
TH1	サーミスター<配管温度探知>	FUSE2 O.B	ヒューズ<6A>
TH2	サーミスター<圧縮機吐出配管温度検知>	X51 O.B	リレー<圧縮機/クランクケースヒーター>
TH3	サーミスター<二相管温度探知>	X52 O.B	リレー<四方弁>
C3、C4	コンデンサー<送風機用電動機>	X53 O.B	リレー<電磁弁>
CH	クランクケースヒーター	F.C O.B	ファンコントローラー<MF>
52C	電磁接触器<圧縮機>	SW1 O.B	スイッチ<強制霜取り、異常クリア、冷媒アドレス>
21S4	電磁弁<四方弁>	SW4 O.B	スイッチ<試運転>
SV	電磁弁<ガスバイパス>	SW5 O.B	スイッチ<機能固定>
LEV	電磁膨張弁	CN31 O.B	コネクター<応急運転>
63H	圧力開閉器<高圧保護用>	CT021 O.B	電流検出器
63L	圧力開閉器<低圧保護用>	LED1(ミドリ) O.B	発光ダイオード<運転点検表示>
TB1	端子盤<電源線>	LED2(アカ) O.B	発光ダイオード<運転点検表示>
TB3	端子盤<内外接続線>	TR	トランス
F.B	ヒューズ<30A>		

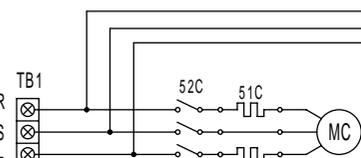
- 注1. ユニットはD種（第三種）接地工事を必ず実施してください。
 2. TB3は伝送用端子台ですので、動力線は接続しないでください。
 3. 出荷時、SW5※は下記の状態になっています。



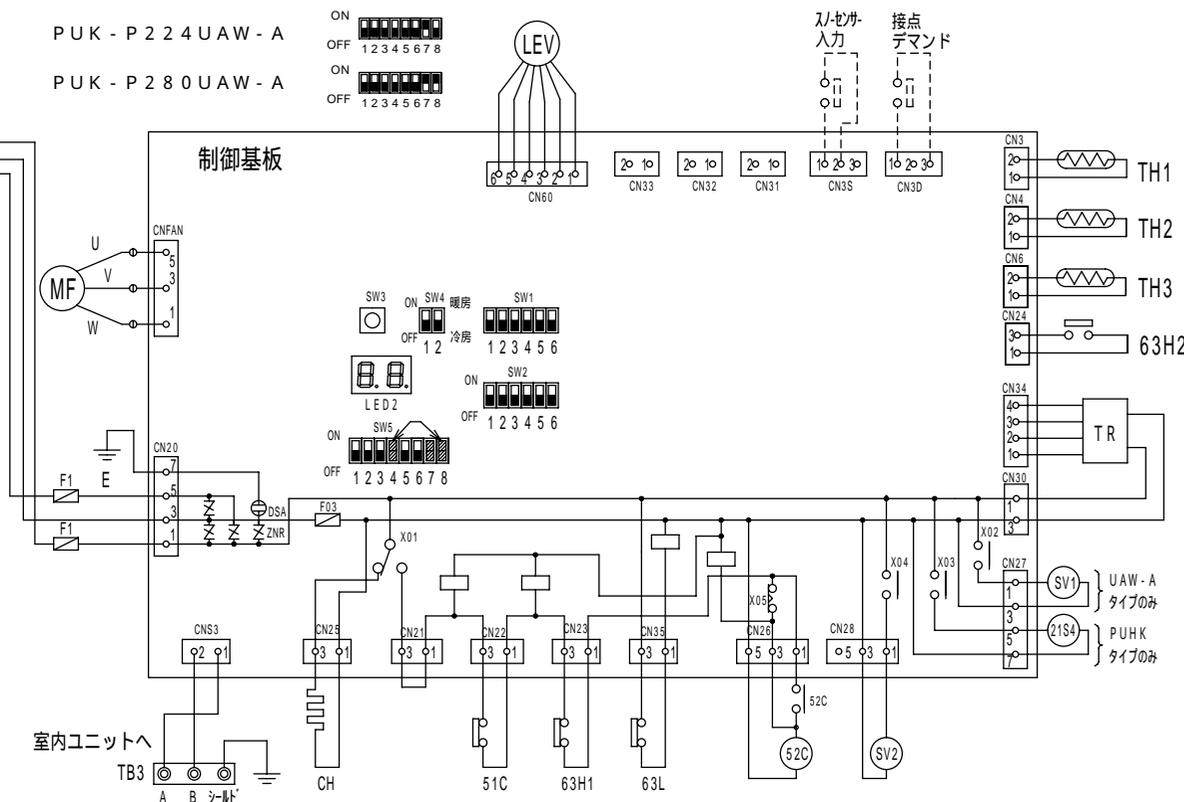
出荷時SW5は下記の状態となっています。



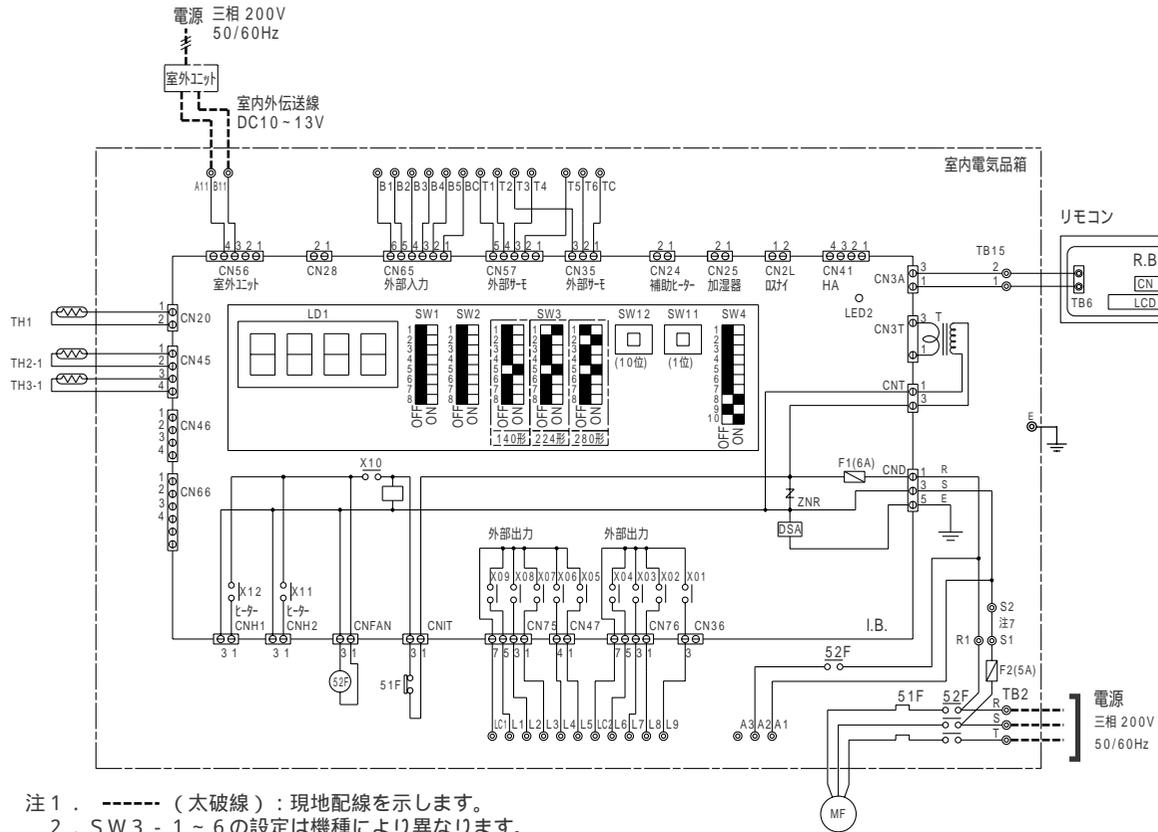
電源
3相200V
50/60Hz



記号	名称	記号	名称
MC	圧縮機用電動機	CN3	コネクター(配管温度TH1)
MF	送風機用電動機	CN4	コネクター(吐出温度TH2)
52C	電磁接触器(圧縮機)	CN6	コネクター(熱交温度TH3)
51C	熱動油流検電器(圧縮機)	CN20	コネクター(電源)
63H1	圧力開閉器(高圧保護)3.3MPa OFF	CN22	コネクター(51C)
63H2	圧力開閉器(制御)2.79MPa ON	CN23	コネクター(63H1)
63L	圧力開閉器(低圧保護)0 MPa OFF	CN24	コネクター(63H2)
ZNR	バリスター	CN25	コネクター(CH)
CH	発熱器(ベルトヒーター)	CN26	コネクター(52C)
TR	トランス	CN27	コネクター(21S4, SV1)
TB1	端子台(電源)	CN28	コネクター(SV2)
TB3	端子台(AW制御信号線)	CN30	コネクター(トランス1次)
TH1	サ・ミスター(配管温度検知)	CN31	コネクター(応急)
TH2	サ・ミスター(吐出配管温度検知)	CN32	コネクター(テスト)
TH3	サ・ミスター(熱交温度検知)	CN33	コネクター(機種設定)
DSA	アレスター	CN34	コネクター(トランス2次)
F1	ヒューズ(10A)	CN35	コネクター(63L)
F03	ヒューズ(2A)	CN3D	コネクター(接点デマンド)
E	A・ス端子	CN3S	コネクター(スノ・センサ)
X01	リレ-(CH)	CNS3	コネクター(伝送)
X02	リレ-(SV1)	CN60	コネクター(LEV)
X03	リレ-(21S4)	21S4	四方弁(PUHKタイプのみ)
X04	リレ-(SV2)	LEV	電動式圧膨弁
X05	リレ-(52C)	SV1	返油電磁弁(UAW-Aタイプのみ)
CNFAN	コネクター(送風機)	SV2	オイル電磁弁



- 注1. ユニットのD種(第三種)接地工事を必ず実施してください。
 注2. TB3は伝送用端子台ですので、動力線は接続しないでください。
 注3. 破線は現地手配を示します。



記号説明

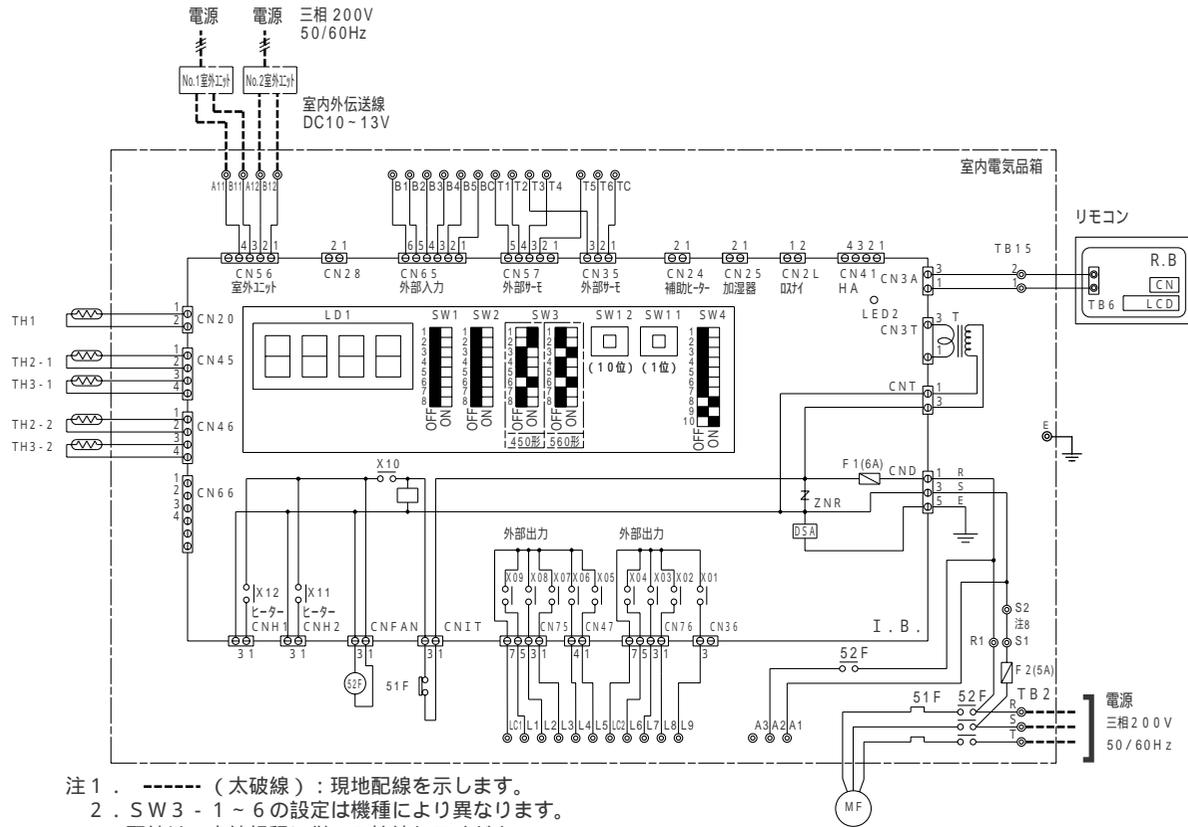
記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	LD1	発光ダイオード(表示)
51F	熱動過電流継電器	LED2	発光ダイオード(リモコン給電)
52F	補助継電器(送風機用)	TH1	サーミスター(吸込み空気温度)
TB2	電源端子台	TH2-1	サーミスター(No.1熱交換管温度)
TB15	MAリモコン用端子台	TH3-1	サーミスター(No.1熱交換管温度)
I.B.	室内制御基板	SW1(I.B)	スイッチ(機種設定)
ZNR	バリスター	SW2(I.B)	スイッチ(自己診断)
CN24	コネクター(補助ヒーター)	SW3(I.B)	スイッチ(能力設定)
CN25	コネクター(加湿器)	SW4(I.B)	スイッチ(機能切換)
CN41	コネクター(HA)	SW11(I.B)	スイッチ(7'以設定用 10の位)
CNH1	コネクター(暖房ヒーター1)	SW12(I.B)	スイッチ(7'以設定用 10の位)
CNH2	コネクター(暖房ヒーター2)	R.B	リモコン基板
CN1T	コネクター(51F)	CN	コネクター(別売:スケジュールタイマー)
CNFAN	コネクター(52F)	TB6	端子台(室内ユニット接続)
CN2L	コネクター(ロスナイ)	LCD	液晶表示器
T	トランス	DSA	アレスター
F1,F2	ヒューズ	E	アース端子
X01-X12	補助継電器(室内基板内)		

外部接続端子の説明 冷房専用室外ユニットと組合せた場合、暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーターを組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル 接点入力 回路電圧: DC12V	B1	RC / 遠方切換	ONでRC操作になります。	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 ・配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地信号を引-受けして基板に力しくしてください。 ・推奨用:微小電流用接触器MVF形 ・本体制御箱内にリレー取付穴-があり、本機制御箱内に取付けることが可能です。 ・低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。
		B2	冷房運転ON - OFF	・B2 - B5端子は必ず1端子のみ入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。	
		B3	暖房運転ON - OFF		
		B4	送風運転ON - OFF		
		B5	自動運転ON - OFF		
外部サーモ端子	レベル 接点入力 回路電圧: DC12V	T1	冷房ON-OFF	・外部サーモは左記内容に従って間違いないように接続してください。間違っていると正常に運転しなくなります。	・外部サーモは左記内容に従って間違いないように接続してください。間違っていると正常に運転しなくなります。 ・バルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。 ・外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。 ・冷房自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。詳しくは技術資料を参照ください。
		T2	配線接続しない		
		T3	配線接続しない		
		T4	暖房 高段側ON-OFF		
		T5	暖房 低段側ON-OFF(補助ヒーター)	・T5端子は補助ヒーター組込み時のみ配線接続してください。	
		T6	配線接続しない		
外部出力端子	無電圧 a接点 出力 回路電圧: AC200V 2.5A	L1	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に無電圧のa接点出力をします。	・出力のa接点の接点電流量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご使用になる場合はリレー取付けてください。
		L2	52F ON時出力		
		L3	サーモ ON時出力		
		L4	暖房運転時出力		
		L5	霜取運転時出力		
		LC1	L1-L5端子のコモン端子		
		L6	異常出力(室内、室外共通)		
		L7	異常出力(室外ユニット)		
LC2	L6-L9端子のコモン端子				

- 注1. ----- (太破線) : 現地配線を示します。
 2. SW3-1~6の設定は機種により異なります。
 3. 配線は、内線規程に従って接続してください。
 4. 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。但し、別売部品(ヒーター、加湿器、モーター)を組込んで、本体と同一電源にする場合は再選定が必要となります。
 5. 印は端子台、⊖印はコネクター、⊕印は基板差込みコネクターを示します。
 6. 停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON(有効)にしてください。標準出荷時は、OFF(無効)となっています。但し外部入力で発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
 7. 緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。

	140形	224形	280形
開閉器	15A	15A	15A
過電流保護器	15A	15A	15A
電線太さ	1.6mm以上	1.6mm以上	1.6mm以上



- 注1. ----- (太破線) : 現地配線を示します。
 2. SW3-1~6の設定は機種により異なります。
 3. 配線は、内線規程に従って接続してください。
 4. 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。
 但し、別売部品(ヒーター、加湿器、モーター)を組み込んで、本体と同一電源にする場合は再選定が必要となります。
 5. 室外ユニットへの室内外伝送線No.1、No.2は、冷媒配管系統No.1、No.2と一致するよう確実に配線してください。
 6. 印は端子台、⊖印はコネクター、⊕印は基板差込みコネクターを示します。
 7. 停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON(有効)にしてください。標準出荷時は、OFF(無効)となっています。但し外部入力で発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
 8. 緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。

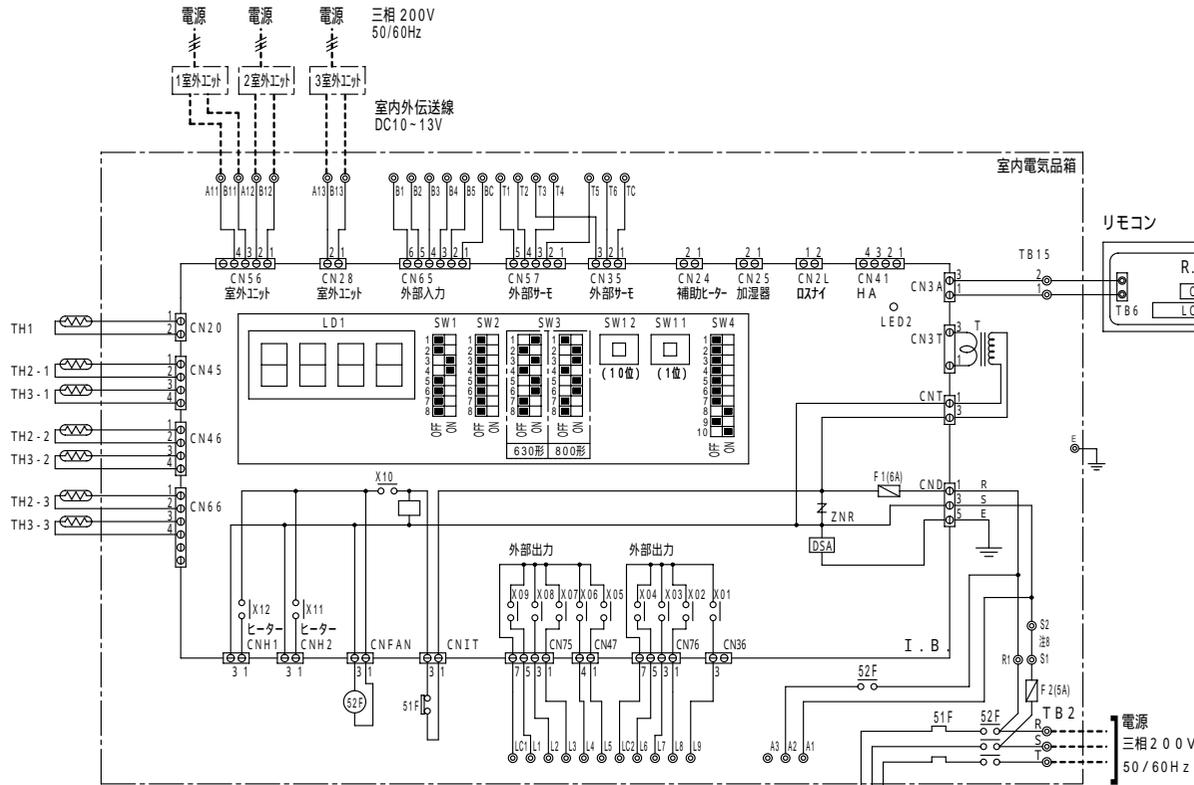
	450形	560形
開閉器	30A	30A
過電流保護器	20A	30A
電線太さ	1.6mm以上	1.6mm以上

記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	TH1	サーミスター(吸込み空気温度)
S1F	熱動過電流継電器	TH2-1	サーミスター(No.1熱交換管温度)
S2F	補助継電器(送風機用)	TH2-2	サーミスター(No.2熱交換管温度)
TB15	電源端子台	TH3-1	サーミスター(No.1熱交二相管温度)
TB15	MAリモコン用端子台	TH3-2	サーミスター(No.2熱交二相管温度)
I.B.	室内制御基板	SW1(I.B)	スイッチ(機種設定)
ZNR	バリスタ	SW2(I.B)	スイッチ(自己診断)
CN24	コネクター(補助ヒーター)	SW3(I.B)	スイッチ(能力設定)
CN25	コネクター(加湿器)	SW4(I.B)	スイッチ(機能切換)
CN41	コネクター(HA)	SW11(I.B)	スイッチ(7F)以設定用1の位)
CNH1	コネクター(暖房ヒーター-1)	SW12(I.B)	スイッチ(7F)以設定用10の位)
CNH2	コネクター(暖房ヒーター-2)	R.B	リモコン基板
CNIT	コネクター(51F)	CN	コネクター(別売:スケジューラタイマー)
CNFAN	コネクター(52F)	TB6	端子台(室内ユニット接続)
CN2L	コネクター(ロスナイ)	LCD	液晶表示器
T	トランス	DSA	アレスター
F1,F2	ヒューズ	E	アース端子
X01-X12	補助継電器(室内基板内)		
LD1	発光ダイオード(表示)		
LED2	発光ダイオード(リモコン給電)		

外部接続端子の説明 冷房専用室外工と組合わせた場合、暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーターを接続した場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル入力 回路電圧: DC12V	B1	R C / 遠方切換え	ONでRC操作になります。	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 ・配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で接地信号を引-受けして基板に入力してください。 ・推定消費電力:微小電流用IC(MV形)本体制御部内にリレー駆動ICがあり、そので制御部内に取付けることが可能です。 ・低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。
		B2	冷房運転ON-OFF	1端子のみに入力してください。2端子以上入りますとユニットは停止します。	
		B3	暖房運転ON-OFF		
		B4	送風運転ON-OFF		
		B5	自動運転ON-OFF		
		BC	B1-B5端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル入力 回路電圧: DC12V	T1	冷房 高段側ON-OFF(No.2回路)	・外部サーモは左記内容に従って間違いないように接続してください。	・外部サーモ接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。 ・冷暖自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。詳しくは技術資料を参照ください。
		T2	冷房 低段側ON-OFF(No.1回路)	・T6端子は補助ヒーター組み込み時のみ配線接続してください。	
		T3	配線接続しない		
		T4	暖房 高段側ON-OFF(No.1回路)	正常に運転しなくなります。	
		T5	暖房 低段側ON-OFF(No.2回路)		
		T6	暖房 最低段側ON-OFF(補助ヒーター)		
		TC	T1-T6端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧 a接点 回路電圧: AC200V 2.5A	L1	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に無電圧のa接点出力をします。	・出力のa接点の接続電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご利用になる場合はリレー-受けしてください。
		L2	S2FON時出力		
		L3	サーモON時出力		
		L4	暖房運転時出力		
		L5	霜取運転時出力		
		LC1	L1-L5端子のコモン端子		
		L6	異常出力(室内、室外共通)		
		L7	異常出力(室外ユニット)		
		L8	使用しない		
		L9	使用しない		
LC2	L6-L9端子のコモン端子				



- 注1 ----- (太破線) : 現地配線を示します。
 2. SW3-1~6の設定は機種により異なります。
 3. 配線は、内線規程に従って接続してください。
 4. 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。
 但し、別売部品(ヒーター、加湿器、モーター)を組込んで、本体と同一電源にする場合は再選定が必要となります。
 5. 室外ユニットへの室内外伝送線No.1、No.2、No.3は、冷媒配管系統No.1、No.2、No.3と一致するよう確実に配線してください。
 6. ⊙印は端子台、⊖印はコネクター、⊞印は基板差込みコネクターを示します。
 7. 停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON(有効)にしてください。標準出荷時は、OFF(無効)となっています。但し外部入力が発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
 8. 緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。

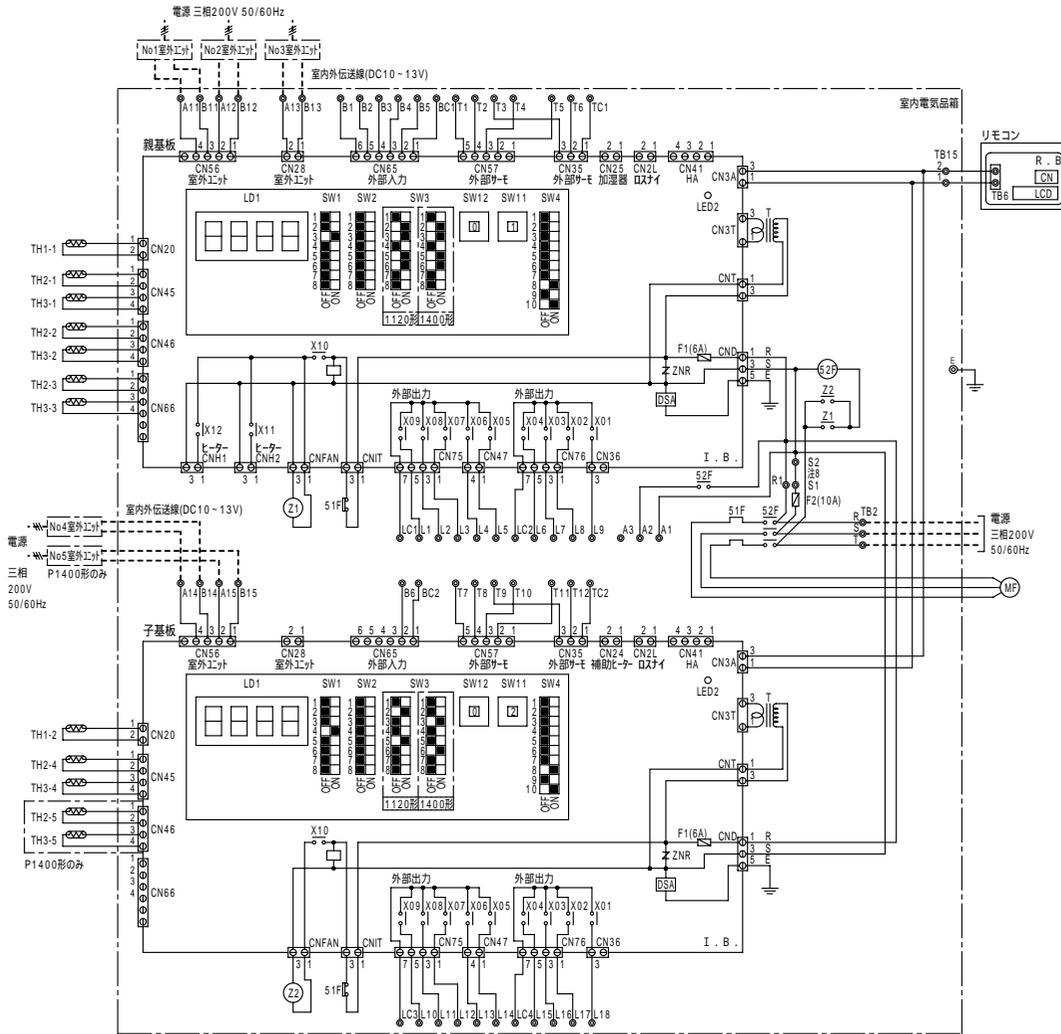
	630形	800形
開閉器	30A	60A
過電流保護器	30A	50A
電線太さ	1.6mm以上	5.5mm以上

記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	TH1	サーミスター(感込み空気温度)
51F	熱動過電流継電器	TH2-1	サーミスター(No.1熱交換管温度)
52F	補助継電器(送風機用)	TH2-2	サーミスター(No.2熱交換管温度)
TB2	電源端子台	TH2-3	サーミスター(No.3熱交換管温度)
TB15	MAリモコン端子台	TH3-1	サーミスター(No.1熱交換二相温度)
I.B.	室内制御基板	TH3-2	サーミスター(No.2熱交換二相温度)
ZNR	バリスター	TH3-3	サーミスター(No.3熱交換二相温度)
CN24	コネクター(補助ヒーター)	SW1(I.B)	スイッチ(機種設定)
CN25	コネクター(加湿器)	SW2(I.B)	スイッチ(自己診断)
CN41	コネクター(HA)	SW3(I.B)	スイッチ(能力設定)
CNH1	コネクター(暖房ヒーター1)	SW4(I.B)	スイッチ(機能切換)
CNH2	コネクター(暖房ヒーター2)	SW11(I.B)	スイッチ(7/11設定用10の位)
CNIT	コネクター(51F)	SW12(I.B)	スイッチ(7/11設定用10の位)
CNFAN	コネクター(52F)	R.B	リモコン基板
CN2L	コネクター(ロスナイ)	CN	コネクター(別売・スケジュールタイマー)
T	トランス	TB6	端子台(室内ユニット接続)
F1,F2	ヒューズ	LCD	液晶表示器
X01-X12	補助継電器(室内基板内)	DSA	アレスター
LD1	発光ダイオード(表示)	E	アース端子
LED2	発光ダイオード(リモコン絵電)		

外部接続端子の説明 冷房専用室外工と組合わせの場合、暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーターを組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル 接点入力 回路電圧 DC12V	B1	RC/遠方切換え	ONでRC操作になります。	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 ・配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地巻線をループ受けて基板に入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。 ・本体制御箱内にリレー取付スペースがありますので制御箱内に取付けることが可能です。 ・低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。
		B2	冷房運転ON-OFF	・B2-B5端子は必ず1端子のみに入力してください。	
		B3	暖房運転ON-OFF		
		B4	送風運転ON-OFF		
		B5	自動運転ON-OFF		
		BC	B1-B5端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル 接点入力 回路電圧 DC12V	T1	冷房 高段側 ON-OFF(3回路)	・外部サーモは左記内容に従って間違いの無いように接続してください。	同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。 ・パルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。 ・外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。 ・冷媒自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。詳しくは技術資料を参照ください。
		T2	冷房 低段側 ON-OFF(2回路)		
		T3	冷房 最低段側 ON-OFF(1回路)	間違っても接続しますと正常に作らなくなります。	
		T4	暖房 高段側 ON-OFF(1回路)		
		T5	暖房 低段側 ON-OFF(2回路)		
		T6	暖房 最低段側 ON-OFF(3回路+補助ヒーター)		
		TC	T1-T6端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧 a接点 出力 回路容量 AC200V 2.5A	L1	冷房運転時出力	・出力のa接点の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご利用になる場合はリレー受けてください。	
		L2	52F ON時出力		
		L3	サーモ ON時出力		
		L4	暖房運転時出力		
		L5	暖房取運転時出力		
		LC1	L1-L5端子のコモン端子		
		L6	異常出力(室内、室外共通)		
		L7	異常出力(No.1室外ユニット)		
		L8	異常出力(No.2室外ユニット)		
L9	異常出力(No.3室外ユニット)				
LC2	L6-L9端子のコモン端子				



記号説明

記号	名称	記号	名称
M F	送風機用電動機	TH1-1,2	サーミスター(暖いみ空気温度)
S1 F	外部送風用保護器	TH2-1	サーミスター(No.1熱交換器温度)
S2 F	補助送風器(送風機用)	TH2-2	サーミスター(No.2熱交換器温度)
T B 2	電源端子台	TH2-3	サーミスター(No.3熱交換器温度)
T B 1.5	MAリモコン用端子台	TH2-4	サーミスター(No.4熱交換器温度)
T. B.	室内制御基板	TH2-5	サーミスター(No.5熱交換器温度)・P1400形
Z N R	リモコン	TH3-1	サーミスター(No.1熱交換器温度)
CN2.4	コネクター(補助ヒーター)	TH3-2	サーミスター(No.2熱交換器温度)
CN2.5	コネクター(加温器)	TH3-3	サーミスター(No.3熱交換器温度)
CN4.1	コネクター(HA)	TH3-4	サーミスター(No.4熱交換器温度)
CN H 1	コネクター(暖房ヒーター1)	TH3-5	サーミスター(No.5熱交換器温度)・P1400形
CN H 2	コネクター(暖房ヒーター2)	S W 1 (I. B.)	スイッチ(機種設定)
CN H 3	コネクター(S1 F)	S W 2 (I. B.)	スイッチ(自動制御)
CN F A N	コネクター(S2 F)	S W 3 (I. B.)	スイッチ(能力設定)
CN2.L	コネクター(ロスタイ)	S W 4 (I. B.)	スイッチ(機能切換)
T	トランス	S W 1.1 (I. B.)	スイッチ(アドレス設定用 1の位)
F1 F 2	ヒューズ	S W 1.2 (I. B.)	スイッチ(アドレス設定用 10の位)
X0.1-X1.2	補助送風器(室内基板内)	R. B.	リモコン基板
Z1 Z.2	補助送風器(送風機用)	C N	コネクター(別表:スケジューラタイマー)
L D 1	発光ダイオード(表示)	T B 6	端子台(室内ユニット接続)
L E D 2	発光ダイオード(リモコン給電)	L C D	液晶表示器
E	アース端子	D S A	アレスター

外部接続端子の説明 冷房専用室外機と組合わせた場合、暖房に関する内容は別表の暖房用ヒーターを組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
レベル 電圧 0V/2V	外部入力端子	B1	R/Cノード切換え	ONでRと操作になります。	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、電流適用接点を接続ください。 ・B2-B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力するとユニットは停止します。 ・排気リレー: 微小電流用4D製MY形 ・本体制御箱内にリレー-取付けスペースがありますので制御箱内に取付けることが可能です。低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。 ・同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。 ・(R/C入力、AC200V等の入力を行う場合は別表の標準キットPAC-CG91RCKとご使用ください。 ・P1120のT11端子、P1400のT12端子は冷房ヒーター組込み時のみ配線接続してください。 ・詳しくは技術資料を参照ください。
		B2	冷房運転ON-OFF	S W 1 (I. B.)	
		B3	暖房運転ON-OFF	S W 2 (I. B.)	
		B4	送風運転ON-OFF	S W 3 (I. B.)	
		B5	自動運転ON-OFF	S W 4 (I. B.)	
レベル 電圧 0V/2V	外部出力端子	T1	冷房ON-OFF(No.3回路)	T1	冷房ON-OFF(No.3回路)
		T2	冷房ON-OFF(No.2回路)	T2	冷房ON-OFF(No.2回路)
		T3	冷房ON-OFF(No.1回路)	T3	冷房ON-OFF(No.1回路)
		T4	暖房ON-OFF(No.2回路)	T4	暖房ON-OFF(No.2回路)
		T5	暖房ON-OFF(No.3回路)	T5	暖房ON-OFF(No.3回路)
		T6	暖房ON-OFF(No.4回路)	T6	暖房ON-OFF(No.4回路)
		T7	冷房ON-OFF(No.5回路)・P1120形	T7	冷房ON-OFF(No.5回路)・P1120形
		T8	冷房ON-OFF(No.5回路)・P1400形	T8	冷房ON-OFF(No.5回路)・P1400形
		T9	配線接続しない	T9	配線接続しない
		T10	暖房ON-OFF(No.4回路)	T10	暖房ON-OFF(No.4回路)
無電圧 3線出力	外部出力端子	T11	暖房ON-OFF(補助ヒーター)・P1120形	T11	暖房ON-OFF(補助ヒーター)・P1120形
		T12	暖房ON-OFF(No.5回路)・P1400形	T12	暖房ON-OFF(No.5回路)・P1400形
		T C 1	T1-T6端子のコモン端子	T C 1	T1-T6端子のコモン端子
		T C 2	T7-T12端子のコモン端子	T C 2	T7-T12端子のコモン端子
		L1 L10	冷房運転時出力	L1 L10	冷房運転時出力
		L2 L11	5.2 F ON時出力	L2 L11	5.2 F ON時出力
		L3 L12	サーモ ON時出力	L3 L12	サーモ ON時出力
		L4 L13	暖房運転時出力	L4 L13	暖房運転時出力
		L5 L14	電圧運転時出力	L5 L14	電圧運転時出力
		L C 1	L1-L5端子のコモン端子	L C 1	L1-L5端子のコモン端子
L C 3	L10-L14端子のコモン端子	L C 3	L10-L14端子のコモン端子		
L6 L15	異常出力(室内、室外共通)	L6 L15	異常出力(室内、室外共通)		
L7	異常出力(室外ユニットNo.1)	L7	異常出力(室外ユニットNo.1)		
L8	異常出力(室外ユニットNo.2)	L8	異常出力(室外ユニットNo.2)		
L9	異常出力(室外ユニットNo.3)	L9	異常出力(室外ユニットNo.3)		
L16	異常出力(室外ユニットNo.4)	L16	異常出力(室外ユニットNo.4)		
L17	異常出力(室外ユニットNo.5)・P1400形	L17	異常出力(室外ユニットNo.5)・P1400形		
L18	使用しない	L18	使用しない		
L C 2	L6-L9端子のコモン端子	L C 2	L6-L9端子のコモン端子		
L C 4	L15-L18端子のコモン端子	L C 4	L15-L18端子のコモン端子		

- 注1. --- (太線): 現地配線を示します。
- 注2. SW3-1~6の設定は機種により異なります。
- 注3. 配線は、内線規程に従って接続してください。
- 注4. 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。但し、加温器等を組込んで、本体と同一電源にする場合は再選定が必要となります。
- 注5. 室外ユニットへの室内外伝送線No.1~No.5は、冷媒配管系統No.1~No.5と一致するよう確実に配線してください。(No.5はP1400形のみ)
- 注6. ⊙印は端子台、⊖印はコネクター、⊗印は機能差込みコネクターを示します。
- 注7. 停電自動復帰させる場合は、室内ユニット基板2枚共SW4-1をON(有効)にしてください。標準出荷時は、OFF(無効)となっています。但し外部入力で発停している場合は、復帰時の外部信号に従います。
- 注8. 緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。

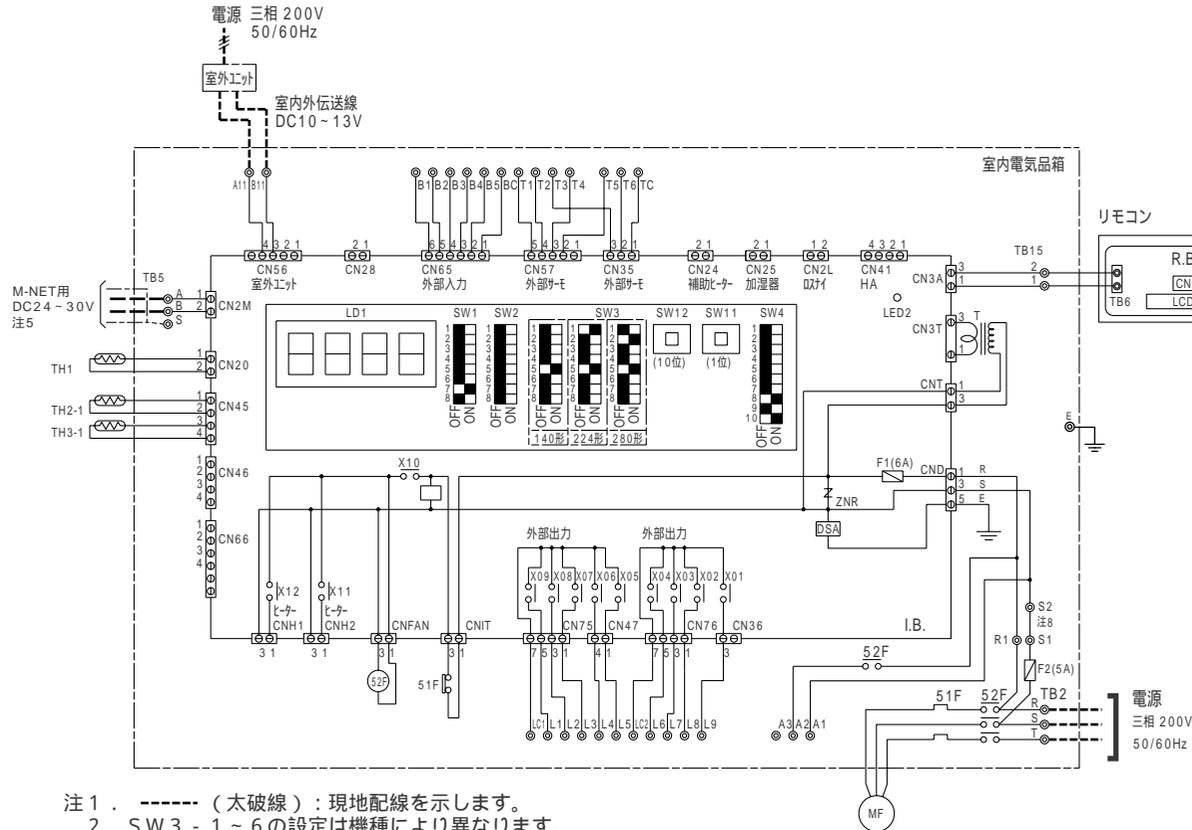
	1120形	1400形
開閉器	100 A	100 A
過電流保護器	75 A	100 A
電線太さ	8mm以上	1.4mm以上

記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	LD1	発光ダイオード(表示)
51F	熱動過電流継電器	LED2	発光ダイオード(リモコン給電)
52F	補助継電器(送風機用)	TH1	サーミスター(吸込み空気温度)
TB2	電源端子台	TH2-1	サーミスター(No.1熱交換管温度)
TB5	集中管理用、M-NET用伝送端子台	TH3-1	サーミスター(No.1熱交換管温度)
TB15	M-Aリモコン用端子台	SW1(I.B)	スイッチ(機種設定)
I.B.	室内制御基板	SW2(I.B)	スイッチ(自己診断)
ZNR	バリスター	SW3(I.B)	スイッチ(能力設定)
CN24	コネクタ(補助ヒーター)	SW4(I.B)	スイッチ(機能切換)
CN25	コネクタ(加湿器)	SW11(I.B)	スイッチ(7d/以設定用 1の位)
CN41	コネクタ(HA)	SW12(I.B)	スイッチ(7d/以設定用 10の位)
CNH1	コネクタ(暖房ヒーター1)	R.B	リモコン基板
CNH2	コネクタ(暖房ヒーター2)	CN	コネクタ(別売:スケジュールタイマー)
CNIT	コネクタ(51F)	TB6	端子台(室内ユニット接続)
CNFAN	コネクタ(52F)	LCD	液晶表示器
CN2L	コネクタ(ロスナイ)	DSA	アレスター
T	トランス	E	アース端子
F1,F2	ヒューズ		
X01-X12	補助継電器(室内基板内)		

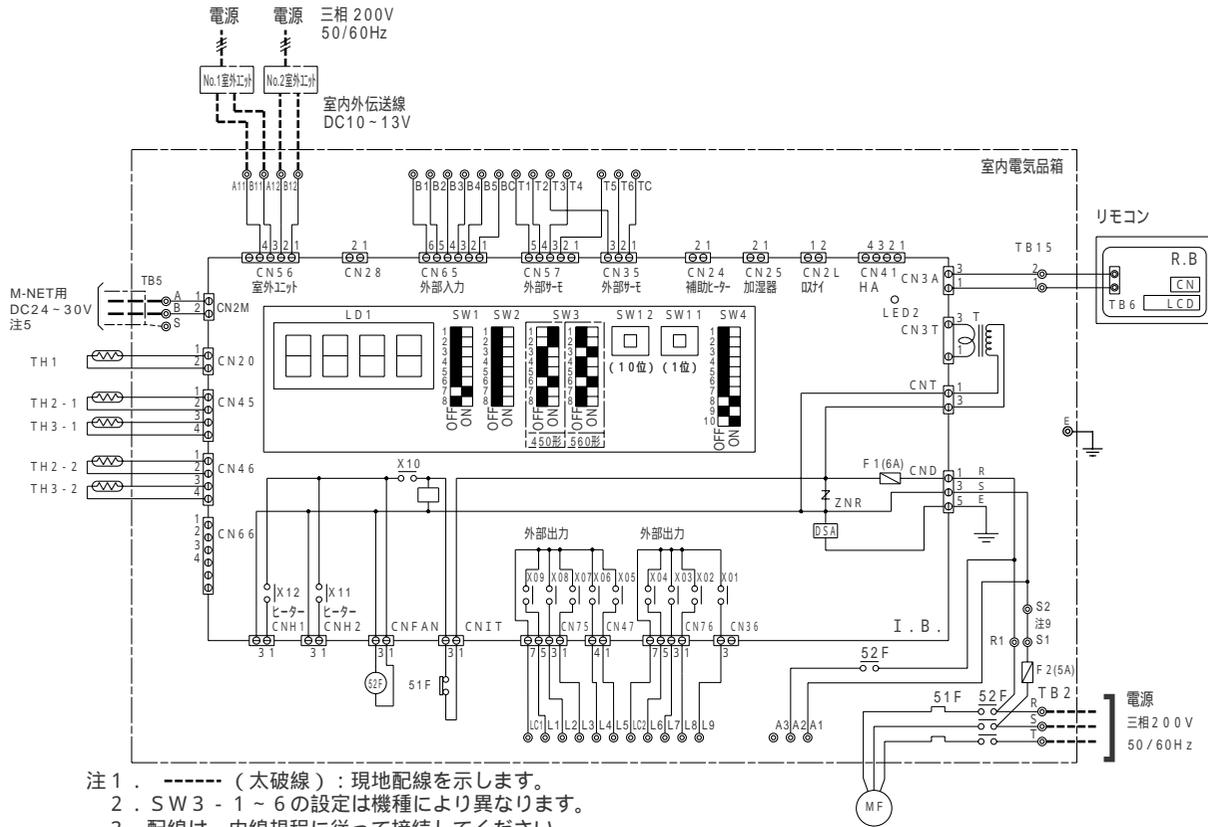
外部接続端子の説明 冷房専用室外工と組合わせた場合、暖房に関する内容は別売の暖房ヒーターを組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル	B1	R C / 遠方切換え	ONでRC操作になります。	*外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地巻線をループ受けして基板に入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。 *本体制御箱内にリレー取付穴が必ずあり、その取付穴内に取付けることが可能です。 *低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。
	回路電圧: DC12V	B2	冷房運転ON-OFF	*B2-B5端子は必ず1端子のみ入力してください。	
	B3	暖房運転ON-OFF			
	B4	送風運転ON-OFF			
	B5	自動運転ON-OFF			
外部サーモ端子	レベル	T1	冷房ON-OFF	*外部サーモは左記内容に従って間違いないように接続してください。	同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。 *バルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。 *外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。 *冷房自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。詳しくは技術資料を参照ください。
	回路電圧: DC12V	T2	配線接続しない		
	T3	配線接続しない			
	T4	暖房 高段側ON-OFF			
	T5	暖房 低段側ON-OFF(補助ヒーター)			
	T6	配線接続しない			
	T7	配線接続しない			
外部出力端子	無電圧a接点出力	L1	冷房運転時出力		*出力のa接点の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上で使用になる場合はリレー受けしてください。
	L2	52F ON時出力			
	L3	サーモ ON時出力			
	接点容量: AC200V 2.5A	L4	暖房運転時出力		
	L5	霧取運転時出力			
	LC1	L1-L5端子のコモン端子			
	L6	異常出力(室内、室外共通)			
	L7	異常出力(室外ユニット)			
	L8	使用しない			
	L9	使用しない			
LC2	L6-L9端子のコモン端子				



- 注1. ----- (太破線): 現地配線を示します。
 2. SW3-1~6の設定は機種により異なります。
 3. 配線は、内線規程に従って接続してください。
 4. 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。但し、別売部品(ヒーター、加湿器、モーター)を組込んで、本体と同一電源にする場合は再選定が必要となります。
 5. M-NET接続時には、必ず伝送線用給電ユニット(別売)が必要です。
 6. 印は端子台、⊕印はコネクタ、⊗印は基板差込みコネクタを示します。
 7. 停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON(有効)にしてください。標準出荷時は、OFF(無効)となっています。但し外部入力が発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
 8. 緊急停止力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。

	140形	224形	280形
開閉器	15A	15A	15A
過電流保護器	15A	15A	15A
電線太さ	1.6mm以上	1.6mm以上	1.6mm以上



- 注1. ----- (太破線) : 現地配線を示します。
 2. SW3 - 1 ~ 6の設定は機種により異なります。
 3. 配線は、内線規程に従って接続してください。
 4. 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。但し、別売部品(ヒーター、加湿器、モーター)を組込んで、本体と同一電源にする場合は再選定が必要となります。
 5. 室外ユニットへの室内外伝送線No.1, No.2は、冷媒配管系統No.1, No.2と一致するよう確実に配線してください。
 6. M-NET接続時には、必ず伝送線用給電ユニット(別売)が必要です。
 7. 印は端子台、⊖印はコネクター、ⓧ印は基板差込みコネクターを示します。
 8. 停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON(有効)にしてください。標準出荷時は、OFF(無効)となっています。但し外部入力で発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
 9. 緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。

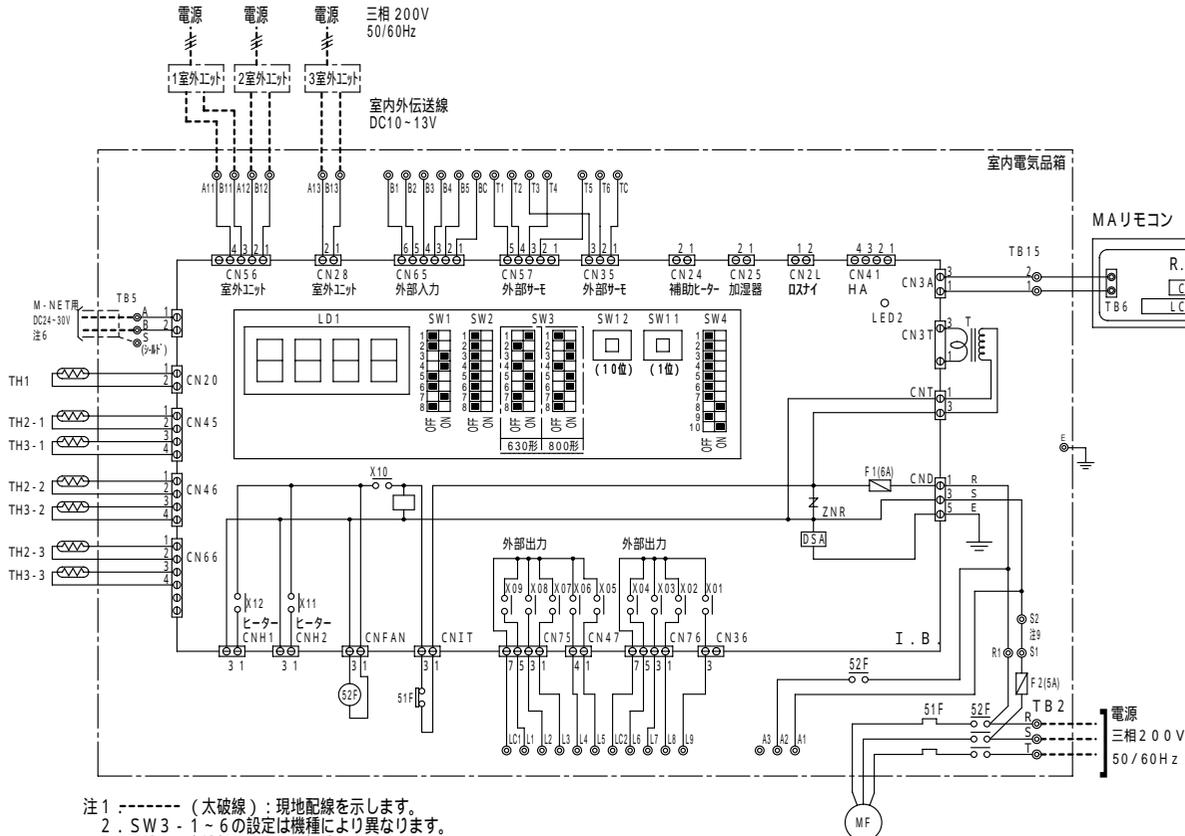
開閉器	450形	560形
過電流保護器	30A	30A
電線太さ	2.0A	3.0A
	1.6mm以上	1.6mm以上

記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	LD1	発光ダイオード(表示)
S1F	熱動過電流継電器	LED2	発光ダイオード(リモコン給電)
S2F	補助継電器(送風機用)	TH1	サーミスター(吸込み空気温度)
TB2	電源端子台	TH2-1	サーミスター(No.1熱交換管温度)
TB5	集中管理用、M-NET用伝送端子台	TH2-2	サーミスター(No.2熱交換管温度)
TB1.5	MAリモコン用端子台	TH3-1	サーミスター(No.1熱交換管温度)
I.B.	室内制御基板	TH3-2	サーミスター(No.2熱交換管温度)
ZNR	バリスター	SW1(I.B)	スイッチ(機種設定)
CN2.4	コネクター(補助ヒーター)	SW2(I.B)	スイッチ(自己診断)
CN2.5	コネクター(加湿器)	SW3(I.B)	スイッチ(能力設定)
CN4.1	コネクター(HA)	SW4(I.B)	スイッチ(機能切換)
CNH1	コネクター(暖房ヒーター-1)	SW11(I.B)	スイッチ(7d'以設定用 1の位)
CNH2	コネクター(暖房ヒーター-2)	SW12(I.B)	スイッチ(7d'以設定用 10の位)
CNI.T	コネクター(S1F)	R.B	リモコン基板
CNFAN	コネクター(S2F)	CN	コネクター(別売:スケジュールタイマー)
CN2.L	コネクター(ロスナイ)	TB6	端子台(室内ユニット接続)
T	トランス	LCD	液晶表示器
F1,F2	ヒューズ	DSA	アレスター
X01-X12	補助継電器(室内基板内)	E	アース端子

外部接続端子の説明 冷房専用室外ユニットと組合わせた場合、暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーターを組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル 接点入力 回路電圧 DC12V	B1	RC / 遠方切換え	ONでRC操作になります。	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 ・配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地信号を引-受けして基板に入力してください。 ・推奨引-微小電流用和製M形 ・本体制御箱内にリレー取付穴-がありますので制御箱内に取付けることが可能です。 ・低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。 ・同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。 ・バルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。 ・外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。 ・冷暖自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。 詳しくは技術資料を参照ください。
		B2	冷房運転ON - OFF	B2 - B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力するとユニットは停止します。	
		B3	暖房運転ON - OFF		
		B4	送風運転ON - OFF		
		B5	自動運転ON - OFF		
外部サーモ端子	レベル 接点入力 回路電圧 DC12V	T1	冷房 高段側ON-OFF(No.2回路)		・外部サーモは左記内容に従って間違いないように接続してください。 ・外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。 ・冷暖自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。 詳しくは技術資料を参照ください。
		T2	冷房 低段側ON-OFF(No.1回路)		
		T3	配線接続しない		
		T4	暖房 高段側ON-OFF(No.1回路)		
		T5	暖房 低段側ON-OFF(No.2回路)		
		T6	暖房 最低段側ON-OFF(補助ヒーター)		
外部出力端子	無電圧 a接点 出力 容量 AC200V 2.5A	L1	冷房運転時出力		・出力のa接点の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご使用になる場合はリレー-受けしてください。
		L2	S2F ON時出力		
		L3	サーモ ON時出力		
		L4	暖房運転時出力		
		L5	霜取運転時出力		
		L C 1	L1 - L5端子のコモン端子		
		L6	異常出力(室内、室外共通)		
		L7	異常出力(室外ユニット)		
L9	使用しない				
L C 2	L6 - L9端子のコモン端子				



- 注1 ----- (太破線) : 現地配線を示します。
 2. SW3-1~6の設定は機種により異なります。
 3. 配線は、内線規程に従って接続してください。
 4. 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。
 但し、別売部品(ヒーター、加湿器、モーター)を組み込んで、本体と同一電源にする場合は再選定が必要となります。
 5. 室外ユニットへの室内外伝送線No.1、No.2、No.3は、冷媒配管系統No.1、No.2、No.3と一致するように確実に配線してください。
 6. M-NET接続時には、必ず伝送用給電ユニット(別売)が必要です。
 7. ⊙印は端子台、⊖印はコネクタ、⊠印は基板差込みコネクタを示します。
 8. 停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON(有効)にしてください。標準出荷時は、OFF(無効)となっています。但し外部入力で発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
 9. 緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。

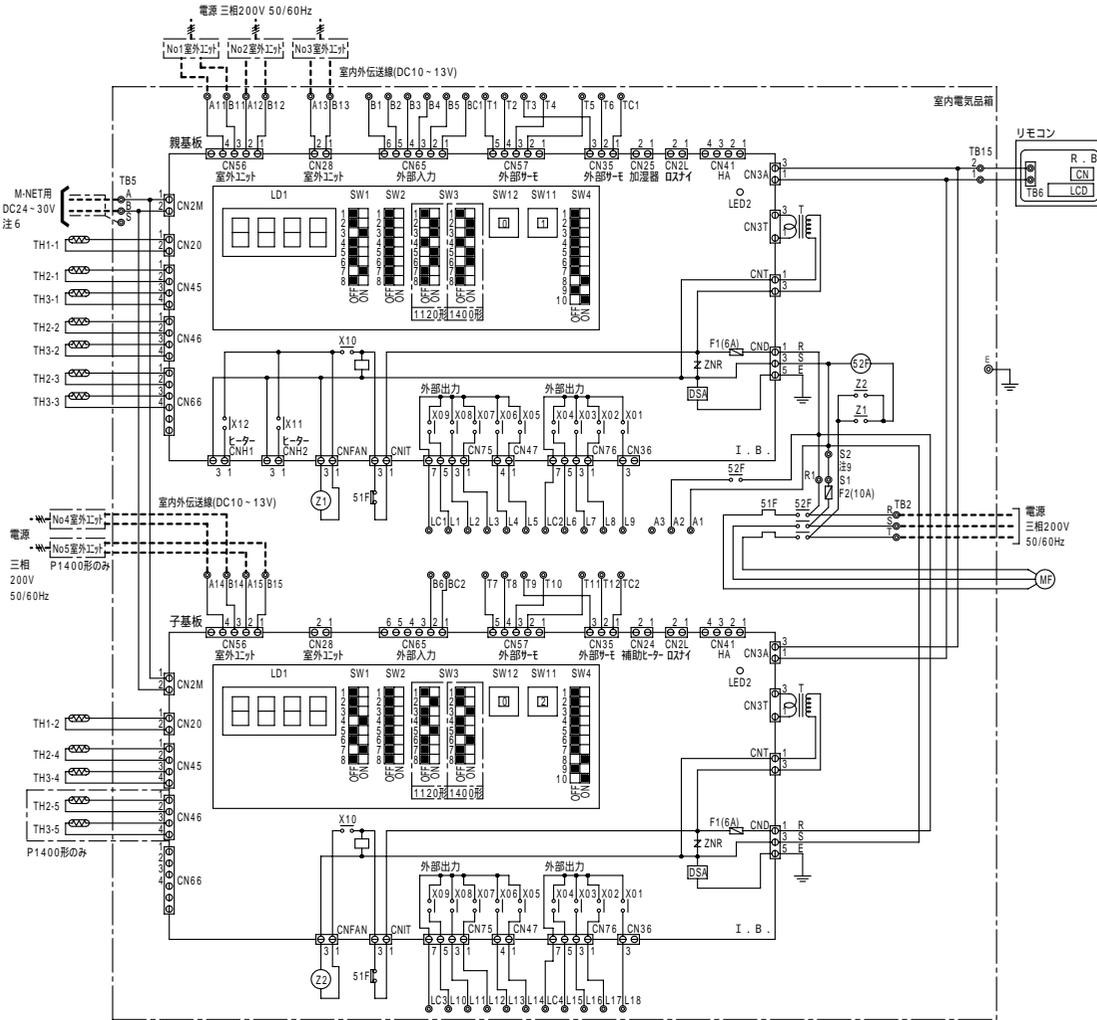
	630形	800形
開閉器	30A	60A
過電流保護器	30A	50A
電線太さ	1.6mm以上	5.5mm ² 以上

記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	TH1	サーミスター(吸込み空気温度)
S1F	熱動過電流継電器	TH2-1	サーミスター(No.1熱交換管温度)
S2F	補助継電器(送風機用)	TH2-2	サーミスター(No.2熱交換管温度)
TB2	電源端子台	TH2-3	サーミスター(No.3熱交換管温度)
TB5	集中管理用M-NET伝送端子台	TH3-1	サーミスター(No.1熱交換二相温度)
TB15	MAリモコン用端子台	TH3-2	サーミスター(No.2熱交換二相温度)
Z.N.R	室内制御基板	TH3-3	サーミスター(No.3熱交換二相温度)
I.B	バリスター	SW1(I.B)	スイッチ(機種設定)
CN24	コネクタ(補助ヒーター)	SW2(I.B)	スイッチ(自己診断)
CN25	コネクタ(加湿器)	SW3(I.B)	スイッチ(能力設定)
CN41	コネクタ(HA)	SW4(I.B)	スイッチ(機能切換)
CNH1	コネクタ(暖房ヒーター1)	SW11(I.B)	スイッチ(7d/1d設定用1の位)
CNH2	コネクタ(暖房ヒーター2)	SW12(I.B)	スイッチ(7d/1d設定用10の位)
CNIT	コネクタ(S1F)	R.B	リモコン基板
CNFAN	コネクタ(S2F)	CN	コネクタ(別売:スケジュールタイマー)
CN2L	コネクタ(ロスナイ)	TB6	端子台(室内ユニット接続)
T	トランス	LCD	液晶表示器
F1,F2	ヒューズ	DSA	アレスター
X01-X12	補助継電器(室内基板内)	E	アース端子
LD1	発光ダイオード(表示)		
LED2	発光ダイオード(リモコン給電)		

外部接続端子の説明 冷房専用室外機と組み合わせる場合、暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーターを組み込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル入力回路電圧 DC12V	B1	RC/遠方切換え	ONでRC操作になります。	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 ・配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地信号をループ受けして基板に入力してください。 ・推奨用微小電流用補助M Y形端子(別売)が本体制御室内にリレー取付穴が有りますので制御室内に取付けることが可能です。 ・低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。
		B2	冷房運転ON-OFF	・B2-B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力するとユニットは停止します。	
		B3	暖房運転ON-OFF		
		B4	送風運転ON-OFF		
		B5	自動運転ON-OFF		
		BC	B1-B5端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル入力回路電圧 DC12V	T1	冷房 高段側 ON-OFF(3回路)	・外部サーモは左記内容に従って間違いないように入力してください。間違っていると正常に動作しなくなります。	・外部サーモは左記内容に従って間違いないように入力してください。間違っていると正常に動作しなくなります。 ・バルブ入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。 ・外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。 ・冷暖自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。詳しくは技術資料を参照ください。
		T2	冷房 低段側 ON-OFF(2回路)		
		T3	冷房 最低段側 ON-OFF(1回路)		
		T4	暖房 高段側 ON-OFF(1回路)		
		T5	暖房 低段側 ON-OFF(2回路)		
		T6	暖房 最低段側 ON-OFF(3回路+1補助回路)		
		TC	T1-T6端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧a接点出力	L1	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に無電圧のa接点出力をします。	・出力のa接点の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上のご使用になる場合はリレー受けてください。
	接点容量...AC200V 2.5A	L2	S2F ON時出力		
		L3	サーモ ON時出力		
		L4	暖房運転時出力		
		L5	霜取運転時出力		
		LC1	L1-L5端子のコモン端子		
		L6	異常出力(室内、室外共通)		
		L7	異常出力(No.1室外ユニット)		
		L8	異常出力(No.2室外ユニット)		
		L9	異常出力(No.3室外ユニット)		
LC2	L6-L9端子のコモン端子				



記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	TH1-1,2	サーミスター(級込み空気温度)
S1F	熱動過電流保護電器	TH2-1	サーミスター(N.O.・1熱交換器温度)
S2F	補助保護電器(送風機用)	TH2-2	サーミスター(N.O.・2熱交換器温度)
TB2	電圧端子台	TH2-3	サーミスター(N.O.・3熱交換器温度)
TB5	集中管理用M-NET用伝送端子台	TH2-4	サーミスター(N.O.・4熱交換器温度)
TB1.5	MAリコン用端子台	TH2-5	サーミスター(N.O.・5熱交換器温度)<P1400形>
L.B.	室内制御基板	TH3-1	サーミスター(N.O.・1熱交換器温度)
ZNR	バラスト	TH3-2	サーミスター(N.O.・2熱交換器温度)
CN2.4	コネクタ(補助ヒーター)	TH3-3	サーミスター(N.O.・3熱交換器温度)
CN2.5	コネクタ(加湿器)	TH3-4	サーミスター(N.O.・4熱交換器温度)
CN4.1	コネクタ(HA)	TH3-5	サーミスター(N.O.・5熱交換器温度)<P1400形>
CN11	コネクタ(暖房ヒーター1)	SW1(I.B.)	スイッチ(機種設定)
CN12	コネクタ(暖房ヒーター2)	SW2(I.B.)	スイッチ(自己診断)
CN11	コネクタ(51F)	SW3(I.B.)	スイッチ(能力診断)
CNFAN	コネクタ(52F)	SW4(I.B.)	スイッチ(機能切換)
CN2.L	コネクタ(ロスナイ)	SW11(I.B.)	スイッチ(アドレス設定用 1の位)
T.F1.2	トランス	SW12(I.B.)	スイッチ(アドレス設定用 10の位)
T.F1.2	トランス	R.B	リモコン基板
X0.1-X1.2	補助線電器(室内基板内)	C.N	コネクタ(別売スケジュールタイマー)
Z1,Z2	補助線電器(送風機用)	T.B.6	端子台(室内ユニット接続)
LD.1	発光ダイオード(表示)	L.C.D	液晶表示器
LED.2	発光ダイオード(リモコン検出)	D.S.A	アレスター
E	アース端子		

外部接続端子の説明

用途	仕様	端子	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	端子	B.1	R C / 遠方切換	ONでR C操作になります。	
	端子	B.2	冷房運転ON・OFF	・B2-B5端子は必ず1端子の外に力を入れてください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 ・配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地信号をリレー受けて基板に入力してください。 ・推奨リレー：微小電流用積層MVF形
	端子	B.3	暖房運転ON・OFF		・本体制御室内にリレー取付スペースがありますので制御室内に取付けることが可能です。低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。
	端子	B.4	加湿運転ON・OFF		
	端子	B.6	蒸気温水ヒーター切換入力		
	端子	B.C1	B1-B5端子のコモン端子		
	端子	B.C2	B6端子のコモン端子		
	端子	T.1	冷房ON/OFF(No.3回路)	・外部サーモは左記内容に従って間違いないように入力してください。正常に運転しなくなります。	・外部サーモは左記内容に従って間違いないように入力してください。正常に運転しなくなります。
	端子	T.2	冷房ON/OFF(No.2回路)		
	端子	T.3	冷房ON/OFF(No.1回路)		
外部サーモ端子	端子	T.4	暖房ON/OFF(No.1回路)		
	端子	T.5	暖房ON/OFF(No.2回路)		
	端子	T.6	暖房ON/OFF(No.3回路)		
	端子	T.7	冷房ON/OFF(No.4回路)<P1400形>		
	端子	T.8	冷房ON/OFF(No.5回路)<P1400形>		
	端子	T.9	配線接続しない		
	端子	T.10	暖房ON/OFF(No.4回路)		
	端子	T.11	配線接続しない<P1120形>		
	端子	T.11	暖房ON/OFF(No.5回路)<P1400形>		
	端子	T.12	配線接続しない		
親電圧a接続出力	端子	T.C1	T1-T6端子のコモン端子		
	端子	T.C2	T7-T12端子のコモン端子		
	端子	L.1L110	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に無電圧のa接続出力をします。	・出力のa接続の接続電圧容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上ご使用になる場合はリレー受けてください。
	端子	L.1L112	サーモON時出力		
	端子	L.4L113	暖房運転時出力		
	端子	L.5L114	運転時出力		
	端子	L.C1	L1-L5端子のコモン端子		
	端子	L.C3	L10-L14端子のコモン端子		
	端子	L.6L115	異常出力(室内、室外共通)		
	端子	L.7	異常出力(室外ユニットNo.1)		
接続容量a200V 2.5A	端子	L.8	異常出力(室外ユニットNo.2)		
	端子	L.9	異常出力(室外ユニットNo.3)		
	端子	L.16	異常出力(室外ユニットNo.4)		
	端子	L.17	異常出力(室外ユニットNo.5)<P1400形>		
	端子	L.18	使用しない		
	端子	L.2	L6-L9端子のコモン端子		
	端子	L.4	L15-L18端子のコモン端子		

- 注1. --- (太破線)：現地配線を示します。
 2. SW3-1-6の設定は機種により異なります。
 3. 配線は、内線規程に従って接続してください。
 4. 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。但し、加湿器等を組込んで、本体と同一電源にする場合は再選定が必要となります。
 5. 室外ユニットへの室内外伝送線No.1-No.5は、冷媒配管系統No.1-No.5と一致するよう確実に配線してください。(No.5はP1400形のみ)
 6. M-NET接続時は、必ず伝送用給電ユニット(別売)が必要です。
 7. ⊙印は端子台、⊙印はコネクタ、⊙印は基板差込みコネクタを示します。
 8. 停電自動復帰させる場合は、室内ユニット基板2枚共SW4-1をON(有効)にしてください。標準出荷時は、OFF(無効)となっています。但し外部入力が発停している場合は、復帰時の外部信号に従います。
 9. 緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。

	1120形	1400形
開閉器	10.0A	10.0A
過電流保護器	7.5A	10.0A
電線太さ	8mm以上	1.4mm以上

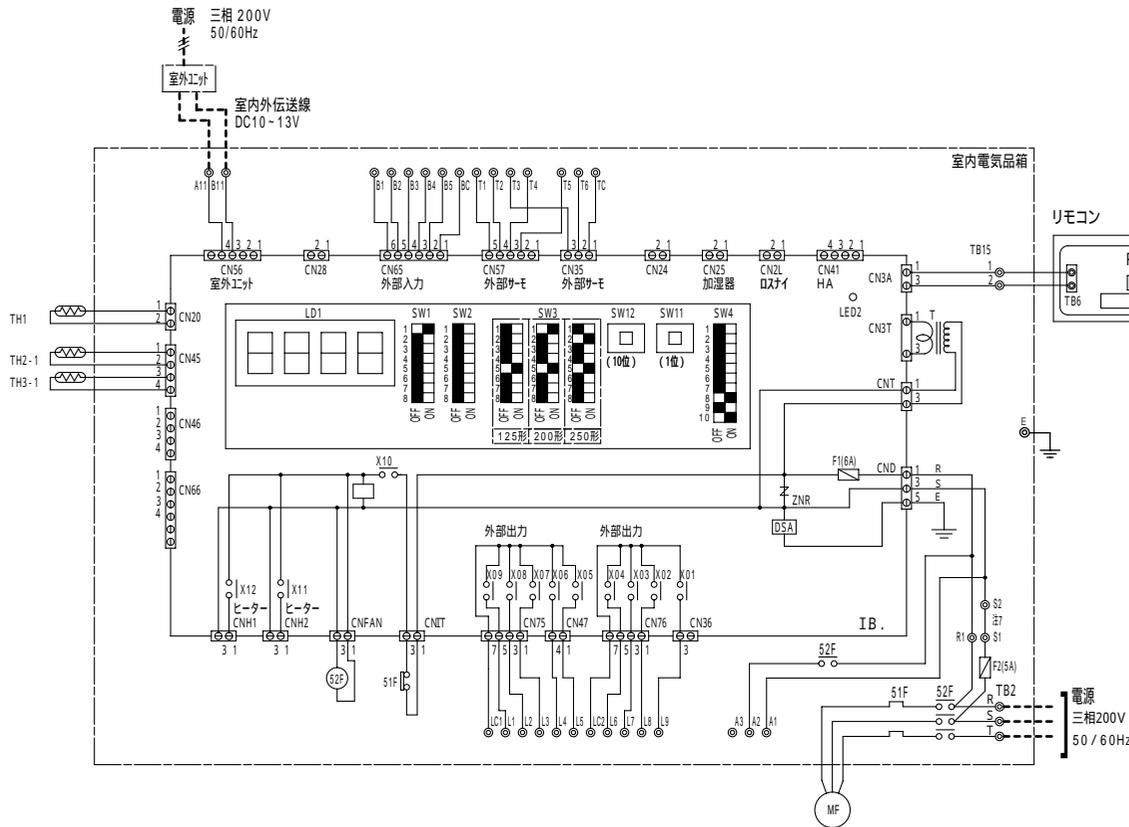
記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	LD1	発光ダイオード(表示)
51F	熱動過電流継電器	LED2	発光ダイオード(リモコン給電)
52F	補助継電器(送風機用)	TH1	サーミスター(吸込み空気温度)
TB2	電源端子台	TH2-1	サーミスター(1熱交管温度)
TB15	MAリモコン用端子台	TH3-1	サーミスター(1熱交二相管温度)
IB	室内制御基板	SW1(1B)	スイッチ(機種設定)
ZNR	バリスター	SW2(1B)	スイッチ(自己診断)
CN25	コネクタ(加湿器)	SW3(1B)	スイッチ(能力設定)
CN41	コネクタ(HA)	SW4(1B)	スイッチ(機能切換)
CNH1	コネクタ(暖房ヒーター-1)	SW11(1B)	スイッチ(7d1:設定用1の位)
CNH2	コネクタ(暖房ヒーター-2)	SW12(1B)	スイッチ(7d1:設定用10の位)
CNIT	コネクタ(51F)	R B	リモコン基板
CNFAN	コネクタ(52F)	CN	コネクタ(別売スケジュールタイマー)
CN2L	コネクタ(ロスナイ)	TB6	端子台(室内ユニット接続)
T	トランス	LCD	液晶表示器
F1,F2	ヒューズ	DSA	アレスター
X01-X12	補助継電器(室内基板内)	E	アース端子

外部接続端子の説明

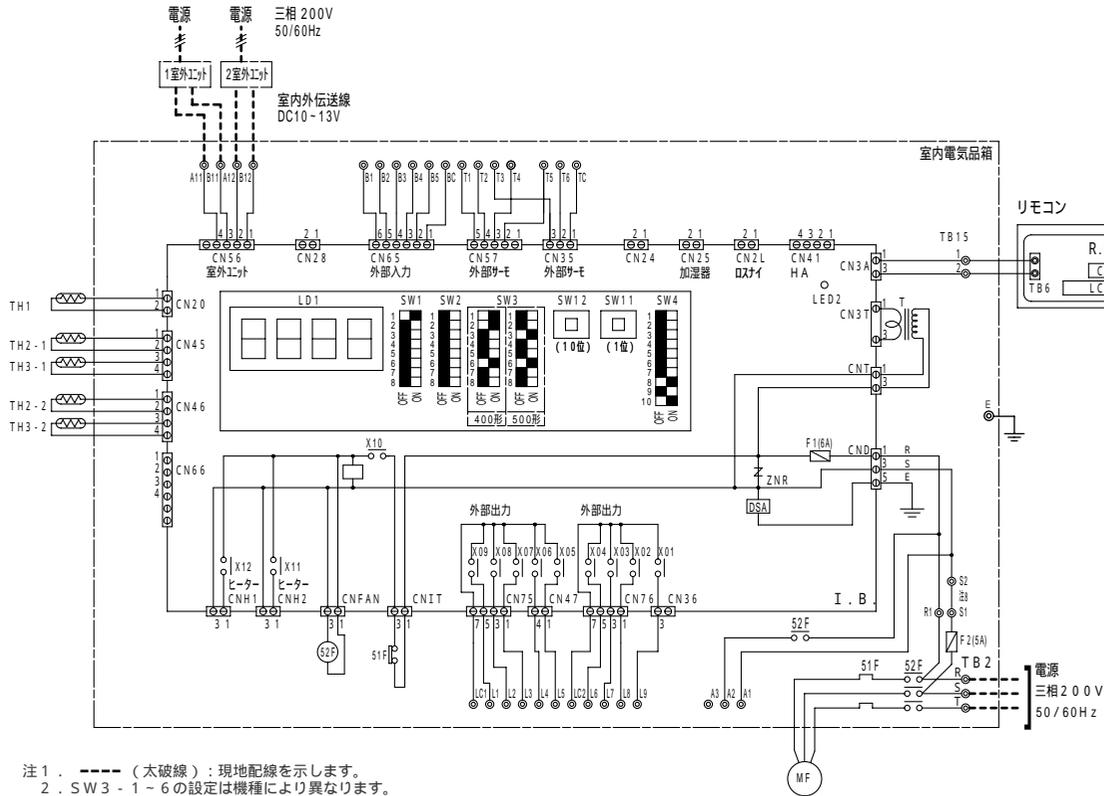
暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーター(蒸気・温水ヒーター・大容量電気ヒーター)を組み込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル	B1	RC/遠方切換え	ONでRC操作になります。	<ul style="list-style-type: none"> 外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 配線長100mを超え場合は(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地信号をループ受けして基板に入力してください。 推奨0-10mA微小電流用100Ω/MV形 本体制御箱内にレール取付穴がありまますので制御箱内に取付けることが可能です。 低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。
	接点入力	B2	冷房運転ON-OFF	B2-B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。	
	回路電圧	B3	暖房運転ON-OFF		
	-DC12V	B4	送風運転ON-OFF		
		B5	自動運転できません		
		B6	B1-B5端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル	T1	冷房高段・暖房高段	外部サーモは接続要領に従って間違いの無いように接続してください。	<ul style="list-style-type: none"> 同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。 パルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。 外部入力接続の場合は、制御基板SW1-6をONにしてください。 外部サーモ接続の場合はSW1-6をONにしてください。 冷暖自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。詳しくは技術資料を参照ください。
	接点入力	T2	冷房低段・暖房低段		
	回路電圧	T3	配線接続しない		
	-DC12V	T4	配線接続しない		
		T5	配線接続しない		
		T6	配線接続しない		
		TC	T1-T6端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧	L1	冷房運転時出力	<ul style="list-style-type: none"> 左記運転状態の場合に無電圧のa接点出力をします。 	<ul style="list-style-type: none"> 出力のa接点の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご使用になる場合はリレー受けしてください。
	a接点出力	L2	52F ON時出力		
	出力	L3	サーモ ON時出力		
	接点容量	L4	暖房運転時出力		
	...AC200V	L5	使用しない		
	2.5A	LC1	L1-L5端子のコモン端子		
		L6	異常出力(室内、室外共通)		
		L7	異常出力(室外ユニット)		
		L8	使用しない		
		LC2	L6-L9端子のコモン端子		



- 注1. ----- (太破線):現地配線を示します。
 2 SW3-1-6の設定は機種により異なります。
 3 配線は、内線規程に従って接続してください。
 4 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。
 但し、別売部品(ヒーター、加湿器、モーター)を組み込んで、本体と同一電源にする場合は再選定が必要となります。
 5. ⊙印は端子台、⊖印はコネクタ、⊞印は基板差込みコネクタを示します。
 6 停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON(有効)にしてください。標準出荷時は、OFF(無効)となっています。但し外部入力で発着している場合は、復電時の外部信号に従います。
 7 緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。

	125形	200形	250形
開閉器	1.5 A	1.5 A	1.5 A
過電流保護器	1.5 A	1.5 A	1.5 A
電線太さ	1.6mm以上	1.6mm以上	1.6mm以上



閉閉器	400形	500形
過電流保護器	30A	30A
	20A	30A
電線太さ	1.6mm以上	1.6mm以上

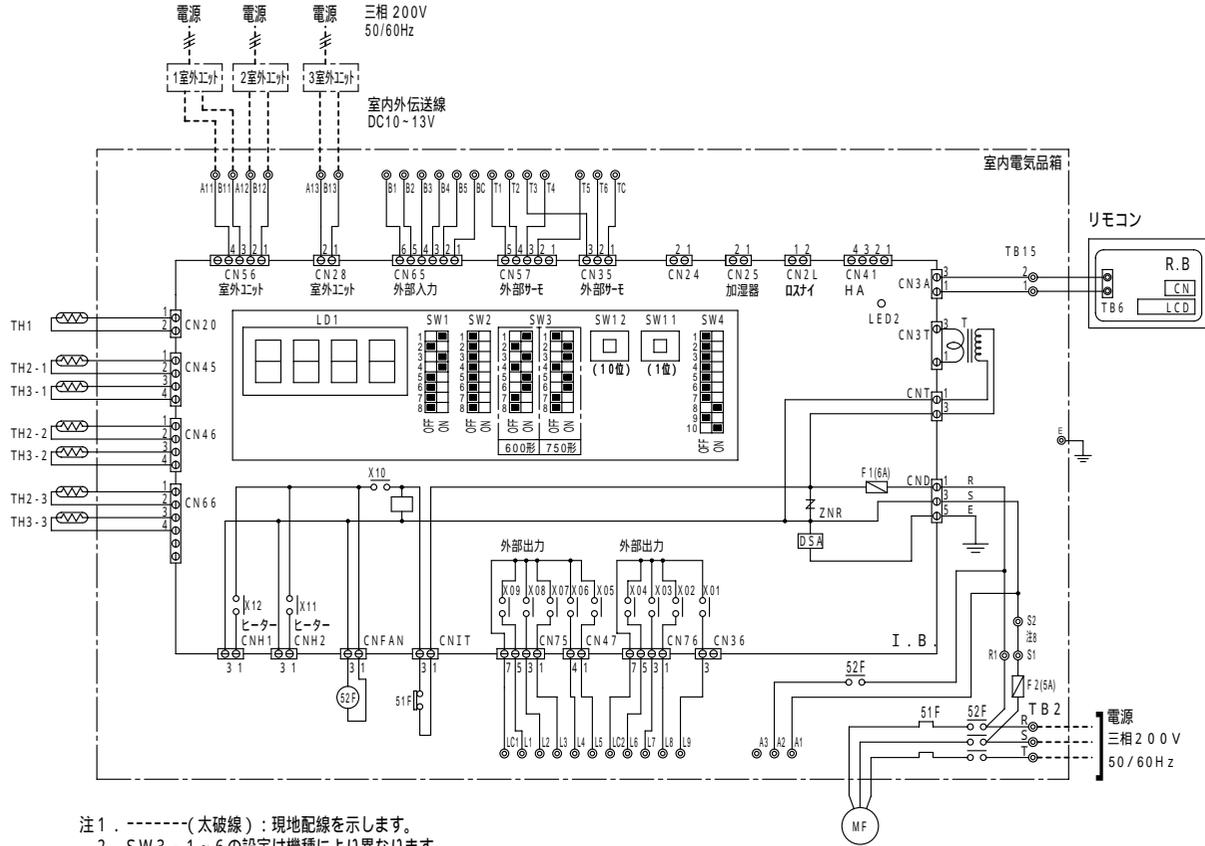
- 注 1. - - - (太破線) : 現地配線を示します。
 2. SW3-1~6の設定は機種により異なります。
 3. 配線は、内線図に従って接続してください。
 4. 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。
 但し、別売部品(ヒーター、加湿器、モーター)を組込んだ、本体と同一電源にする場合は再選定が必要となります。
 5. 室外ユニットへの室内外伝送線No.1、No.2は、冷媒配管系統No.1、No.2と一致するよう確実に記録してください。
 6. 印は端子台、⊕印はコネクタ、⊗印は基板差込みコネクタを示します。
 7. 停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON(有効)にしてください。標準出荷時は、OFF(無効)となっています。但し外部入力で発停している場合は、復帰時の外部信号に従います。
 8. 緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。

記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機電動機	TH1	サーミスター(吸込み空気温度)
S1F	熱動過電流継電器	TH2-1	サーミスター(1熱交換管温度)
S2F	補助継電器(送風機用)	TH2-2	サーミスター(2熱交換管温度)
TB2	電源端子台	TH3-1	サーミスター(1熱交換管温度)
TB15	MAリモコン用端子台	TH3-2	サーミスター(2熱交換管温度)
I.B.	室内制御基板	SW1(1B)	スイッチ(機種設定)
ZNR	バリスター	SW2(1B)	スイッチ(自己診断)
CN25	コネクタ(加湿器)	SW3(1B)	スイッチ(能力設定)
CN41	コネクタ(HA)	SW4(1B)	スイッチ(機能切換)
CNH1	コネクタ(暖房ヒーター1)	SW11(1B)	スイッチ(7段設定用1の位)
CNH2	コネクタ(暖房ヒーター2)	SW12(1B)	スイッチ(7段設定用10の位)
CNIT	コネクタ(51F)	R.B	リモコン基板
CNFAN	コネクタ(52F)	CN	コネクタ(別売スケジュールタイマー)
CN2L	コネクタ(ロスナイ)	TB6	端子台(室内ユニット接続)
T	トランス	LCD	液晶表示器
F1,F2	ヒューズ	DSA	アレスター
X01-X12	補助継電器(室内基板内)	E	アース端子
LD1	発光ダイオード(表示)		
LED2	発光ダイオード(リモコン給電)		

外部接続端子の説明 暖房に関する内容は別売の暖房ヒーター(蒸気・温水ヒーター・大容量電気ヒーター)を組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル	B1	R/C 遠方切換	ONでR/C操作になります。	*外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地信号を収受して基板に入力してください。 推奨型-微小電流用AC200V形 *本体制御室内にリレー取付穴が あるので制御室内に取付けることが可能です。 *電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。
	接点入力	B2	冷房運転ON・OFF	*B2-B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。	
	回路電圧	B3	暖房運転ON・OFF		
		B4	送風運転ON・OFF		
		B5	自動運転できません		
外部サーモ端子	レベル	T1	冷房高段2・暖房高段1	*外部サーモは接続要領に従って間違いないように接続してください。間違って接続すると正常に運転しなくなります。	同じ電線管内を導くと、誤作動の原因となります。 *バルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。 *外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。 *冷房自動運転時は外部サーモ接続端子の入力がOFFでサーモONとなります。 詳しくは技術資料を参照ください。
	接点入力	T2	冷房高段1・暖房高段2		
	回路電圧	T3	冷房低段2・暖房低段1		
		T4	冷房低段1・暖房低段2	*T1、T2、T3、T4の順に設定温度が低くなるように配線接続して下さい。	
		T5	配線接続しない		
		T6	配線接続しない		
		TC	T1-T6端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧	L1	冷房運転時出力	*左記運転状態の場合に無電圧のa接点出力をします。	出力のa接点の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上で使用になる場合はリレー受けしてください。
	a接点	L2	52F ON時出力		
	出力	L3	サーモON時出力		
	接点容量 AC200V 2.5A	L4	暖房運転時出力		
		L5	使用しない		
		LC1	L1-L5端子のコモン端子		
		L6	異常出力(1室内・室外共通)		
		L7	異常出力(1室外ユニット)		
		L8	異常出力(2室外ユニット)		
		L9	使用しない		
	LC2	L6-L9端子のコモン端子			



- 注1. -----(太破線)：現地配線を示します。
 2. SW3-1~6の設定は機種により異なります。
 3. 配線は、内線規程に従って接続してください。
 4. 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。
 但し、別売部品(ヒーター、加湿器、モーター)を組込んで、本体と同一電源にする場合は再選定が必要となります。
 5. 室外ユニットへの室内外伝送線No.1、No.2、No.3は、冷媒配管系統No.1、No.2、No.3と一致するように確実に配線してください。
 6. ⊙印は端子台、⊖印はコネクタ、⊕印は基板差込みコネクタを示します。
 7. 停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON(有効)にしてください。
 標準出荷時は、OFF(無効)となっています。
 但し外部入力が発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
 8. 緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。

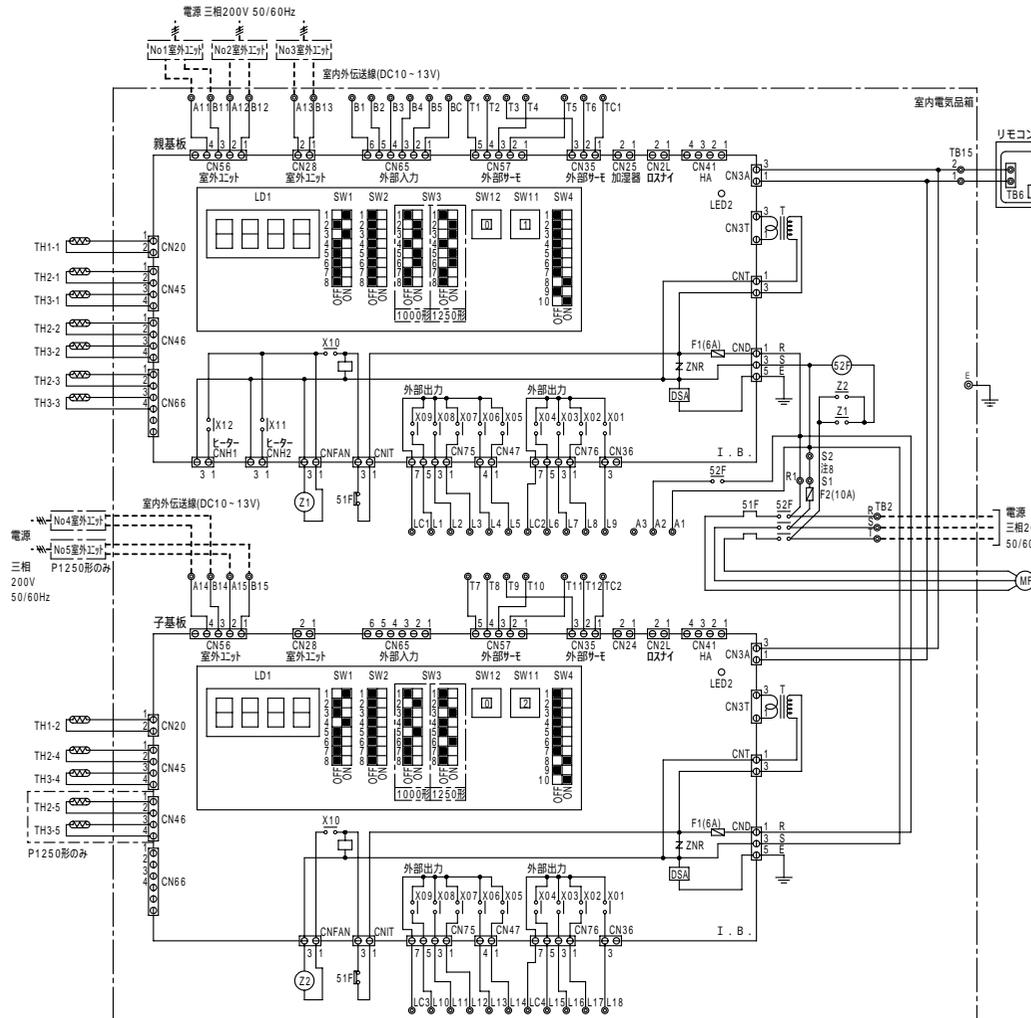
	600形	750形
開閉器	30A	60A
過電流保護器	30A	50A
電線太さ	1.6mm以上	5.5mm ² 以上

記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	TH1	サーミスター(吸込み空気温度)
51F	熱動過電流継電器	TH2-1	サーミスター(No.1熱交換管温度)
52F	補助継電器(送風機用)	TH2-2	サーミスター(No.2熱交換管温度)
T B 2	電源端子台	TH2-3	サーミスター(No.3熱交換管温度)
T B 1 5	MAリモコン用端子台	TH3-1	サーミスター(No.1熱交換二相管温度)
I . B .	室内制御基板	TH3-2	サーミスター(No.2熱交換二相管温度)
ZNR	バリスタ	TH3-3	サーミスター(No.3熱交換二相管温度)
CN25	コネクタ(加湿器)	SW1(I . B)	スイッチ(機種設定)
CN41	コネクタ(HA)	SW2(I . B)	スイッチ(自己診断)
CNH1	コネクタ(暖房ヒーター1)	SW3(I . B)	スイッチ(能力設定)
CNH2	コネクタ(暖房ヒーター2)	SW4(I . B)	スイッチ(機能切換)
CNIT	コネクタ(51F)	SW11(I . B)	スイッチ(7dに設定用1の位)
CNFAN	コネクタ(52F)	SW12(I . B)	スイッチ(7dに設定用10の位)
CN2L	コネクタ(ロスナイ)	R . B	リモコン基板
T	トランス	CN	コネクタ(別売:スケジュールタイマー)
F1,F2	ヒューズ	T B 6	端子台(室内ユニット接続)
X01~X12	補助継電器(室内基板内)	L C D	液晶表示器
L D 1	発光ダイオード(表示)	D S A	アレスタ
L E D 2	発光ダイオード(リモコン給電)	E	アース端子

外部接続端子の説明 暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーターを組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル	B1	R C / 遠方切換え	ONでRC操作になります。	・外部入力、外部サーモの力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 ・B2-B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。 ・本体制御箱内にリレー取付穴がありますので制御箱内に取付することが可能です。 ・低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。
	接点入力回路電圧 DC12V	B2	冷房運転ON・OFF		
		B3	暖房運転ON・OFF		
		B4	送風運転ON・OFF		
		B5	自動運転できません		
		B C	B1-B5端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル	T1	冷房 高段2・暖房 高段2	T1,T2,T3,T4,T5,T6の順に設定温度が低くなるように配線して下さい。	・同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。 ・バルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。 ・外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。 ・冷房自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。詳しくは技術資料を参照ください。
	接点入力回路電圧 DC12V	T2	冷房 高段1・暖房 高段1		
		T3	冷房 中段2・暖房 中段2		
		T4	冷房 中段1・暖房 中段1		
		T5	冷房 低段2・暖房 低段2		
		T6	冷房 低段1・暖房 低段1		
		T C	T1-T6端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧	L1	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に無電圧のa接点出力をします。 ・出力のa接点の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご利用になる場合はリレー受けしてください。	
	a接点出力	L2	52F ON時出力		
		L3	サーモON時出力		
		L4	暖房運転時出力		
		L5	霜取運転時出力		
		L C 1	L1-L5端子のコモン端子		
接点容量 ..AC200V 2.5A	L6	異常出力(室内、室外共通)			
	L7	異常出力(No.1室外ユニット)			
	L8	異常出力(No.2室外ユニット)			
	L9	異常出力(No.3室外ユニット)			
	L C 2	L6-L9端子のコモン端子			



記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	TH1-1,2	サーミスター(感知空気温度)
S1F	熱動過電流保護器	TH2-1	サーミスター(No.1熱交換器温度)
S2F	補助継電器(送風機用)	TH2-2	サーミスター(No.2熱交換器温度)
TB2	電源端子台	TH2-3	サーミスター(No.3熱交換器温度)
TB15	MAリモコン端子台	TH2-4	サーミスター(No.4熱交換器温度)
T-B	室内制御基板	TH2-5	サーミスター(No.5熱交換器温度)<P1400形>
ZNR	バスター	TH3-1	サーミスター(No.1熱交換器温度)
CN25	コネクター(加温器)	TH3-2	サーミスター(No.2熱交換器温度)
CN41	コネクター(HA)	TH3-3	サーミスター(No.3熱交換器温度)
CNH1	コネクター(暖房ヒーター1)	TH3-4	サーミスター(No.4熱交換器温度)
CNH2	コネクター(暖房ヒーター2)	TH3-5	サーミスター(No.5熱交換器温度)<P1400形>
CN1T	コネクター(S1F)	SW-1(I.B)	スイッチ(機種設定)
CNFAN	コネクター(S2F)	SW-2(I.B)	スイッチ(自己診断)
CN2L	コネクター(ロスタイム)	SW-3(I.B)	スイッチ(能力設定)
T1F2	トランス	SW-4(I.B)	スイッチ(機能切換)
X01-X12	補助継電器(室内基板内)	SW11(I.B)	スイッチ(アドレス設定用 1の位)
Z1Z2	補助継電器(送風機用)	SW12(I.B)	スイッチ(アドレス設定用 10の位)
LD1	発光ダイオード(表示)	R-B	リモコン基板
LED2	発光ダイオード(リモコン給電)	CN	コネクター(別売:スケジュールタイマー)
E	アース端子	TB6	端子台(室内ユニット接続)
		LCD	液晶表示部
		D.S.A	アレスター

外部接続端子の説明 (暖房に関する内容はヒーター(受注仕様)を組込んだ場合を示します。)

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力 電源用 DC24V	レベル	B1	R/C/リレー切換	ONでR/C操作になりま す。B2-B5端子は必ず 1端子のみに入力して ください。2端子以上 入力するとユニット は停止します。	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、 微小電流用接点を接続ください。 ・配線長100mを超える場合(Max200mまで) は、必ず100m以内で埋込信号をリレー受け つけて基板に入力してください。 ・推奨リレー: 微小電流用4MVA形
	外部入力 電源用 DC24V	B2	冷房運転ON-OFF		・本体制御室内にリレー取付けスペースがありま すので制御室内に取付けることが可能です。 ・低電圧配線と電源線は必ず別の電線を 通してください。 ・同じ電線管内を通すと、誤作動の原因と なります。
		B3	暖房運転ON-OFF		・別売入力、AC200V等の入力を行う場合は 別売埋込用スイッチPAC-CG91RCKを ご使用ください。
		B4	送風運転ON-OFF		・暖房時はT8,T9,T1, T2,T3への入力OFF でサーモONとなります。
		B5	自動運転できない		・5W1-5をON、外部サーモ接続する場合は No.1制御基板(上側)のみ 5W1-5をON、外部サーモ接続する場合は No.1, No.2両方の制御基板SW1-6をONにして ください。
外部入力 電源用 AC24V	レベル	T1	冷房3回路 暖房高段<P1000形>・暖房高段<P1250形>	・左記内容に 従って間違いないよう に接続してください。 ・間違えると 正常に運転しなくな ります。	・外部入力接続する場合は、No.1制御基板(上側)のみ 5W1-5をON、外部サーモ接続する場合は No.1, No.2両方の制御基板SW1-6をONにして ください。 ・冷房自動運転時は外部サーモ接続端子の 設定方法が異なります。 詳しくは技術資料を参照ください。
		T2	冷房2回路 暖房低段<P1000形>・暖房低段<P1250形>		
		T3	冷房1回路 暖房低段<P1000形>・暖房低段<P1250形>		
		T4	配線接続しない		
		T5	配線接続しない		
		T6	配線接続しない		
		T7	配線接続しない		
		T8	冷房5回路 暖房高段<P1250形>		
		T9	冷房4回路 暖房高段<P1000形>・暖房高段<P1250形>		
		T10	配線接続しない		
無電圧 a接点 出力 接点容量 AC200V 2.5A		T11	配線接続しない		
		T12	配線接続しない		
		T13	T1-T6端子のコモン端子		
		T14	T7-T12端子のコモン端子		
		L1L10	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に 無電圧のa接点出力を します。	・出力のa接点の接点電容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しない でください。それ以上で使用になる場合は リレー受けしてください。
		L1L11	5.2F ON時出力		
		L1L12	サーモ ON時出力		
		L1L13	暖房運転時出力		
		L1L14	暖房運転時出力		
		L1C1	L1-L3端子のコモン端子		
	L1C3	L1-L4端子のコモン端子			
	L6L15	異常出力(室内、室外共通)			
	L7	異常出力(室外ユニットNo.1)			
	L8	異常出力(室外ユニットNo.2)			
	L9	異常出力(室外ユニットNo.3)			
	L16	異常出力(室外ユニットNo.4)			
	L17	異常出力(室外ユニットNo.5)<P1250形>			
	L18	使用しない			
	L1C2	L1-L3端子のコモン端子			
	L1C4	L1-L5-L18端子のコモン端子			

注1. --- (太破線): 現地配線を示します。

- SW3-1-6の設定は機種により異なります。
- 配線は、内線規程に従って接続してください。
- 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。
但し、別売部品(ヒーター、加温器、モーター)を組込んで、
本体と同一電源にする場合は再確認が必要となります。
- 室外ユニットへの室内外伝送線No.1-No.5は、冷熱配管系統
No.1-No.5と一致するように確実に配線してください。
(No.5はP1400形のみ)
- ◎印は端子台、○印はコネクター、□印は基板端子コネクターを示します。
- 停電自動復帰させる場合は、室内ユニット基板2枚共SW4-1をON(有効)にしてください。
標準出荷時は、OFF(無効)となっています。
但し外部入力が発停している場合は、復帰時の外部信号に従います。
- 緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。

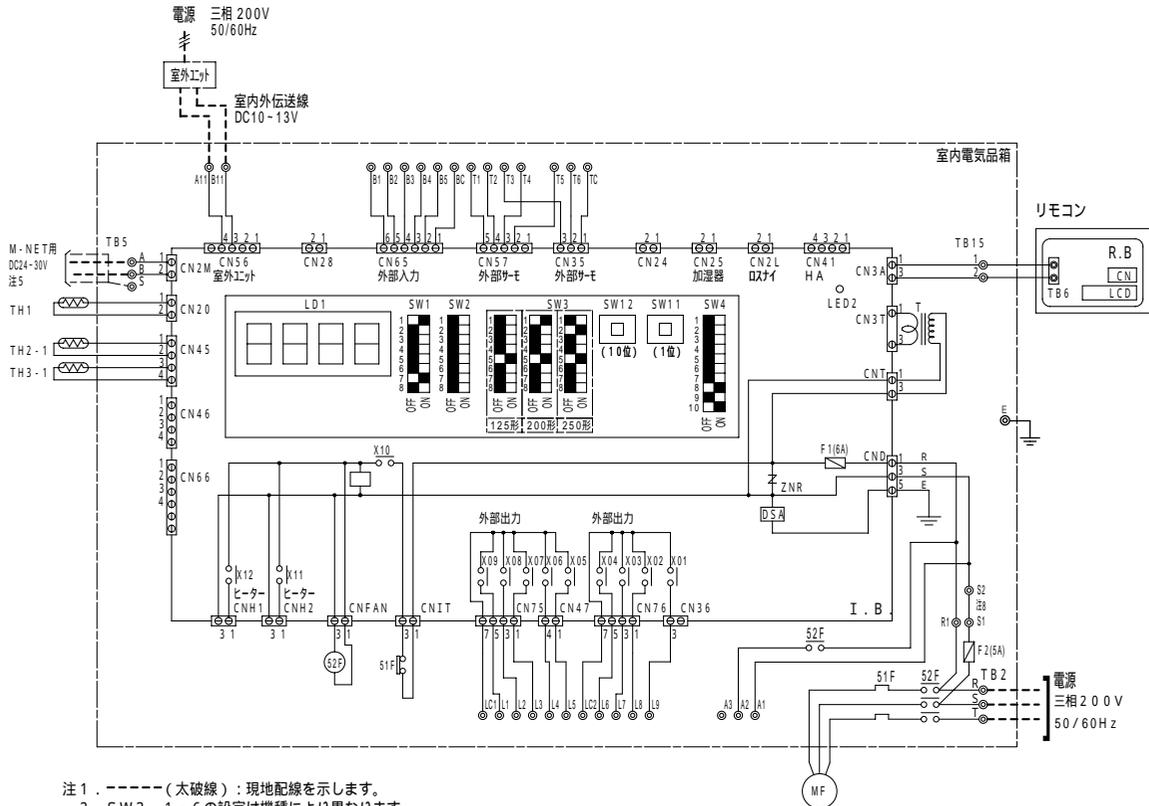
	1000形	1250形
開閉器	100A	100A
過電流保護器	7.5A	10.0A
電線太さ	8mm以上	1.4mm以上

記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	LD 1	発光ダイオード (表示)
5 1 F	熱動過電流継電器	LED 2	発光ダイオード (リモコン給電)
5 2 F	補助継電器 (送風機用)	TH 1	サーミスター (吸込み空気温度)
T B 2	電源端子台	TH 2 - 1	サーミスター (1 熱交換管温度)
T B 5	集中管理用 M-NET用伝送端子台	TH 3 - 1	サーミスター (1 熱交換管温度)
T B 1 5	MAリモコン用端子台	SW 1 (IB)	スイッチ (機種設定)
I . B .	室内制御基板	SW 2 (IB)	スイッチ (自己診断)
ZNR	バリスタ	SW 3 (IB)	スイッチ (能力設定)
CN 2 5	コネクター (加湿器)	SW 4 (IB)	スイッチ (機能切換)
CN 4 1	コネクター (HA)	SW 1 1 (IB)	スイッチ (7# 以設定用1の位)
CN H 1	コネクター (暖房ヒーター-1)	SW 1 2 (IB)	スイッチ (7# 以設定用10の位)
CN H 2	コネクター (暖房ヒーター-2)	R . B	リモコン基板
CN I T	コネクター (5 1 F)	C N	コネクター (別売スケジュールタイマー)
CN FAN	コネクター (5 2 F)	T B 6	端子台 (室内ユニット接続)
CN 2 L	コネクター (ロスタイ)	L C D	液晶表示器
T	トランス	D S A	アレスター
F 1 , F 2	ヒューズ	E	アース端子
X 0 1 - X 1 2	補助継電器 (室内基板内)		

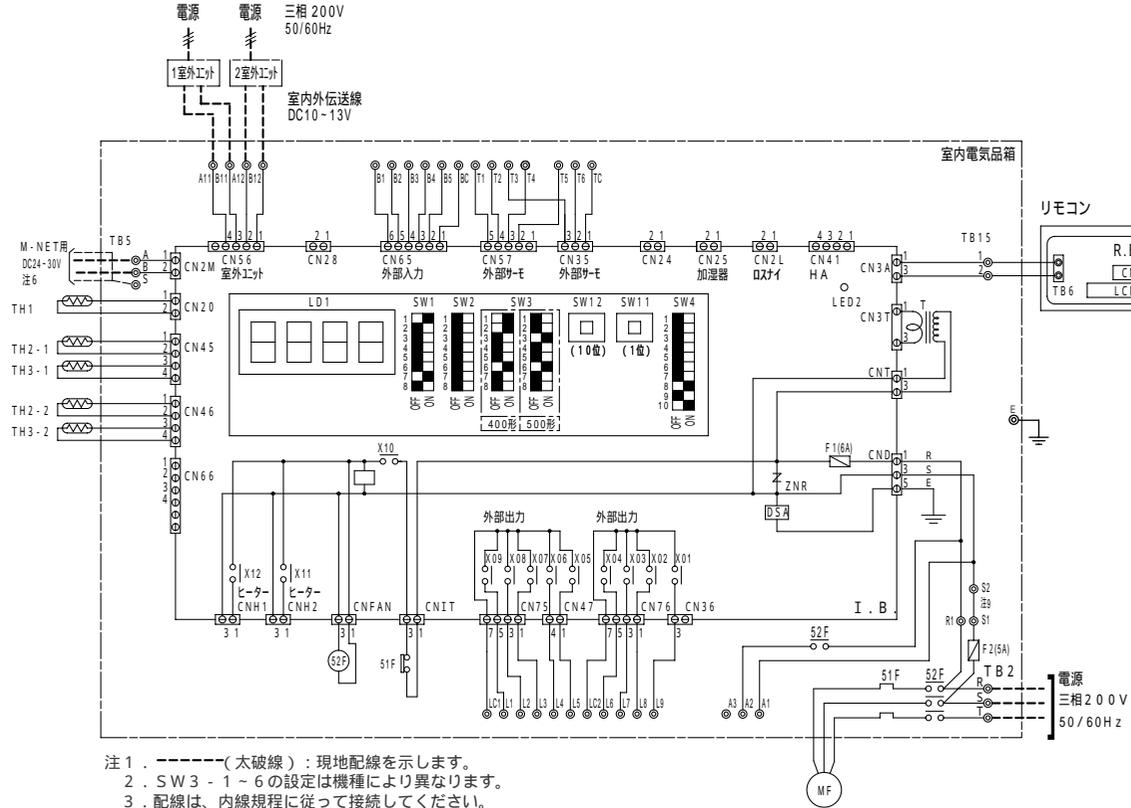
外部接続端子の説明 暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーター(蒸気・温水ヒーター・大容量電気ヒーター)を組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意	
外部入力端子	レベル	B 1	R C / 遠方切換	ONでR C操作になります。	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 ・配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で接地信号を引受けレベル入力してください。 ・基板引-微小電流用10pin製M Y形本体制御室内に1リーダ付ケーブルが有りますので制御室内に取付することが可能です。 ・低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。	
	回路電圧 : DC12V	B 2	冷房運転 ON - OFF	・B 2 - B 5 端子は必ず1端子のみに入力してください、2端子以上入力しますとユニットは停止します。		
		B 3	暖房運転 ON - OFF			
		B 4	送風運転 ON - OFF			
		B 5	自動運転できません			
		B C	B 1 - B 5 端子のコモン端子			
外部サーモ端子	レベル	T 1	冷房高段・暖房高段	・外部サーモは接続要領に従って開閉の無いように接続してください。 ・開閉して接続しますと正常に運転しなくなります。 ・T1, T2の順に設定温度が低くなるように配線接続して下さい。 ・暖房時は、T1・T2への入力がOFFでサーモONとなります。	同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。 ・バルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。 ・外部入力接続する場合は、制御基板 SW1-6をON、外部サーモ接続する場合は SW1-6をONにしてください。 ・冷暖自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。 詳しくは技術資料を参照ください。	
	回路電圧 : DC12V	T 2	冷房低段・暖房低段			
		T 3	配線接続しない			
		T 4	配線接続しない			
		T 5	配線接続しない			
		T 6	配線接続しない			
		T C	T 1 - T 6 端子のコモン端子			
外部出力端子	無電圧	L 1	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に無電圧のa接点出力をします。	・出力のa接点の接続電流容量はAC200V 2.5Aです、それ以上の負荷は接続しないでください、それ以上で使用する場合はリレー受けしてください。	
	a接点出力	L 2	5 2 F ON時出力			
		L 3	サーモ ON時出力			
		L 4	暖房運転時出力			
	接点容量...AC200V 2.5A	L 5	使用しない			
		L C 1	L 1 - L 5 端子のコモン端子			
		L 6	異常出力 (室内、室外共通)			
		L 7	異常出力 (室外ユニット)			
		L 8	使用しない			
		L 9	使用しない			
L C 2		L 6 - L 9 端子のコモン端子				



1. ----- (太破線) : 現地配線を示します。
2. SW 3 - 1 ~ 6 の設定は機種により異なります。
3. 配線は、内線規程に従って接続してください。
4. 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。
但し、別売部品 (ヒーター、加湿器、モーター) を組込んで、本体と同一電源にする場合は再選定が必要となります。
5. M - N E T 接続時には、必ず伝送用給電ユニット (別売) が必要です。
6. ⊙ 印は端子台、⊖ 印はコネクター、⊕ 印は基板差込みコネクターを示します。
7. 停電自動復帰させる場合は、室内ユニット SW 4-1 を ON (有効) にしてください。
標準出荷時は、OFF (無効) となっています。
但し外部入力で発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
8. 緊急停止入力は、室内ユニット端子台 S1-S2 間の短絡線を外して、そこに緊急停止 SW などを配線接続してください。

	125形	200形	250形
開閉器	15 A	15 A	15 A
過電流保護器	15 A	15 A	15 A
電線太さ	1.6mm以上	1.6mm以上	1.6mm以上



- 注1. ----- (太破線) : 現地配線を示します。
 2. SW3-1~6の設定は機種により異なります。
 3. 配線は、内線規程に従って接続してください。
 4. 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。
 但し、別売部品(ヒーター、加湿器、モーター)を組込んで、
 本体と同一電源にする場合は再選定が必要となります。
 5. 室外ユニットへの室内外伝送線No.1、No.2は、冷媒配管系統No.1、
 No.2と一致するように確実に配線してください。
 6. M-NET接続時には、必ず伝送線用給電ユニット(別売)
 が必要です。
 7. 印は端子台、⊙印はコネクタ、⊗印は基板差込み
 コネクタを示します。
 8. 停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON(有効)
 してください。標準出荷時は、OFF(無効)となっています。
 但し外部入力が発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
 9. 緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、
 そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。

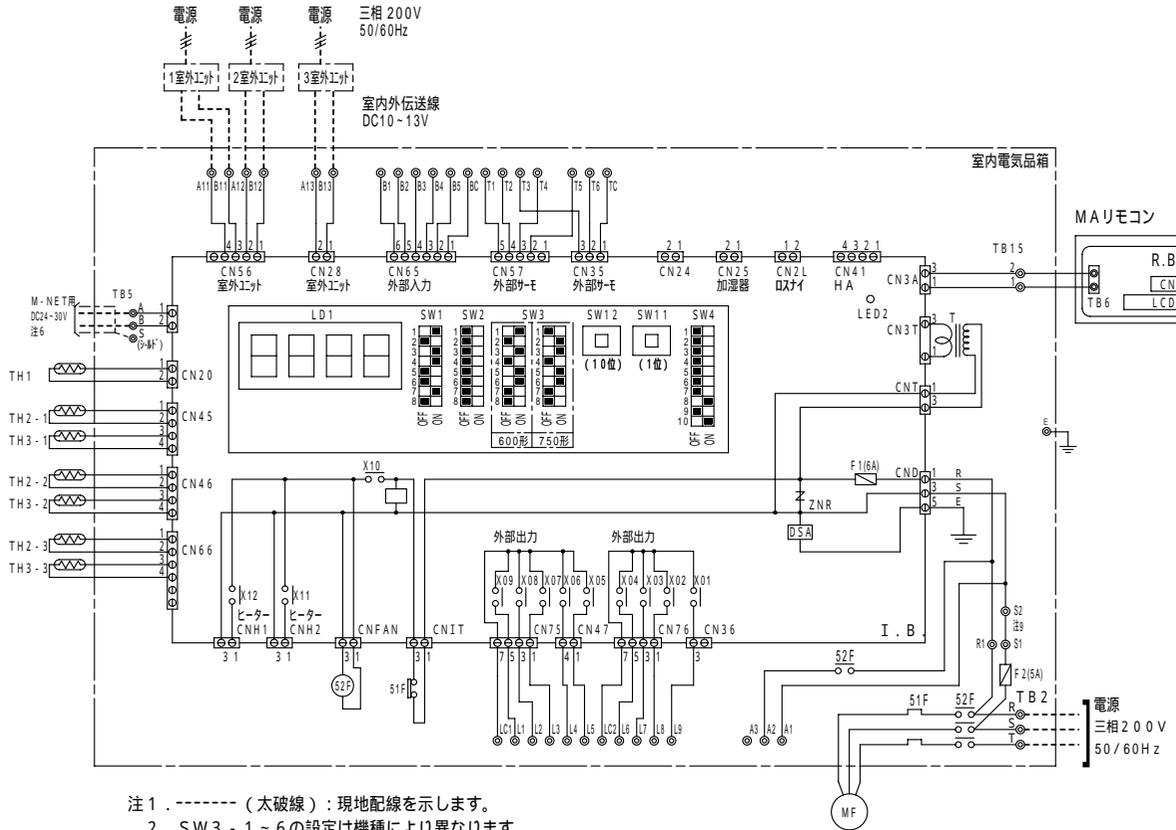
	400形	500形
開閉器	30A	30A
過電流保護器	20A	30A
電線太さ	1.6mm以上	1.6mm以上

記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	LD1	発光ダイオード(表示)
51F	熱動過電流保護器	LED2	発光ダイオード(リモコン給電)
52F	補助继电器(送風機用)	TH1	サーミスター(取込み空気温度)
TB2	電源端子台	TH2-1	サーミスター(1熱交液管温度)
TB5	集中管理用M-NET用伝送端子台	TH2-2	サーミスター(2熱交液管温度)
TB15	MAリモコン用端子台	TH3-1	サーミスター(1熱交二相管温度)
I.B.	室内制御基板	TH3-2	サーミスター(2熱交二相管温度)
ZNR	バリスター	SW1(IB)	スイッチ(機種設定)
CN25	コネクタ(加湿器)	SW2(IB)	スイッチ(自己診断)
CN41	コネクタ(HA)	SW3(IB)	スイッチ(能力設定)
CNH1	コネクタ(暖房ヒーター1)	SW4(IB)	スイッチ(機能切換)
CNH2	コネクタ(暖房ヒーター2)	SW11(IB)	スイッチ(7d設定用1の位)
CNI1T	コネクタ(51F)	SW12(IB)	スイッチ(7d設定用10の位)
CNFAN	コネクタ(52F)	R.B	リモコン基板
CN2L	コネクタ(ロスナイ)	CN	コネクタ(別売スケジュールタイマー)
T	トランス	TB6	端子台(室内ユニット接続)
F1,F2	ヒューズ	LCD	液晶表示器
X01-X12	補助继电器(室内基板内)	DSA	アレスター
E	アース端子		

外部接続端子の説明 暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーター(蒸気・温水ヒーター・大容量電気ヒーター)を組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意	
外部入力端子	レベル	B1	RC/遠方切換え	ONでRC操作になります。	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、 微小電流用接点を接続ください。 ・配線長100mを超える場合は(Max200mまで) は、必ず100m以内で現地信号を別受け して基板に入力してください。 ・推奨用微小電流用M形 ・本体制御箱内にリレー取付穴がありま すので制御箱内にリレーを入れることが可能です。 ・低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を 通してください。	
	回路電圧	B2	冷房運転ON-OFF	・B2-B5端子は必ず 1端子のみに入れて ください。2端子以上 入力するとユニット は停止します。		
	外部サーモ端子	回路電圧 :DC12V	B3	暖房運転ON-OFF		・外部サーモは接続要領に 従って間違いないよう に接続してください。 ・バス入力、AC200V等の入力を行う場合は 別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」を ご使用ください。 ・T1、T2、T3、T4の順 に設定温度が低くなるよう に配線接続して下さい。 ・暖房時はT1-T4への 入力がOFFでサーモONと なります。
			B4	送風運転ON-OFF		
			B5	自動運転できません		
BC			B1-B5端子のコモン端子			
外部出力端子	無電圧 a接点 出力 ...AC200V 2.5A	L1	冷房運転時出力	・a配線状態の場合に 無電圧のa接点出力を します。	・出力のa接点の接続容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないで ください。それ以上でご使用になる場合は リレー受けしてください。	
		L2	52F ON時出力			
		L3	サーモ ON時出力			
		L4	暖房運転時出力			
		L5	使用しない			
		L6	異常出力(室内、室外共通)			
		L7	異常出力(1室外ユニット)			
L8	異常出力(2室外ユニット)					
L9	使用しない					
L10	使用しない					
L11	使用しない					
L12	L6-L9端子のコモン端子					



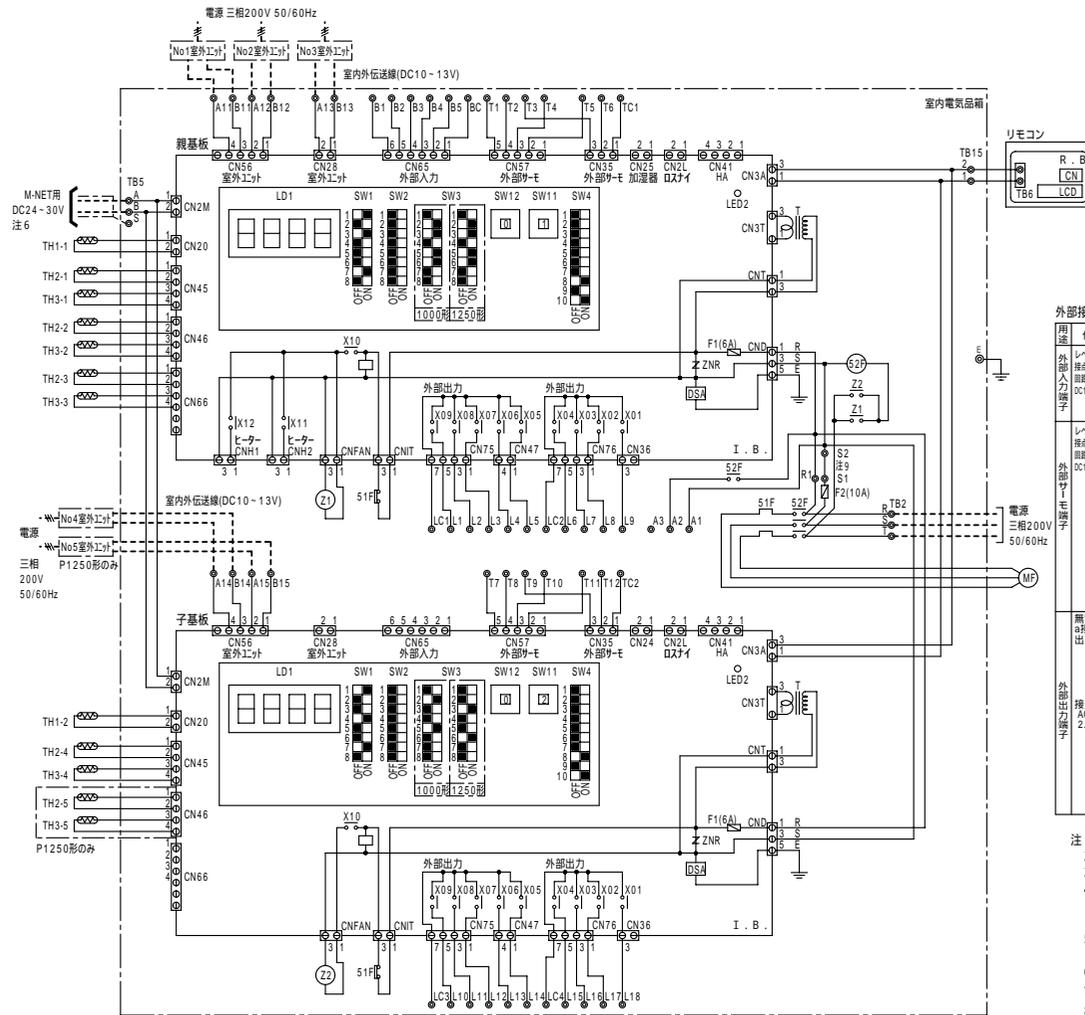
1. ----- (太破線) : 現地配線を示します。
2. SW 3 - 1 ~ 6 の設定は機種により異なります。
3. 配線は、内線規程に従って接続してください。
4. 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。但し、別売部品 (ヒーター、加湿器、モーター) を組込んで、本体と同一電源にする場合は再選定が必要となります。
5. 室外ユニットへの室内外伝送線 No. 1、No. 2、No. 3 は、冷媒配管系統 No. 1、No. 2、No. 3 と一致するよう確実に配線してください。
6. M-NET 接続時には必ず伝送用給電ユニット (別売) が必要です。
7. ⊙印は端子台、⊖印はコネクタ、⊞印は基板差込みコネクタを示します。
8. 停電自動復帰させる場合は、室内ユニット SW 4-1 を ON (有効) にしてください。標準出荷時は、OFF (無効) となっています。但し外部入力で発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
9. 緊急停止入力は、室内ユニット端子台 S1-S2 間の短絡線を外して、そこに緊急停止 SW などを配線接続してください。

記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	TH 1	サーミスター (吸い込み空気温度)
51 F	熱動過電流继电器	TH 2 - 1	サーミスター (No. 1 熱交換管温度)
52 F	補助继电器 (送風機用)	TH 2 - 2	サーミスター (No. 2 熱交換管温度)
T B 2	電源端子台	TH 2 - 3	サーミスター (No. 3 熱交換管温度)
T B 5	集中管理用 M-NET 伝送端子台	TH 3 - 1	サーミスター (No. 1 熱交換管温度)
T B 15	MA リモコン用端子台	TH 3 - 2	サーミスター (No. 2 熱交換管温度)
I . B .	室内制御基板	TH 3 - 3	サーミスター (No. 3 熱交換管温度)
ZNR	バリスター	SW 1 (I . B)	スイッチ (機種設定)
CN 25	コネクタ (加湿器)	SW 2 (I . B)	スイッチ (自己診断)
CN 41	コネクタ (HA)	SW 3 (I . B)	スイッチ (能力設定)
CNH 1	コネクタ (暖房ヒーター 1)	SW 4 (I . B)	スイッチ (機能切換)
CNH 2	コネクタ (暖房ヒーター 2)	SW 11 (I . B)	スイッチ (7d 以設定用 1 の位)
CN IT	コネクタ (51 F)	SW 12 (I . B)	スイッチ (7d 以設定用 10 の位)
CN FAN	コネクタ (52 F)	R . B	リモコン基板
CN 2 L	コネクタ (ロスナイ)	CN	コネクタ (別売: スケジュールタイマー)
T	トランス	T B 6	端子台 (室内ユニット接続)
F 1, F 2	ヒューズ	LCD	液晶表示器
X 01 - X 12	補助继电器 (室内基板内)	D S A	アレスター
L D 1	発光ダイオード (表示)	E	アース端子
L E D 2	発光ダイオード (リモコン給電)		

外部接続端子の説明 暖房に関する内容は別売の暖房ヒーターを組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル	B 1	R C / 遠方切換	ON で R C 操作になります。	外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 配線長 100m を超える場合 (Max 200m まで) は、必ず 100m 以内で接地信号を引受けして基板に入力してください。 推奨用: 微小電流用私製 M Y 形 - 本体制御箱内にリレー取付“-”がありますので制御箱内に取付けることが可能です。 - 低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。
	接点入力	B 2	冷房運転 ON - OFF	・ B 2 - B 5 端子は必ず 1 端子のみに入力してください。2 端子以上入力しますとユニットは停止します。	
	回路電圧	B 3	暖房運転 ON - OFF		
	DC12V	B 4	送風運転 ON - OFF		
		B 5	自動運転できません		
外部サーモ端子	レベル	T 1	冷房 高段 2・暖房 高段 2	・ T1, T2, T3, T4, T5, T6 の順に設定温度が低くなるように配線して下さい。	同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。 - リルス入力、AC200V 等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご利用ください。 - 外部入力接続する場合は、制御基板 SW1-5 を ON、外部サーモ接続する場合は SW1-6 を ON にしてください。 - 冷暖自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。 詳しくは技術資料を参照ください。
	接点入力	T 2	冷房 高段 1・暖房 高段 1		
	回路電圧	T 3	冷房 中段 2・暖房 中段 2		
	DC12V	T 4	冷房 中段 1・暖房 中段 1	・暖房時は T1, T2, T3, T4, T5, T6 への入力が OFF でサーモ ON となります。	
		T 5	冷房 低段 2・暖房 低段 2		
		T 6	冷房 低段 1・暖房 低段 1		
		T C	T 1 - T 6 端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧	L 1	冷房運転時出力	- 左記運転状態の場合に無電圧の a 接点出力をします。	- 出力の a 接点の接点電流容量は AC200V 2.5A です。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご利用になる場合はリレー受けしてください。
	a 接点	L 2	52 F ON 時出力		
	出力	L 3	サーモ ON 時出力		
	接点容量	L 4	暖房運転時出力		
	...AC200V	L 5	霜取運転時出力		
	2.5A	L C 1	L 1 - L 5 端子のコモン端子		
		L 6	異常出力 (室内、室外共通)		
		L 7	異常出力 (No. 1 室外ユニット)		
		L 8	異常出力 (No. 2 室外ユニット)		
	L 9	異常出力 (No. 3 室外ユニット)			
	L C 2	L 6 - L 9 端子のコモン端子			



記号説明

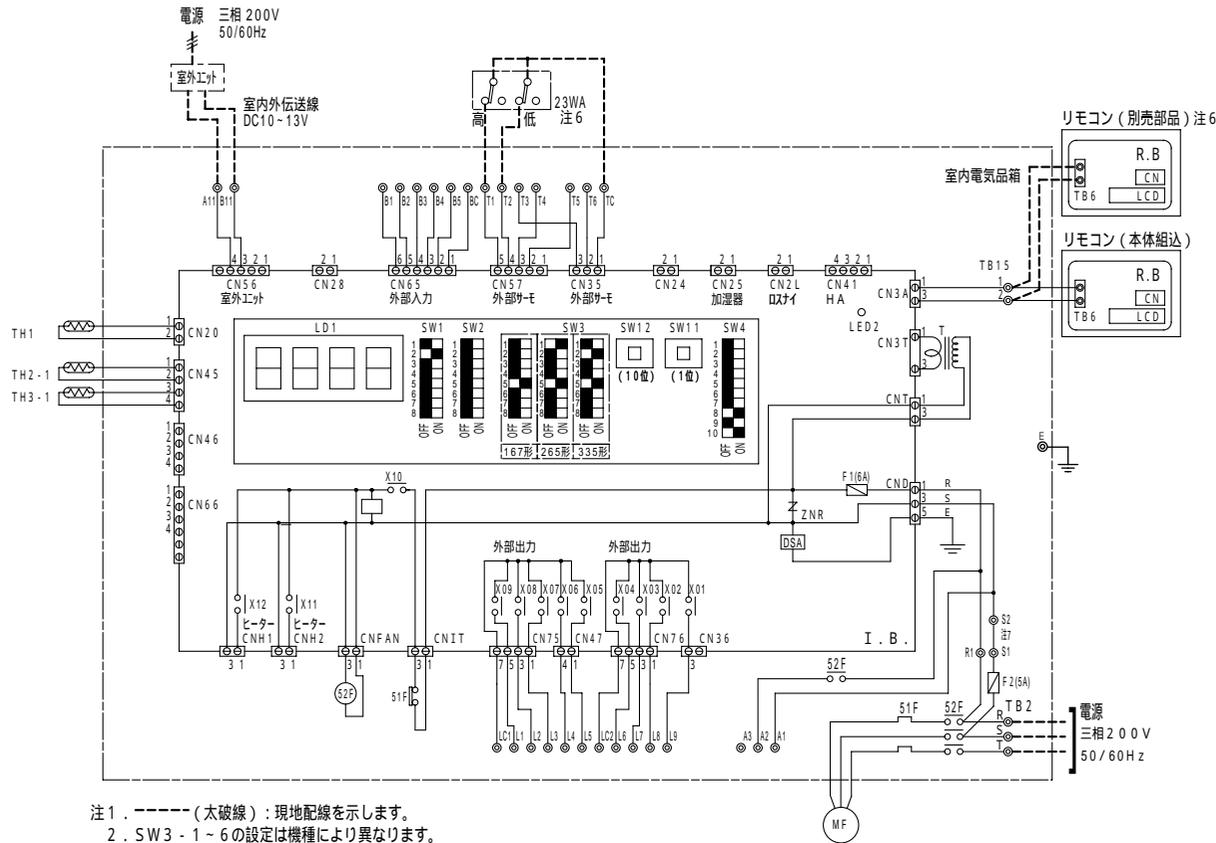
記号	名称	記号	名称
M.F	送風機電動機	TH1-1,2	サーミスター (暖込み空気温度)
S1F	補助線電流継電器	TH2-1	サーミスター (No.1熱交換器温度)
S2F	補助線電磁 (送風機用)	TH2-2	サーミスター (No.2熱交換器温度)
T.B	電源端子台	TH2-3	サーミスター (No.3熱交換器温度)
T.B5	集中管理用-M-NET用伝送端子台	TH2-4	サーミスター (No.4熱交換器温度)
T.B15	MAU用伝送端子台	TH2-5	サーミスター (No.5熱交換器温度)<P1250形>
T.B	室内制御盤	TH3-1	サーミスター (No.1熱交換器温度)
ZNR	バリスタ	TH3-2	サーミスター (No.2熱交換器温度)
CN25	コネクター (加温器)	TH3-3	サーミスター (No.3熱交換器温度)
CN41	コネクター (HA)	TH3-4	サーミスター (No.4熱交換器温度)
CNH1	コネクター (暖房ヒーター1)	TH3-5	サーミスター (No.5熱交換器温度)
CNH2	コネクター (暖房ヒーター2)	SW1 (I.B.)	スイッチ (機能設定)<P1250形>
CNIT	コネクター (S1F)	SW2 (I.B.)	スイッチ (自己診断)
CNFAN	コネクター (S2F)	SW3 (I.B.)	スイッチ (能力設定)
CN2L	コネクター (ロスタイ)	SW4 (I.B.)	スイッチ (機能切換)
T	トランス	SW11 (I.B.)	スイッチ (アドレス設定用 10の位)
F1,F2	ヒューズ	SW12 (I.B.)	スイッチ (アドレス設定用 100の位)
X01-X12	補助線電磁 (室内基板内)	R.B	リモコン基板
Z1,Z2	補助線電磁 (送風機用)	C.N	コネクター (別売:スケジューラタイマー)
L.D1	発光ダイオード (表示)	T.B6	端子台 (室内ユニット接続)
L.D2	発光ダイオード (リモコン給電)	L.C.D	液晶表示部
E	アース端子	D.S.A	アレスタ

外部接続端子の説明

用途	仕様	端子	各端子の内容	ご説明	ご注意				
外部入力端子	レベル 端子入力 耐電圧: DC12V	B1	R / 遠方切換	ONでR.C操作になります。 ・B2-B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力するとユニットは停止します。 ・本体制御箱内にリレー取付けスペースがありますので制御箱内に取付けすることが可能です。低圧保護継電器と電源線は必ず別の電線管を通してください。 ・同じ電線管内を通すと、該作動の原因となります。 ・バルブ入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キットPAC-C691RCK」をご確認ください。 ・外部入力接続する場合は、No.1制御盤上側のSW1-5をON、外部サーモ接続する場合はNo.1 No.2両方の制御盤SW1-6をONにしてください。 ・冷暖自動運転時は外部サーモ接続端子の設け方が異なります。詳しくは技術資料を参照してください。	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 ・配線長100mを超える場合 (Max200mまで) は、必ず100m以内で接地信号をリレー変換して基板に入力してください。 ・必ずレール電圧用400V製MYSRは停止します。				
		B2	冷房運転ON・OFF						
		B3	暖房運転ON・OFF						
		B4	送風機運転ON・OFF						
		B5	電源ON・OFF						
		B.C	B1-B5端子のコモン端子						
		外部サーモ端子	レベル 端子入力 耐電圧: DC12V			T1	冷房3回路 暖房高線<P1000形>暖房低線<P1250形>	・外部サーモは左記内容に従って開閉の無いように接続してください。 開閉して接続すると正常に運転しなくなります。 ・暖房時はT8,T9,T11に接続しない。 ・冷房時はT2,T9,T11に接続しない。 ・T10に接続しない。 ・T11に接続しない。 ・T12に接続しない。 ・T.C1-T1-T6端子のコモン端子 ・T.C2-T7-T12端子のコモン端子	・左記運転状態の場合に高電圧のa接点出力をします。 ・出力のa接点の接点電流容量はAC200V/5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上で使用になる場合はリレー変換してください。
						T2	冷房2回路 暖房高線<P1000形>暖房低線<P1250形>		
						T3	冷房1回路 暖房高線<P1000形>暖房低線<P1250形>		
						T4	配線接続しない		
T5	配線接続しない								
T6	配線接続しない								
T7	配線接続しない								
T8	冷房3回路 暖房高線<P1250形>								
T9	冷房3回路 暖房高線<P1000形>暖房高線<P1250形>								
T10	配線接続しない								
無電圧a接点出力	端子出力 耐電圧: AC200V 2.5A	L1,L10	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に高電圧のa接点出力をします。 ・出力のa接点の接点電流容量はAC200V/5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上で使用になる場合はリレー変換してください。	・出力のa接点の接点電流容量はAC200V/5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上で使用になる場合はリレー変換してください。				
		L2,L11	S2F ON時出力						
		L3,L12	サーモ ON時出力						
		L4,L13	暖房運転時出力						
		L5,L14	電圧運転時出力						
		L.C1	L1-L5端子のコモン端子						
		L.C3	L10-L14端子のコモン端子						
		L6,L15	異常出力 (室内、室外共通)						
		L7	異常出力 (室外ユニットNo.1)						
		L8	異常出力 (室外ユニットNo.2)						
L9	異常出力 (室外ユニットNo.3)								
L16	異常出力 (室外ユニットNo.4)								
L17	異常出力 (室外ユニットNo.5)<P1250形>								
L18	使用しない								
L.C2	L6-L9端子のコモン端子								
L.C4	L15-L18端子のコモン端子								

- 注1. ---- (太破線) : 現地配線を示します。
- 注2. SW3-1-6の設定は機種により異なります。
- 注3. 配線は、内線規程に従って接続してください。
- 注4. 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。但し、別売部品 (ヒーター、加温器、モーター) を組込んで、本体と同一電源にする場合は再度が必要となります。
- 注5. 室外ユニットへの室内外伝送線No.1-No.5は、冷暖配管系統No.1-No.5と一致するよう確実に配線してください。(No.5はP1250形のみ)
- 注6. M-NET接続時は、必ず伝送用給電ユニット (別売) が必要です。
- 注7. ◎印は端子台、○印はコネクター、⊗印は基板差込みコネクターを示します。
- 注8. 停電自動復帰させる場合は、室内ユニット基板2枚共SW4-1をON (有効) にしてください。標準出荷時は、OFF (無効) となっています。但し外部入力が発停している場合は、復帰時の外部信号に従います。
- 注9. 緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。

	1000形	1250形
開閉器	100A	100A
過電流保護器	7.5A	10.0A
電線太さ	8mm以上	1.4mm以上



	167形	265形	335形
開閉器	15 A	15 A	15 A
過電流保護器	15 A	15 A	15 A
電線太さ	1.6mm以上	1.6mm以上	1.6mm以上

- 注1. ----- (太破線) : 現地配線を示します。
- SW3-1~6の設定は機種により異なります。
 - 配線は、内線規程に従って接続してください。
 - 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。但し、別売部品(加温器、モーター)を組込んで、本体と同一電源にする場合は再選定が必要となります。
 - ◎印は端子台、⊖印はコネクタ、⊕印は基板差込みコネクタを示します。
 - 停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON(有効)にしてください。標準出荷時は、OFF(無効)となっています。但し外部入力で発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
 - 緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。
 - 室内温度調節のため下表に示す または の内容を実施ください。

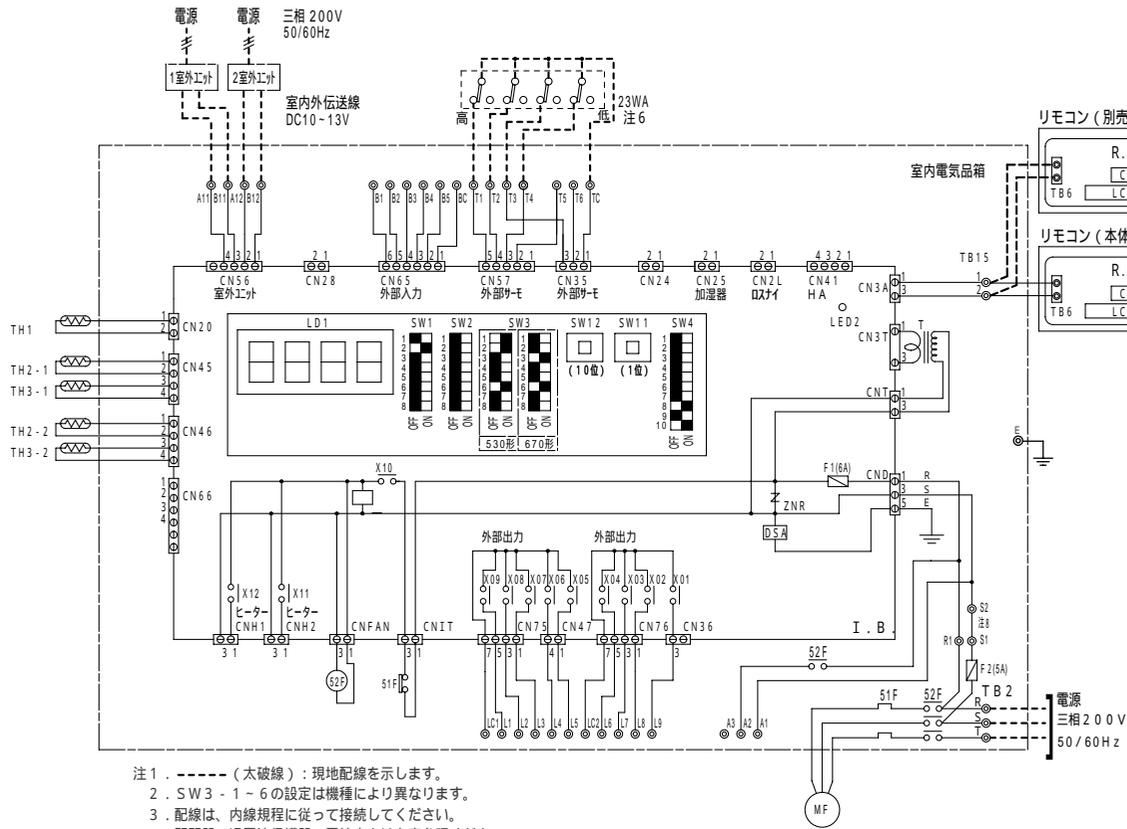
内容	SW設定の変更
温度調節器23WA(現地手配)を接続する。	DIPSW 1-6 をONにしてください。
リモコン(別売部品)を接続し、室内に設置してそのリモコンサーモを使用する。	DIPSW 4-2 をONにしてください。 本体取付のR印を"従"、室内に設置するリモコンを"主"に設定してください。 詳しくは据付説明書およびリモコンの取付説明書を参照ください。

記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	LD1	発光ダイオード(表示)
S1F	熱動過電流継電器	LED2	発光ダイオード(リモコン検電)
S2F	補助継電器(送風機用)	TH1	サーミスター(吸込み空気温度)
TB2	電源端子台	TH2-1	サーミスター(1熱交換管温度)
TB15	MAリモコン用端子台	TH3-1	サーミスター(1熱交換管温度)
I.B.	室内制御基板	SW1(IB)	スイッチ(機種設定)
ZNR	パルスター	SW2(IB)	スイッチ(自己診断)
CN25	コネクタ(加温器)	SW3(IB)	スイッチ(能力設定)
CN41	コネクタ(HA)	SW4(IB)	スイッチ(機能切換)
CNH1	コネクタ(暖房ヒーター1)	SW11(IB)	スイッチ(フド設定用1の位)
CNH2	コネクタ(暖房ヒーター2)	SW12(IB)	スイッチ(フド設定用10の位)
CNIT	コネクタ(51F)	R.B	リモコン基板
CNFAN	コネクタ(52F)	CN	コネクタ(別売スケジュールタイマー)
CN2L	コネクタ(ロスナイ)	TB6	端子台(室内ユニット接続)
T	トランス	LCD	液晶表示器
F1,F2	ヒューズ	DSA	アレスター
X01-X12	補助継電器(室内基板内)	23WA	温度調節器(現地手配)
E	アース端子		

外部接続端子の説明 暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーター(蒸気・温水ヒーター)を組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル	B1	RC / 遠方切換え	ONでRC操作になります。	微小電流用接点を接続ください。 配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地信号を叫受けして基板に入力してください。 推奨用-微小電流用軸取型MY形 ・本体制御箱内にリレー取付穴が有りますので制御箱内に取付けることが可能です。 ・低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。 同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。
	接点入力	B2	冷房運転ON-OFF	B2-B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入りますとユニットは停止します。	
	回路電圧	B3	暖房運転ON-OFF		
	回路電圧	B4	送風運転ON-OFF		
	回路電圧	B5	自動運転できません		
	回路電圧	B C	B1-B5端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル	T1	冷房高段・暖房低段	外部サーモは接続要領に従って間違いないように接続してください。	パルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売"遠方操作キット PAC-CG91RCK"をご使用ください。 外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。 冷暖自動運転時は外部サーモ接続端子の温度が低くなるように設定方法が異なります。詳しくは技術資料を参照ください。
	接点入力	T2	冷房低段・暖房高段		
	回路電圧	T3	配線接続しない	間違つて接続しますと正常に運転しなくなります。	
	回路電圧	T4	配線接続しない		
	回路電圧	T5	配線接続しない		
	回路電圧	T6	配線接続しない		
	回路電圧	T C	T1-T6端子のコモン端子	T1,T2の順に設定温度が低くなるように配線接続して下さい。	
外部出力端子	無電圧	L1	冷房運転時出力	左記運転状態の場合に無電圧のa接点出力をします。	出力のa接点の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上ご使用になる場合はリレー付けてください。
	a接点	L2	52F ON時出力		
	出力	L3	サーモ ON時出力		
	出力	L4	暖房運転時出力		
	接点容量	L5	使用しない		
	2.5A	LC1	L1-L5端子のコモン端子		
		L6	異常出力(室内、室外共通)		
		L7	異常出力(室外ユニット)		
		L8	使用しない		
		L9	使用しない		
	LC2	L6-L9端子のコモン端子			



- 注1. ----- (太線) : 現地配線を示します。
 2. SW3-1~6の設定は機種により異なります。
 3. 配線は、内線規程に従って接続してください。
 4. 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。
 但し、別売部品(加湿器、モーター)を組込んで、本体と同一電源にする場合は再選定が必要となります。
 5. 室外ユニットへの室内外伝送線No.1、No.2は、冷媒配管系統No.1、No.2と一致するよう確実に配線してください。
 6. 印は端子台、⊖印はコネクタ、Ⓢ印は基板差込みコネクタを示します。
 7. 停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON(有効)にしてください。標準出荷時は、OFF(無効)となっています。但し外部入力が発停している場合は、復帰時の外部信号に従います。
 8. 緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。
 9. 室内温度調節のため下表に示す または の内容を実施ください。

	530形	670形
開閉器	30A	30A
過電流保護器	20A	30A
電線太さ	1.6mm以上	1.6mm以上

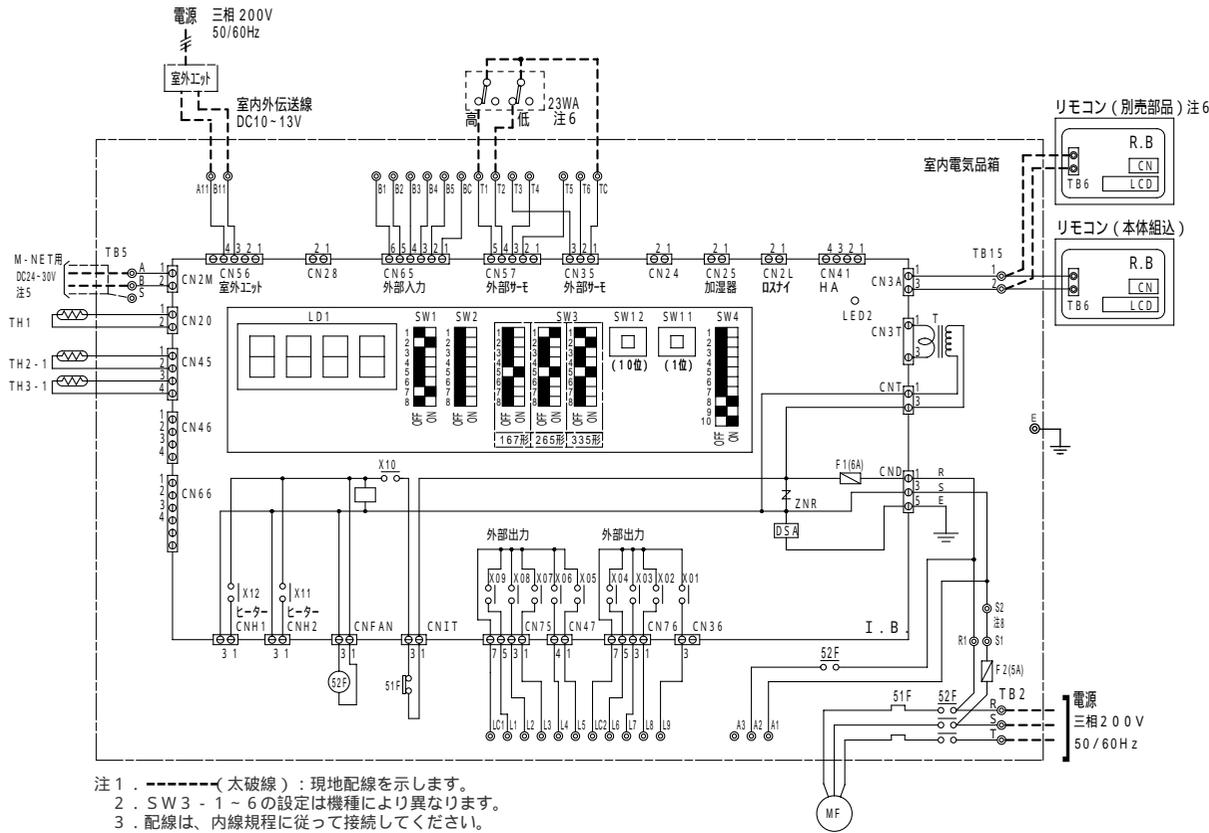
内容	SW設定の変更
温度調節器23WA(現地手配)を接続する。	DIPSW 1-6 をONにしてください。
リモコン(別売部品)を接続し、室内に設置してそのリモコンサーモを使用する。	DIPSW 4-2 をONにしてください。 本体取付のリモコンを"従"、室内に設置するリモコンを"主"に設定してください。詳しくは据付説明書およびリモコンの取付説明書を参照ください。

記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	TH 1	サーミスター(取込み空気温度)
S 1 F	熱動過電流保護器	TH 2 - 1	サーミスター(1熱交換管温度)
S 2 F	補助继电器(送風機用)	TH 2 - 2	サーミスター(2熱交換管温度)
T B 2	電源端子台	TH 3 - 1	サーミスター(1熱交二相管温度)
T B 1 5	MAリモコン用端子台	TH 3 - 2	サーミスター(2熱交二相管温度)
I . B .	室内制御基板	SW 1 (IB)	スイッチ(機種設定)
ZNR	パリスター	SW 2 (IB)	スイッチ(自己診断)
CN 2 5	コネクター(加湿器)	SW 3 (IB)	スイッチ(能力設定)
CN 4 1	コネクター(HA)	SW 4 (IB)	スイッチ(機能切換)
CN H 1	コネクター(暖房ヒーター1)	SW 1 1 (IB)	スイッチ(7d/以設定用1の位)
CN H 2	コネクター(暖房ヒーター2)	SW 1 2 (IB)	スイッチ(7d/以設定用10の位)
CN I T	コネクター(S 1 F)	R . B	リモコン基板
CN FAN	コネクター(S 2 F)	CN	コネクター(別売スケジュールタイマー)
CN 2 L	コネクター(ロスナイ)	T B 6	端子台(室内ユニット接続)
T	トランス	L C D	液晶表示器
F 1 , F 2	ヒューズ	D S A	アレスター
X 0 1 - X 1 2	補助继电器(室内基板内)	2 3 W A	温度調節器(現地手配)
L D 1	発光ダイオード(表示)	E	アース端子
L E D 2	発光ダイオード(リモコン給電)		

外部接続端子の説明 暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーター(蒸気/温水ヒーター)を組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル	B 1	RC/遠方切換え	ONでRC操作になります。	*外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 *配線長100mを超える場合(Max200mまでは、必ず100m以内で現地信号を引受けして基板に入力してください。 *推奨用-微小電流用ICの製M Y形 *本体制御室内にリレー取付穴-がありますので制御室内に取付けることが可能です。 *低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。
	接点入力回路電圧	B 2	冷房運転ON-OFF	*B 2 - B 5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力するとユニットは停止します。	
	DC12V	B 3	暖房運転ON-OFF		
		B 4	送風運転ON-OFF		
		B 5	自動運転できません		
		B C	B 1 - B 5端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル	T 1	冷房高段2/暖房高段2	*外部サーモは接続要領に従って間違いないように接続してください。間違つて接続すると正常に運転しなくなります。	*外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。 *暖房時はT 1 - T 4の入力がOFFでサーモONとなります。 詳しくは技術資料を参照ください。
	接点入力回路電圧	T 2	冷房高段1/暖房高段2		
	DC12V	T 3	冷房低段2/暖房低段2		
		T 4	冷房低段1/暖房低段1	*T 1, T 2, T 3, T 4の順に設定温度が低くなるように配線接続して下さい。	
		T 5	配線接続しない		
		T 6	配線接続しない		
		T C	T 1 - T 6端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧	L 1	冷房運転時出力	*左記運転状態の場合に無電圧のa接点出力をします。	*出力のa接点の接続電容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご利用になる場合はリレー受けしてください。
	a接点出力	L 2	S 2 F ON時出力		
		L 3	サーモON時出力		
	接点容量...AC200V 2.5A	L 4	暖房運転時出力		
		L 5	使用しない		
	L C 1	L 1 - L 5端子のコモン端子			
	L 6	異常出力(室内、室外共通)			
	L 7	異常出力(1室外ユニット)			
	L 8	異常出力(2室外ユニット)			
L 9	使用しない				
L C 2	L 6 - L 9端子のコモン端子				



- 注 1. -----(太破線) : 現地配線を示します。
 2. SW3-1~6の設定は機種により異なります。
 3. 配線は、内線規程に従って接続してください。
 4. 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。
 但し、別売部品(加湿器、モーター)を組込んで、
 本体と同一電源にする場合は再選定が必要となります。
 5. M-NET接続時には、必ず伝送線用給電ユニット(別売)が必要です。
 6. 印は端子台、⊖印はコネクター、⊕印は基板差込みコネクターを示します。
 7. 停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON(有効)にしてください。標準出荷時は、OFF(無効)となっています。但し外部入力で発停している場合は、復電時の外部信号に従います。
 8. 緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。
 9. 室内温度調節のため下表に示す または の内容を実施ください。

	167形	265形	335形
開閉器	15A	15A	15A
過電流保護器	15A	15A	15A
電線太さ	1.6mm以上	1.6mm以上	1.6mm以上

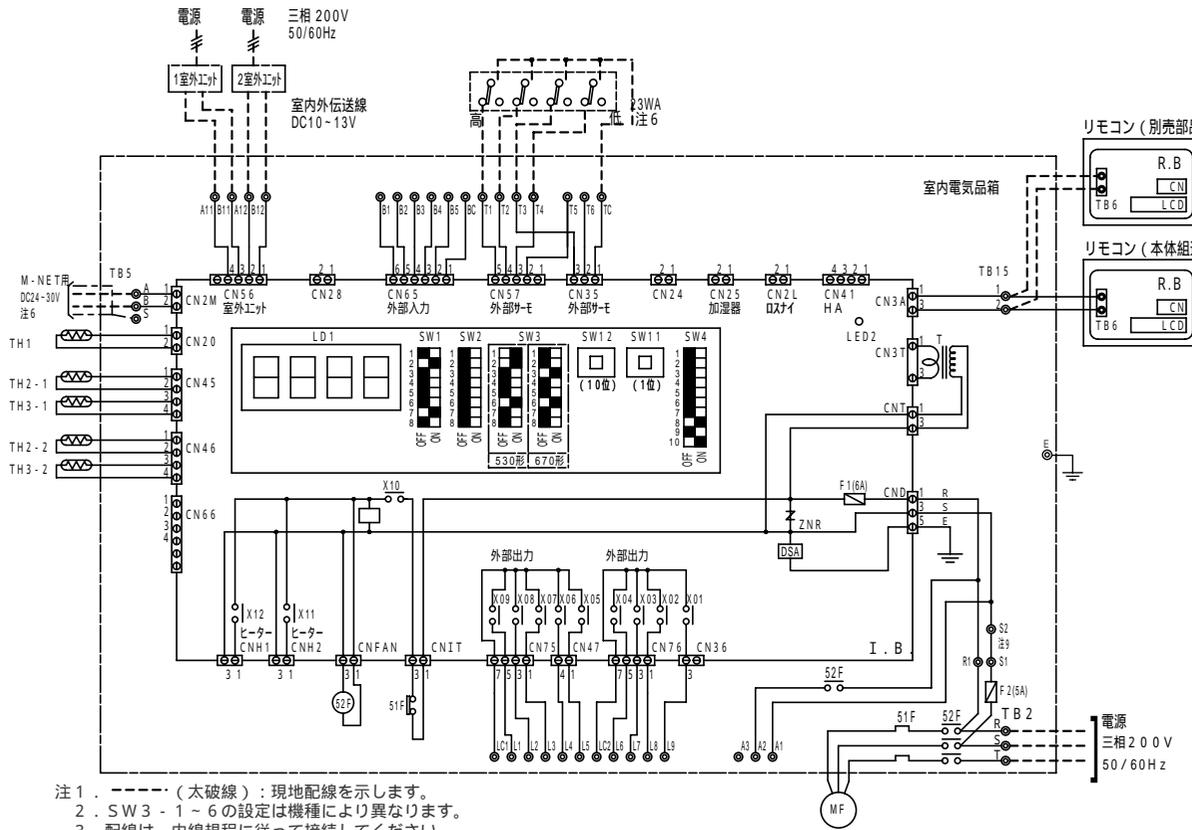
内容	SW設定の変更
温度調節器23WA(現地手配)を接続する。	DIPSW 1-6をONにしてください。
リモコン(別売部品)を接続し、室内に設置してそのリモコンサーモを使用する。	DIPSW 4-2をONにしてください。 本体取付の印を"従"、室内に設置するリモコンを"主"に設定してください。 詳しくは据付説明書およびリモコンの取付説明書を参照ください。

記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	LD1	発光ダイオード(表示)
51F	熱動過電流継電器	LED2	発光ダイオード(リモコン給電)
52F	補助継電器(送風機用)	TH1	サーミスター(暖込み空気温度)
TB2	電源端子台	TH2-1	サーミスター(1熱交液管温度)
TB5	集中管理用M-NET伝送端子台	TH3-1	サーミスター(1熱交二相管温度)
TB15	MARリモコン用端子台	SW1(IB)	スイッチ(機種設定)
I.B.	室内制御基板	SW2(IB)	スイッチ(自己診断)
ZNR	バリスター	SW3(IB)	スイッチ(能力設定)
CN25	コネクター(加湿器)	SW4(IB)	スイッチ(機能切換)
CN41	コネクター(HA)	SW11(IB)	スイッチ(7'以下設定用10の位)
CNH1	コネクター(暖房ヒーター-1)	SW12(IB)	スイッチ(7'以下設定用100の位)
CNH2	コネクター(暖房ヒーター-2)	R.B	リモコン基板
CNIT	コネクター(51F)	CN	コネクター(別売スケジューライマー)
CNFAN	コネクター(52F)	TB6	端子台(室内ユニット接続)
CN2L	コネクター(ロスナイ)	LCD	液晶表示器
T	トランス	DSA	アレスター
F1,F2	ヒューズ	23WA	温度調節器(現地手配)
X01-X12	補助継電器(室内基板内)	E	アース端子

外部接続端子の説明 暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーター(蒸気温水ヒーター)を組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル 回路電圧 :DC12V	B1	RC/遠方切換え	ON/RC操作になります。	*外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地信号を引受けして基板に入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。 *本体制御箱内にリレー取付穴(1)がありますので制御箱内に取付けることが可能です。 *低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。
		B2	冷房運転ON・OFF	B2・B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力するとユニットは停止します。	
		B3	暖房運転ON・OFF		
		B4	送風運転ON・OFF		
		B5	自動運転できません		
		BC	B1-B5端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル 回路電圧 :DC12V	T1	冷房高段・暖房低段	*外部サーモは接続要領に同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。	*リレー入力、AC200V等の入力を行う場合は別売"遠方操作キット PAC-CG91RCK"をご使用ください。 *外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。 *冷暖自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。 詳しくは技術資料を参照ください。
		T2	冷房低段・暖房高段	従って間違いないように接続してください。	
		T3	配線接続しない	間違っていると正常に運転しなくなります。	
		T4	配線接続しない		
		T5	配線接続しない		
		T6	配線接続しない		
		TC	T1-T6端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧 a接点 出力 ...AC200V 2.5A	L1	冷房運転時出力	*左記運転状態の場合に無電圧のa接点出力をします。	*出力のa接点の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご利用になる場合はリレー受けしてください。
		L2	52F ON時出力		
		L3	サーモ ON時出力		
		L4	暖房運転時出力		
		L5	使用しない		
		LC1	L1-L5端子のコモン端子		
		L6	異常出力(室内、室外共通)		
		L7	異常出力(室外ユニット)		
		L8	使用しない		
		L9	使用しない		
LC2	L6-L9端子のコモン端子				



記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	TH1	サーミスター (吸込み空気温度)
51F	熱動過電流継電器	TH2-1	サーミスター (1熱交液管温度)
52F	補助継電器 (送風機用)	TH2-2	サーミスター (2熱交液管温度)
TB2	電源端子台	TH3-1	サーミスター (1熱交二相管温度)
TB5	集中管理用M-NET用伝送端子台	TH3-2	サーミスター (2熱交二相管温度)
TB15	MAリモコン用端子台	SW1(1B)	スイッチ (機種設定)
I.B.	室内制御基板	SW2(1B)	スイッチ (自己診断)
ZNR	バリスター	SW3(1B)	スイッチ (能力設定)
CN25	コネクター (加湿器)	SW4(1B)	スイッチ (機能切換)
CN41	コネクター (HA)	SW11(1B)	スイッチ (7d設定用1の位)
CNH1	コネクター (暖房ヒーター1)	SW12(1B)	スイッチ (7d設定用10の位)
CNH2	コネクター (暖房ヒーター2)	R.B	リモコン基板
CN1T	コネクター (51F)	CN	コネクター (別売スケジュールタイマー)
CNFAN	コネクター (52F)	TB6	端子台 (室内ユニット接続)
CN2L	コネクター (ロスナイ)	LCD	液晶表示器
T	トランス	DSA	アレスター
F1,F2	ヒューズ	23WA	温度調節器 (現地手配)
X01-X12	補助継電器 (室内基板内)	E	アース端子
LD1	発光ダイオード (表示)		
LED2	発光ダイオード (リモコン給電)		

外部接続端子の説明 暖房に関する内容は別売の暖房用ヒーター(蒸気・温水ヒーター)を組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル 回路電圧 :DC12V	B1	R/C/遠方切換え	ONでR/C操作になります。	*外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 *配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地信号を別一受けつけて基板に入力してください。 *特殊微小電流用端子(M形)は、本制御盤内にリレー取付口が異なりますので制御盤内に取付けることが可能です。 *低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。
		B2	冷房運転ON-OFF	B2-B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。	
		B3	暖房運転ON-OFF		
		B4	送風運転ON-OFF		
		B5	自動運転できません		
		BC	B1-B5端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル 回路電圧 :DC12V	T1	冷房高段2・暖房高段2	外部サーモは接続要領に従って間違いの無いように接続してください。間違っていると正常に運転しなくなります。	*外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。 *冷房自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。詳しくは技術資料を参照ください。
		T2	冷房高段1・暖房高段1		
		T3	冷房低段2・暖房低段2		
		T4	冷房低段1・暖房低段1	T1,T2,T3,T4の順に設定温度が低くなるように配線接続して下さい。	
		T5	配線接続しない	T1-T4への入力がOFFでサーモONとなります。	
		T6	配線接続しない		
		TC	T1-T6端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧 a接点 出力 接続容量 :AC200V 2.5A	L1	冷房運転時出力	*左記運転状態の場合に無電圧のa接点出力をします。 *出力のa接点の接続電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご利用になる場合はリレー付けてください。	
		L2	52F ON時出力		
		L3	サーモON時出力		
		L4	暖房運転時出力		
		L5	使用しない		
		LC1	L1-L5端子のコモン端子		
		L6	異常出力 (室内、室外共通)		
		L7	異常出力 (1室外ユニット)		
		L8	異常出力 (2室外ユニット)		
		L9	使用しない		
LC2	L6-L9端子のコモン端子				

PFAK-P530・670AWM-A-F

1. --- (太破線) : 現地配線を示します。
2. SW3-1~6の設定は機種により異なります。
3. 配線は、内線規程に従って接続してください。
4. 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。但し、別売部品(加湿器、モーター)を組込んで、本体と同一電源にする場合は再選定が必要となります。
5. 室外ユニットへの室内外伝送線No.1、No.2は、冷媒配管系統No.1、No.2と一致するよう確実に配線してください。
6. M-NET接続時には、必ず伝送線用給電ユニット(別売)が必要です。
7. 印は端子台、⊙印はコネクター、⊗印は基板差込みコネクターを示します。
8. 停電自動復帰させる場合は、室内ユニットSW4-1をON(有効)にしてください。標準出荷時は、OFF(無効)となっています。但し外部入力で発停している場合は、復帰時の外部信号に従います。
9. 緊急停止入力は、室内ユニット端子台S1-S2間の短絡線を外して、そこに緊急停止SWなどを配線接続してください。
10. 室内温度調節のため下表に示す または の内容を実施ください。

	530形	670形
開閉器	30A	30A
過電流保護器	20A	30A
電線太さ	1.6mm以上	1.6mm以上

内容	SW設定の変更
温度調節器23WA(現地手配)を接続する。	DIPSW 1-6 をONにしてください。
リモコン(別売部品)を接続し、室内に設置してそのリモコンサーモを使用する。	DIPSW 4-2 をONにしてください。 本体取付のR/Cを"従"、室内に設置するリモコンを"主"に設定してください。 詳しくは据付説明書およびリモコンの取付説明書を参照ください。

製品データ

1.冷房・暖房能力特性

(1)冷房・暖房能力の求め方

冷房・暖房能力を求めるには、次ページ以降の定格性能値表より算出してください。

算出例

- a.室内・室外組合せシステム 50Hz地区
 室外ユニット PUHK-P280AW-A × 2台
 室内ユニット PFAK-P560AW-A
- b.定格性能値表より(50Hz地区)

室内容量	能力(kW)		入力(kW)	
	冷房	暖房	冷房	暖房
560	50.0	60.0	18.08	18.39

定格性能値表はJIS B8615-2の標準条件で、冷媒配管長5mにおける値です。

JIS B8615-2標準条件
 冷房：室内側 乾球温度27 湿球温度19 室外側 乾球温度35 湿球温度6
 暖房：室内側 乾球温度20 室外側 乾球温度7 湿球温度6

したがって、運転条件が異なる場合は、次ページ以降の各種能力補正を行ってください。

c.補正後の冷房・暖房能力の求め方

$$\text{補正後の能力 (kW)} = \text{定格能力} \times \text{能力補正係数 (温度、配管長、霜取補正係数)}$$

(2)能力・入力補正

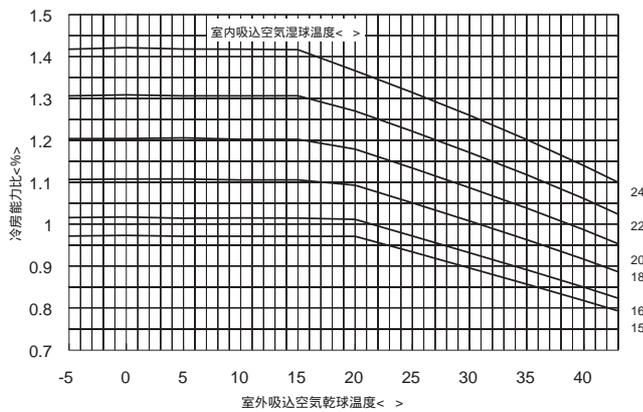
標準仕様

(i)冷房

(A)PF(H)K-P140AW(M)-A

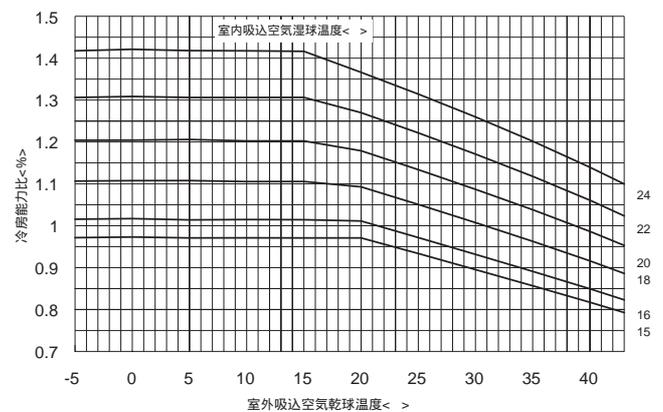
50Hz

・冷房能力補正

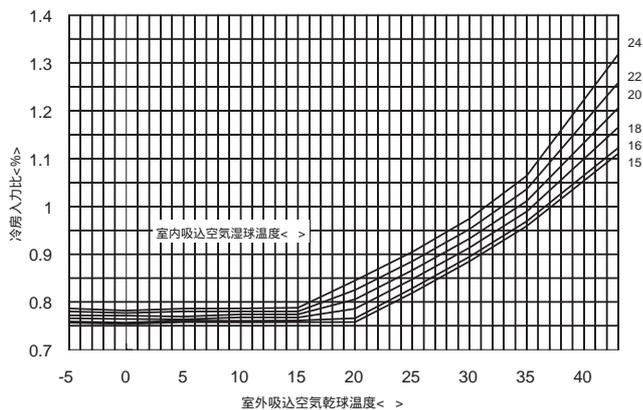


60Hz

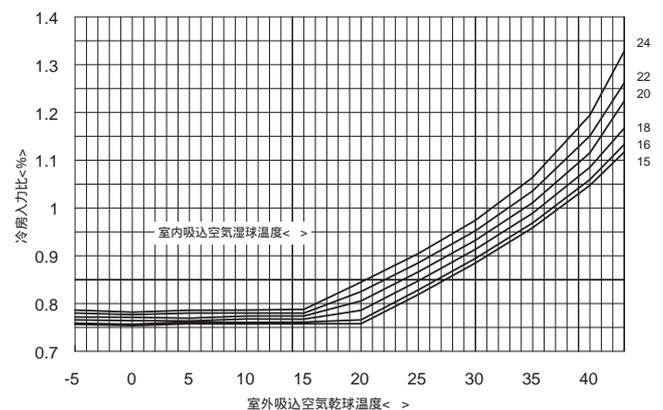
・冷房能力補正



・冷房入力補正



・冷房入力補正

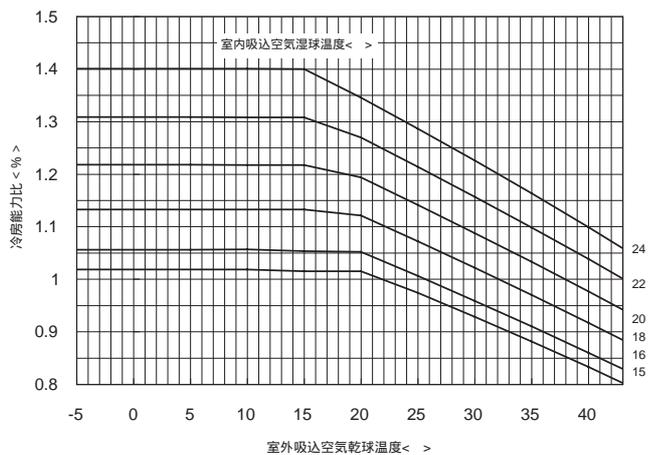


能力値・入力値は、71頁の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

(B)PF(H)K-P224,450,630AW(M)(U)-A

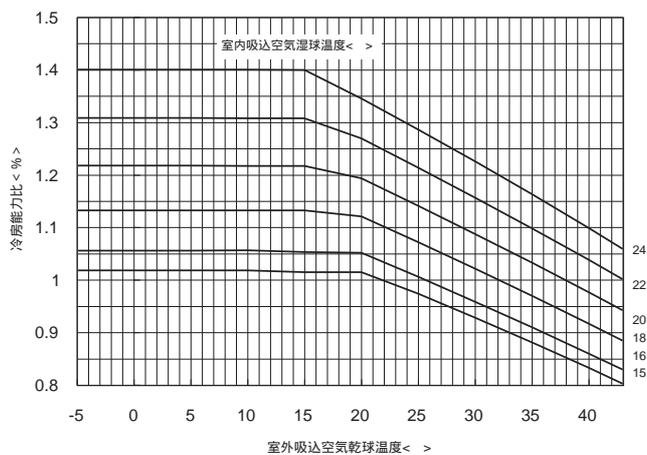
50Hz

・冷房能力補正

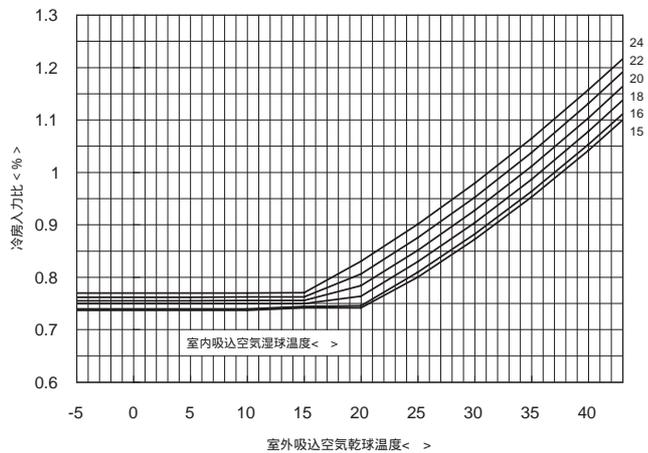


60Hz

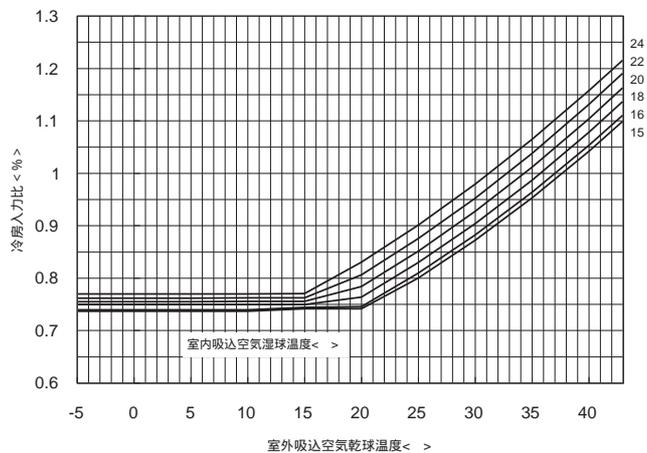
・冷房能力補正



・冷房入力補正



・冷房入力補正

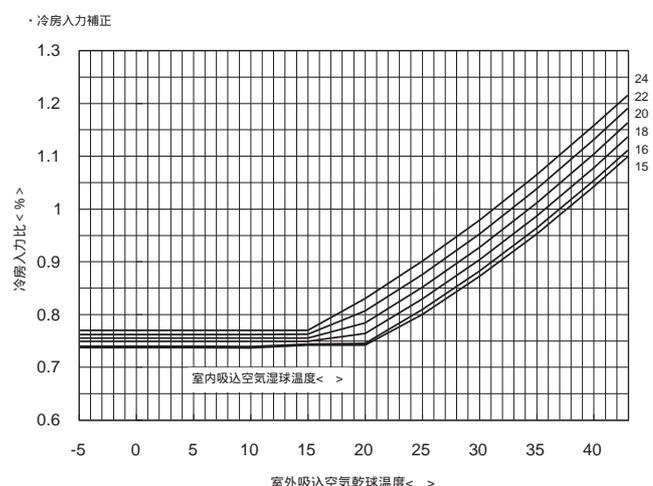
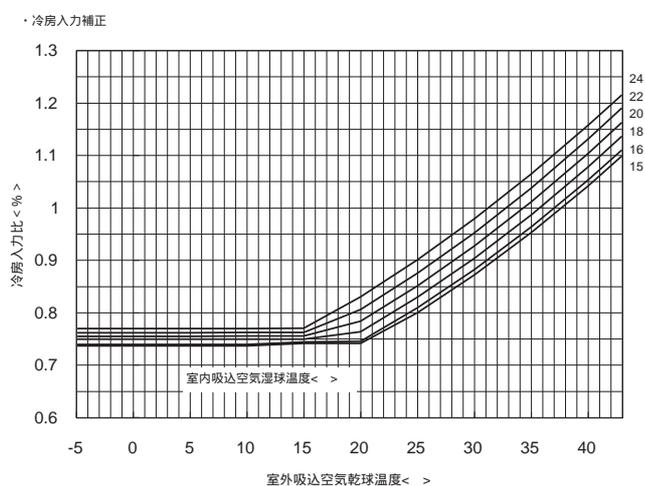
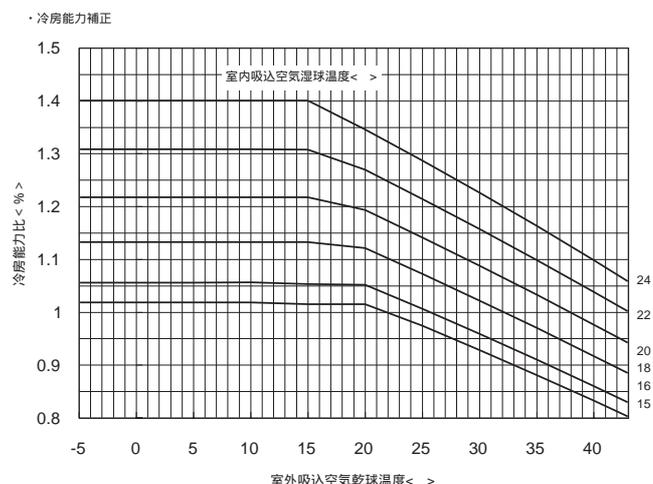
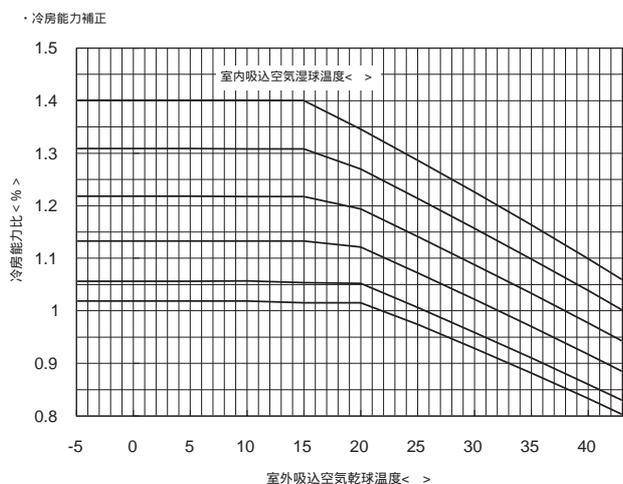


能力値・入力値は、71頁の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

(C)PF(H)K-P280,560,800,1120,1400AW(M)-A

50Hz

60Hz



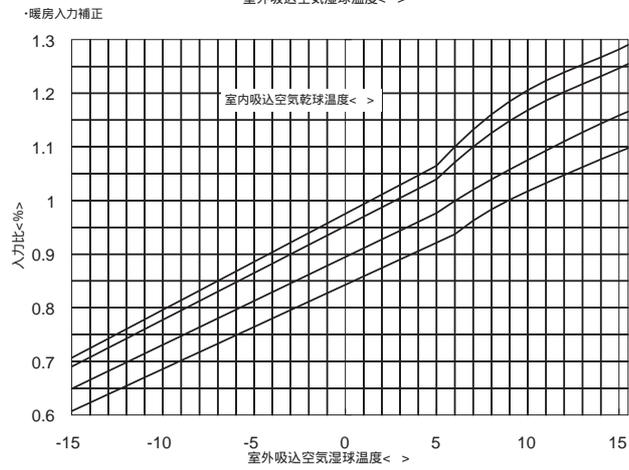
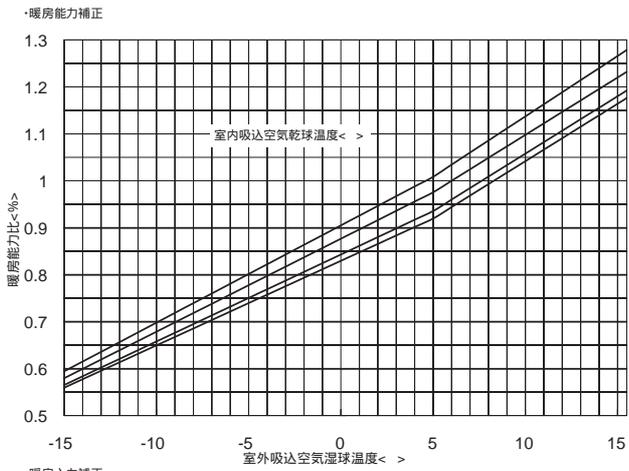
能力値、入力値は、下表の冷房定格性能値にグラフの能力比、入力比を掛けて補正してください。

【 冷房定格性能値 < 50Hz/60Hz > 】

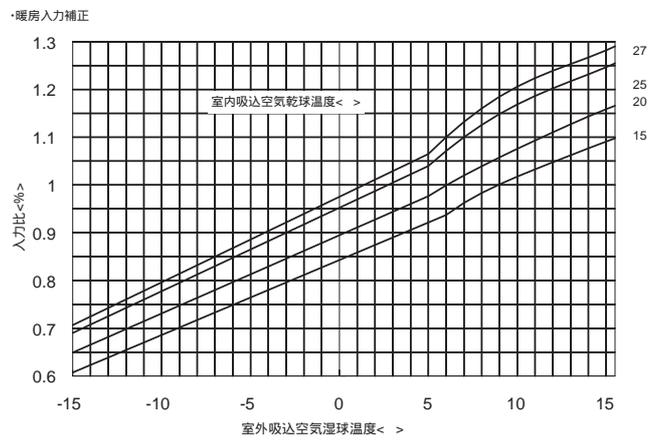
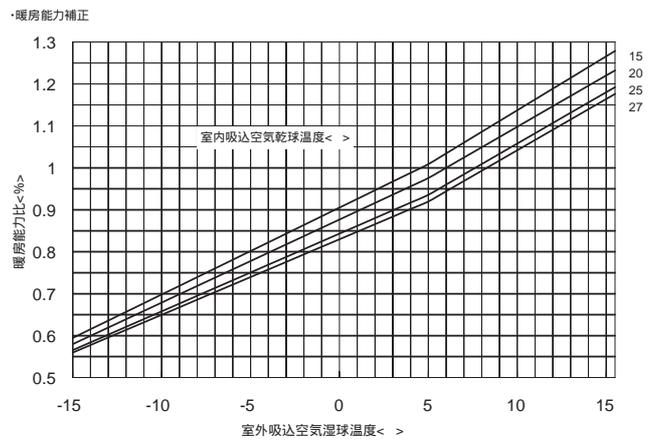
形名	項目	冷房能力 <kW>	入力 <kW>
PF(H)K-P140AW(M)-A		12.5/14.0	5.10/6.15
PF(H)K-P224AW(M)(U)-A		20.0/22.4	7.91/9.55
PF(H)K-P280AW(M)(U)-A		25.0/28.0	9.68/11.81
PF(H)K-P450AW(M)(U)-A		40.0/45.0	14.54/18.00
PF(H)K-P560AW(M)(U)-A		50.0/56.0	18.08/23.10
PF(H)K-P630AW(M)(U)-A		60.0/67.0	23.46/28.94
PF(H)K-P800AW(M)(U)-A		75.0/84.0	29.70/37.06
PF(H)K-P1120AW(M)(U)-A-L,R		100.0/112.0	40.34/50.40
PF(H)K-P1400AW(M)(U)-A-L,R		125.0/140.0	50.40/62.70

(ii)暖房
(A)PFHK-P140AW(M)-A

50Hz



60Hz

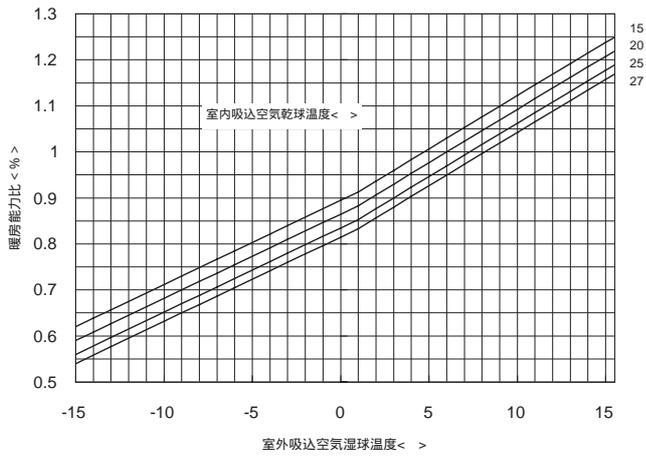


能力値・入力値は、74頁の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

(ii)暖房
(B)PFHK-P224,450,630AW(M)(U)-A

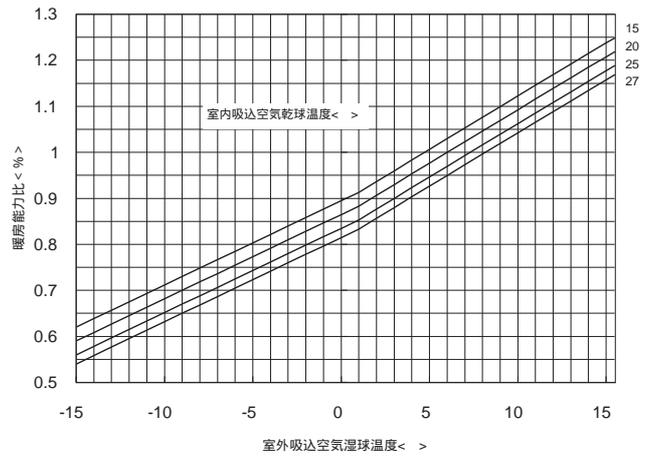
50Hz

・暖房能力補正

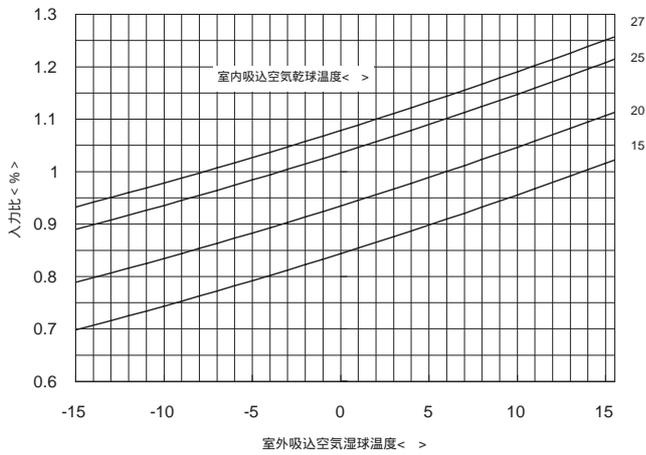


60Hz

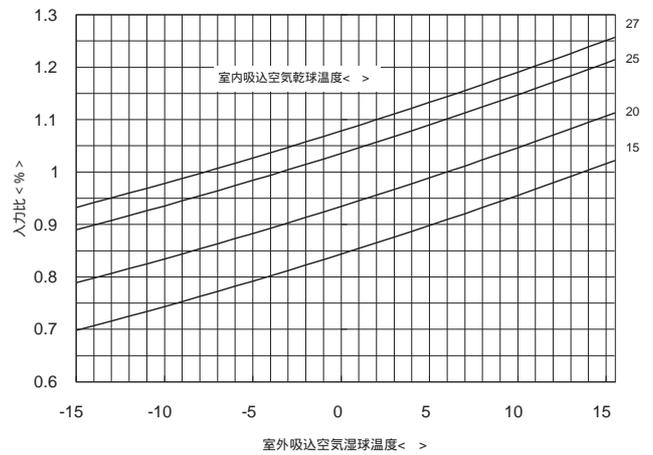
・暖房能力補正



・暖房入力補正



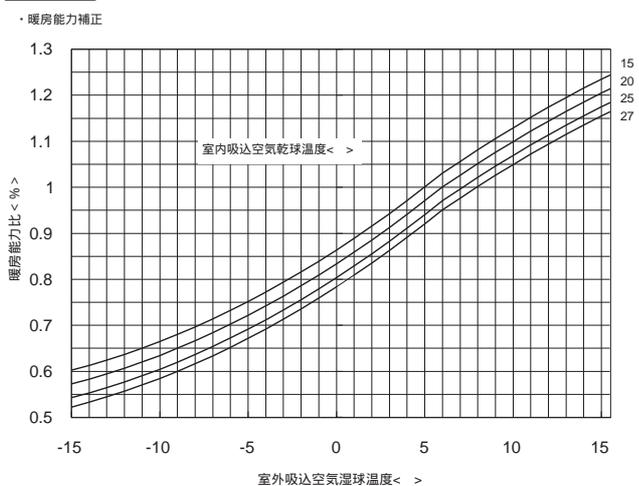
・暖房入力補正



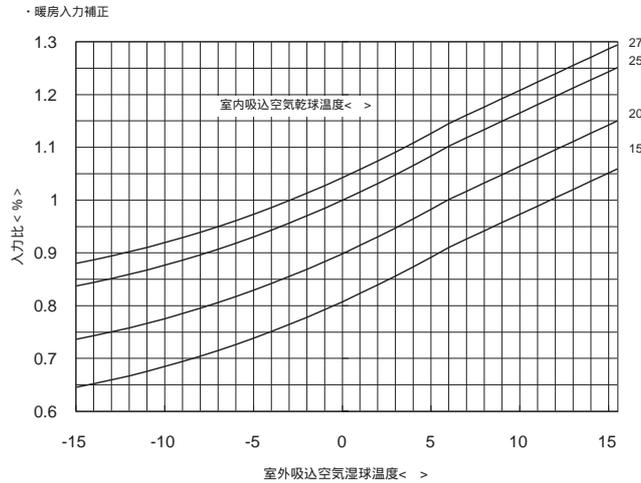
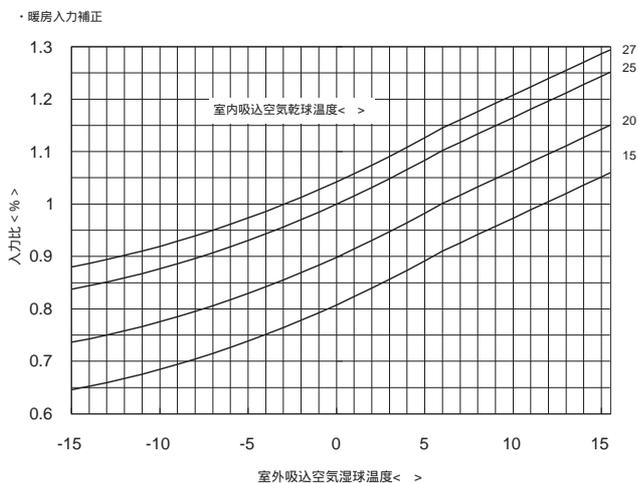
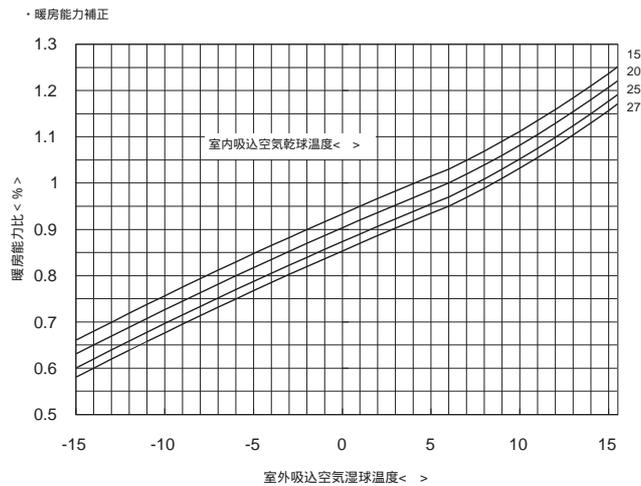
能力値・入力値は、74頁の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

(C)PFHK-P280,560,800,1120,1400AW(M)(U)-A

50Hz



60Hz



能力値・入力値は、下表の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

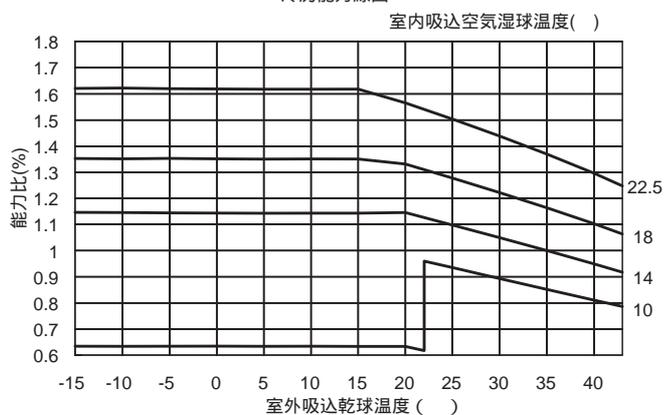
【 暖房定格性能値 < 50Hz/60Hz > 】

形名	項目	冷房能力 <kW>	入力 <kW>
PFHK-P140AW(M)-A		15.0/17.0	4.78/5.89
PFHK-P224AW(M)(U)-A		23.6/26.5	7.79/10.02
PFHK-P280AW(M)(U)-A		30.0/33.5	9.34/11.77
PFHK-P450AW(M)(U)-A		47.5/53.0	15.02/19.85
PFHK-P560AW(M)(U)-A		60.0/67.0	18.39/23.67
PFHK-P630AW(M)(U)-A		71.0/80.0	23.10/30.35
PFHK-P800AW(M)(U)-A		90.0/100.0	28.68/36.94
PFHK-P1120AW(M)(U)-A-L,R		120.0/134.0	38.98/50.24
PFHK-P1400AW(M)(U)-A-L,R		150.0/167.0	48.70/62.50

中温仕様
(i)PFTK-P125AW(M)-A

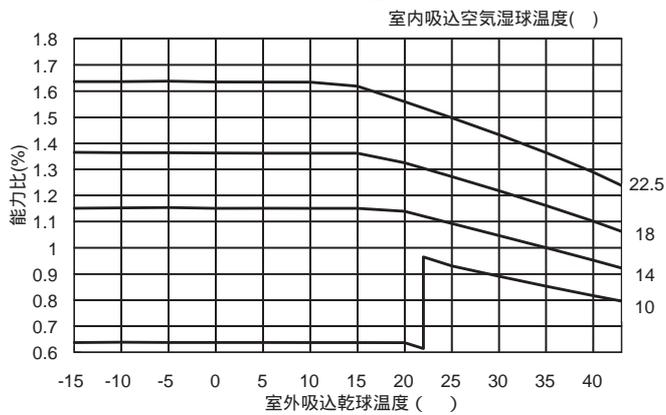
50Hz

冷房能力線図

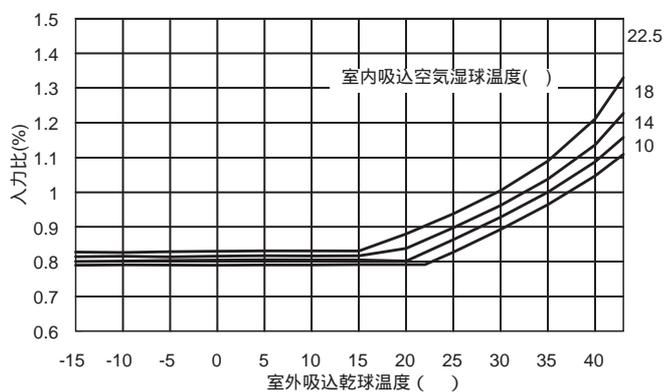


60Hz

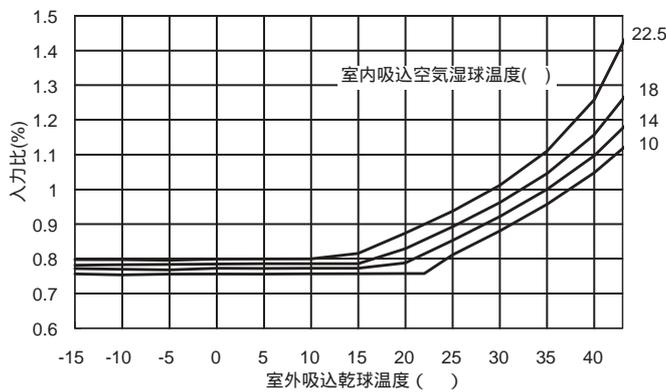
冷房能力線図



冷房入力線図



冷房入力線図



能力値・入力値は、77頁の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

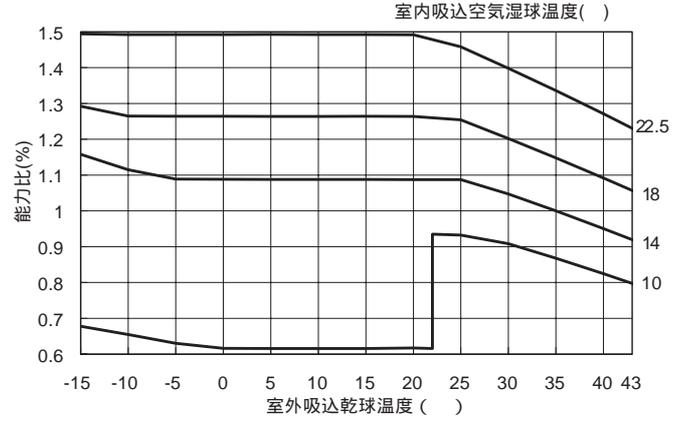
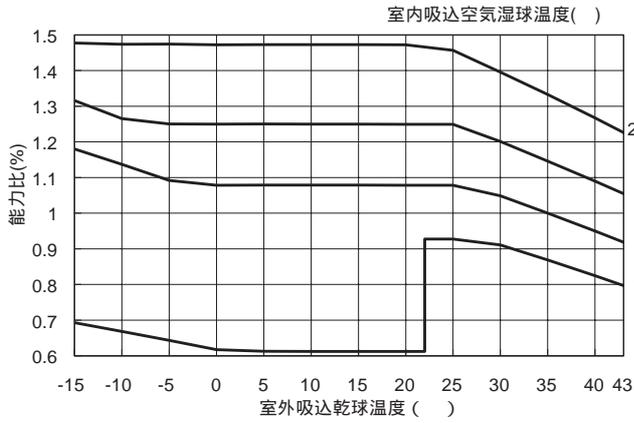
(ii)PFTK-P200,400,600AW(M)(U)-A

50Hz

60Hz

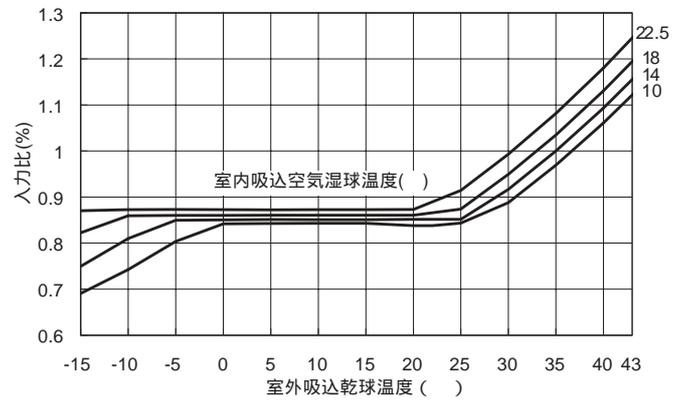
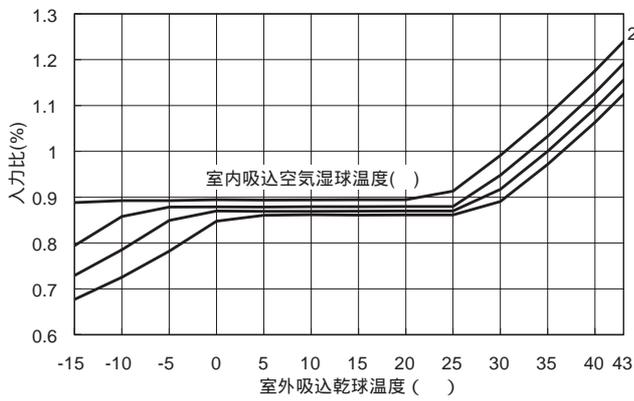
冷房能力線図

冷房能力線図



冷房入力線図

冷房入力線図

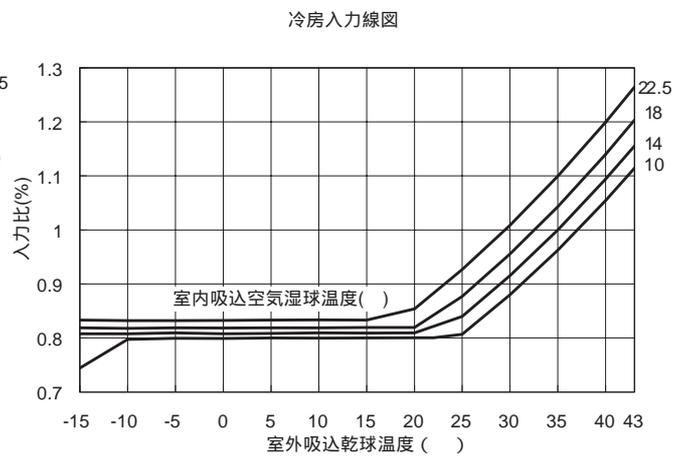
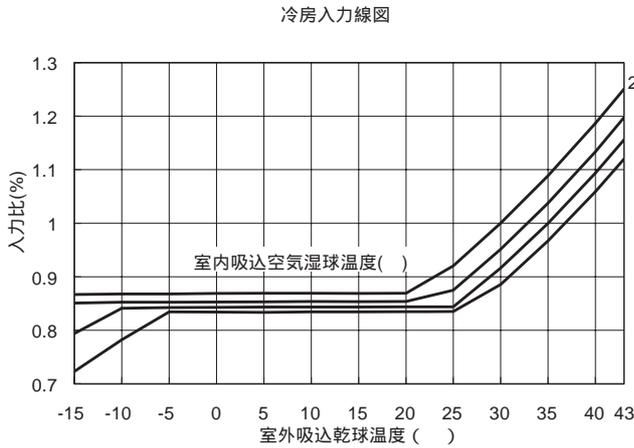
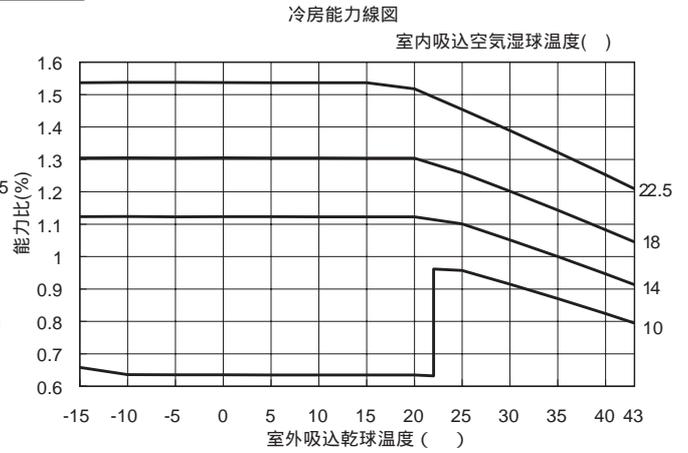
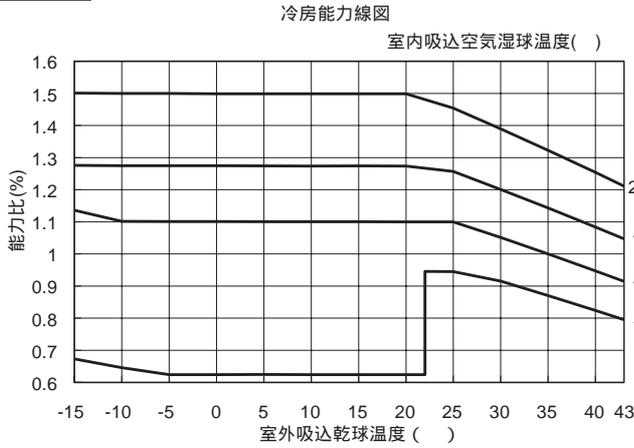


能力値・入力値は、77頁の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

(iii)PFTK-P250,500,750,1000,1250AW(M)(U)-A

50Hz

60Hz



能力値・入力値は、下表の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

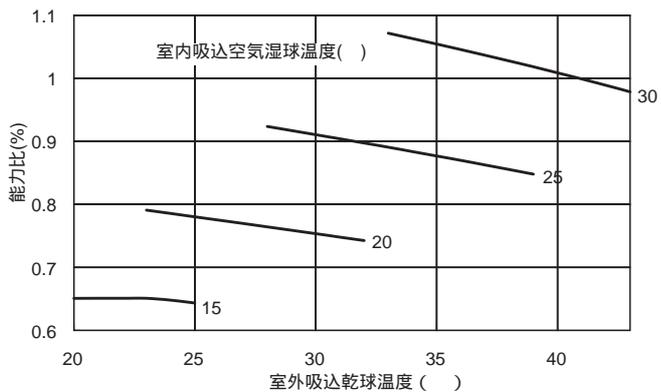
【 冷房定格性能値 < 50Hz/60Hz > 】

形名	項目	冷房能力 <kW>	入 力 <kW>
PFTK-P125AW(M)-A		11.2/12.5	4.95/6.01
PFTK-P200AW(M)(U)-A		18.0/20.0	7.53/9.05
PFTK-P250AW(M)(U)-A		23.6/25.0	9.10/11.20
PFTK-P400AW(M)(U)-A		36.0/40.0	14.19/17.39
PFTK-P500AW(M)(U)-A		45.0/50.0	18.39/22.50
PFTK-P600AW(M)(U)-A		54.0/60.0	22.33/27.45
PFTK-P750AW(M)(U)-A		67.5/75.0	27.96/35.23
PFTK-P1000AW(M)(U)-A-L,R		90.0/100.0	38.02/47.96
PFTK-P1250AW(M)(U)-A-L,R		112.5/125.0	47.50/59.65

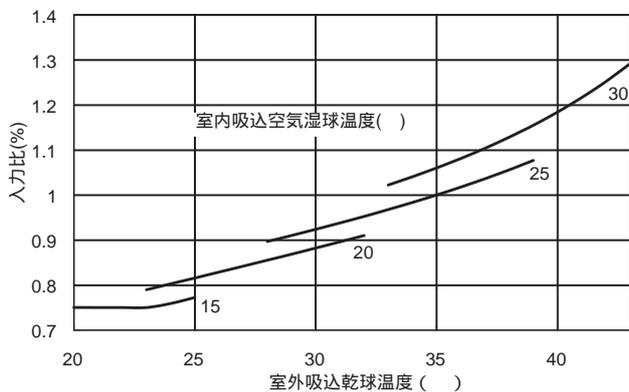
オールフレッシュ仕様
(i)PFK-P167AW(M)-A-F

50Hz

冷房能力線図

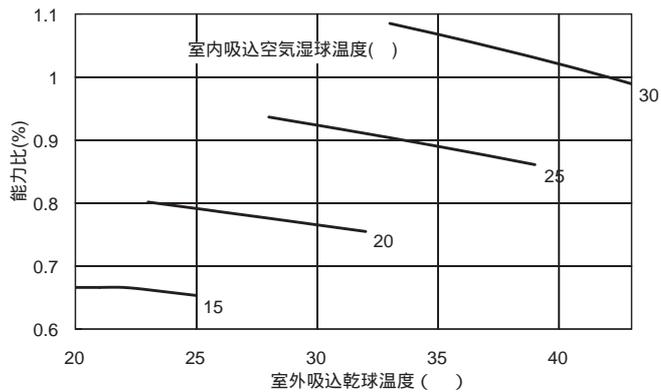


冷房入力線図

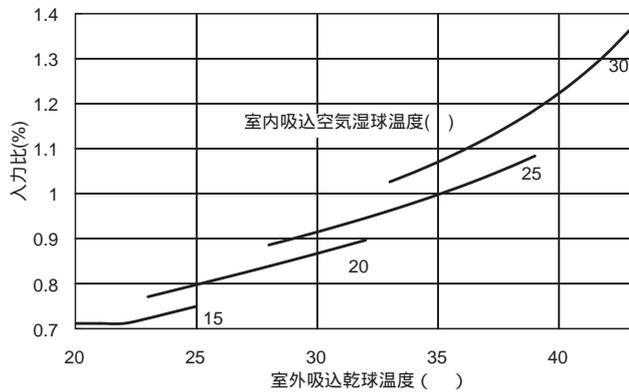


60Hz

冷房能力線図



冷房入力線図

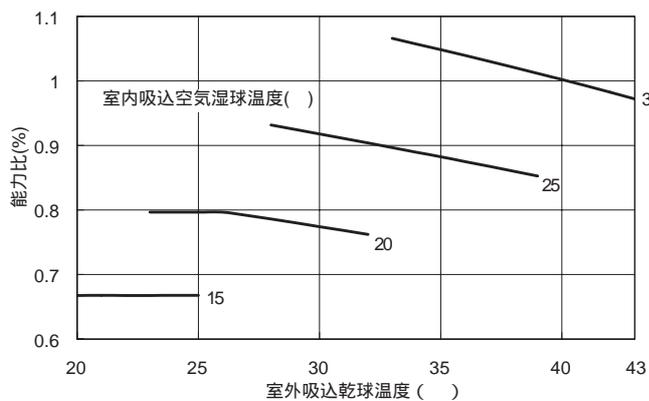


能力値・入力値は、80頁の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

(ii) PFK-P265,530AW(M)(U)-A-F

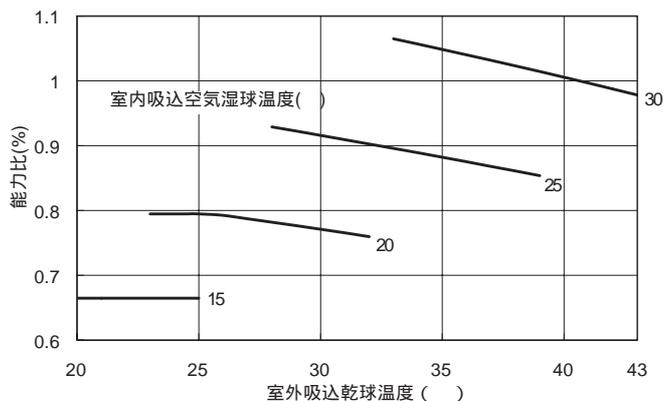
50Hz

冷房能力線図

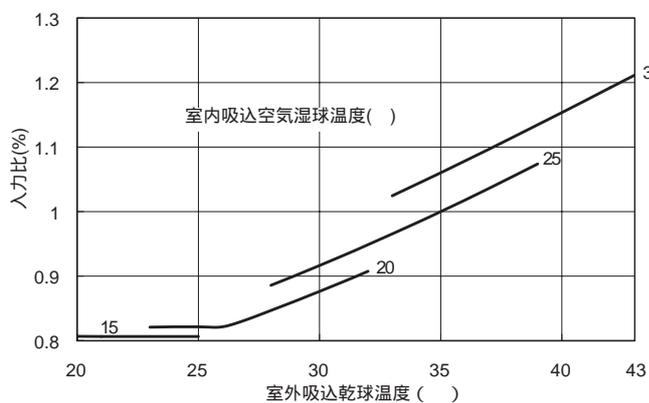


60Hz

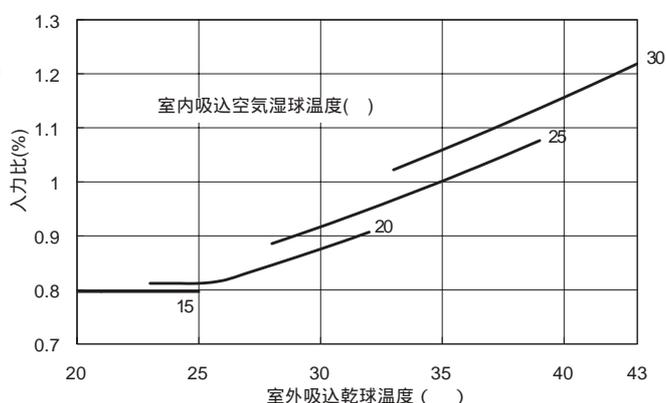
冷房能力線図



冷房入力線図



冷房入力線図



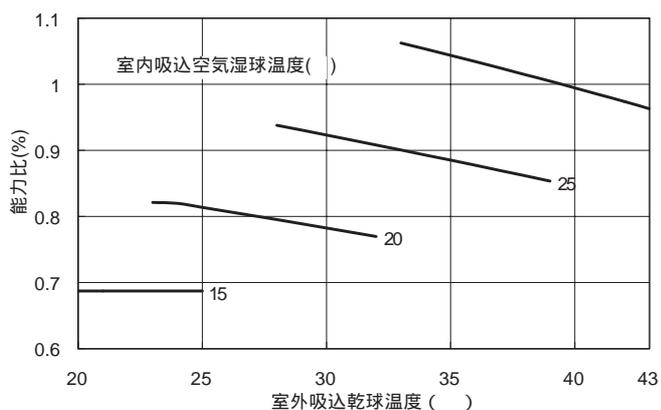
能力値・入力値は、80頁の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

(iii) PFK-P335,670AW(M)(U)-A-F

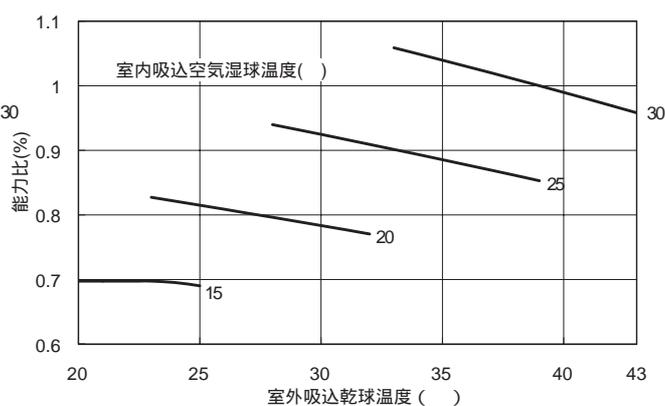
50Hz

60Hz

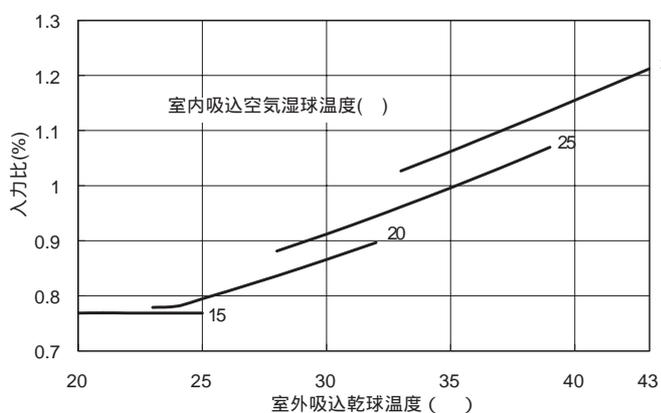
冷房能力線図



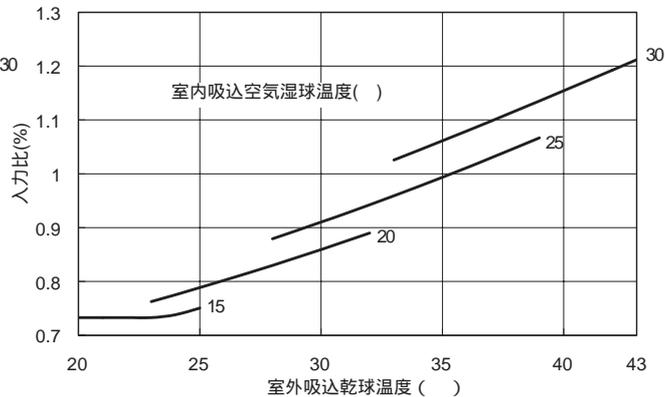
冷房能力線図



冷房入力線図



冷房入力線図



能力値・入力値は、下表の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

【 冷房定格性能値 < 50Hz/60Hz > 】

形名	項目	暖房能力 <kW>	入力 <kW>
PFK-P167AW(M)-A-F		15.0/16.7	4.91/5.99
PFK-P265AW(M)(U)-A-F		23.6/26.5	7.50/9.58
PFK-P335AW(M)(U)-A-F		30.0/33.5	8.90/11.30
PFK-P530AW(M)(U)-A-F		47.2/53.0	14.77/18.84
PFK-P670AW(M)(U)-A-F		60.0/67.0	18.54/22.76

(3)冷媒配管長による冷房能力補正係数

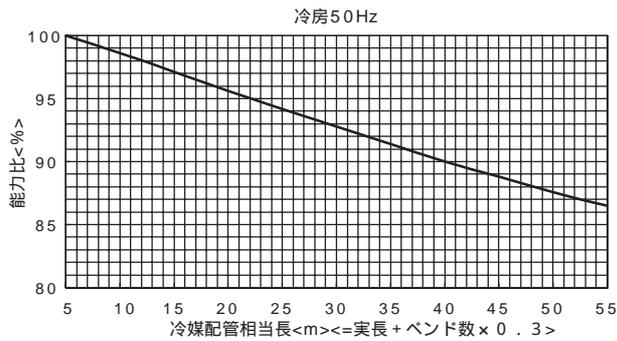
PU(H)K-P・AW-A (最大62.5m)、PU(H)K-P・UAW-A (最大125m) 配管長に対する能力比

PF(H)K-P140AW(M)-A形

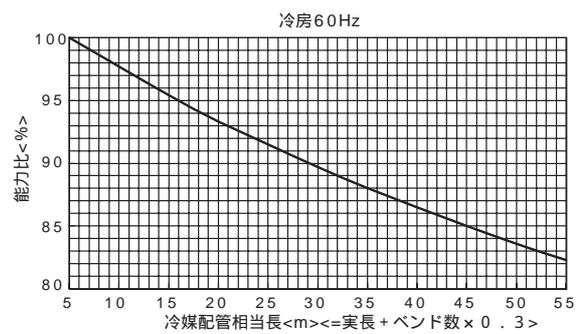
PFTK-P125AW(M)-A形

PFK-P167AW(M)-A-F形

50Hz



60Hz



PF(H)K-P224,450,630AW(M)(U)-A形

PFTK-P200,400,600AW(M)(U)-A形

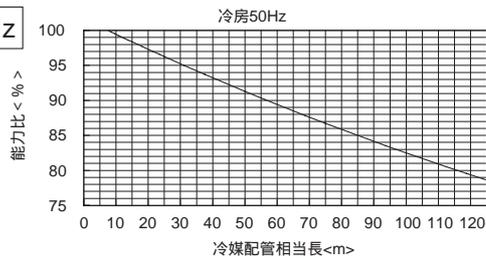
PFK-P265,530AW(M)(U)-A-F形

PF(H)K-P280,560,800,1120,1400AW(M)(U)-A形

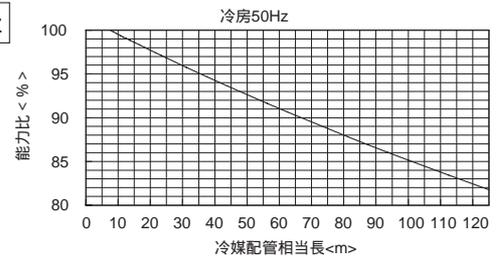
PFTK-P250,500,750,1000,1250AW(M)(U)-A

PFK-P335,670AW(M)(U)-A-F

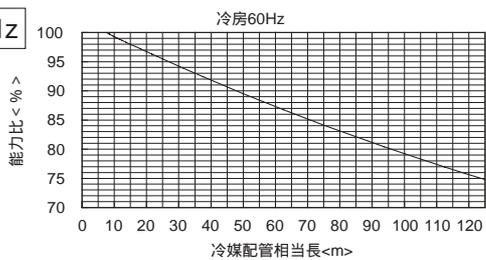
50Hz



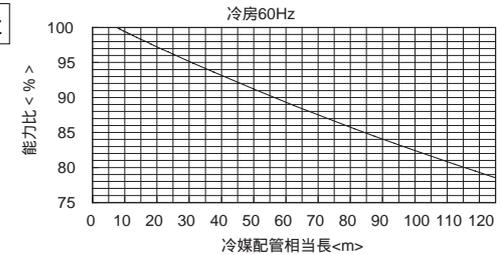
50Hz



60Hz

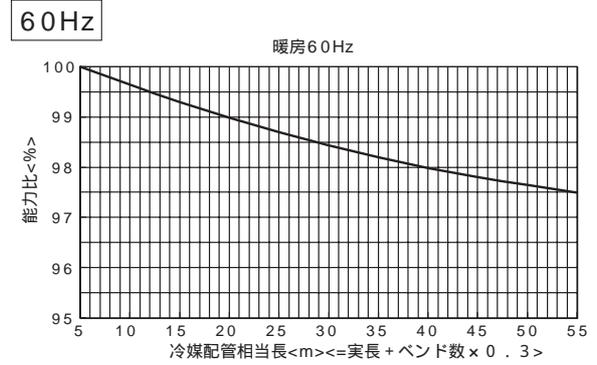
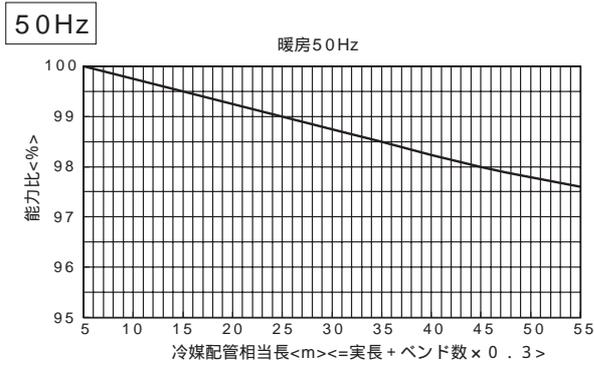


60Hz

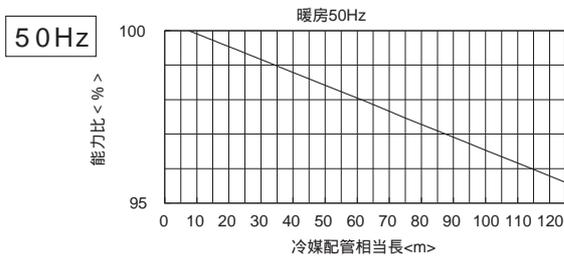


(4)冷媒配管長による暖房能力補正係数

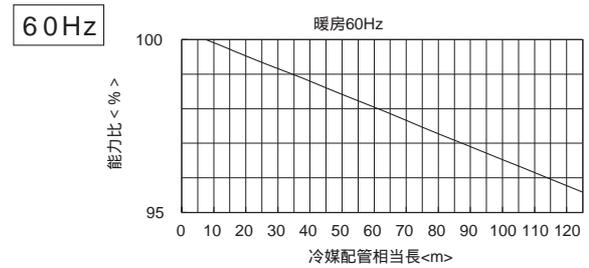
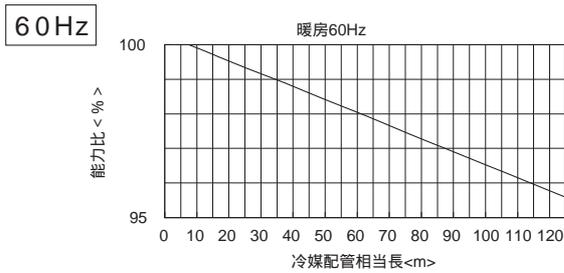
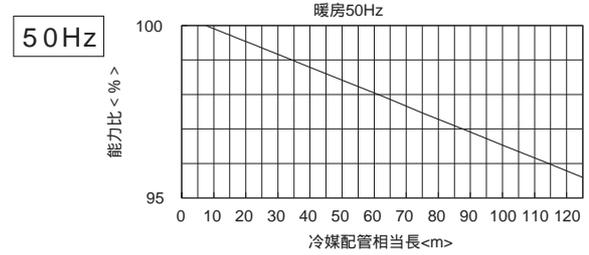
PU(H)K-P・AW-A (最大62.5m)、PU(H)K-P・UAW-A (最大125m) 配管長に対する能力比
PFHK-P140AW(M)-A形



PFHK-P224,450,630AW(M)(U)-A形



PFHK-P280,560,800,1120,1400AW(M)(U)-A形



(5)霜取補正

PFHK-P140AW(M)-A形

下表に各室外吸入空気湿球温度 () の補正係数を示す。

室外吸入空気湿球温度 ()	能力比
6	1
5	0.98
4	0.92
3	0.87
2	0.84
1	0.83
0	0.83
-1	0.83
-2	0.83
-3	0.84
-4	0.85

室外吸入空気湿球温度 ()	能力比
-5	0.85
-6	0.86
-7	0.87
-8	0.88
-9	0.89
-10	0.91
-11	0.92
-12	0.93
-13	0.94
-14	0.95
-15	0.95

PFHK-P224・280・450・560・630・800・1120・1400AW(M)(U)-A形

下表に各室外吸入空気湿球温度 () の補正係数を示す。

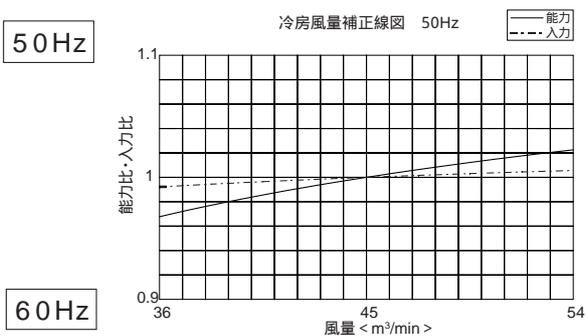
室外吸入空気湿球温度 ()	能力比
6	1
5	0.98
4	0.96
3	0.92
2	0.87
1	0.85
0	0.86
-1	0.87
-2	0.88
-3	0.89
-4	0.9

室外吸入空気湿球温度 ()	能力比
-5	0.92
-6	0.95
-7	0.95
-8	0.95
-9	0.95
-10	0.95
-11	0.95
-12	0.95
-13	0.95
-14	0.95
-15	0.95

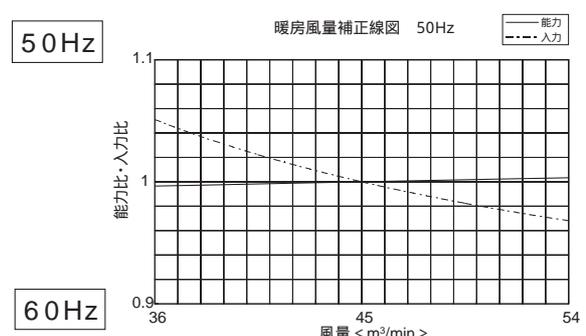
(6)風量変化による能力・入力補正係数

標準仕様

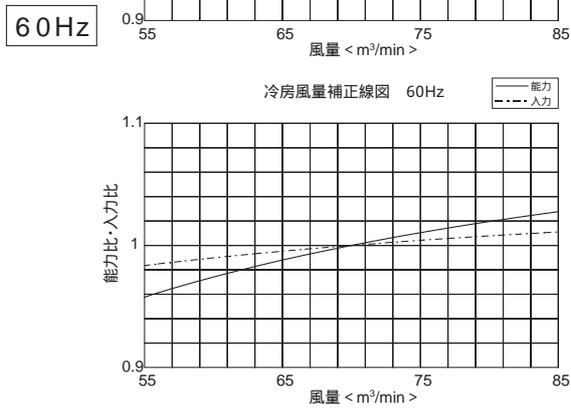
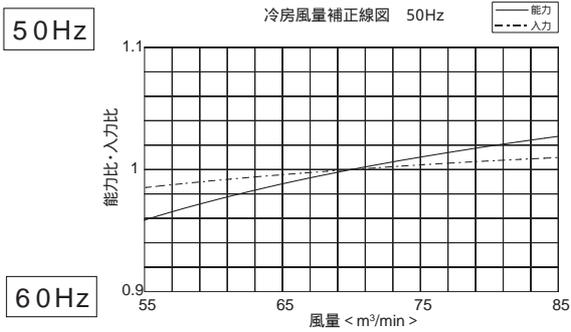
(i)PF(H)K-P140AW(M)-A【冷房】



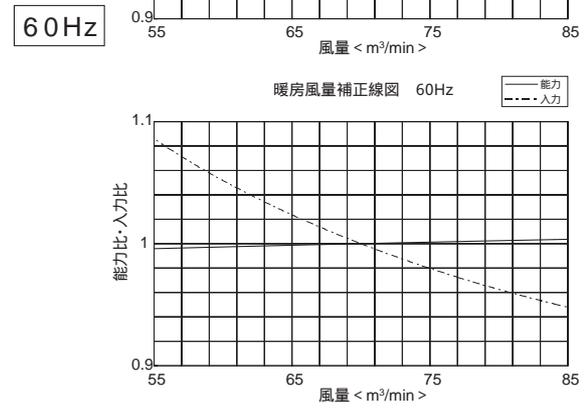
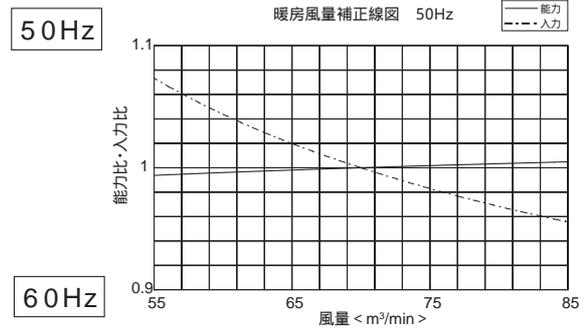
(ii)PFHK-P140AW(M)-A【暖房】



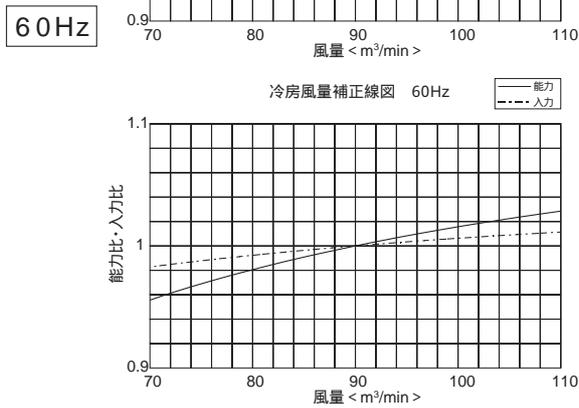
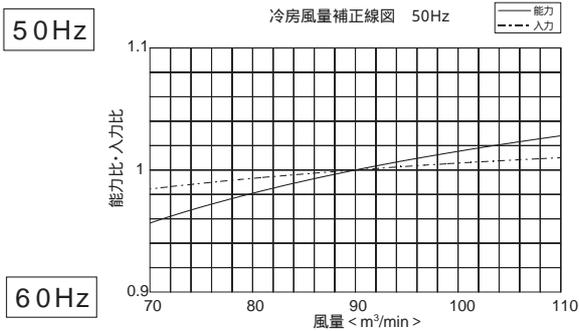
(iii)PF(H)K-P224AW(M)(U)-A【冷房】



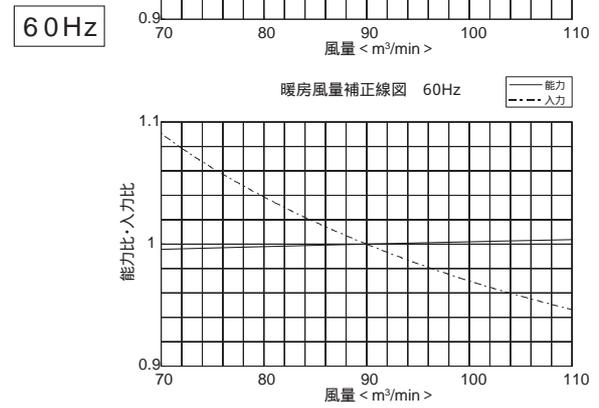
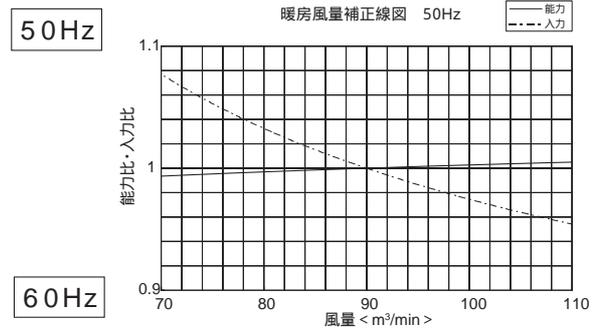
(iv)PFHK-P224AW(M)(U)-A【暖房】



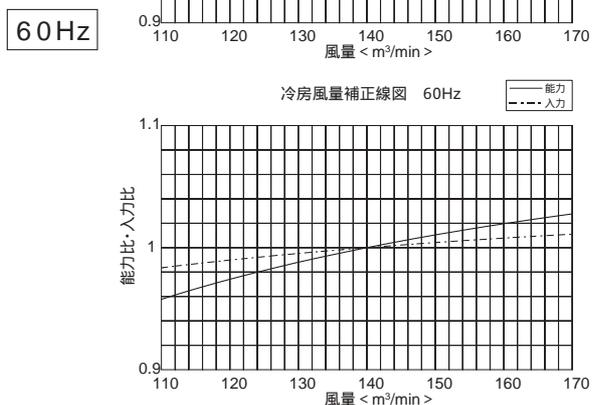
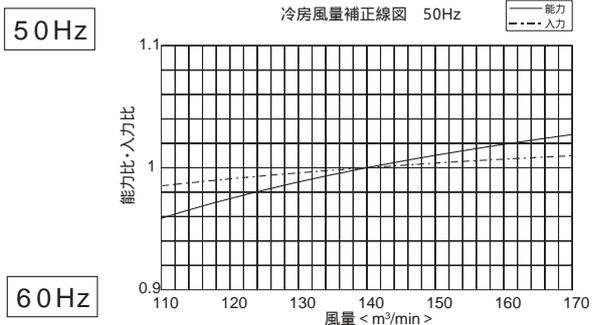
(v)PF(H)K-P280AW(M)(U)-A【冷房】



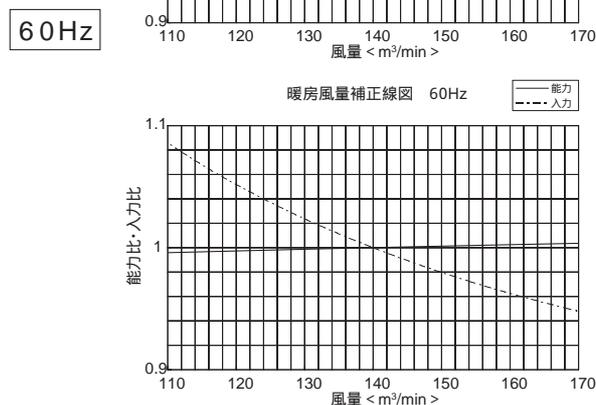
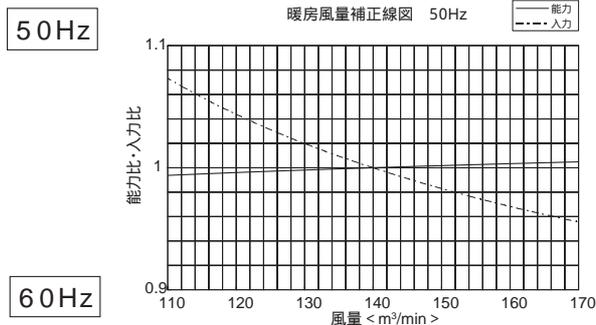
(vi)PFHK-P280AW(M)(U)-A【暖房】



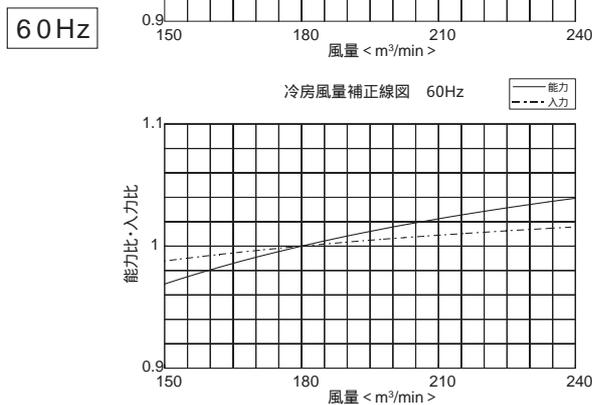
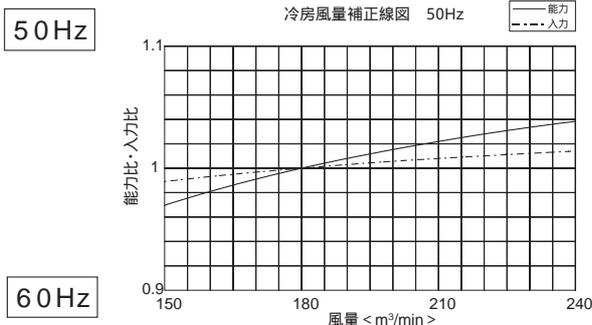
(vii)PF(H)K-P450AW(M)(U)-A【冷房】



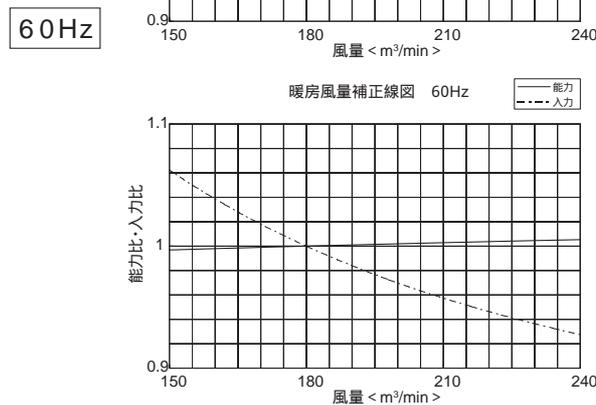
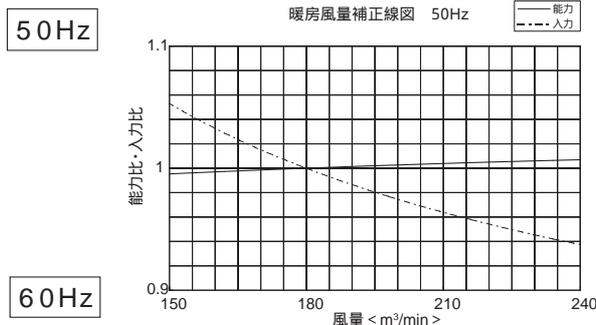
(viii)PFHK-P450AW(M)(U)-A【暖房】



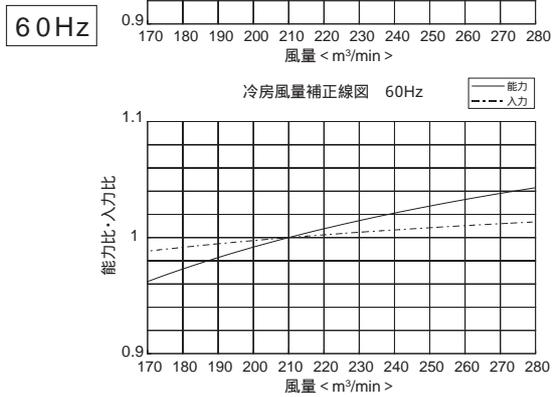
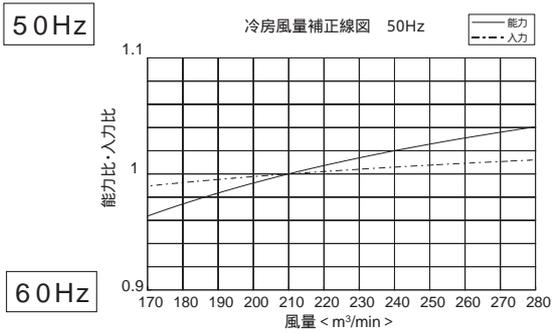
(ix)PF(H)K-P560AW(M)(U)-A【冷房】



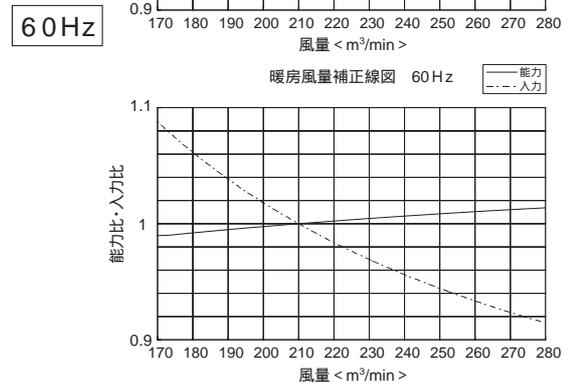
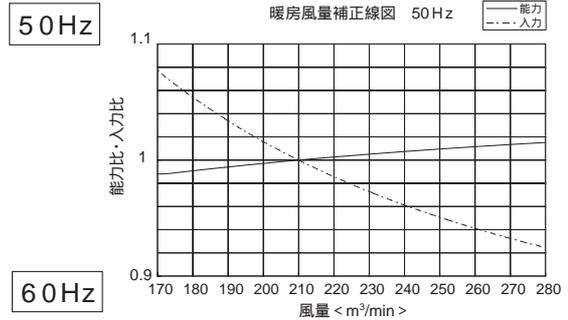
(x)PFHK-P560AW(M)(U)-A【暖房】



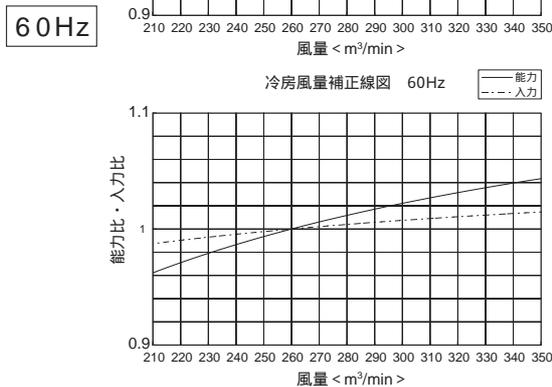
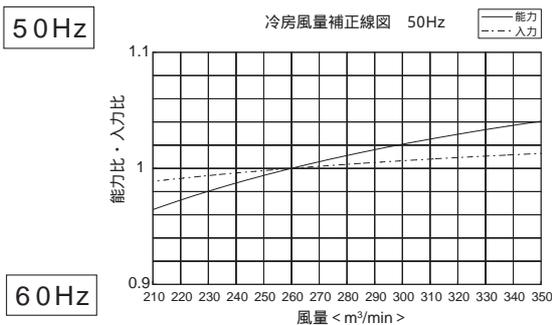
(xi)PF(H)K-P630AW(M)(U)-A【冷房】



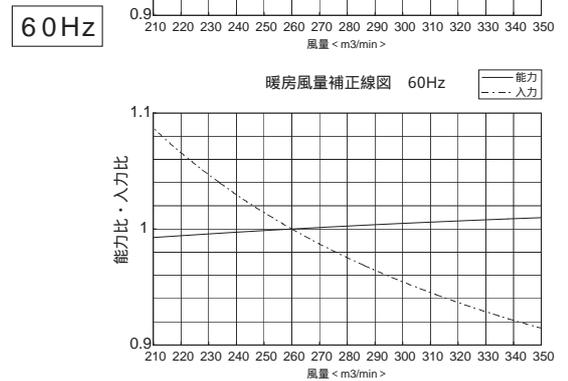
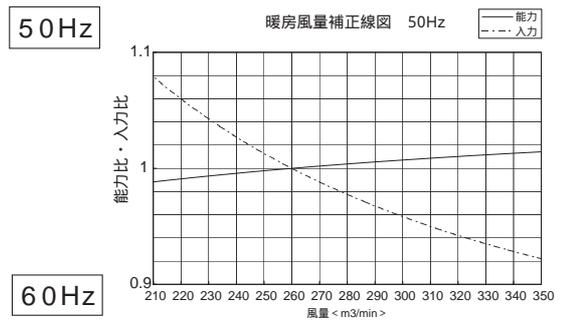
(xii)PFHK-P630AW(M)(U)-A【暖房】



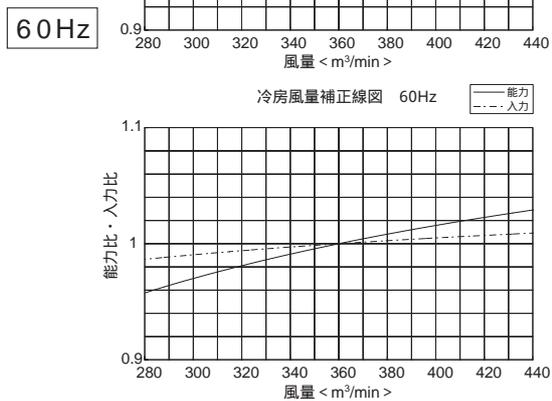
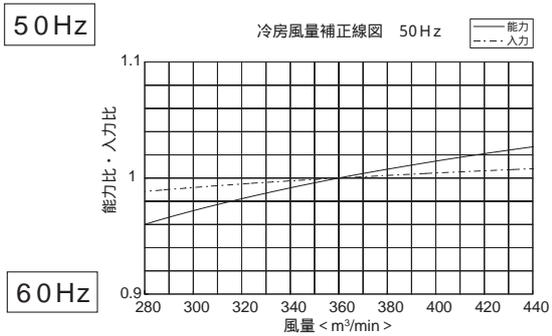
(xiii)PF(H)K-P800AW(M)(U)-A【冷房】



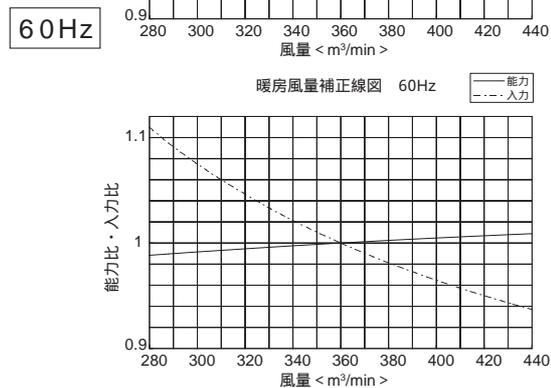
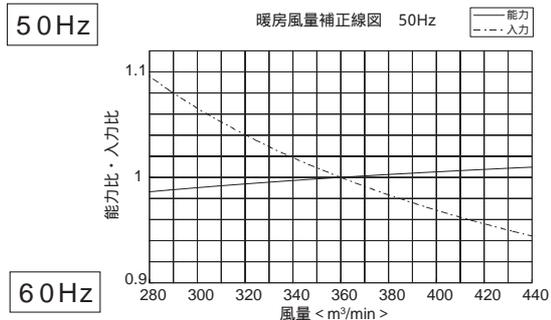
(xiv)PFHK-P800AW(M)(U)-A【暖房】



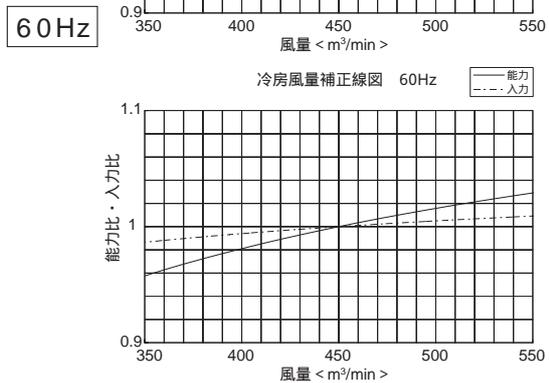
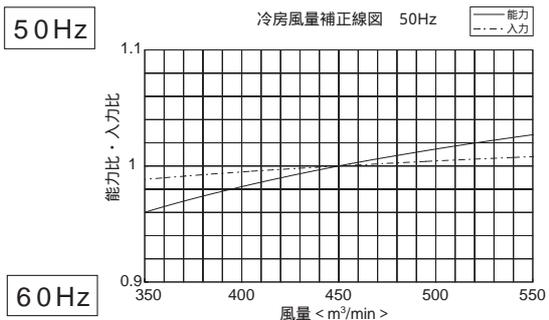
(xv)PF(H)K-P1120AW(M)(U)-A-L,R 【冷房】



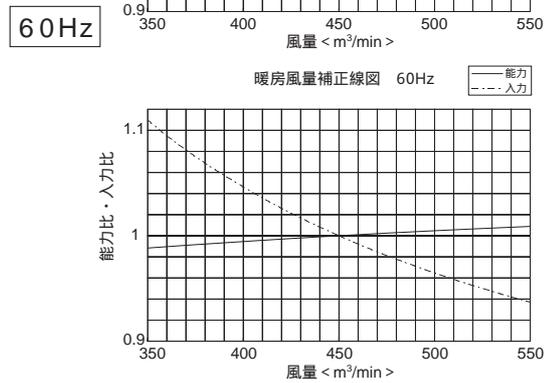
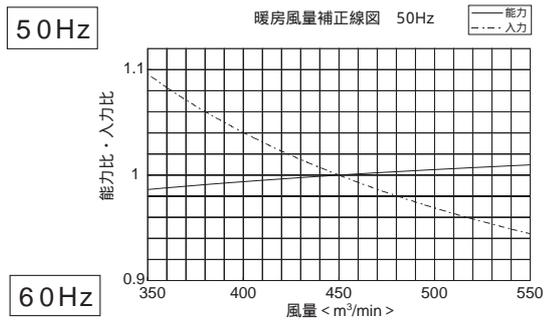
(xvi)PFHK-P1120AW(M)(U)-A-L,R 【暖房】



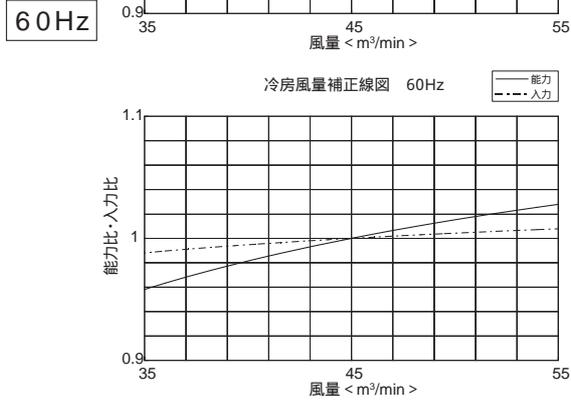
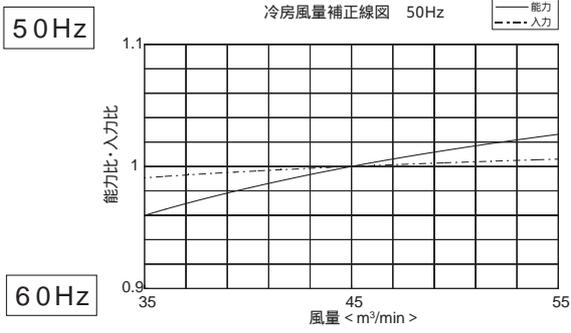
(xv)PF(H)K-P1400AW(M)(U)-A-L,R 【冷房】



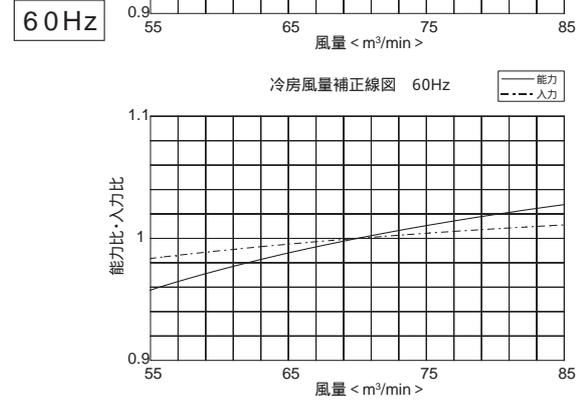
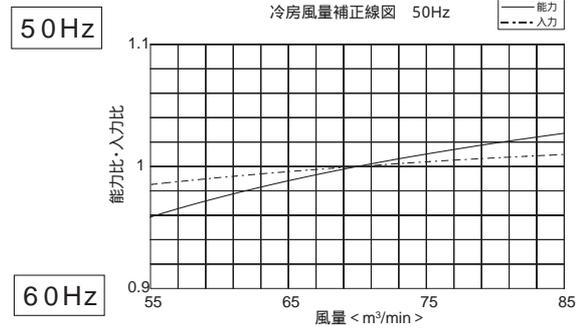
(xvi)PFHK-P1400AW(M)(U)-A-L,R 【暖房】



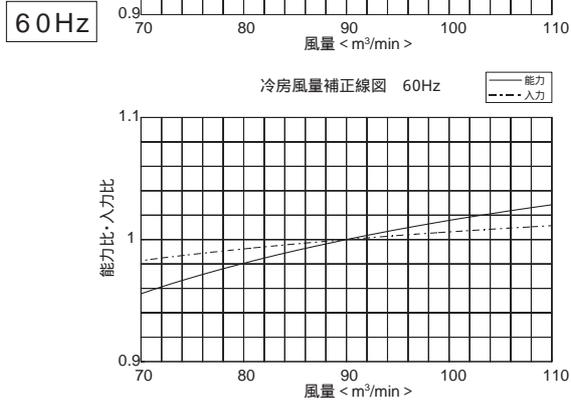
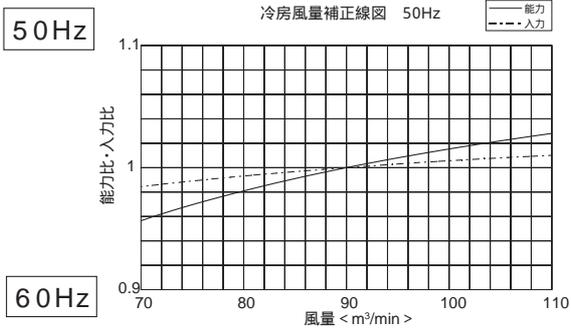
中温仕様
(i)PFTK-P125AW(M)-A



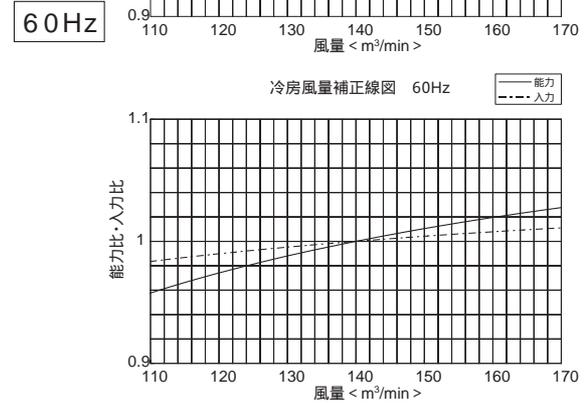
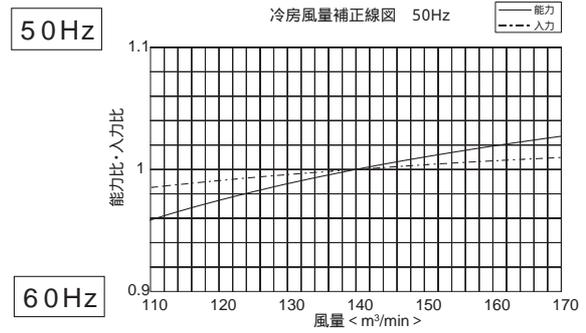
(ii)PFTK-P200AW(M)(U)-A



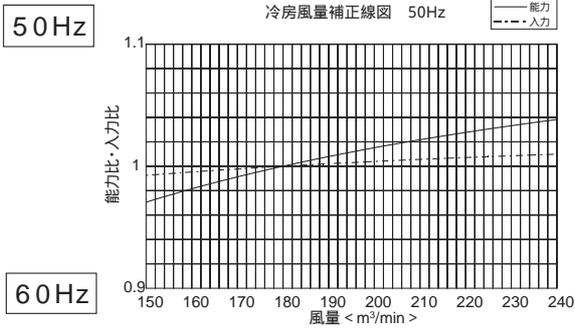
(iii)PFTK-P250AW(M)(U)-A



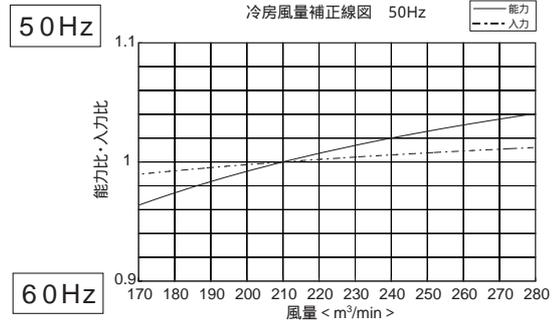
(iv)PFTK-P400AW(M)(U)-A



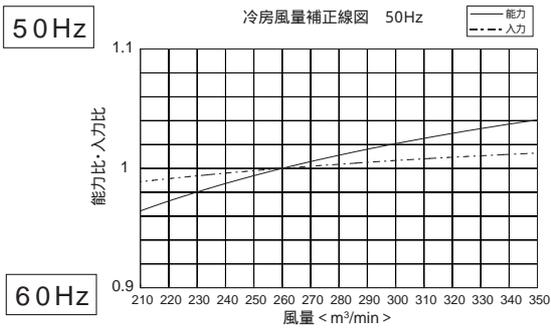
(v) PFTK-P500AW(M)(U)-A



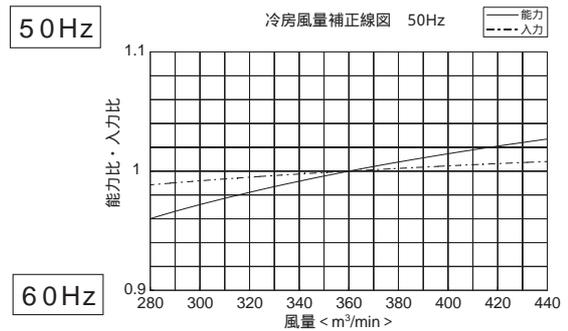
(vi) PFTK-P600AW(M)(U)-A



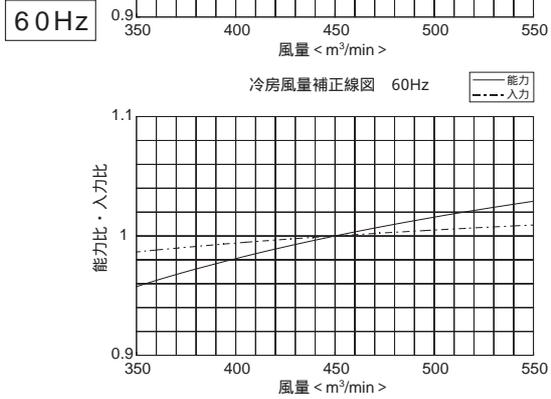
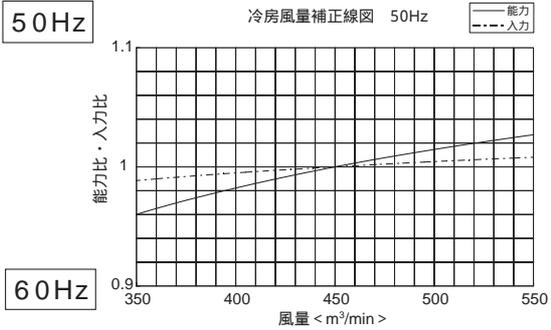
(vii) PFTK-P750AW(M)(U)-A



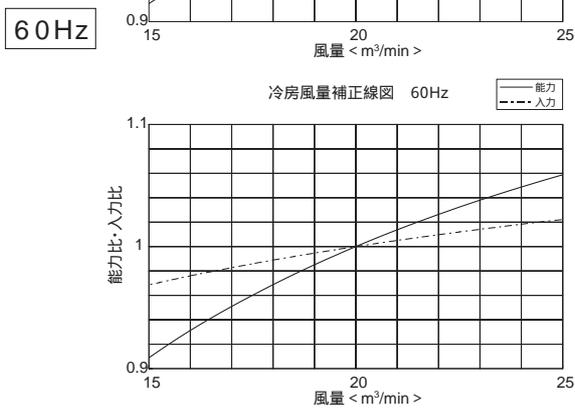
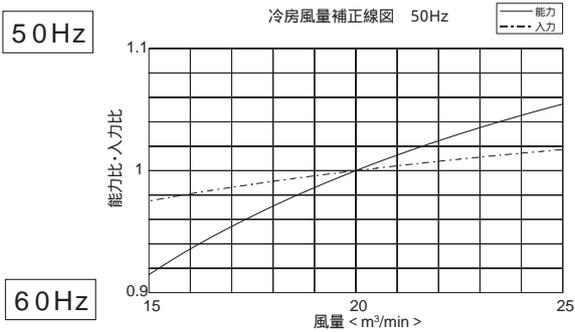
(viii) PFTK-P1000AW(M)(U)-A-L,R



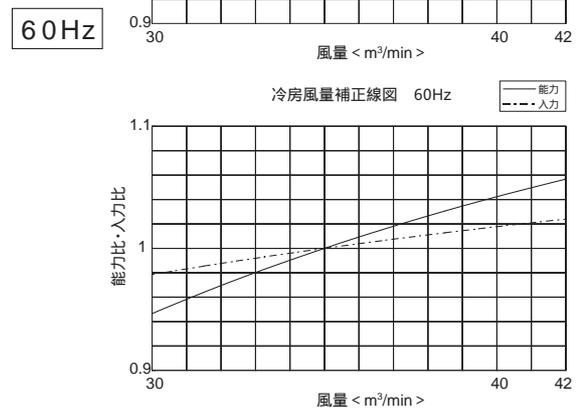
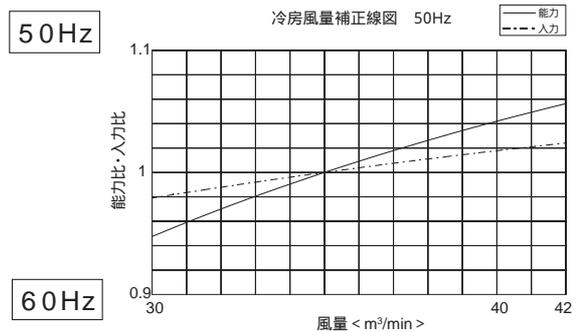
(ix) PFTK-P1250AW(M)(U)-A-L,R



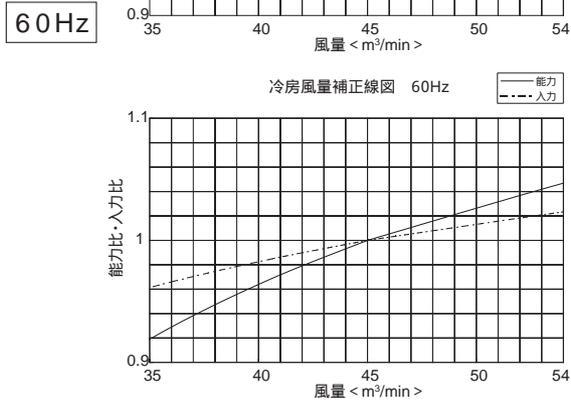
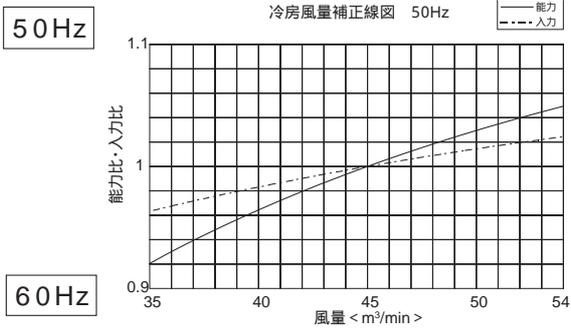
オールフレッシュ仕様
(i) PFK-P167AW(M)-A-F



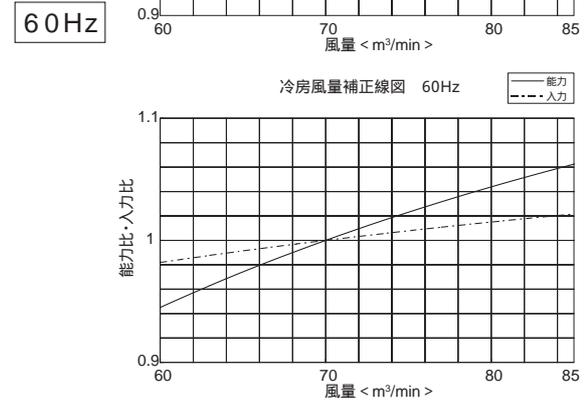
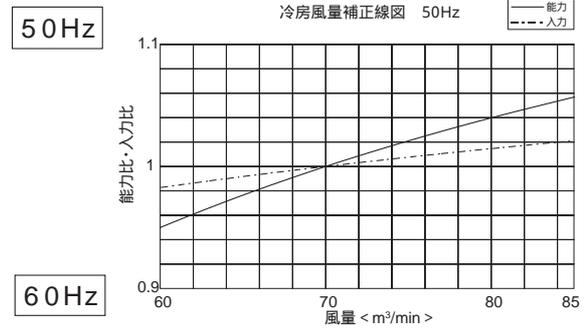
(ii) PFK-P265AW(M)(U)-A-F



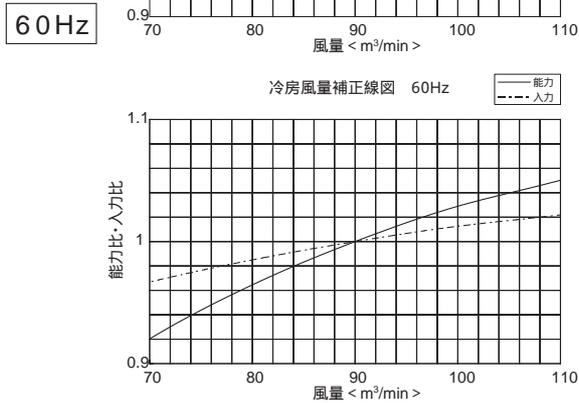
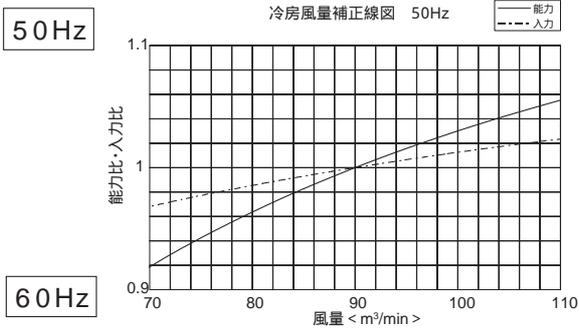
(iii) PFK-P335AW(M)(U)-A-F



(iv) PFK-P530AW(M)(U)-A-F



(v) PFK-P670AW(M)(U)-A-F

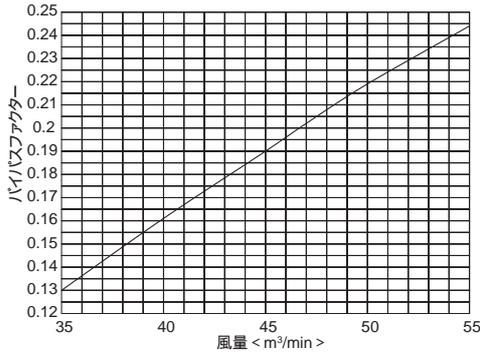


(7) バイパスファクター線

標準仕様

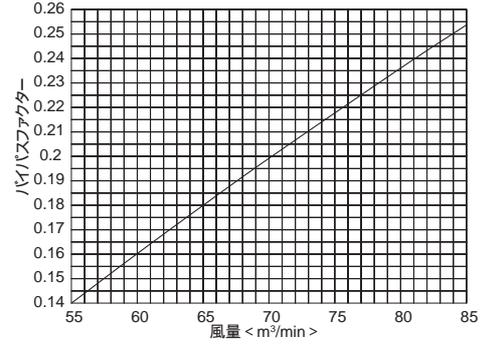
(i) PF(H)K-P140AW(M)-A

50Hz 60Hz



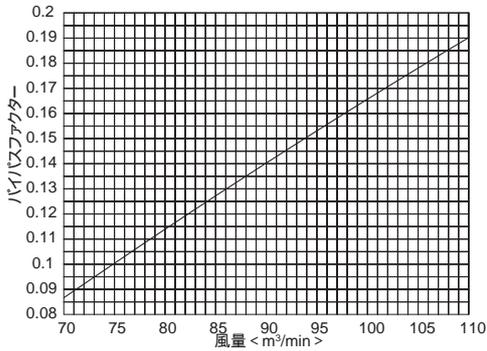
(ii) PF(H)K-P224AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



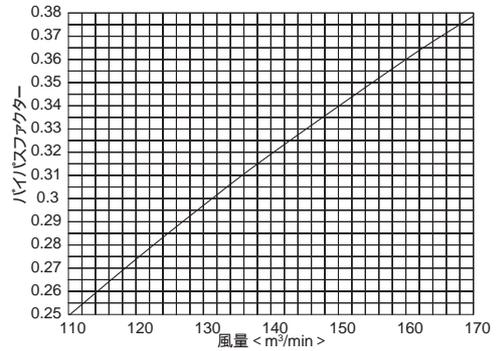
(iii) PF(H)K-P280AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



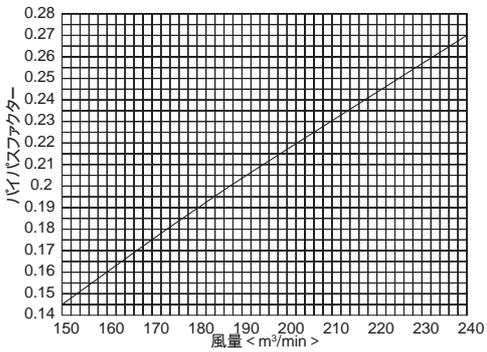
(iv) PF(H)K-P450AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



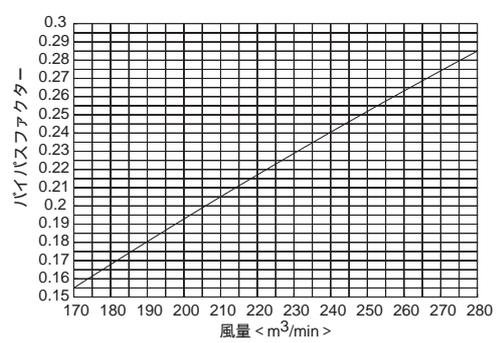
(v) PF(H)K-P560AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



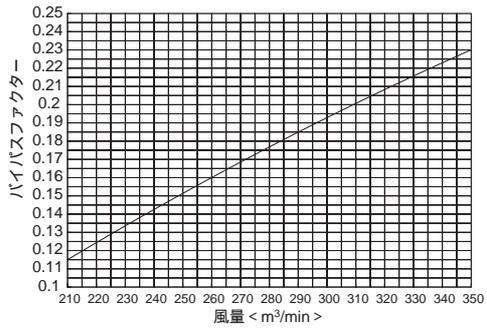
(vi) PF(H)K-P630AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



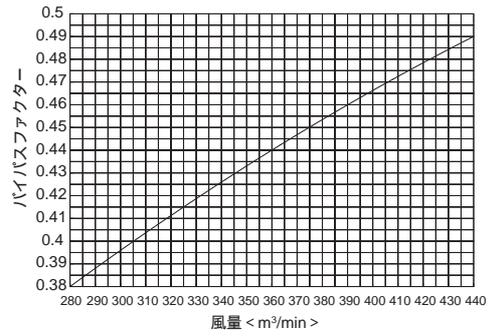
(vi)PF(H)K-P800AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



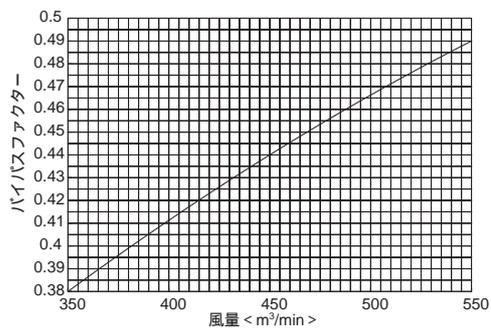
(iv)PF(H)K-P1120AW(M)(U)-A-L,R

50Hz 60Hz



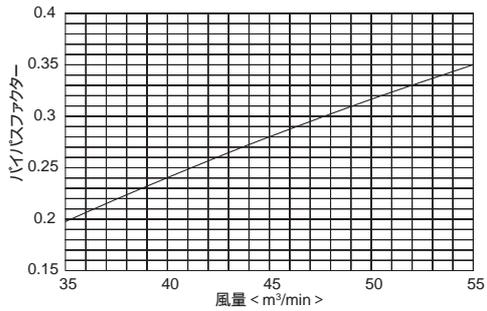
(ix)PF(H)K-P1400AW(M)(U)-A-L,R

50Hz 60Hz



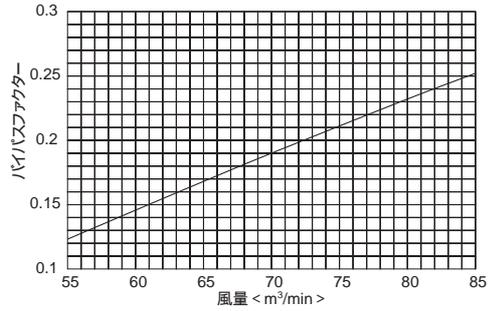
中温仕様
(i)PFTK-P125AW(M)-A

50Hz 60Hz



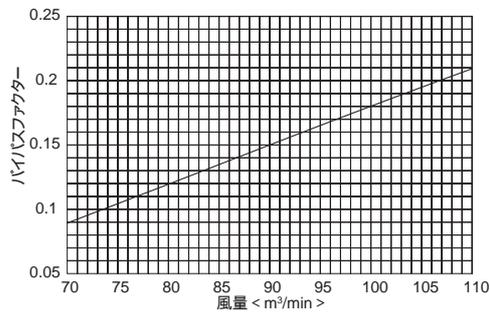
(ii)PFTK-P200AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



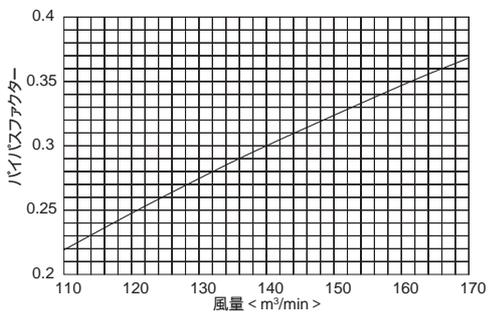
(iii)PFTK-P250AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



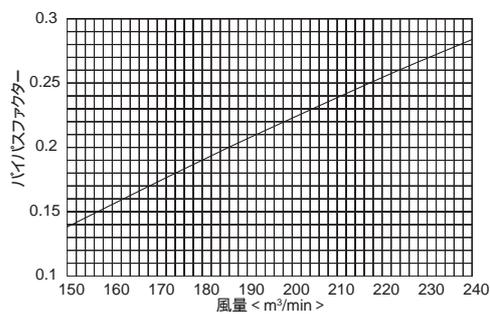
(iv)PFTK-P400AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



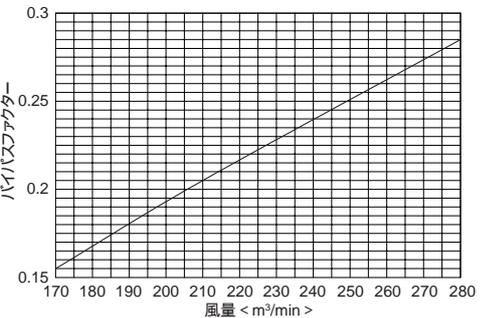
(v)PFTK-P500AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



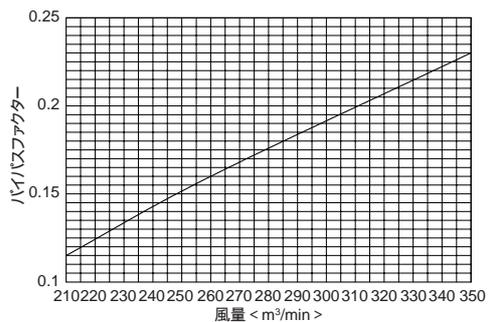
(vi)PFTK-P600AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



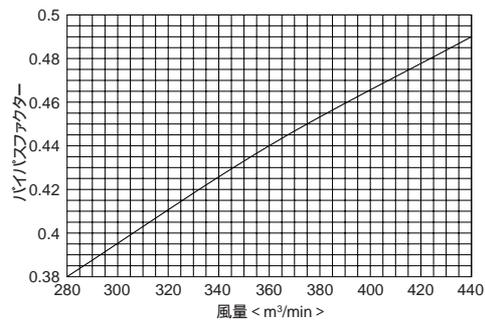
(vii) PFTK-P750AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



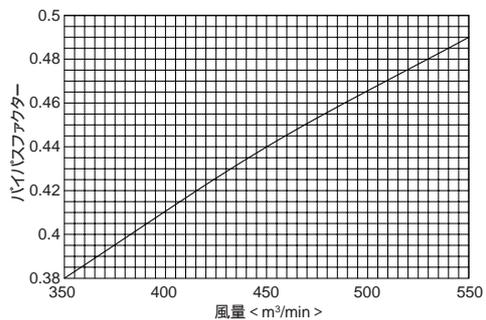
(viii) PFTK-P1000AW(M)(U)-A-L,R

50Hz 60Hz



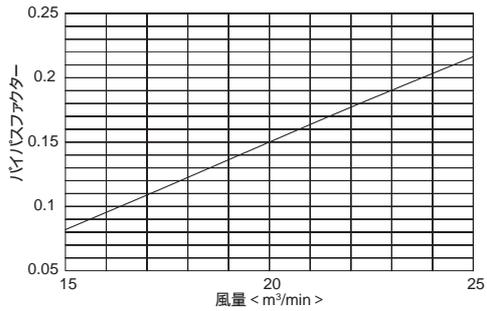
(ix) PFTK-P1250AW(M)(U)-A-L,R

50Hz 60Hz



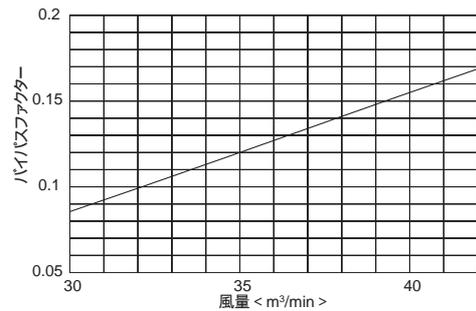
オールフレッシュ仕様
(i) PFK-P167AW(M)-A-F

50Hz 60Hz



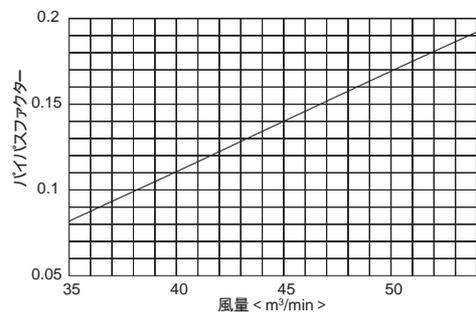
(ii) PFK-P265AW(M)(U)-A-F

50Hz 60Hz



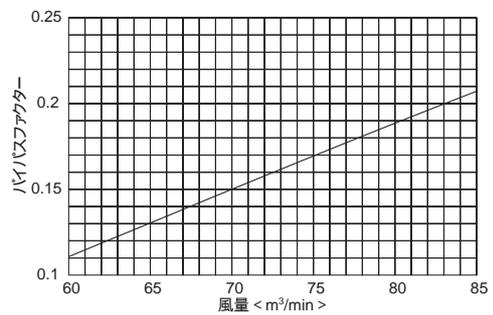
(iii) PFK-P335AW(M)(U)-A-F

50Hz 60Hz



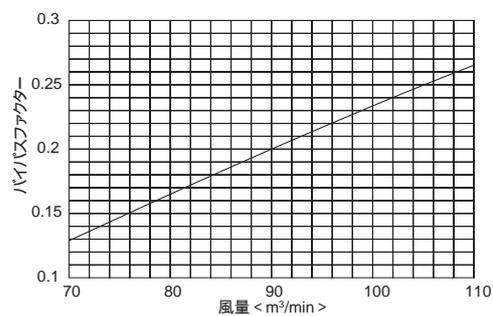
(iv) PFK-P530AW(M)(U)-A-F

50Hz 60Hz



(v) PFK-P670AW(M)(U)-A-F

50Hz 60Hz



2.取付可能部品表 室内ユニット

標準PFAK用

室内ユニット形名		PFAK-P140AW(M)-A	PFAK-P224AW(M)-A	PFAK-P280AW(M)-A	PFAK-P450AW(M)-A	PFAK-P560AW(M)-A
加熱器	蒸気・温水ヒーター 1	PAC-CG41XH	PAC-CG42XH	PAC-CG43XH	PAC-CG44XH	PAC-CG45XH
	電気ヒーター(補助) 2	PAC-CE41EH	PAC-CE42EH	PAC-CE43EH	PAC-CE44EH	PAC-CE45EH
	電気ヒーター(大容量) 3	PAC-CE51EH	PAC-CE52EH	PAC-CE53EH	PAC-CE54EH	PAC-CE55EH
加湿器	透湿膜 2	PAC-CE31TF	PAC-CE32TF	PAC-CE33TF	PAC-CE34TF	PAC-CE35TF
	蒸気スプレー	PAC-CG03SS			PAC-CG04SS	PAC-CG05SS
	へーパ-パ-ン	PAC-CG31VP	PAC-CG33VP		PAC-CG35VP	
	4 水スプレー(ヘッド-1本)	PAC-CG11WS	PAC-CG12WS	PAC-CG13WS	PAC-CG14WS	PAC-CG15WS
	水スプレー(ヘッド-2本)	PAC-CG21WS	PAC-CG22WS	PAC-CG23WS	PAC-CG24WS	PAC-CG25WS
風路部品	プレート	PAC-CG51PL	PAC-CG52PL	PAC-CG53PL	PAC-CG54PL	PAC-CG55PL
	後吸込ダクトファン	PAC-CG61DF	PAC-CG62DF	PAC-CG63DF	PAC-CG64DF	PAC-CG65DF
	外気取入ファン	PAC-CG73GF			PAC-CG75GF	
エアフィルター	フルド-ンフィルター	PAC-CJ71FF	PAC-CJ72FF	PAC-CJ73FF	PAC-CJ74FF	PAC-CJ75FF
	予備フィルター	PAC-CF81YF	PAC-CF82YF	PAC-CF83YF	PAC-CF84YF	PAC-CF85YF
	高性能フィルター(NBS90%) 6	PAC-CF91AF	PAC-CF92AF	PAC-CF93AF	PAC-CF94AF	PAC-CF95AF
	中性性能フィルター(NBS65%) 6	PAC-CF61AF	PAC-CF62AF	PAC-CF63AF	PAC-CF64AF	PAC-CF65AF
	中・高性能フィルターボックス	PAC-CF71TB	PAC-CF72TB	PAC-CF73TB	PAC-CF74TB	PAC-CF75TB
	HEPAフィルター 6	PAC-CF31CLF	PAC-CF32CLF	PAC-CF33CLF	-	-
	クリーンルーム用フィルターユニット	PAC-CF41CLB	PAC-CF42CLB	PAC-CF43CLB	-	-
	クリーンルーム用吹出ダクトファン	PAC-TS04FD	PAC-TS05FD	PAC-TS08FD	-	-
	オイルフィルターユニット 7	PAC-CE21UTB	PAC-CE22UTB	PAC-CE23UTB	PAC-CE24UTB	PAC-CE25UTB
	オイルフィルター(交換用材5枚)	PAC-CE01UF	PAC-CE02UF	PAC-CE03UF	PAC-CE04UF	PAC-CE05UF
電気部品	遠方操作キット	PAC-CG91RCK				
	MAリモコン	PAR-20MA				
	ワイヤリモコン	PAR-FL39M/FA31M				
	サーミスター取付位置変更部品	PAC-SE40TS				
	進相コンデンサ 9	PAC-CP31~37CA				
	進相コンデンサ取付アタッチメント	PAC-CG85CAA				
その他	右配管部品(加湿器組込用) 5	-	-	-	PAC-CF54RPH	PAC-CF55RPH
	木台	PAC-CQ30MD	PAC-CQ31MD	PAC-CQ32MD	PAC-CG94MD	PAC-CG95MD
	サービス工具	PAC-CQ04SK				

室内ユニット形名		PFAK-P630AW(M)-A	PFAK-P800AW(M)-A	PFAK-P1120AW(M)-A	PFAK-P1400AW(M)-A
加熱器	蒸気・温水ヒーター 1	PAC-CG47XH		受注対応	受注対応
	電気ヒーター(補助) 2	PAC-CE46EH		-	-
	電気ヒーター(大容量) 3	受注対応		-	-
加湿器	蒸気スプレー 8	PAC-CL35SS		受注対応	受注対応
	へーパ-パ-ン	PAC-CM08VP		受注対応	受注対応
	4 水スプレー 8	PAC-CL25WS		受注対応	受注対応
風路部品	プレート	PAC-CG57PL		-	-
	後吸込ダクトファン	付		付	付
エアフィルター	フルド-ンフィルター	受注対応		受注対応	受注対応
	予備フィルター	PAC-CQ61YF		-	-
	イミネーター(ビニロック)	PAC-CM36EN		受注対応	受注対応
	イミネーター(SUS)	PAC-CM37EN		受注対応	受注対応
電気部品	遠方操作キット	PAC-CG91RCK		受注対応	受注対応
	MAリモコン	PAR-20MA			
	ワイヤリモコン	PAR-FL39M/FA31M			
	サーミスター取付位置変更部品	PAC-SE40TS			
	進相コンデンサ 9	PAC-CP31~37CA		受注対応	受注対応
	進相コンデンサ取付アタッチメント	PAC-CP82CA		-	-
その他	木台	-		-	-
	サービス工具	PAC-CQ04SK			

1. ヒートポンプ暖房運転との併用運転はできません。
2. ヒートポンプ形室外ユニットとの組合せの場合のみ取付可能です。
3. 冷房専用形室外ユニットとの組合せの場合のみ取付可能です。
4. 加湿器は暖房運転で加湿してください。冷房運転での加湿はできません。
5. 加湿器(透湿膜を除く)を組込んで右配管接続する場合に必要となります。
6. 中・高性能、HEPAフィルターは、それぞれフィルターボックス、フィルターユニットが必要となります。
7. オイルフィルターユニットにはフィルター材が1枚入っています。交換用材はオイルフィルター(交換用材5枚)を手配ください。
8. イミネーター(ビニロック or SUS)との併用組込みが必要となります。
9. 進相コンデンサは、使用する電動機出力に合ったものを手配ください。(99ページ参照)

中温PFTK用

室内ユニット形名		PFTK-P125AW(M)-A	PFTK-P200AW(M)-A	PFTK-P250AW(M)-A	PFTK-P400AW(M)-A	PFTK-P500AW(M)-A
加熱器	蒸気・温水ヒーター	PAC-CG41XH	PAC-CG42XH	PAC-CG43XH	PAC-CG44XH	PAC-CG45XH
	電気ヒーター(大容量)	PAC-CE51EH	PAC-CE52EH	PAC-CE53EH	PAC-CE54EH	PAC-CE55EH
加湿器	蒸気スプレー	PAC-CG03SS			PAC-CG04SS	PAC-CG05SS
	ペーパードライヤー	PAC-CG31VP	PAC-CG33VP		PAC-CG35VP	
	水スプレー(ヘッド-1本)	PAC-CG11WS	PAC-CG12WS	PAC-CG13WS	PAC-CG14WS	PAC-CG15WS
	水スプレー(ヘッド-2本)	PAC-CG21WS	PAC-CG22WS	PAC-CG23WS	PAC-CG24WS	PAC-CG25WS
風路部品	プレート	PAC-CG51PL	PAC-CG52PL	PAC-CG53PL	PAC-CG54PL	PAC-CG55PL
	後吸込ダクトファン	PAC-CG61DF	PAC-CG62DF	PAC-CG63DF	PAC-CG64DF	PAC-CG65DF
	外気取入ファン	PAC-CG73GF			PAC-CG75GF	
エアフィルター	フィルドフィルター	PAC-CJ71FF	PAC-CJ72FF	PAC-CJ73FF	PAC-CJ74FF	PAC-CJ75FF
	予備フィルター	PAC-CF81YF	PAC-CF82YF	PAC-CF83YF	PAC-CF84YF	PAC-CF85YF
	高性能フィルター(NBS90%) 3	PAC-CF91AF	PAC-CF92AF	PAC-CF93AF	PAC-CF94AF	PAC-CF95AF
	中性性能フィルター(NBS65%) 3	PAC-CF61AF	PAC-CF62AF	PAC-CF63AF	PAC-CF64AF	PAC-CF65AF
	中・高性能フィルターボックス	PAC-CF71TB	PAC-CF72TB	PAC-CF73TB	PAC-CF74TB	PAC-CF75TB
	HEPAフィルター 3	PAC-CF31CLF	PAC-CF32CLF	PAC-CF33CLF	-	-
	クリーンルーム用フィルターユニット	PAC-CF41CLB	PAC-CF42CLB	PAC-CF43CLB	-	-
	クリーンルーム用吹出ダクトファン	PAC-TS04FD	PAC-TS05FD	PAC-TS08FD	-	-
	オイルフィルターユニット 4	PAC-CE21UTB	PAC-CE22UTB	PAC-CE23UTB	PAC-CE24UTB	PAC-CE25UTB
	オイルフィルター(交換用ろ材5枚)	PAC-CE01UF	PAC-CE02UF	PAC-CE03UF	PAC-CE04UF	PAC-CE05UF
電気部品	遠方操作キット	PAC-CG91RCK				
	MAリモコン	PAR-20MA				
	ワイヤレスリモコン	PAR-FL39M/FA31M				
	サーミスター取付位置変更部品	PAC-SE40TS				
	進相コンデンサ 6	PAC-CP31~37CA				
	進相コンデンサ取付アタッチメント	PAC-CG85CAA				
その他	右配管部品(加湿器組込用) 2	-	-	-	PAC-CF54RPH	PAC-CF55RPH
	木台	PAC-CQ30MD	PAC-CQ31MD	PAC-CQ32MD	PAC-CG94MD	PAC-CG95MD
	サービス工具	PAC-CQ04SK				

室内ユニット形名		PFTK-P600AW(M)-A	PFTK-P750AW(M)-A	PFTK-P1000AW(M)-A	PFTK-P1250AW(M)-A
加熱器	蒸気・温水ヒーター 1	PAC-CG47XH		受注対応	受注対応
	電気ヒーター(大容量)	受注対応		-	-
加湿器	蒸気スプレー 5	PAC-CL35SS		受注対応	受注対応
	ペーパードライヤー	PAC-CM08VP		受注対応	受注対応
	水スプレー 5	PAC-CL25WS		受注対応	受注対応
風路部品	プレート	PAC-CG57PL		-	-
	後吸込ダクトファン	付		付	付
	フィルドフィルター	受注対応		受注対応	受注対応
エアフィルター	予備フィルター	PAC-CQ61YF		-	-
	イリミネーター(ビニル)	PAC-CM36EN		受注対応	受注対応
	イリミネーター(SUS)	PAC-CM37EN		受注対応	受注対応
	遠方操作キット	PAC-CG91RCK		受注対応	受注対応
電気部品	MAリモコン	PAR-20MA			
	ワイヤレスリモコン	PAR-FL39M/FA31M			
	サーミスター取付位置変更部品	PAC-SE40TS			
	進相コンデンサ 6	PAC-CP31~37CA		受注対応	受注対応
	進相コンデンサ取付アタッチメント	PAC-CP82CA		-	-
	その他	木台	-		
	サービス工具	PAC-CQ04SK			

- 加湿器は暖房運転で加湿してください。冷房運転での加湿はできません。ヒーターと同時組込みが必要です。
- 加湿器を組込んで右配管接続する場合に必要となります。
- 中・高性能、HEPAフィルターは、それぞれフィルターボックス、フィルターユニットが必要になります。
- オイルフィルターユニットにはフィルターろ材が1枚入っています。交換用ろ材はオイルフィルター(交換用ろ材5枚)を手配ください。
- イリミネーター(ビニル or SUS)との併用組込みが必要となります。
- 進相コンデンサは、使用する電動機出力に合ったものを手配ください。(99ページ参照)

オールフレッシュPFAK-F用

室内ユニット形名		PFAK-P167AW(M)-A-F	PFAK-P265AW(M)-A-F	PFAK-P335AW(M)-A-F	PFAK-P530AW(M)-A-F	PFAK-P670AW(M)-A-F
加熱器	蒸気・温水ヒーター	PAC-CG41XH	PAC-CG42XH	PAC-CG43XH	PAC-CG44XH	PAC-CG45XH
	電気ヒーター(大容量)	受注対応	受注対応	受注対応	受注対応	受注対応
加湿器 1	蒸気スプレー	PAC-CG03SS			PAC-CG04SS	PAC-CG05SS
	パ・パ・パ・ン	PAC-CG31VP	PAC-CG33VP		PAC-CG35VP	
	水スプレー(ヘッド-1本)	PAC-CG11WS	PAC-CG12WS	PAC-CG13WS	PAC-CG14WS	PAC-CG15WS
	水スプレー(ヘッド-2本)	PAC-CG21WS	PAC-CG22WS	PAC-CG23WS	PAC-CG24WS	PAC-CG25WS
手コキ	フィルドフィルター	PAC-CJ71FF	PAC-CJ72FF	PAC-CJ73FF	PAC-CJ74FF	PAC-CJ75FF
	予備フィルター	PAC-CF81YF	PAC-CF82YF	PAC-CF83YF	PAC-CF84YF	PAC-CF85YF
電気部品	遠方操作キット	PAC-CG91RCK				
	MAJコン	PAR-20MA				
	ワイヤレスコン	PAR-FL39M/FA31M				
	サーミスタ取付位置変更部品	PAC-SE40TS				
	進相コンデンサ-3	PAC-CP31~37CA				
	進相コンデンサ取付アタッチメント	PAC-CG85CAA				
その他	右配管部品(加湿器組込用) 2	-	-	-	PAC-CF54RPH	PAC-CF55RPH
	木台	PAC-CQ30MD	PAC-CQ31MD	PAC-CQ32MD	PAC-CG94MD	PAC-CG95MD
	サービス工具	PAC-CQ04SK				

1. 加湿器は暖房運転で加湿してください。冷房運転での加湿はできません。ヒーターと同時組み込みが必要です。
2. 加湿器を組込んで右配管接続する場合に必要となります。
3. 進相コンデンサは、使用する電動機出力に合ったものを手配ください。(下記の別表参照)

進相コンデンサ選定一覧表

進相コンデンサ		電動機出力	
別売形名	容量	50Hz	60Hz
PAC-CP31CA	20 μ F	-	0.75kW
PAC-CP32CA	30 μ F	0.75kW	1.5kW
PAC-CP33CA	40 μ F	1.5kW	2.2kW
PAC-CP34CA	50 μ F	2.2kW	3.7kW
PAC-CP35CA	70 μ F	3.7kW	5.5kW
PAC-CP36CA	100 μ F	5.5kW	7.5kW
PAC-CP37CA	150 μ F	7.5kW	11kW

室外ユニット

		形 名	適 用 機 種
圧力計		PAC-KA63PG	8～10HP
防雪フード 吸込側		PAC-KB72TD	8～10HP
防雪フード 吹出側		PAC-KB82SD	8～10HP
集中排水キット		PAC-KB92DPT	8～10HP
後配管キット		PAC-KB62RPT	8～10HP
進相コンデンサー	50Hz	PAC-620CA	8HP
		PAC-622CA	10HP
	60Hz	PAC-621CA	8HP
		PAC-623CA	10HP

室内ユニットの別売部品の仕様値等は変更になる場合があります。機種選定の際に別途お問合わせ願います。
後配管キットと進相コンデンサーの併用はできません。

取付可能部品併用組込可能組合せ表

標準ヒートポンプ用PFHK形(室内PFAK, 室外PUHK) ...併用組込可能 x...併用組込不可 -...対象外

ヒーター	加湿器	風路	フィルター	備考
温水・蒸気ヒーター				
大容量電気ヒーター				ヒーターの暖房運転との併用運転は出来ません
補助ヒーター				組込みできません
透湿膜加湿器				
蒸気スプレー加湿器				
水スプレー加湿器				
ペーパーパン加湿器				
吸込ダクトフランジ				
プレナム				3 x -
外気取入フランジ				x -
フィルドフィルター				-
中、高性能フィルター			3	x -
HEPAフィルターユニット				x x x x -
他	右配管部品(加湿器組込み)			16, 20馬力のみ 1

標準冷房専用PFK形(室内PFAK, 室外PUK) ...併用組込可能 x...併用組込不可 -...対象外

ヒーター	加湿器	風路	フィルター	備考
温水・蒸気ヒーター				
大容量電気ヒーター				x x -
補助ヒーター				組込みできません
透湿膜加湿器				組込みできません
蒸気スプレー加湿器				冷房加温はできません。
水スプレー加湿器				ヒーターと同時組込みが必要 ² です。
ペーパーパン加湿器				
吸込ダクトフランジ				x -
プレナム				3 x -
外気取入フランジ				x -
フィルドフィルター				-
中、高性能フィルター			3	x -
HEPAフィルターユニット				x x x x -
他	右配管部品(加湿器組込み)			16, 20馬力のみ 1

中温冷房専用PFTK形(室内PFTK, 室外PUK) ...併用組込可能 x...併用組込不可 -...対象外

ヒーター	加湿器	風路	フィルター	備考
温水・蒸気ヒーター				
大容量電気ヒーター				
補助ヒーター				組込みできません
透湿膜加湿器				組込みできません
蒸気スプレー加湿器				冷房加温はできません。 ²
水スプレー加湿器				ヒーターと同時組込みが必要 ² です。
ペーパーパン加湿器				
吸込ダクトフランジ				
プレナム				3 x -
外気取入フランジ				x -
フィルドフィルター				-
中、高性能フィルター			3	x -
HEPAフィルターユニット				x x x x -
他	右配管部品(加湿器組込)			16,20馬力のみ 1

オールラッシュ冷房専用PFK-F(室内PFAK-F, 室外PUK) ...併用組込可能 x...併用組込不可 -...対象外

ヒーター	加湿器	風路	フィルター	備考
温水・蒸気ヒーター				
大容量電気ヒーター				受注対応
補助ヒーター				組込みできません
透湿膜加湿器				//
蒸気スプレー加湿器				冷房加温はできません。 ²
水スプレー加湿器				ヒーターと同時組込みが必要 ² です。
ペーパーパン加湿器				
吸込ダクトフランジ				標準組込み済
プレナム				組込みできません
外気取入フランジ				//
フィルドフィルター				-
中、高性能フィルター				組込みできません
HEPAフィルターユニット				//
他	右配管部品(加湿器組込)			16,20馬力のみ 1

ご注意

1. 16, 20馬力ユニットに、加湿器を組込んで右配管接続する場合は、右配管部品が必要です。
2. 加湿器は暖房運転で加湿してください。冷房運転での加湿はできません。

静風圧部品標準仕様表

室内ユニット形名	電動機	送風機ブリー	Vベルト	電動機ブリー	51F設定値 (過電流継電器)
PFAK-P140AW(M)-A PFTK-P125AW(M)-A	0.75kW全閉外扇形	A180-20	A50	A可変19	3.6A
PFAK-P224AW(M)-A PFTK-P200AW(M)-A	1.5kW全閉外扇形	A224-20	A56	A可変24	6.5A
PFAK-P280AW(M)-A PFTK-P250AW(M)-A	1.5kW全閉外扇形	A212-20	A55	A可変24	6.5A
PFAK-P450AW(M)-A PFTK-P400AW(M)-A	2.2kW全閉外扇形	2B280-24	B65×2本	2B118-28	9.0A
PFAK-P560AW(M)-A PFTK-P500AW(M)-A	3.7kW全閉外扇形	2B280-28	B64×2本	2B135-28	15A
PFAK-P167AW(M)-A-F	0.75kW全閉外扇形	A224-20	A53	A可変19	3.6A
PFAK-P265AW(M)-A-F	1.5kW全閉外扇形	A280-20	A59	A可変24	6.5A
PFAK-P335AW(M)-A-F	1.5kW全閉外扇形	A280-20	A59	A可変24	6.5A
PFAK-P530AW(M)-A-F	2.2kW全閉外扇形	2B315-24	B67	2B118-28	9.0A
PFAK-P670AW(M)-A-F	3.7kW全閉外扇形	2B315-28	B66	2B125-28	15A

静風圧部品形名・仕様表 プーリーボス部の寸法は、P214(7)プーリーボス部形状を参照ください。)

PFAK-P140・224・280AW(M)-A、PFTK-P125・200・250AW(M)-A
PFAK-P167・265・335AW(M)-A-Fの場合

部品形名	部品名	ブリー	個数	ベルト	個数	電磁開閉器	個数	電動機	個数	備考
PAC-CT01SP	送風機ブリーセット	A90-20	1							
PAC-CT02SP	"	A118-20	1							
PAC-CT03SP	"	A132-20	1							
PAC-CT04SP	"	A150-20	1	注3						
PAC-CT05SP	"	A180-20	1							
PAC-CT06SP	"	A224-20	1							
PAC-CT07SP	"	A250-20	1							
PAC-CT08SP	"	A280-20	1							
PAC-CT09MP	電動機ブリーセット	A可変-24	1			PAK-6JTH(6A)	1			標準仕様変更銘板付(1.5kWモーター用)
PAC-CT10MP	"	A可変-28	1			PAK-6JTH(9A)	1			標準仕様変更銘板付(2.2kWモーター用)
PAC-CJ63MR	電動機							SF-JR1.5kW-4P	1	
PAC-CJ14VB	Vベルト			A44	1					
PAC-CJ15VB	"			A45	1					
PAC-CJ16VB	"			A46	1					
PAC-CJ17VB	"			A47	1					
PAC-CJ49VB	"			A49	1					
PAC-CJ50VB	"			A50	1					
PAC-CJ51VB	"			A51	1					
PAC-CJ52VB	"			A52	1					
PAC-CJ53VB	"			A53	1					
PAC-CJ54VB	"			A54	1					
PAC-CJ55VB	"			A55	1					
PAC-CJ56VB	"			A56	1					
PAC-CJ58VB	"			A58	1					
PAC-CJ59VB	"			A59	1					

注1 ブリー仕様 A 150 - 20
A形ベルト1本掛 PC ポス内径

注2 ベルト仕様 A 34
A形ベルト ベルト長さ34インチ

注3 PAC-CT01～08SPに付属のベルトは使用できません。
別途技術資料(静風圧部品選定表)を参照の上、上記PAC-CJ14～59VBをお買求めください。

PFAK-P450・560AW(M)-A、PFAK-P400・500AW(M)-A
PFAK-P530・670AW(M)-A-Fの場合

別売形名	部品名	部 品 内 容										備考
		送風機ブリー	個数	ベルト	個数	電動機ブリー	個数	電磁開閉器	個数	電動機	個数	
PAC-CH41SP	送風機ブリーセット	2B170-24	1	B58	2							
PAC-CH42SP	送風機ブリーセット	2B180-24	1	B59	2							
PAC-CH43SP	送風機ブリーセット	2B190-24	1	B59,B60	各2							
PAC-CH44SP	送風機ブリーセット	2B200-24	1	B60	2							
PAC-CH45SP	送風機ブリーセット	2B212-24	1	B61	2							
PAC-CH46SP	送風機ブリーセット	2B224-24	1	B62	2							
PAC-CH47SP	送風機ブリーセット	2B236-24	1	B62	2							
PAC-CH39SP	送風機ブリーセット	2B250-24	1	B63,B64	各2							
PAC-CH48SP	送風機ブリーセット	2B280-24	1	B65,B66	各2							
PAC-CH49SP	送風機ブリーセット	2B300-24	1	B66	2							
PAC-CH50SP	送風機ブリーセット	2B315-24	1	B67	2							
PAC-CH51SP	送風機ブリーセット	2B355-24	1	B70	2							
PAC-CH52SP	送風機ブリーセット	2B165-28	1	B56	2							
PAC-CH53SP	送風機ブリーセット	2B170-28	1	B56	2							
PAC-CH54SP	送風機ブリーセット	2B180-28	1	B57	2							
PAC-CH55SP	送風機ブリーセット	2B200-28	1	B59,B60	各2							
PAC-CH56SP	送風機ブリーセット	2B212-28	1	B59,B60	各2							
PAC-CH57SP	送風機ブリーセット	2B224-28	1	B60,B61	各2							
PAC-CH58SP	送風機ブリーセット	2B236-28	1	B61,B62	各2							
PAC-CH40SP	送風機ブリーセット	2B250-28	1	B62,B63	各2							
PAC-CH59SP	送風機ブリーセット	2B280-28	1	B64,B65	各2							
PAC-CH60SP	送風機ブリーセット	2B300-28	1	B65,B66	各2							
PAC-CH61SP	送風機ブリーセット	2B315-28	1	B66	2							
PAC-CH62MP	電動機ブリーセット					2B125-28	1					
PAC-CH63MP	電動機ブリーセット			B63,B65	各2	2B145-28	1	PAK-21JTH(15A)	1			標準仕様変更銘板付 (3.7kW用)
PAC-CH64MP	電動機ブリーセット			B64,B66	各2	2B155-28	1	PAK-21JTH(15A)	1			
PAC-CH65MP	電動機ブリーセット					2B145-38	1	PAK-26JTH(22.5A)	1			
PAC-CH66MP	電動機ブリーセット					2B155-38	1	PAK-26JTH(22.5A)	1			標準仕様変更銘板付 (5.5kW用)
PAC-CH67MP	電動機ブリーセット			B63,B65	各2	2B165-38	1	PAK-26JTH(22.5A)	1			
PAC-CJ65MR	電動機								SF-JR3.7kW-4P	1		
PAC-CJ66MR	電動機								SF-JR5.5kW-4P	1		

静風圧部品選定表

適用機種, PFAK-P140AW(M)-A
PFTK-P125AW(M)-A

50Hz

全静圧 Pa	風量m ³ /min				
	35	40	45	50	55
100	標準	X			
	PAC-CT06SP(224)				
	PAC-CJ53VB(A53)				
	標準				
150	標準	X			
	標準(180)				
	標準(A50)				
	標準				
200	標準	X			
	標準(180)				
	標準(A50)				
	標準				
250	標準	X			
	標準(180)				
	標準(A50)				
	標準				
300	標準	X			
	標準(180)				
	標準(A50)				
	標準				
350	標準	X			
	標準(180)				
	標準(A50)				
	標準				
400	標準	X			
	標準(180)				
	標準(A50)				
	標準				
450	標準	X			
	標準(180)				
	標準(A50)				
	標準				
500	標準	X			
	標準(180)				
	標準(A50)				
	標準				
550	標準	X			
	標準(180)				
	標準(A50)				
	標準				
600	標準	X			
	標準(180)				
	標準(A50)				
	標準				
650	標準	X			
	標準(180)				
	標準(A50)				
	標準				

- 注1. 出荷時の電動機プーリー-PC (可変プーリー)は77.9(スライドピース回転数4・1/2)となっています。
2. 機内抵抗はフィルドソフィルター、温水・蒸気ヒーターなどを組込んだ場合に変わりますので補正が必要です。該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。機種により組込可能別売部品は異なります。
3. プーリー別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手配・使用してください。
4. 電動機プーリーのPC の調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。
5. 電動機の変更時には、サーマル(熱動過電流継電器)の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。
6. 標準仕様は機内抵抗125Pa 機外静圧30Pa 風量45m³/minです。
50Hz地区の場合、上記標準仕様にてご使用される時は、電動機プーリー-PC (可変プーリー)を93.9(スライドピース回転数 1・1/4)にしてください。
7. 別売プレナムは機外静圧30Paです。上記6. に示すプーリー仕様にてご使用ください。(風量45m³/min)

表中

1 段目	電動機形名
2 段目	送風機プーリー形名(PC)
3 段目	使用ベルト形名(サイズ)
4 段目	電動機プーリー形名
5 段目	スライドピース回転数

静風圧部品選定表

適用機種，PFAK-P140AW(M)-A
PFTK-P125AW(M)-A

60Hz

全静圧 Pa	風量m ³ /min				
	35	40	45	50	55
100	標準	X			
	PAC-CT06SP(224)				
	PAC-CJ53VB(A53)				
	標準				
150	4・1/2	X			
	標準				
	PAC-CT06SP(224)				
	PAC-CJ53VB(A53)				
200	2	1・1/2	4・1/2	X	
	標準	標準(180)	標準(A50)		
	PAC-CT06SP(224)	標準(180)	標準(A50)		
	PAC-CJ53VB(A53)	標準	標準		
250	3・1/2	3・1/4	2・3/4	2	1
	標準	標準(180)	標準(A50)	標準	
	PAC-CT04SP(150)	PAC-CJ49VB(A49)	標準		
	PAC-CJ49VB(A49)	標準			
300	4・1/2	4	3・3/4	3	2・3/4
	標準	標準	標準	標準	標準
	PAC-CT04SP(150)	PAC-CJ49VB(A49)	標準		
	PAC-CJ49VB(A49)	標準			
350	2・1/4	2・1/4	2	1・1/2	0
	標準	標準	標準	標準	標準
	PAC-CT03SP(132)	PAC-CJ17VB(A47)	標準		
	PAC-CJ17VB(A47)	標準			
400	3	3	3	4・1/2	4
	標準	標準	標準	標準	標準
	PAC-CT03SP(132)	PAC-CJ17VB(A47)	標準		
	PAC-CJ17VB(A47)	標準			
450	1・3/4	1・3/4	1・3/4	3	2・3/4
	標準	標準	標準	標準	標準
	PAC-CT03SP(132)	PAC-CJ17VB(A47)	標準		
	PAC-CJ17VB(A47)	標準			
500	3/4	3/4	1・1/2	1・1/4	1
	標準	標準	標準	標準	標準
	PAC-CT02SP(118)	PAC-CJ17VB(A47)	標準		
	PAC-CJ17VB(A47)	標準			
550	1・3/4	4・3/4	4・3/4	4・1/2	4・1/4
	標準	標準	標準	標準	標準
	PAC-CT02SP(118)	PAC-CJ17VB(A47)	標準		
	PAC-CJ17VB(A47)	標準			
600	3・3/4	3・3/4	3・1/2	3・1/2	3・1/4
	標準	標準	標準	標準	標準
	PAC-CT04SP(150)	PAC-CJ51VB(A51)	標準		
	PAC-CJ51VB(A51)	標準			
650	2・1/2	2・1/2	2・1/2	2・1/4	2
	標準	標準	標準	標準	標準
	PAC-CT04SP(150)	PAC-CJ51VB(A51)	標準		
	PAC-CJ51VB(A51)	標準			
700	1・1/2	1・1/2	1・1/2	1・1/4	1・1/4
	標準	標準	標準	標準	標準
	PAC-CT04SP(150)	PAC-CJ51VB(A51)	標準		
	PAC-CJ51VB(A51)	標準			

- 注1. 出荷時の電動機プーリーPC (可変プーリー)は77.9(スライドピース回転数4・1/2)となっています。
2. 機内抵抗はフレッドンフィルター、温水・蒸気ヒーターなどを組込んだ場合に变化しますので補正が必要です。該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。
- 機種により組込可能別売部品は異なります。
3. プーリー別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手配・使用してください。
4. 電動機プーリーのPC の調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。
5. 電動機の変更時には、サーマル(熱動過電流継電器)の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。
6. 標準仕様は機内抵抗125Pa 機外静圧30Pa 風量45m³/minです。
7. 別売プレナムは機外静圧30Paです。標準仕様のプーリーのままご使用ください。(風量45m³/min)

表中

1 段目	電動機形名
2 段目	送風機プーリー形名(PC)
3 段目	使用ベルト形名(サイズ)
4 段目	電動機プーリー形名
5 段目	スライドピース回転数

静風圧部品選定表

適用機種, PFAK-P224AW(M)-A
PFTK-P200AW(M)-A

50Hz

全静圧 Pa	風量 m ³ /min								
	55	60	65	70	75	80	82.5		
150	標準			X					
	標準(224)								
	標準(A56)								
	標準								
200	4	3・1/4	2・3/4	標準			X		
	標準(224)			標準					
	標準(A56)			PAC-CT05SP(180)					
	標準			PAC-CJ53VB(A53)					
250	1・1/4	3/4	1/4	4・3/4	4	標準			
	標準								
	PAC-CT05SP(180)								
	PAC-CJ53VB(A53)								
300	4・1/4	4	3・3/4	3	2	1	1/2		
	標準			標準					
	PAC-CT05SP(180)			PAC-CT04SP(150)					
	PAC-CJ53VB(A53)			PAC-CJ51VB(A51)					
350	2・1/2	2	1・1/2	1	1/4	4	3・1/2		
	標準			標準					
	PAC-CT05SP(180)			PAC-CT04SP(150)					
	PAC-CJ53VB(A53)			PAC-CJ51VB(A51)					
400	1/4	0	4・1/2	4	3・1/4	2・1/2	2・1/4		
	標準			標準					
	PAC-CT04SP(150)			PAC-CJ64MR					
	PAC-CJ51VB(A51)			PAC-CT04SP(150)					
450	3・1/4	3	2・3/4	2・1/4	1・1/2	3	2・3/4		
	標準			標準					
	PAC-CT04SP(150)			PAC-CJ64MR					
	PAC-CJ51VB(A51)			PAC-CT04SP(150)					
500	1・1/2	1・1/2	1・1/4	3/4	1/4	1・1/2	1・1/4		
	標準			標準					
	PAC-CT03SP(132)			PAC-CJ64MR					
	PAC-CJ50VB(A50)			PAC-CT04SP(150)					
550	3・3/4	3・1/2	3・1/4	2・3/4	1	1/4	0		
	標準			標準					
	PAC-CT03SP(132)			PAC-CJ64MR					
	PAC-CJ50VB(A50)			PAC-CT03SP(132)					
600	2・1/2	2・1/4	2	1・3/4	3・1/4	2・3/4	2・1/2		
	標準			標準					
	PAC-CT03SP(132)			PAC-CJ64MR					
	PAC-CJ50VB(A50)			PAC-CT03SP(132)					
650	1・1/4	1・1/4	1	2・3/4	2	1・1/4	1		
	標準			標準					
	PAC-CT03SP(132)			PAC-CJ64MR					
	PAC-CJ50VB(A50)			PAC-CT03SP(132)					
700	1/4	0	1・3/4	1・1/4	3/4	1/2			
	標準			標準					
	PAC-CT02SP(118)			PAC-CJ64MR					
	PAC-CJ49VB(A49)			PAC-CT03SP(132)					
750	2	2	1/2	1/4	0	X			
	標準			標準					
	PAC-CT02SP(118)			PAC-CJ64MR					
	PAC-CJ49VB(A49)			PAC-CT02SP(118)					
750	1	3	2・3/4	2・1/2	標準				
	標準			標準					
	PAC-CT10MP			PAC-CJ50VB(A50)					
	標準			PAC-CT10MP					

- 注1. 出荷時の電動機ブリーパー (可変ブリーパー)は116.7(スライドピース回転数 4・3/4)となっています。
2. 機内抵抗はフィルドフィルター、温水・蒸気ヒーターなど別売部品を組み込んだ場合に変わりますので補正が必要です。該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。
機種により組込可能別売部品は異なります。
3. ブリーパー別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手配・使用してください。
4. 電動機ブリーパーのPC の調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。
5. 電動機の変更時には、サーマル(熱動過電流継電器)の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。
6. 標準仕様は機内抵抗165Pa 機外静圧30Pa 風量70m³/minです。
50Hz地区の場合、上記標準仕様にてご使用される時は、電動機ブリーパーPC (可変ブリーパー)を140(スライドピース回転数 0)にしてください。
7. 別売プレナムは機外静圧30Paです。上記6. に示すブリーパー仕様にてご使用ください。(風量70m³/min)

表中

1段目	電動機形名
2段目	送風機ブリーパー形名(PC)
3段目	使用ベルト形名(サイズ)
4段目	電動機ブリーパー形名
5段目	スライドピース回転数

静風圧部品選定表

適用機種，PFAK-P224AW(M)-A
PFTK-P200AW(M)-A

60Hz

全静圧 Pa	風量 m ³ /min						
	55	60	65	70	75	80	82.5
150	標準			X			
	PAC-CT08SP(280)						
	PAC-CJ59VB(A59)						
	標準						
	3	2・1/4	1・3/4				
200	標準			標準			
	PAC-CT08SP(280)			標準(224)			
	PAC-CJ59VB(A59)			標準(A56)			
	標準			標準			
	0	0	4・3/4	4・1/4	3		
250	標準						
	標準(224)						
	標準(A56)						
	標準						
	3・1/2	3・1/4	3	2・1/4	1・1/4	0	0
300	標準			標準			
	標準(224)			PAC-CT05SP(180)			
	標準(A56)			PAC-CJ53VB(A53)			
	標準			標準			
	1・1/2	1・1/4	3/4	1/4	4・3/4	4	3・3/4
350	標準						
	PAC-CT05SP(180)						
	PAC-CJ53VB(A53)						
	標準						
	4・3/4	4・3/4	4・1/2	4	3・1/2	2・3/4	2・1/4
400	標準			PAC-CJ64MR			
	PAC-CT05SP(180)			PAC-CT05SP(180)			
	PAC-CJ53VB(A53)			PAC-CJ54VB(A54)			
	標準			PAC-CT10MP			
	3・1/2	3・1/4	3	2・1/2	1・3/4	3・1/4	3
450	標準			PAC-CJ64MR			
	PAC-CT05SP(180)			PAC-CT05SP(180)			
	PAC-CJ53VB(A53)			PAC-CJ54VB(A54)			
	標準			PAC-CT10MP			
	1・3/4	1・1/2	1・1/4	1	1/2	1・3/4	1・1/2
500	標準			PAC-CJ64MR			
	PAC-CT05SP(180)			PAC-CT04SP(150)			
	PAC-CJ53VB(A53)			PAC-CJ51VB(A51)			
	標準			PAC-CT10MP			
	1/2	1/4	0	4・1/4	1・1/4	1/2	0
550	標準			PAC-CJ64MR			
	PAC-CT04SP(150)			PAC-CT04SP(150)			
	PAC-CJ51VB(A51)			PAC-CJ52VB(A52)			
	標準			PAC-CT10MP			
	4	3・3/4	3・1/2	3・1/4	4・3/4	4・1/4	4
600	標準			PAC-CJ64MR			
	PAC-CT04SP(150)			PAC-CT04SP(150)			
	PAC-CJ51VB(A51)			PAC-CJ52VB(A52)			
	標準			PAC-CT10MP			
	2・3/4	2・3/4	2・1/2	4・1/4	3・3/4	3	2・3/4
650	標準			PAC-CJ64MR			
	PAC-CT04SP(150)			PAC-CT04SP(150)			
	PAC-CJ51VB(A51)			PAC-CJ52VB(A52)			
	標準			PAC-CT10MP			
	2	1・3/4	3・1/2	3	2・1/2	2・1/4	
700	標準			PAC-CJ64MR			
	PAC-CT04SP(150)			PAC-CT04SP(150)			
	PAC-CJ51VB(A51)			PAC-CJ52VB(A52)			
	標準			PAC-CT10MP			
	3/4	1/2	2・1/4	2	1・3/4		
750	標準			PAC-CJ64MR			
	PAC-CT03SP(132)			PAC-CT04SP(150)			
	PAC-CJ50VB(A50)			PAC-CJ52VB(A52)			
	標準			PAC-CT10MP			
	3	1・1/2	1・1/4	1・1/4			

- 注1．出荷時の電動機ブリーパーPC（可変ブリーパー）は116.7(スライドピース回転数 4・3/4)となっています。
- 2．機内抵抗はフィルドフィルター、温水・蒸気ヒーターなど別売部品を組み込んだ場合に変わりますので補正が必要です。該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。
- 3．ブリーパー別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手配・使用してください。
- 4．電動機ブリーパーのPCの調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。
- 5．電動機の変更時には、サーマル(熱動過電流継電器)の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。
- 6．標準仕様は機内抵抗165Pa 機外静圧30Pa 風量70m³/minです。
- 7．別売プレナムは機外静圧30Paです。標準仕様のブリーパーのままご使用ください。(風量70m³/min)

表中

1段目	電動機形名
2段目	送風機ブリーパー形名(PC)
3段目	使用ベルト形名(サイズ)
4段目	電動機ブリーパー形名
5段目	スライドピース回転数

静風圧部品選定表

適用機種, PFAK-P280AW(M)-A
PFTK-P250AW(M)-A

50Hz

全静圧 Pa	風量 m³/min								
	70	75	80	85	90	95	100	105	110
150	標準								
	PAC-CT07SP(250)								
	PAC-CJ58VB(A58)								
	標準								
	1・3/4	1・1/2							
200	標準								
	標準(212)								
	標準(A55)								
	標準								
	2・1/2	2・1/4							
250	標準								
	PAC-CT05SP(180)								
	PAC-CJ53VB(A53)								
	標準								
	4	4							
300	標準								
	PAC-CT05SP(180)								
	PAC-CJ53VB(A53)								
	標準								
	1・1/2	1・1/2							
350	標準								
	PAC-CT04SP(150)								
	PAC-CJ51VB(A51)								
	標準								
4・1/2	4・1/4	4	3・3/4	3・3/4	3・3/4	3・3/4	3・3/4	3・1/2	
400	標準								
	PAC-CT04SP(150)								
	PAC-CJ51VB(A51)								
	標準								
2・3/4	2・3/4	2・1/2	2・1/2	2・1/2	2・1/2	2・1/2	2・1/2	2・1/4	
450	標準								
	PAC-CT03SP(132)								
	PAC-CJ49VB(A49)								
	標準								
	4・1/2	4・1/2							
500	標準								
	PAC-CT03SP(132)								
	PAC-CJ49VB(A49)								
	標準								
	3	3							
550	標準								
	PAC-CT03SP(132)								
	PAC-CJ49VB(A49)								
	標準								
	2	2							
600	標準								
	PAC-CT03SP(132)								
	PAC-CJ50VB(A50)								
	標準								
1/2	2・1/2	2・3/4	2・3/4	2・3/4	3	3	3	3	
650	標準								
	PAC-CT03SP(132)								
	PAC-CJ51VB(A51)								
	標準								
	1・1/2	1・1/2							
700	標準								
	PAC-CT03SP(132)								
	PAC-CJ51VB(A51)								
	標準								
	1/2	1/2							
750	標準								
	PAC-CT02SP(118)								
	PAC-CJ50VB(A50)								
	標準								
	3	3							

- 注1. 出荷時の電動機ブリーパーPC (可変ブリーパー)は116.7(スライドピース回転数 4・3/4)となっています。
2. 機内抵抗はフィルドフィルター、温水・蒸気ヒーターなど別売部品を組み込んだ場合に変わりますので補正が必要です。該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。
機種により組込可能別売部品は異なります。
3. ブリーパー別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手配・使用してください。
4. 電動機ブリーパーのPC の調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。
5. 電動機の変更時には、サーマル(熱動過電流継電器)の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。
6. 標準仕様は機内抵抗200Pa 機外静圧30Pa 風量90m³/minです。
50Hz地区の場合、上記標準仕様にてご使用される時は、電動機ブリーパーPC (可変ブリーパー)を140(スライドピース回転数 0)にしてください。
7. 別売プレナムは機外静圧30Paです。上記6. に示すブリーパー仕様にてご使用ください。(風量90m³/min)

表中

1段目	電動機形名
2段目	送風機ブリーパー形名(PC)
3段目	使用ベルト形名(サイズ)
4段目	電動機ブリーパー形名
5段目	スライドピース回転数

静風圧部品選定表

適用機種，PFAK-P280AW(M)-A
PFTK-P250AW(M)-A

60Hz

全静圧 Pa	風量 m³/min								
	70	75	80	85	90	95	100	105	110
150	標準								
	PAC-CT08SP(280)								
	PAC-CJ59VB(A59)								
	標準								
	3・3/4	3・1/2							
200	標準								
	PAC-CT07SP(250)								
	PAC-CJ58VB(A58)								
	標準								
	3・1/4	3	3	2・1/2	2・1/2				
250	標準								
	標準(212)								
	標準(A55)								
	標準								
	4・1/2	4・1/2	4・1/4	4・1/4	4	4	3・3/4		
300	標準								
	標準(212)								
	標準(A55)								
	標準								
	2	2	1・3/4	1・3/4	1・3/4	1・1/2	1・1/2	1・1/4	1
350	標準								
	PAC-CT05SP(180)								
	PAC-CJ53VB(A53)								
	標準								
	4・1/2	4・1/2	4・1/4	4	4	4	3・3/4	3・3/4	3・1/2
400	標準								
	PAC-CT05SP(180)								
	PAC-CJ53VB(A53)								
	標準								
	3	3	2・3/4	2・3/4	2・3/4	2・3/4	2・1/2	2・1/2	2・1/4
450	標準							PAC-CJ64MR	
	PAC-CT05SP(180)							PAC-CT05SP(180)	
	PAC-CJ53VB(A53)							PAC-CJ54VB(A54)	
	標準							PAC-CT10MP	
	1・1/2	1・1/2	1・1/2	1・1/2	1・1/4	1・1/4	1・1/4	3	3
500	標準						PAC-CJ64MR		
	PAC-CT05SP(180)						PAC-CT05SP(180)		
	PAC-CJ53VB(A53)						PAC-CJ54VB(A54)		
	標準						PAC-CT10MP		
	0	0	0	0	0	2	2	2	2
550	標準				PAC-CJ64MR				
	PAC-CT04SP(150)				PAC-CT05SP(180)				
	PAC-CJ51VB(A51)				PAC-CJ54VB(A54)				
	標準				PAC-CT10MP				
	3・1/2	3・1/2	3・3/4	3/4	3/4	3/4	3/4	3/4	3/4
600	標準								
	PAC-CT04SP(150)								
	PAC-CJ51VB(A51)								
	標準								
	2・1/4	4・1/4	4・1/4	4・1/4	4・1/4	4・1/2	4・1/2	4・1/2	4・1/2
650	標準								
	PAC-CT04SP(150)								
	PAC-CJ52VB(A52)								
	標準								
	3・1/4	3・1/4	3・1/4	3・1/4	3・1/2	3・1/2	3・1/2		
700	標準								
	PAC-CT04SP(150)								
	PAC-CJ52VB(A52)								
	標準								
	2・1/4	2・1/4	2・1/4	2・1/2	2・1/2				
750	標準								
	PAC-CT04SP(150)								
	PAC-CJ52VB(A52)								
	標準								
	1・1/2	1・1/2	1・1/2	1・1/2	1・1/2				

- 注1. 出荷時の電動機プリーPC は116.7(スライドピース回転数 4・3/4)となっています。
 2. 機内抵抗はフィルドフィルター、温水・蒸気ヒーターなど別売部品を組込んだ場合に変わりますので補正が必要です。該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。
 機種により組込可能別売部品は異なります。
 3. プリー別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手配・使用してください。
 4. 電動機プリーのPC の調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。
 5. 電動機の変更時には、サーマル(熱動過電流継電器)の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。
 6. 標準仕様は機内抵抗200Pa 機外静圧30Pa 風量90m³/minです。
 7. 別売プレナムは機外静圧30Paです。標準仕様のプリーのままご使用ください。(風量90m³/min)

表中

1段目	電動機形名
2段目	送風機プリー形名(PC)
3段目	使用ベルト形
4段目	電動機プリー形名
5段目	スライドピース回転数

静風圧部品選定表

適用機種，PFAK-P450AW(M)-A
PFTK-P400AW(M)-A

50Hz

全静圧 Pa	風量 m ³ /min												
	110	115	120	125	130	135	140	145	150	155	160	165	170
150Pa	標準(118)				標準(118)				X				
	PAC-CH49SP(300)				標準(280)								
	B66				B65(標準)								
	標準(2.2kW)				標準(2.2kW)								
200Pa	PAC-CH62MP(125)												X
	標準(280)												
	B65(標準)												
	標準(2.2kW)												
250Pa	標準(118)												
	PAC-CH39SP(250)												
	B63												
	標準(2.2kW)												
300Pa	標準(118)												
	PAC-CH46SP(224)												
	B62												
	標準(2.2kW)												
350Pa	標準(118)						PAC-CH63MP(145)						
	PAC-CH44SP(200)						PAC-CH39SP(250)						
	B60						B63						
	標準(2.2kW)						PAC-CJ65MR(3.7kW)						
400Pa	標準(118)						PAC-CH63MP(145)						
	PAC-CH43SP(190)						PAC-CH47SP(236)						
	B59						B62						
	標準(2.2kW)						PAC-CJ65MR(3.7kW)						
450Pa	標準(118)			PAC-CH63MP(145)									
	PAC-CH42SP(180)			PAC-CH46SP(224)									
	B59			B62									
	標準(2.2kW)			PAC-CJ65MR(3.7kW)									
500Pa	PAC-CH63MP(145)												
	PAC-CH45SP(212)												
	B61												
	PAC-CJ65MR(3.7kW)												
550Pa	PAC-CH63MP(145)												
	PAC-CH44SP(200)												
	B60												
	PAC-CJ65MR(3.7kW)												
600Pa	PAC-CH63MP(145)												
	PAC-CH43SP(190)												
	B59												
	PAC-CJ65MR(3.7kW)												
650Pa	PAC-CH64MP(155)												
	PAC-CH44SP(200)												
	B60												
	PAC-CJ65MR(3.7kW)												
700Pa	PAC-CH64MP(155)						X						
	PAC-CH43SP(190)												
	B60												
	PAC-CJ65MR(3.7kW)												
750Pa	PAC-CH63MP(145)			X									
	PAC-CH41SP(170)												
	B58												
	PAC-CJ65MR(3.7kW)												

注1. 標準仕様 電動機プーリー : 2B118-28 送風機プーリー : 2B280-24 ベルトサイズ: B65 サーマル: PAK-6JT(9A) 電動機形名: SF-JR2.2kW

表中

- 電動機の変更時のみ、サーマルの変更が必要です。
- 表中のプーリー径はPC を記載しています。外径はPC より11mm増加します。
- 標準時は機内抵抗 : 140Pa 機外静圧 : 30Pa 風量 : 140m³/minです。
- 別売プレナムは機外静圧30Paです。標準仕様プーリーのままご使用ください。

1段目	電動機プーリー形名(PC)
2段目	送風機プーリー形名(PC)
3段目	ベルトサイズ
4段目	電動機形名(容量)

静風圧部品選定表

適用機種，PFAK-P450AW(M)-A
PFTK-P400AW(M)-A

60Hz

全静圧 Pa	風量 m ³ /min												
	110	115	120	125	130	135	140	145	150	155	160	165	170
150Pa	標準(118)						X						
	PAC-CH51SP(355)												
	B70												
	標準(2.2kW)												
200Pa	標準(118)						X						
	PAC-CH50SP(315)												
	B67												
	標準(2.2kW)												
250Pa	標準(118)												
	標準(280)												
	B65(標準)												
	標準(2.2kW)												
300Pa	PAC-CH62MP(125)												
	標準(280)												
	B65(標準)												
	標準(2.2kW)												
350Pa	標準(118)						PAC-CH63MP(145)			PAC-CH49SP(300)			
	PAC-CH39SP(250)						B66						
	B63						PAC-CJ65MR(3.7kW)						
	標準(2.2kW)												
400Pa	標準(118)						PAC-CH63MP(145)			標準(280)			
	PAC-CH46SP(224)						B65(標準)						
	B62						PAC-CJ65MR(3.7kW)						
	標準(2.2kW)												
450Pa	標準(118)		PAC-CH64MP(155)										
	PAC-CH45SP(212)		標準(280)										
	B61		B66										
	標準(2.2kW)		PAC-CJ65MR(3.7kW)										
500Pa	PAC-CH63MP(145)												
	PAC-CH39SP(250)												
	B63												
	PAC-CJ65MR(3.7kW)												
550Pa	PAC-CH63MP(145)												
	PAC-CH47SP(236)												
	B62												
	PAC-CJ65MR(3.7kW)												
600Pa	PAC-CH64MP(155)												
	PAC-CH39SP(250)												
	B64												
	PAC-CJ65MR(3.7kW)												
650Pa	PAC-CH63MP(145)						X						
	PAC-CH46SP(224)												
	B62												
	PAC-CJ65MR(3.7kW)												
700Pa	PAC-CH63MP(145)						X						
	PAC-CH45SP(212)												
	B60												
	PAC-CJ65MR(3.7kW)												
750Pa	PAC-CH64MP(155)		X										
	PAC-CH46SP(224)												
	B62												
	PAC-CJ65MR(3.7kW)												

注1. 標準仕様 電動機プーリー：2B118-28 送風機プーリー：2B280-24 ベルトサイズ：B65 サーマル：PAK-6JT(9A) 表中
電動機形名：SF-JR2.2kW

2. 電動機の変更時のみ、サーマルの変更が必要です。
3. 表中のプーリー径はPC を記載しています。外径はPC より11mm増加します。
4. 標準時は機内抵抗：140Pa 機外静圧：130Pa 風量：140m³/minです。
5. 別売プレナムは機外静圧30Paです。プレナム取付時は、上表の全静圧150Paの仕様にてください。

1段目	電動機プーリー形名(PC)
2段目	送風機プーリー形名(PC)
3段目	ベルトサイズ
4段目	電動機形名(容量)

静風圧部品選定表

適用機種，PFAK-P560AW(M)-A
PFTK-P500AW(M)-A

50Hz

全静圧 Pa	風量 m ³ /min										
	150	160	170	180	190	200	210	220	230	240	
250Pa	標準(135)			X							
	標準(280)										
	B64(標準)										
	標準(3.7kW)										
300Pa	標準(135)			X							
	PAC-CH40SP(250)										
	B62										
	標準(3.7kW)										
350Pa	標準(135)			X							
	PAC-CH58SP(236)										
	B61										
	標準(3.7kW)										
400Pa	PAC-CH63MP(145)						PAC-CH65MP(145)		X		
	PAC-CH58SP(236)						PAC-CH58SP(236)				
	B62						B61				
	標準(3.7kW)						PAC-CJ66MR(5.5kW)				
450Pa	PAC-CH63MP(145)				PAC-CH66MP(155)						
	PAC-CH57SP(224)				PAC-CH58SP(236)						
	B61				B61						
	標準(3.7kW)				PAC-CJ66MR(5.5kW)						
500Pa	PAC-CH63MP(145)			PAC-CH66MP(155)							
	PAC-CH56SP(212)			PAC-CH57SP(224)							
	B60			B60							
	標準(3.7kW)			PAC-CJ66MR(5.5kW)							
550Pa	PAC-CH63MP(145)		PAC-CH66MP(155)								
	PAC-CH55SP(200)		PAC-CH56SP(212)								
	B60		B60								
	標準(3.7kW)		PAC-CJ66MR(5.5kW)								
600Pa	PAC-CH67MP(165)						X				
	PAC-CH56SP(212)										
	B60										
	PAC-CJ66MR(5.5kW)										
650Pa	PAC-CH65MP(145)			X							
	PAC-CH54SP(180)										
	B57										
	PAC-CJ66MR(5.5kW)										
700Pa	PAC-CH67MP(165)			X							
	PAC-CH55SP(200)										
	B59										
	PAC-CJ66MR(5.5kW)										
750Pa	PAC-CH65MP(145)			X							
	PAC-CH53SP(170)										
	B56										
	PAC-CJ66MR(5.5kW)										
800Pa	PAC-CH66MP(155)			X							
	PAC-CH54SP(180)										
	B57										
	PAC-CJ66MR(5.5kW)										
850Pa	PAC-CH65MP(145)			X							
	PAC-CH52SP(165)										
	B56										
	PAC-CJ66MR(5.5kW)										

注1. 標準仕様 電動機ブリー: 2B135-28 送風機ブリー: 2B280-28 ベルトサイズ: B64 サーマル: PAK-21JT(15A)

表中

2. 電動機の変更時のみ、サーマルの変更が必要です。
3. 表中のブリー径はPC を記載しています。外径はPC より11mm増加します。
4. 標準時は機内抵抗: 220Pa 機外静圧: 30Pa 風量: 180m³/minです。
5. 別売プレナムは機外静圧30Paです。標準仕様ブリーのまゝご使用ください。

1段目	電動機ブリー形名(PC)
2段目	送風機ブリー形名(PC)
3段目	ベルトサイズ
4段目	電動機形名(容量)

静風圧部品選定表

適用機種，PFAK-P560AW(M)-A
PFTK-P500AW(M)-A

60Hz

全静圧 Pa	風量 m ³ /min										
	150	160	170	180	190	200	210	220	230	240	
250Pa	PAC-CH62MP(125)										
	PAC-CH61SP(315)										
	B66										
	標準(3.7kW)										
300Pa	標準(135)										
	PAC-CH60SP(300)										
	B66										
	標準(3.7kW)										
350Pa	標準(135)										
	標準(280)										
	B64(標準)										
	標準(3.7kW)										
400Pa	PAC-CH63MP(145)										
	標準(280)										
	B65										
	標準(3.7kW)										
450Pa	標準(135)										
	PAC-CH40SP(250)										
	B62										
	標準(3.7kW)										
500Pa	PAC-CH63MP(145)										
	PAC-CH40SP(250)										
	B63										
	標準(3.7kW)										
550Pa	PAC-CH63MP(145)										
	PAC-CH58SP(236)										
	B62										
	標準(3.7kW)										
600Pa	PAC-CH65MP(145)										
	PAC-CH57SP(224)										
	B60										
	標準(3.7kW)										
650Pa	PAC-CH66MP(155)										
	PAC-CH58SP(236)										
	B61										
	標準(3.7kW)										
700Pa	PAC-CH67MP(165)										
	PAC-CH40SP(250)										
	B63										
	標準(3.7kW)										
750Pa	PAC-CH66MP(155)										
	PAC-CH57SP(224)										
	B60										
	標準(3.7kW)										
800Pa	PAC-CH65MP(145)										
	PAC-CH55SP(200)										
	B59										
	標準(3.7kW)										
850Pa	PAC-CH66MP(155)										
	PAC-CH56SP(212)										
	B60										
	標準(3.7kW)										

注1. 標準仕様 電動機ブリー：2B135-28 送風機ブリー：2B280-28 ベルトサイズ：B64 サーマル：PAK-21JT(15A)

電動機形名：SF-JR3.7kW

- 電動機の変更時のみ、サーマルの変更が必要です。
- 表中のブリー径はPC を記載しています。外径はPC より11mm増加します。
- 標準時は機内抵抗：220Pa 機外静圧：130Pa 風量：180m³/minです。
- 別売プレナムは機外静圧30Paです。プレナム取付時は、上表の全静圧250Paの仕様にてください。

表中

1段目	電動機ブリー形名(PC)
2段目	送風機ブリー形名(PC)
3段目	ベルトサイズ
4段目	電動機形名(容量)

静風圧部品選定表

適用機種，PFAK-P630AW(M)-A
PFTK-P600AW(M)-A

50Hz

全静圧 Pa	風量m ³ /min											
	170	180	190	200	210	220	230	240	250	260	270	280
50	標準	X										
	PAC-CV52MP											
	PAC-CV77SP 2.5											
100	標準	X										
	PAC-CV52MP											
	PAC-CV77SP 0.5 0 3.5 2.5 2 1.5 1 0											
150	標準	X										
	PAC-CV52MP											
	PAC-CV77SP 2.5 2 1.5 1 0.5 0 2.5 1.5 1.5 1 0.5											
200	標準	X										
	PAC-CV52MP											
	PAC-CV77SP 1 0.5 0 2.5 2 1 0.5 0.5 2 1.5 2											
250	標準	X										
	PAC-CV52MP											
	PAC-CV77SP 3 2.5 2 1.5 1 0.5 0 2 1.5 1 1.5 1.5											
300	標準	X										
	PAC-CV52MP											
	PAC-CV77SP 1 0.5 0 2.5 2 1.5 1 0.5 0 1 0.5 0.5											
350	標準	X										
	PAC-CV52MP											
	PAC-CV77SP 2.5 2 1.5 1 0.5 0 1.5 1 0.5 0 2.5 2											
400	標準	X										
	PAC-CV52MP											
	PAC-CV77SP 0 3 2.5 2 1.5 1 0.5 2 2.5 2 1.5 1											
450	標準	X										
	PAC-CV52MP											
	PAC-CV77SP 1 1 0.5 0 2 1.5 1 2 1.5 1 0.5 0.5											
500	標準	X										
	PAC-CV52MP											
	PAC-CV77SP 2.5 2 1.5 1 0.5 0 1.5 1 0.5 0 3 3											
550	標準	X										
	PAC-CV52MP											
	PAC-CV77SP 0.5 0 1.5 1 0.5 0 0 4 3 2.5 2 1.5											
600	標準	X										
	PAC-CV52MP											
	PAC-CV77SP 1 1 0.5 0 5 4.5 3.5 3 2 1.5 1.5 1											
650	標準	X										
	PAC-CV52MP											
	PAC-CV77SP 2.5 2 2 4 3.5 2.5 2 1.5 1 1 0.5 0											
700	標準	X										
	PAC-CV52MP											
	PAC-CV77SP 0.5 0 3 2.5 2 1.5 1 0.5 0 2 1.5 1											
750	標準	X										
	PAC-CV52MP											
	PAC-CV77SP 2 2 1.5 0.5 0.5 0 2 1.5 1.5 1 0.5 0											
800	標準	X										
	PAC-CV52MP											
	PAC-CV77SP 0 3.5 3 2 2 1 1 0.5 0											
850	標準	X										
	PAC-CV52MP											
	PAC-CV77SP 1.5 1.5 1 0.5 0.5											
900	標準	X										
	PAC-CV52MP											
	PAC-CV77SP											
950	標準	X										
	PAC-CV52MP											
	PAC-CV77SP											
1000	標準	X										
	PAC-CV52MP											
	PAC-CV77SP											
1050	標準	X										
	PAC-CV52MP											
	PAC-CV77SP											

注 1. 標準仕様 電動機ブリー：2B125-28 送風機ブリー：2B300-32 電動機形名：SF-JR 3.7kW
 2. 標準時は機内抵抗：75Pa、機外静圧：100Pa、風量：210m³/minです。
 3. 機内抵抗は、温水・蒸気加熱器などを組込んだ場合に変わりますので補正が必要です。
 該当する部品の機内抵抗線図を参照の上、適宜補正してください。
 4. は受注対応を示します。
 5. 電動機の変更時のみ電磁開閉器の変更が必要です。
 6. 別売プレナム取付時は、上表の全静圧100Paの仕様にしてください。

1 段目	電動機形名
2 段目	電動機ブリー形名
3 段目	送風機ブリー形名
4 段目	スクロールダンパー目盛り

静風圧部品選定表

適用機種，PFAK-P630AW(M)-A
PFTK-P600AW(M)-A

60Hz

全静圧 Pa	風量m ³ /min											
	170	180	190	200	210	220	230	240	250	260	270	280
50	標準											
	標準 PAC-CV77SP 4.5											
100	標準											
	標準 PAC-CV77SP 1.5											
150	標準											
	標準 PAC-CV54MP PAC-CV77SP 5											
200	標準											
	標準 PAC-CV54MP PAC-CV77SP 3											
250	標準											
	標準 PAC-CV54MP PAC-CV77SP 1											
300	標準											
	標準 PAC-CV52MP 2.5											
350	標準											
	標準 PAC-CV52MP 0											
400	標準											
	標準 PAC-CV52MP 3											
450	標準											
	標準 PAC-CV52MP 0.5											
500	標準											
	標準 PAC-CV54MP 2											
550	標準											
	標準 PAC-CV54MP 0											
600	標準											
	標準 PAC-CV55MP 2.5											
650	標準											
	標準 PAC-CV55MP 0.5											
700	標準											
	標準 PAC-CV56MP 1.5											
750	標準											
	標準 PAC-CV56MP 0											
800	標準											
	標準 PAC-CV63MP 1.5											
850	標準											
	標準 PAC-CV64MP 3.5											
900	標準											
	標準 PAC-CV64MP 1.5											
950												
1000												
1050												

注 1. 標準仕様 電動機ブリー：2B125-28 送風機ブリー：2B300-32 電動機形名：SF-JR 3.7kW
 2. 標準時は機内抵抗：75Pa、機外静圧：100Pa、風量：210m³/minです。
 3. 機内抵抗は、温水・蒸気加熱器などを組込んだ場合に变化しますので補正が必要です。
 該当する部品の機内抵抗線図を参照の上、適宜補正してください。
 4. は受注対応を示します。
 5. 電動機の変更時のみ電磁開閉器の変更が必要です。
 6. 別売プレナム取付時は、上表の全静圧100Paの仕様にしてください。

1 段目	電動機形名
2 段目	電動機ブリー形名
3 段目	送風機ブリー形名
4 段目	スクロールダンパー目盛り

静風圧部品選定表

適用機種，PFAK-P800AW(M)-A
PFTK-P750AW(M)-A

50Hz

全静圧 Pa	風量m ³ /min														
	210	220	230	240	250	260	270	280	290	300	310	320	330	340	350
100	標準														
	PAC-CV59MP														
	PAC-CV76SP														
150	標準														
	PAC-CV59MP														
	PAC-CV76SP														
200	標準														
	PAC-CV62MP														
	PAC-CV62MP														
250	標準														
	PAC-CV62MP														
	PAC-CV62MP														
300	標準														
	PAC-CV62MP														
	PAC-CV62MP														
350	標準														
	PAC-CV62MP														
	PAC-CV62MP														
400	標準														
	PAC-CV62MP														
	PAC-CV62MP														
450	標準														
	PAC-CV64MP														
	PAC-CV64MP														
500	標準														
	PAC-CV64MP														
	PAC-CV64MP														
550	標準														
	PAC-CV64MP														
	PAC-CV64MP														
600	標準														
	PAC-CV65MP														
	PAC-CV65MP														
650	標準														
	PAC-CV66MP														
	PAC-CV66MP														
700	標準														
	PAC-CV66MP														
	PAC-CV66MP														
750	標準														
	PAC-CV66MP														
	PAC-CV66MP														
800	標準														
	PAC-CV67MP														
	PAC-CV67MP														
850	標準														
	PAC-CV67MP														
	PAC-CV67MP														
900	標準														
950	標準														
1000	標準														
1050	標準														

注 1. 標準仕様 電動機ブーリー：2B145-38 送風機ブーリー：2B300-32 電動機形名：SF-JR 5.5kW
 2. 標準時は機内抵抗：110Pa、機外静圧：100Pa、風量：260m³/minです。
 3. 機内抵抗は、温水・蒸気加熱器などを組込んだ場合に変わりますので補正が必要です。
 該当する部品の機内抵抗線図を参照の上、適宜補正してください。
 4. は受注対応を示します。
 5. 電動機の変更時のみ電磁閉閉器の変更が必要です。
 6. 別売プレナム取付時は、上表の全静圧150Paの仕様にてしてください。

1段目	電動機形名
2段目	電動機ブーリー形名
3段目	送風機ブーリー形名
4段目	スクロールダンパー目盛り

静風圧部品選定表

適用機種，PFAK-P800AW(M)-A
PFTK-P750AW(M)-A

60Hz

全静圧 Pa	風量 m ³ /min														
	210	220	230	240	250	260	270	280	290	300	310	320	330	340	350
100	標準														
	PAC-CV60MP PAC-CV77SP														
	3.5	3	2.5	2											
150	標準														
	PAC-CV60MP PAC-CV77SP														
	2	1.5	1	0.5	0	3	2.5	2	1.5	1					
200	標準														
	PAC-CV60MP PAC-CV77SP														
	1	0.5	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1.5	4	3.5	3	2.5
250	標準														
	PAC-CV59MP														
	4	3.5	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1.5	1	0.5	3.5	3	2.5	2
300	標準														
	PAC-CV59MP														
	2.5	2	1	1	0.5	0	1.5	1	0.5	0	3	2.5	2	2	
350	標準														
	PAC-CV59MP														
	1	0.5	0	2	1.5	1	0.5	0	2	3	2.5	2	1.5	1	
400	標準														
	PAC-CV61MP														
	2	1.5	1	1	0.5	0	2	1.5	1	2	1.5	1.5	1		
450	標準														
	PAC-CV61MP														
	0.5	0.5	3.5	2	1.5	1	0.5	2	1.5	1	0.5				
500	標準														
	PAC-CV61MP														
	3.5	3	2	1.5	1	0.5	0	1.5	1	0.5	0.5	0			
550	標準														
	PAC-CV61MP														
	2	1.5	1	0.5	0	1	1	0.5	0	3	2.5				
600	標準														
	PAC-CV61MP														
	0.5	0	2	1	1	0.5	0	3.5	3	2.5	2				
650	標準														
	PAC-CV62MP														
	1.5	1	0.5	0	2	3.5	3	2.5	2	1.5					
700	標準														
	PAC-CV62MP														
	0	2.5	2	1.5	1	3	2.5	2	1.5						
750	標準														
	PAC-CV63MP														
	1.5	1	0.5	0	2.5	2	1.5	1	0.5						
800	標準														
	PAC-CV63MP														
	0	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0							
850	標準														
	PAC-CV64MP														
	2	1.5	1	0.5	0										
900	標準														
	PAC-CV64MP														
	0	0													
950															
1000															
1050															

注 1. 標準仕様 電動機ブロー：2B145-38 送風機ブロー：2B300-32 電動機形名：SF-JR 5.5kW
 2. 標準時は機内抵抗：110Pa、機外静圧：310Pa、風量：260m³/minです。
 3. 機内抵抗は、温水・蒸気加熱器などを組込んだ場合に変わりますので補正が必要です。
 該当する部品の機内抵抗線図を参照の上、適宜補正してください。
 4. は受注対応を示します。
 5. 電動機の変更時のみ電磁開閉器の変更が必要です。
 6. 別売プレナム取付時は、上表の全静圧150Paの仕様にてしてください。

1 段目	電動機形名
2 段目	電動機ブロー形名
3 段目	送風機ブロー形名
4 段目	スクロールダンパー目盛り

静風圧部品選定表

適用機種，PFAK-P1120,1400AW(M)-A-L,R
PFTK-P1000,1250AW(M)-A-L,R

50Hz

標準仕様（P1120，P1000形）

電動機	送風機プーリー	Vベルト	電動機プーリー	51F設定値 (過電流継電器)
7.5kW防滴保護形	2B355-42	B93	2B160-38	29A

標準仕様（P1400，P1250形）

電動機	送風機プーリー	Vベルト	電動機プーリー	51F設定値 (過電流継電器)
11kW防滴保護形	2C355-42	C91	2C165-42	49A

No.	回転数(rpm)	モーター5.57.5kW用 B2(B形・2本掛け)REDラベル			モーター11,15kW用 C2(C形・2本掛け)REDラベル		
		モーター側プーリー 呼び径(mm)	ファン側プーリー 呼び径(mm)	Vベルト 呼び番号	モーター側プーリー 呼び径(mm)	ファン側プーリー 呼び径(mm)	Vベルト 呼び番号
1	1168				224	280	91
2	1150				315	400	104
3	1112				240	315	94
4	1095	300	400	105	300	400	103
5	1043	200	280	92	200	280	89
6	1038	224	315	95	224	315	93
7	1022	280	400	104	280	400	102
8	987				240	355	96
9	971	236	355	99	236	355	96
10	967				265	400	101
11	939	180	280	91	180	280	88
12	913	250	400	102	250	400	100
13	885				191	315	91
14	876	180	300	92			
15	861	236	400	102			
16	834	180	315	93	180	315	90
17	818	224	400	101			
18	774	212	400	100			
19	730	200	400	99			
20	716				165	355	91
21	694	190	400	99			
22	682	160	355	93			
23	657	180	400	98			
24	602	165	400	97			

- 注 1. モーターを5.5kWにした場合、51F(過電流継電器)の設定値は22.5Aとなります。
 2. モーターを7.5kWにした場合、51F(過電流継電器)の設定値は29Aとなります。
 3. モーターを11kWにした場合、51F(過電流継電器)の設定値は49Aとなります。
 4. モーターを15kWにした場合、51F(過電流継電器)の設定値は57Aとなります。
 5. P1120、P1000形の標準仕様は機内抵抗250Pa、機外静圧62Pa、風量360m³/minです。
 6. P1400、P1250形の標準仕様は機内抵抗210Pa、機外静圧82Pa、風量450m³/minです。
 7. 機内抵抗はフレドフィルター、蒸気・温水ヒーターなど受注部品を組込んだ場合に変わりますので、補正が必要です。
 該当する部品の圧損線図を参照の上、補正をしてください。
 8. 上表のNo.は送風機性能線図(P142)のプーリー組合せNo.を示します。

静風圧部品選定表

適用機種，PFAK-P1120,1400AW(M)-A-L,R
PFTK-P1000,1250AW(M)-A-L,R

60Hz

標準仕様（P1120，P1000形）

電動機	送風機プーリー	Vベルト	電動機プーリー	51F設定値 (過電流継電器)
7.5kW防滴保護形	2B355-42	B93	2B160-38	29A

標準仕様（P1400，P1250形）

電動機	送風機プーリー	Vベルト	電動機プーリー	51F設定値 (過電流継電器)
11kW防滴保護形	2C355-42	C91	2C165-42	49A

No.	回転数(rpm)	モーター5.5/7.5kW用			モーター11,15kW用		
		B2(B形・2本掛け)REDラベル			C2(C形・2本掛け)REDラベル		
		モーター側プーリー 呼び径(mm)	ファン側プーリー 呼び径(mm)	Vベルト 呼び番号	モーター側プーリー 呼び径(mm)	ファン側プーリー 呼び径(mm)	Vベルト 呼び番号
1	1183				240	355	96
2	1159				265	400	101
3	1125				180	280	88
4	1094	250	400	102	250	400	100
5	1061				191	315	91
6	1056	109	315	93			
7	1050				240	400	99
8	1033	236	400	102	236	400	99
9	1000				180	315	90
10	980	224	400	101	224	400	98
11	963	165	300	91	165	300	88
12	942				191	355	93
13	928	212	400	100	212	400	98
14	917				165	315	89
15	887	180	355	95	180	355	93
16	875	200	400	99			
17	854				165	355	91
18	831	190	400	99			
19	812	160	355	93			
20	788	180	400	98			
21	778	140	315	90			
22	739	150	355	94			
23	722	165	400	97			
24	700	160	400	97			
25	656	150	400	95			

- 注 1. モーターを5.5kWにした場合、51F(過電流継電器)の設定値は22.5Aとなります。
 2. モーターを7.5kWにした場合、51F(過電流継電器)の設定値は29Aとなります。
 3. モーターを11kWにした場合、51F(過電流継電器)の設定値は49Aとなります。
 4. モーターを15kWにした場合、51F(過電流継電器)の設定値は57Aとなります。
 5. P1120、P1000形の標準仕様は機内抵抗250Pa、機外静圧294Pa、風量360m³/minです。
 6. P1400、P1250形の標準仕様は機内抵抗210Pa、機外静圧294Pa、風量450m³/minです。
 7. 機内抵抗はフレドフィルター、蒸気・温水ヒーターなど受注部品を組込んだ場合に変わりますので、補正が必要です。
 該当する部品の圧損線図を参照の上、補正をしてください。
 8. 上表のNo.は送風機性能線図(P142)のプーリー組合せNo.を示します。

静風圧部品選定表

適用機種，PFAK-P167AW(M)-A-F

50Hz

全静圧 Pa	風量m ³ /min			
	15	20	25	28
100	標準			
	標準(224)			
	標準(A53)			
	標準			
	3	2・3/4	2・1/4	2
150	標準			
	PAC-CT05SP(180)			
	PAC-CJ50VB(A50)			
	標準			
	3・1/4	3・1/4	3	3
200	標準			
	PAC-CT05SP(180)			
	PAC-CJ50VB(A50)			
	標準			
	3/4	3/4	1/2	1/4
250	標準			
	PAC-CT03SP(132)			
	PAC-CJ17VB(A47)			
	標準			
	3・3/4	3・3/4	3・3/4	3・3/4
300	標準			
	PAC-CT03SP(132)			
	PAC-CJ17VB(A47)			
	標準			
	1・3/4	1・3/4	1・1/2	1・1/2
350	標準			
	PAC-CT02SP(118)			
	PAC-CJ17VB(A47)			
	標準			
	1・3/4	1・3/4	1・3/4	1・3/4
400	標準			
	PAC-CT02SP(118)			
	PAC-CJ17VB(A47)			
	標準			
	1/4	1/4	1/4	1/4
450	標準			
	PAC-CT01SP(90)			
	PAC-CJ14VB(A44)			
	標準			
	4	4	4	4
500	標準			
	PAC-CT01SP(90)			
	PAC-CJ14VB(A44)			
	標準			
	3・1/4	3・1/4	3・1/4	3・1/4
550	標準			
	PAC-CT01SP(90)			
	PAC-CJ14VB(A44)			
	標準			
	2・1/2	2・1/2	2・1/2	2・1/2
600	標準			
	PAC-CT01SP(90)			
	PAC-CJ14VB(A44)			
	標準			
	1・1/2	1・1/2	1・1/2	
650	標準			
	PAC-CT01SP(90)			
	PAC-CJ14VB(A44)			
	標準			
	1	1		

表中

- 出荷時の電動機ブーリー-PC (可変ブーリー)は77.9(スライドピース回転数 4・1/2)となっています。
- 機内抵抗はフィルドフィルター、温水・蒸気ヒーターなどを組込んだ場合に変わりますので補正が必要です。
該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。
機種により組込可能別売部品は異なります。
- ブーリー別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手配・使用してください。
- 電動機ブーリーのPCの調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。
- 電動機の変更時には、サーマル(熱動過電流継電器)の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。
- 標準仕様は機内抵抗40Pa 機外静圧85Pa 風量20m³/minです。
50Hz地区の場合、上記標準仕様にてご使用される時は、電動機ブーリー-PC (可変ブーリー)を
93.9(スライドピース回転数 1・1/4)にしてください。

1 段目	電動機形名
2 段目	送風機ブーリー形名(PC)
3 段目	使用ベルト形名(サイズ)
4 段目	電動機ブーリー形名
5 段目	スライドピース回転数

静風圧部品選定表

適用機種，PFAK-P167AW(M)-A-F

60Hz

全静圧 Pa	風量m ³ /min			
	15	20	25	28
100	標準			
	PAC-CT07SP(250)			
	PAC-CJ55VB(A55)			
	標準			
	4・1/2	4	3・1/2	3・1/4
150	標準			
	標準(224)			
	標準(A53)			
	標準			
	2・3/4	2・3/4	2・1/2	2・1/2
200	標準			
	PAC-CT05SP(180)			
	PAC-CJ50VB(A50)			
	標準			
	4	4	4	3・3/4
250	標準			
	PAC-CT05SP(180)			
	PAC-CJ50VB(A50)			
	標準			
	1・1/2	1・1/2	1・1/2	1・1/2
300	標準			
	PAC-CT04SP(150)			
	PAC-CJ49VB(A49)			
	標準			
	2・3/4	2・3/4	2・3/4	2・3/4
350	標準			
	PAC-CT04SP(150)			
	PAC-CJ49VB(A49)			
	標準			
	3/4	3/4	3/4	3/4
400	標準			
	PAC-CT03SP(132)			
	PAC-CJ17VB(A47)			
	標準			
	1・3/4	1・3/4	1・3/4	1・3/4
450	標準			
	PAC-CT03SP(132)			
	PAC-CJ17VB(A47)			
	標準			
	1/2	1/2	1/2	1/2
500	標準			
	PAC-CT02SP(118)			
	PAC-CJ17VB(A47)			
	標準			
	1・3/4	1・3/4	1・3/4	1・3/4
550	標準			
	PAC-CT02SP(118)			
	PAC-CJ17VB(A47)			
	標準			
	3/4	3/4	3/4	3/4
600	標準			
	PAC-CT02SP(118)			
	PAC-CJ17VB(A47)			
	標準			
	0	0	0	
650	標準			
	PAC-CT01SP(90)			
	PAC-CJ14VB(A44)			
	標準			
	4・1/4	4・1/4		

- 注1.出荷時の電動機7-リ-PC (可変プーリー)は77.9(スライドピース回転数 4・1/2)となっています。
 2.機内抵抗はフィードンフィルター、温水・蒸気ヒーターなどを組込んだ場合に変わりますので補正が必要です。
 該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。
 機種により組込可能別売部品は異なります。
 3.プーリー別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手配・使用してください。
 4.電動機プーリーのPC の調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。
 5.電動機の変更時には、サーマル(熱動過電流継電器)の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。
 6.標準仕様は機内抵抗40Pa 機外静圧85Pa 風量20m³/minです。

表中

1 段目	電動機形名
2 段目	送風機プーリー形名(PC)
3 段目	使用ベルト形名(サイズ)
4 段目	電動機プーリー形名
5 段目	スライドピース回転数

静風圧部品選定表

適用機種，PFAK-P265AW(M)-A-F

50Hz

全静圧 Pa	風量 m ³ /min			
	28	30	35	40
100	標準			
	標準 (280)			
	標準 (A 5 9)			
	標準			
	3・3/4			
150	標準			
	PAC-CT07SP (250)			
	PAC-CJ58VB (A 5 8)			
	標準			
	2	2・1/4		
200	標準			
	PAC-CT06SP (224)			
	PAC-CJ56VB (A 5 6)			
	標準			
	1	1・1/4		
250	標準			
	PAC-CT05SP (180)			
	PAC-CJ52VB (A 5 2)			
	標準			
	4	4・1/4		
300	標準			
	PAC-CT05SP (180)			
	PAC-CJ53VB (A 5 3)			
	標準			
	2	2・1/4		
350	標準			
	PAC-CT05SP (180)			
	PAC-CJ53VB (A 5 3)			
	標準			
	0	1/4		
400	標準			
	PAC-CT04SP (150)			
	PAC-CJ51VB (A 5 1)			
	標準			
	3	3・1/4		
450	標準			
	PAC-CT04SP (150)			
	PAC-CJ51VB (A 5 1)			
	標準			
	1・1/4	1・1/2	1・3/4	
500	標準			
	PAC-CT04SP (150)			
	PAC-CJ52VB (A 5 2)			
	標準			
	0	1/4		
550	標準			
	PAC-CT03SP (132)			
	PAC-CJ50VB (A 5 0)			
	標準			
	2・1/4	2・1/2		
600	標準			
	PAC-CT03SP (132)			
	PAC-CJ50VB (A 5 0)			
	標準			
	1	1・1/4		
650	標準			
	PAC-CT02SP (118)			
	PAC-CJ49VB (A 4 9)			
	標準			
	3	3・1/4		
700	標準			
	PAC-CT02SP (118)			
	PAC-CJ49VB (A 4 9)			
	標準			
	2	2・1/4		

- 注1. 出荷時の電動機プーリーPC (可変プーリー)は116.7(スライドピース回転数 4・3/4)、送風機プーリーPC は 280となっています。
2. 機内抵抗はフィレドフィルター、温水・蒸気ヒーターなど別売部品を組み込んだ場合に変わりますので補正が必要です。該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。
3. プーリー別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手配・使用してください。
4. 電動機プーリーのPC の調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。
5. 電動機の変更時には、サーマル(熱動過電流継電器)の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。
6. 標準仕様は機内抵抗55Pa 機外静圧90Pa 風量35m³/minです。
 . 50Hz地区の場合、上記標準仕様にてご使用される時は、電動機プーリーPC (可変プーリー)を 140 (スライドピース回転数 0) にしてください。

表中

1 段目	電動機形名
2 段目	送風機プーリー形名(PC)
3 段目	使用ベルト形名(サイズ)
4 段目	電動機プーリー形名
5 段目	スライドピース回転数

静風圧部品選定表

適用機種，PFAK-P265AW(M)-A-F

60Hz

全静圧 Pa	風量 m ³ /min			
	28	30	35	40
100	標準			
150	標準 (280)			
	標準 (A 5 9)			
	標準 4			
200	標準			
	標準 (280)			
	標準 (A 5 9)			
250	標準			
	0			
	標準 (250)			
	標準 (A 5 8)			
300	標準			
	標準 (224)			
	標準 (A 5 6)			
	標準			
350	標準			
	標準 (180)			
	標準 (A 5 2)			
	標準			
400	標準			
	標準 (180)			
	標準 (A 5 2)			
	標準			
450	標準			
	標準 (180)			
	標準 (A 5 3)			
	標準			
500	標準			
	標準 (180)			
	標準 (A 5 3)			
	標準			
550	標準			
	標準 (150)			
	標準 (A 5 0)			
	標準			
600	標準			
	標準 (150)			
	標準 (A 5 1)			
	標準			
650	標準			
	標準 (150)			
	標準 (A 5 1)			
	標準			
700	標準			
	標準 (132)			
	標準 (A 4 9)			
	標準			

- 注1. 出荷時の電動機プリー-PC (可変プリー)は116.7(スライドピース回転数 4・3/4)、送風機プリー-PC は 280となっています。
2. 機内抵抗はフレンドフィルター、温水・蒸気ヒーターなど別売部品を組込んだ場合に変わりますので補正が必要です。該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。
3. プリー別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手配・使用してください。
4. 電動機プリーのPC の調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。
5. 電動機の変更時には、サーマル(熱動過電流継電器)の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。
6. 標準仕様は機内抵抗55Pa 機外静圧90Pa 風量35m³/minです。

表中

1 段目	電動機形名
2 段目	送風機プリー形名(PC)
3 段目	使用ベルト形名(サイズ)
4 段目	電動機プリー形名
5 段目	スライドピース回転数

静風圧部品選定表

適用機種，PFAK-P335AW(M)-A-F

50Hz

全静圧 Pa	風量 m ³ /min				
	36	40	45	50	54
150	標準				
	標準 (280)				
	標準 (A 5 9)				
	標準 1				
200	標準				
	PAC-CT06SP (224)				
	PAC-CJ56VB (A 5 6)				
	標準 3				
250	標準				
	PAC-CT05SP (180)				
	PAC-CJ52VB (A 5 2)				
	標準 4・3 / 4				
300	標準				
	PAC-CT05SP (180)				
	PAC-CJ53VB (A 5 3)				
	標準 2・1 / 4				
350	標準				
	PAC-CT04SP (150)				
	PAC-CJ50VB (A 5 0)				
	標準 4・3 / 4				
400	標準				
	PAC-CT04SP (150)				
	PAC-CJ51VB (A 5 1)				
	標準 3				
450	標準				
	PAC-CT03SP (132)				
	PAC-CJ49VB (A 4 9)				
	標準 4・3 / 4				
500	標準				
	PAC-CT03SP (132)				
	PAC-CJ50VB (A 5 0)				
	標準 3・1 / 2				
550	標準				
	PAC-CT03SP (132)				
	PAC-CJ50VB (A 5 0)				
	標準 2・1 / 4				
600	標準				
	PAC-CT03SP (132)				
	PAC-CJ50VB (A 5 0)				
	標準 3 / 4				
650	標準				
	PAC-CT02SP (118)				
	PAC-CJ49VB (A 4 9)				
	標準 2・3 / 4				

- 注1. 出荷時の電動機ブリーパーPC (可変ブリーパー)は116.7(スライドピース回転数 4・3 / 4)、送風機ブリーパーPC は280となっています。
2. 機内抵抗はフィルドフィルター、温水・蒸気ヒーターなど別売部品を組込んだ場合に変わりますので補正が必要です。該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。
3. ブリーパー別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手配・使用してください。
4. 電動機ブリーパーのPC の調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。
5. 電動機の変更時には、サーマル(熱動過電流継電器)の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。
6. 標準仕様は機内抵抗85Pa 機外静圧80Pa 風量45m³/minです。
 . 50Hz地区の場合、上記標準仕様にてご使用される時は、電動機ブリーパーPC (可変ブリーパー)を140(スライドピース回転数 0)にしてください。

表中

1 段目	電動機形名
2 段目	送風機ブリーパー形名(PC)
3 段目	使用ベルト形名(サイズ)
4 段目	電動機ブリーパー形名
5 段目	スライドピース回転数

静風圧部品選定表

適用機種，PFAK-P335AW(M)-A-F

60Hz

全静圧 Pa	風量 m ³ /min				
	36	40	45	50	54
150	標準				
	標準 (280)				
	標準 (A 5 9)				
	標準				
	4・3/4				
200	標準				
	標準 (280)				
	標準 (A 5 9)				
	標準				
	2				
250	標準				
	PAC-CT07SP (250)				
	PAC-CJ58VB (A 5 8)				
	標準				
	1・1/2				
300	標準				
	PAC-CT06SP (224)				
	PAC-CJ56VB (A 5 6)				
	標準				
	1・1/2				
350	標準				
	PAC-CT05SP (180)				
	PAC-CJ52VB (A 5 2)				
	標準				
	4・3/4				
400	標準				
	PAC-CT05SP (180)				
	PAC-CJ53VB (A 5 3)				
	標準				
	3・1/4				
450	標準				
	PAC-CT05SP (180)				
	PAC-CJ53VB (A 5 3)				
	標準				
	1・3/4				
500	標準				
	PAC-CT05SP (180)				
	PAC-CJ54VB (A 5 4)				
	標準				
	1/4				
550	標準				
	PAC-CT04SP (150)				
	PAC-CJ51VB (A 5 1)				
	標準				
	3・3/4				
600	標準				
	PAC-CT04SP (150)				
	PAC-CJ51VB (A 5 1)				
	標準				
	2・1/4				
650	標準				
	PAC-CT04SP (150)				
	PAC-CJ51VB (A 5 1)				
	標準				
	1・1/4				

- 注1. 出荷時の電動機ブリーパーC (可変ブリーパー)は116.7(スライドピース回転数 4・3/4)、送風機ブリーパーC は 280となっています。
2. 機内抵抗はフィルドフィルター、温水・蒸気ヒーターなど別売部品を組込んだ場合に変わりますので補正が必要です。該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。
3. ブリーパー別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手配・使用してください。
4. 電動機ブリーパーのPC の調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。
5. 電動機の変更時には、サーマル(熱動過電流継電器)の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。
6. 標準仕様は機内抵抗85Pa 機外静圧80Pa 風量45m³/minです。

表中

1 段目	電動機形名
2 段目	送風機ブリーパー形名(PC)
3 段目	使用ベルト形名(サイズ)
4 段目	電動機ブリーパー形名
5 段目	スライドピース回転数

静風圧部品選定表

適用機種，PFAK-P530AW(M)-A-F

50Hz

全静圧 Pa	風量 m ³ /min						
	56	60	65	70	75	80	84
100Pa	標準(118)						
	PAC-CH51SP(355)						
	B70						
	標準(2.2kW)						
150Pa	標準(118)						
	標準(315)						
	B67 (標準)						
	標準(2.2kW)						
200Pa	標準(118)						
	PAC-CH48SP(280)						
	B65						
	標準(2.2kW)						
250Pa	標準(118)						
	PAC-CH47SP(236)						
	B62						
	標準(2.2kW)						
300Pa	標準(118)						
	PAC-CH46SP(224)						
	B62						
	標準(2.2kW)						
350Pa	標準(118)						
	PAC-CH44SP(200)						
	B60						
	標準(2.2kW)						
400Pa	標準(118)						
	PAC-CH43SP(190)						
	B59						
	標準(2.2kW)						
450Pa	標準(118)						
	PAC-CH42SP(180)						
	B59						
	標準(2.2kW)						
500Pa	標準(118)						
	PAC-CH41SP(170)						
	B58						
	標準(2.2kW)						
550Pa	PAC-CH62MP(125)						
	PAC-CH42SP(180)						
	B59						
	標準(2.2kW)						
600Pa	PAC-CH62MP(125)						
	PAC-CH41SP(170)						
	B58						
	標準(2.2kW)						

- 注1. 標準仕様 電動機ブリー：2B118-28 送風機ブリー：2B315-24 ベルトサイズ：B67
 サーマル：PAK-6JT(9A) 電動機形名：SF-JR2.2kW
 2. 表中のブリー径はPC を記載しています。外径はPC より11mm増加します。
 3. 標準時は機内抵抗：40Pa 機外静圧：110Pa 風量：70m³/minです。

表中

1段目	電動機ブリー形名(PC)
2段目	送風機ブリー形名(PC)
3段目	ベルトサイズ
4段目	電動機形名(容量)

静風圧部品選定表

適用機種，PFAK-P530AW(M)-A-F

60Hz

全静圧 Pa	風量 m ³ /min						
	56	60	65	70	75	80	84
100Pa	(X)						
150Pa	標準(118)						
	PAC-CH51SP(355)						
	B70						
	標準(2.2kW)						
200Pa	標準(118)						
	標準(315)						
	B67 (標準)						
	標準(2.2kW)						
250Pa	標準(118)						
	PAC-CH49SP(300)						
	B66						
	標準(2.2kW)						
300Pa	PAC-CH62MP(125)						
	PAC-CH48SP(280)						
	B65						
	標準(2.2kW)						
350Pa	標準(118)						
	PAC-CH39SP(250)						
	B63						
	標準(2.2kW)						
400Pa	標準(118)						
	PAC-CH47SP(236)						
	B62						
	標準(2.2kW)						
450Pa	PAC-CH62MP(125)						
	PAC-CH47SP(236)						
	B62						
	標準(2.2kW)						
500Pa	PAC-CH62MP(125)						
	PAC-CH46SP(224)						
	B62						
	標準(2.2kW)						
550Pa	標準(118)						
	PAC-CH44SP(200)						
	B60						
	標準(2.2kW)						
600Pa	標準(118)						
	PAC-CH43SP(190)						
	B59						
	標準(2.2kW)						

- 注1. 標準仕様 電動機ブリー：2B118-28 送風機ブリー：2B315-24 ベルトサイズ：B67
 サーマル：PAK-6JT(9A) 電動機形名：SF-JR2.2kW
 2. 表中のブリー径はPC を記載しています。外径はPC より11mm増加します。
 3. 標準時は機内抵抗：40Pa 機外静圧：180Pa 風量：70m³/minです。

表中

1 段目	電動機ブリー形名(PC)
2 段目	送風機ブリー形名(PC)
3 段目	ベルトサイズ
4 段目	電動機形名(容量)

静風圧部品選定表

適用機種，PFAK-P670AW(M)-A-F

50Hz

全静圧 Pa	風量 m ³ /min				
	72	80	90	100	108
100Pa	(この領域は斜線で消されています)				
150Pa	標準(125)				
	標準(315)				
	B66 (標準)				
	標準(3.7kW)				
200Pa	標準(125)				
	PAC-CH59SP(280)				
	B64				
	標準(3.7kW)				
250Pa	PAC-CH63MP(145)				
	PAC-CH60SP(300)				
	B66(標準)				
	標準(3.7kW)				
300Pa	PAC-CH63MP(145)				
	PAC-CH59SP(280)				
	B65				
	標準(3.7kW)				
350Pa	PAC-CH63MP(145)				
	PAC-CH40SP(250)				
	B63				
	標準(3.7kW)				
400Pa	PAC-CH63MP(145)				
	PAC-CH58SP(236)				
	B62				
	標準(3.7kW)				
450Pa	PAC-CH63MP(145)				
	PAC-CH57SP(224)				
	B61				
	標準(3.7kW)				
500Pa	PAC-CH63MP(145)				
	PAC-CH56SP(212)				
	B60				
	標準(3.7kW)				
550Pa	標準(125)				
	PAC-CH54SP(180)				
	B57				
	標準(3.7kW)				
600Pa	標準(125)				
	PAC-CH53SP(170)				
	B56				
	標準(3.7kW)				
650Pa	標準(125)				
	PAC-CH52SP(165)				
	B56				
	標準(3.7kW)				

表中

- 注1. 標準仕様 電動機プーリー：2B125-28 送風機プーリー：2B315-28 ベルトサイズ：B66
 サーマル：PAK-21JT(15A) 電動機形名：SF-JR3.7kW
 2. 表中のプーリー径はPC を記載しています。外径はPC より11mm増加します。
 3. 標準時は機内抵抗：50Pa 機外静圧：110Pa 風量：90m³/minです。

1段目	電動機プーリー形名(PC)
2段目	送風機プーリー形名(PC)
3段目	ベルトサイズ
4段目	電動機形名(容量)

静風圧部品選定表

適用機種，PFAK-P670AW(M)-A-F

60Hz

全静圧 Pa	風量 m ³ /min				
	72	80	90	100	108
100Pa	X				
150Pa					
200Pa					
250Pa	標準(125)				
	標準(315)				
	B66 (標準)				
	標準(3.7kW)				
300Pa	標準(125)				
	PAC-CH60SP(300)				
	B65				
	標準(3.7kW)				
350Pa	標準(125)				
	PAC-CH59SP(280)				
	B64				
	標準(3.7kW)				
400Pa	標準(125)				
	PAC-CH40SP(250)				
	B62				
	標準(3.7kW)				
450Pa	標準(125)				
	PAC-CH58SP(236)				
	B61				
	標準(3.7kW)				
500Pa	標準(125)				
	PAC-CH57SP(224)				
	B60				
	標準(3.7kW)				
550Pa	標準(125)				
	PAC-CH56SP(212)				
	B59				
	標準(3.7kW)				
600Pa	標準(125)				
	PAC-CH63MP(145)				
	PAC-CH58SP(236)				
	B62				
650Pa	標準(125)				
	PAC-CH55SP(200)				
	B59				
	標準(3.7kW)				

表中

- 注1. 標準仕様 電動機ブリー：2B125-28 送風機ブリー：2B315-28 ベルトサイズ：B66
 サーマル：PAK-21JT(15A) 電動機形名：SF-JR3.7kW
 2. 表中のブリー径はPC を記載しています。外径はPC より11mm増加します。
 3. 標準時は機内抵抗：50Pa 機外静圧：190Pa 風量：90m³/minです。

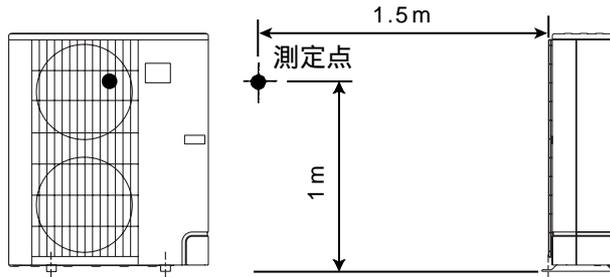
1 段目	電動機ブリー形名(PC)
2 段目	送風機ブリー形名(PC)
3 段目	ベルトサイズ
4 段目	電動機形名(容量)

3.騒音データ

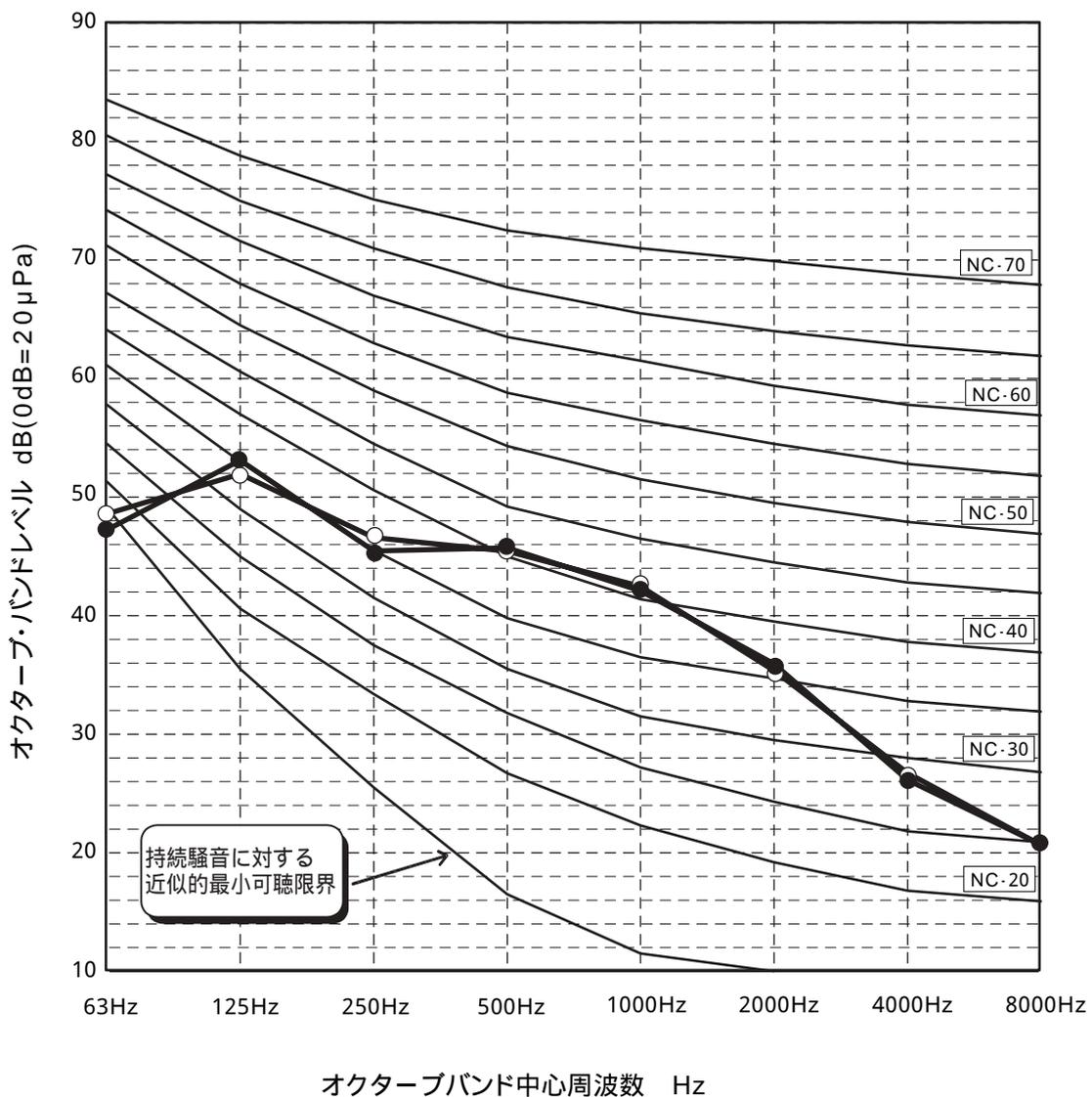
(1)室外ユニット

PU(H)K-P140AW-A

測定場所：無響音室
計 器：B&K

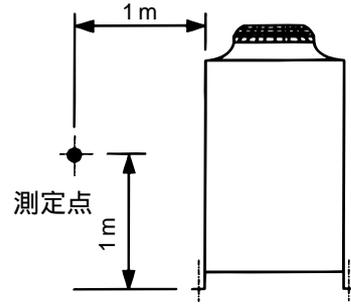
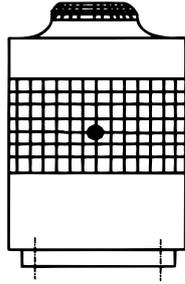


グラフ 記号	電波 周波数	バンド Hz								オーバーオール値 dB[A特性]
		63	125	250	500	1000	2000	4000	8000	
○	50	48.6	52.0	46.6	45.4	42.5	35.4	26.7	20.7	47.0
●	60	47.2	53.1	45.5	45.7	42.1	35.9	26.1	20.7	47.0

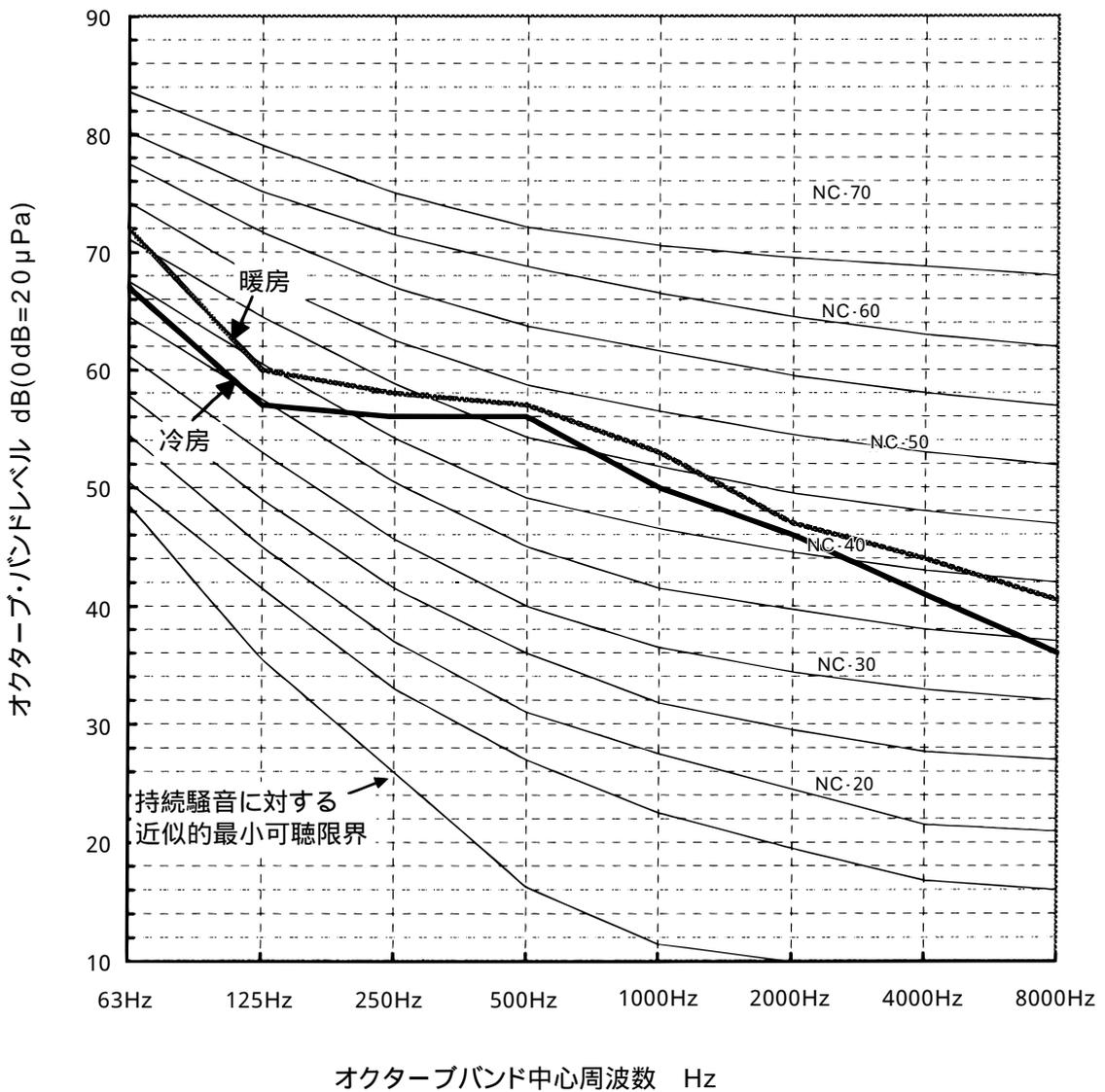


PUHK-P224AW-A

測定場所：無響音室
計器：B&K

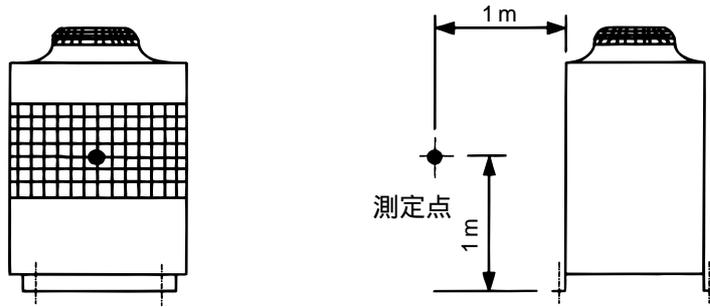


	63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A特性	(dB)
冷房	67	57	56	56	50	46	41	36	56	
暖房	72	60	58	57	53	47	44	41	58	

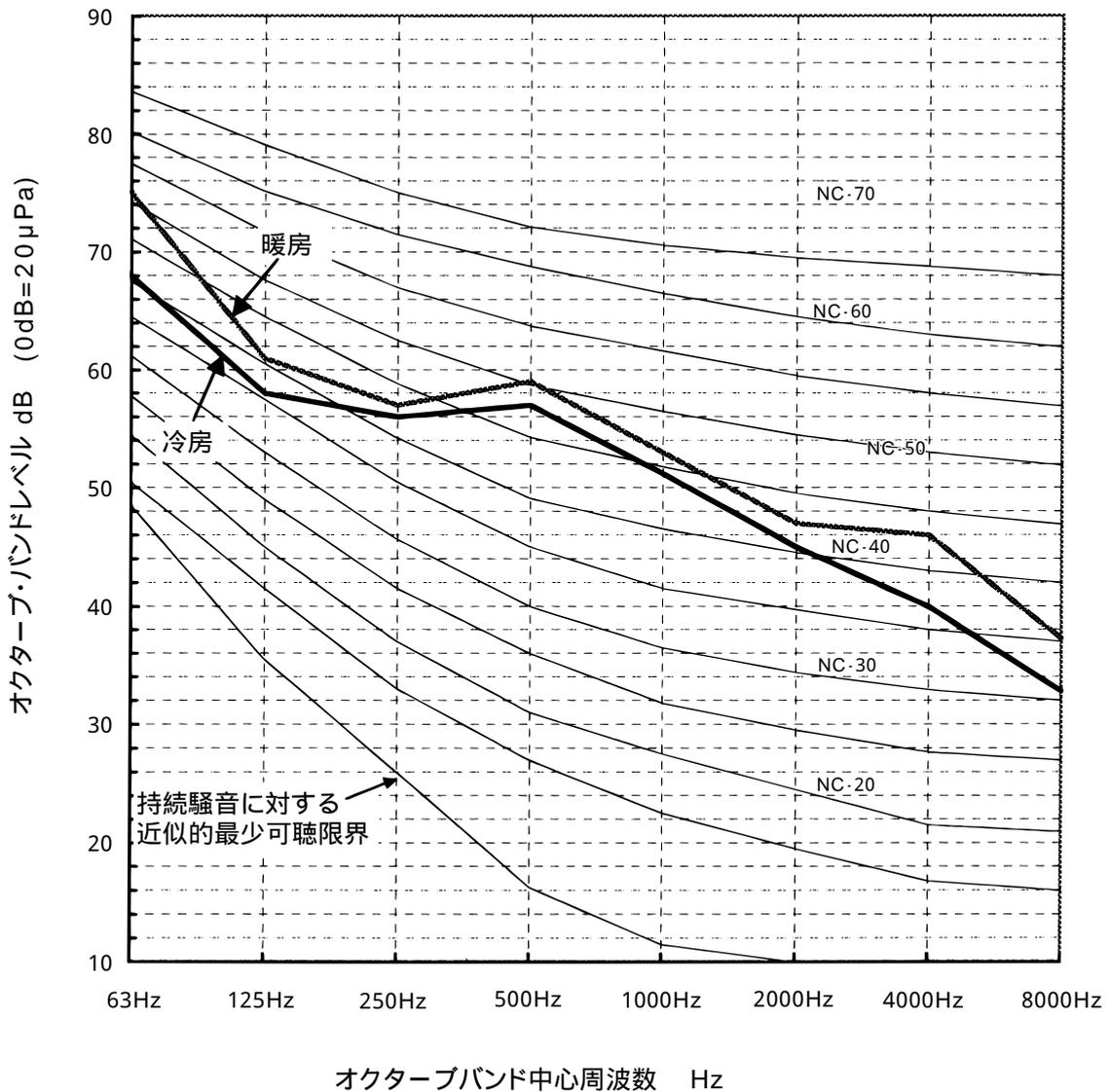


PUHK-P280AW-A

測定場所：無響音室
計 器：B&K

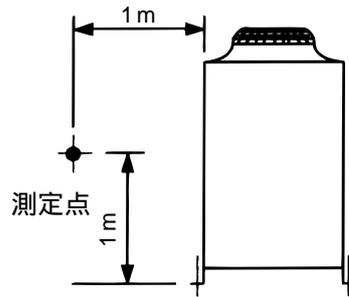
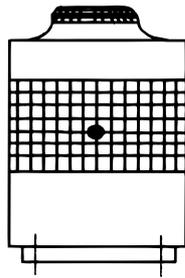


	63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A特性	(dB)
冷房	68	58	56	57	51	45	40	33	57	
暖房	75	61	57	59	53	47	46	37	59	

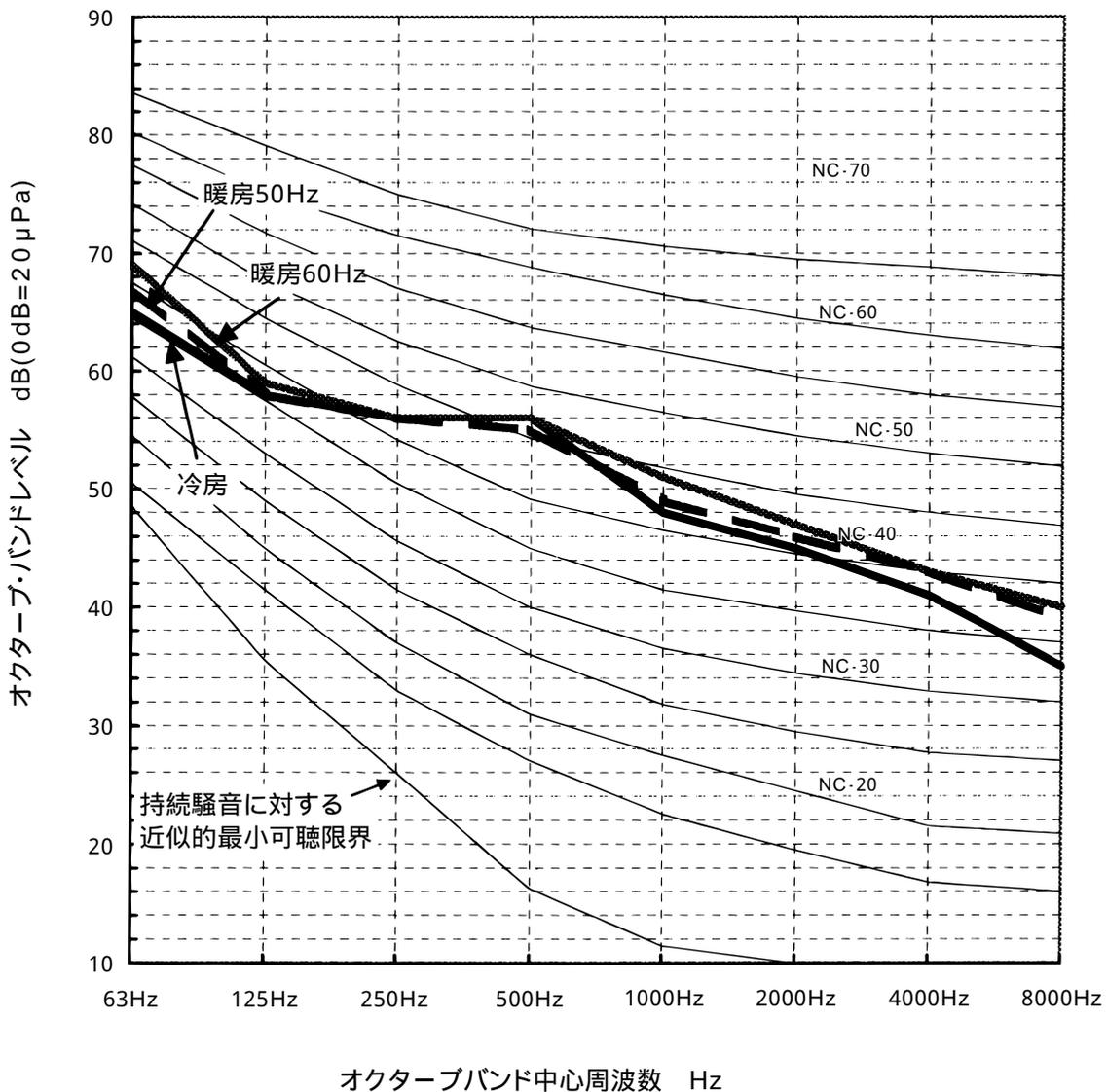


PUHK-P224UAW-A

測定場所：無響音室
計器：B&K

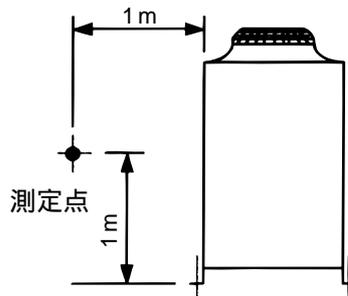
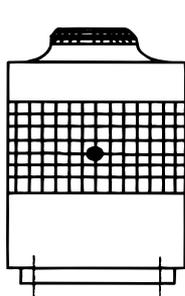


		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A特性	(dB)
冷房	50Hz	65	58	56	56	48	45	41	35	56	
冷房	60Hz	65	58	56	56	48	45	41	35	56	
暖房	50Hz	67	58	56	55	49	46	43	39	56	
暖房	60Hz	69	59	56	56	51	47	43	40	57	

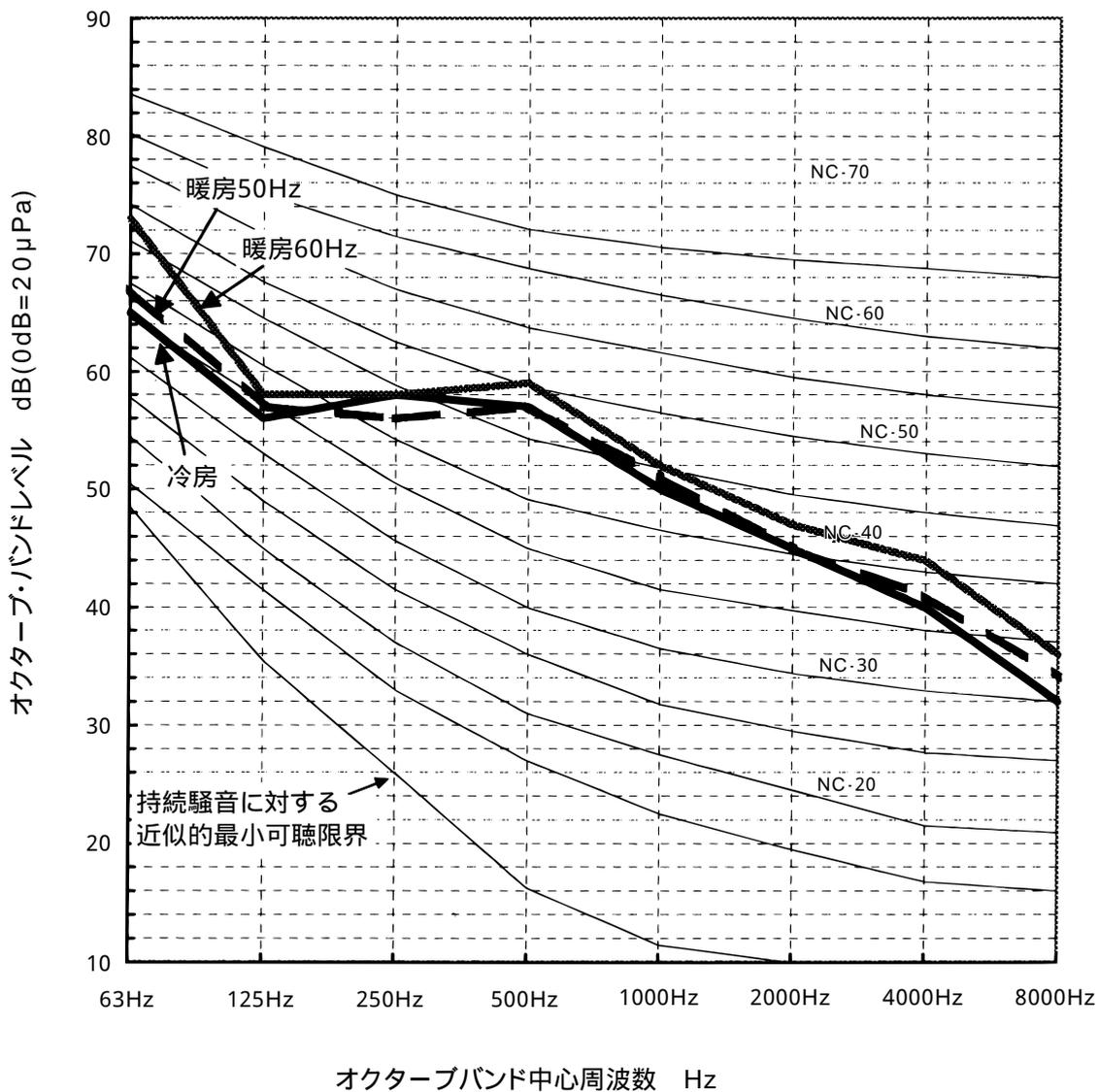


PUHK-P280UAW-A

測定場所：無響音室
計器：B&K

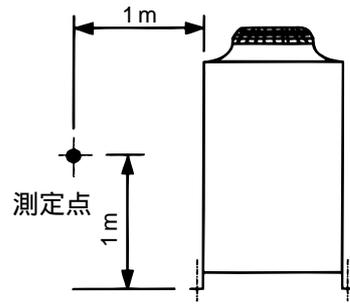
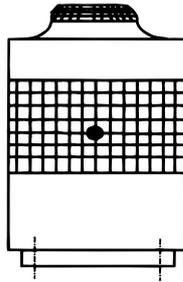


		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A特性	(dB)
冷房	50Hz	65	56	58	57	50	45	40	32	57	
冷房	60Hz	65	56	58	57	50	45	40	32	57	
暖房	50Hz	67	57	56	57	51	45	41	34	57	
暖房	60Hz	73	58	58	59	52	47	44	36	59	

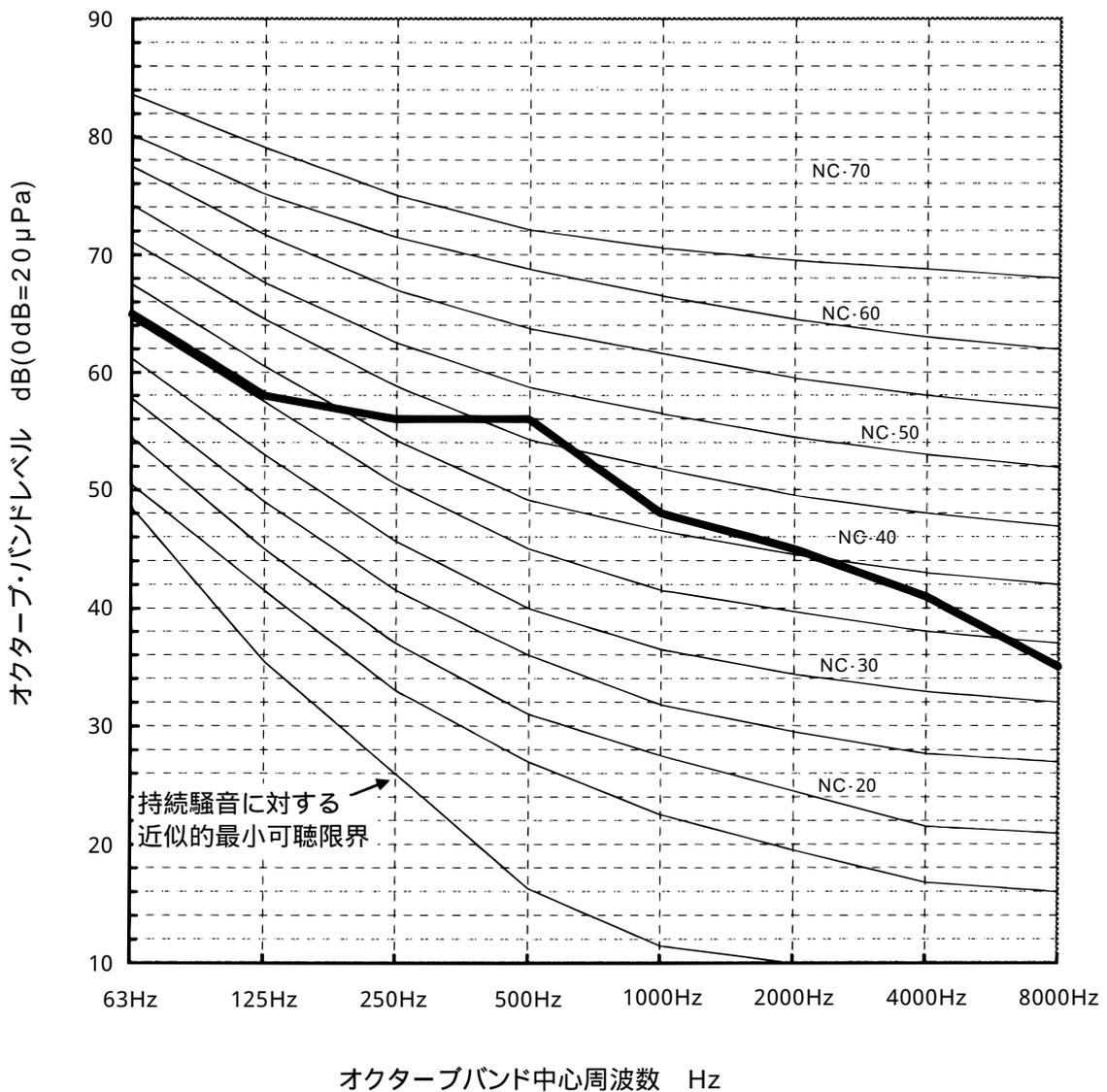


PUK-P224(U)AW-A

測定場所：無響音室
計器：B&K

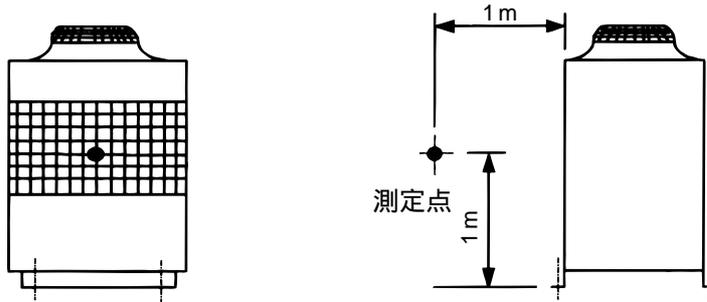


		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A特性	(dB)
冷房	50Hz	65	58	56	56	48	45	41	35	56	
冷房	60Hz	65	58	56	56	48	45	41	35	56	

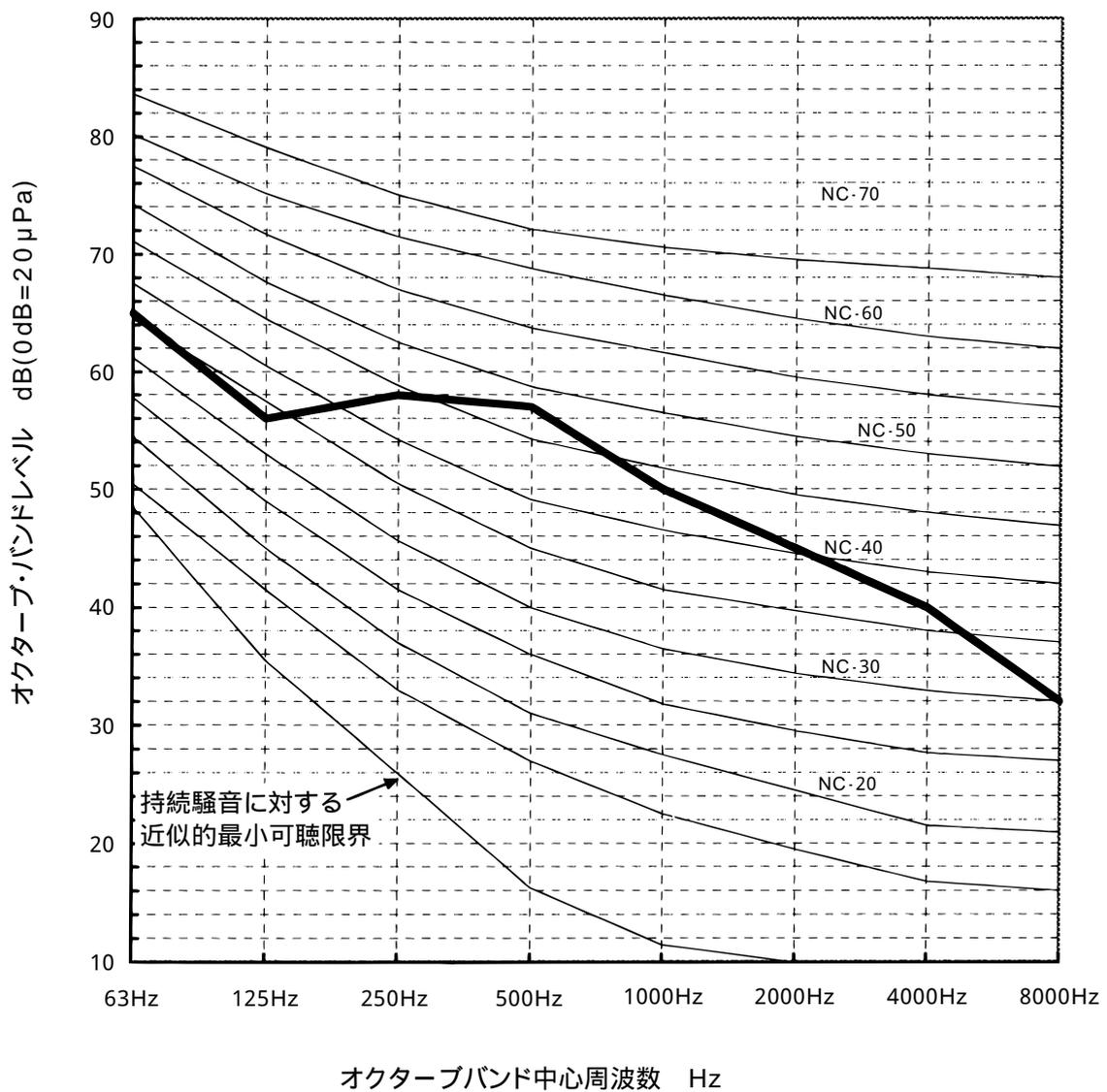


PUK-P280(U)AW-A

測定場所：無響音室
計器：B&K



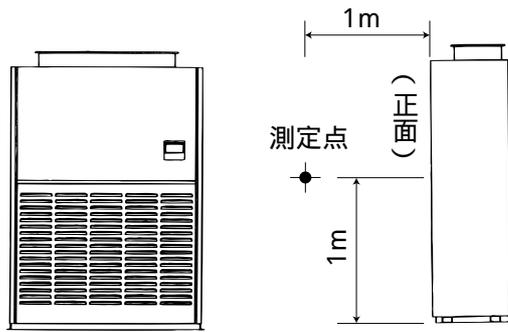
		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A特性	(dB)
冷房	50Hz	65	56	58	57	50	45	40	32	57	
冷房	60Hz	65	56	58	57	50	45	40	32	57	



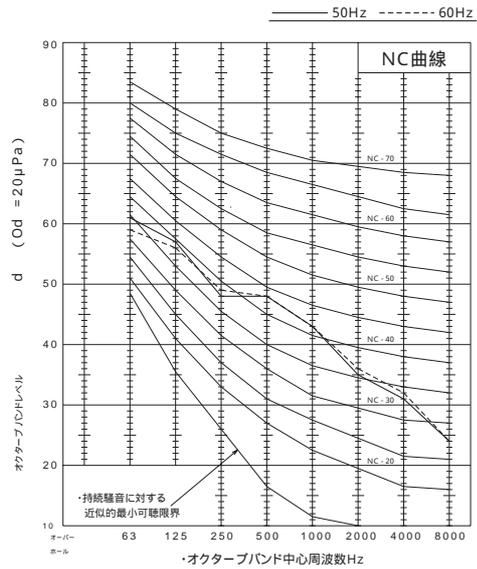
(2)室内ユニット

【測定条件】

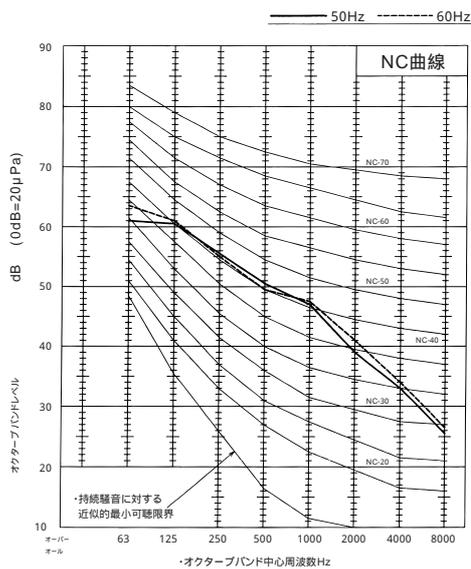
無響音室：暗騒音25dB(A)以下



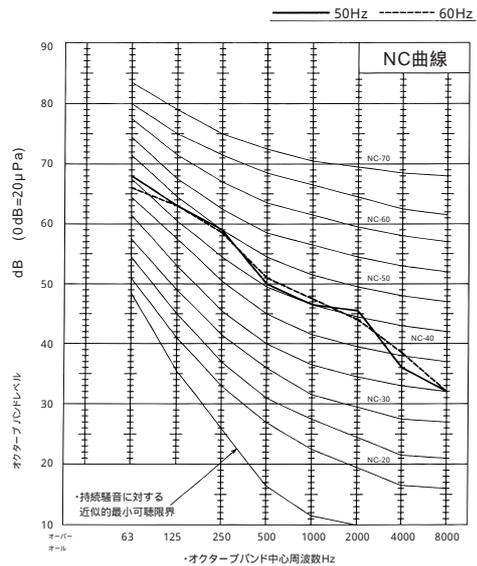
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P140AW(M)-A PFTK-P125AW(M)-A 標準	49/49



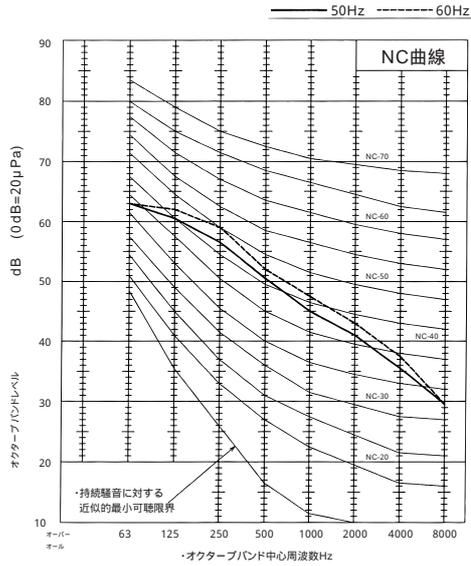
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P224AW(M)-A PFTK-P200AW(M)-A 標準	53/53



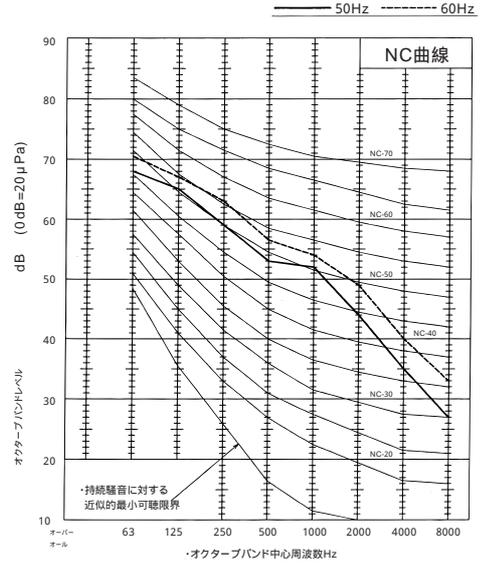
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P280AW(M)-A PFTK-P250AW(M)-A 標準	55/55



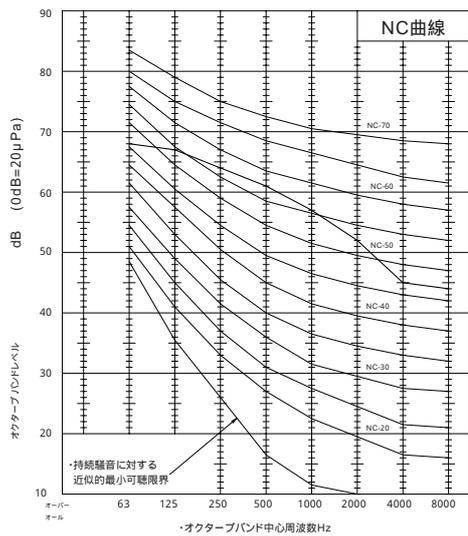
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P450AW(M)-A PFTK-P400AW(M)-A 標準	53/55



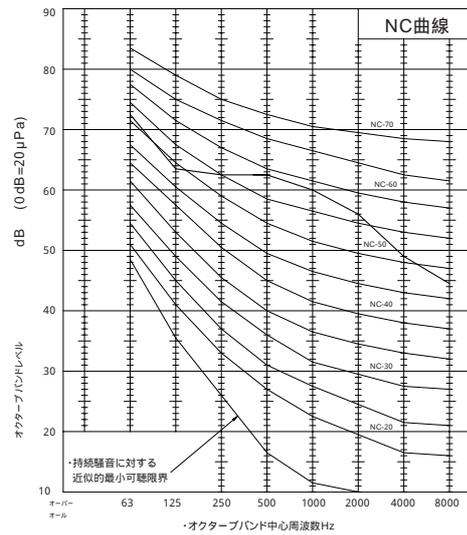
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P560AW(M)-A PFTK-P500AW(M)-A 標準	57/60



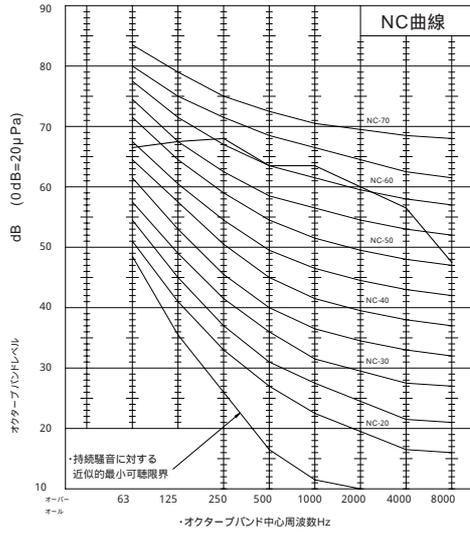
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P630AW(M)-A PFTK-P600AW(M)-A 標準	63/63



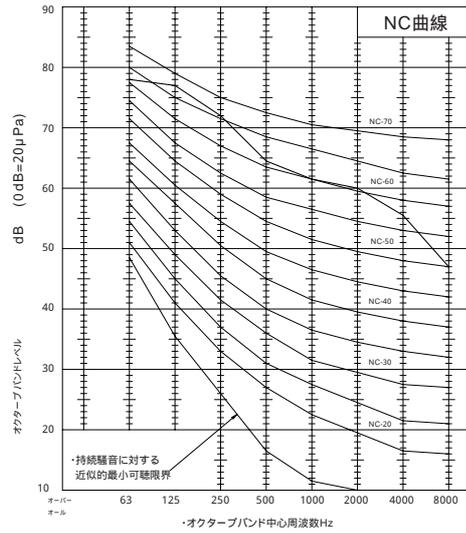
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P800AW(M)-A PFTK-P750AW(M)-A 標準	65/65



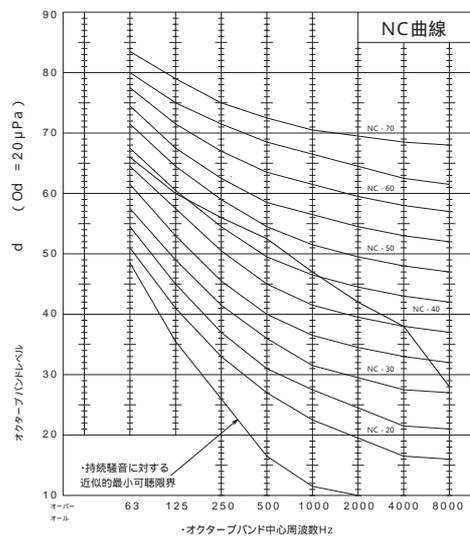
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P1120AW(M)-A-L,R PFTK-P1000AW(M)-A-L,R 標準	68/68



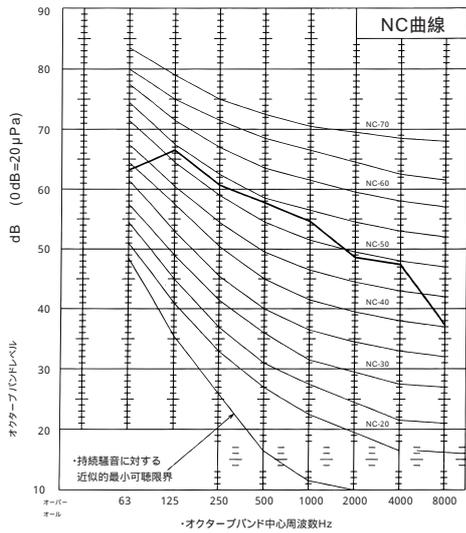
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P1400AW(M)-A-L,R PFTK-P1250AW(M)-A-L,R 標準	69/69



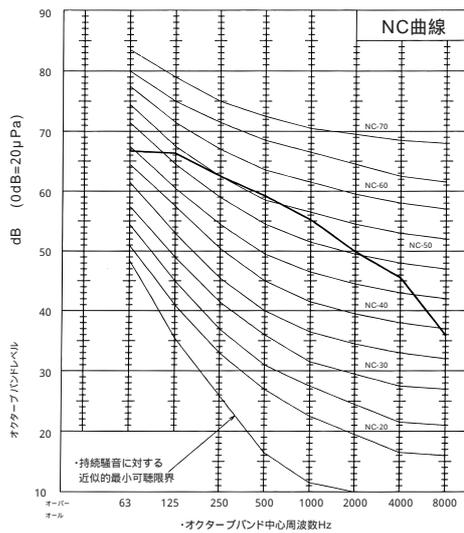
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P140AW(M)-A PFTK-P125AW(M)-A 別売プレナム取付時	54/54



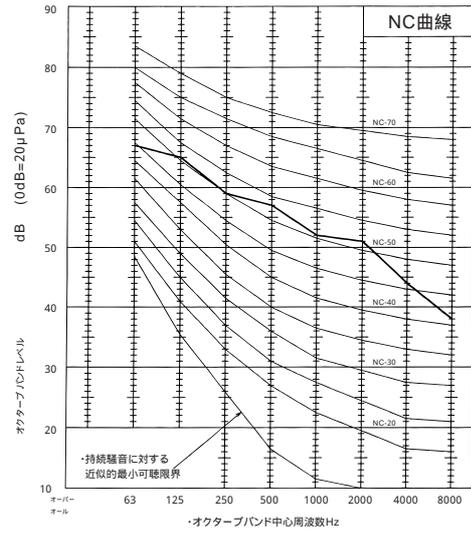
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P224AW(M)-A PFTK-P200AW(M)-A 別売プレナム取付時	60/60



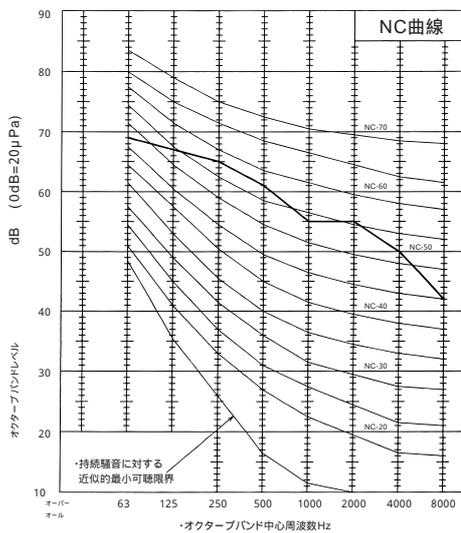
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P280AW(M)-A PFTK-P250AW(M)-A 別売プレナム取付時	61/61



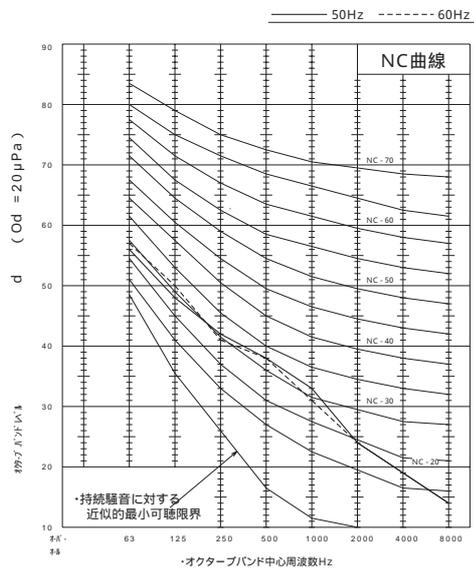
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P450AW(M)-A PFTK-P400AW(M)-A 別売プレナム取付時	59/59



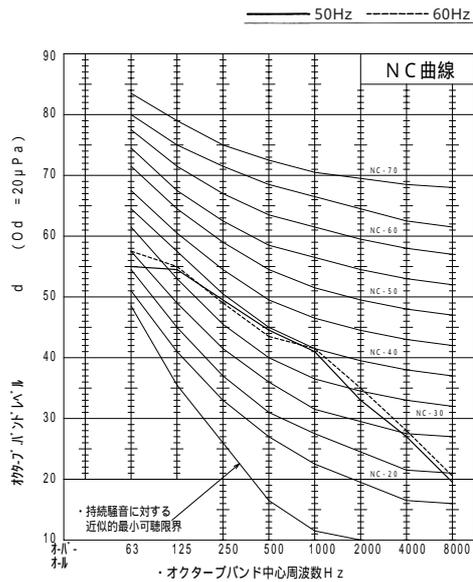
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P560AW(M)-A PFTK-P500AW(M)-A 別売プレナム取付時	63/63



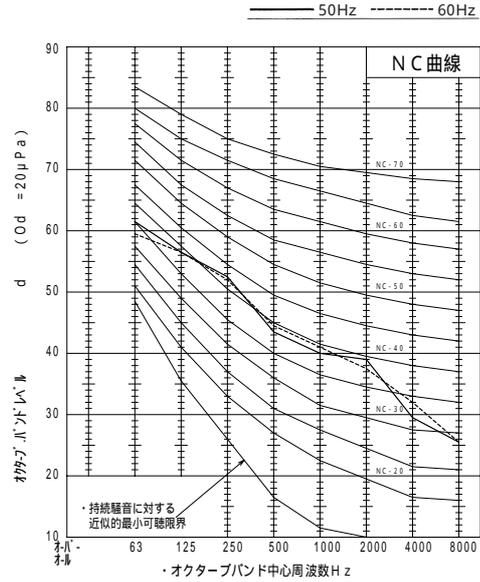
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P167AW(M)-A-F標準	40/40



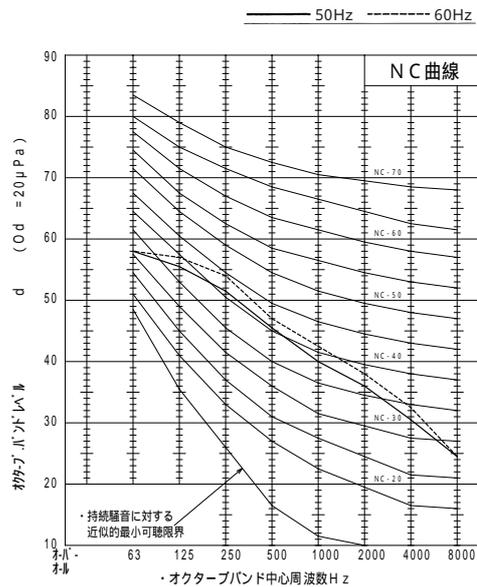
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P265AW(M)-A-F標準	53/53



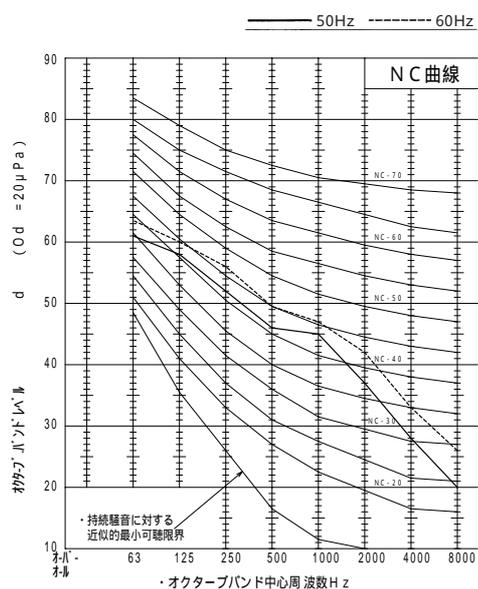
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P335AW(M)-A-F標準	55/55



形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P530AW(M)-A-F標準	53/55

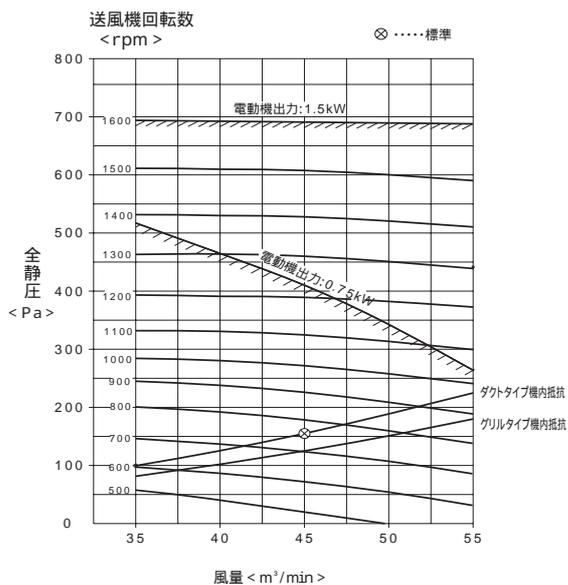


形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P670AW(M)-A-F標準	57/60

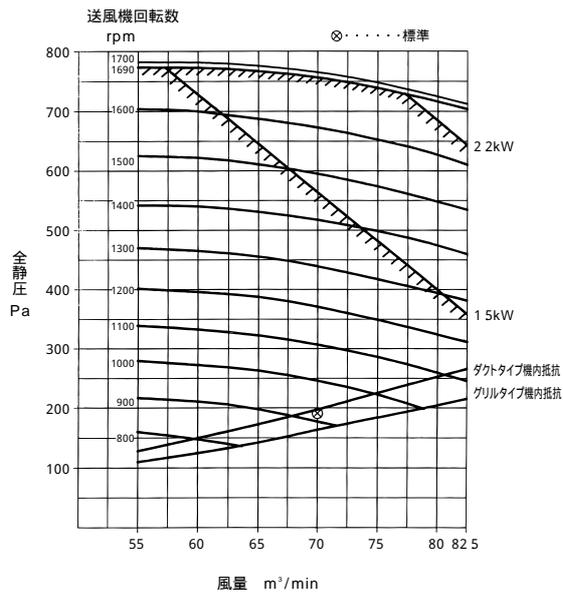


4.送風機性能線図

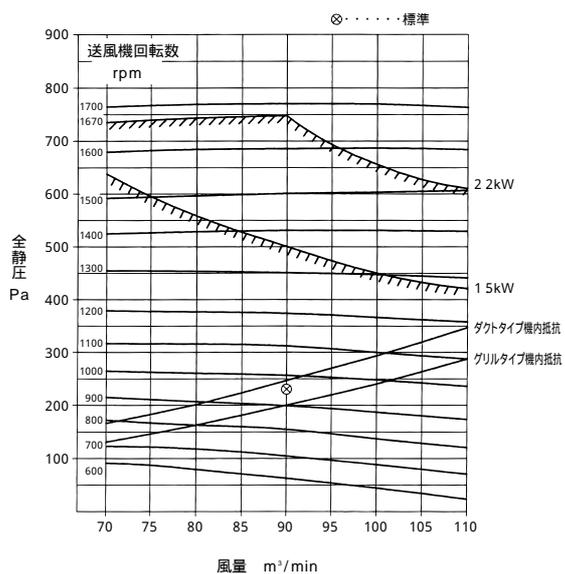
PFAK-P140AW(M)-A形
PFTK-P125AW(M)-A形



PFAK-P224AW(M)-A形
PFTK-P200AW(M)-A形

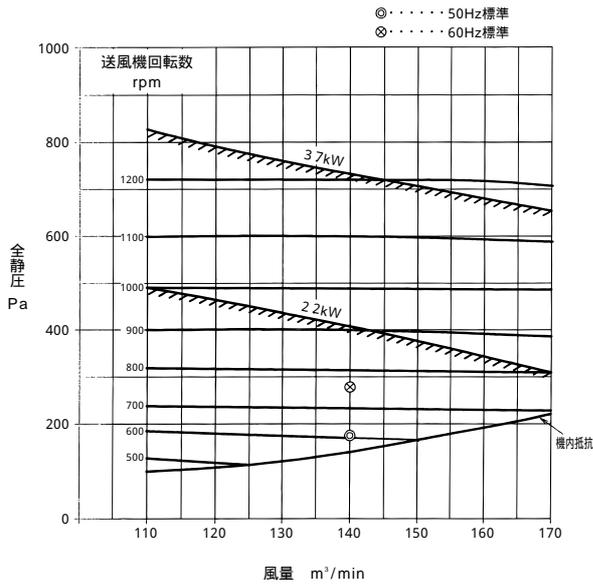


PFAK-P280AW(M)-A形
PFTK-P250AW(M)-A形

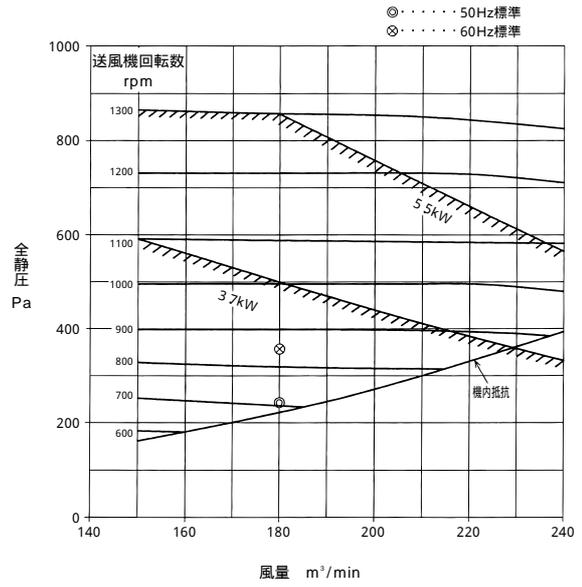


50Hz地区の場合、モータープーリー径（可変プーリー）を 140（出荷時は 116.7）に調整した値を示します。

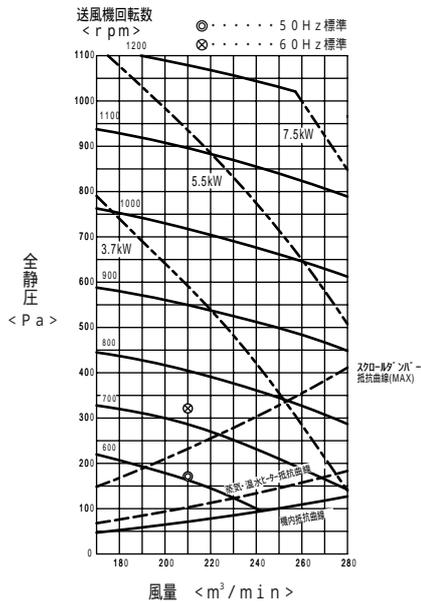
PFAK-P450AW(M)-A形
PFTK-P400AW(M)-A形



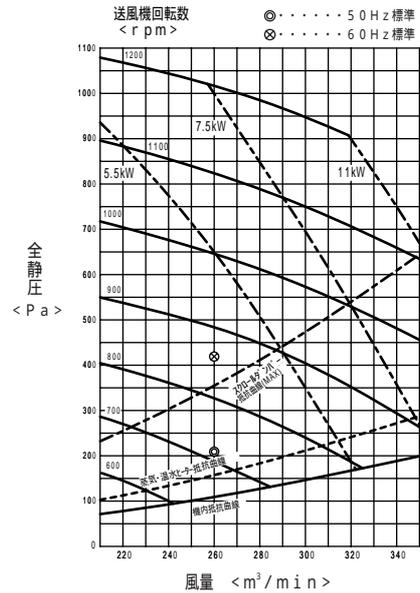
PFAK-P560AW(M)-A形
PFTK-P500AW(M)-A形



PFAK-P630AW(M)-A形
PFTK-P600AW(M)-A形

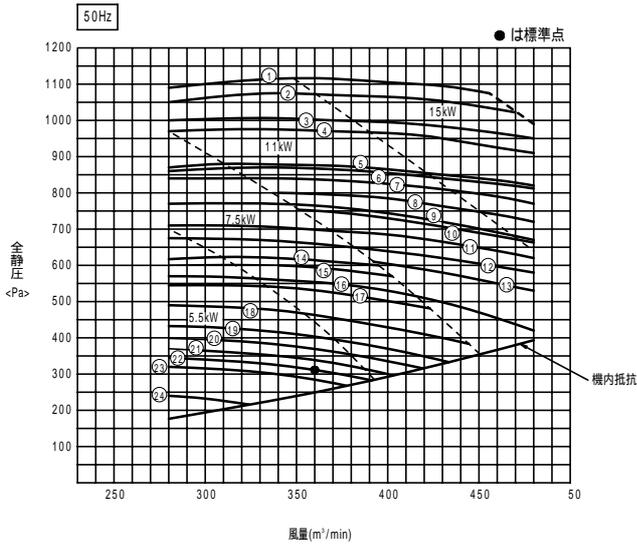


PFAK-P800AW(M)-A形
PFTK-P750AW(M)-A形

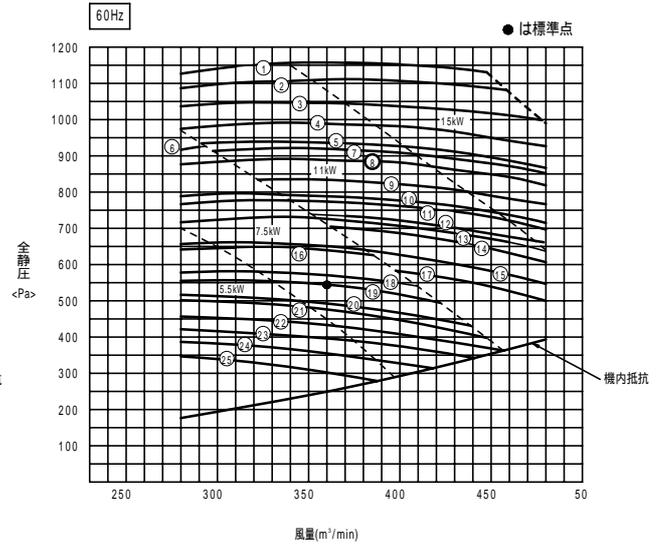


PFAK-P1120AW(M)-A-L,R形
PFTK-P1000AW(M)-A-L,R形

PFAK-P1120AW(M)-A-L,R形
PFTK-P1000AW(M)-A-L,R形



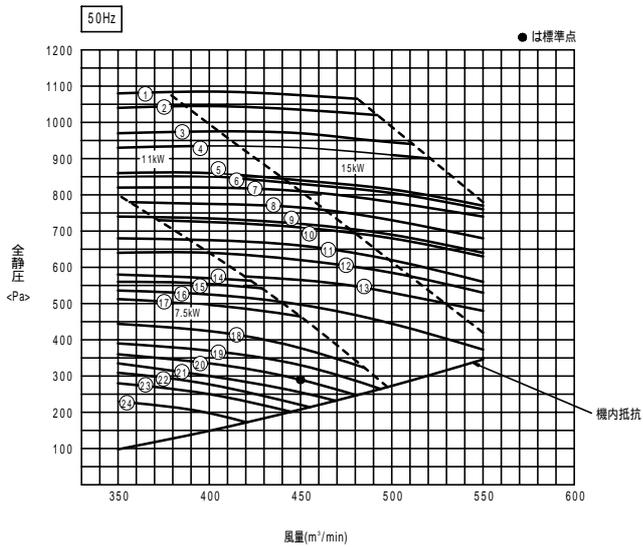
注1. ①-⑭はプーリー組合せNo.を示します。
プーリー径およびベルトサイズは静風圧部品選定表(P116)
の同じNo.のプーリー組合せを参照ください。



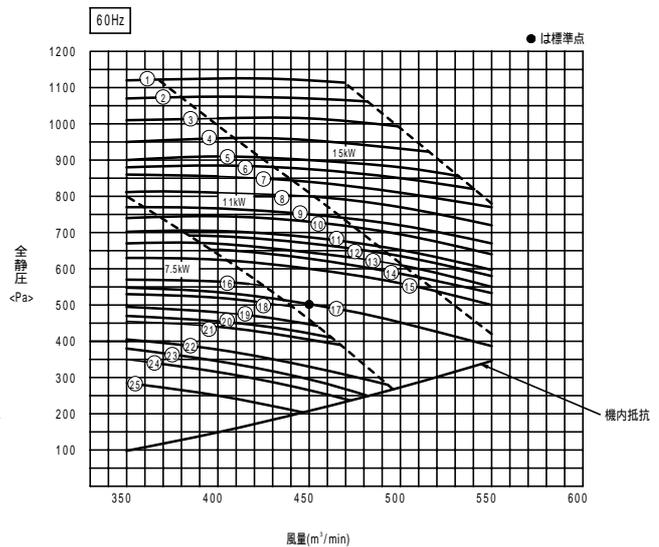
注1. ①-⑬はプーリー組合せNo.を示します。
プーリー径およびベルトサイズは静風圧部品選定表(P117)
の同じNo.のプーリー組合せを参照ください。

PFAK-P1400AW(M)-A-L,R形
PFTK-P1250AW(M)-A-L,R形

PFAK-P1400AW(M)-A-L,R形
PFTK-P1250AW(M)-A-L,R形

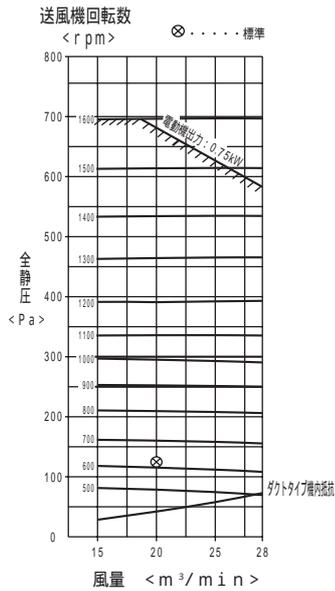


注1. ①-⑭はプーリー組合せNo.を示します。
プーリー径およびベルトサイズは静風圧部品選定表(P116)
の同じNo.のプーリー組合せを参照ください。



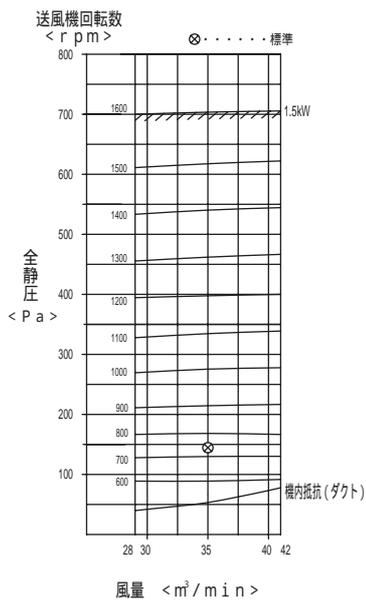
注1. ①-⑬はプーリー組合せNo.を示します。
プーリー径およびベルトサイズは静風圧部品選定表(P117)
の同じNo.のプーリー組合せを参照ください。

PFAK-P167AW(M)-A-F形



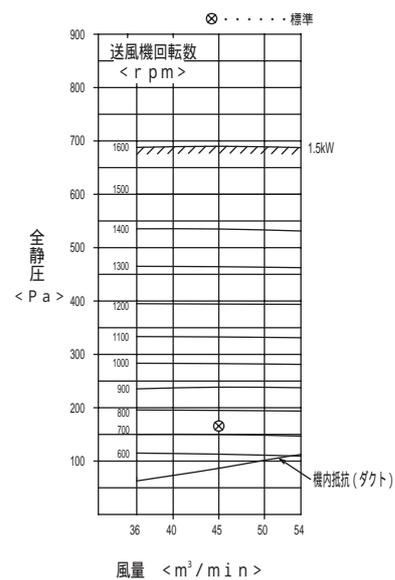
50Hz地区の場合、モータープーリー径（可変プーリー）を 93.9（出荷時は 77.9）に調整した値を示します。

PFAK-P265AW(M)-A-F形

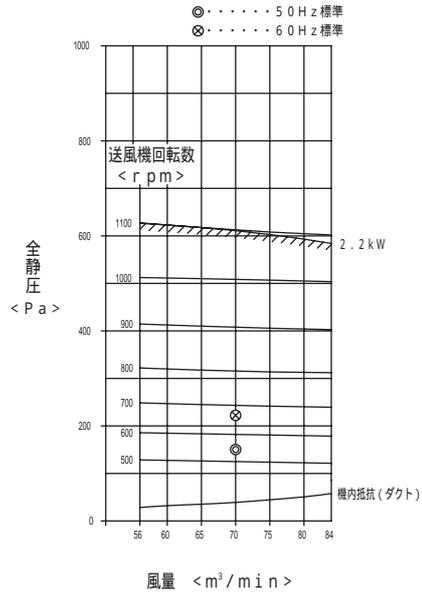


50Hz地区の場合、モータープーリー径（可変プーリー）を 140（出荷時は 116.7）に調整した値を示します。

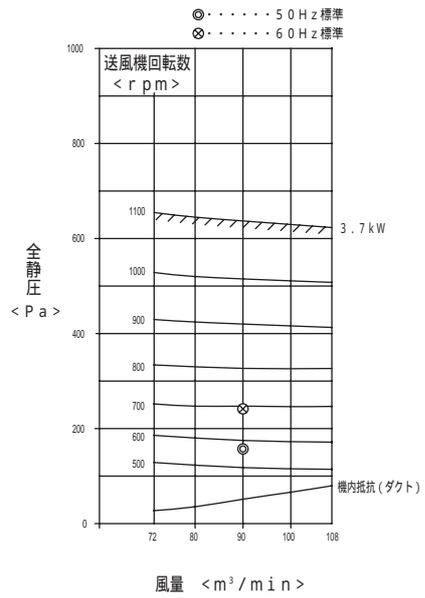
PFAK-P335AW(M)-A-F形



PFAK-P530AW(M)-A-F形



PFAK-P670AW(M)-A-F形



5.耐震強度計算書

(1)室外ユニット

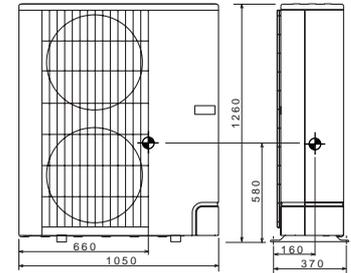
PU(H)K-P140AW-A

1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 108$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ $= M 10$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 78$ mm² = 78×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 580$ mm = 0.580 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 370$ mm = 0.370 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 160$ mm = 0.160 m
($L_g = L/2$)

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h/2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 1058.4$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 529.2$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 715.1$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 264.6$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 9.2$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 3.4$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合 $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6$ = 176.4 MPa
(但し $f_{ts} < f_t$)
 $= 9.2$ MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa



(8) アンカーボルトの施工法

- アンカーボルトの施工法 = 箱抜き式 J 形アンカー
- コンクリート厚さ = 120 mm = 0.120 m
- ボルトの埋込長さ = 70 mm = 0.070 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 3136$ N > $R_b = 715$ N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています

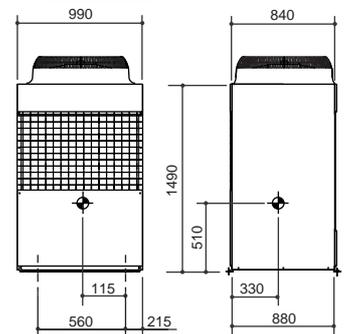
PU(H)K-P224AW-A

1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 215$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ $= M 10$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 78$ mm² = 78×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 490$ mm = 0.490 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 560$ mm = 0.560 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 115$ mm = 0.115 m
(L_g $L/2$)

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h/2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 2107$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 1053.5$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 813.6$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 526.8$ N



- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 10.4$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 6.8$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し $f_{ts} < f_t$) $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6 = 176.4$ MPa
 $= 6.04$ MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa

(8) アンカーボルトの施工法

- アンカーボルトの施工法 $=$ 箱抜き式 J 形アンカー
- コンクリート厚さ $= 150$ mm $= 0.150$ m
- ボルトの埋込長さ $= 100$ mm $= 0.100$ m
- 許容引抜荷重 $T_a = 4508$ N $> R_b = 814$ N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています

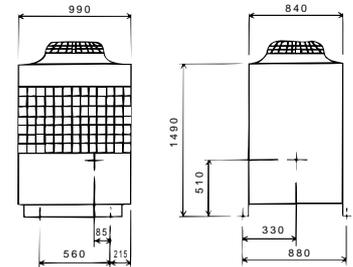
PU(H)K-P280AW-A

1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 220$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ・形状 $= M 10$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 78$ mm² = 78×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 510$ mm = 0.510 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 560$ mm = 0.560 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 85$ mm ($L_g / L = 0.152$) = 0.085 m

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h / 2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 2156.0$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 1078.0$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 899.9$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 539.0$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 11.5$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 6.9$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し $f_{ts} < f_t$) $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6 = 176.4$ MPa
- $= 11.5$ MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa
- (8) アンカーボルトの施工法
- アンカーボルトの施工法 $=$ 箱抜き式 J 形アンカー
- コンクリート厚さ $= 150$ mm = 0.150 m
- ボルトの埋込長さ $= 100$ mm = 0.100 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 4508$ N > $R_b = 900$ N



以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています

PUK-P224UAW-A

1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 230$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ $= M 10$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 78$ mm² = 78×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 490$ mm = 0.490 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 560$ mm = 0.560 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 105$ mm = 0.105 m
($L_g \ L/2$)

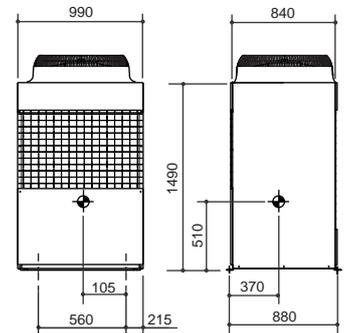
2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h/2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 2254.0$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 1127.0$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 880.5$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 563.5$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度

引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 11.3$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa

せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 7.2$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa

引張りとせん断を同時に受ける場合 $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6$ = 176.4 MPa
(但し. $f_{ts} \ f_t$)
= 6.04 MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa



(8) アンカーボルトの施工法

- アンカーボルトの施工法 = 箱抜き式 J 形アンカー
- コンクリート厚さ = 150 mm = 0.150 m
- ボルトの埋込長さ = 100 mm = 0.100 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 4508$ N > $R_b = 881$ N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています

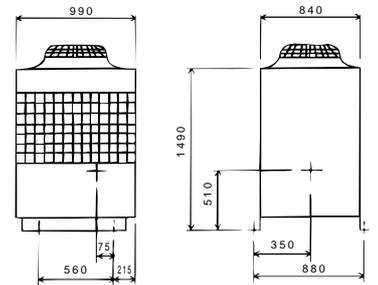
PUK-P280UAW-A

1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 235$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ・形状 $= M 10$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 78$ mm² = 78×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 510$ mm = 0.510 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 560$ mm = 0.560 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 75$ mm ($L_g = L/2$) = 0.075 m

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h/2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 2303.0$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 1151.5$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 971.6$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 575.8$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 12.5$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 7.4$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し $f_t < f_s$) $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6 = 176.4$ MPa
- = 11.5 MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa
- (8) アンカーボルトの施工法
- アンカーボルトの施工法 = 箱抜き式 J 形アンカー
- コンクリート厚さ = 150 mm = 0.150 m
- ボルトの埋込長さ = 100 mm = 0.100 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 4508$ N > $R_b = 972$ N



以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています

(2)室内ユニット

PFAK-P140AW(M)-A,PFTK-P125AW(M)-A

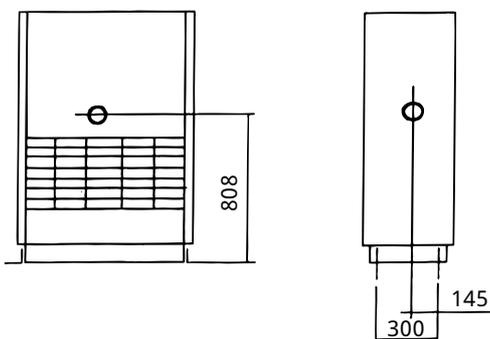
1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 108$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ・形状 $= M 8$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 50$ mm² = 50×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 808$ mm = 0.808 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 300$ mm = 0.3 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 145$ mm ($L_g / L/2$) = 0.145 m

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h/2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 1058.4$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 529.2$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 1297.4$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 264.6$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 25.9$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 5.3$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合 $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6 = 176.4$ MPa
(但し $f_{ts} < f_t$)
 $= 25.9$ MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa
- (8) アンカーボルトの施工法
- アンカーボルトの施工法 $=$ 箱抜き式J形アンカー
- コンクリート厚さ $= 150$ mm = 0.15 m
- ボルトの埋込長さ $= 102$ mm = 0.102 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 4508$ N > $R_b = 1297.4$ N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



PFAK-P224AW(M)-A,PFTK-P200AW(M)-A

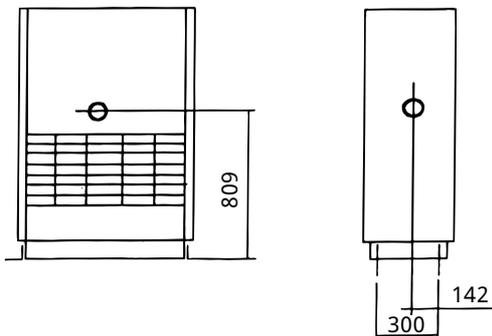
1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 123$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ・形状 $= M 8$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 50$ mm² = 50×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 809$ mm = 0.809 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 300$ mm = 0.3 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 142$ mm ($L_g / 2$) = 0.142 m

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h/2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 1205.4$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 602.7$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 1482.6$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 301.4$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 29.7$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 6.0$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合 $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6$ = 176.4 MPa
 (但し $f_{ts} < f_t$)
 $= 29.7$ MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa
- (8) アンカーボルトの施工法
- アンカーボルトの施工法 = 箱抜き式J形アンカー
- コンクリート厚さ = 150 mm = 0.150 m
- ボルトの埋込長さ = 102 mm = 0.102 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 4508$ N > $R_b = 1482.6$ N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



PFAK-P280AW(M)-A,PFTK-P250AW(M)-A

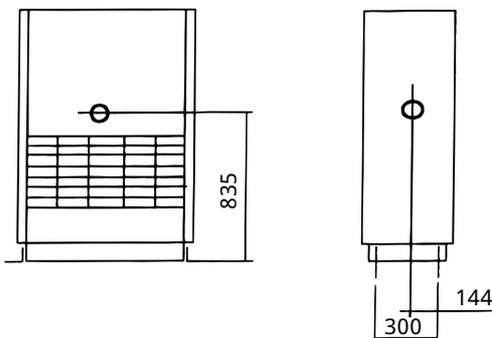
1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 147$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ・形状 $= M 8$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 50$ mm² = 50×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 835$ mm = 0.835 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 300$ mm = 0.3 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 144$ mm ($L_g / L = 0.48$) = 0.144 m

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h / 2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 1440.6$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 720.3$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 1832.0$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 360.2$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 36.6$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 7.2$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し $f_t < f_s$) $f_t = 1.4f_t - 1.6 = 176.4$ MPa
 $= 36.6$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- (8) アンカーボルトの施工法
- アンカーボルトの施工法 $=$ 箱抜き式 J 形アンカー
- コンクリート厚さ $= 150$ mm = 0.15 m
- ボルトの埋込長さ $= 102$ mm = 0.102 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 4508$ N > $R_b = 1832.0$ N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



PFAK-P450AW(M)-A, PFTK-P400AW(M)-A

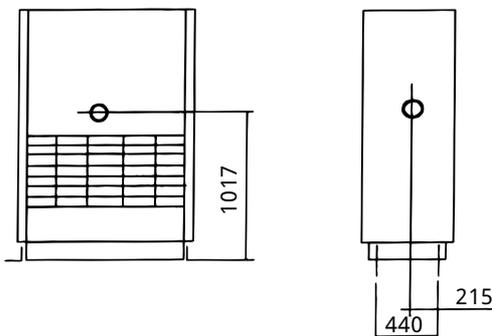
1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 235$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ・形状 $= M 8$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 50$ mm² = 50×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 1017$ mm = 1.017 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 440$ mm = 0.44 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 215$ mm ($L_g = L/2$) = 0.215 m

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h/2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 2303.0$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 1151.5$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 2380.2$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 575.8$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 47.6$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 11.5$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し $f_{ts} < f_t$) $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6 = 176.4$ MPa
- $= 47.6$ MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa
- (8) アンカーボルトの施工法
- アンカーボルトの施工法 $=$ 箱抜き式 J 形アンカー
- コンクリート厚さ $= 150$ mm = 0.15 m
- ボルトの埋込長さ $= 102$ mm = 0.102 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 4508$ N > $R_b = 2380.2$ N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



PFAK-P560AW(M)-A, PFTK-P500AW(M)-A

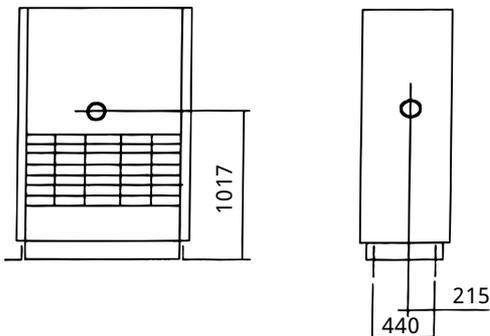
1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 257$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ・形状 $= M 8$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 50$ mm² = 50×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 1017$ mm = 1.017 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 440$ mm = 0.44 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 215$ mm ($L_g / L = 0.49$) = 0.215 m

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h / 2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 2518.6$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 1259.3$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 2603.0$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 629.7$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 52.1$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 12.6$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し $f_t < f_s$) $f_t = 1.4f_t - 1.6 = 176.4$ MPa
- $= 52.1$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- (8) アンカーボルトの施工法
- アンカーボルトの施工法 $=$ 箱抜き式J形アンカー
- コンクリート厚さ $= 150$ mm = 0.15 m
- ボルトの埋込長さ $= 102$ mm = 0.102 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 4508$ N > $R_b = 2603.0$ N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



PFAK-P630AW(M)-A,PFTK-P600AW(M)-A

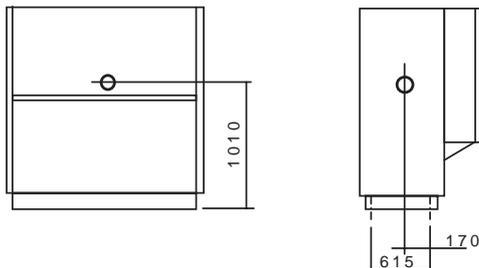
1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 410$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ・形状 $= M 10$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 78$ mm² = 78×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 1010$ mm = 1.01 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 615$ mm = 0.615 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 170$ mm ($L_g / L = 0.276$) = 0.17 m

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h/2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 4018.0$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 2009.0$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 3021.7$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 1004.5$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 38.7$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 12.9$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し $f_{ts} < f_t$) $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6 = 176.4$ MPa
- = 38.7 MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa
- (8) アンカーボルトの施工法
- アンカーボルトの施工法 = 箱抜き式 J 形アンカー
- コンクリート厚さ = 150 mm = 0.15 m
- ボルトの埋込長さ = 100 mm = 0.1 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 4508$ N > $R_b = 3021.7$ N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



PFAK-P800AW(M)-A, PFTK-P750AW(M)-A

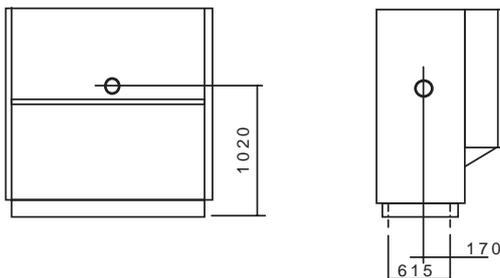
1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 425$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ・形状 $= M 10$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 78$ mm² = 78×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 1020$ mm = 1.02 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 615$ mm = 0.615 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 170$ mm ($L_g / L = 2$) = 0.17 m

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h / 2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 4165.0$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 2082.5$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 3166.1$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 1041.3$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 40.6$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 13.3$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し $f_{ts} < f_t$) $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6 = 176.4$ MPa
- $= 40.6$ MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa
- (8) アンカーボルトの施工法
- アンカーボルトの施工法 $=$ 箱抜き式 J 形アンカー
- コンクリート厚さ $= 150$ mm = 0.15 m
- ボルトの埋込長さ $= 100$ mm = 0.1 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 4508$ N > $R_b = 3166.1$ N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



PFAK-P1120AW(M)-A-L, PFTK-P1000AW(M)-A-L

1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 600$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ・形状 $= M 16$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 200$ mm² = 200×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 701$ mm = 0.701 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 860$ mm = 0.86 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 321$ mm ($L_g / L / 2$) = 0.321 m

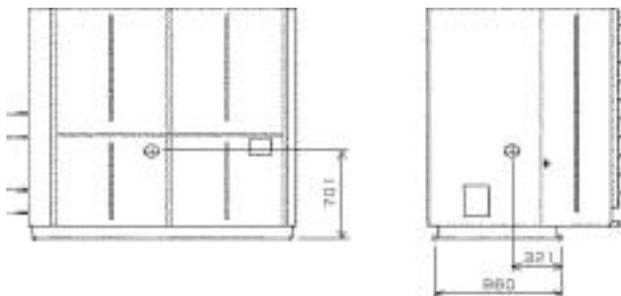
2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h / 2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 5880.0$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 2940.0$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 1847.8$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 1470.0$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 9.2$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 7.4$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し $f_{ts} < f_t$) $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6 = 176.4$ MPa
- $= 9.2$ MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa

(8) アンカーボルトの施工法

- アンカーボルトの施工法 $=$ 後打ち式おねじ形メカニカルアンカー
- コンクリート厚さ $= 120$ mm = 0.12 m
- ボルトの埋込長さ $= 70$ mm = 0.07 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 9016$ N > $R_b = 1847.8$ N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



PFAK-P1120AW(M)-A-R, PFTK-P1000AW(M)-A-R

1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 600$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ・形状 $= M 16$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 200$ mm² = 200×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 701$ mm = 0.701 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 860$ mm = 0.86 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 321$ mm (L_g / L) = 0.321 m

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h / 2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 5880.0$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 2940.0$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 1847.8$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 1470.0$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 9.2$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 7.4$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し $f_s < f_t$) $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6 = 176.4$ MPa
- = 9.2 MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa
- (8) アンカーボルトの施工法
- アンカーボルトの施工法 = 後打ち式おねじ形メカニカルアンカー
- コンクリート厚さ = 120 mm = 0.12 m
- ボルトの埋込長さ = 70 mm = 0.07 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 9016$ N > $R_b = 1847.8$ N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



PFAK-P1400AW(M)-A-L, PFTK-P1250AW(M)-A-L

1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 650$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ・形状 $= M 16$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 200$ mm² = 200×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 754$ mm = 0.754 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 860$ mm = 0.86 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 327$ mm ($L_g / L / 2$) = 0.327 m

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h / 2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 6370.0$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 3185.0$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 2186.9$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 1592.5$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 10.9$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 8.0$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し $f_t < f_t$) $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6 = 176.4$ MPa
- = 10.9 MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa
- (8) アンカーボルトの施工法
- アンカーボルトの施工法 = 後打ち式おねじ形メカニカルアンカー
- コンクリート厚さ = 120 mm = 0.12 m
- ボルトの埋込長さ = 70 mm = 0.07 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 9016$ N > $R_b = 2186.9$ N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



PFAK-P1400AW(M)-A-R, PFTK-P1250AW(M)-A-R

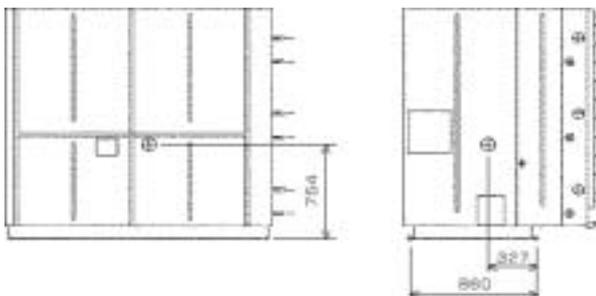
1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 650$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ・形状 $= M 16$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 200$ mm² = 200×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 754$ mm = 0.754 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 860$ mm = 0.86 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 327$ mm ($L_g / L / 2$) = 0.327 m

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h / 2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 6370.0$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 3185.0$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 2186.9$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 1592.5$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 10.9$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 8.0$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し $f_t < f_t$) $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6$ = 176.4 MPa
- = 10.9 MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa
- (8) アンカーボルトの施工法
- アンカーボルトの施工法 = 後打ち式おねじ形メカニカルアンカー
- コンクリート厚さ = 120 mm = 0.12 m
- ボルトの埋込長さ = 70 mm = 0.07 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 9016$ N > $R_b = 2186.9$ N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



PFAK-P167AW(M)-A-F

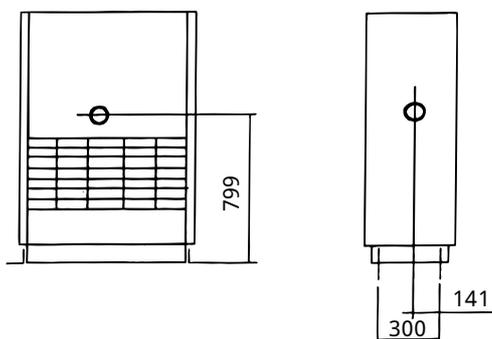
1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 110$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ・形状 $= M 8$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 50$ mm² = 50×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 799$ mm = 0.799 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 300$ mm = 0.3 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 141$ mm ($L_g / L = 0.47$) = 0.141 m

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h / 2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 1078.0$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 539.0$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 1308.9$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 269.5$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 26.2$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 5.4$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し $f_{ts} < f_t$) $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6 = 176.4$ MPa
- $= 26.2$ MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa
- (8) アンカーボルトの施工法
- アンカーボルトの施工法 $=$ 箱抜き式 J 形アンカー
- コンクリート厚さ $= 150$ mm = 0.15 m
- ボルトの埋込長さ $= 102$ mm = 0.102 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 4508$ N > $R_b = 1308.9$ N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



PFAK-P265AW(M)-A-F

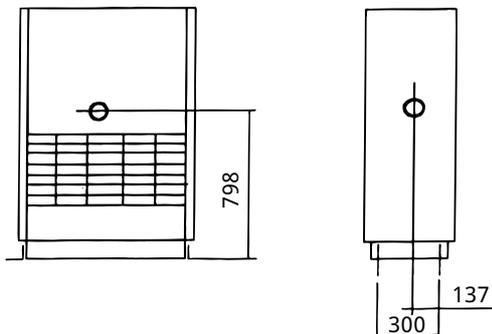
1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 126$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ・形状 $= M 8$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 50$ mm² = 50×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 798$ mm = 0.798 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 300$ mm = 0.3 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 137$ mm ($L_g = L/2$) = 0.137 m

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h/2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 1234.8$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 617.4$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 1501.3$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 308.7$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 30.0$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 6.2$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し $f_t < f_s$) $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6 = 176.4$ MPa
- $= 30.0$ MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa
- (8) アンカーボルトの施工法
- アンカーボルトの施工法 $=$ 箱抜き式J形アンカー
- コンクリート厚さ $= 150$ mm = 0.15 m
- ボルトの埋込長さ $= 102$ mm = 0.102 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 4508$ N > $R_b = 1501.3$ N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



PFAK-P335AW(M)-A-F

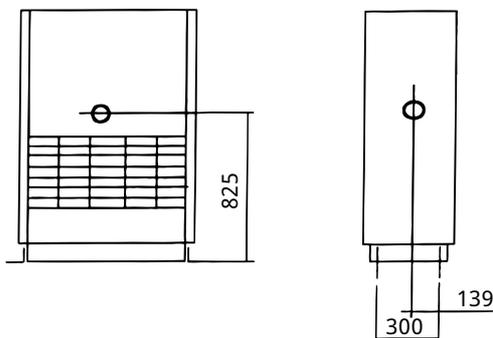
1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 150$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ・形状 $= M 8$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 50$ mm² = 50×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 825$ mm = 0.825 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 300$ mm = 0.3 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 139$ mm ($L_g / 2$) = 0.139 m

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h / 2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 1470.0$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 735.0$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 1851.0$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 367.5$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 37.0$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 7.4$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し $f_t < f_s$) $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6$ = 176.4 MPa
- $= 37.0$ MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa
- (8) アンカーボルトの施工法
- アンカーボルトの施工法 = 箱抜き式 J 形アンカー
- コンクリート厚さ = 150 mm = 0.15 m
- ボルトの埋込長さ = 102 mm = 1.102 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 4508$ N > $R_b = 1851.0$ N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



PFAK-P530AW(M)-A-F

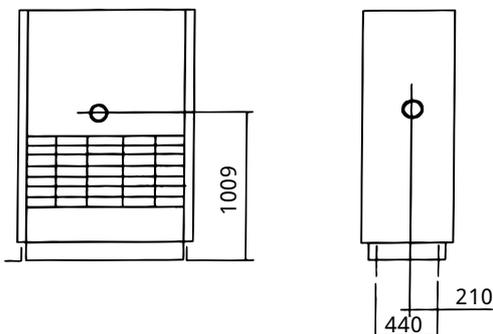
1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 239$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ・形状 $= M 8$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 50$ mm² = 50×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 1009$ mm = 1.009 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 440$ mm = 0.44 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 210$ mm ($L_g = L/2$) = 0.21 m

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h/2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 2342.2$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 1171.1$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 2406.1$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 585.6$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 48.1$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 11.7$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し $f_{ts} < f_t$) $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6 = 176.4$ MPa
- $= 48.1$ MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa
- (8) アンカーボルトの施工法
- アンカーボルトの施工法 $=$ 箱抜き式J形アンカー
- コンクリート厚さ $= 150$ mm = 0.15 m
- ボルトの埋込長さ $= 102$ mm = 0.102 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 4508$ N > $R_b = 2406.1$ N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



PFAK-P670AW(M)-A-F

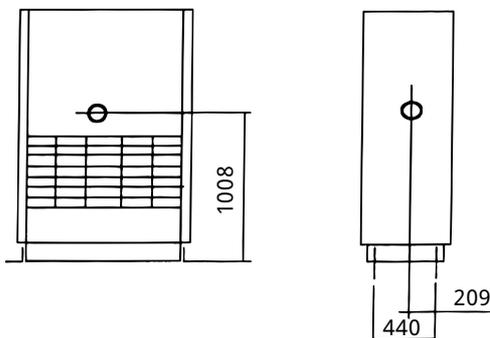
1. 仕様

- (1) 機器質量（運転質量） $W = 262$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ・形状 $= M 8$ 形
- 1本当たりの軸断面積（呼径による断面積） $A = 50$ mm² = 50×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 1008$ mm = 1.008 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 440$ mm = 0.44 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 209$ mm ($L_g / L / 2$) = 0.209 m

2. 検討計算（小数点以下2桁目を四捨五入して算出）

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h / 2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 2567.6$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 1283.8$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 2636.2$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 641.9$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 52.7$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 12.8$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合
 （但し $f_t < f_s$ ） $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6$ = 176.4 MPa
 $= 52.7$ MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa
- (8) アンカーボルトの施工法
- アンカーボルトの施工法 = 箱抜き式J形アンカー
- コンクリート厚さ = 150 mm = 0.15 m
- ボルトの埋込長さ = 102 mm = 0.102 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 4508$ N > $R_b = 2636.2$ N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています

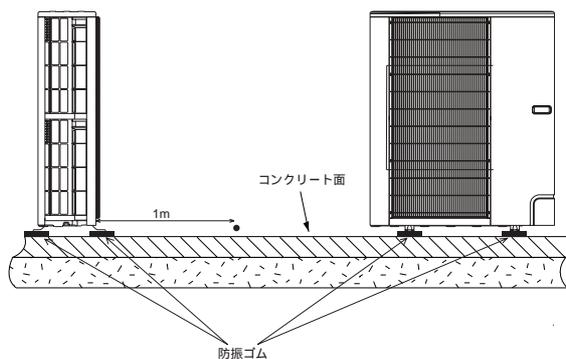


6. 振動レベル値

PU(H)K-P140AW-A

1. 測定条件

- (1)測定周波数帯：1Hz～80Hz
- (2)測定位置：ユニット正面より1m
- (3)据付状態：コンクリート床面に防振ゴム（ブリジストン社製 IP-1003 55×55mm）を敷いた上からアンカーボルトにて固定



- (4)電源：三相200V 50Hz/60Hz
- (5)運転条件：外気温度32

2. 振動レベル値

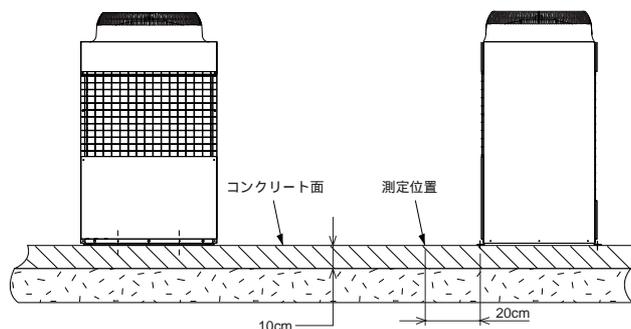
振動レベル値 40dB [A特性]以下

注.上記値は、暗振動補正を行ったものである。

PU(H)K-P224・P280(U)AW-A

1. 測定条件

- (1)測定周波数帯：1Hz～80Hz
- (2)測定位置：ユニット脚部より20cmの距離の路面
- (3)据付状態：コンクリート床面直置



- (4)電源：三相200V 50Hz/60Hz
- (5)運転条件：JIS条件（冷房・暖房）
- (6)測定機器：公害用振動レベル計 VM-1220C（JIS適合品）

2. 振動レベル値

振動レベル値 44/45dB [A特性]

注.上記値は、暗振動補正を行ったものである。

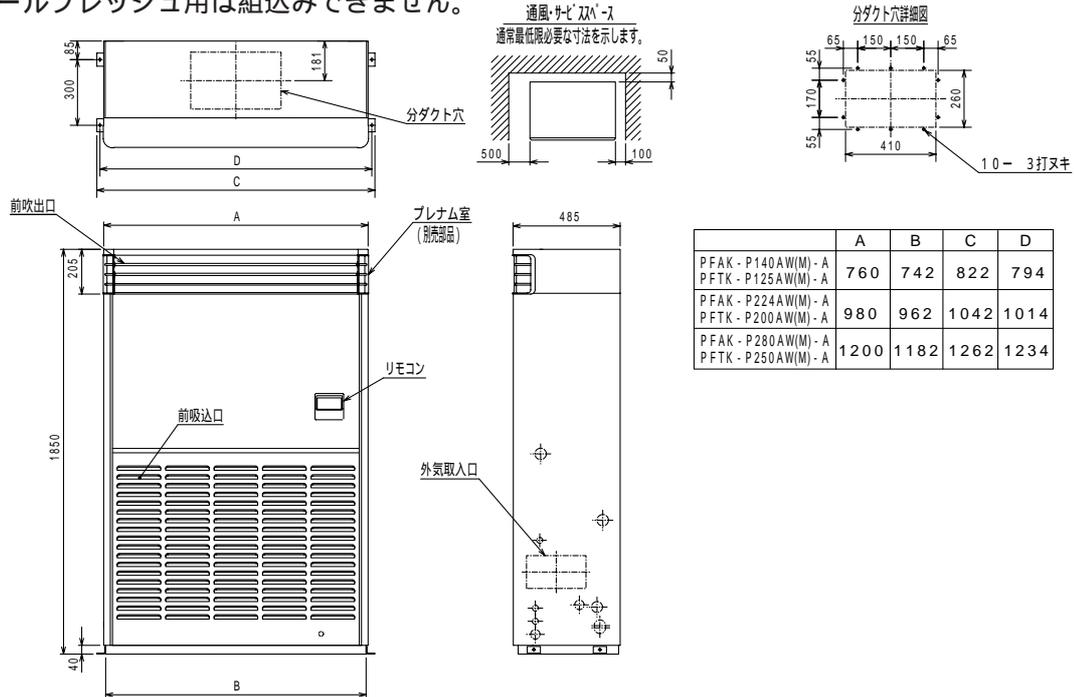
7.別売部品

(1)別売部品外形図

PFAK-P140,224,280AW(M)-A,PFTK-P125,200,250AW(M)-A,PFAK-P167,265,335AW(M)-A-F

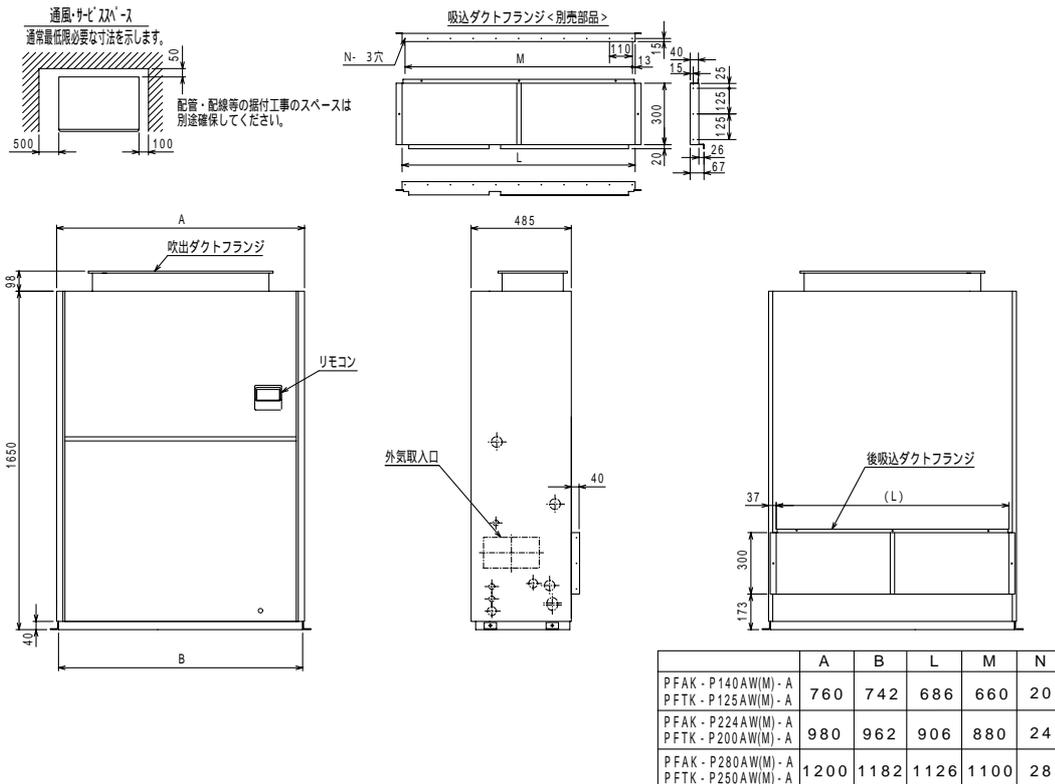
・プレナム組込外形図

オールフレッシュ用は組込みできません。



・後吸込ダクトフランジ組込外形図

オールフレッシュ用は標準仕様となります。



・中・高性能、HEPAフィルター組込外形図
 オールフレッシュ用は組込みできません。

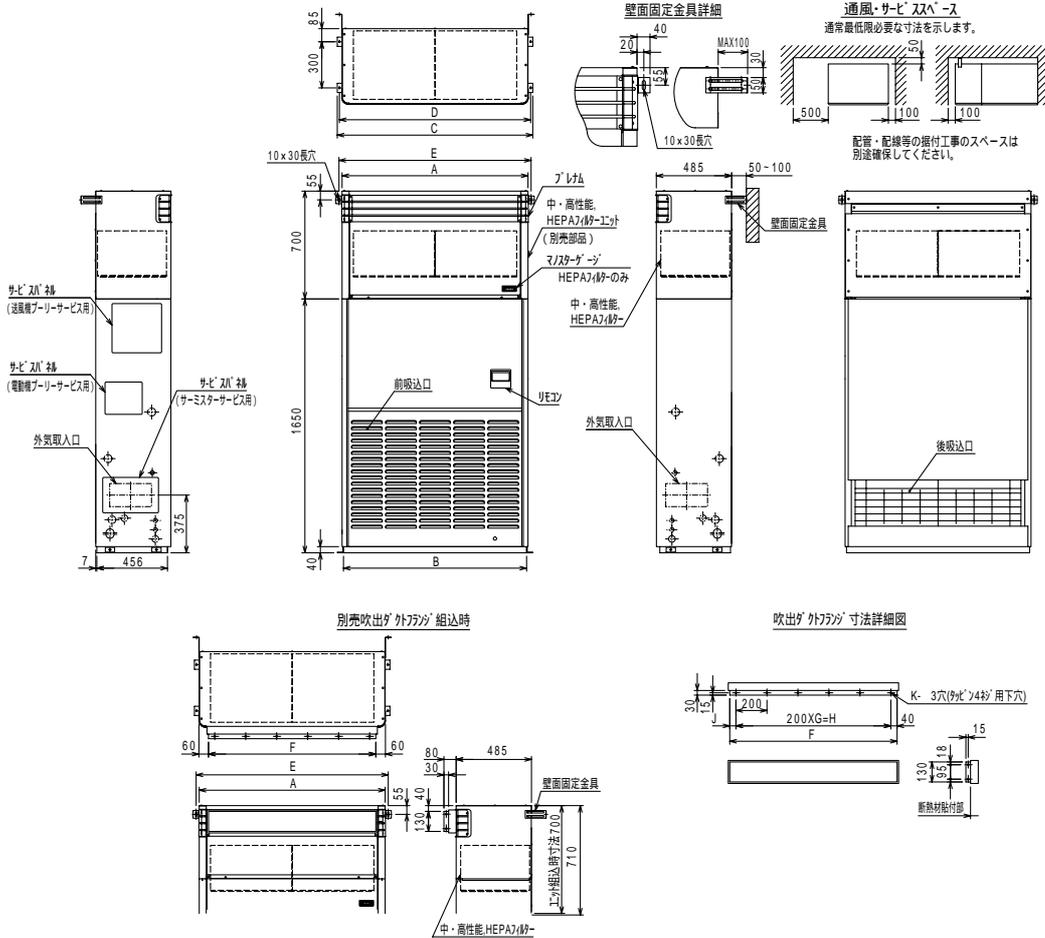
	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K
PFAK-P140AW(M)-A PFTK-P125AW(M)-A	760	742	822	794	800	640	3	600	20	12
PFAK-P224AW(M)-A PFTK-P200AW(M)-A	980	962	1042	1014	1020	860	4	800	30	14
PFAK-P280AW(M)-A PFTK-P250AW(M)-A	1200	1182	1262	1234	1240	1080	5	1000	40	16

HEPAフィルター

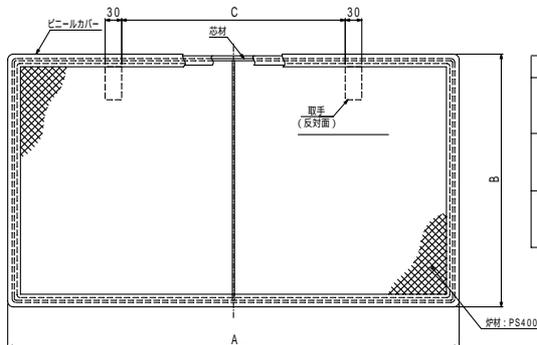
項目	形名	PFAK-P140AW(M)-A PFTK-P125AW(M)-A	PFAK-P224AW(M)-A PFTK-P200AW(M)-A	PFAK-P280AW(M)-A PFTK-P250AW(M)-A
別売フィルターユニット形名		PAC-CF41CLB	PAC-CF42CLB	PAC-CF43CLB
外装色		710<製品組込時700> 7色(Y 8/1)		
外形寸法		710<製品組込時700>		
高さ mm		760		
幅 mm		980		
奥行 mm		485		
I771用	形名	PAC-CF31CLF	PAC-CF32CLF	PAC-CF33CLF
集塵効率 %		D.O.P.<0.3μ>99.97以上		
断熱材		グラスウール+ガラス繊維+発散防止コーティング		
製品質量<箱-部外装> kg		4.6<3.3>	5.6<4.0>	6.7<4.7>
I771用	断熱材	13.0	8.0×2	10.0×2
別売吹出ダクトフランジ形名		PAC-TS04FD	PAC-TS05FD	PAC-TS08FD

中・高性能フィルター

項目	形名	PFAK-P140(V)AW(M)-A PFTK-P125(V)AW(M)-A	PFAK-P224(V)AW(M)-A PFTK-P200(V)AW(M)-A	PFAK-P280(V)AW(M)-A PFTK-P250(V)AW(M)-A
別売フィルターユニット形名		PAC-CF71TB	PAC-CF72TB	PAC-CF73TB
外装色		7色(Y 8/1)		
外形寸法		710<製品組込時700>		
高さ mm		760		
幅 mm		980		
奥行 mm		485		
I771用	形名	PAC-CF61AF	PAC-CF62AF	PAC-CF63AF
集塵効率 %		65	90	90
断熱材		グラスウール+ガラス繊維+発散防止コーティング		
製品質量<箱-部外装> kg		3.9<3.3>	4.9<4.0>	5.7<4.7>
I771用	断熱材	6.0	4.5×2	5.0×2
別売吹出ダクトフランジ形名		PAC-TS04FD	PAC-TS05FD	PAC-TS08FD



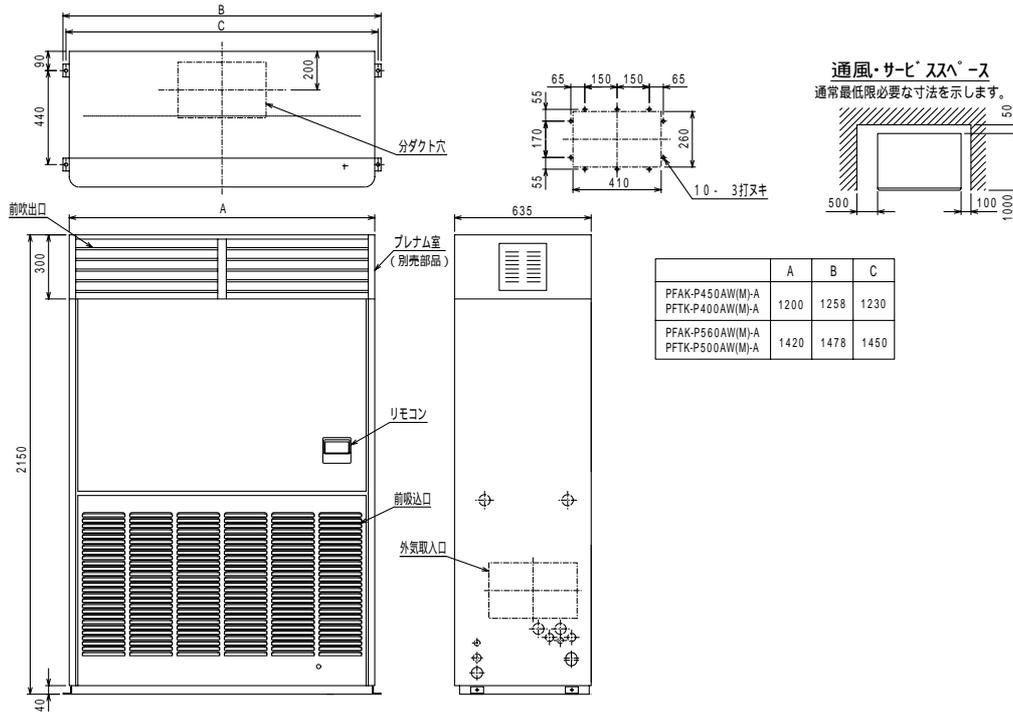
・フィルドロンフィルター外形図



形名	A	B	C	適用機種
PAC-CJ71FF	616	614	400	PFAK-P140AW(M)-A PFTK-P125AW(M)-A PFAK-P167AW(M)-A-F
PAC-CJ72FF	836	614	400	PFAK-P224AW(M)-A PFTK-P200AW(M)-A PFAK-P265AW(M)-A-F
PAC-CJ73FF	1056	614	600	PFAK-P280AW(M)-A PFTK-P250AW(M)-A PFAK-P335AW(M)-A-F

PFAK-P450,560AW(M)-A,PFTK-P400,500AW(M)-A,PFAK-P530,670AW(M)-A-F
 ・プレナム組込外形図

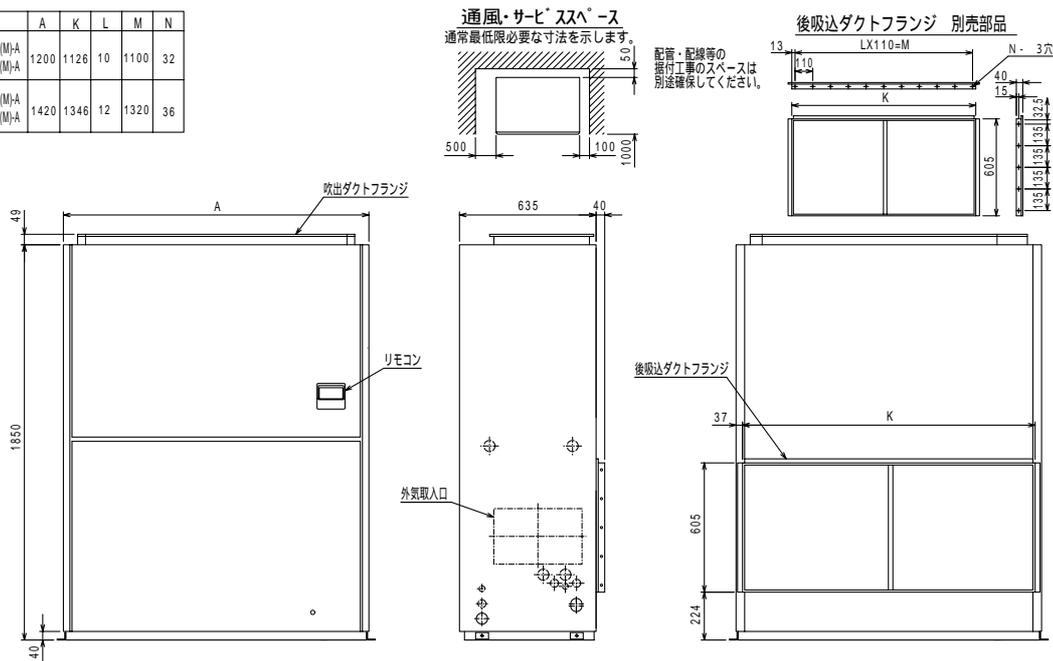
オールフレッシュ用は組込みできません。



・後吸込ダクトフランジ組込外形図

オールフレッシュ用は標準仕様となります。

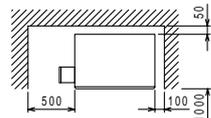
	A	K	L	M	N
PFAK-P450AW(M)-A PFTK-P400AW(M)-A	1200	1126	10	1100	32
PFAK-P560AW(M)-A PFTK-P500AW(M)-A	1420	1346	12	1320	36



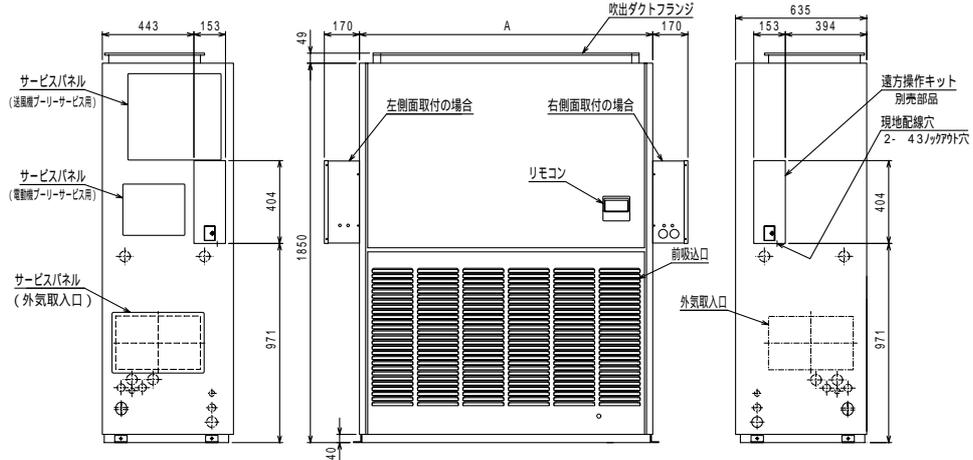
・遠方操作キット組込外形図

	A
PFAK-P450AW(M)-A PFTK-P400AW(M)-A PFAK-P530AW(M)-A-F	1200
PFAK-P560AW(M)-A PFTK-P500AW(M)-A PFAK-P670AW(M)-A-F	1420

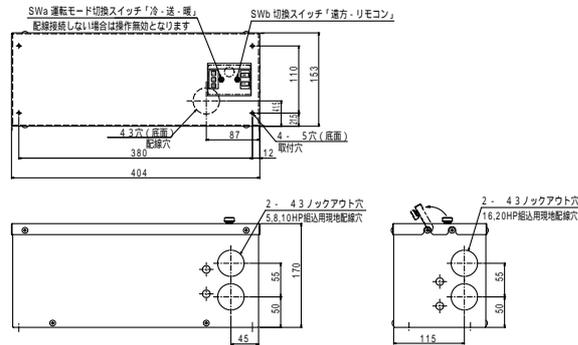
「**通風・サービ**」スペース
通常最低限必要な寸法を示します。



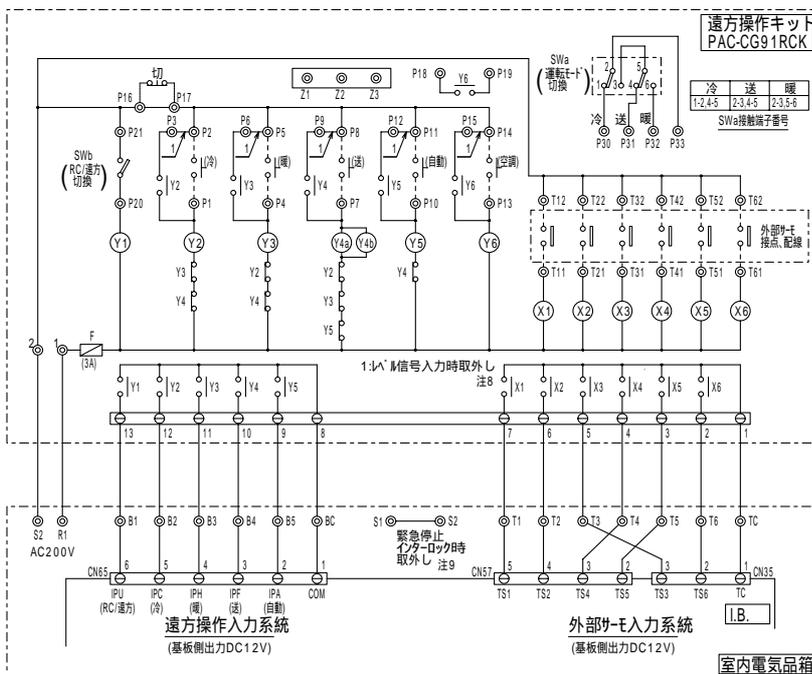
遠方操作キットを右側面に取付ける場合は500mm必要となります。



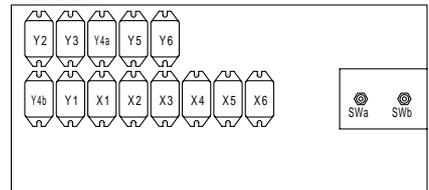
PAC-CG91RCK遠方操作キット外形図



・遠方操作キット電気配線図



部品配置図 補助継電器、スイッチの部品配置を示します。

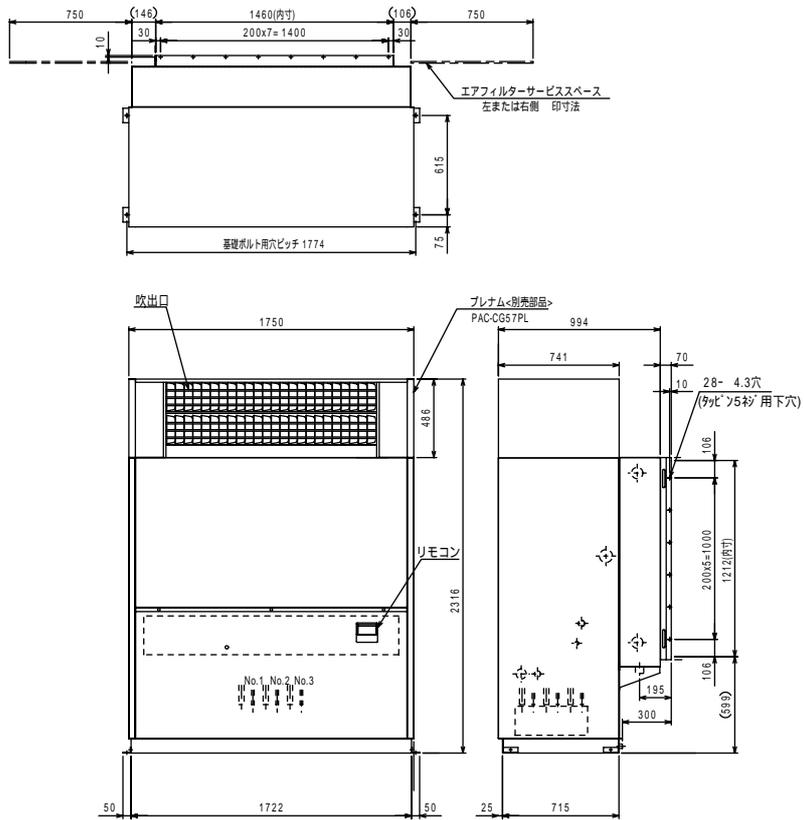


記号説明

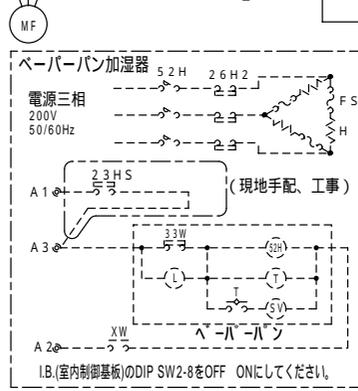
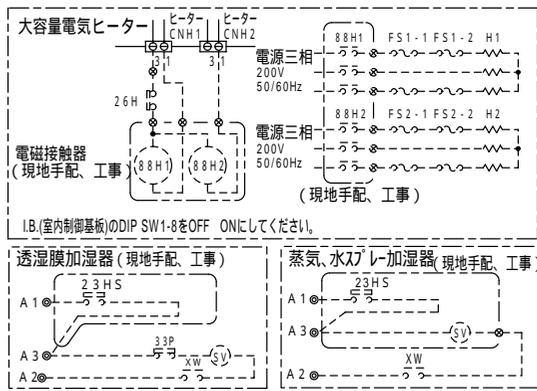
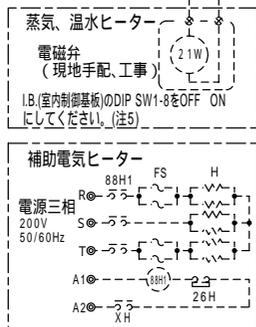
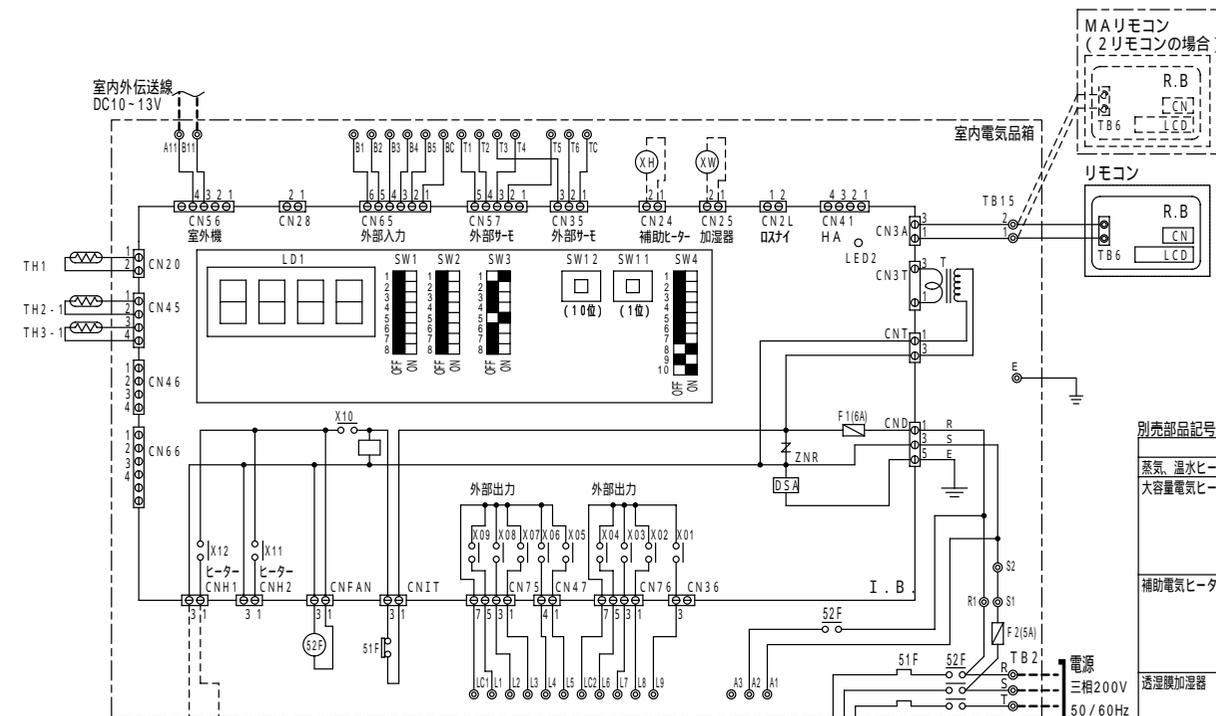
記号	名称	
X1 - X6	補助継電器	遠方操作キット
Y1 - Y6	補助継電器	
SWa	スイッチ(運転モード切換)	
SWb	スイッチ(RC/遠方切換)	
F	ヒューズ(3A)	
I.B.	室内制御基板	室内電気品箱
CN35	コネクタ(外部サーモ)	
CN57	コネクタ(外部サーモ)	
CN65	コネクタ(外部入力)	

1. 配線は内線規程に従って接続してください。
2. ---: 現地配線を示します。
3. 遠方操作キットと室内電気品箱を接続する配線は遠方操作キットに付属しています。
4. (冷)...冷房 (暖)...暖房 (送)...送風 (自動)...冷暖自動 (空調)...空調一括ON/OFF(冷暖(送)切換)を示します。
5. ◎印は端子台、⊙印はコネクタを示します。
6. SWa(運転モード切換)をご使用する場合は技術資料を参照し、配線接続してください。配線接続しないと操作しても無効です。
7. 外部サーモの接続要領は機種・現地のシステム等によって異なります。技術資料を参照し、配線接続してください。
8. 1の配線はレベル信号入力する場合、取外してください。
9. 緊急停止(S1 - S2間)回路を使用した場合、運転停止します。運転を復帰させるには、復電後(S1 - S2導通後)室内ユニットのリモコンにて運転リセットしてください。

PFAK-P630,800AW(M)-A,PFTK-P600,750AW(M)-A
 ・プレナム組込外形図



(2)別売部品電気配線図
機種によって組み込み可能な別売部品が異なります。P120～P122の取付可能部品表を参照ください。



製品本体記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	TH1	サーミスター(吸込み空気温度)
51F	熱動過電流継電器	TH2-1	サーミスター(No.1熱交換管温度)
52F	補助継電器(送風機用)		
TB2	電源端子台		
TB15	MARIモコン用端子台	TH3-1	サーミスター(No.1熱交換管温度)
I.B.	室内制御基板		
ZNR	バリスタ		
CN24	コネクター(補助ヒーター)	SW1(I.B.)	スイッチ(機種設定)
CN25	コネクター(加湿器)	SW2(I.B.)	スイッチ(自己診断)
CN41	コネクター(HA)	SW3(I.B.)	スイッチ(能力設定)
CNH1	コネクター(暖房ヒーター1)	SW4(I.B.)	スイッチ(機能切換)
CNH2	コネクター(暖房ヒーター2)	SW11(I.B.)	スイッチ(7d以下設定用 1の位)
CNIT	コネクター(51F)	SW12(I.B.)	スイッチ(7d以下設定用 10の位)
CNFAN	コネクター(52F)	R.B	リモコン基板
CN2L	コネクター(ロスナイ)	CN	コネクター(別売:スケジュールタイマー)
T	トランス	TB6	端子台(室内ユニット接続)
F1,F2	ヒューズ	LCD	液晶表示器
X01-X12	補助継電器(室内基板内)	DSA	アレスター
LD1	発光ダイオード(表示)	E	アース端子
LED2	発光ダイオード(リモコン給電)		

別売部品記号説明

記号	名称	備考	記号	名称	備考
21W	電磁弁	現地手配	23HS	湿度調節器	現地手配
88H1, 88H2	電磁接触器	現地手配	SV	電磁弁	現地手配
H1, H2	ヒーター	別売付属	XW	補助継電器	別売付属
FS1-1, FS1-2	温度ヒューズ	別売付属	52H	電磁接触器	別売付属
FS2-1, FS2-2	温度ヒューズ	別売付属	26H2	サーミスター	別売付属
26H	過昇防止サーモ	別売付属	FS	温度ヒューズ	別売付属
88H1	電磁接触器	別売付属	H	シーズヒーター	別売付属
FS	温度ヒューズ	別売付属	23HS	湿度調節器	現地手配
H	ヒーター	別売付属	T	タイマー	別売付属
26H	過昇防止サーモ	別売付属	SV	電磁弁	別売付属
XH	補助継電器	別売付属	L	断水ランプ	別売付属
23HS	湿度調節器	現地手配	33W	断水スイッチ	別売付属
33P	フロートスイッチ	別売付属	XW	補助継電器	別売付属
SV	電磁弁	別売付属			
XW	補助継電器	別売付属			

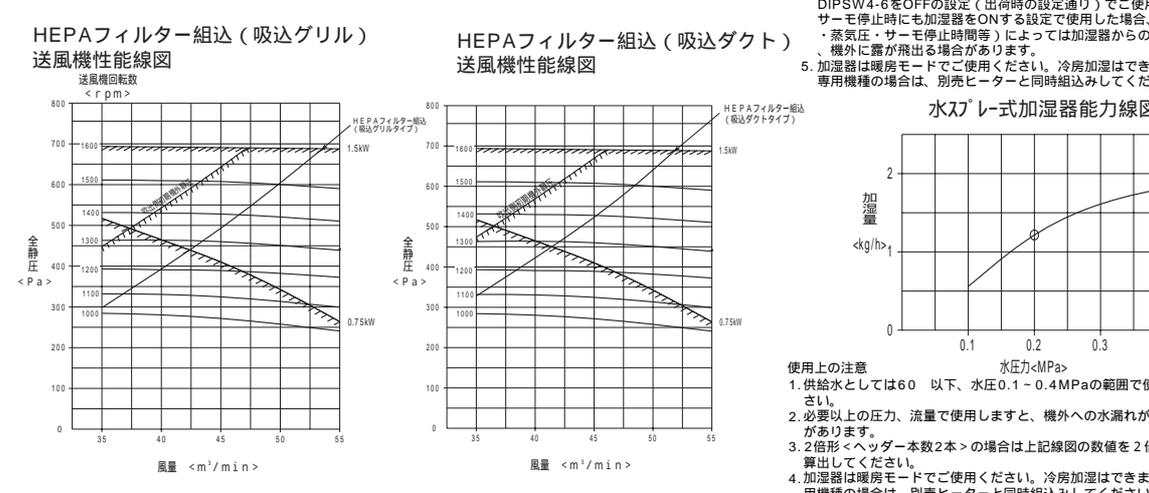
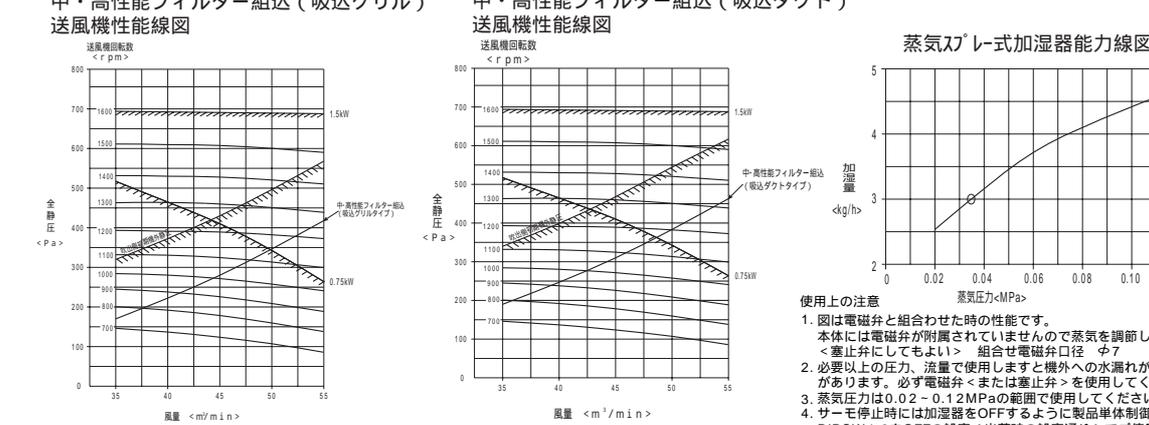
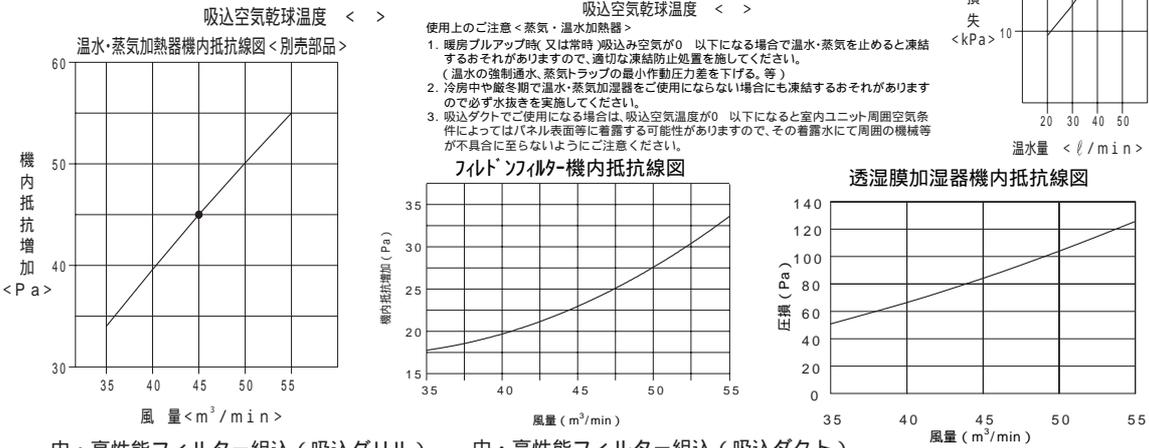
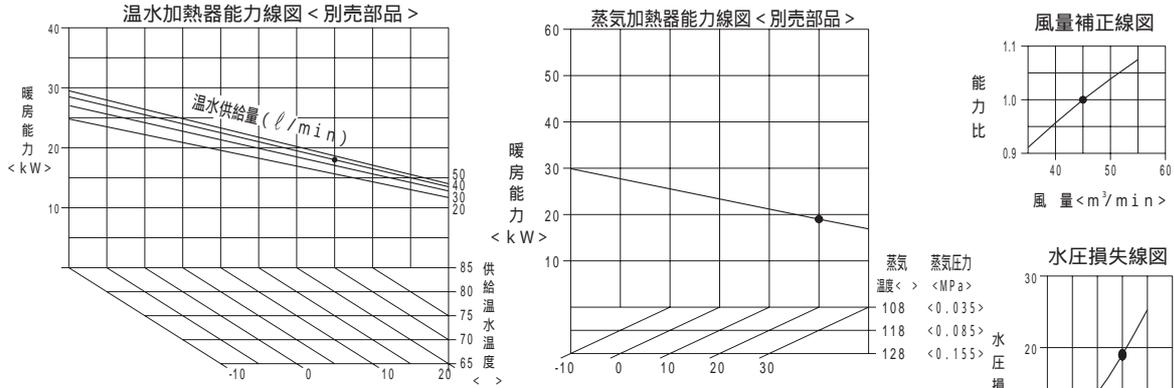
注1. 製品本体配線図はPFAK-P224形を示します。他の形名の場合、I.B.(室内制御基板)のスイッチ設定及びTH2, 3(サーミスター)の数が異なります。
 注2. ⊗印は別売付属配線と現地配線との接続箇所を示します。(接続端子は別売に付属)
 注3. 透湿膜、蒸気スプレー、水スプレー、ペーパーパン加湿器は23HS(湿度調節器)を使用しない場合、端子台のA1, A3を短絡してください。
 注4. 電源には必ず漏電遮断器を付けてください。
 注5. 蒸気・温水ヒーターは、ヒートポンプ機種に組込んで、ヒートポンプ暖房または、蒸気・温水による暖房を切替えることが可能です。
 ヒートポンプ暖房と蒸気・温水暖房を同時に運転することはできません。下記要領に従って、S/W設定、配線接続してください。
 この場合、本図中に示すDIP SW1・8はOFFのままご使用ください。但し、外部入力を用いた冷暖自動運転は不可となります。冷暖自動運転を行う場合は、リモコン操作にて運転してください。



(3)別売部品性能線図

機種によって組み込み可能な別売部品があります。P120～P122の取付可能部品表を参照ください。

PFAK-P140AW(M)-A形,PFTK-P125AW(M)-A形



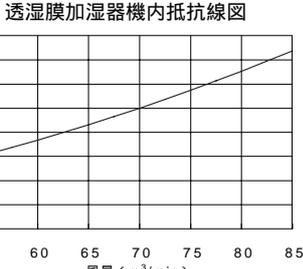
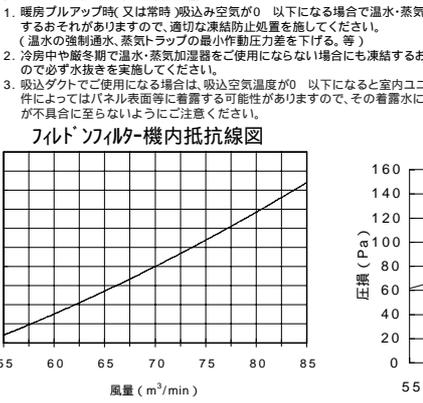
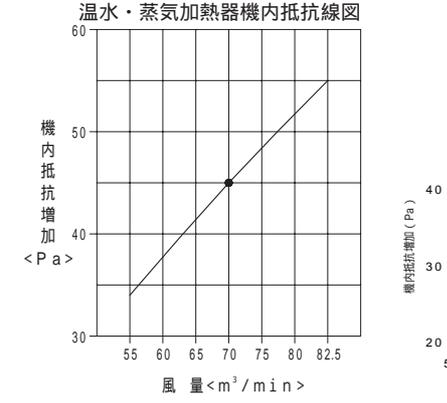
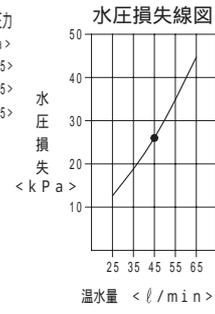
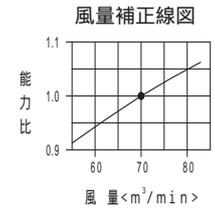
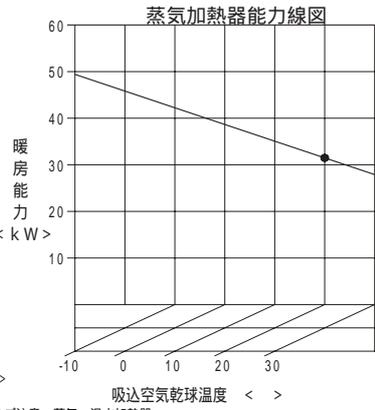
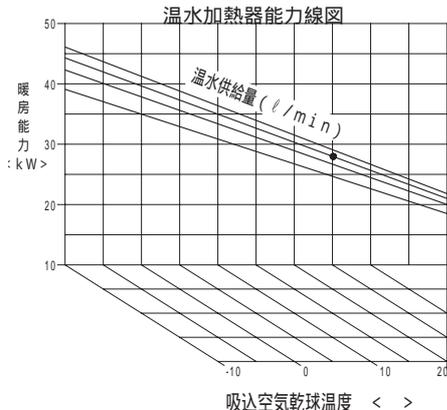
- 使用上の注意<蒸気・温水加熱器>
- 暖房プルアップ時(又は常時)吸込み空気が0 以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結するおそれがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。
(温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧差を下げる、等)
 - 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加湿器をご使用にならない場合にも凍結するおそれがありますので必ず水抜きを実施してください。
 - 吸込ダクトで使用になる場合は、吸込空気温度が0 以下になると室内ユニット周囲空気条件によってはパネル表面等に着露する可能性がありますので、その着露水にて周囲の機械等が不具合に至らないようご注意ください。

- 使用上の注意
- 図は電磁弁と組合わせた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。 <塞止弁にしてもよい> 組合せ電磁弁口径 Φ7
 - 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水漏れが発生することがあります。必ず電磁弁<または塞止弁>を使用してください。
 - 蒸気圧力は0.02～0.12MPaの範囲で使用してください。
 - サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定(出荷時の設定通り)でご使用ください。サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件(風量・蒸気圧・サーモ停止時間等)によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に霧が飛出る場合があります。
 - 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込んでください。

- 使用上の注意
- 供給水としては60 以下、水圧0.1～0.4MPaの範囲で使用してください。
 - 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水漏れが発生することがあります。
 - 2倍形<ヘッダー本数2本>の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。
 - 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込んでください。

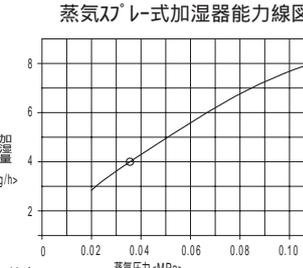
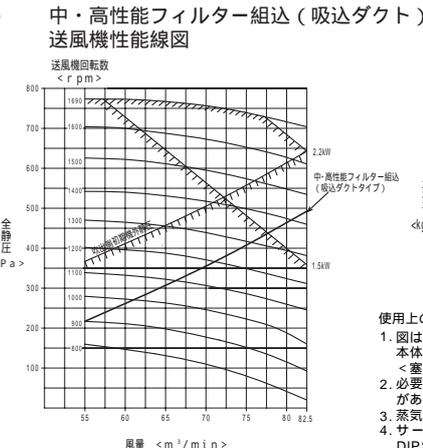
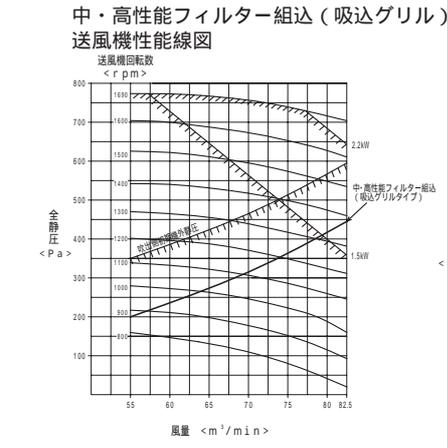
PFAK-P224AW(M)-A形,PFTK-P200AW(M)-A形

機種によって組み込み可能な別売部品があります。P120~P122の取付可能部品表を参照ください。



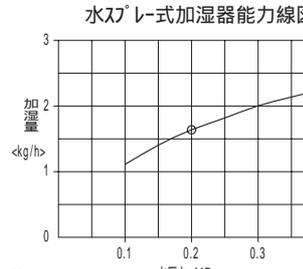
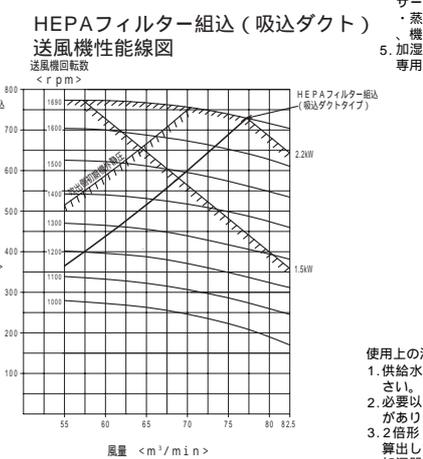
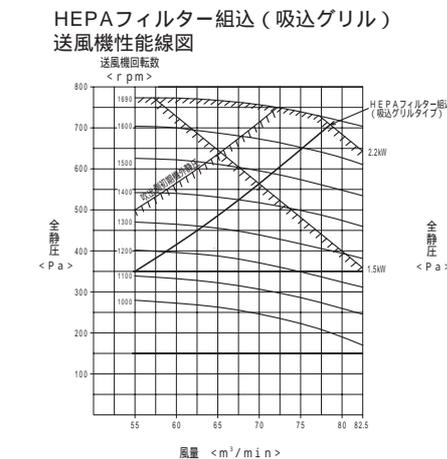
使用上のご注意<蒸気・温水加熱器>

- 暖房プルアップ時(又は常時)吸込空気温度が0℃以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結するおそれがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。(温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力を下げる。等)
- 冷房中や暖房期で温水・蒸気加湿器をご使用にならない場合にも凍結するおそれがありますので必ず水抜きを実施してください。
- 吸込ダクトで使用する場合は、吸込空気温度が0℃以下になると室内ユニット周囲空気条件によってはパネル表面等に着露する可能性がありますので、その着露水にて周囲の機械等が不具合に至らないようにご注意ください。



使用上の注意

- 図は電磁弁と組合わせた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。<塞止弁にしてもよい> 組合せ電磁弁口径 Φ7
- 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水漏れが発生することがあります。必ず電磁弁<または塞止弁>を使用してください。
- 蒸気圧力は0.02~0.12MPaの範囲で使用してください。
- サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定(出荷時の設定通り)でご使用ください。サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件(風量・蒸気圧・サーモ停止時間等)によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に霧が飛出る場合があります。
- 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込んでください。

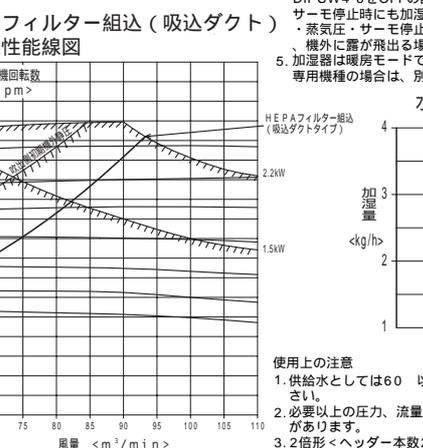
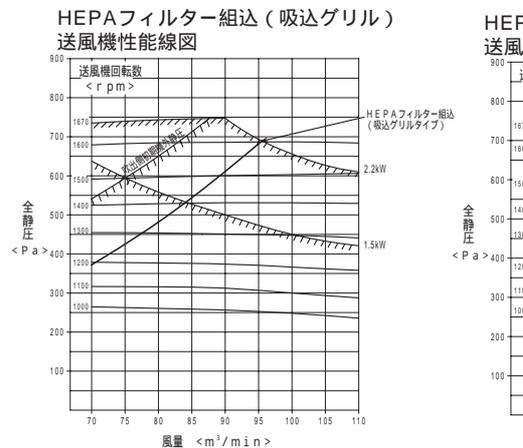
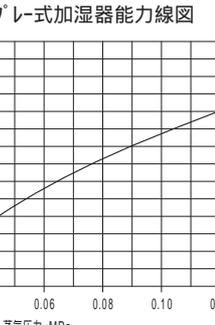
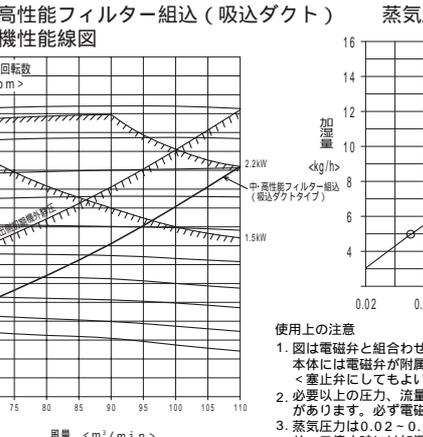
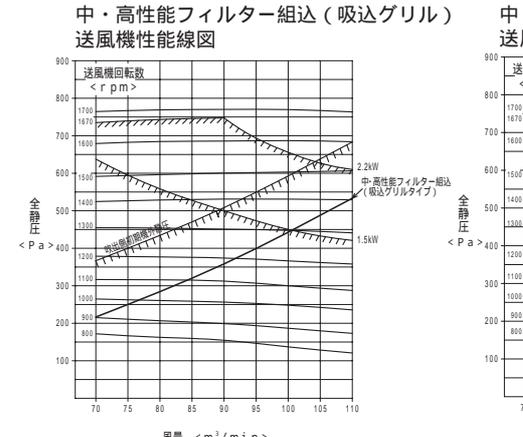
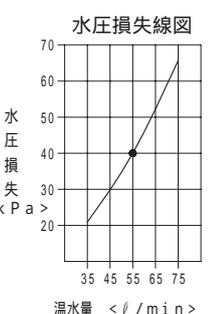
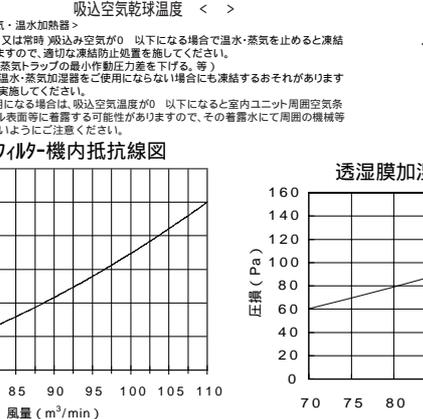
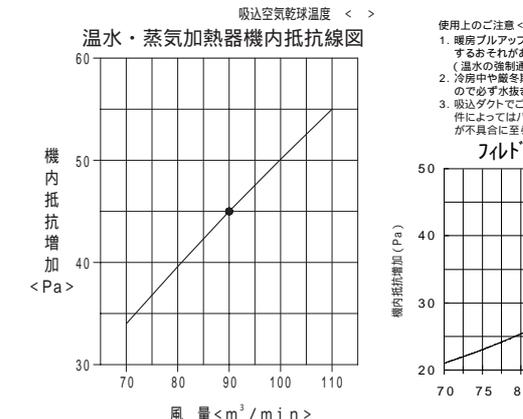
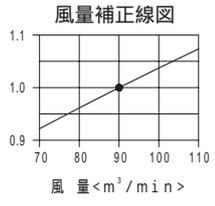
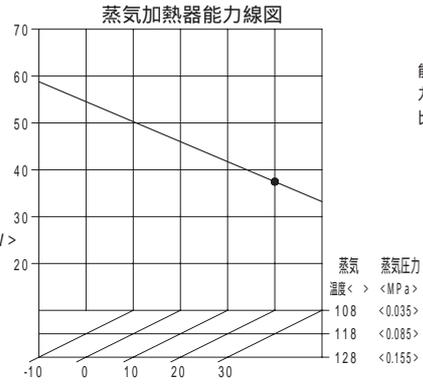
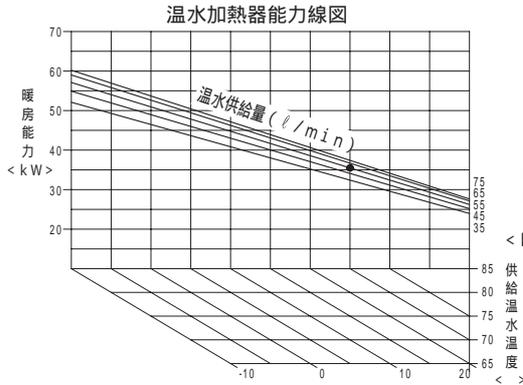


使用上の注意

- 供給水としては60℃以下、水圧0.1~0.4MPaの範囲で使用してください。
- 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水漏れが発生することがあります。
- 2倍形<ヘッダー本数2本>の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。
- 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込んでください。

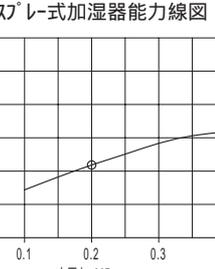
PFAK-P280AW(M)-A, PFTK-P250AW(M)-A形

機種によって組み込み可能な別売部品があります。P120~P122の取付可能部品表を参照ください。



使用上の注意

- 図は電磁弁と組合わせた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。
<差止弁にしてもよい> 組合せ電磁弁口径 Φ7
- 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水漏れが発生することがあります。必ず電磁弁<または差止弁>を使用してください。
- 蒸気圧力は0.02~0.12MPaの範囲で使用してください。
- サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品本体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定(出荷時の設定通り)でご使用ください。サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件(風量・蒸気圧・サーモ停止時間等)によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に霧が飛出ることがあります。
- 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込んでください。

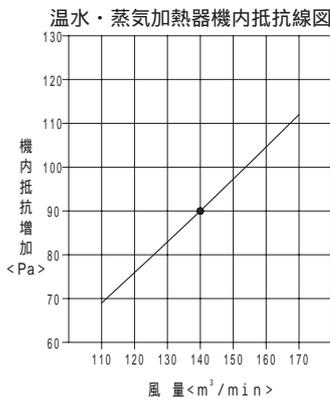
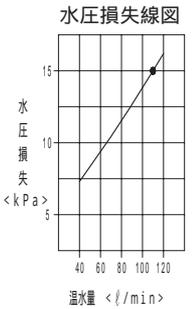
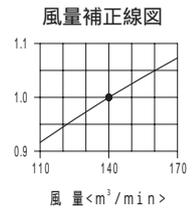
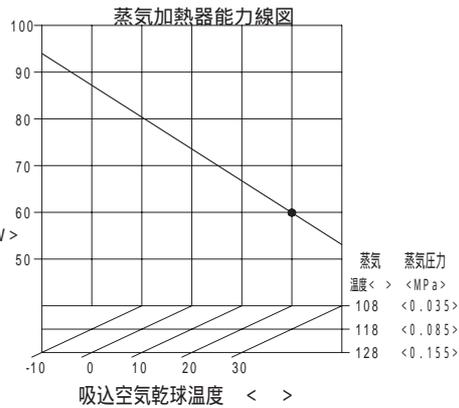
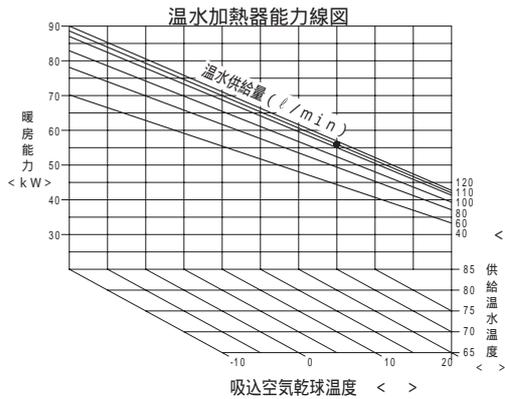


使用上の注意

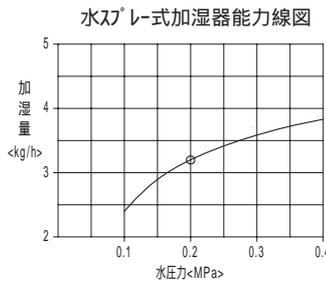
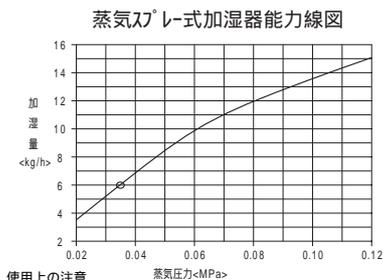
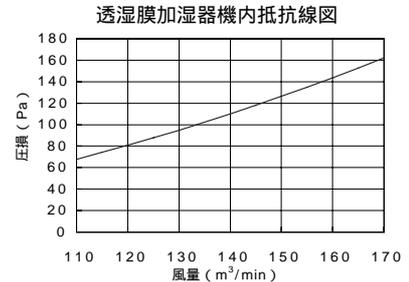
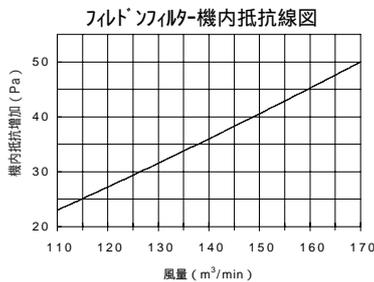
- 供給水としては60℃以下、水圧0.1~0.4MPaの範囲で使用してください。
- 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水漏れが発生することがあります。
- 2倍形<ヘッド本数2本>の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。
- 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込んでください。

PFAK-P450AW(M)-A, PFTK-P400AW(M)-A形

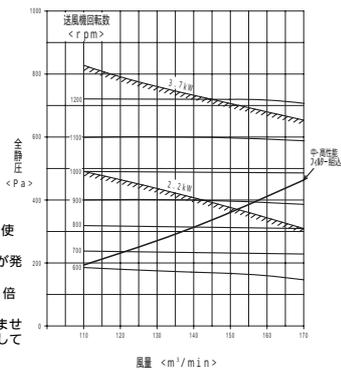
機種によって組み込み可能な別売部品があります。P120～P122の取付可能部品表を参照ください。



- 使用上の注意<蒸気・温水加熱器>
- 暖房プルアップ時(又は常時)吸込み空気が0℃以下になる場合で温水・蒸気を止める
と凍結するおそれがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。
(温水の強制通水・蒸気トラップの最小作動圧力を下げる、等)
 - 冷房中や暖冬期で温水・蒸気加湿器をご使用にならない場合にも凍結するおそれがあり
ますので必ず水抜きを実施してください。
 - 吸込ダクトでご使用になる場合は、吸込空気温度が0℃以下になると室内ユニット周囲
空気条件によってはパネル表面等に着露する可能性がありますので、その着露水にて
周囲の機械等が不具合に至らないようご注意ください。



中・高性能フィルター組込
送風機性能線図



使用上の注意

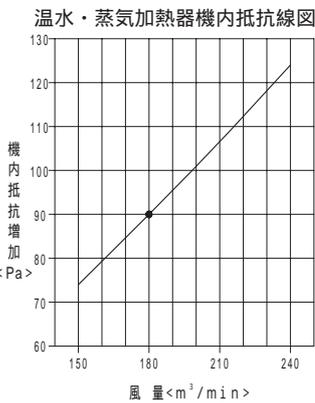
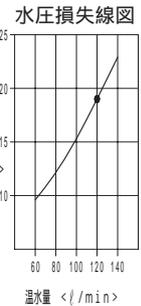
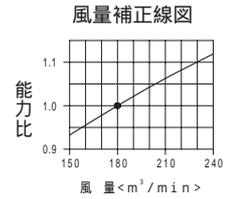
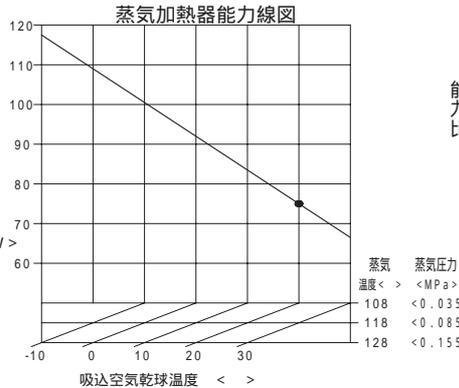
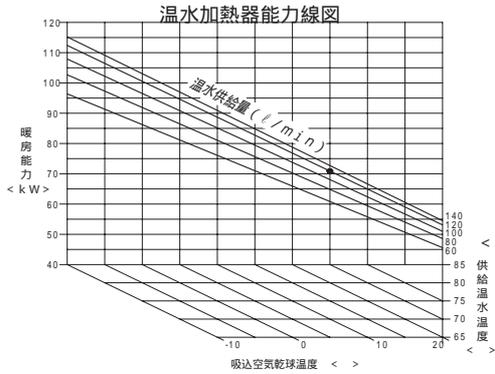
- 図は電磁弁と組合せた時の性能です。
本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してく
ださい。< 塞止弁にしてもよい > 組合せ電磁弁口径 φ7
- 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水漏れが発生
することがあります。必ず電磁弁<または塞止弁>を使用し
てください。
- 蒸気圧力は0.02～0.12MPaの範囲で使用してください。
- サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板
のDIPSW4-6をOFFの設定(出荷時の設定通り)でご使用
ください。
サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件
(風量・蒸気圧・サーモ停止時間等)によっては加湿器から
の蒸気が低下し、機外に露が飛出場合があります。
- 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできませ
ん。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込み
してください。

使用上の注意

- 供給水としては60℃以下、水圧0.1～0.4MPaの範囲で使
用してください。
- 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水漏れが発
生することがあります。
- 2倍形<ヘッダー本数2本>の場合は上記線図の数値を2倍
して能力を算出してください。
- 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできませ
ん。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込み
してください。

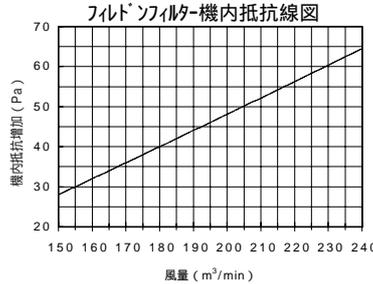
PFAK-P560AW(M)-A, PFTK-P500AW(M)-A形

機種によって組み込み可能な別売部品があります。P120～P122の取付可能部品表を参照ください。

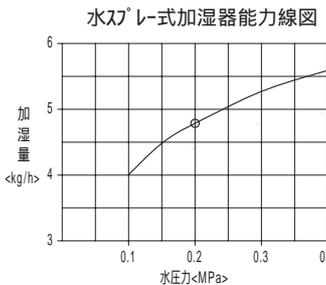
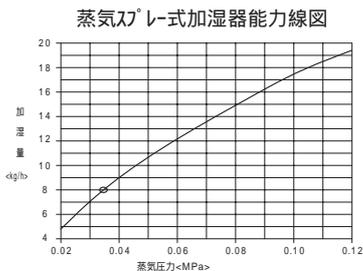
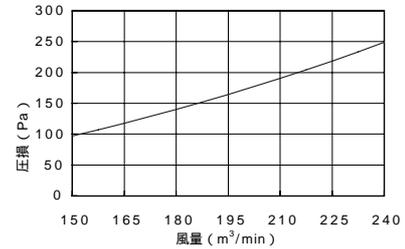


使用上のご注意 < 蒸気・温水加熱器 >

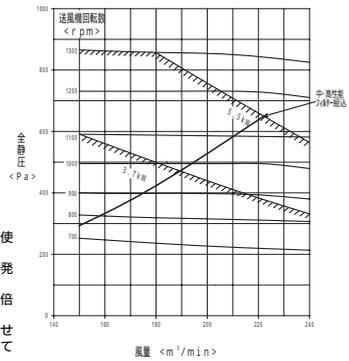
- 暖房プルアップ時(又は常時)吸込み空気が0℃以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結するおそれがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。(温水の強制通水、蒸気・蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる。等)
- 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加熱器をご使用にならない場合にも凍結するおそれがありますので必ず水抜きを実施してください。
- 吸込ダクトでご使用になる場合は、吸込空気温度が0℃以下になると室内ユニット周囲空気条件によってはパネル表面等に着露する可能性がありますので、その着露水にて周囲の機械等が不具合に至らないようご注意ください。



透湿膜加湿器機内抵抗線図



中・高性能フィルター組込送風機性能線図



使用上の注意

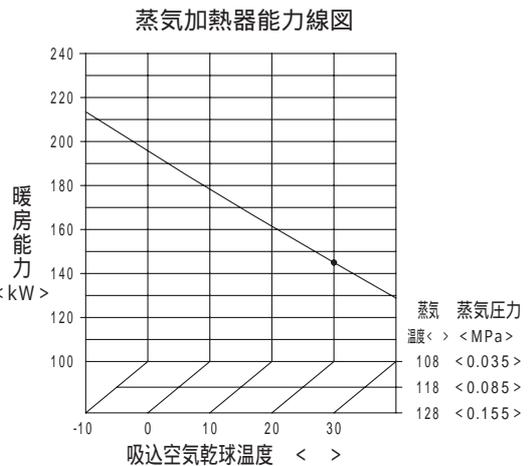
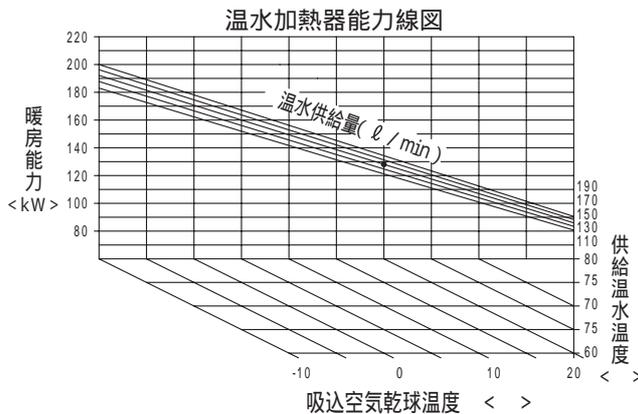
- 図は電磁弁と組合わせた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。 < 塞止弁にしてもよい > 組合せ電磁弁口径 φ7
- 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水漏が発生することがあります。必ず電磁弁<または塞止弁>を使用してください。
- 蒸気圧力は0.02～0.12MPaの範囲で使用してください。
- サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定(出荷時の設定通り)でご使用ください。サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件(風量・蒸気圧・サーモ停止時間等)によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に霧が飛出場合があります。
- 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込みしてください。

使用上の注意

- 供給水としては60℃以下、水圧0.1～0.4MPaの範囲で使用してください。
- 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水漏れが発生することがあります。
- 2倍形<ヘッダー本数2本>の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。
- 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込みしてください。

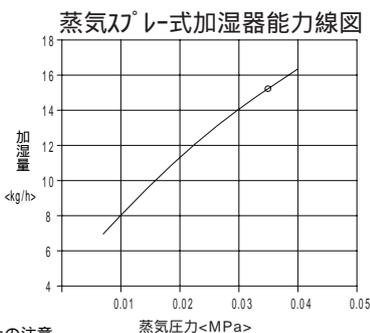
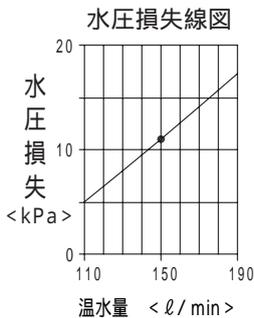
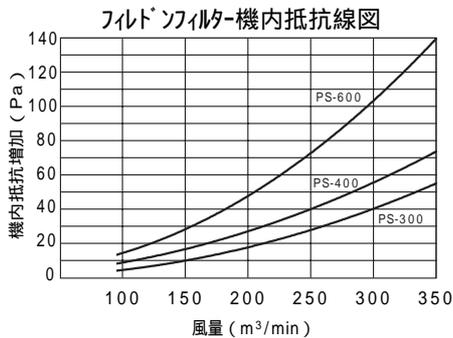
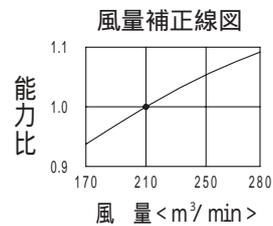
PFAK-P630AW(M)-A, PFTK-P600AW(M)-A形

機種によって組み込み可能な別売部品があります。P120～P122の取付可能部品表を参照ください。



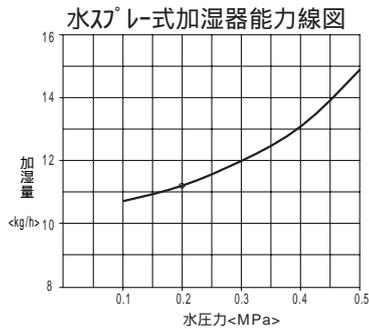
使用上のご注意 < 蒸気・温水加熱器 >

- 暖房プルアップ時(又は常時)吸込み空気が0 以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結するおそれがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。(温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる、等)
- 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加湿器をご使用にならない場合にも凍結するおそれがありますので必ず水抜きを実施してください。
- 吸込ダクトでご使用になる場合は、吸込空気温度が0 以下になると室内ユニット周囲空気条件によってはパネル表面等に着露する可能性がありますので、その着露水にて周囲の機械等が不具合に至らないようご注意ください。



使用上の注意

- 図は電磁弁と組合わせた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていないので蒸気を調節してください。< 塞止弁にしてもよい > 組合せ電磁弁口径 φ7
- 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水漏れが発生することがあります。必ず電磁弁<または塞止弁>を使用してください。
- 蒸気圧力は0.007～0.04MPaの範囲で使用してください。
- サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定(出荷時の設定通り)でご使用ください。サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件(風量・蒸気圧・サーモ停止時間等)によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に露が飛出る場合があります。
- 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込みしてください。

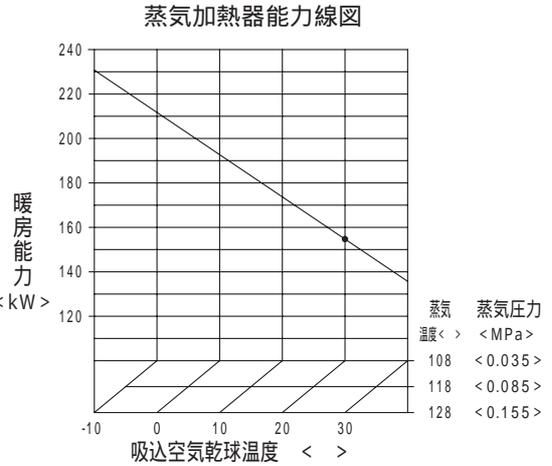
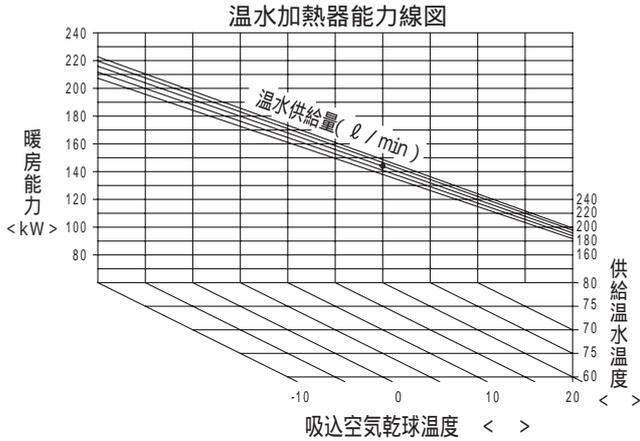


使用上の注意

- 供給水としては60 以下、水圧0.1～0.5MPaの範囲で使用してください。
- 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水漏れが発生することがあります。
- 2倍形<ヘッダー本数2本>の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。
- 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込みしてください。

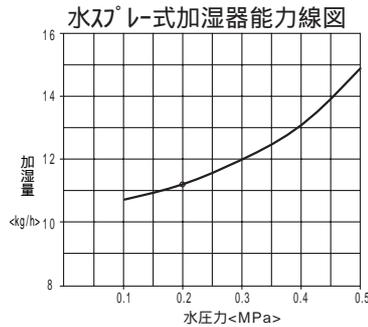
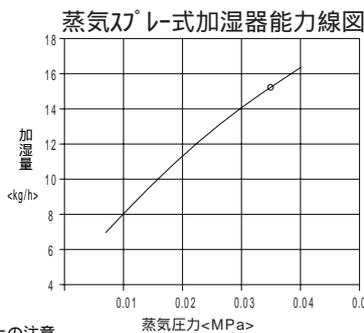
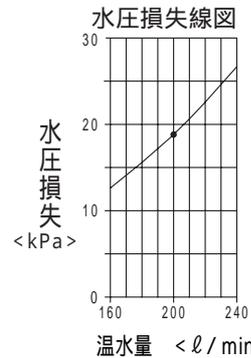
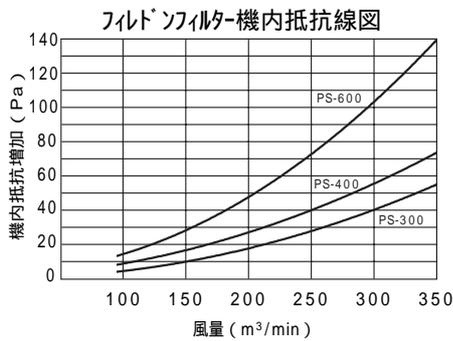
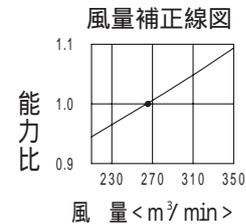
PFAK-P800AW(M)-A, PFTK-P750AW(M)-A形

機種によって組み込み可能な別売部品があります。P120～P122の取付可能部品表を参照ください。



使用上のご注意<蒸気・温水加熱器>

1. 暖房プルアップ時(又は常時)吸込み空気が0 以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結するおそれがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。(温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる。等)
2. 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加湿器をご使用にならない場合にも凍結するおそれがありますので必ず水抜きを実施してください。
3. 吸込ダクトでご使用になる場合は、吸込空気温度が0 以下になると室内ユニット周囲空気条件によってはパネル表面等に着露する可能性がありますので、その着露水にて周囲の機械等が不具合に至らないようにご注意ください。



使用上の注意

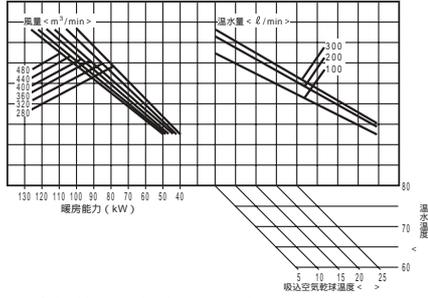
1. 図は電磁弁と組合わせた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。<塞止弁にしてもよい> 組合せ電磁弁口径 φ7
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水漏れが発生することがあります。必ず電磁弁<または塞止弁>を使用してください。
3. 蒸気圧力は0.007～0.04MPaの範囲で使用してください。
4. サーマ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定(出荷時の設定通り)でご使用ください。サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件(風量・蒸気圧・サーモ停止時間等)によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に露が飛出場合があります。
5. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込みしてください。

使用上の注意

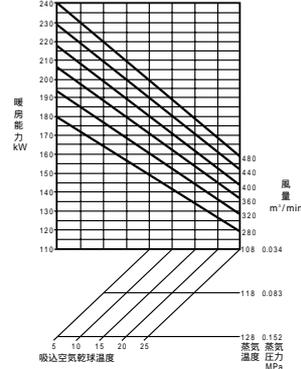
1. 供給水としては60 以下、水圧0.1～0.5MPaの範囲で使用してください。
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水漏れが発生することがあります。
3. 2倍形<ヘッダー本数2本>の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。
4. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込みしてください。

PFAK-P1120AW(M)-A,PFTK-P1000AW(M)-A形
受注対応となります。

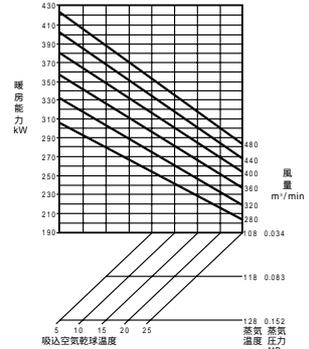
温水加熱器能力線図 (1列)



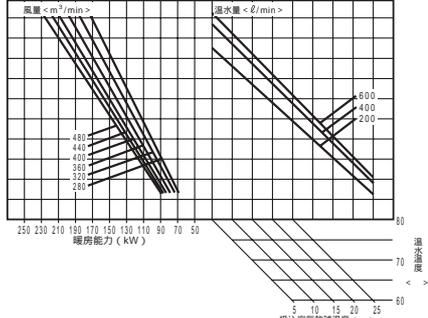
蒸気加熱器能力線図 (1列)



蒸気加熱器能力線図 (2列)



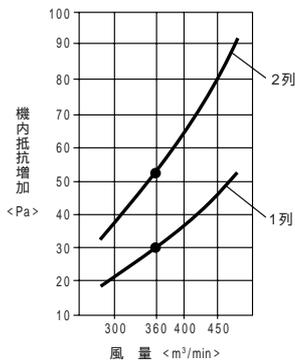
温水加熱器能力線図 (2列)



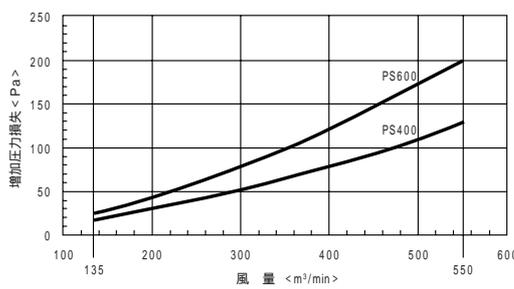
使用上の注意 < 蒸気・温水加熱器 >

1. 暖房プルアップ時(又は常時)吸込み空気が0 以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結するおそれがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。
(温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる。等)
2. 冷房中や最冬期で温水・蒸気加湿器をご使用にならない場合にも凍結するおそれがありますので必ず水抜きを実施してください。
3. 吸込ダクトでご使用になる場合は、吸込空気温度が0 以下になると室内ユニット周囲空気条件によってはパネル表面等に着露する可能性がありますので、その着露水にて周囲の機械等が不具合に至らないようご注意ください。

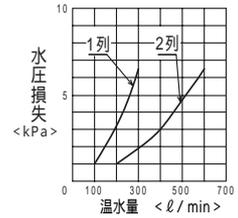
温水・蒸気加熱器機内抵抗線図



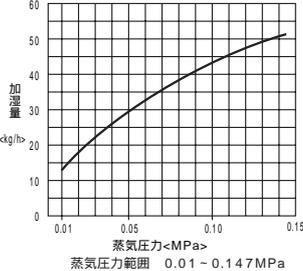
フィルドフィルター機内抵抗線図



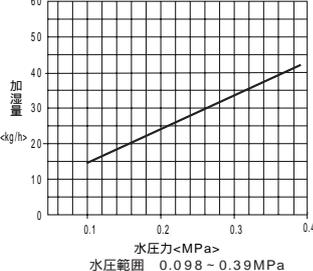
水圧損失線図



蒸気スプレー式加湿器能力線図



水スプレー式加湿器能力線図



使用上の注意

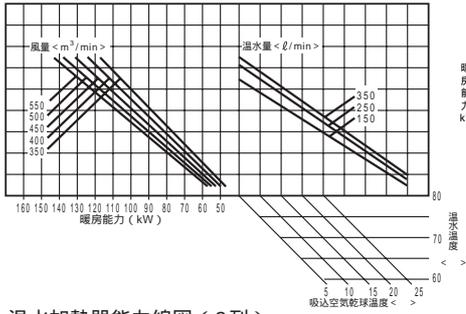
1. 図は電磁弁と組合わせた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。< 塞止弁にしてもよい > 組合せ電磁弁口径 φ7
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水漏れが発生することがあります。必ず電磁弁<または塞止弁>を使用してください。
3. 蒸気圧力は0.01 ~ 0.147MPaの範囲で使用してください。
4. サーマーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定(出荷時の設定通り)でご使用ください。
サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件(流量・蒸気圧・サーモ停止時間等)によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に霧が飛出る場合があります。
5. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組みしてください。

使用上の注意

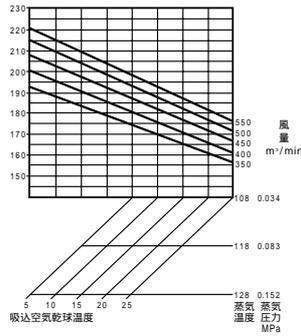
1. 供給水としては60 以下、水圧0.098 ~ 0.39MPaの範囲で使用してください。
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水漏れが発生することがあります。
3. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組みしてください。

PFAK-P1400AW(M)-A,PFTK-P1250AW(M)-A形
受注対応となります。

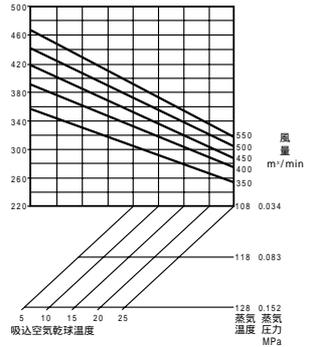
温水加熱器能力線図（1列）



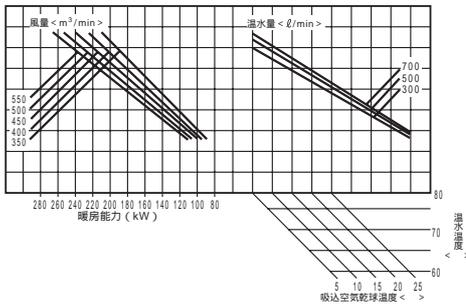
蒸気加熱器能力線図（1列）



蒸気加熱器能力線図（2列）



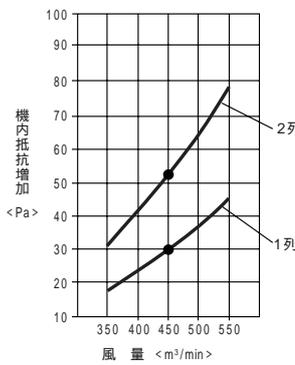
温水加熱器能力線図（2列）



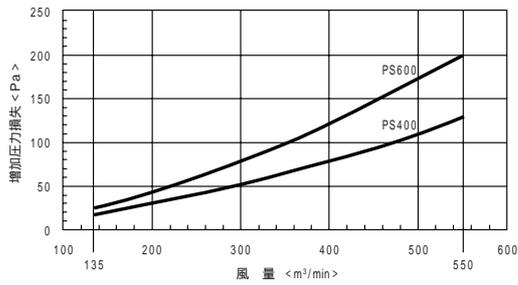
使用上のご注意 < 蒸気・温水加熱器 >

1. 暖房プルアップ時(又は常時)吸込み空気が0 以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結するおそれがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。
(温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる。等)
2. 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加湿器をご使用にならない場合にも凍結するおそれがありますので必ず水抜きを実施してください。
3. 吸込ダクトでご使用になる場合は、吸込空気温度が0 以下になると室内ユニット周囲空気条件によってはパネル表面等に着露する可能性がありますので、その着露水にて周囲の機構等が不具合に至らないようにご注意ください。

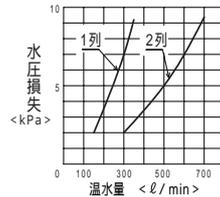
温水・蒸気加熱器機内抵抗線図



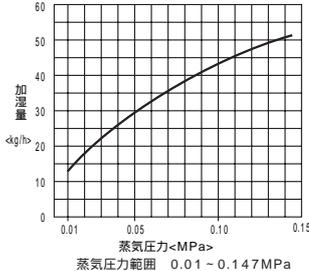
フィルタ・ソフター機内抵抗線図



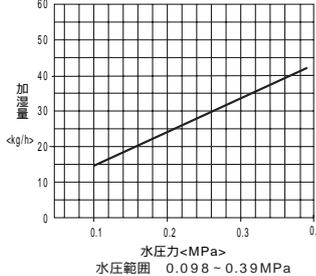
水圧損失線図



蒸気スプレー式加湿器能力線図



水スプレー式加湿器能力線図



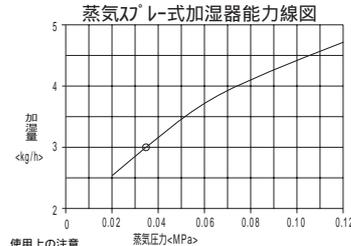
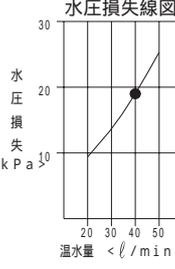
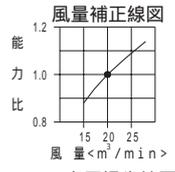
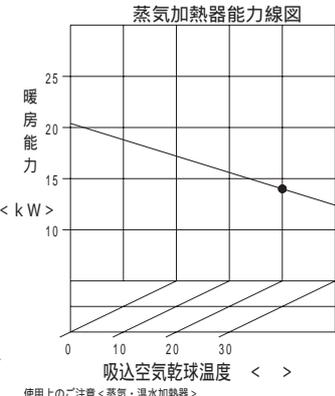
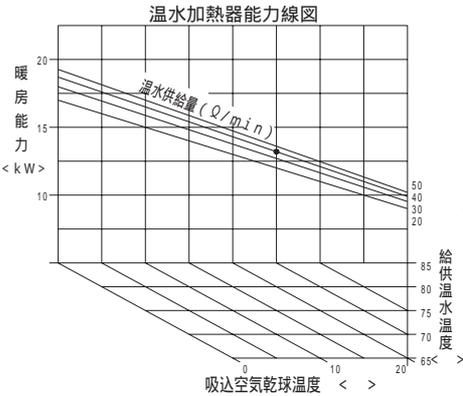
使用上の注意

1. 図は電磁弁と組合わせた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。< 塞止弁にしてもよい > 組合せ電磁弁口径 φ7
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水漏れが発生することがあります。必ず電磁弁<または塞止弁>を使用してください。
3. 蒸気圧力は0.01～0.147MPaの範囲で使用してください。
4. サーマ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定（出荷時の設定通り）でご使用ください。
サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件（風量・蒸気圧・サーモ停止時間等）によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に露が飛出る場合があります。
5. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込んでください。

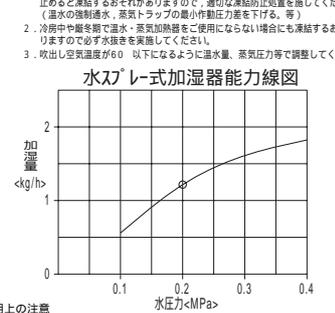
使用上の注意

1. 供給水としては60 以下、水圧0.098～0.39MPaの範囲で使用してください。
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水漏れが発生することがあります。
3. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込んでください。

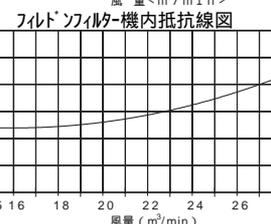
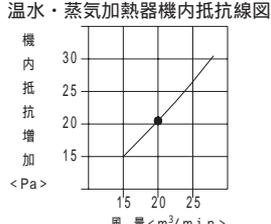
PFAK-P167AW(M)-A-F形



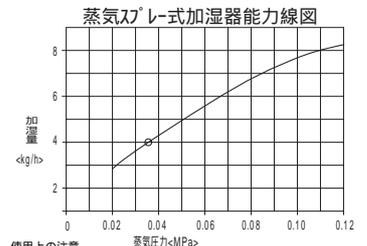
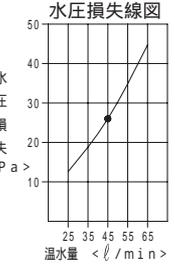
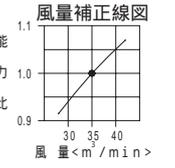
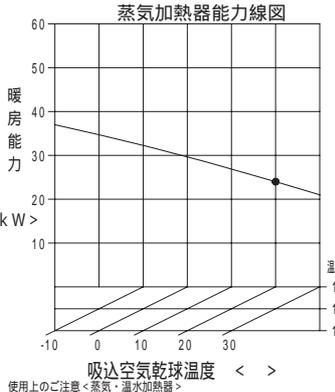
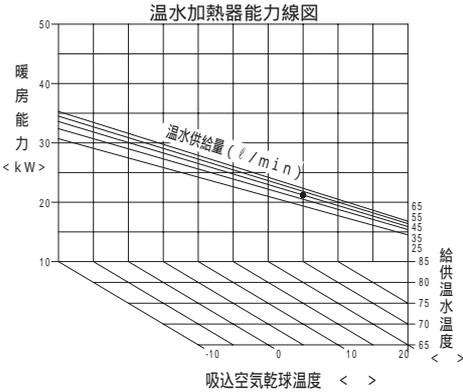
- 使用上の注意
- 図は電磁弁と組合わせた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。< 塞止弁にしてもよい > 組合せ電磁弁口径 φ7
 - 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水漏れが発生することがあります。必ず電磁弁< または塞止弁 > を使用してください。
 - 蒸気圧力は0.02～0.12MPaの範囲で使用して下さい。
 - サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定（出荷時の設定通り）でご使用ください。サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件（風量・蒸気圧・サーモ停止時間等）によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に露が飛出る場合があります。
 - 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込んでください。



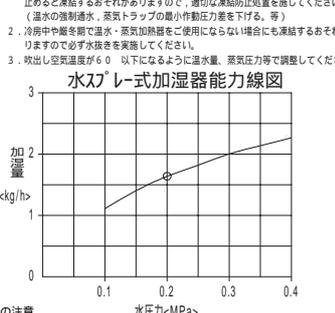
- 使用上の注意
- 供給水としては60℃以下、水圧0.1～0.4MPaの範囲で使用してください。
 - 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水漏れが発生することがあります。
 - 2倍形< ヘッダー本数2本 > の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。
 - 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込んでください。



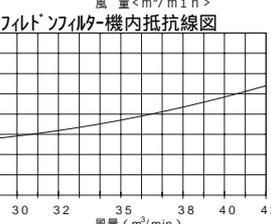
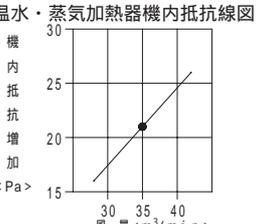
PFAK-P265AW(M)-A-F形



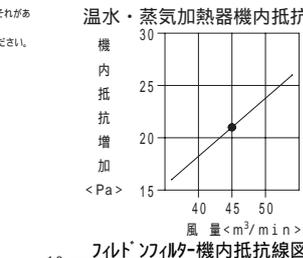
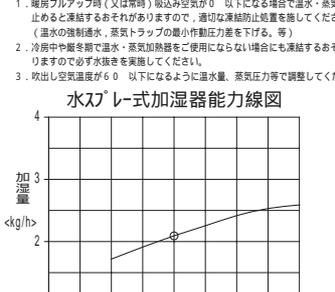
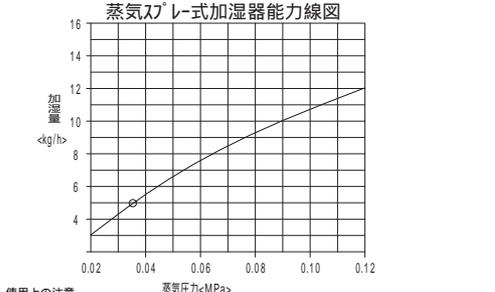
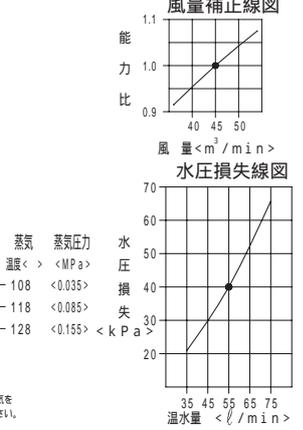
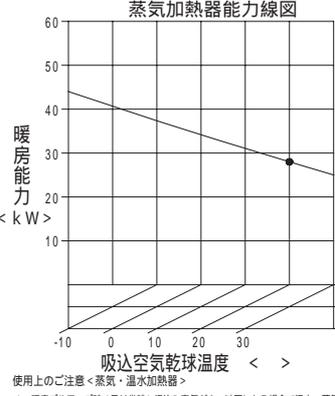
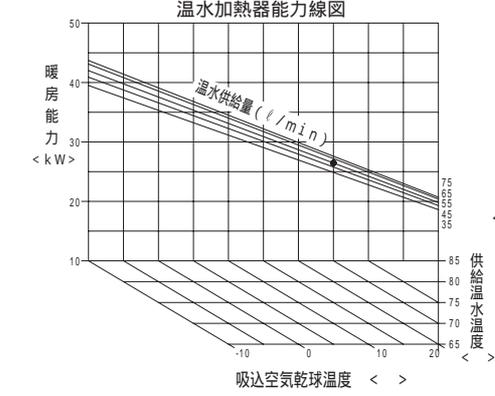
- 使用上の注意
- 図は電磁弁と組合わせた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。< 塞止弁にしてもよい > 組合せ電磁弁口径 φ7
 - 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水漏れが発生することがあります。必ず電磁弁< または塞止弁 > を使用してください。
 - 蒸気圧力は0.02～0.12MPaの範囲で使用して下さい。
 - サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定（出荷時の設定通り）でご使用ください。サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件（風量・蒸気圧・サーモ停止時間等）によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に露が飛出る場合があります。
 - 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込んでください。



- 使用上の注意
- 供給水としては60℃以下、水圧0.1～0.4MPaの範囲で使用してください。
 - 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水漏れが発生することがあります。
 - 2倍形< ヘッダー本数2本 > の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。
 - 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込んでください。



PFAK-P335AW(M)-A-F形



使用上の注意

- 図は電磁弁と組合わせた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。<塞止弁にしてもよい> 組合せ電磁弁口径 φ7
- 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水漏れが発生することがあります。必ず電磁弁<または塞止弁>を使用してください。
- 蒸気圧力は0.02～0.12MPaの範囲で使用して下さい。
- サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定(出荷時の設定通り)でご使用ください。サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件(風量・蒸気圧・サーモ停止時間等)によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に霧が飛出する場合があります。
- 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込んでください。

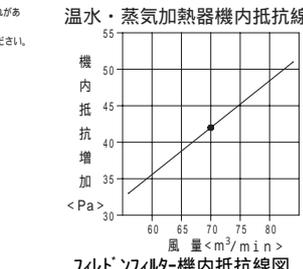
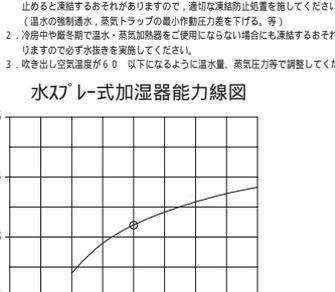
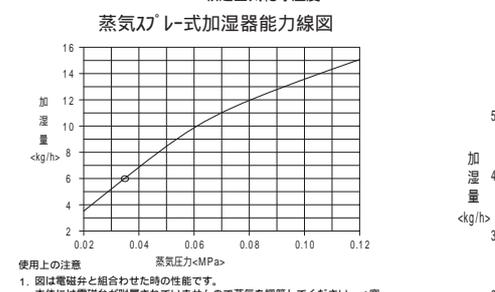
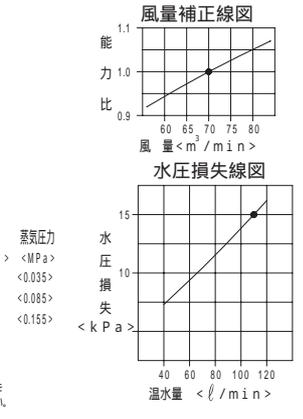
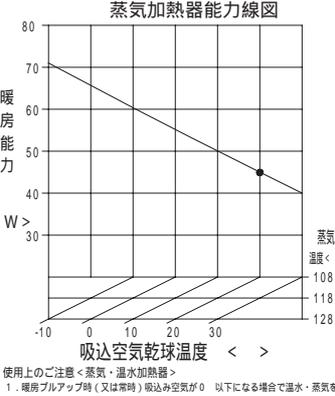
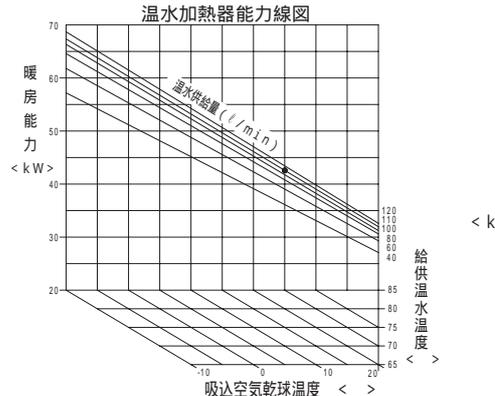
使用上の注意

- 供給水としては6.0以下、水圧0.1～0.4MPaの範囲で使用してください。
- 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水漏れが発生することがあります。
- 2倍形<ヘッダー本数2本>の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。
- 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込んでください。

使用上の注意

- 暖房プルアップ時(又は常時)吸込み空気が0以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結するおそれがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。(温水の強制送水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる。等)
- 冷房中や暖房時で温水・蒸気加熱器をご使用にならない場合にも凍結するおそれがありますので必ず水抜きを実施してください。
- 吹き出し空気温度が6.0以下になるように温水量、蒸気圧力等で調整してください。

PFAK-P530AW(M)-A-F形



使用上の注意

- 図は電磁弁と組合わせた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。<塞止弁にしてもよい> 組合せ電磁弁口径 φ7
- 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水漏れが発生することがあります。必ず電磁弁<または塞止弁>を使用してください。
- 蒸気圧力は0.02～0.12MPaの範囲で使用して下さい。
- サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定(出荷時の設定通り)でご使用ください。サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件(風量・蒸気圧・サーモ停止時間等)によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に霧が飛出する場合があります。
- 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込んでください。

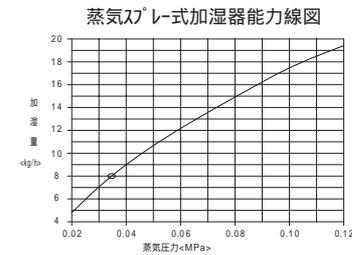
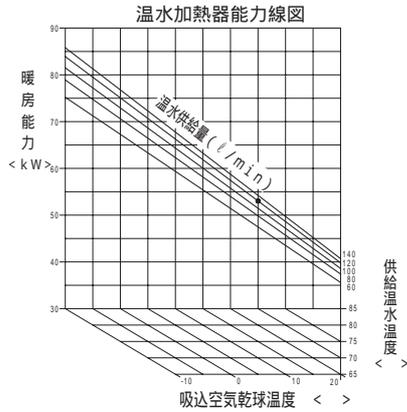
使用上の注意

- 供給水としては6.0以下、水圧0.1～0.4MPaの範囲で使用してください。
- 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水漏れが発生することがあります。
- 2倍形<ヘッダー本数2本>の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。
- 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込んでください。

使用上の注意

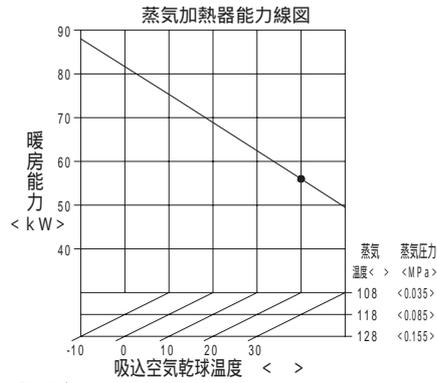
- 暖房プルアップ時(又は常時)吸込み空気が0以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結するおそれがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。(温水の強制送水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる。等)
- 冷房中や暖房時で温水・蒸気加熱器をご使用にならない場合にも凍結するおそれがありますので必ず水抜きを実施してください。
- 吹き出し空気温度が6.0以下になるように温水量、蒸気圧力等で調整してください。

PFAK-P670AW(M)-A-F形



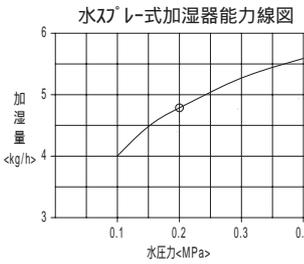
使用上の注意

- 図は電磁弁と組合わせた時の性能です。本体には電磁弁が別属されていませんので蒸気を調節してください。< 塞止弁にしてもよい> 組合せ電磁弁口径 φ7
- 必要以上の圧力・流量で使用しますと機外への水漏れが発生することがあります。必ず電磁弁< または塞止弁 > を使用してください。
- 蒸気圧力は0.02～0.12MPaの範囲で使用して下さい。
- サーモ停止時には加湿器をOFFするように製造単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定(出荷時の設定通り)でご使用ください。サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件(風量・蒸気圧・サーモ停止時間等)によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に霧が飛出る場合があります。
- 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。



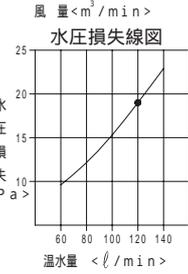
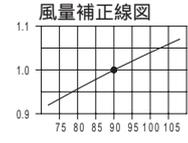
使用上の注意< 蒸気・温水加熱器 >

- 暖房プルアップ時(又は常時)吸込み空気が0℃以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結するおそれがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。(温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力を下げる、等)
- 冷房中や暖房前で温水・蒸気加熱器をご使用にならない場合にも凍結するおそれがありますので必ず水抜きを実施してください。
- 吹出し空気温度が60℃以下になるように温水量、蒸気圧力等で調整してください。

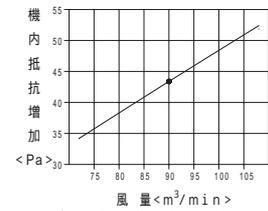


使用上の注意

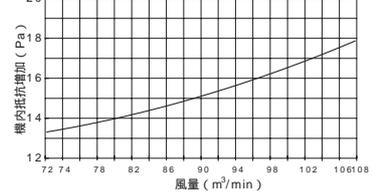
- 供給水としては60℃以下、水圧0.1～0.4MPaの範囲で使用してください。
- 必要以上の圧力・流量で使用しますと、機外への水漏れが発生することがあります。
- 2倍形< ヘッダー本数2本 > の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。
- 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組込みしてください。



温水・蒸気加熱器機内抵抗線図



フィルタ・ソイルタ機内抵抗線図



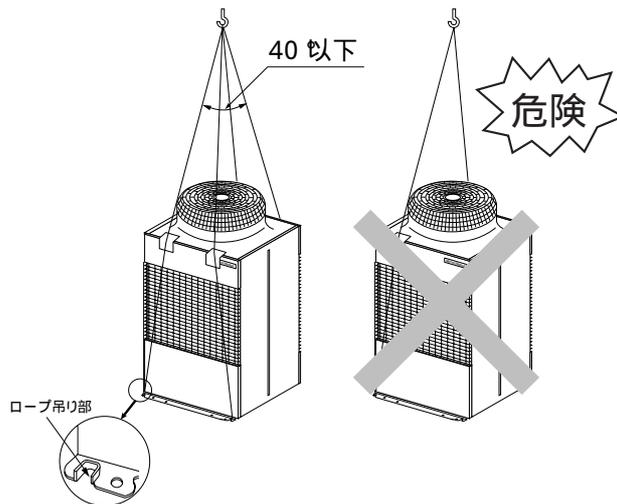
据付工事

1. 室外ユニットの据付け

(1) 製品の吊下げ方法

- 製品を吊下げて搬入する場合はロープをユニットの下に通し、前後各2ヶ所の吊り部を使用してください。
- ロープは必ず4ヶ所吊りとし、ユニットに衝撃を与えないようにしてください。
- ロープ掛けの角度は下図のように40°以下にしてください。
- ロープは7m以上のものを2本使用してください。

PU(H)K-P224・P280(U)AW-A



⚠ 注意

製品の運搬には、十分注意してください。

- ・20kg以上の製品の運搬は、1人でしないでください。
- ・製品によってはPPバンドによる梱包を行っていますが、危険ですので運搬の手段には使用しないでください。
- ・熱交換器のフィン表面で切傷する場合がありますので、素手で触れないように注意してください。
- ・包装用のポリブクロで子どもが遊ばないように、破いてから廃棄してください。窒息事故などの原因となります。
- ・室外ユニットの搬入を行う場合は、ユニットベースの指定位置に吊下げてください。また、適宜、室外ユニットが横ずれしないよう固定し、確実に4点支持で実施してください。3点支持以下で運搬・吊下げしますと不安定となり、落下の原因となります。

(2) 据付け

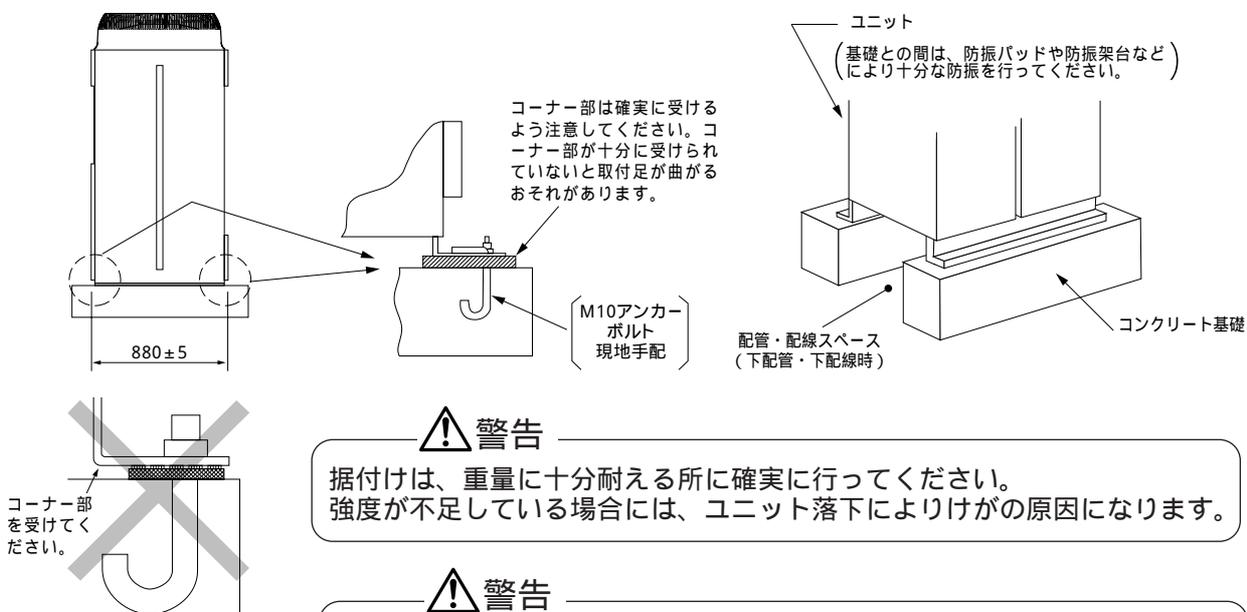
- ユニットが地震や突風などで倒れないように、下図のようにボルトで強固に固定してください。
- ユニットの基礎は、コンクリートまたはアングル等の強固な基礎としてください。
- 据付条件によっては、振動が据付部から伝搬し、床や壁面から、騒音や振動が発生する場合がありますので、十分な防震工事(防震パッド、防震架台など)を行ってください。

PU(H)K-P140AW-A

M10の基礎ボルトでユニットの据付足を
4ヶ所強固に固定してください。
(基礎ボルト 座金 ナットは現地手配です。)



PU(H)K-P224・280(U)AW-A



警告

据付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。
強度が不足している場合には、ユニット落下によりけがの原因になります。

警告

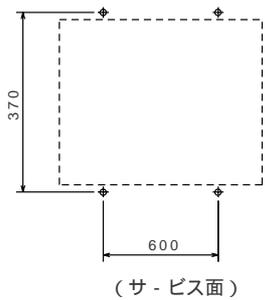
台風等の強風、地震に備え、所定の据付工事を行ってください。
据付工事に不備があると、転倒等による事故の原因になります。

基礎施工に際しましては床面強度、ドレン水処理<運転時にはドレン水が機外に流出します>、配管、配線の経路に十分留意してください。

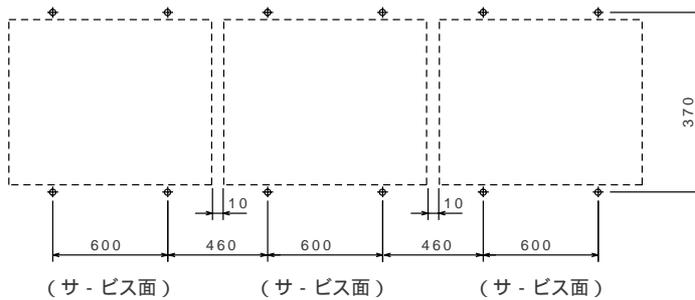
(3) アンカーボルト位置

PU(H)K-P140AW-A

● 単独設置



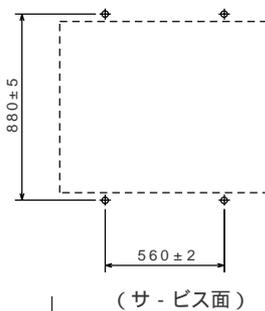
● 集中設置例



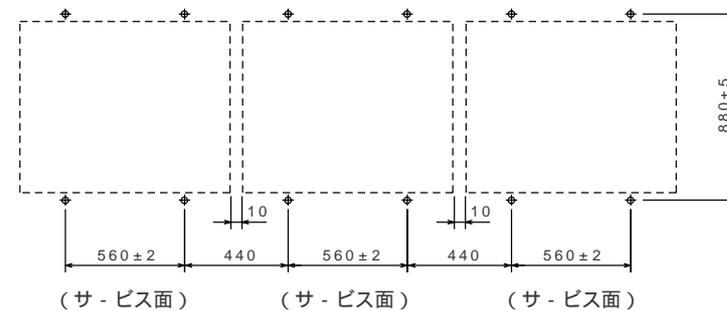
集中設置時、ユニット間には10mmのすきまを設けてください。

PU(H)K-P224・P280(U)AW-A

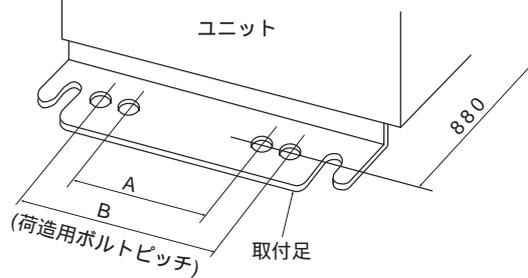
● 単独設置



● 集中設置例



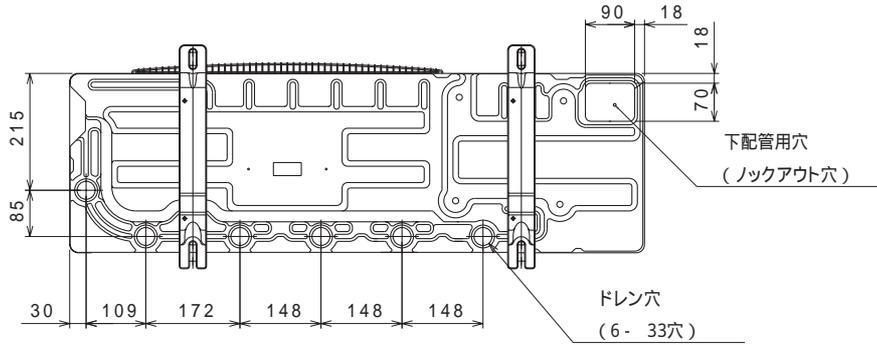
集中設置時、ユニット間には10mmのすきまを設けてください。



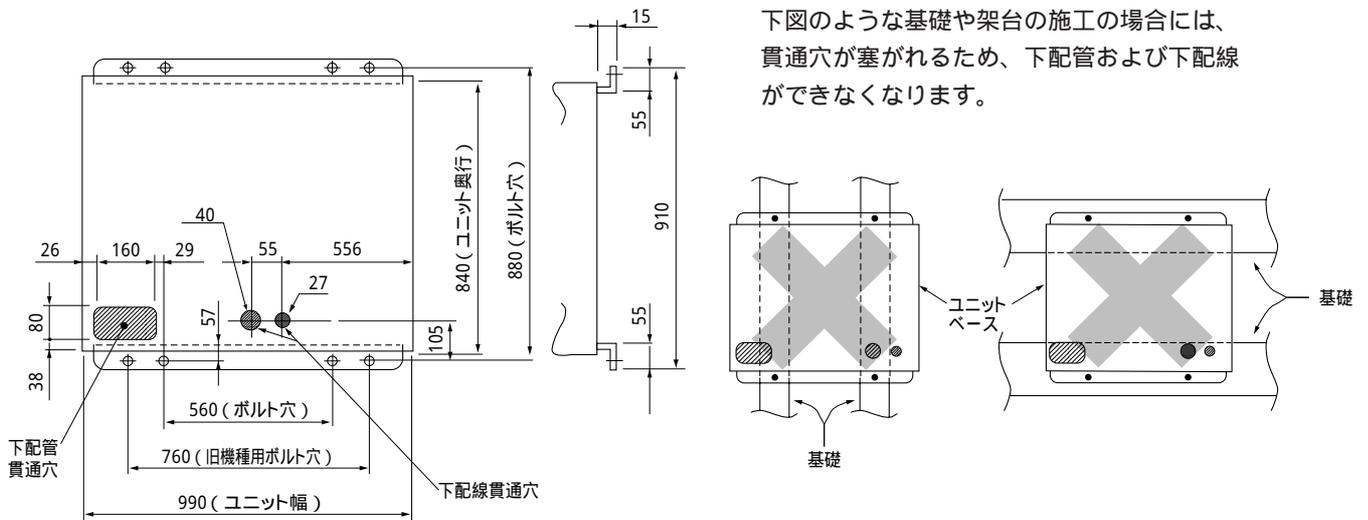
(4) 下配管・下配線時の注意

下配管または下配線を行う場合は、ベースの貫通穴を塞がないように基礎や架台の施工には注意してください。また、下配管する時にはユニットの底下に配管が通るように100mm以上の高さの基礎を設けてください。

PU(H)K-P140AW-A



PU(H)K-P224・P280(U)AW-A

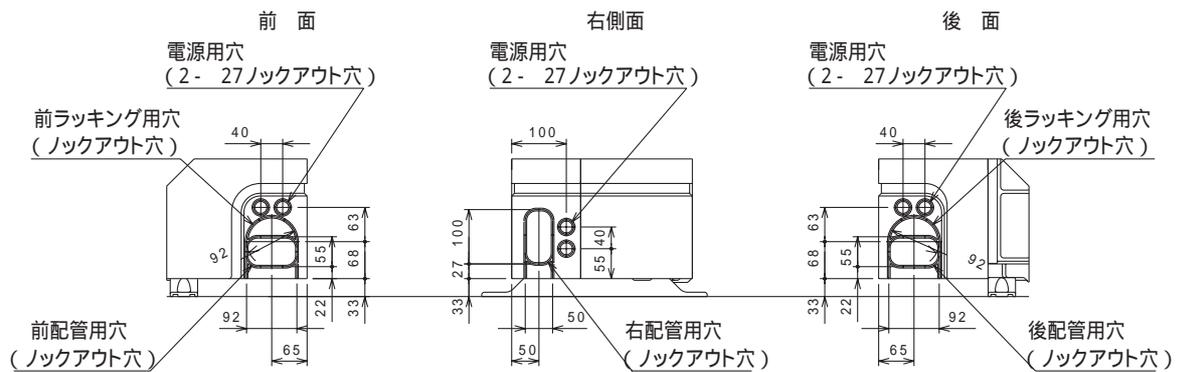


(5)冷媒配管取出し方向

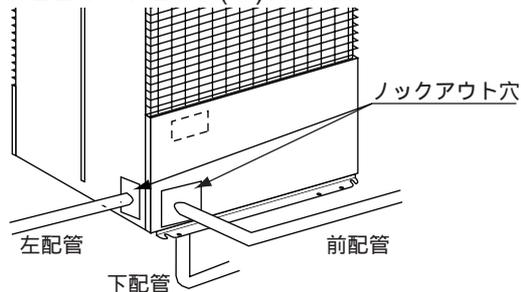
室外ユニットの冷媒配管取出し方向は、下図のように下配管、前配管、右配管（P140形）、左配管（P224、P280形）の3通りが可能です。後配管を行う場合は、別売の「後配管キット」を使用してください。

但し、集中設置、連続設置時等、ユニット右側または左側に他のユニットが連結された場合、そのユニットの右配管または左配管はできません。

PU(H)K-P140AW-A



PU(H)K-P224・P280(U)AW-A-



注：下配管する場合は、本体の底下に配管が通るように高さ100mm以上の基礎を設けてください。

2.雪・季節風に対する注意

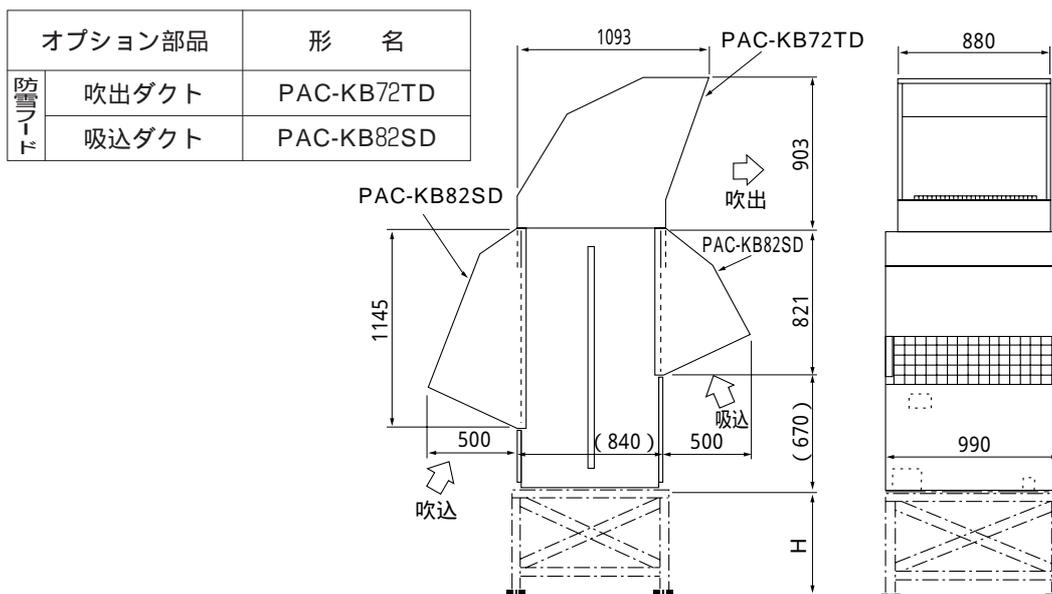
寒冷地域や積雪の予想される地域で、冬季にユニットを正常に運転するためには、十分な防風、防雪対策が必要です。その他の地域でも、季節風や降雪の影響による異常運転を防止するために、ユニットの設置に際して十分な配慮をお願いいたします。また、外気10以下で冷房運転を実施する場合、ユニットに直接風・雨・雪が当たる時は、ユニットの安定した運転を得るために、ユニットに吹出ダクト、吸込ダクトを取付けるようにしてください。

(1) 寒冷地域・積雪地域での暴風・防雪対策

下図に防雪フード組込図を示しますので参考にしてください。

防雪フード組込図

PU(H)K-P224・P280(U)AW-A



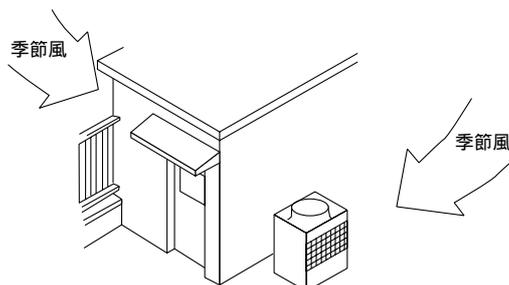
(注)

- (1)防雪架台の高さ< H >は、予想される積雪量の2倍程度としてください。また、架台はアングル鋼材等で組立て、風雪の素通りする構造とし、架台の幅はユニットの寸法より大きくならないよう決定してください。大きくするとその上に積雪します。
- (2)本図を参考として現地にて架台の製作、施工を実施してください。
 材質：亜鉛メッキ鋼板 1.2T
 塗装：ポリエステル粉体全面塗装
 色：マンセル 5Y8/1(本体同色)
- (3)寒冷地域での使用で、外気が氷点下以下の暖房運転を連続的に長期間使用する場合には、ユニットベースへのヒーター取付等を適宜行ない、ベース上の氷結を防止するようにしてください。

(2) 季節風対策

下記例を参考にして据付場所の実情に応じた適当な措置を施してください。

(注)ユニット設置時季節風が吹出口、吸込口の正面から当たらないように配慮してください。



(3) 雪に対する注意

積雪の予想される地域では、十分な防雪対策（雪よけ屋根等の設置）が必要です。ユニットの設置に際しては十分な配慮をお願いします。（槽の積雪について考慮した構造にしていますが、環境条件（雪質等）および設置状況により、ユニットへの負担は変わります。従って、ユニットの故障防止及び安全のため積雪が0.5mを超える合は早めに雪おろししてください。また、屋根から雪が落ちる場所への設置は避けてください。

3.室内ユニットの据付け

⚠ 注意

ユニットは水平に据付ける。

- 傾いていると、水漏れや故障の原因になります。必ず水準器等で水平を確認してください。

⚠ 注意

梱包材の処理は確実にを行う。

- 梱包材にはクギ等の金属あるいは木片等を使用していますので、放置しますとさし傷等の原因になります。
- 梱包用のポリ袋で子供が遊ばないように、破いてから廃却してください。窒息事故の原因になります。

⚠ 注意

製品の運搬には十分注意する。

- 20kg以上の製品の運搬は、一人では行わないでください。
- 製品によってはPPバンドによる梱包を行っていますが、危険ですので運搬の手段に使用しないでください。
- 熱交換器フィン表面で切傷する場合がありますので、素手で触れないでください。
- 室外ユニット等吊りボルトによる搬入を行う場合は、確実に4点支持で実施してください。3点支持等で運搬・吊り下げすると不安定になり、落下等の原因になります。

(1) ユニットの取付け

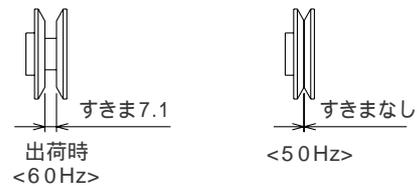
- 室内ユニットは、据付場所まで梱包のまま搬入してください。
- 現地手配のアンカーボルトを前項のサービススペースとの位置関係に留意して強固に設置してください。
アンカーボルトサイズ
P125～P560, P167～P670-F形 : 8 (M8ネジ)
P600～P800形 : 10 (M10ネジ)
P1000～P1400形 : 16 (M16ネジ)
- 室内ユニットは必ず水平に据付けてください。傾斜して据付けますと、本体の重心が中央にあたるため倒れるおそれがあります。また、ドレン漏れ等の事故に至る場合がありますので、必ず水平に据付けてください。

⚠警告

本体が必ず水平になるように、据付けてください。

電動機プーリーの調整 P125～P335形の場合のみ

標準機外静圧の場合、電動機プーリー(可変プーリー)は60Hz地区用にセットしています。50Hz地区で使用する場合は、電動機プーリーを右記寸法に調節してください。(調節方法は次ページを参照ください。)



ダクト接続時のお願い

- ダクトの接続には、ユニットとダクトの間にキャンバスダクトを入れてください。
- ダクトの部品には不燃材料を使用してください。
- ダクトおよびフランジには十分な断熱・防音を行ってください。
- アルミ製フレキシブルダクト等の軽い材料のご使用はダクト振動により騒音が出る場合がありますので、避けてください。
- 吸込ダクト接続する場合には、冷媒配管・ドレン配管のパネル貫通部をシール材(現地手配)にてシールしてください。

別売プレナムチャンバー使用時

P125～P800形の場合のみ(オールフレッシュ用は取付けできません)

本機は、ダクトタイプの機種であり別売プレナムチャンバー使用時は、プーリーの変更、調節が必要です。

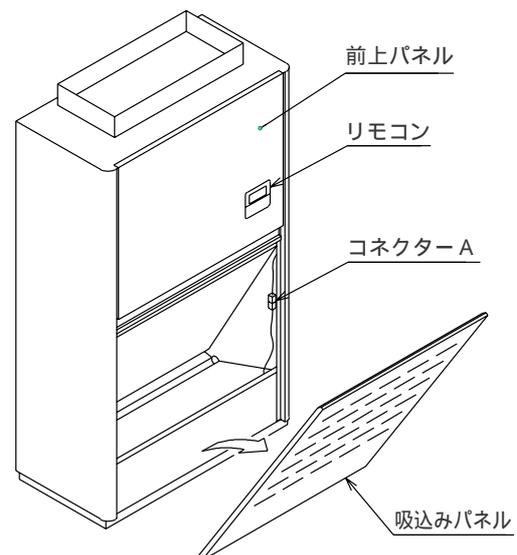
- 別売プレナムチャンバーの接続は、別売部品に付属の説明書に従い据付けてください。

本体前面の前上パネル取外し時のご注意

P125～P560・P167～P670-F形の場合のみ

プーリーおよびベルトの調整や交換、別売部品の組込み等で、前上パネル(リモコン埋込みパネル)を取外す時は、パネルを取外す前に、リモコンへの配線を外す必要があります。必ず、下記手順にて実施してください。

- (1) 本体下側の吸込みパネルを手前に引いて外してください。
- (2) 右図に示すリモコン配線のコネクターAを抜いてください。
このコネクターは、必ず抜いてください。抜かずに前上パネルを外すと、リモコン配線を破損するおそれがあります。
- (3) 前上パネルの固体ネジ2本を外して、パネル下側を手前に開き、リモコン配線(コネクターA)を上引き出してください。
- (4) 前上パネルを上持ち上げて取外してください。
外したパネルを地面などに下ろす場合、地面との間に配線やコネクターを挟まないように注意してください。



吹出ダクトフランジ取付けのお願い

P1000～P1400形の場合のみ

PFAK-P1120・P1400, PFTK-P1000・P1250形の吹出ダクトフランジは出荷時、ユニット内に付属しています。前上パネルを開けて吹出ダクトフランジを取出して、付属のネジ(M5×14)で吹出口にネジ止めしてください。

(2) プーリーおよびベルトについてのお願い

可変プーリーの調節方法 (P125~335形のみ)

下記の調節方法に従って可変プーリーのPC を調節してください。

プーリー本体とスライドピースを固定している止めネジをゆるめます。

スライドピースを左側にまわし、プーリー本体との隙間を0mmにしてください。

表1にて希望のPC に最も近いPC にスライドピースのまわし回転数を合わせます。

止めネジによりプーリー本体とスライドピースを固定します。(締付トルク: 13.5N・m)

止めネジはプーリー本体のネジのない部分のV溝に挿入して固定します。

止めネジのはずれ防止のためネジロック(現地手配)をネジに塗布してください。(ネジロック: ThreeBond 1401C 相当品)

試運転を行いプーリーのゆるみなど問題のないことを確認してください。なお、試運転終了後にスライドピースの止めネジにゆるみがないことを確認してください。

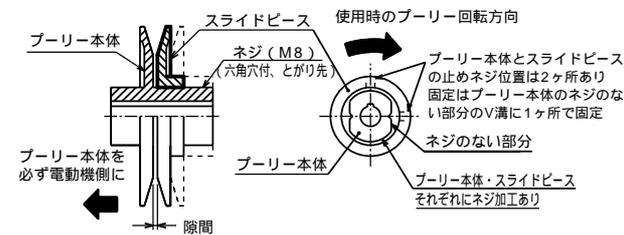
注、希望回転数が送風機性能線図の使用範囲内であることを確認してください。(使用範囲外では送風機の過電流継電器が作動します。)

注意

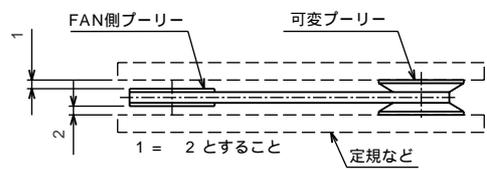
注1. プーリー本体が必ず電動機側になるように使用してください。
(スライドピースを電動機側にして使用しないでください。) 図1参照

2. 可変プーリーの調節の行った後は、必ず平行度(芯出し)の調節を行ってください。
(可変プーリーはV溝の隙間が可変するため平行度(芯出し)の調節は図2のように定規等を当てて左右の隙間が同じになるようにしてください。)

3. 表1の隙間は参考値ですので、可変プーリーのPC はスライドピースのまわし回転数であわせてください。



(図1) 可変プーリー



(図2) 可変プーリー使用時の平行度の調節

(表1) 可変プーリーPC 一覧表

スライドピースのまわし回転数	0	1/4	1/2	3/4	1	1・1/4	1・1/2	1・3/4	2	2・1/4	2・1/2	2・3/4	3	3・1/4	3・1/2	3・3/4	4	4・1/4	4・1/2	4・3/4
隙間 (mm)	(0)	(0.4)	(0.8)	(1.1)	(1.5)	(1.9)	(2.3)	(2.6)	(3.0)	(3.4)	(3.8)	(4.1)	(4.5)	(4.9)	(5.3)	(5.6)	(6.0)	(6.4)	(6.8)	(7.1)
0.75kWモーター用 可変プーリーPC	100.0	98.8	97.5	96.3	95.1	93.9	92.6	91.4	90.2	89.0	87.7	86.5	85.3	84.1	82.8	81.6	80.4	79.1	77.9	76.7
1.5kWモーター用 可変プーリーPC	140.0	138.8	137.5	136.3	135.1	133.9	132.6	131.4	130.2	129.0	127.7	126.5	125.3	124.1	122.8	121.6	120.4	119.1	117.9	116.7
2.2kWモーター用 可変プーリーPC	150.0	148.8	147.5	146.3	145.1	143.9	142.6	141.4	140.2	139.0	137.7	136.5	135.3	134.1	132.8	131.6	130.4	129.1	127.9	126.7

プーリーの平行度・ベルト張りについて

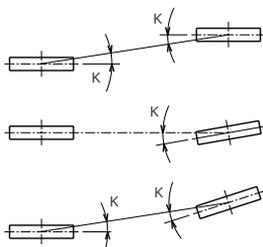
(1) ファンプーリーと電動機プーリーの平行度は、図3・表2の内容を満足するようにセットしてください。

(2) ベルトの一本当りの張力はたわみ量Lの値を右式にて計算し、 $L=0.016 \times C$ C: プーリーの軸間距離(mm) その時のたわみ荷重Wが表3の範囲内になるようにセットしてください。

(3) ベルトがプーリーになじんだ後(運転後24~28時間以後)ベルトの緩みがないか確認し、緩みがある場合には(2)項の適正張りに調整するようにしてください。また、新しいベルトの場合は、たわみ荷重Wの最大値の約1.3倍程度に調整するようにしてください。

(4) (3)項の初期のび調整の後、2000時間ごとに張り再調整を行ってください。

[ベルトは初期のび(約1%)を含め、ベルト周長が2%のびた時点が寿命です。(運転時間で約8000時間)]



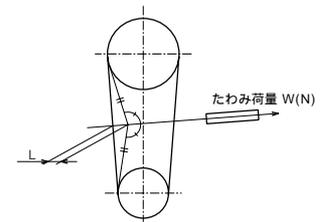
(図3) プーリーの平行度

(表2) プーリー同士の平行度

プーリー	平行度	K(分)	備考
鑄鉄製プーリー		10以下	1m当り3mmのずれに相当

(表3) Vベルトのたわみ荷重

Vベルトの種類		たわみ荷重W(N)	備考
A形	モータープーリー径(mm)		
	65-80	11-14	P125-P167形標準の場合
	81-90	13-17	
	91-105	16-20	
	106-	19-24	P200-P335形標準の場合
B形		22-29	P400-P670形標準の場合

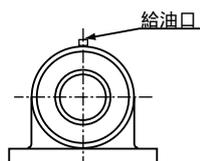


(図4) ベルトの張力

送風機軸受について（ PFAK-P630～P1400・PFTK-P600～P1250形のみ）

送風機軸受は、2000時間ごとにグリスの給油が必要です。グリスの給油は軸受に設けられた給油口（図5）よりグリスガンにて行ってください。

推奨グリス「昭和シェル アルバニアNo.3」を使ってください。



(図5)軸受

4.冷媒配管工事

配管の接続方法は、室内ユニットはフレアまたはロウ付接続、室外ユニットのガス管はフランジ接続、液管はフレア接続になっています。また、分岐部はロウ付接続です。

⚠警告

火気使用中に冷媒ガス(R407C)を漏らさないように注意してください。冷媒ガスがガスコンロ等の火に触れると分解して、有毒ガスを発生させガス中毒の原因になります。溶接作業は密閉された部屋で実施しないでください。また冷媒配管工事完了後、ガス漏れ検査を実施してください。

(1)注意事項

冷媒配管は下記材料をお使いください。

- 材 質：冷媒配管はJIS H3300「銅及び銅合金断目無管」のC1220のリン脱酸銅を使用してください。また、管の内外面は美麗であり、使用上有害なイオウ、酸化物、ゴミ、切粉、油脂、水分等（コンタミネーション）の付着がないものを使用してください。

- サイズ：3ページをご覧ください。

市販の銅管にはゴミが入っている場合がありますので、乾燥した不活性ガスにて吹飛ばしてください。

配管加工、または配管工事中に配管の中にゴミや水分を入れないでください。

曲げ箇所は、できるだけ少なくし、曲げ半径は、できるだけ大きくしてください。

指定冷媒配管が分岐管の径と異なる場合、異径接手を使用して径をあわせて使用してください。

冷媒配管制限（許容長さ、高低差、配管径）は必ず守ってください。故障や冷暖房不良の原因となります。

ロウ材は、JIS指定品の良質なものを使用してください。

冷媒は、液冷媒にて封入してください。

冷媒によるエアージは絶対に行なわないでください。必ず真空ポンプによる真空引きを行なってください。

配管の断熱を正しく行ってください。不十分な場合、冷暖房不良や露タレ等によって思わぬトラブルが発生する事があります。（208ページをご覧ください）

冷媒配管の接続は室外ユニットのボールバルブを全閉（工場出荷時仕様）のままとし、室内・室外ユニットと冷媒配管を全て接続して、冷媒漏れ試験、真空引き作業が終了するまで操作しないでください。

配管接続の際は、必ず無酸化ロウ付を行ってください。無酸化ロウ付を行わないと、圧縮機の破損につながるおそれがあります。

（配管接続及びバルブ操作の詳細は198ページをご覧ください）

雨天時に室外ユニットの配管接続作業はしないでください。

(2)冷媒追加充てん量の算出方法

- 冷媒のオーバーチャージをしないよう十分に注意してください。オーバーチャージは圧縮機故障の原因になります。
- 冷媒は工場出荷時、室外ユニットに下表の値を封入していますが、延長配管分および室内ユニット分は含まれていませんので、現地にて追加充てんしてください。(P140形は30mまで冷媒追加チャージ不要です。)

室外機形名	PU(H)K-P140AW-A	PU(H)K-P224AW-A	PU(H)K-P280AW-A	PU(H)K-P224UAW-A	PU(H)K-P280UAW-A
工場出荷時封入冷媒量	4.6kg	6.0kg	6.5kg	7.0kg	7.5kg

PU(H)K-P140AW-A形

機 種	許容配管長	冷媒追加チャージ量 (kg)			
		31m～35m以下	36m～40m以下	41m～45m以下	46m～50m以下
PUHK-P140	50m以下	0.3kg	0.6kg	0.9kg	1.2kg
PUK-P140	50m以下	0.3kg	0.3kg	0.6g	0.6kg

PU(H)K-P224・280(U)AW-A形

計算式

追加充てん量は、延長配管の液管サイズとその長さ(単位:m)で算出します。

- ・延長配管長50(m)までの場合

$$\text{追加充てん量 (kg)} = 0.05 \times L + K$$

L:液管 12.7の延長配管長 (m)

K:室内ユニット1回路分0.5 (kg)

- ・延長配管長50～100(m)までの場合

$$\text{追加充てん量 (kg)} = 0.11 \times (L - 50) + K + P$$

L:液管 12.7の延長配管長 (m)

K:室内ユニット1回路分0.5 (kg)

P:延長配管長50(m)分2.5 (kg)

(3)配管接続、バルブ操作のご注意 室外ユニット

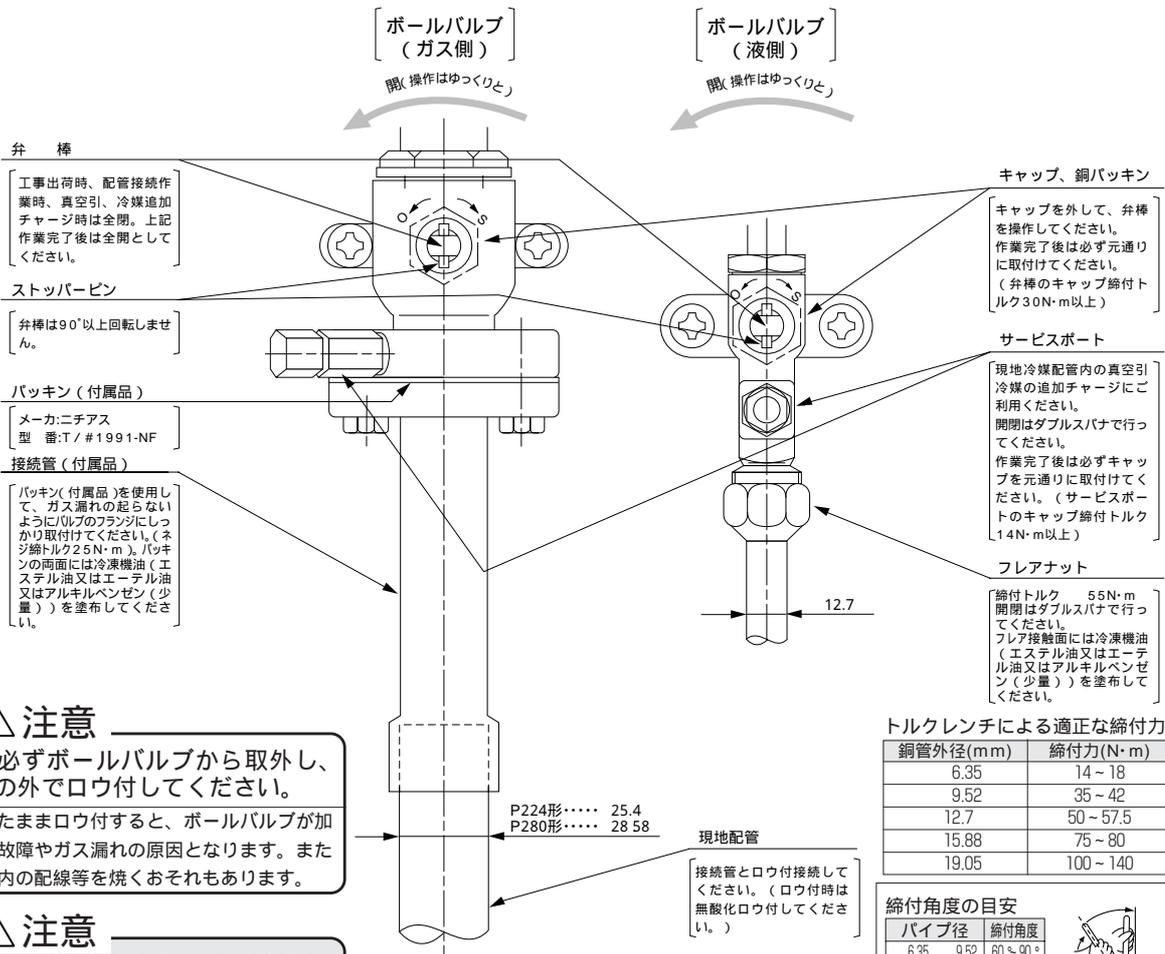
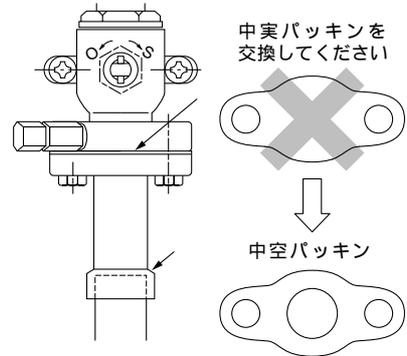
- 配管接続、バルブ操作は下図にしたがって確実に行ってください。
- ガス側接続管は組付けて出荷しています。(右図参照)

フランジ付接続管へのロウ付の際には、フランジ付接続管をボールバルブから取り外し、ユニットの外部にてロウ付してください。フランジ付き接続管を取外している間、ボールバルブ内へのゴミの侵入を防止するため、チュウイフダの裏面に貼付けているシールを剥がして、ボールバルブのフランジ面に貼付けてください。出荷時には、フランジ間にガス漏れ防止のため中実のパッキンを入れて冷媒回路を遮断しています。

このままの状態では運転できませんので、配管接続に際しては必ず付属の中実パッキンと交換してください。

中空パッキン取付けに際しては、フランジのシート面、及びパッキンにゴミ等の付着がないように拭き取ってください。パッキンの両面には冷凍機油(エステル油又はエーテル油又はアルキルベンゼン〔少量〕)を塗布してください。

- 真空引き、冷媒チャージ後は必ず、ハンドルを全開状態にしてください。バルブを閉めたまま運転しますと冷媒回路高圧側または低圧側が異常圧力となり、圧縮機、四方弁等の損傷を招きます。
- 計算式により、追加冷媒量を決定し、配管接続作業完了後にサービスポートから追加チャージを行ってください。
- 作業完了後、サービスポートおよびキャップはガス漏れの起らないようしっかり締付けてください。



⚠ 注意
接続管は必ずボールバルブから取外し、ユニットの外でロウ付してください。

- 取りつけたままロウ付すると、ボールバルブが加熱されて故障やガス漏れの原因となります。またユニット内の配線等を焼くおそれもあります。

⚠ 注意
フレア・フランジ接続部に塗布する冷凍機油は、エステル油又はエーテル油又はアルキルベンゼン(少量)を使用してください。

- 鉛油が多量に混入すると、冷凍機油劣化の原因となります。

キャップ、銅パッキン
キャップを外して、弁棒を操作してください。作業完了後は必ず元通りに取付けてください。(弁棒のキャップ締付トルク30N・m以上)

サービスポート
現地冷媒配管内の真空引冷媒の追加チャージにご利用ください。開閉はダブルスパナで行ってください。作業完了後は必ずキャップを元通りに取付けてください。(サービスポートのキャップ締付トルク14N・m以上)

フレアナット
締付トルク 55N・m
開閉はダブルスパナで行ってください。フレア接触面には冷凍機油(エステル油又はエーテル油又はアルキルベンゼン〔少量〕)を塗布してください。

トルクレンチによる適正な締付力

銅管外径(mm)	締付力(N・m)
6.35	14~18
9.52	35~42
12.7	50~57.5
15.88	75~80
19.05	100~140

締付角度の目安

パイプ径	締付角度
6.35 9.52	60°~90°
12.7 15.88	30°~60°
19.05	20°~35°

トルクレンチが無い場合、次の方法を目安にします。フレアナットをスパナで締付けて行くと締付トルクが急に増すときがあるのでそこで一度とめてそれから更に上表の角度だけ回転させます。

冷媒配管・ドレン配管仕様

冷媒配管・ドレン配管とも露タレを防止するため、十分な防露断熱工事を施工してください。

市販の冷媒配管を使用の場合には、液管・ガス管ともに必ず市販の断熱材（耐熱温度100 以上・厚さ、下表による）を巻いてください。室内を通るドレン配管は、必ず市販の断熱材（発泡ポリエチレン比重0.03・厚さ、下表による）を巻いてください。

断熱材の厚さは、配管サイズにより選定してください。

配管サイズ	断熱材の厚さ
6.4mm～25.4mm	10mm以上
28.6mm～38.1mm	15mm以上

最上階又は高温多湿の条件下で使用する場合は、上記の厚さ以上にする必要があります。

客先指定の仕様がある場合は、それに従ってください。

1.冷媒配管・ドレン配管サイズ

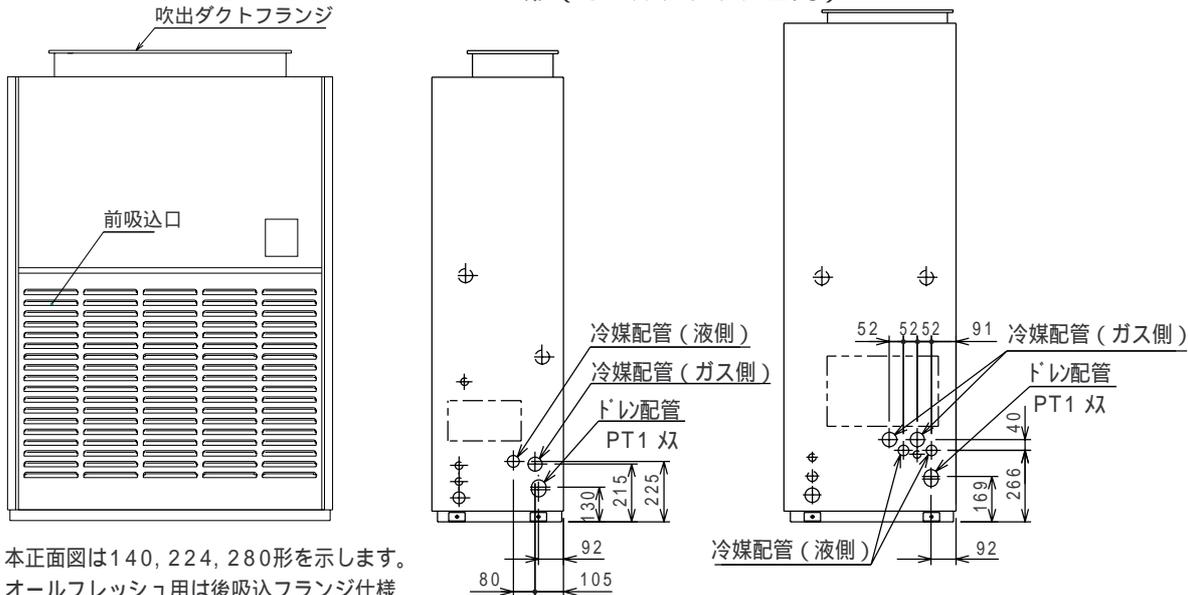
項目	形名	P140形 P125形 (中温用) P167形 (オールフレッシュ用)	P224形 P200形 (中温用) P265形 (オールフレッシュ用)	P280形 P250形 (中温用) P335形 (オールフレッシュ用)	P450形 P400形 (中温用) P530形 (オールフレッシュ用)	P560形 P500形 (中温用) P670形 (オールフレッシュ用)	P630形 P600形 (中温用)	P800形 P750形 (中温用)	P1120形 P1000形 (中温用)	P1400形 P1250形 (中温用)
		冷媒配管	液管	9.52 (ロウ付)	12.7 (ロウ付)	12.7 (ロウ付)	12.7×2 (ロウ付)	12.7×2 (ロウ付)	12.7×3 (ロウ付) (No.1,No.2,No.3)	12.7×3 (ロウ付) (No.1,No.2,No.3)
	ガス管	19.05 (ロウ付)	25.4 (ロウ付)	28.6 (ロウ付)	25.4×2 (ロウ付)	28.6×2 (ロウ付)	25.4×3 (ロウ付) (No.1,No.2,No.3)	28.6×3 (ロウ付) (No.1,No.2,No.3)	28.6×4 (ロウ付) (No.1,No.2,No.3)	28.6×5 (ロウ付) (No.1,No.2,No.3)
ドレン配管		1Bオネジ接続 35鋼管, VP25		11/4Bオネジ接続 42.7鋼管, VP30		上部: 1 1/4Bメス 下部: 1Bメス		PT1 1/4オネジ接続 42.7鋼管		

塩ビ管接続の場合、接続用ソケットは現地手配願います。

2.冷媒配管・ドレン配管位置

(単位 mm)

PFAK-P140・P224・P280・P450・P560形
PFTK-P125・P200・P250・P400・P500形
PFAK-P167・P265・P335・P530・P670形（オールフレッシュ用）

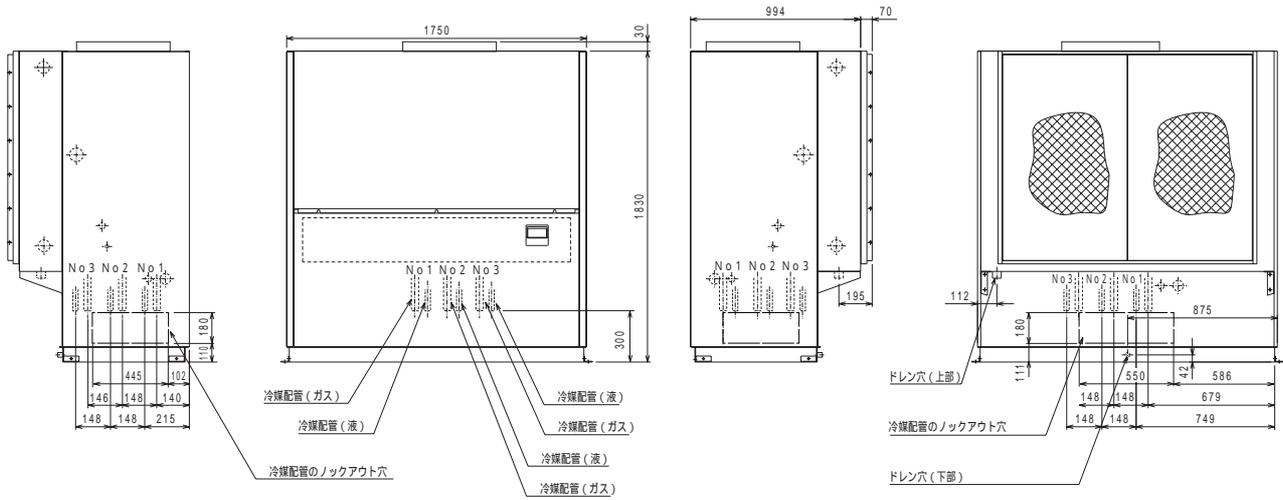


1. 本正面図は140, 224, 280形を示します。
2. オールフレッシュ用は後吸込フランジ仕様となりますので前吸込口はありません。

140, 224, 280形	450, 560形
125, 200, 250形 (中温用)	400, 500形 (中温用)
167, 265, 335形 (オールフレッシュ用)	530, 670形 (オールフレッシュ用)

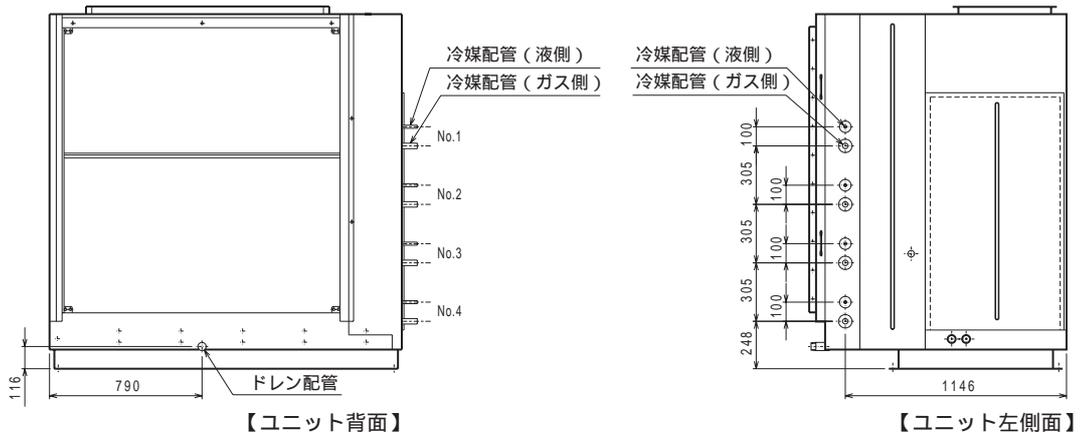
- 1 配管接続は、左・右可能です。(左右同じ位置です。)
但し、450, 560形、400, 500形 (中温用)、
530, 670形 (オールフレッシュ用) の場合、
別売加湿器 (透湿膜除く) を組込んで
右配管にする場合は、別売の右配管部品が必要です。

PFAK-P630・P800形
PFTK-P600・P750形

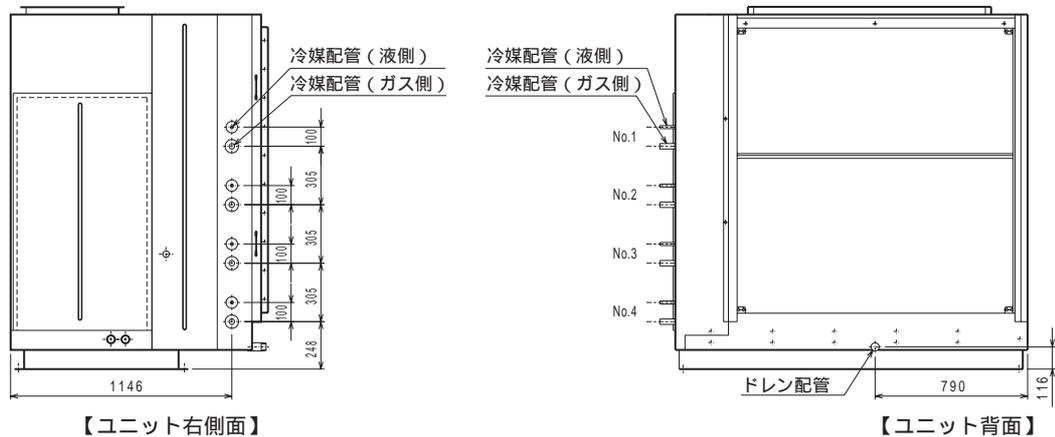


PFAK-P1120・P1400形
PFTK-P1000・P1250形

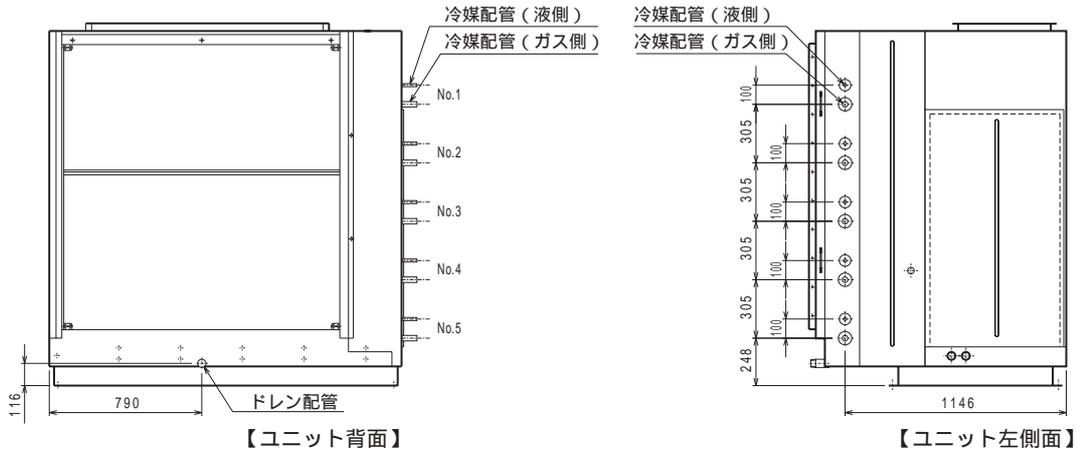
PFAK-P1120AW(M)-A-L, PFTK-P1000AW(M)-A-Lの場合



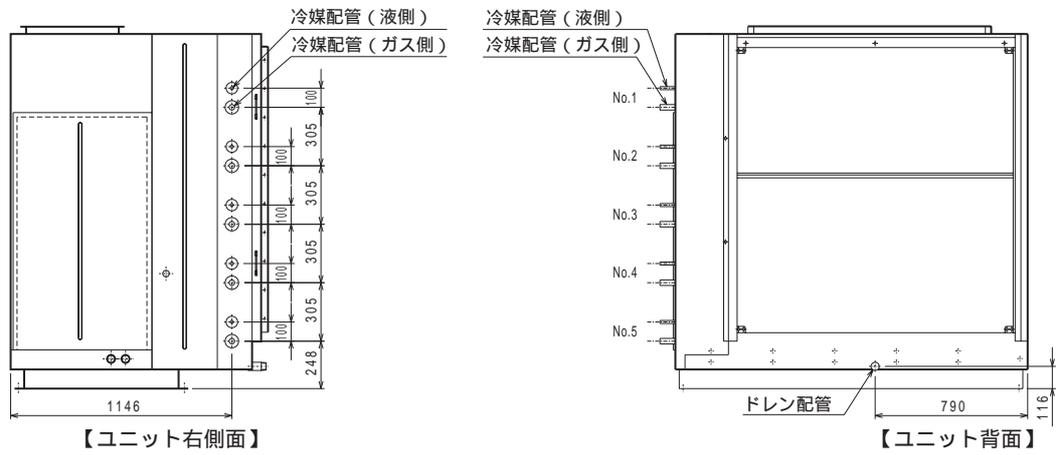
PFAK-P1120AW(M)-A-R, PFTK-P1000AW(M)-A-Rの場合



PFAK-P1400AW(M)-A-L, PFTK-P1250AW(M)-A-Lの場合



PFAK-P1400AW(M)-A-R, PFTK-P1250AW(M)-A-Rの場合



冷媒配管・ドレン配管の接続

1. 冷媒配管工事

本工事を実施する場合は、必ず室外ユニットの据付工事説明書と照らし合わせて行ってください。

- このエアコンは、室外ユニットからの冷媒配管を各室内ユニットに接続する方式になっています。
- 配管長さ、許容高低差等の制限は、室外ユニットの説明書を参照してください。

冷媒配管注意事項

- ロウ付は必ず無酸化ロウ付を行い、配管内に異物、水分が混入しないようにしてください。
- ロウ付作業は必ずフィルターを取外して行ってください。
- 室内ユニットの現地配管接続は現地側の配管を拡管加工もしくは継手を用いて接続してください。

警告

据付けや移設の場合は、冷凍サイクル内に指定冷媒（R407C）以外のものを混入させないでください。空気を混入すると、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂等の原因になります。

P140・224・280形 P125・200・250形(中温用) P167・265・335形(オールフレッシュ用)

付属の配管を用いて下記要領にてロウ付接続してください。

- (1) 本体下側の吸込パネルを外し、フィルターを取外してください。
- (2) 左側面のサービスパネルを取外してください。(ネジ6本)
- (3) <右配管取り出しの場合> 右側の冷媒配管用ノックアウト穴を打抜いてください。
<左配管取り出しの場合> 左側の冷媒配管用ノックアウト穴を打抜いてください。
- (4) 図1・図2に示すように付属配管、現地配管をサービス点検口及び、前面からロウ付接続を行ってください。
- (5) 図2に示すようにパイプカバーを取付けてください。
- (6) サービスパネル、フィルター、吸込パネルを元通り取付けてください。

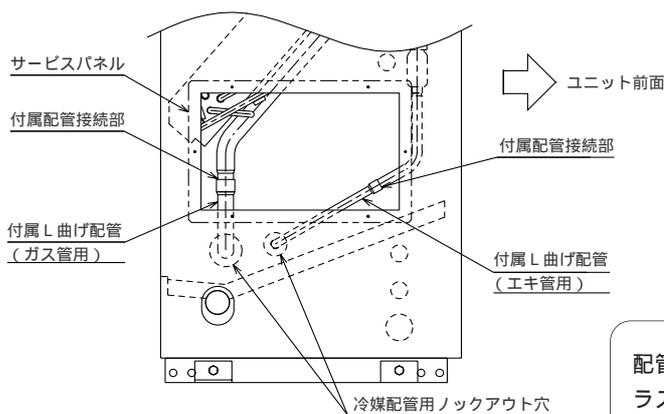


図1
(左側面図)

注意

配管ロウ付時、周囲の部材（ゴム、ガラスウール、配線など）にトーチの炎を当てないようにご注意ください。

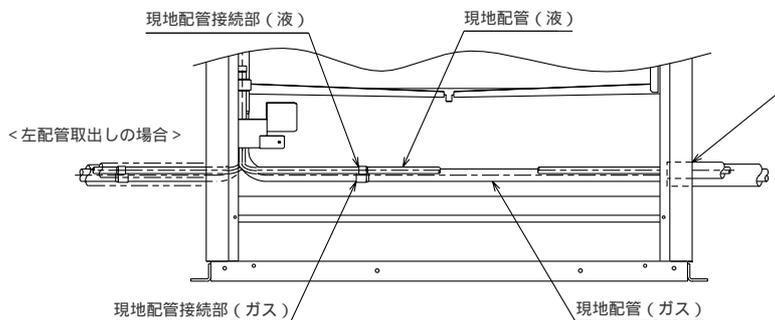


図2
(正面図)

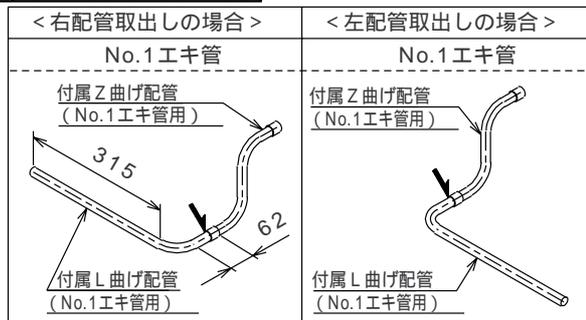
- ・サイドパネル貫通穴とパイプカバー（現地手配）は、隙間がないようにコーキングしてください。
- ・液管、ガス管のパイプカバーは、サイドパネルの内側に50mm以上入れてください。
- ・現地配管パイプカバーの中に、配管の結露水が浸入しないように、コーキング等の水切り処置をしてください。

左配管取出しの場合も同様

P450・560形 P400・500(中温用) P530・670(オールフレッシュ用)

付属の配管を用いて下記要領にてロウ付接続してください。

- (1) 本体下側の吸込みパネルを外し、フィルターを取外してください。
- (2) 左側面のサービスパネルを取外してください。
(ネジ10本)
- (3) <右配管取り出しの場合> 右側の冷媒配管用ロックアウト穴を打抜いてください。
<左配管取り出しの場合> 左側の冷媒配管用ロックアウト穴を打抜いてください。
- (4) 図3に示すように付属NO.1エキ管をロウ付接続してください。
- (5) 図1・図2に示すように付属配管、現地配管をサービス点検口及び、前面からロウ付接続を行ってください。
注1. 右配管取出しする場合、ロウ付順序は下記の通り実施してください。
現地配管接続部(図2) 付属配管接続部(図1)
注2. 現地配管接続部ロウ付時、周囲の部材にトーチの炎を当てないようにご注意ください。
(6) 図2に示すようにパイプカバーを取付けてください。
(7) サービスパネル、フィルター、吸込みパネルを元通り取付けてください。



1. 印はロウ付箇所を示します。
2. 図中寸法はNo.2エキ配管と見分けるための直管部寸法を示します。

図3

注意

- ・No.1回路とNo.2回路を間違わないように接続し、室外機との対応付けを確実に行ってください。
- ・配管ロウ付時、周囲の部材(ゴム、ガラスウール、配線など)にトーチの炎を当てないようにご注意ください。

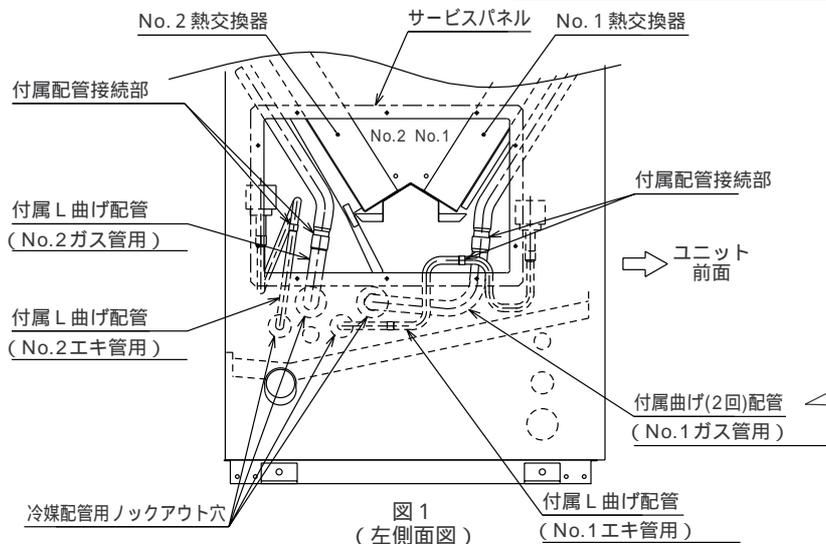


図1 (左側面図)



左配管取出し時のNo.1ガス管は、前面からの後ろフィルター脱着時に手が触れるおそれがあるため、本体内直管部の奥までパイプカバーを巻いてください。

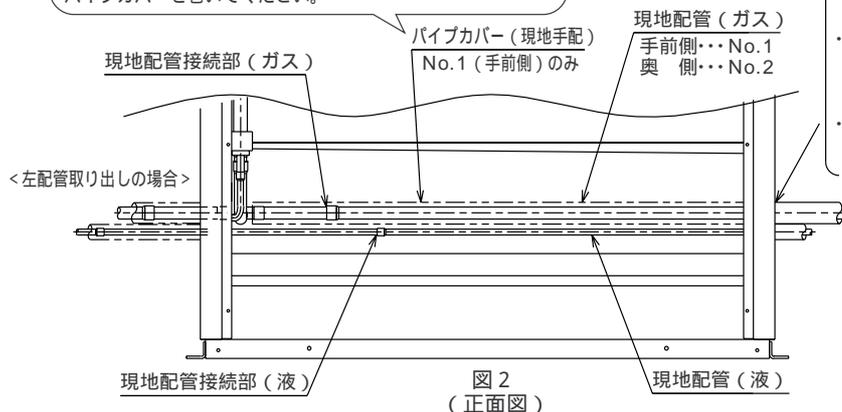
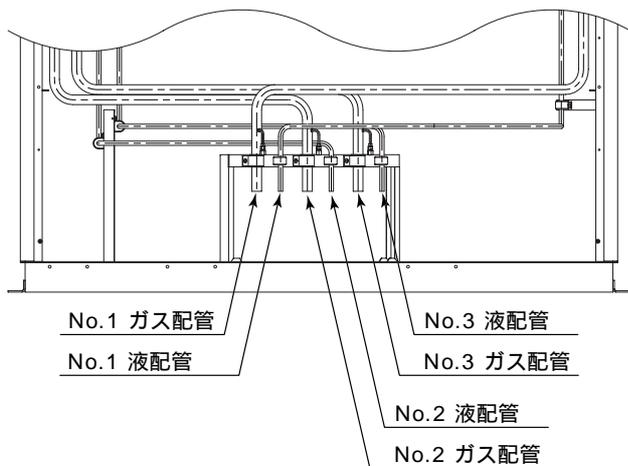


図2 (正面図)

- ・サイドパネル貫通穴とパイプカバー(現地手配)は隙間がないようにコーキングしてください。
- ・液管、ガス管のパイプカバーはサイドパネルの内側に50mm以上入れてください。
(右配管時のNO.1ガス管は除く)
- ・現地配管パイプカバーの中に配管の結露水が浸水しないようにコーキング等の水切り処置をしてください。
左配管取出しの場合も同様

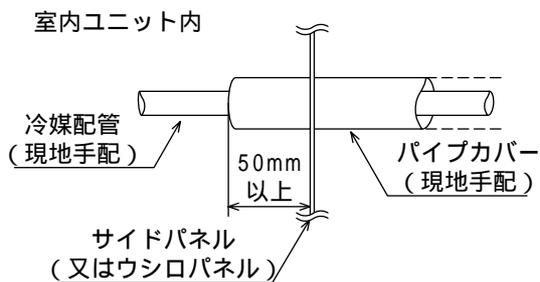
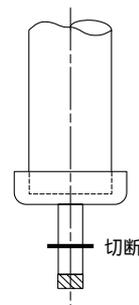
P630・800形, P600・750 (中温用)



- 現地配管は室内ユニットの右側面、左側面、後面のいずれからでも取出しできます。
- 液管、ガス管のパイプカバーはサイドパネル (又はウシロパネル) の内側に50mm以上入れてください。(右図)

⚠注意

ロウ付を外す前にパイプの先端を切断し、ガスを抜いてください。
ガスを抜かずに作業した場合、ロウが飛び散るおそれがあります。

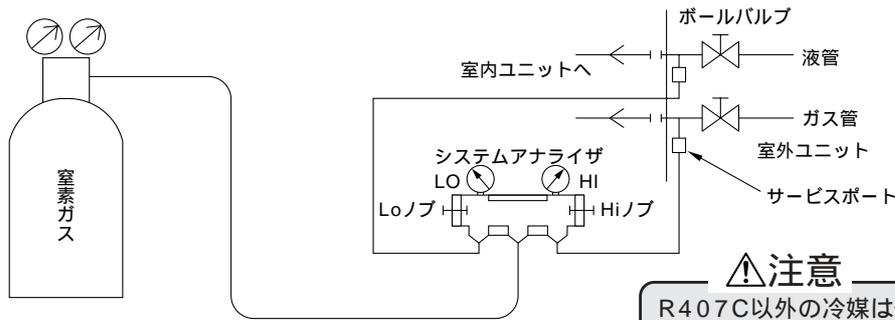


(4) 気密試験・真空引き・冷媒充てん

気密試験と真空引きについては、配管接続完了後に実施してください。

気密試験

気密試験は下図のように、室外ユニットのボールバルブを閉じたまま、室外ユニットのボールバルブについているサービスポートから接続配管と室内ユニットに加圧して行ないます。(必ず、液管・ガス管の両方のサービスポートより加圧してください。)



⚠ 注意

R407C以外の冷媒は使用しないでください。

- R407C以外 (R22等) を使用すると、塩素により冷凍機油劣化等の原因になります。

気密試験の方法は、冷凍機油劣化への影響が大きいため下記の制約事項を必ず遵守してください。また、非共沸混合冷媒 (R407C等) はガス漏れにより組成変化が生じ、性能に影響しますので、気密試験は慎重に実施してください。

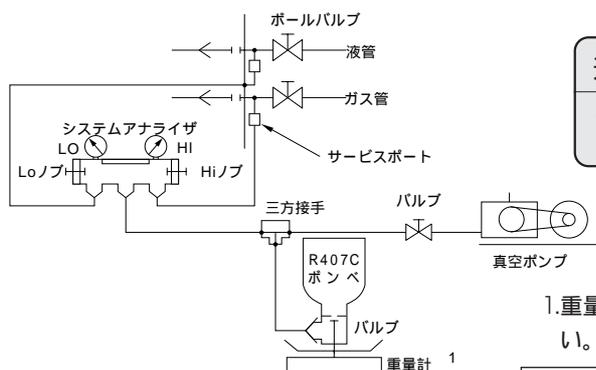
気密試験の手順	制約事項
<p>1. 窒素ガス加圧の場合</p> <p>(1) 窒素ガスにて設計圧力(3.3MPa)に加圧後、1日程度放置し、圧力が低下していなければ良好です。 但し、圧力が低下している場合、漏れ箇所は不明なので次の泡式で行なってもよい。</p> <p>(2) 上記加圧後、フレア接続部・ロウ付部・フランジ部等漏れが予想されるすべての箇所に泡剤(キューボフレックスなど)をスプレーし、泡の発生を目視確認する。</p> <p>(3) 気密試験後、泡剤をよく拭きとる。</p>	<p>× 加圧ガスに可燃ガスや空気(酸素)を使用すると爆発の危険があります。</p>
<p>2. 冷媒ガスと窒素ガスで加圧の場合</p> <p>(1) ボンベよりR407Cを液で封入し、ガス圧力で約0.2MPa程度に加圧後、窒素ガスにて設計圧力(3.3MPa)に加圧する。 但し、一気に加圧しないで、途中加圧を停止し、圧力低下のないことを確認する。</p> <p>(2) R407C対応の電気式リークディテクターでフレア接続部・ロウ付部・フランジ部等漏れが予想されるすべての箇所のガス漏洩を検査する。</p> <p>(3) 泡式のガス漏洩検査と併用しても良い。</p>	<p>× 機器に表示されている冷媒以外は、使用不可です。</p> <p>× ボンベよりガスで封入するとボンベ内冷媒の組成が変化します。</p> <p>× 圧力計・チャージングホース等の部品はR407C専用のものを使用してください。</p> <p>× R22用電気式リークディテクターでは、漏洩検知できません。</p> <p>× 炎色式(ハライドトーチ)は使用不可です。(検出不可能)</p>

真空引き

真空引きは、下図のように、室外ユニットのボールバルブを閉じたまま、室外ユニットのボールバルブについているサービスポートから接続配管と室内ユニット共真空ポンプにて実施してください。(必ず、液管・ガス管の両方のサービスポートから行ってください。)

真空度が650Pa[abs]に到達後、1時間以上真空引きをしてください。その後、真空ポンプを止めて1時間放置し、真空度が上昇していないことを確認してください。(真空度の上昇幅が130Paより大きい場合は、水分が混入している可能性がありますので、乾燥窒素ガスを0.05MPaまで加圧して、再度真空引きを実施してください。)最後に、液管から液冷媒にて封入してください。また、運転時に冷媒が適正量になるようガス管から冷媒量調整をしてください。

冷媒によるエアージャイスは、絶対に行わないでください。



⚠注意

逆流防止器付真空ポンプを使用してください。

- 冷媒回路内に真空ポンプ油が逆流し、機器の冷凍油劣化等の原因になります。

1.重量計は精度の高いもの(0.1kgまで測定可能なもの)を使用してください。

2.真空ポンプは逆流防止器付のものを使用してください。
(推奨真空度計 ROBINAIR 14010 Thermistor Vacuum Gauge.)
また、真空ポンプは、5分運転後で65Pa[abs]以下のものを使用してください。

(注)・冷媒は必ず適正量を追加してください。(冷媒追加量については197ページをご覧ください。)また、必ず液冷媒にて封入してください。

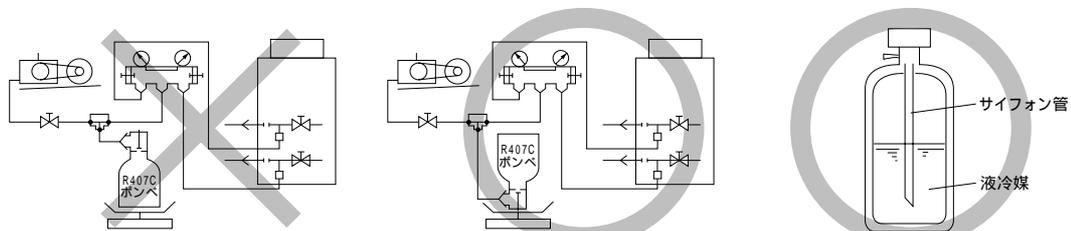
冷媒は多くても少なくともトラブルの原因になります。

- ・ゲージマニホールド、チャージングホース等の部品は機器に表示されている冷媒専用のものを使用してください。

冷媒充てん

機器に使用しています冷媒は、非共沸混合冷媒のため充てんに関しては液の状態で行う必要があります。よって、ポンベより機器に冷媒充てんするとき、サイフォン管が付いていないポンベの場合は下図のようにポンベを逆さにして充てんします。なお、右下図のようなサイフォン管付きポンベの場合は、立てたまま液冷媒を充てんすることができます、ポンベの仕様には注意してください。

万一、ガスの状態で冷媒充てんした場合、機器は新しい冷媒に入替え、冷媒の残ったポンベは使用しないでください。



【サイフォン管が付いていないポンベの場合】

【サイフォン管付きポンベの場合(立てたまま液冷媒を充てんできる)】

⚠警告

据付けや移設の場合は、機器に表示されている冷媒(R407C)以外の異なった冷媒を入れないでください。

- 異なった冷媒や空気等が混入すると、冷凍サイクルが異常となり、破裂等の原因になります。

⚠注意

チャージングシリンダーを使用しないでください。

- チャージングシリンダーを使用すると冷媒の組成が変化し、能力不足等の原因になります。

⚠注意

工具類の管理は従来以上に注意してください。

- 冷媒回路内にほこり、ゴミ、水分等が混入しますと、冷凍機油劣化の原因になります。

⚠注意

従来の冷媒に使用している下記に示す工具類は使用しないでください。

(ゲージマニホールド・チャージホース・ガス漏れ検知器・逆流防止器・冷媒チャージ用口金・真空度計・冷媒回収装置)

- 従来の冷媒・冷凍機油が混入しますと、冷凍機油劣化の原因になります。
- 水分が混入しますと、冷凍機油劣化の原因になります。
- 冷媒中に塩素を含まないため、従来の冷媒用ガス漏れ検知器では反応しません。

冷媒漏れ時の対応

●冷媒漏洩時の追加充てん

恒久対策 冷媒漏洩時は、ユニット内の冷媒を回収し、規定量の冷媒を充てんするようお願いします。

- ・ユニット内に冷媒が残ったまま追加充てんをしますと能力の低下、圧力の異常上昇等が起こる可能性がありますので、絶対に行わないでください。

応急対応 冷媒不足が原因によるトラブル時、すぐに恒久対策ができない場合には、とりあえず冷媒の追加チャージを行ってください。その後、できるだけ早急に**恒久対策**を実施してください。

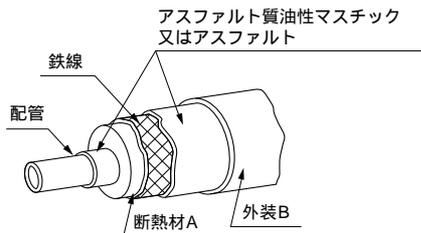
既設配管対応

本ユニットは、既設配管を流用することはできません。

既設の配管内部には、従来の冷凍機油や冷媒中の塩素が多量に含まれ、これらの物質が新しい機器の冷凍機油劣化等の原因になります。

(5)冷媒配管の断熱

冷媒配管の断熱は、必ず液管とガス管とを別々に十分な厚さの耐熱ポリエチレンフォームで、室内ユニットと断熱材及び断熱材間の継目に隙間のない様に行ってください。
断熱工事が不完全だと露タレ等が発生することがありますので、特に天井裏内の断熱工事は注意が必要です。



断熱材 A	グラスファイバー + 鉄線	
	接着剤 + 耐熱ポリエチレンフォーム + 圧着テープ	
外装 B	屋 内	ビニールテープ
	床下露出	防水麻布 + ブロンズアスファルト
	屋 外	防水麻布 + アエン鉄板 + 油性ペイント

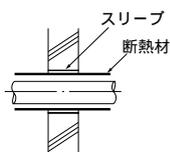
(注) 被覆材にポリエチレンカバーを使用する場合は、アスファルトルーフィングは不要です。

悪い例	<ul style="list-style-type: none"> ●ガス管と液管を同時に断熱してはならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●接続部も十分断熱すること。
良い例		

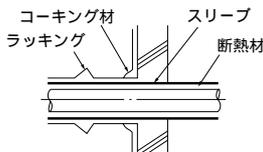
(注) 電線の断熱処理は、行わないでください。

貫通部

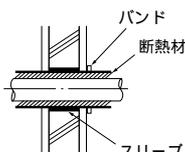
○内壁 (いんぺい)



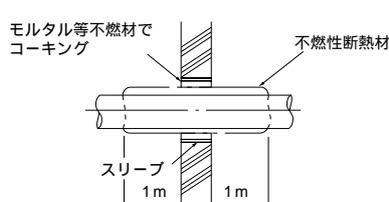
○外壁



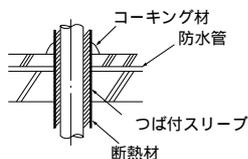
○外壁 (露出)



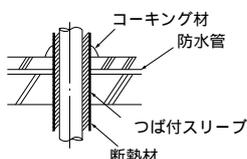
○防火区画、界壁等における貫通部



○床 (防水)



○屋上パイプシャフト



モルタルにてすき間を充てんする場合は、貫通部を鋼板にて被覆し断熱材がへこまないようにしてください。またその部分は不燃性断熱材を使用し、被覆材も不燃性(ビニールテープ巻きはダメ)を使用してください。

●現地配管の断熱材は、下表の規格を満足していることを確認してください。

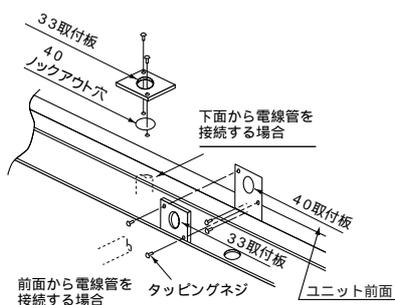
	配管サイズ	
	6.35 ~ 25.4mm	28.58 ~ 38.1mm
厚さ	10mm以上	15mm以上
耐熱温度	100℃以上	

最上階など高温多湿の条件下で使用する場合は、左表以上の厚さが必要となる場合があります。客先指定の仕様がある場合は、左表の規格を満足する範囲でそれに従ってください。

電線管取付板の使用方法

PU(H)K-P224・P280(U)AW-A

電線管取付板（33、40）が付属しています。使用する電線管の外径から取付板を選択し右図のように取付けてください。



5. ドレン配管工事（室内ユニット）

ドレン配管は室外側（排水側）が下り勾配（1/100以上）となるようにしてください。

ドレン配管の横引きは20m（高低差は含みません）以下にしてください。また、ドレン配管が長い場合には途中で支持金具を設けてドレン配管の波打ちをなくしてください。エア抜き管は絶対につけないでください。ドレンが吹出場合があります。

塩ビ管を使用する場合、必ず塩ビ系接着剤にて漏れのないように確実に接続してください。

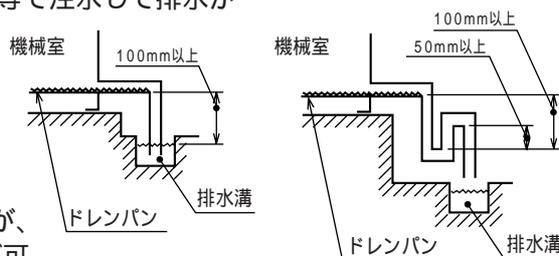
ドレン配管から空気の吸込を防止するため、下図のようなドレントラップを必ず設けてください。

集合配管は、本体ドレン出口より10cm位低い位置に集合配管がくるようにし、かつ集合配管は、VP35以上のもので下り勾配が1/100以上になるように施工してください。

ドレン配管はイオウ系ガスの発生する下水溝に直接入れないでください。

ドレン配管の出口は臭気の発生するおそれのない場所に施工してください。

ドレン排水テストをしてください。ドレンパンにやかん等で注水して排水が確実に行われることを確認してください。



PFAK-P140・P224・P280・P450・P560形
PFTK-P125・P200・P250・P400・P500形（中温用）
PFAK-P167・P265・P335・P530・P670形（オールフレッシュ用）

上記機種の上記ドレンパンは出荷時は水平となっていますが、本体側のネジの固定位置を変更して傾斜を設けることが可能です。

傾斜を設ける場合は、下記要領にて作業を行ってください。

必ずユニット据付前に作業してください。

ガードを取外してください。（ネジ3本）

傾斜させたい側のネジを取外してください。（ネジ1本）

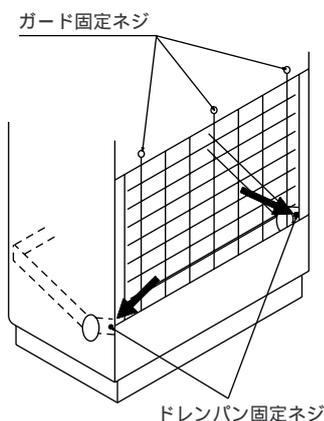
ネジを外した側を下方へ移動させてください。（約10mm移動します）

取外したネジを取付けてください。

ガードを元どおりに取付けてください。

注1.ドレンパンを傾斜させますと、ユニット本体に接続するドレン管も傾斜します。（約0.5°）

2.オールフレッシュ用の場合、ガード取外し作業は不要です。



⚠ 注意

ドレン配管は、確実に排水するよう配管し、結露が生じないように保温してください。配管工事に不備があると水漏れし、家財等を濡らす原因になります。

作業時は必ず保護具を着用してください。ケガ等の原因になります。

6.電気工事

(1)制御箱および配線接続位置

室外ユニット

PU(H)K-P140AW-A

端子盤の電源側(左側)に電源配線を接続してください。
 (逆相、または欠相の場合、室外基板上的LED1とLED2の点滅表示で判定できますので、電気品箱のシートの説明書を参照してください。)

1)配線工事

配線の取入れ方向

前・後・右・下の4方向から取入れできます。

(前面または右面、後面から取入れの場合は、電源穴)
 (ノックアウト)をご利用ください。)

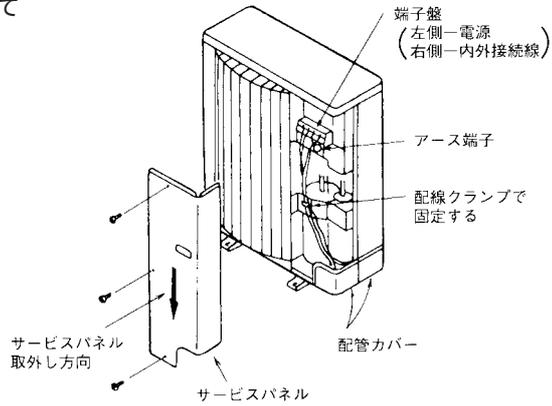
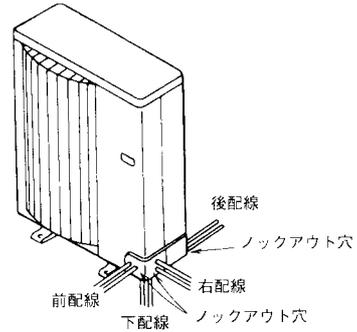
サービスパネル(ネジ3本)を取外してください。

配線は図のように行ない、ネジの緩みのないよう接続してください。

(配線はクランプで確実に固定してください。)

必ずD種(第3種)接地工事を行ってください。

<アース仕様> 接地抵抗100 以下
 アース線の太さ P140形・・・ 2.0mm以上



PUK-P224・P280(U)AW-A

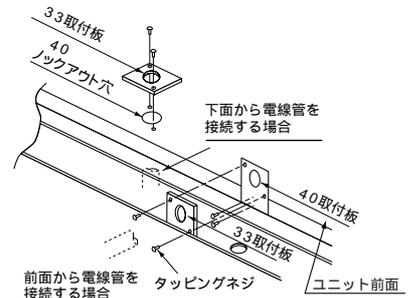
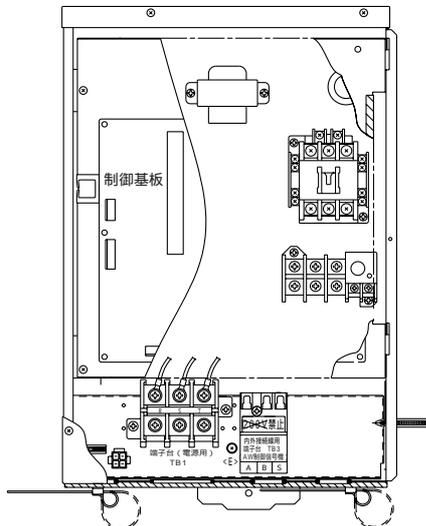
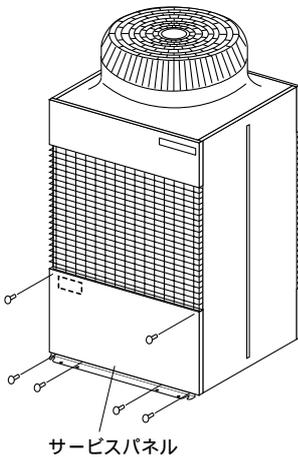
室外ユニット

(a)サービスパネルは、上部及び下部のネジ計6本を外し、手前に引くと、外せます。(下図参照)

(b)制御箱カバーは、正面の止めネジ(2本)を外し、取外してください。
 室内外伝送線は、伝送用端子台(TB3)に、シールド線使用の場合、シールドアースは、TB3(S)へ接続してください。

電線管取付板の使用方法

電線管取付板(33、40)が付属しています。使用する電線管の外径から取付板を選択し下図のように取付けてください。



室内ユニット

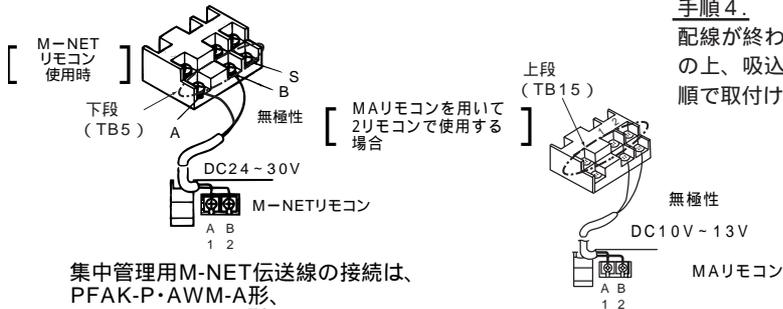
P140, P125形（中温用）、P167形（オールフレッシュ用）は、手順が異なりますのでご注意ください。

⚠ 注意

現地側電気配線をクランプで確実に固定してください。

⚠ 注意

電源配線は、張力がかからないように配線工事をしてください。断線したり、発熱・火災の原因になります。



集中管理用M-NET伝送線の接続は、PFAK-P・AWM-A形、PFTK-P・AWM-A形、PFAK-P・AWM-A-F形の場合を示します。

手順1.

A部穴2ヶ所のネジを外し、制御箱上段側を手前に倒してください。

<P140, P125形（中温用）、P167形（オールフレッシュ用）のみ>

手順2.

本体下側の吸込パネルを外し、制御ボックスのカバーを外してください。

手順3.

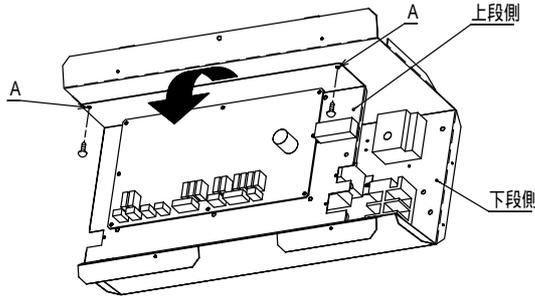
図のように、電源配線、室外伝送線配線及びリモコン配線（2リモコンの場合）を行ってください。制御ボックスの取外しは不要です。

手順4.

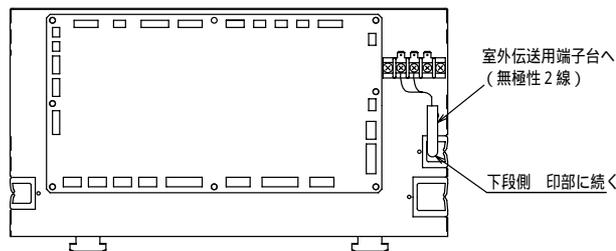
配線が終わりましたら、ゆるみ・誤りのないことを再度ご確認の上、吸込パネル及び制御ボックスカバーを取外しとは逆の手順で取付けてください。

本体左側面から配線を取り入れる場合、配線は制御箱の裏面を通し、下図の位置から制御箱内に接続してください。このとき、三相電源配線と伝送線配線（室内外伝送線、MAリモコン線、集中管理用M-NET伝送線）の経路を必ず分けた経路としてください。

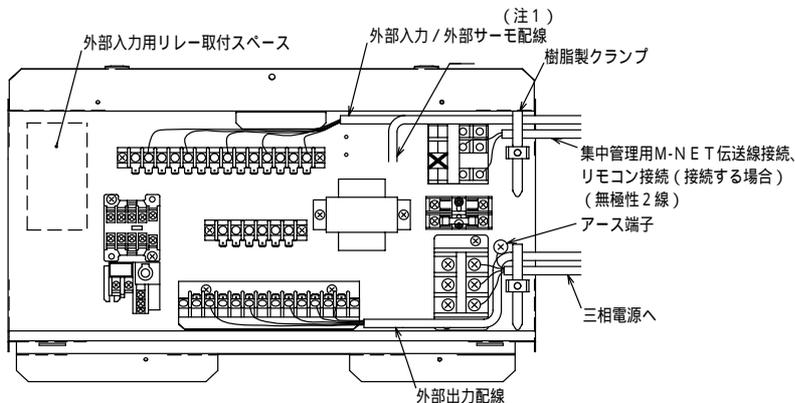
P140形, P125形（中温用）、P167形（オールフレッシュ用）



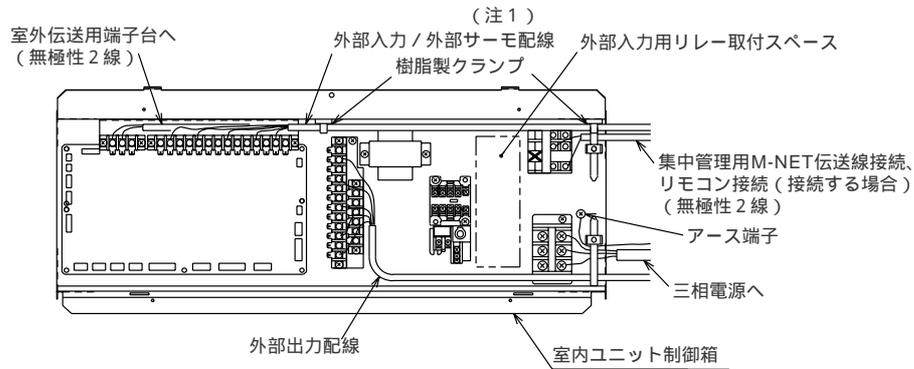
室内ユニット制御箱上段側



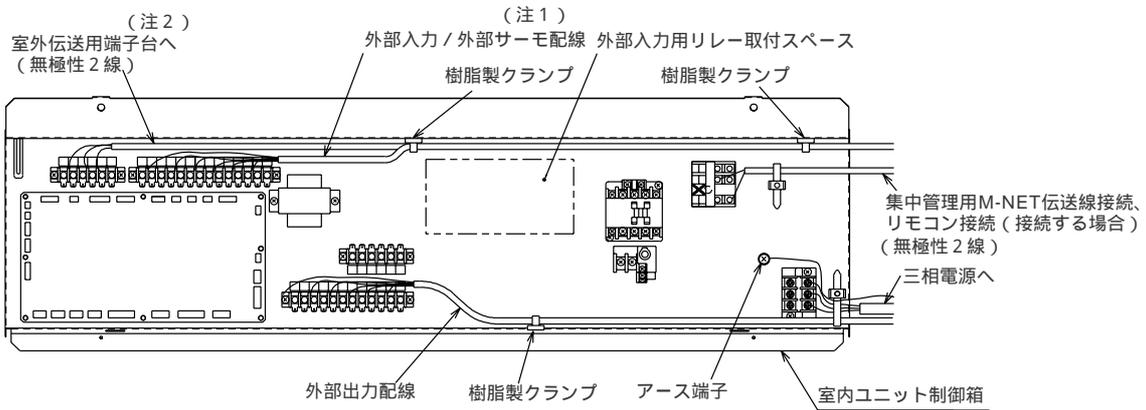
室内ユニット制御箱下段側



P224・280形, P200・250形 (中温用), P265・335形 (オールフレッシュ用)

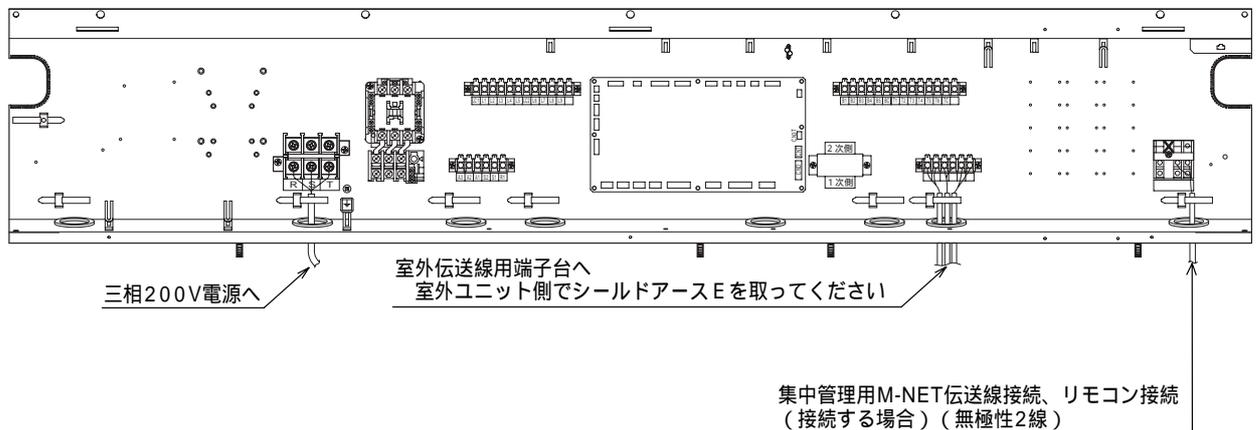


P450・560形, P400・500形 (中温用), P530・670形 (オールフレッシュ用)

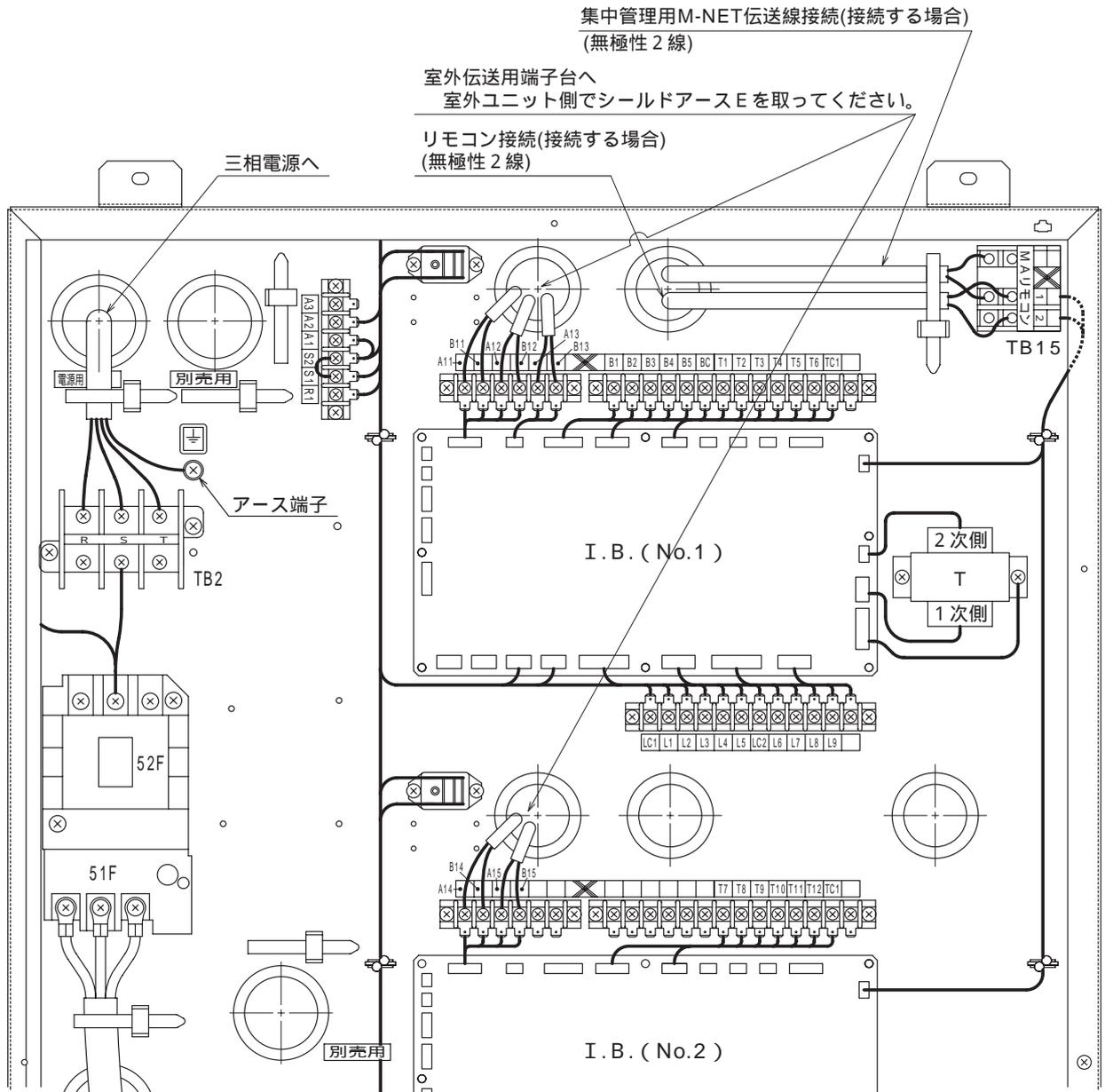


- 注1. 外部入力用リレーを200V電源で本体制御箱に取付ける場合
 低電圧配線の経路とは必ず分けた経路としてください。
 注2. 室内外伝送線の端子台は必ずA11、B11をNo.1回路側室外機、
 A12、B12をNo.2回路側室外機に接続してください。
 注3. 低電圧配線と電源線(200V)は必ず別の電線管を通してください。

P630・800形, P600・750形 (中温用)



P1120・1400形, P1000・1250形 (中温用)



(2) リモコン・室内外伝送線の接続

室内外伝送線

室外ユニット(OC)の室内外伝送線用端子台(TB3)のA、B端子と室内ユニット(IC)の室内外伝送線用端子台のA、B端子を渡り配線します。

(無極性2線)...(下表参照)

伝送線が長い場合やノイズ源がユニットに近接している場合は、シールド線の使用を推奨します。(7頁参照)

No.1室外ユニット	A11,B11
No.2室外ユニット	A12,B12

MAリモコン配線 2リモコンまたはグループ運転しない場合は不要です。

[2リモコン運転の場合]

2リモコンとする場合は、ICの端子台(TB15)の1、2端子とMAリモコン(別売)の端子台を接続します。

接続したMAリモコン(別売)の主従切換スイッチを従リモコンに設定してください。

(設定方法は、下記およびMAリモコンの据付説明書を参照ください。)

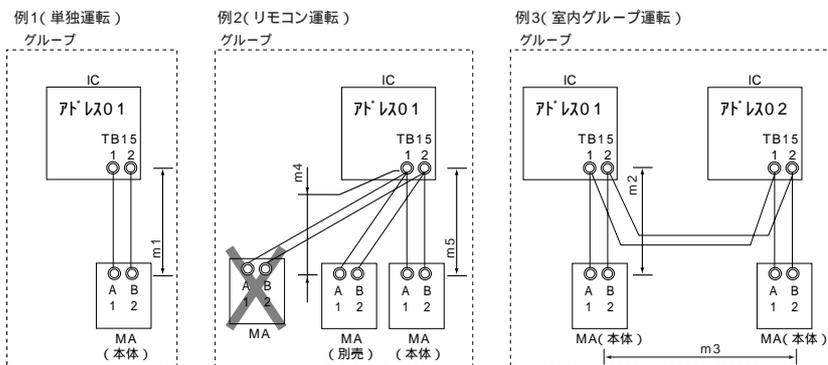
[室内グループ運転の場合] 異冷媒グループ運転の場合は、必ず一方のMAリモコンを「従リモコン」設定にしてください。

ICをグループ運転をする場合は、両方のICの端子台(TB15)の1、2端子同士を接続します。(無極性2線)

一方の室内ユニットのリモコンの主従切換スイッチを従リモコンに設定してください。

(設定方法は、下記を参照ください。)

同一グループ内の一番機能が多い室内ユニットのアドレスを01~50の若い番号に設定してください。



< 許容長 >

MAリモコン配線

総延長(0.3~1.25mm²)

m1 200m

m2 + m3 200m

m4 + m5 200m

< 禁止事項 >

同一グループの室内ユニットに3台以上のMAリモコンは接続できません。

同一グループの室内ユニットを同一アドレスに設定できません。

M-NETリモコン配線 PFAK-P・AWM-A形、PFTK-P・AWM-A形、PFAK-P・AWM-A-F形の場合
室内ユニット（IC）の集中管理用M-NETリモコン伝送端子台（TB5）のA，B端子をそれぞれM-NETリモコン（RC）の
端子台に接続します（無極性2線）。

[2リモコン運転の場合]

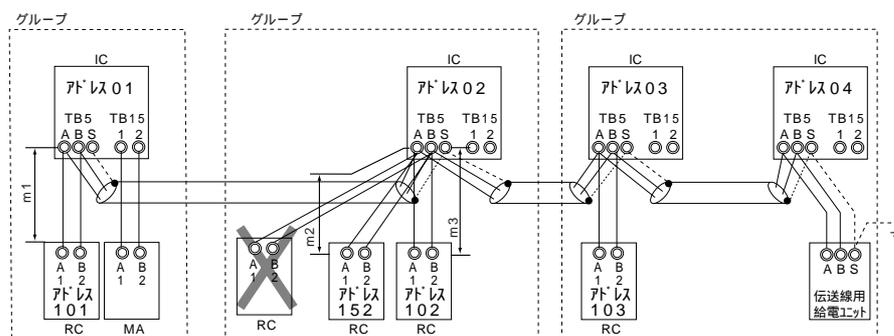
2リモコンとする場合は、ICの端子台（TB5）のA，B端子と2つのRCの端子台をそれぞれ接続します。

接続したM-NETリモコンは「 6.(3)アドレス設定」に従ってアドレスを設定してください。

[室内グループ運転の場合]

ICをグループ運転をする場合は、同一グループとするICの親機ICの端子台（TB5）のA，B端子とRCの端子台を接続
します（無極性2線）。

機能が異なる室内ユニットを同一グループ運転する場合は、同一グループ内の一番機能が大きい室内ユニットを親機としてく
ださい。



< 許容長 >

M-NETリモコン配線

総延長 (0.5 ~ 0.75 mm²)

m 1 10 m

m 2 + m 3 10 m

注. 但し、10mを超える場合は、配線径を1.25 mm²とし、

< 集中管理用M-NET伝送線 >の内数としてください。

< 禁止事項 >

同一グループの室内ユニットに3台以上のM-NETリモコンは接続できません。

[システム接続]

制御配線は、システム構成により異なります。配線工事の前に必ず「 5.システム接続例」をご覧ください。

MAリモコン用「主リモコン」「従リモコン」の設定方法

(M-NETリモコンによる「主従」設定方法は、「 .6.(3)アドレス設定」を参照ください。)

室内ユニット2台を1グループで運転する場合、または2リモコン運転を行う場合には、一方を「従リモコン」に設定する必要があります。1グループに接続できるリモコンは最大2個までです。

(工場出荷時は「主リモコン」に設定しています。)

下記に従って設定してください。

MAリモコン(別売)の据付説明書も参照願います。

1. 本体前面の前上パネルを外してください。

PFAK-P140～P560・P167～P670-F, PFTK-P125～P500形の場合

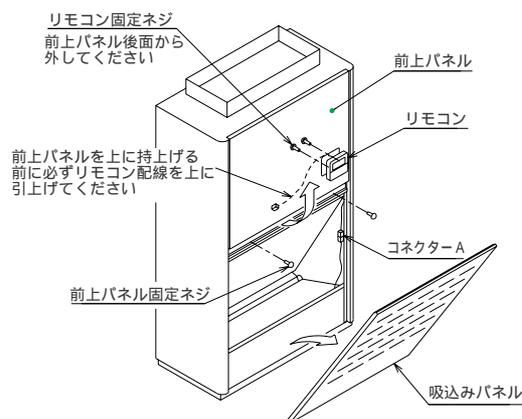
- (1) 本体下側の吸込みパネルを手前に引いて外してください。
- (2) 右図に示すリモコン配線のコネクターAを抜いてください。
このコネクターは、必ず抜いてください。抜かずに前上パネルを外すとリモコン配線を破損するおそれがあります。
- (3) 前上パネルの固定ネジ2本を外して、パネル下側を手前に開き、リモコン配線(コネクターA)を上に出してください。
- (4) 前上パネルを上持ち上げて外してください。
外したパネルを地面などに下ろす場合、地面との間に配線やコネクターを挟まないように注意してください。

PFAK-P630・P800形, PFTK-P600・P750形の場合

本体前面のフロントパネル(下)を外してください。

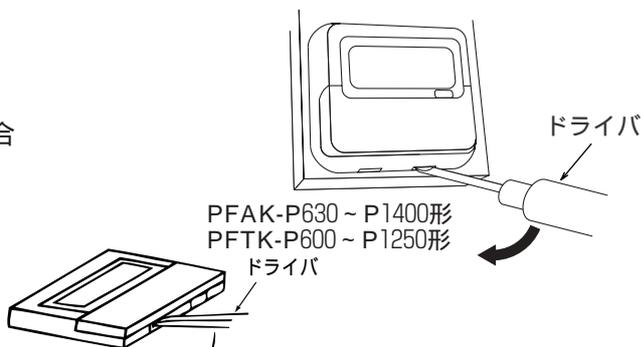
PFAK-P1120・P1400形, PFTK-P1000・P1250形の場合

本体前面の前下パネル(角穴付)を外してください。



2. 前上パネル後面からネジ本を外し、リモコンをパネルから外してください。

PFAK-P140～P560・P167～P670-F, PFTK-P125～P500形の場合

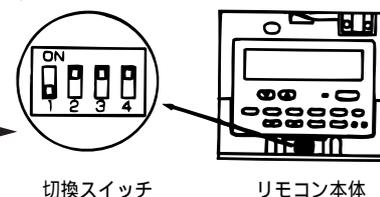


3. リモコン本体のカバーを外してください。

PFAK-P140～P560・P167～P670-F, PFTK-P125～P500形の場合

マイナスドライバーを爪部にはめ込み、矢印方向に動かします。

4. リモコンのディップスイッチ1番をON OFF(主 従)に変更してください。



5. 逆の手順でリモコン、前上パネルなどを元通りに取付けてください。

ワイヤレスリモコン（別売）をご使用になる場合 ワイヤレスリモコン（PAR-FL39M） 受光アダプター（PAR-FA31M）

受光アダプター（スイッチボックス）の据付位置は、下図事項を必ず守ってください。
（受光アダプター（別売）の据付説明書を参照願います。）

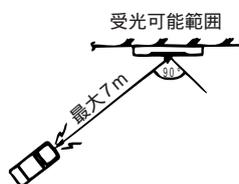
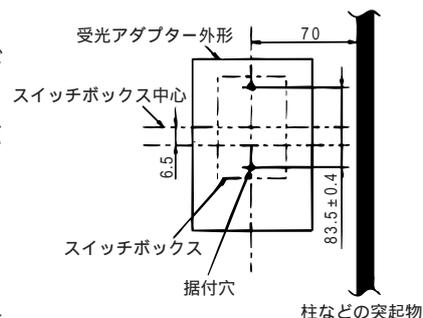
壁、天井、スイッチボックスのいずれに据付ける場合でも、右図で示すスペースを確保してください。（間隔が十分でないと、取付けられない場合があります。）

本機をスイッチボックスに取付けた場合、右図のように据付時の中心が下方に6.5mmずれますのでご注意ください。

スイッチボックスに取付ける場合、下記の部品は現地にて調達してください。

- ・1個用スイッチボックス (JIS C8336)
- ・薄鋼電線管 (JIS C8305)
- ・ロックナット、ブッシング (JIS C8330)

壁面または天井面でのワイヤレスリモコンから受光が可能な位置に取付けてください。（下図参照）



どの位置からでも受光アダプターが見える場所に設置してください。
室内ユニット以外の受信可能な場所に設置してください。
配線埋込みの場合、リモコン線を通すための穴加工が取付部に必要です。

お願い

蛍光灯（特にインバータータイプ）の近くに受光アダプターを設置すると、ワイヤレスリモコンからの信号を受信できない場合がありますので、受光アダプターの設置時、蛍光灯の買換え時には注意してください。

(3) アドレス設定 (必ず元電源を切った状態で操作してください。)

1. グループ運転しない場合は、アドレス設定は不要です。(PFAK-P・AWM-A形を除く)
出荷時のアドレス設定 “ 01 ” のままご使用ください。

グループ運転とは、1つのリモコン (2リモコン含む) で、複数台の室内ユニットを運転する場合をいいます。

2. グループ運転する場合は、下表に従ってアドレス設定してください。(PFAK-P・AWM-A形を含む)

ユニット又はコントローラー	記号	アドレス設定範囲	設定方法	工場出荷時のアドレス設定	
				30HP以下	40HP以上
室内ユニット	親機・子機 1	IC	01 ~ 50	同一グループ内の親機にしたい室内ユニットを最も若いアドレスにし、同一グループ内の室内ユニットのアドレスを連番に設定してください。 2	
MAリモコン	MA	アドレス設定不要です。(但し、2リモコン運転する場合は主従切換スイッチ設定が必要です。)		01	01 02
室外ユニット	OC	アドレス設定不要です。		無し	
M-NET リモコン	主リモコン	RC	101 ~ 150	同一グループ内の最も若い室内ユニット親機アドレス+100に設定してください。	
	従リモコン	RC	151 ~ 200	同一グループ内の最も若い室内ユニット親機アドレス+150に設定してください。	
システム コントローラー	集中コントローラー	TR, SC	0	左記アドレス範囲で任意	
	システムリモコン	SR, SC	201 ~ 250	左記アドレス範囲で任意	
	スケジュール タイマー (M-NET対応)	ST, SC	201 ~ 250	左記アドレス範囲で任意	
	ON/OFFリモコン	AN, SC	201 ~ 250	管理したい最小グループNo. + “ 200 ” に設定してください。	
	グループリモコン	GR, SC	201 ~ 250	管理したい最小グループNo. + “ 200 ” に設定してください。	
	LMアダプター	SC	201 ~ 250	左記アドレス範囲で任意	

1. 同一グループ内の一番機能が多い室内ユニットを親機としてください。
2. アドレスを設定しないでグループ運転した場合、全室内ユニットファンが同時運転します。また、全室外ユニットの圧縮機も同時運転しますので、グループ運転する場合は必ずアドレス設定してください。
アドレス設定をしないでグループ運転した場合、同時運転のため始動電流が大きくなり、主ブレーカーの作動や電源電圧の降下の原因となります。
3. アドレス (SW12、11) の設定は、下記例のように10の位 (SW12) と1の位 (SW11) の組合せになります。
(例) アドレス “ 03 ” は、10の位 (SW12) : “ 0 ”、1の位 (SW11) : “ 3 ”
アドレス “ 25 ” は、10の位 (SW12) : “ 2 ”、1の位 (SW11) : “ 5 ”
4. アドレス設定した場合は、製品名板にアドレスNo.記入欄がありますので油性マジック等で必ず記入してください。

(4) ディップスイッチによる機能選択

制御基板上のディップスイッチにより各機能の切換を行います。(ディップスイッチ : ON、x : OFF)

スイッチ	極	機能	標準出荷時設定	ON	OFF															
SW 1	1	-	1	-	-															
	2																			
	3																			
	4																			
	5	運転操作設定	2	OFF	遠方操作	リモコン操作														
	6	サーモ検知設定	2	OFF	外部サーモスイッチ	サーミスター														
	7	-	-	-	-															
	8	暖房用ヒータ組込み	1	OFF	有り	無し														
SW 2	1	-	OFF	-	-															
	2		OFF																	
	3		OFF																	
	4		OFF																	
	5		OFF																	
	6		OFF																	
	7		OFF																	
	8	ヒーターパナ加湿器	OFF	有り	無し															
SW 3	1	-	-	-	-															
	2																			
	3																			
	4																			
	5																			
	6																			
	7	順次起動遅延時間	OFF	10秒	3秒															
	8	応急運転	OFF	開始	通常															
SW 4	1	停電自動復帰	OFF	有り	無し															
	2	室温検知位置	OFF	リモコン	ボディサーモ															
	3	-	-	-	-															
	4	-	-	-	-															
	5	凍結防止温度	OFF	2 (PFAK(-F)) -4 (PFTK)	1 (PFAK(-F)) -5 (PFTK)															
	6	加湿器制御	OFF	常時	定常															
	7	フィルターサイン	OFF	<table border="1"> <thead> <tr> <th>フィルターサイン</th> <th>100 hr</th> <th>1250 hr</th> <th>無し</th> <th>2500 hr</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SW4-7</td> <td>x</td> <td></td> <td>x</td> <td></td> </tr> <tr> <td>SW4-8</td> <td>x</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		フィルターサイン	100 hr	1250 hr	無し	2500 hr	SW4-7	x		x		SW4-8	x	x		
	フィルターサイン		100 hr	1250 hr	無し	2500 hr														
	SW4-7	x		x																
	SW4-8	x	x																	
8	ON																			
9	-	-	-	-																
10	暖房サーモOFF時風量	ON	ON	OFF																

1 補助ヒーターの組込み時は設定不要です。

2 Dip SW1-5 OFFとDip SW1-6 ONの組合せの場合、自動運転はできません。

3 SW1-5 ONの時、SW4-1 ONにしても停電自動復帰は有効になりません。

(5) リモコン内蔵センサーによる室温検知

- リモコン内蔵センサーをご使用の場合...SW 4 - 2 をONにセットしてください。

リモコンの機種により、リモートセンサーが内蔵されていない場合は、本体内蔵センサーにて室温検知するようにしてください。

- オールフレッシュ用 (PFAK-P・AW(M)-A-F形) の場合

室内温度調節のため、下表に示す または の内容を実施してください。

	内 容	SWの設定の変更
	温度調節器23WA(現地手配)を接続する。	DIPSW1 - 6をONにセットしてください。
	リモコン(別売部品)を接続し、室内に設置してそのリモコン内蔵センサーを使用する。	DIPSW4 - 2をONにセットしてください。 本体取付のリモコンを“従”、室内に設置するリモコンを“主”に設定してください。詳しくは前頁の「主リモコン」「従リモコン」の設定方法 およびリモコンの取付説明書を参照ください。

(6) 外部接続回路の配線

外部操作入力(PFAK-P・AW-A, PFTK-P・AW-A, PFAK-P・AW-A-F共通)

現地の外部信号による運転操作を選択した場合は、入力信号の種類に応じて下表の入力端子に外部操作入力配線を接続してください。各入力端子の内容は次の通りです。

端子番号	基板上の表示	基板上の表示	動作
B1	RC/遠方	RC (リモコン) と遠方入力 (外部入力) との切換	ONでRC (リモコン) 操作
B2	IPC	冷房運転のON/OFF	ONで冷房ON
B3	IPH	暖房運転のON/OFF	ONで暖房ON
B4	IPF	送風運転のON/OFF	ONで送風 (52F) ON
B5	IPA	自動運転 (冷暖自動) のON/OFF	ONで自動運転ON
BC	COM	B1 ~ B5端子のコモン端子	DC12V供給

信号種別	入力項目	配線接続要領(微小電流接点)	微小接点継電器を使用時の接続回路図
レベル信号	送風 冷房 暖房	<p>(リモコン/遠方) 冷房 暖房 送風</p> <p>B1 (RC/遠方) B2 (IPC) B3 (IPH) B4 (IPF) B5 (IPA) BC (COM)</p>	<p>現地電源または (リモコン/遠方) 冷房 暖房 送風 ユニット電源(R1,S1)</p> <p>*各操作入力(Y2-Y4)は同時ONとならないこと。</p>
	送風 冷房 暖房 (冷暖切替)	<p>(リモコン/遠方) 空調 送風 冷房切替</p> <p>B1 (RC/遠方) B2 (IPC) B3 (IPH) B4 (IPF) B5 (IPA) BC (COM)</p>	<p>現地電源または (リモコン/遠方) ユニット電源(R1,S1)</p> <p>*各操作入力(Y2-Y4)は同時ONとならないこと。</p>
	送風 冷暖自動	<p>(リモコン/遠方) 送風 自動</p> <p>B1 (RC/遠方) B2 (IPC) B3 (IPH) B4 (IPF) B5 (IPA) BC (COM)</p>	<p>現地電源または (リモコン/遠方) 送風 自動 ユニット電源(R1,S1)</p> <p>*各操作入力(Y4,5)は同時ONとならないこと。</p>
パルス信号	別売部品 『遠方操作キットPAC-CG91RCK』組込		

注・外部操作入力の接続・操作について、下記の点にご注意ください。

入力接点に関して

- 外部入力は無電圧のレベル入力とし、微小電流用接点を使用してください。レベル信号入力がOFFとなった時点で、運転停止します。
- 微小電流用接点以外のものを接続した場合、接点の劣化によって信号が伝達されずにユニットが運転しないあるいは停止しないことがあります。
- COM (コモン) 端子には必ず配線してください。接続されない場合、DC12V電源が供給されず、入力信号を認識することができないため、ユニットが運転できません。

信号入力時間に関して

- 運転入力は、異なった運転指令信号を同時に5秒以上入れないでください。5秒以上入力信号が重複しますと、ユニットは運転停止します。例えば、IPC (冷房) とIPF (送風) を同時にONさせないでください。

信号入力の選択について

- 外部操作入力は、レベル信号入力により動作を保持しますので、パルス入力信号は別途レベル信号に保持させる必要があります。
- パルス信号入力は、別売部品の遠方操作キット(PAC-CG91RCK)をご使用ください。

外部サーモ入力接続

(i) PFAK-P・AW-Aの場合

現地の外部サーモによる温度調節を選択した場合は、下表の所定のサーモ接続用端子にサーモ入力配線を接続してください。
サーモステップと容量制御の関係は、下表のようになりますので参照してください。

運転種別	冷媒回路数	サーモステップ数	配線接続要領(微小電流接点)	外部サーモの動作	微小電流用接点継電器を使用時の接続回路図
冷房運転 暖房運転 (個別切換)	1冷媒回路	1(or2)ステップサーモ	<p>高段側 低段側(補助ヒーター用)</p> <p>(サーモ接点はOFF動作時を示します。(温度が上昇してON))</p>	<p>「冷房運転」</p> <p>OFF ON(No.1) 高段側</p> <p>高段側 (No.1)ON OFF</p> <p>低段側(補助ヒーター)ON OFF</p> <p>「暖房運転」</p>	<p>現地電源またはユニット電源(R1,S1)</p>
	2冷媒回路	2(or3)ステップサーモ	<p>高段側 低段側 最低段側(補助ヒーター用)</p> <p>(サーモ接点はOFF動作時を示します。(温度が上昇してON))</p>	<p>「冷房運転」</p> <p>OFF ON(No.2) 高段側</p> <p>OFF ON(No.1) 低段側</p> <p>高段側 (No.1)ON OFF</p> <p>低段側 (No.2)ON OFF</p> <p>最低段側(補助ヒーター)ON OFF</p> <p>「暖房運転」</p>	<p>現地電源またはユニット電源(R1,S1)</p>
	3冷媒回路	3ステップサーモ	<p>高段側 中段側 低段側(補助ヒーター兼)</p> <p>(サーモ接点はOFF動作時を示します。(温度が上昇してON))</p>	<p>「冷房運転」</p> <p>OFF ON(No.3) 高段側</p> <p>OFF ON(No.2) 中段側</p> <p>OFF ON(No.1) 低段側</p> <p>高段側 (No.1)ON OFF</p> <p>中段側 (No.2)ON OFF</p> <p>低段側(補助ヒーター)ON OFF</p> <p>「暖房運転」</p>	<p>現地電源またはユニット電源(R1,S1)</p>
	4冷媒回路	4(or5)ステップサーモ	<p>(No.1基板側)</p> <p>高段側 中段側 低段側</p> <p>(サーモ接点はOFF動作時を示します。(温度が上昇してON))</p> <p>(No.2基板側)</p> <p>高段側 低段側(補助ヒーター用)</p> <p>(サーモ接点はOFF動作時を示します。(温度が上昇してON))</p>	<p>「冷房運転」</p> <p>OFF ON(No.4) No.2高段側</p> <p>OFF ON(No.3) No.2中段側</p> <p>OFF ON(No.2) No.1中段側</p> <p>OFF ON(No.1) No.1低段側</p> <p>No.1低段側 (No.1)ON OFF</p> <p>No.1中段側 (No.2)ON OFF</p> <p>No.1高段側 (No.3)ON OFF</p> <p>No.2高段側 (No.4)ON OFF</p> <p>No.2低段側(補助ヒーター)ON OFF</p> <p>「暖房運転」</p>	<p>(No.1基板側) 現地電源またはユニット電源(R1,S1)</p> <p>(No.2基板側) 現地電源またはユニット電源(R1,S1)</p>
	5冷媒回路	5(or6)ステップサーモ	<p>(No.1基板側)</p> <p>高段側 中段側 低段側</p> <p>(サーモ接点はOFF動作時を示します。(温度が上昇してON))</p> <p>(No.2基板側)</p> <p>高段側 中段側(補助ヒーター用)</p> <p>(サーモ接点はOFF動作時を示します。(温度が上昇してON))</p>	<p>「冷房運転」</p> <p>OFF ON(No.5) No.2高段側</p> <p>OFF ON(No.4) No.2中段側</p> <p>OFF ON(No.3) No.1中段側</p> <p>OFF ON(No.2) No.1低段側</p> <p>OFF ON(No.1) No.1最低段側</p> <p>No.1高段側 (No.1)ON OFF</p> <p>No.1中段側 (No.2)ON OFF</p> <p>No.1低段側 (No.3)ON OFF</p> <p>No.2高段側 (No.4)ON OFF</p> <p>No.2低段側 (No.5)ON OFF</p> <p>No.2最低段側(補助ヒーター)ON OFF</p> <p>「暖房運転」</p>	<p>(No.1基板側) 現地電源またはユニット電源(R1,S1)</p> <p>(No.2基板側) 現地電源またはユニット電源(R1,S1)</p>

運転種別	冷媒回路数	サーモステップ数	配線接続要領(微小電流接点)	外部サーモの動作	微小電流用接点継電器を使用時の接続回路図
冷房運転 暖房運転 (個別切換)	1冷媒回路	2ステップサーモ	<p>(サーモ接点はOFF動作時を示します。(温度が上昇してON))</p>		
	2冷媒回路	4ステップサーモ	<p>(サーモ接点はOFF動作時を示します。(温度が上昇してON))</p>		
	3冷媒回路	4ステップサーモ	<p>(サーモ接点はOFF動作時を示します。(温度が上昇してON))</p>		
	4冷媒回路	4ステップサーモ	<p>微小電流用接点継電器を使用のごと</p> <p>(サーモ接点はOFF動作時を示します。(温度が上昇してON))</p>		同左接続方法と同じ
	5冷媒回路	4ステップサーモ	<p>微小電流用接点継電器を使用のごと</p> <p>(サーモ接点はOFF動作時を示します。(温度が上昇してON))</p>		同左接続方法と同じ

注．外部サーモ入力接続について、下記の点にご注意ください。

- ・外部サーモ入力は、無電圧のレベル入力とし、微小電流用接点を使用してください。
微小電流用接続以外のものを接続した場合、接点の劣化によって信号が伝達されずにユニットが運転しない、あるいは停止しないことがあります。
- ・冷房・暖房運転は、上表の外部サーモの動作順序に従って圧縮機（室内ユニット内）動作します。
高段・低段サーモ入力の順序が入れ替わると、システムエラーとなり、異常停止（異常コード5110）または、容量制御ができなくなりますので特に注意してください。
- ・配線の接続忘れ、あるいは誤接続時の動作（症状）と確認方法は、三菱電機設備・産業用パッケージエアコン2004年度版サーブिसハンドブック13ページの自己診断処置表を参照してください。

外部サーモ入力接続時の運転動作補足

外部サーモ入力時（室内機制御基板上的DipSW1-6 ON時）は、外部サーモ入力ポート（CN57,CN35）のレベル接点入力のON/OFF検知によって、各運転モードにおける室外ユニット（圧縮機）ON/OFF動作を行います。

外部サーモ入力時は、ボディーサーモ（サーミスター）は吸込空気サーモ判定を行いません。

（ただし、機種毎に冷房運転の吸込下限温度および暖房運転の吸込上限温度はボディーサーモ（サーミスター）で検知を行っていますので、限界温度を超えた場合は外部サーモからの接点入力があっても圧縮機を停止させます。）

・各機種の限界温度

機種	PFAK	PFTK	PFAK-F
ボディーサーモ検知			
冷房運転の吸込下限温度	OFF : 17 ON : 18 ディファレンシャル : 1	OFF : 12 ON : 13 ディファレンシャル : 1	OFF : 20 ON : 21 ディファレンシャル : 1
暖房運転の吸込上限温度	OFF : 30 ON : 29 ディファレンシャル : 1	-	-

- (1) 各運転モード・入力ポートの割付と運転出力の関係（冷房運転、暖房運転（自動運転を除く））
1回路接続（PFAK-P224,280AW(M)-A）

運転モード	サーモステージ	端子入力						運転出力		
		T1	T2	T3	T4	T5	T6	室内ユニット 送風機	No1室外 ユニット 補助ヒーター	No1室外 ユニット 圧縮機
停止	-	サーモ入力に関係せず						OFF	OFF	OFF
送風運転	-	サーモ入力に関係せず						ON	OFF	OFF
冷房運転	高段	ON	-	-	OFF	-	-	ON	OFF	ON
	サーモOFF	OFF	-	-	ON	-	-	ON	OFF	OFF
暖房運転	サーモOFF	ON	ON	-	OFF	OFF	-	ON	OFF	OFF
	高段	OFF	ON	-	ON	OFF	-	ON	OFF	ON
	低段 (補助ヒーター有)	OFF	OFF	-	ON	ON	-	ON	ON	ON

2回路接続（PFAK-P450,560AW(M)-A）

運転モード	サーモステージ	端子入力						運転出力			
		T1	T2	T3	T4	T5	T6	室内ユニット 送風機	No1室外 ユニット 補助ヒーター	No2室外 ユニット 圧縮機	No2室外 ユニット 圧縮機
停止	-	サーモ入力に関係せず						OFF	OFF	OFF	OFF
送風運転	-	サーモ入力に関係せず						ON	OFF	OFF	OFF
冷房運転	高段	ON	ON	-	OFF	OFF	-	ON	OFF	ON	ON
	低段	OFF	ON	-	ON	OFF	-	ON	OFF	ON	OFF
	サーモOFF	OFF	OFF	-	ON	ON	-	ON	OFF	OFF	OFF
暖房運転	サーモOFF	ON	ON	-	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
	高段	OFF	ON	-	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	低段	OFF	OFF	-	ON	ON	OFF	ON	OFF	ON	ON
	最低段 (補助ヒーター有)	OFF	OFF	-	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON

3回路接続 (PFAK-P630,800AW(M)-A)

運転モード	サーモステージ	端子入力						運転出力				
		T1	T2	T3	T4	T5	T6	室内ユニット		No1室外ユニット	No2室外ユニット	No3室外ユニット
		送風機	補助ヒーター	圧縮機	圧縮機	圧縮機						
停止	—	サーモ入力に関係せず						OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
送風運転	—	サーモ入力に関係せず						ON	OFF	OFF	OFF	OFF
冷房運転	高段	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	ON	ON	ON
	中段	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON	ON	OFF
	低段	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF
	サーモOFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
暖房運転	サーモOFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
	高段	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF
	低段	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF	ON	OFF	ON	ON	OFF
	最低段 (補助ヒーター兼)	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON

4回路接続 (PFAK-P1120AW(M)-A)

(No1基板側)

運転モード	サーモステージ	端子入力						運転出力				
		T1	T2	T3	T4	T5	T6	室内ユニット		No1室外ユニット	No2室外ユニット	No3室外ユニット
		送風機	補助ヒーター	圧縮機	圧縮機	圧縮機						
停止	—	サーモ入力に関係せず						OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
送風運転	—	サーモ入力に関係せず						ON	OFF	OFF	OFF	OFF
冷房運転	高段	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	ON	ON	ON
	中段	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON	ON	OFF
	低段	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF
	サーモOFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
暖房運転	サーモOFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
	高段	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF
	中段	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF	ON	OFF	ON	ON	OFF
	低段	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	OFF	ON	ON	ON

(No2基板側)

運転モード	サーモステージ	端子入力						運転出力		
		T7	T8	T9	T10	T11	T12	室内ユニット		No1室外ユニット
		送風機	補助ヒーター	圧縮機	圧縮機					
停止	—	サーモ入力に関係せず						OFF	OFF	OFF
送風運転	—	サーモ入力に関係せず						ON	OFF	OFF
冷房運転	高段	ON	—	—	OFF	—	—	ON	OFF	ON
	サーモOFF	OFF	—	—	ON	—	—	ON	OFF	OFF
暖房運転	サーモOFF	ON	ON	—	OFF	OFF	—	ON	OFF	OFF
	高段	OFF	ON	—	ON	OFF	—	ON	OFF	ON
	低段 (補助ヒーター用)	OFF	OFF	—	ON	ON	—	ON	ON	ON

5回路接続 (PFAK-P1400AW(M)-A)

(No1 基板側)

運転モード	サーモステージ	端子入力						運転出力				
		T1	T2	T3	T4	T5	T6	室内ユニット		No1室外ユニット	No2室外ユニット	No3室外ユニット
								送風機	補助ヒーター	圧縮機	圧縮機	圧縮機
停止	—	サーモ入力に関係せず						OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
送風運転	—	サーモ入力に関係せず						ON	OFF	OFF	OFF	OFF
冷房運転	高段	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	ON	ON	ON
	中段	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON	ON	OFF
	低段	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF
	サーモOFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
暖房運転	サーモOFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
	高段	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF
	中段	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF	ON	OFF	ON	ON	OFF
	低段	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	OFF	ON	ON	ON

(No2 基板側)

運転モード	サーモステージ	端子入力						運転出力			
		T7	T8	T9	T10	T11	T12	室内ユニット		No1室外ユニット	No2室外ユニット
								送風機	補助ヒーター	圧縮機	圧縮機
停止	—	サーモ入力に関係せず						OFF	OFF	OFF	OFF
送風運転	—	サーモ入力に関係せず						ON	OFF	OFF	OFF
冷房運転	高段	ON	ON	-	OFF	OFF	-	ON	OFF	ON	ON
	低段	OFF	ON	-	ON	OFF	-	ON	OFF	ON	OFF
	サーモOFF	OFF	OFF	-	ON	ON	-	ON	OFF	OFF	OFF
暖房運転	サーモOFF	ON	ON	-	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
	高段	OFF	ON	-	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	低段	OFF	OFF	-	ON	ON	OFF	ON	OFF	ON	ON
	最低段 (補助ヒーター用)	OFF	OFF	-	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON

冷房時は、端子入力T1、T2、T3、T7、T8でサーモ判定をし、暖房時は、端子入力T4、T5、T6、T10、T11、T12でサーモ判定しています。
外部サーモの接続は、T1とT4、T2とT5、T3とT6、T7とT10、T8とT11、T9とT12を逆接点とすることで、冷房・暖房運転で設定変更せずにご使用になれます。

注．2回路接続時の動作パターンとして、例えば冷房運転時の室外ユニット（圧縮機）動作は下表のようになります。すなわち、高段側と低段側の信号順序が逆になれば、配線誤接続と判断してシステム異常となります。

T1	T2	動作
OFF	OFF	圧縮機 OFF
OFF	ON	圧縮機 1 台 ON
ON	ON	圧縮機 2 台 ON
(ON)	(OFF)	システム異常(異常コード 5110)

(2) 各運転モード・入力ポートの割付と運転出力の関係（自動運転）

1 回路接続（PFAK-P140・224・280AW(M)-A）

運転モード	端子入力						運転モード	運転出力		
	T1	T2	T3	T4	T5	T6		室内ユニット	No1室外ユニット	
停止	サーモ入力に関係せず						停止	送風機	補助ヒーター	圧縮機
自動	ON	ON	OFF	—	—	—	冷房運転	ON	OFF	ON
	OFF	ON	ON	—	—	—	送風運転	ON	OFF	OFF
	OFF	OFF	ON	—	—	—	暖房運転	ON	ON	ON
	OFF	OFF	ON	—	—	—	システム異常 {異常コード 5110}	OFF	OFF	OFF

・上記パターン以外が連続し5秒以上継続時、異常(5110表示)とする。解除は停止もしくは電源リセットとする。

2 回路接続（PFAK-P450・560AW(M)-A）

運転モード	端子入力						運転モード	運転出力			
	T1	T2	T3	T4	T5	T6		室内ユニット	No1室外ユニット	No2室外ユニット	
停止	サーモ入力に関係せず						停止	送風機	補助ヒーター	圧縮機	圧縮機
自動	ON	ON	ON	ON	OFF	—	冷房運転	ON	OFF	ON	ON
	OFF	ON	ON	ON	ON	—		ON	OFF	ON	OFF
	OFF	OFF	ON	ON	ON	—	送風運転	ON	OFF	OFF	OFF
	OFF	OFF	OFF	ON	ON	—	暖房運転	ON	ON	ON	OFF
	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	—		ON	ON	ON	ON
	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	—	システム異常 {異常コード 5110}	OFF	OFF	OFF	OFF

・上記パターン以外が連続し5秒以上継続時、異常(5110表示)とする。解除は停止もしくは電源リセットとする

3回路接続（PFAK-P630・800AW(M)-A）

運転モード	端子入力						運転モード	運転出力				
	T1	T2	T3	T4	T5	T6		室内ユニット	No1室外ユニット	No2室外ユニット	No3室外ユニット	
停止	サーモ入力に関係せず						停止	送風機	補助ヒーター	圧縮機	圧縮機	圧縮機
自動	ON	ON	ON	ON	OFF	—	冷房運転	ON	OFF	ON	ON	ON
	OFF	ON	ON	ON	ON	—		ON	OFF	ON	ON	OFF
	OFF	OFF	ON	ON	ON	—	送風運転	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
	OFF	OFF	OFF	ON	ON	—	暖房運転	ON	ON	ON	ON	OFF
	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	—		ON	ON	ON	ON	ON
	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	—	システム異常 {異常コード 5110}	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF

・上記パターン以外が連続し5秒以上継続時、異常(5110表示)とする。解除は停止もしくは電源リセットとする

4回路接続 (PFAK-P1120AW(M)-A)

(No1基板側)

運転モード	端子入力						運転モード	運転出力				
	T1	T2	T3	T4	T5	T6		室内ユニット		No1室外ユニット	No2室外ユニット	No3室外ユニット
								送風機	補助ヒーター	圧縮機	圧縮機	圧縮機
停止	サーモ入力に関係せず						停止	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
自動	ON	ON	ON	ON	OFF	—	冷房運転	ON	OFF	ON	ON	ON
	OFF	ON	ON	ON	ON	—		ON	OFF	ON	ON	OFF
	OFF	OFF	ON	ON	ON	—	送風運転	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
	OFF	OFF	OFF	ON	ON	—	暖房運転	ON	ON	ON	ON	OFF
	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	—		ON	ON	ON	ON	ON
OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	—	システム異常 {異常コード} 5110}	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	

(No2基板側)

運転モード	端子入力						運転モード	運転出力		
	T7	T8	T9	T10	T11	T12		室内ユニット		No1室外ユニット
								送風機	補助ヒーター	圧縮機
停止	サーモ入力に関係せず						停止	OFF	OFF	OFF
自動	ON	ON	OFF	—	—	—	冷房運転	ON	OFF	ON
	OFF	ON	ON	—	—	—	送風運転	ON	OFF	OFF
	OFF	OFF	ON	—	—	—	暖房運転	ON	ON	ON
	OFF	OFF	ON	—	—	—	システム異常 {異常コード} 5110}	OFF	OFF	OFF

・上記パターン以外が連続し5秒以上継続時、異常(5110表示)とする。解除は停止もしくは電源リセットとする

5回路接続 (PFAK-P1400AW(M)-A)

(No1 基板側)

運転モード	端子入力						運転モード	運転出力				
	T1	T2	T3	T4	T5	T6		室内ユニット		No1室外ユニット	No2室外ユニット	No3室外ユニット
	送風機	補助ヒーター	圧縮機	圧縮機	圧縮機	送風機		送風機	圧縮機	圧縮機	圧縮機	
停止	サーモ入力に関係せず						停止	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
自動	ON	ON	ON	ON	OFF	—	冷房運転	ON	OFF	ON	ON	ON
	OFF	ON	ON	ON	ON	—		ON	OFF	ON	ON	OFF
	OFF	OFF	ON	ON	ON	—	送風運転	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
	OFF	OFF	OFF	ON	ON	—	暖房運転	ON	ON	ON	ON	OFF
	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	—		ON	ON	ON	ON	ON
OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	—	システム異常 {異常コード 5110}	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	

(No2 基板側)

運転モード	端子入力						運転モード	運転出力			
	T7	T8	T9	T10	T11	T12		室内ユニット		No1室外ユニット	No2室外ユニット
	送風機	補助ヒーター	圧縮機	圧縮機	圧縮機	送風機		送風機	圧縮機	圧縮機	
停止	サーモ入力に関係せず						停止	OFF	OFF	OFF	OFF
自動	ON	ON	ON	ON	OFF	—	冷房運転	ON	OFF	ON	ON
	OFF	ON	ON	ON	ON	—		ON	OFF	ON	OFF
	OFF	OFF	ON	ON	ON	—	送風運転	ON	OFF	OFF	OFF
	OFF	OFF	OFF	ON	ON	—	暖房運転	ON	ON	ON	OFF
	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	—		ON	ON	ON	ON
OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	—	システム異常 {異常コード 5110}	OFF	OFF	OFF	OFF	

・上記パターン以外が連続し5秒以上継続時、異常(5110表示)とする。解除は停止もしくは電源リセットとする

(ii) PFTK-P・AW-A, PFAK-P・AW-A-Fの場合

現地の外部サーモによる温度調節を選択した場合は、下表の所定のサーモ接続用端子にサーモ入力配線を接続してください。
サーモステップと容量制御の関係は、下表のようになりますので参照してください。

運転種別	冷媒回路数	サーモステップ数	配線接続要領(微小電流接点)	外部サーモの動作	微小電流用接点継電器を使用時の接続回路図
冷房運転 暖房運転 (個別切換)	1冷媒回路	2 ステップ サーモ	<p>冷房高段側 冷房低段側 (暖房高段側 暖房低段側)</p> <p>サーモ接点はOFF動作時を示します。 吸込温度が上昇すると、T2 T1の順にON。</p>	<p>「冷房運転」</p> <p>OFF ON(ステップ2) 高段側</p> <p>OFF ON(ステップ1) 低段側</p> <p>高段側 ON(ヒーター1) OFF</p> <p>低段側 ON(ヒーター2) OFF</p> <p>「暖房運転」</p>	<p>現地電源または ユニット電源(R1.S1)</p>
	2冷媒回路	4 ステップ サーモ	<p>冷房高段2側 冷房高段1側 冷房低段2側 冷房低段1側 (暖房高段2側 暖房高段1側 暖房低段2側 暖房低段1側)</p> <p>サーモ接点はOFF動作時を示します。 吸込温度が上昇するとT4 T3 T2 T1の順にON。</p>	<p>「冷房運転」</p> <p>OFF ON(ステップ4) 高段2側</p> <p>OFF ON(ステップ3) 高段1側</p> <p>OFF ON(ステップ2) 低段2側</p> <p>OFF ON(ステップ1) 低段1側</p> <p>高段2側 (ヒーター1)ON OFF</p> <p>高段1側 (ヒーター1)ON OFF</p> <p>低段2側 (ヒーター2)ON OFF</p> <p>低段1側 (ヒーター2)ON OFF</p> <p>「暖房運転」</p>	<p>現地電源または ユニット電源(R1.S1)</p>
	3冷媒回路	6 ステップ サーモ	<p>冷房高段2側 冷房高段1側 冷房中段2側 冷房中段1側 冷房低段2側 冷房低段1側 (暖房高段2側 暖房高段1側 暖房中段2側 暖房中段1側 暖房低段2側 暖房低段1側)</p> <p>サーモ接点はOFF動作時を示します。 吸込温度が上昇するとT6 T5 T4 T3 T2 T1の順にON。</p>	<p>「冷房運転」</p> <p>OFF ON(ステップ6) 高段2側</p> <p>OFF ON(ステップ5) 高段1側</p> <p>OFF ON(ステップ4) 中段2側</p> <p>OFF ON(ステップ3) 中段1側</p> <p>OFF ON(ステップ2) 低段2側</p> <p>OFF ON(ステップ1) 低段1側</p> <p>高段2側 (ヒーター1)ON OFF</p> <p>高段1側 (ヒーター1)ON OFF</p> <p>中段2側 (ヒーター2)ON OFF</p> <p>中段1側 (ヒーター2)ON OFF</p> <p>低段2側 (ヒーター2)ON OFF</p> <p>低段1側 (ヒーター2)ON OFF</p> <p>「暖房運転」</p>	<p>現地電源または ユニット電源(R1.S1)</p>
	4冷媒回路	4 ステップ サーモ	<p>冷房4回路 冷房3回路 冷房2回路 冷房1回路 暖房ヒーター1 暖房ヒーター1 暖房ヒーター2 暖房ヒーター2</p> <p>サーモ接点はOFF動作時を示します。 吸込温度が上昇すると、 No.1基板側(T3 T2 T1) No.2基板側(T3)の順にON。</p>	<p>「冷房運転」</p> <p>OFF ON(ステップ4) 冷房4回路ON</p> <p>OFF ON(ステップ3) 冷房3回路ON</p> <p>OFF ON(ステップ2) 冷房2回路ON</p> <p>OFF ON(ステップ1) 冷房1回路ON</p> <p>暖房ヒーター1ON (ヒーター1)ON OFF</p> <p>暖房ヒーター1ON (ヒーター1)ON OFF</p> <p>暖房ヒーター2ON (ヒーター2)ON OFF</p> <p>暖房ヒーター2ON (ヒーター2)ON OFF</p> <p>「暖房運転」</p>	<p>現地電源または ユニット電源(R1.S1)</p>
	5冷媒回路	5 ステップ サーモ	<p>冷房5回路 冷房4回路 冷房3回路 冷房2回路 冷房1回路 暖房ヒーター1 暖房ヒーター1 暖房ヒーター1 暖房ヒーター2 暖房ヒーター2</p> <p>サーモ接点はOFF動作時を示します。 吸込温度が上昇すると、 No.1基板側(T3 T2 T1) No.2基板側(T3 T2)の順にON。</p>	<p>「冷房運転」</p> <p>OFF ON(ステップ5) 冷房5回路ON</p> <p>OFF ON(ステップ4) 冷房4回路ON</p> <p>OFF ON(ステップ3) 冷房3回路ON</p> <p>OFF ON(ステップ2) 冷房2回路ON</p> <p>OFF ON(ステップ1) 冷房1回路ON</p> <p>暖房ヒーター1ON (ヒーター1)ON OFF</p> <p>暖房ヒーター1ON (ヒーター1)ON OFF</p> <p>暖房ヒーター1ON (ヒーター1)ON OFF</p> <p>暖房ヒーター2ON (ヒーター2)ON OFF</p> <p>暖房ヒーター2ON (ヒーター2)ON OFF</p> <p>「暖房運転」</p>	<p>現地電源または ユニット電源(R1.S1)</p>

冷房運転時のステップ数と容量制御（アクチュエーター動作）の関係

ステップ数	No.1室外機		No.2室外機		容 量 (%)
	圧 縮 機	バイパス電磁弁	圧 縮 機	バイパス電磁弁	
ステップ4	ON	OFF	ON	OFF	100
ステップ3	ON	OFF	ON	ON	75
ステップ2	ON	OFF	OFF	OFF	50
ステップ1	ON	ON	OFF	OFF	25
ステップ0	OFF	OFF	OFF	OFF	0

注．外部サーモ入力接続について、下記の点にご注意ください。

- ・外部サーモ入力は、無電圧のレベル入力とし、微小電流用接点を使用してください。
微小電流用接点以外のものを接続した場合、接点の劣化によって信号が伝達されずにユニットが運転しない、あるいは停止しないことがあります。
- ・冷房運転は、上表の外部サーモの動作順序に従って圧縮機、バイパス電磁弁（室内ユニット内蔵）が動作します。
暖房運転は、上表の外部サーモの動作順序に従って大容量ヒーター（室内ユニット別売部品）が動作します。
高段・低段サーモ入力の順序が入れ替わると、システムエラーとなり、異常停止（異常コード5110）または、容量制御ができなくなりますので特に注意してください。
- ・配線の接続忘れ、あるいは誤接続時の動作（症状）と確認方法は、「三菱電機産業用パッケージエアコン 2002年度版サービスハンドブック」13ページの自己診断処置表を参照してください。

外部サーモ入力接続時の運転動作補足

外部サーモ入力時（室内ユニット制御基板上のDipSW1-6 ON時）は、外部サーモ入力ポート（CN57,CN35）のレベル接点入力のON/OFF検知によって、各運転モードにおける室外ユニット（圧縮機）ON/OFF動作を行います。外部サーモ入力時は、ボディーサーモ（サーミスター）は吸込空気サーモ判定を行いません。（ただし、機種毎に冷房運転の吸込下限温度及び暖房運転の吸込上限温度はボディーサーモ（サーミスター）で検知を行っていますので、限界温度を超えた場合は外部サーモからの接点入力があっても圧縮機を停止させます。）暖房に関する別売の暖房用ヒーターを組込んだ場合を示します。

(1) 各運転モード・入力ポートの割付と運転出力の関係（冷房運転、暖房運転（自動運転を除く））

1回路接続（PFTK-P125・200・250AW(M)-A、PFAK-P167・265・335AW(M)-A-F）

運転モード	サーモステージ	端子入力						運転出力				
		T1	T2	T3	T4	T5	T6	室内ユニット			No1室外ユニット	
								送風機	ヒーター1	ヒーター2	圧縮機	バイパス電磁弁
停止	—	サーモ入力に関係せず						OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
送風運転	—	サーモ入力に関係せず						ON	OFF	OFF	OFF	OFF
冷房運転	ステップ2	ON	ON	—	—	—	—	ON	OFF	OFF	ON	OFF
	ステップ1	OFF	ON	—	—	—	—	ON	OFF	OFF	ON	ON
	サーモOFF	OFF	OFF	—	—	—	—	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
暖房運転	サーモOFF	ON	ON	—	—	—	—	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
	高段	OFF	ON	—	—	—	—	ON	ON	OFF	OFF	OFF
	低段	OFF	OFF	—	—	—	—	ON	ON	ON	OFF	OFF

2回路接続 (PFTK-P400・500AW(M)-A、PFTK-P530・670AW(M)-A-F)

運転モード	サーモステージ	端子入力						運転出力							
		T1	T2	T3	T4	T5	T6	室内ユニット			No1室外ユニット		No2室外ユニット		
								送風機	ヒータ-1	ヒータ-2	圧縮機	バイパス電磁弁	圧縮機	バイパス電磁弁	
停止	—	サーモ入力に関係せず						OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
送風運転	—	サーモ入力に関係せず						ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
冷房運転	ステップ4	ON	ON	ON	ON	—	—	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	
	ステップ3	OFF	ON	ON	ON	—	—	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON	ON	
	ステップ2	OFF	OFF	ON	ON	—	—	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	
	ステップ1	OFF	OFF	OFF	ON	—	—	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	
	サーモOFF	OFF	OFF	OFF	OFF	—	—	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
暖房運転	サーモOFF	ON	ON	ON	ON	—	—	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	高 段	OFF	ON	ON	ON	—	—	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
		OFF	OFF	ON	ON	—	—								
	低 段	OFF	OFF	OFF	ON	—	—	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	
		OFF	OFF	OFF	OFF	—	—								

3回路接続 (PFTK-P600・750AW(M)-A)

運転モード	サーモステージ	端子入力						運転出力									
		T1	T2	T3	T4	T5	T6	室内ユニット			No1室外ユニット		No2室外ユニット		No3室外ユニット		
								送風機	ヒータ-1	ヒータ-2	圧縮機	バイパス電磁弁	圧縮機	バイパス電磁弁	圧縮機	バイパス電磁弁	
停止	—	サーモ入力に関係せず						OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
送風運転	—	サーモ入力に関係せず						ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
冷房運転	ステップ6	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	
	ステップ5	OFF	ON	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	ON	
	ステップ4	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	
	ステップ3	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON	ON	OFF	OFF	
	ステップ2	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	ステップ1	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	
	サーモOFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
暖房運転	サーモOFF	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
	高 段	OFF	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
		OFF	OFF	ON	ON	ON	ON										
	中 段	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
		OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON										
	低 段	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	
OFF		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF											

冷房時は、端子入力T1、T2、T3、T4、T5、T6のON入力でサーモ判定をし、暖房時は、端子入力T1、T2、T3、T4、T5、T6のOFF入力でサーモ判定しています。
外部サーモの接続は、T1、T2、T3、T4、T5、T6をB接点接続とすることで、冷房・暖房運転で設定変更せずにご使用になれます。

4回路接続 (PFTK-P1000AW(M)-A)

運転モード	サーモステージ	端子入力				運転出力						
		No2基板	No1基板			室内ユニット			No1室外ユニット	No2室外ユニット	No3室外ユニット	No4室外ユニット
			T9	T1	T2	T3	送風機	ヒーター1	ヒーター2	圧縮機	圧縮機	圧縮機
停止	—	サーモ入力に関係せず				OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
送風運転	—	サーモ入力に関係せず				ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
冷房運転	ステップ4	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON
	ステップ3	OFF	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF
	ステップ2	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF
	ステップ1	OFF	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
	サーモOFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
暖房運転	サーモOFF	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
	高 段	OFF	ON	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
		OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
	低 段	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF
OFF		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	

冷房時は、No1基板側の端子入力T1、T2、T3とNo2基板側のT9のON入力でサーモ判定し、暖房時は、No1基板側の端子入力T1、T2、T3とNo2基板側のT9のOFF入力でサーモ判定しています。
外部サーモの接続は、No1基板側の端子入力T1、T2、T3とNo2基板側のT9をB接点接続とすることで、冷房・暖房運転で設定変更せずにご使用になれます。

5回路接続 (PFTK-P1250AW(M)-A)

運転モード	サーモステージ	端子入力					運転出力							
		No2基板	No1基板			室内ユニット			No1室外ユニット	No2室外ユニット	No3室外ユニット	No4室外ユニット	No5室外ユニット	
			T8	T9	T1	T2	T3	送風機	ヒーター1	ヒーター2	圧縮機	圧縮機	圧縮機	圧縮機
停止	—	サーモ入力に関係せず					OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
送風運転	—	サーモ入力に関係せず					ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
冷房運転	ステップ5	ON	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	ON
	ステップ4	OFF	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	OFF
	ステップ3	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF
	ステップ2	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF
	ステップ1	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
	サーモOFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
暖房運転	サーモOFF	ON	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
	高 段	OFF	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
		OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
		OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
	低 段	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
OFF		OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	

冷房時は、No1基板側の端子入力T1、T2、T3とNo2基板側のT8、T9のON入力でサーモ判定し、暖房時は、No1基板側の端子入力T1、T2、T3とNo2基板側のT8、T9のOFF入力でサーモ判定しています。
外部サーモの接続は、No1基板側の端子入力T1、T2、T3とNo2基板側のT8、T9をB接点接続とすることで、冷房・暖房運転で設定変更せずにご使用になれます。

注．1回路接続時の動作パターンとして、例えば冷房運転時の室外ユニット（圧縮機）動作は下表のようになります。すなわち、高段側と低段側の信号順序が逆になれば、配線誤接続と判断してシステム異常となります。

T1	T2	動作
OFF	OFF	圧縮機1台OFF + ガスバイパス電磁弁OFF
ON	OFF	システム異常(5110)
OFF	ON	圧縮機1台ON + ガスバイパス電磁弁ON
ON	ON	圧縮機1台ON + ガスバイパス電磁弁OFF

外部接点出力

外部接点出力端子は、室内ユニットの電気品箱内に設けています。

運転表示や現地機器とのインターロック等、出力信号を外部に取り出す場合は、下表の端子への接続要領を参考に配線接続してください。

出力項目	配線接続要領	備考
遠方運転表示		<p>各接点は無電圧接点 印加電圧は AC200V、2.5A以下</p> <p>L1:冷房 (サーモOFF時もON出力)</p> <p>L2:送風 (室内ファン52F ON)</p> <p>L3:サーモON</p> <p>L4:暖房 (サーモOFF、霜取中もON出力)</p> <p>L5:霜取</p>
遠方一括異常表示		<p>各接点は無電圧接点 印加電圧は AC200V、2.5A以下</p> <p>L6:一括異常 (室内ユニット異常又は室外ユニット異常時ON出力)</p>
室外ユニット異常表示		<p>各接点は無電圧接点 印加電圧は AC200V、2.5A以下</p> <p>L7:室外ユニットNo.1異常</p> <p>L8:室外ユニットNo.2異常</p>

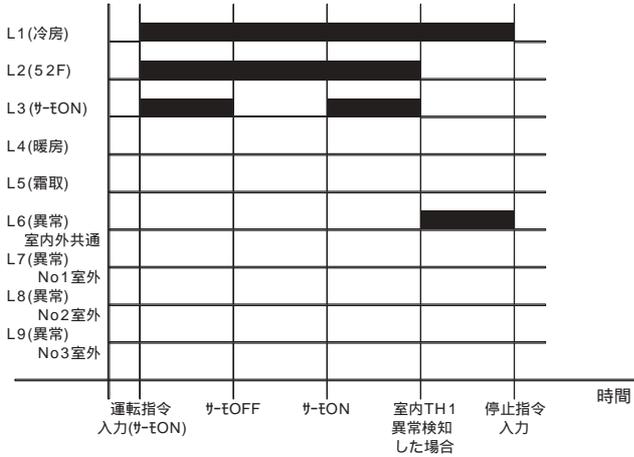
注.外部接点出力の接続について、下記の点にご注意ください。

各出力接点は、無電圧接点です。継電器接続時等の接点への印加電圧は、AC200V,2.5A以下としてください。

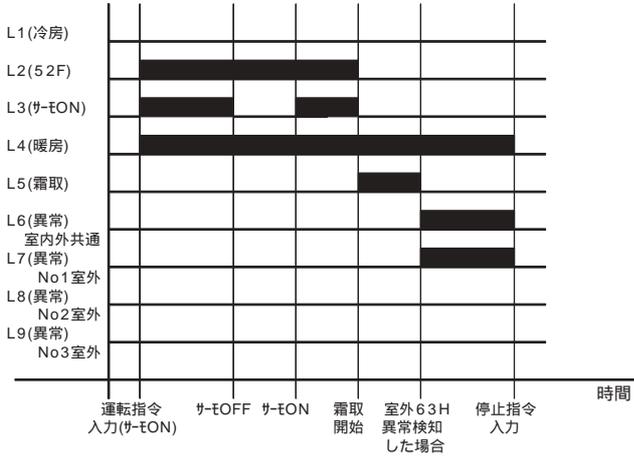
表中の接続端子は、室内ユニット電気品箱内の端子台番号です。

L1～L8はリレーを示します。(現地手配)

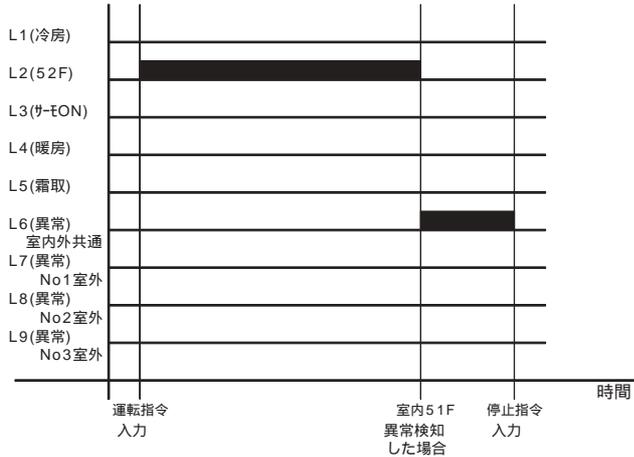
PFAK-P140AW-Aなどの1冷媒機種
(1) 冷房運転



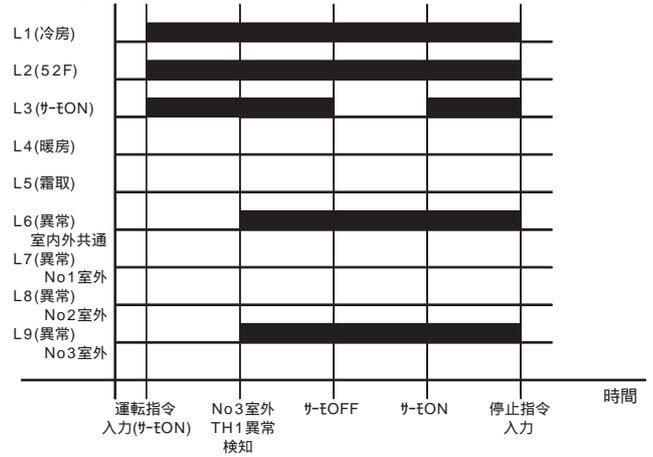
(2) 暖房運転



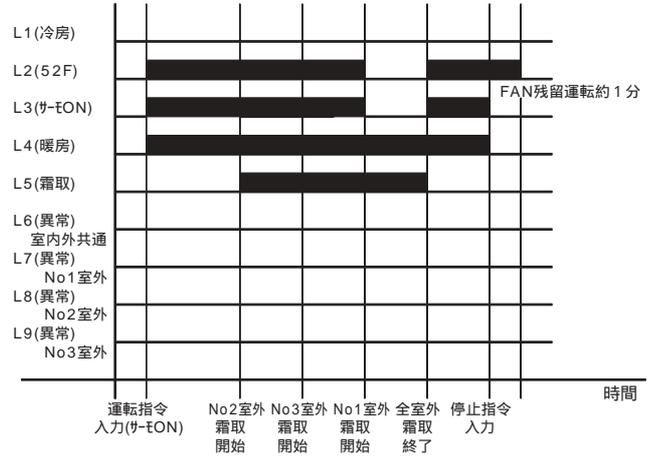
(3) 送風運転



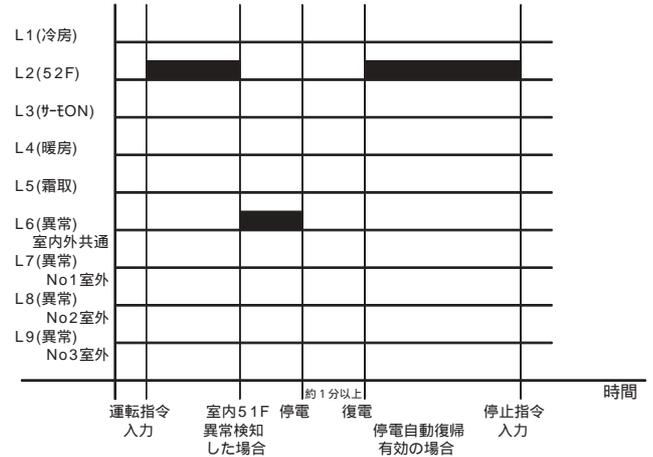
PFAK-P670AW-Aなどの3冷媒機種
(1) 冷房運転



(2) 暖房運転



(3) 送風運転



7. 試運転

(1) 試運転時のチェックポイント

試運転操作は、室内ユニット・室外ユニットのどちらからでも行えますが、室内ユニットが2回路以上接続される容量制御可能な室内ユニットの場合、配管テレコ、配線テレコを検出するために、室外ユニットから試運転を行い、当該冷媒回路での試運転時間は30分以上行って下さい。その後、その他冷媒回路での試運転を実施してください。

電源投入は必ず室外ユニット側を先に投入し、その後室内ユニット側を投入してください。

室内ユニットの電源を先に投入すると、リモコンに異常(6844)が出る場合があります。

その場合は室内ユニットの電源を切り、室外ユニット 室内ユニットの順で電源を入れてください。それでも直らない場合は伝送線の接続ミス、断線等を確認してください。

確認項目

室内・室外ユニット据付・配管・配線作業終了後、冷媒漏れ・電源・制御線のゆるみ・極性間違いがないか今一度確認してください。

電源用端子(R、S、T)と大地間を500Vメガ - で計って1.0M 以上であることを確認してください。1.0M 未満の場合は運転しないでください。 内外接続線用端子(A、B)には絶対にメガーをかけないでください。故障の原因になります。

室外ユニットが異常でないこと。(室外ユニットが異常の場合、基板上のLED2(デジタル表示)で判定できます)

ボールバルブが液、ガス側とも全開であること。

三相電源の相順を確認します。逆相の場合、圧縮機やファンが逆回転もしくは停止したり、異常音が発生する場合があります。

試運転の最低12時間以上前にクランクケースヒーターに通電してください。(通電時間が短いと圧縮機故障の原因になります)

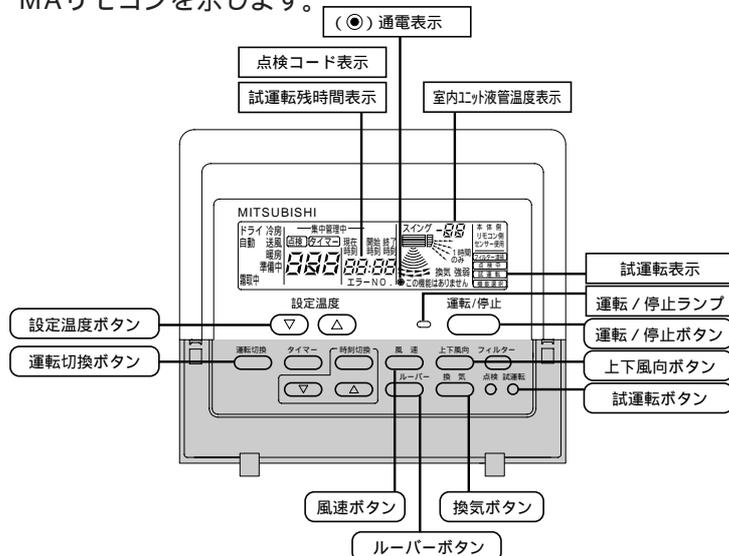
以上のことを確認後、下記の要領により試運転を行ってください。

(2) 試運転操作

室内ユニットからの試運転操作

- 室内・室外ユニット据付、配管、配線作業終了後、冷媒漏れ、電源、伝送線のゆるみ、極性間違いがないか今一度確認してください。
- 電源端子台と大地間をDC500Vメガーで計って1.0M 以上であることを確認します。1.0M 未満の場合は運転しないでください。
MAリモコン用・伝送線用端子台の絶縁抵抗測定は絶対にしないでください。

イラストは、MAリモコンを示します。



操 作 手 順	
12時間以上前に、元電源を入れる	
三相電源の相順を確認してください。 逆相の場合、送風機が逆回転し異常の原因となります。	
試運転 ボタンを2度押す	試運転 の液晶表示
運転切換 ボタンを押す	風が吹き出すことを確認
運転切換 ボタンを押して冷房（または暖房）運転に切り換える	冷風（または温風）が吹き出すことを確認
室外ユニットファンの運転を確認	
運転/停止 ボタンを押して試運転解除する	停止
確認後は、必ず元電源を切ってください	

リモコンに点検コードが表示された場合、または正常に作動しない場合は、室外ユニット側の据付工事説明書、または技術資料を参照願います。

試運転は2時間の切タイマーが作動し、2時間後に自動的に停止します。

試運転中、時刻表示部には試運転残時間を表示します。

試運転中、室内ユニットの液管温度をリモコンの室温表示部に表示します。

風向ボタンを押した時、機種により“この機能はありません”の表示がリモコンに表示されますが故障ではありません。

外部入力接続されている場合、外部入力信号にて運転操作を行って、試運転確認を実施してください。

室外ユニットからの試運転操作・・・基板上的ディップスイッチSW4にて試運転開始、終了および運転開始モード(冷房・暖房 1)の設定を行います。

SW4-2にて運転モード(冷房・暖房)を設定してください。(SW4-2 OFFで冷房、ONで暖房)

SW4-1をONすることでSW4-2の運転モードに従い、試運転が開始されます。

SW4-1をOFFすることで試運転を終了します。

【お願い】 試運転中はSW4-2にて運転モードを変えることはできません。

(試運転モードを変える時はSW4-1にて一旦停止し、運転モードを変えた後、再度SW4-1で試運転を行います)

【注意事項】 試運転操作で行った冷媒回路のみ試運転を実施します。

その他冷媒回路で試運転を行いたい場合は、同様にSW設定にて試運転ができます。但し、運転モードは統一してください。

室外ユニットより試運転を行った場合、リモコンには何も表示しません。

(「停止」表示のまま)

試運転は、2時間の切タイマーが作動し、2時間後自動的に停止します。

1 PUK-P140・224・280(U)AW-Aは冷房専用機種のため、暖房運転はできません。

(3) 試運転不具合時の対応

異常停止時、リモコン表示部に4桁の点検表示が表れますので、不具合要因の点検をお願いいたします。

(1) 室内ユニット

点検表示	不具合内容	点検表示	不具合内容
0403	シリアル通信異常	6606	送受信エラー（伝送プロセッサとの通信異常）
1110	配管温度異常	6607	送受信エラー（ACK無しエラー）
1503	凍結保護作動異常	6608	送受信エラー（応答フレーム無しエラー）
1504	過昇保護作動異常	6840	室内-室外受信異常
4109	過電流遮断	6841	室内-室外同期回復異常
5101	吸込センサー異常	6842	室内-室外H/W異常
5102	配管/二相管センサー異常	6843	室内-室外スタービット検出異常
5110	外部サーモ接続異常	6844	立上げ時間オーバー
6600	ユニットアドレス二重設定	7101	合計能力コード不一致異常
6601	極性未設定異常	7111	リモコンセンサ異常
6602	送信エラー（伝送プロセッサハードウェア異常）	7130	定速・インバーター室外ユニット接続混在異常
6603	送信エラー（伝送路BUSY）	7131	ヒートポンプ・冷専室外ユニット接続混在異常

(2) 室外ユニット

点検表示	不具合内容	点検表示	不具合内容
1102 (U2)	吐出温度異常	4118 (F7)	逆相検知回路異常
1108 (U2)	インナーサーモ作動異常	5104 (U3)	吐出管センサー異常
1302 (UE)	高圧圧力異常	5105 (U4)	配管センサー異常
1352 (UL)	低圧圧力異常	5107 (U4)	二相管センサー異常
1509 (U1)	高圧圧力異常（ボールバルブ閉）	5300 (UH)	電流センサー異常
4100 (UF)	圧縮機過電流異常	6840 (E8)	室内-室外受信異常
4101 (U6)	圧縮機過電流遮断異常	6842 (E9)	室内-室外H/W異常
4102 (F2)	欠相異常	6843 (E8)	室内-室外スタービット検出異常
4103 (F1)	逆相異常	6846 (EC)	立上げ時間オーバー
4115 (F8)	電源同期信号異常		

(3) M-NETリモコン

点検表示	不具合内容	点検表示	不具合内容
6101	“不能” 応答受信	6606	送受信エラー（伝送プロセッサとの通信異常）
6600	ユニットアドレス二重設定	6607	送受信エラー（ACK無しエラー）
6602	送信エラー（伝送プロセッサハードウェア異常）	6608	送受信エラー（応答フレーム無しエラー）
6603	送信エラー（伝送路BUSY）		

(4) MAリモコン

点検表示	不具合内容	点検表示	不具合内容
6831	MA通信受信異常（受信なし）	6833	MA通信受信異常（H/W異常）
6832	MA通信送信異常（スタービット検出異常）	6834	MA通信送信異常（同期回復異常）

室内ユニット基板上のSW2-1～7を操作することによりセグメントが点灯し、各ユニットの運転状態*1および点検コードの内容を知ることができます。

(室内ユニット情報)

SW2設定		項目	表示内容	
12	34567		十の位	一の位
00	00000	運転モード/リレー出力	O : 停止 C : 冷房 H : 暖房 d : 霜取り 1 : 52F	⇒ リレー出力 = 1 * 52F (例) 冷房運転にて52FがONの場合...C1 異常時は、異常コード及び異常号機(*1)を交互に表示する
	01001	異常コード履歴1(最新)	異常コード(ex.1110,1302)と異常号機(*1)を交互に表示します。	
	11001	異常コード履歴2(最新の1つ前)		

*1.異常号機の表示方法
号機は右記表に対応します。

SW2設定		号機設定	冷媒系	号機No.
1	2			
0	0	室内ユニット共通		0
		室外ユニット1号機		0 - 1
		室外ユニット2号機		0 - 2
		室外ユニット3号機		0 - 3
		室外ユニット1号機	-	1
		室外ユニット2号機	-	2
1	0	室外ユニット3号機	-	3
0	1	室外ユニット1号機	-	1
		室外ユニット2号機	-	2
1	1	室外ユニット3号機	-	3

(室外ユニット情報)

SW2設定		項目	表示内容	
12	34567		十の位	一の位
10	00000	運転モード/リレー出力	O : 停止 C : 冷房 H : 暖房 d : 霜取り 1 : SV2 2 : 21S4 4 : 52C 8 : SV1 (P140は除く)	⇒ リレー出力 = 1 * SV2 + 21S4 + 4 * 52C + 8 * SV1 (例) 冷房運転にて52FとSV2がONの場合...C5 異常時は、異常コード及び異常号機(*1)を交互に表示する
	11001	異常コード履歴1(最新)	異常コード(ex.4101,1302)と異常号機(*1)を交互に表示します。	
	00111	異常コード履歴2(最新の1つ前)		

*2.SW2-1, 2-2の設定による
室外ユニット情報の号機は、
右記表に対応します。

SW2-1	SW2-2	ユニット情報の号機No.
1	0	室外ユニット1号機
0	1	室外ユニット2号機
1	1	室外ユニット3号機

サービスをお申しつけの前に、次の点をお調べください。

おかしいな Q 変だな？ 故障かな？	A お答えします	! 説明します
動かない！ リモコンの運転表示が点灯しない。	電源開閉器を入れてください。 リモコンの表示部に、電源の“●”が点灯します。	電源が入っていませんとリモコンの表示部に電源の表示“●”が点灯しません。
リモコン表示部に“集中管理中”の表示が出ている。	“集中管理中”を解除してください。 表示が出ていませんか？ お確かめください。	“集中管理中”の表示が点灯中はリモコンでの運転・停止が禁止となっています。
再運転のために、運転・停止ボタンを押したが運転がすぐに始まらない。	再運転をした場合は、約3分間お待ちください。	マイコンの指示でエアコンを保護しています。
リモコンの表示部にエラーコードが点灯している。	リモコンの表示部にエラーコードが表示されていませんか？ お確かめください。	“自己診断機能”が作動してエアコンを保護しています。 サービスを申付けください。
運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。	リモコンでタイマー運転にしていた。 運転・停止ボタンを押して停止してください。	リモコンで入タイマー運転を設定すると、自動的に指定された時刻に運転を開始します。
	遠方コントロールで運転を指示した。 運転を指示したところへ確認・連絡ください。	遠方コントロールが接続されている場合、外部発停信号で運転の指示をすると自動的に運転を開始します。
	集中管理室で運転を操作した。 運転を指示したところへ確認・連絡ください。	リモコンに“集中管理中”の表示が点灯しているときは、集中管理室からの指示で運転を開始します。
	停電していて電源が復帰した。 運転・停止ボタンを押して停止してください。	運転中に停電になったとき、電源が復帰すると自動的に運転を開始する電源発停の機能に設定されていた。 * 電源発停の機能を作動させない場合は、販売店・工事店またはサービスにご連絡ください。
運転・停止ボタンを押さないのに停止した。	リモコンでタイマー運転にしていた。 運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。	リモコンで切タイマー運転を設定すると、自動的に指定された時刻に運転を停止します。
	遠方コントロールで運転を指示した。 運転を指示したところへ確認・連絡ください。	遠方コントロールが接続されている場合、外部発停信号で運転/停止の指示をすると自動的に運転を停止します。
	集中管理室で運転を操作した。 停止を指示したところへ確認・連絡ください。	リモコンに“集中管理中”の表示が点灯しているときは、集中管理室からの指示で運転を停止します。
停止ボタンを押したのに停止しない。	暖房運転中に停止ボタンを押されると、約1分間室内ファンが運転継続することがあります。 ペーパーパン加湿器を組込んだ場合、約3分間室内ファンが運転継続することがあります。	エアコン内部の余熱排除を行っています。 ペーパーパン余熱による水蒸気発生防止を行っています。

おかしいな Q 変だな？ 故障かな？	A お答えします	! 説明します
室内ユニットから白い霧状の水蒸気が出る。	そのままお使いください。	室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が出る場合があります。
室外ユニットから水・水蒸気が出る。	そのままお使いください。	冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき、滴下するためです。 暖房時には熱交換器についた水が滴下するためです。 * これらの水をまとめて別に排水する場合、別売部品“集中排水キット”をご利用ください。
よく冷えない。 よく暖まらない。	温度調節を確認して、設定温度を調節してください。	設定温度が適切でない。
	フィルターの清掃をしてください。	フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下したため。
	室外ユニットの周囲空間を広く開けてください。	室外ユニットの吹出し口・吸込み口がふさがれている。
暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。	そのまま約 10 分程お待ちください。	外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。
水の流れるような音がる。	異常ではありません。 そのままお使いください。	エアコン内部の冷媒が流れる音です。
時々“ブシュッ”と音がする。	異常ではありません。 そのままお使いください。	エアコン内部の冷媒の流れが切換わる時の音です。
“ピシッ、ピシッ”という音がする。	異常ではありません。 そのままお使いください。	温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。
リモコンのタイマー運転がセットできない。	スケジュールタイマーで行ってください。	スケジュールタイマーが接続されていませんか？この場合はスケジュールタイマーでセットとなります。
リモコンに“H0”の表示が出る。	そのままお待ちください。	初期自動点検（最大 10 分）を行っているためです。
リモコンに故障記号が表示される。 * 故障記号：13～24 ページ参照	エアコンの電源を切り、お買上げ販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。 “6844”の場合は室内ユニットの電源を切り、室外ユニット 室内ユニットの順で電源を入れてください。	自己診断機能を搭載しています。 * 自分では絶対に修理しないでください。
ワイヤレスリモコンの表示が出ない、薄い、受光部に近付けないと受信しない。	乾電池を交換し、リセットボタンを押してください。	乾電池が消耗しています。 * 新しい乾電池でも表示のでない場合は、乾電池の入れ方（+、-）を再度確認ください。
ワイヤレスリモコンの受光部の運転表示灯が点滅する。	エアコンの電源を切り、お買上げ販売店に製品名を連絡してください。	自己診断機能を搭載しています。

(4)次の現象は故障（異常）ではありません。

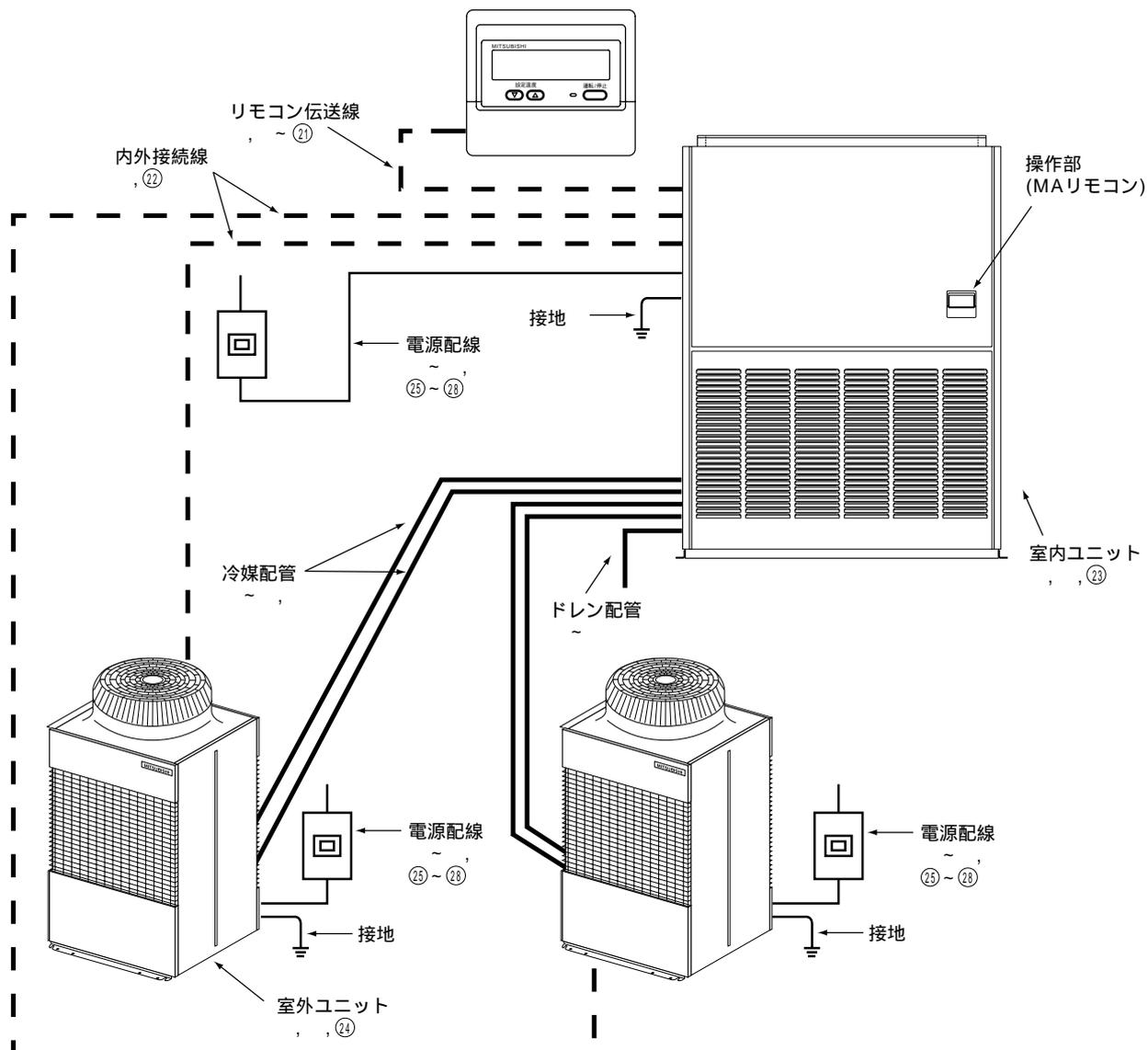
現 象	リモコン表示	原 因
リモコンに"HO"の表示がでる。	HO	初期自動運転(最大10分)を行っています。
運転SWをONにしても室外ユニットが運転しない。	通常表示	サーモ停止しています。
暖房運転中ファンが停止する。	通常表示	室外ユニットが除霜運転になった場合室内ファンは停止します。
運転停止してもファンが停止しない。	消 灯	補助電気ヒーター“ON”時は、停止後1分間余熱排除としてファンを運転します。(暖房時)

8.関連資料

(1)施工・システムセットのチェックポイント

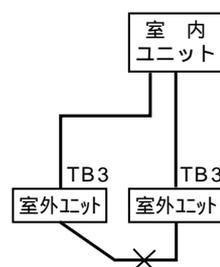
据付け後は、必ず確認してください。

(図はPFHK-P560AW-A形のシステム例を示しています。)



内外接続線 (22)

<誤配線例>



区分	部位	不良現象	チェック項目	掲載
据付・配管		冷えない・暖まらない・異常停止	室内ユニット、室外ユニットの組合わせはよいですか？	1
		水漏れ	室内ユニットは、水平に取付けられていますか？	—
		冷えない・暖まらない・異常停止	冷媒量は正しいですか？	197
		〃	冷媒配管長さは、制限内に納められていますか？	3
		〃	冷媒配管径は正しいですか？	3
		〃	冷媒配管接続部の冷媒漏れはありませんか？	—
		〃	室外ユニットの吹出し口付近に障害物はありませんか？	—
		冷媒配管結露による露たれ	冷媒配管の断熱は正しく行われていますか？	—
		ドレン水オーバーフロー	ドレン配管の勾配は正しくとられていますか？	—
		ドレン配管結露による露たれ	ドレン配管の断熱は正しく行われていますか？	—
	熱交換器腐食による冷媒ガス漏れ	ドレン配管の先端をイオウ系ガスの発生する下水溝などに入れていませんか？	—	
電源工事		運転しない	接続不良はありませんか？	4～8
		ブレーカーの誤動作	ブレーカー容量は適正ですか？	5,6
		漏電時の発火、感電	漏電遮断器は取付けられていますか？	4～6
		誤動作・感電	D種（第3種）接地工事が確実に行われていますか？	4～6
		異常停止・運転しない・異常発熱	配線の端子盤接続は、確実に行われていますか？	210-213
制御配線工事		運転しない (リモコン：6831, 6832, 6833, 6834)	リモコン伝送線の端子盤接続は確実に行われていますか？	214,215
		運転しない (リモコン：6840, 6841, 6842, 6843, 6844, 6846)	・内外接続線径は、規程のものを使っていますか？ ・内外接続線の端子盤接続は確実に行われていますか？	7,8
		多心ケーブルの使用により、異常停止	リモコン伝送線には、2心ケーブルを使っていますか？	7.8
		運転しない (リモコン：表示なし)	リモコン伝送線の端子板接続は、確実に行われていますか？	214,215
	㉑	異常停止、運転しない、誤動作 (リモコンへの露付)	リモコン線工事に電線管を使用した場合、パテによる防水処理をしてありますか？	—
各種設定	㉒	運転しないユニットが発生	内外接続線は、室内ユニットと全ての室外ユニットに個別配線されていますか？	—
	<グループ運転時>			
	㉓	・全室内ユニットのFANが同時起動する ・全室外ユニットの圧縮機が同時起動する	室内ユニットのアドレスは、正しく設定されていますか？（工場出荷時設定は「01」です。）	—
運転前・試運転	㉔	異常停止 (リモコン：1302又は1352又は1509)	室外ユニットのボールバルブは「開」になっていますか？	—
	㉕	運転しない (リモコン：6846)	室外ユニットの電源を入れた後、室内ユニットの電源を入れていますか？	—
	㉖	異常停止・圧縮機故障	運転12時間前に電源が投入されていますか？	—
	㉗	風量が少ない	電源配線が逆相になっていませんか？	—
	㉘	異常停止	電源配線が逆相になっていませんか？	—
	㉙	室外ファンが回らない、異常音がする、あるいは、逆転する。	電源配線が逆相になっていませんか？	—

(2)室内ユニットの分割搬入

PFAK-P450,560AW(M)-A形
 PFTK-P400,500AW(M)-A形
 PFAK-P530,670AW(M)-A-F形

室内ユニットの分割要領

室内ユニットは、ベースブロック、送風機ブロック、その他の部品に分割することが可能です。

分割の際は、ユニットを水平な場所に設置後実施してください。

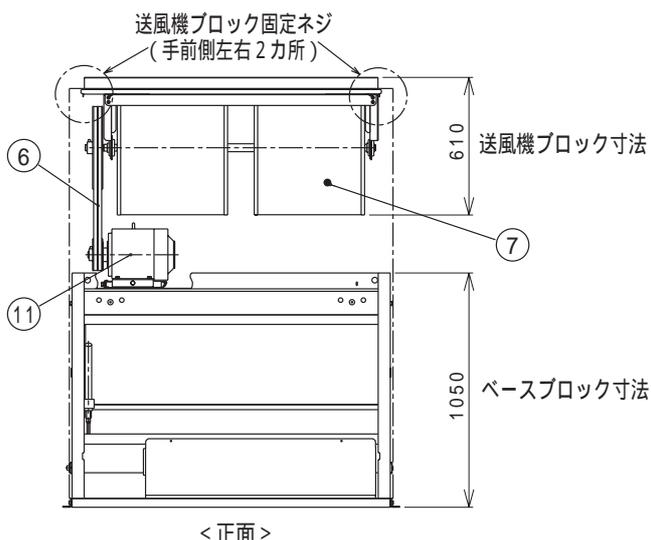
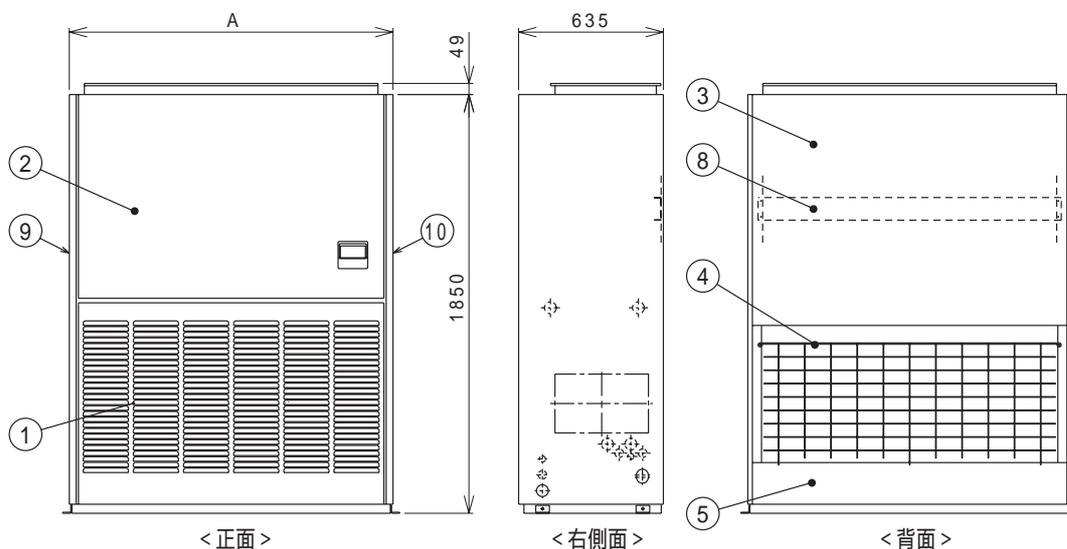
分割後のベースブロックの寸法は本図 印寸法になります。

ベースブロック質量

	質量(kg)
P400,P450,P530	100
P500,P560,P670	110

1. 分割は下図を参照し、下記手順にて実施ください。

- a. 外装パネル ~ を順に取外してください。
- b. モーター の固定ボルトを緩め、モーターをスライドさせてVベルト を取外してください。
- c. 図に示す位置の送風機ブロック固定ネジを外して、送風機ブロック を手前に引き出し、取外してください。
送風機ブロックの質量はP400,P450,P530形：70kg、P500,P560,P670形：80kgありますのでご注意ください。
- d. ハリ を取外してください。
- e. 左右サイドパネル を取外してください。
- f. モーター を取外してください。



	A
P400,P450,P530	1200
P500,P560,P670	1420

以上で分割完了です。搬入時に破損・キズが付かないように注意してください。

2. 再組立は、分割時と逆の手順で実施してください。
外した止メネジ、ボルトは、締め忘れ、締付不足のないように実施ください。
3. 試運転時の確認
試運転後、異常音、ビビリ音、水漏れの発生がないか確認ください。

PFAC - P630・800AW(M) - A形) 室内ユニットの分割要領
 PFAK - P600・750AW(M) - A形)

室内ユニットは本体から熱交換器ブロックを分割することが可能です。(ただし、ロウ付作業が必要です。)
 分割の際は、ユニットを水平な場所に設置後実施してください。

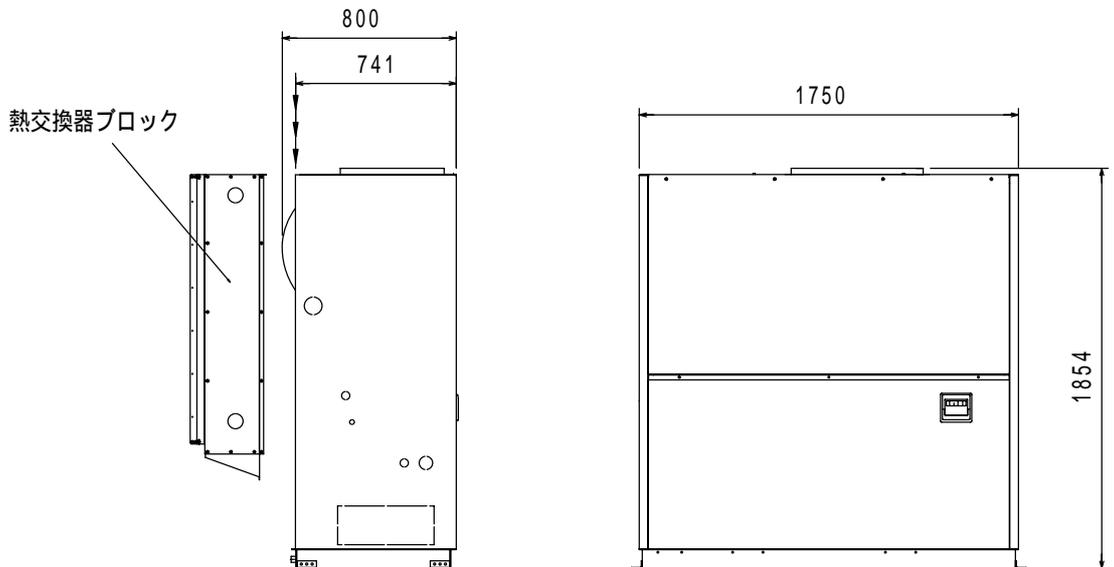
→→→ は分割面を示します。

分割後の本体寸法は、本図の 印寸法になります。

本体質量

	質量
PFAC - P630AW(M) - A PFTK - P600AW(M) - A	410
PFAC - P800AW(M) - A PFTK - P750AW(M) - A	425

熱交換器ブロックは、図のように一体化では分割できません。
 各部品毎にばらばらに外します。



1. 分割は次頁の図を参照に下記手順にて実施ください。

- a. 左右のフィルターサギイタ を外して(蝶ナット左右各2本)、フィルターを取外してください。
- b. 吸込フランジ、外装パネル を順に外してください。
- c. 現地配管接続部のチャージパイプを切断し、内圧を取除いた後、図に示す配管のロウ付を外し、サーミスターの配線を外してください。
 サルミスターは熱交換器の両側面に合計7本あります。
 ロウ付部作業は必ず無酸化ロウ付を行い配管内に異物、水分が混入しないようにしてください。
- d. 熱交換器 とドレンパンB を固定している止めネジを外し、熱交換器を取外してください。
- e. ドレンパンF のネジを外して少し上に持上げてドレンパンB を取外します。
- f. 支え板 (左右各1個)を取外します。

以上で分割完了です。搬入時に破損・キズが付かないように注意してください。

特に熱交換器移動の際は、フィン及び伝熱管の破損防止のため衝撃を与えないように注意してください。

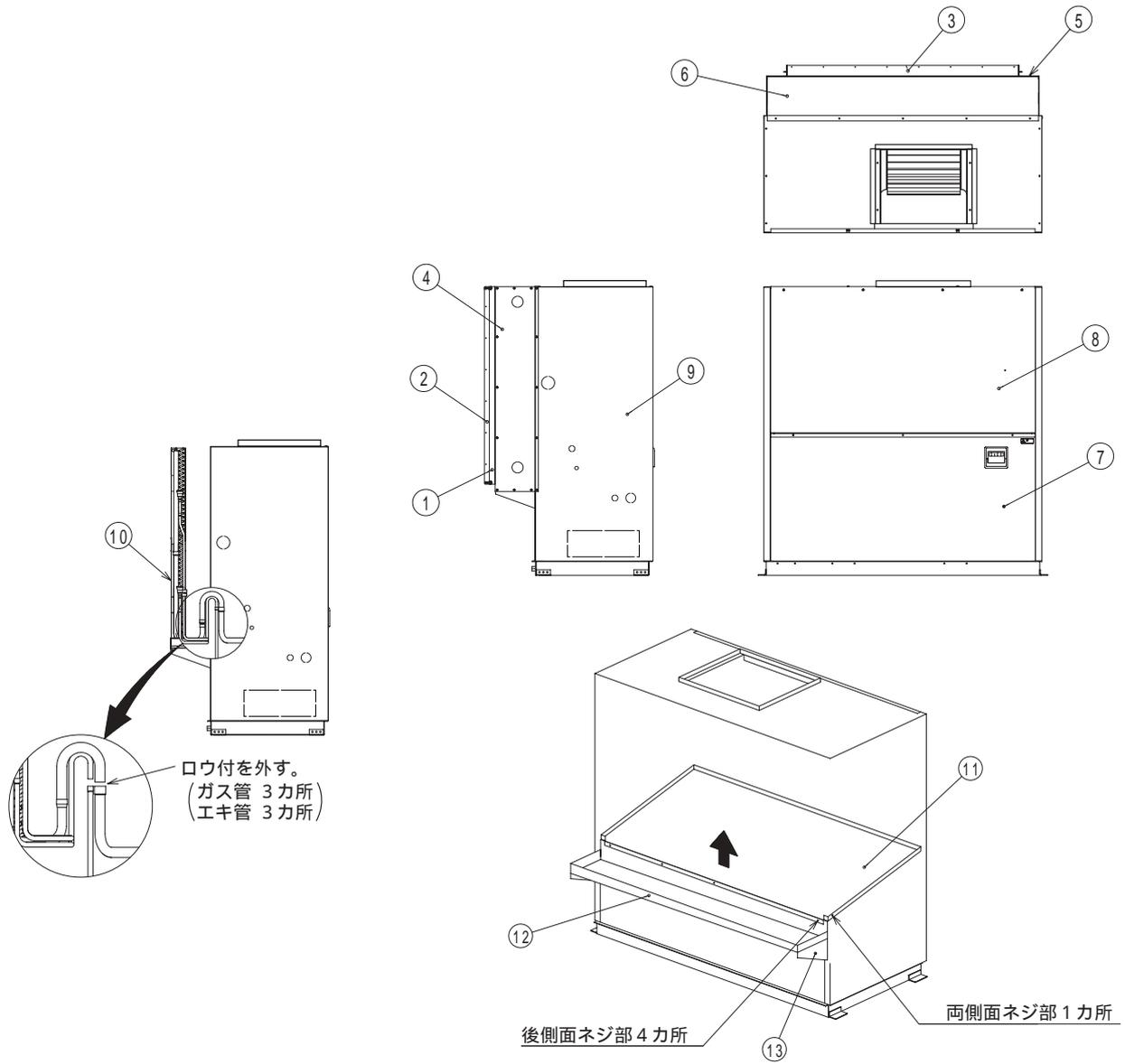
2. 再組立は、分割時と逆の手順で実施してください。

外した止メネジ、ボルトは、締忘れ、締付不足のないように確実に固定してください。

また、外したサルミスターは、所定の位置に戻し、配線を元通りに固定してください。

3. 試運転時の確認

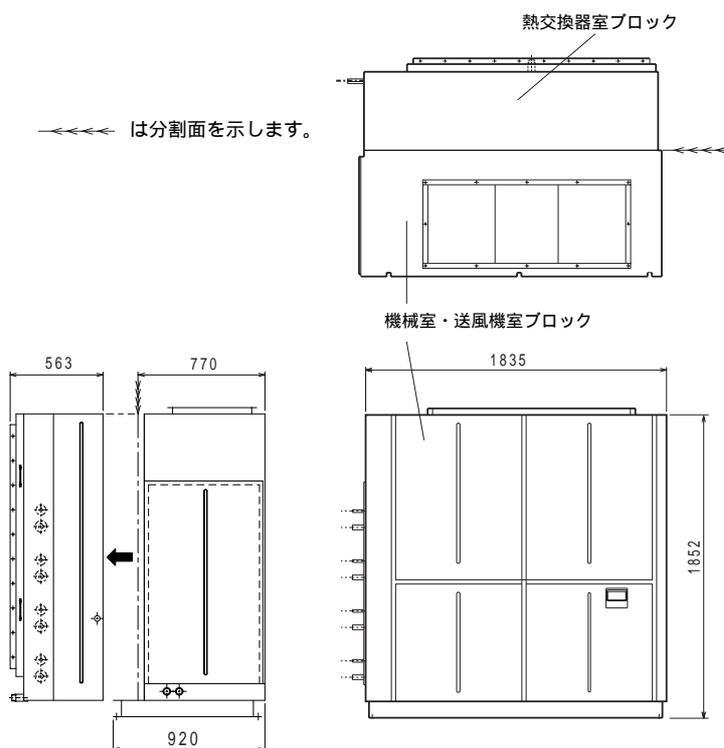
試運転後、異常音、ビビリ音、水漏れの発生がないか確認ください。



PFAC-P1120AW-A-L(R)形
PFAC-P1400AW-A-L(R)形) 室内ユニットの分割要領

室内ユニットは機械室・送風機室ブロックと熱交換器室ブロックに分割可能です。分割の際は、ユニットを水平な場所に設置後実施してください。

PFAC-P1120AW-A-Lの場合



製品質量

形名	質量(kg)
PFAC - P1120AW(M) - A - L,R PFTK - P1000AW(M) - A - L,R	600
PFAC - P1400AW(M) - A - L,R PFTK - P1250AW(M) - A - L,R	650

熱交換器室ブロック質量

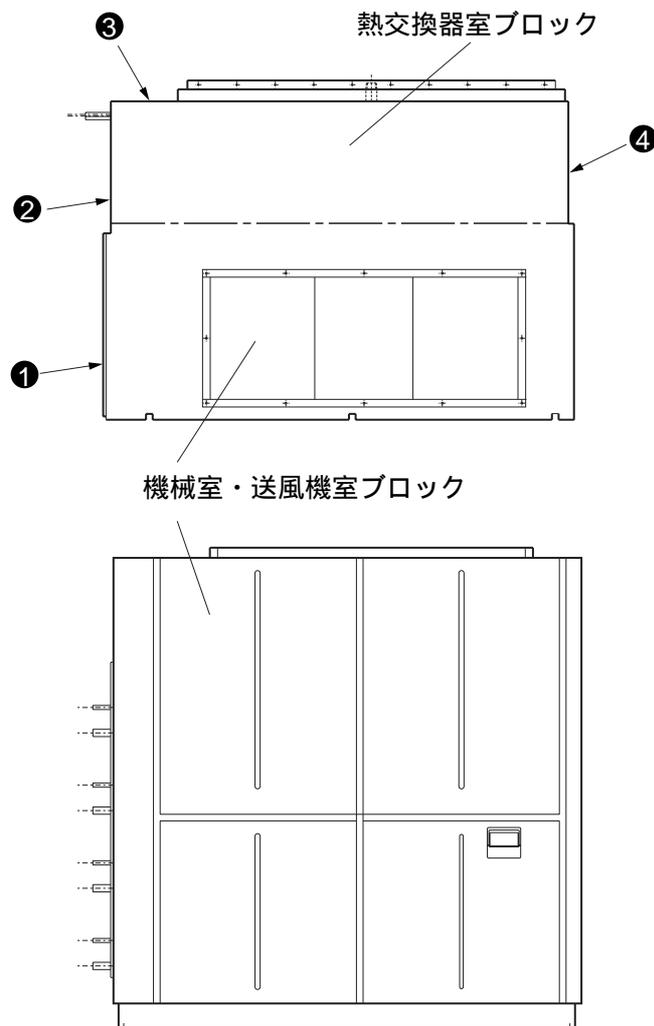
形名	質量(kg)
PFAC - P1120AW(M) - A - L,R PFTK - P1000AW(M) - A - L,R	180
PFAC - P1400AW(M) - A - L,R PFTK - P1250AW(M) - A - L,R	200

機械室・送風機室ブロック質量

形名	質量(kg)
PFAC - P1120AW(M) - A - L,R PFTK - P1000AW(M) - A - L,R	420
PFAC - P1400AW(M) - A - L,R PFTK - P1250AW(M) - A - L,R	450

分割後の本体（機械室・送風機室ブロック）の寸法は、本図 印寸法になります。
熱交換器室ブロックは図のように一体化では分割できません。
各部品毎にばらばらに外します。

分割は下記手順にて実施ください。
 外装パネル①～④を順に外してください。



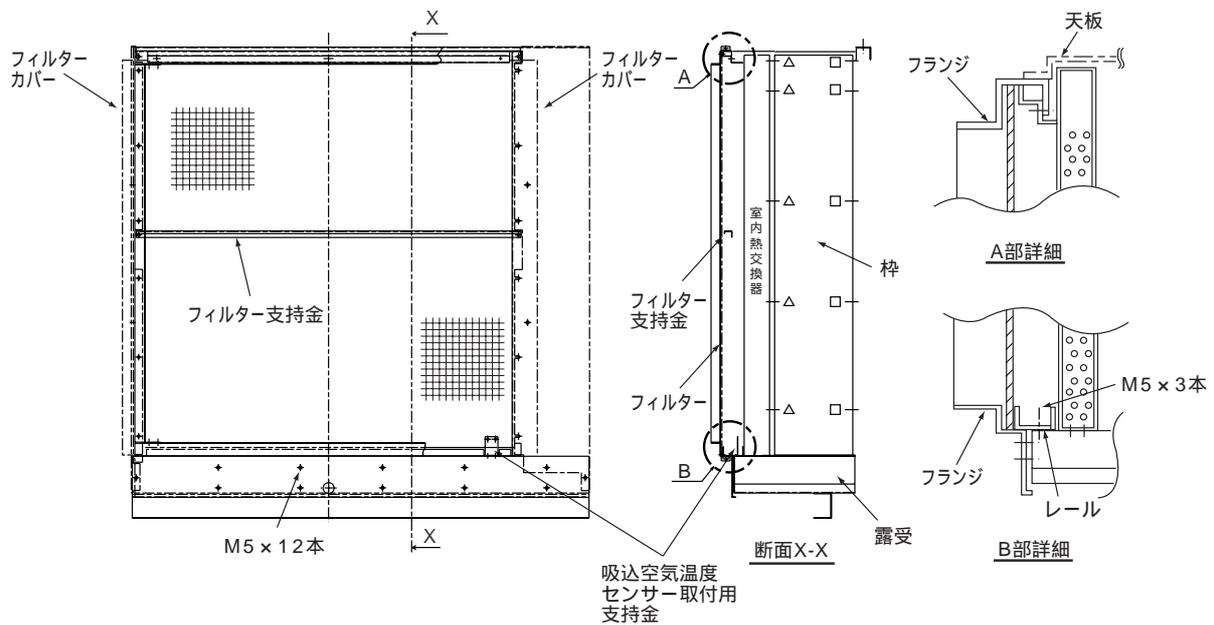
次の手順で熱交換器と露受けを取外してください。ユニット背面から見た図を次ページに示します。

- a. 左右のフィルターカバーを外して（蝶ボルト左右各4本）、フィルターを取外してください。
- b. 熱交換器下部にある吸込空気温度センサーの取付用支持金をセンサーを付けたまま外してください。
- c. ユニット下部の露受けとフランジを固定している止メネジ（M5×12本）を外して、フランジ全体をユニット本体から分離してください。また、露受けとレールを固定している止メネジ（M5×3本）を外して露受けから分離してください。
 フィルター支持金を外してください。
- d. 熱交換器に付属の配管温度センサーのリード線を、コネクター接続部で外してください。
 再取付時はセンサの番号を合わせて元通り接続してください。
- e. 露受けと熱交換器を固定しているボルト（M8×左右各2本 次ページ 印）を外してください。
 熱交換器と枠を固定している止メネジ（M5×左右各5本 次ページ 印）を外して、熱交換器を外してください。

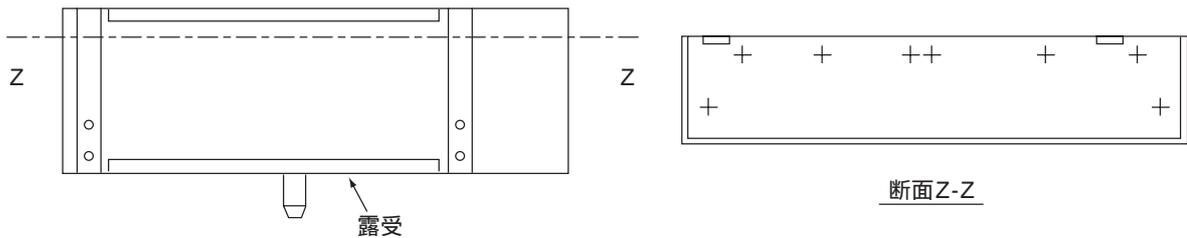
熱交換器のみの質量：P1120,P1000形 66kg
 P1400,P1250形 69kg

熱交換器を外すときには、フィン部を損傷ないように保護してください。また、熱交換器を吊る場合には熱交換器の左右側板上部の穴を利用してください。

- f. ユニット本体と枠を固定している止メネジ（M5×左右各5本 次ページ 印）を外して枠を分離してください。



熱交換器と枠を外した後の露受け部を上から見た図を下記に示します。
 露受けと本体を固定しているボルト（M8 x 2本 印）と止メネジ（M5 x 8本 印）を外して、露受けを分離してください。



以上で分割完了です。搬入時に破損・キズが付かないように注意してください。
 特に、熱交換器移動の際は、フィンおよび伝熱管の破損防止のため衝撃を与えないように注意してください。

再組立は、分割時と逆の手順で実施してください。
 外した止メネジ、ボルトは、締め忘れ、締め不足のないように実施ください。また、外したセンサーは、所定の位置に戻してください。

試運転時の確認

- ・試運転後、異常振動、ビビリ音、水漏れの発生がないか確認ください。

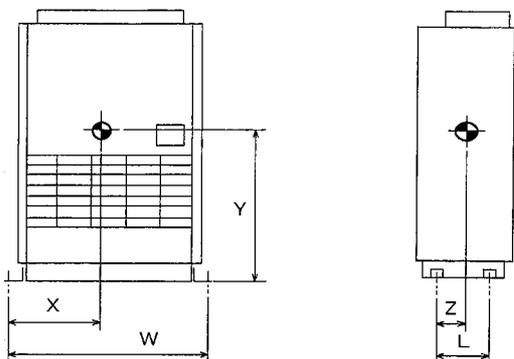
(3)ファン用ベアリング一覧表

対象機種	PFAK-P140・P224・P280AW(M)-A PFTK-P125・P200・P250AW(M)-A PFAK-P167・P265・P335AW(M)-A-F	PFAK-P450AW(M)-A PFTK-P400AW(M)-A PFAK-P530AW(M)-A-F
仕様	ユニット用玉軸受 <SBB204PIS5光洋精工>内径： 20	ユニット用玉軸受 <SBB205PIS5光洋精工>内径： 25
形状・寸法		
対象機種	PFAK-P560AW(M)-A PFTK-P500AW(M)-A PFAK-P670AW(M)-A-F	24・30馬力：PFAK-P630,800AW(M)-A・PFTK-P600,750AW(M)-A 40・50馬力：PFAK-P1120,1400AW(M)-A-L,R・PFTK-P1000,1250AW(M)-A-L,R
仕様	ユニット用玉軸受 <SBB206PIS5光洋精工>内径： 30	ボールベアリングピロー形ユニット <UCP209,309旭精工>内径： 45
形状・寸法		

	A	B	C	D	E
24,30馬力：UCP209	190	146	108	54	54
40,50馬力：UCP309	245	190	128	67	67

(4)重心位置

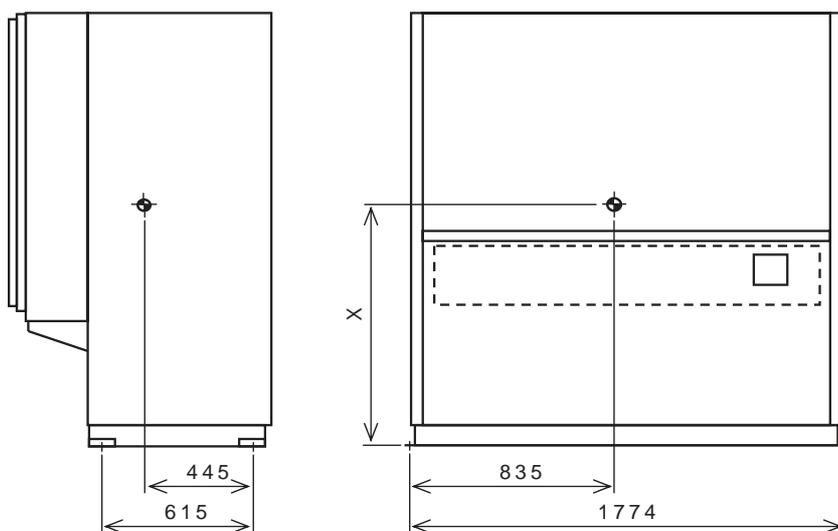
PFAK-P140～P560・P167～P670-F, PFTK-P125～P500形



室外ユニットの重心位置は、.5.耐震強度計算書を参照ください。

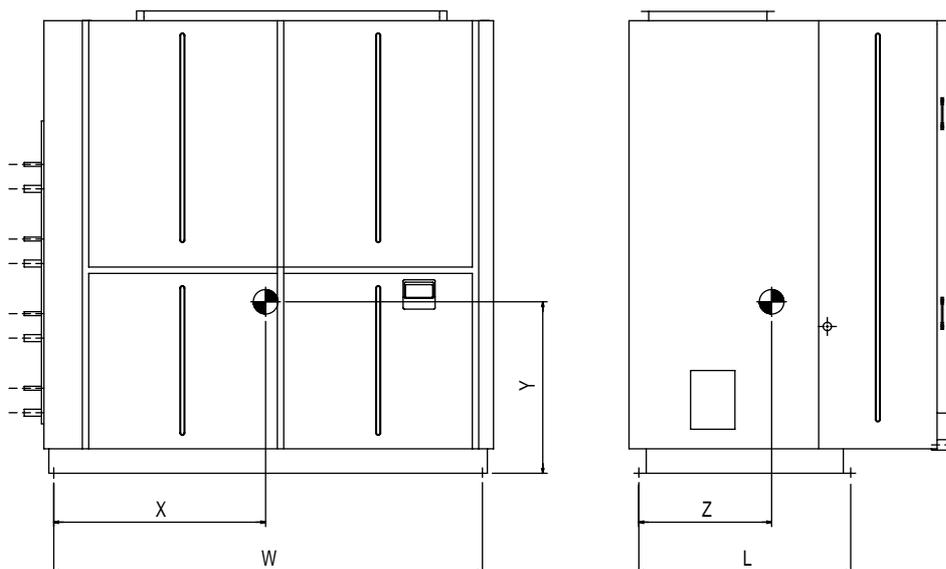
機種	W	L	X	Y	Z
PFAK-P140AW(M)-A PFTK-P125AW(M)-A	794	300	388	808	155
PFAK-P224AW(M)-A PFTK-P200AW(M)-A	1014	300	467	809	158
PFAK-P280AW(M)-A PFTK-P250AW(M)-A	1234	300	573	835	156
PFAK-P450AW(M)-A PFTK-P400AW(M)-A	1230	440	567	1017	225
PFAK-P560AW(M)-A PFTK-P500AW(M)-A	1450	440	647	1017	225
PFAK-P167AW(M)-A-F	794	300	388	799	159
PFAK-P265AW(M)-A-F	1014	300	467	798	163
PFAK-P335AW(M)-A-F	1234	300	573	825	161
PFAK-P530AW(M)-A-F	1230	440	567	1009	230
PFAK-P670AW(M)-A-F	1450	440	647	1008	231

PFAK-P630・P800, PFTK-P600・P750形



機種	X
PFAK-P630AW(M)-A	1010
PFTK-P600AW(M)-A	
PFAK-P800AW(M)-A	1020
PFTK-P750AW(M)-A	

PFAK-P1120・P1400, PFTK-P1000・P1250形

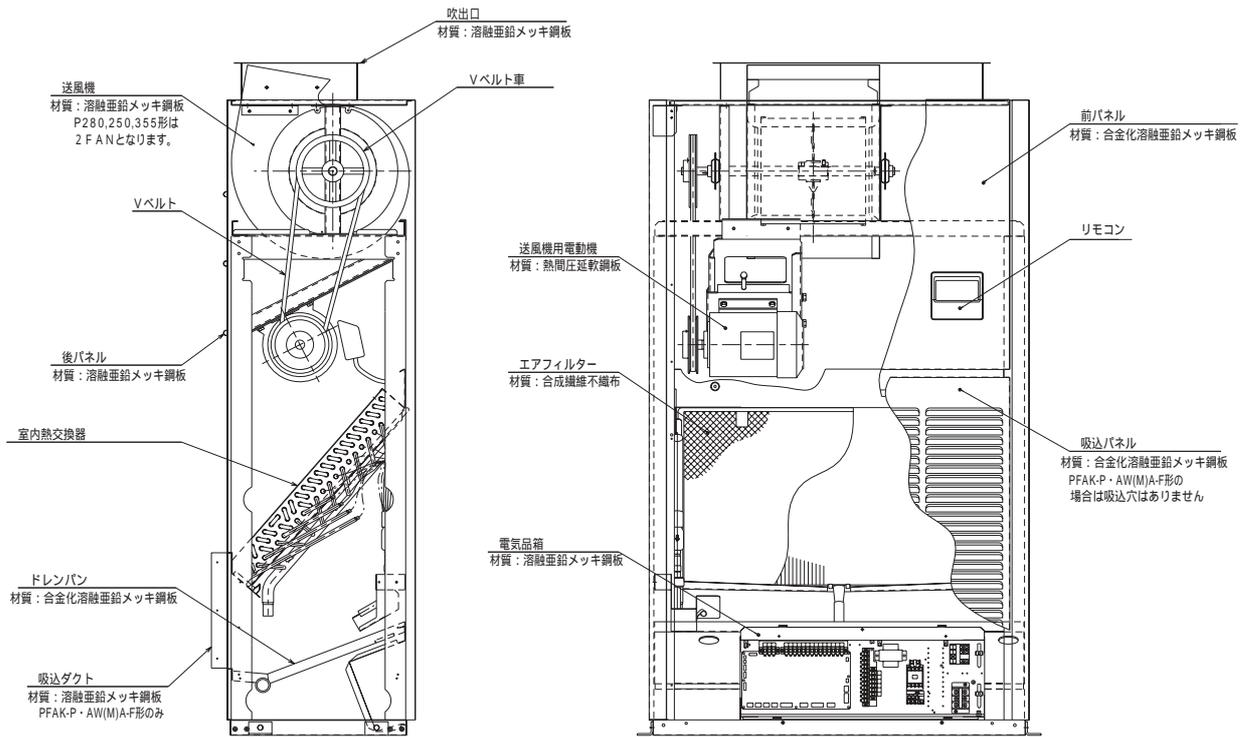


機種	W	L	X	Y	Z
PFAK-P1120AW(M)-A-L,R	1740	860	860	701	539
PFAK-P1400AW(M)-A-L,R	1740	860	845	754	533
PFTK-P1000AW(M)-A-L,R	1740	860	860	701	539
PFTK-P1250AW(M)-A-L,R	1740	860	845	754	533

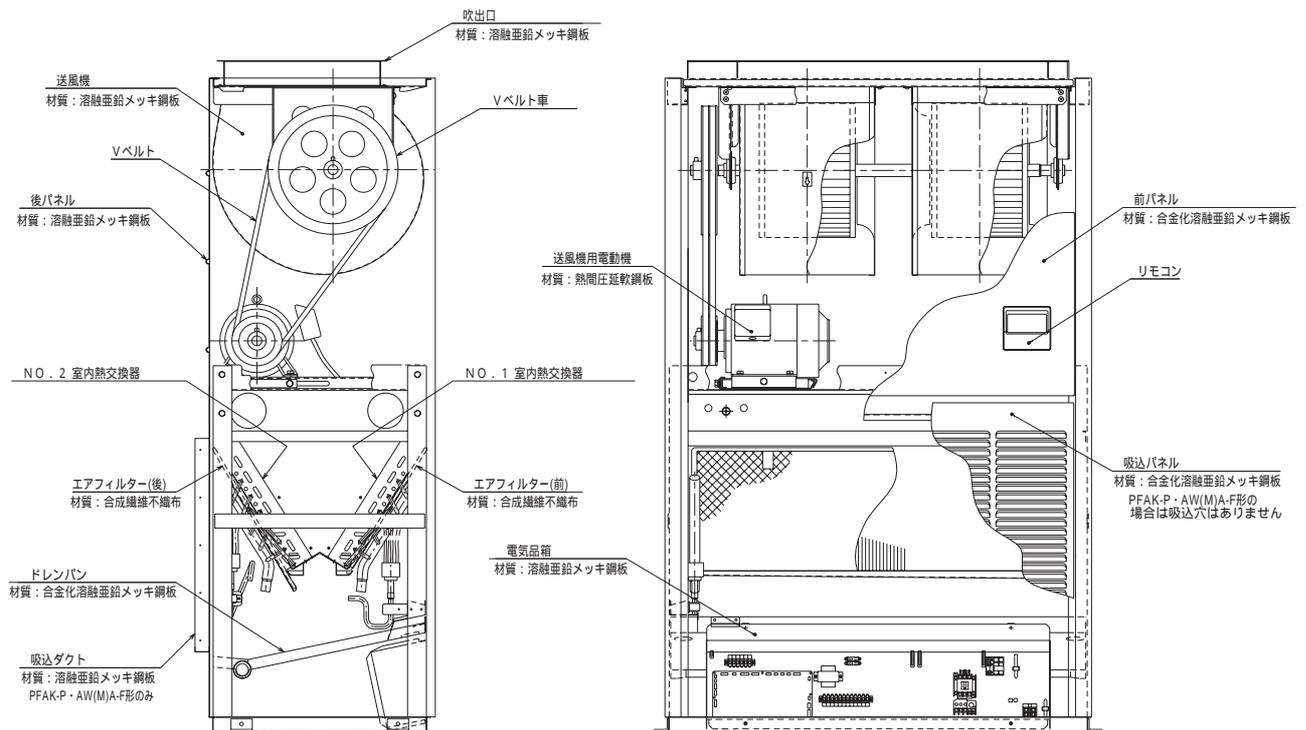
注：Rタイプ（右配管仕様）はX寸法が左右対称となります。

(5)内部構造図

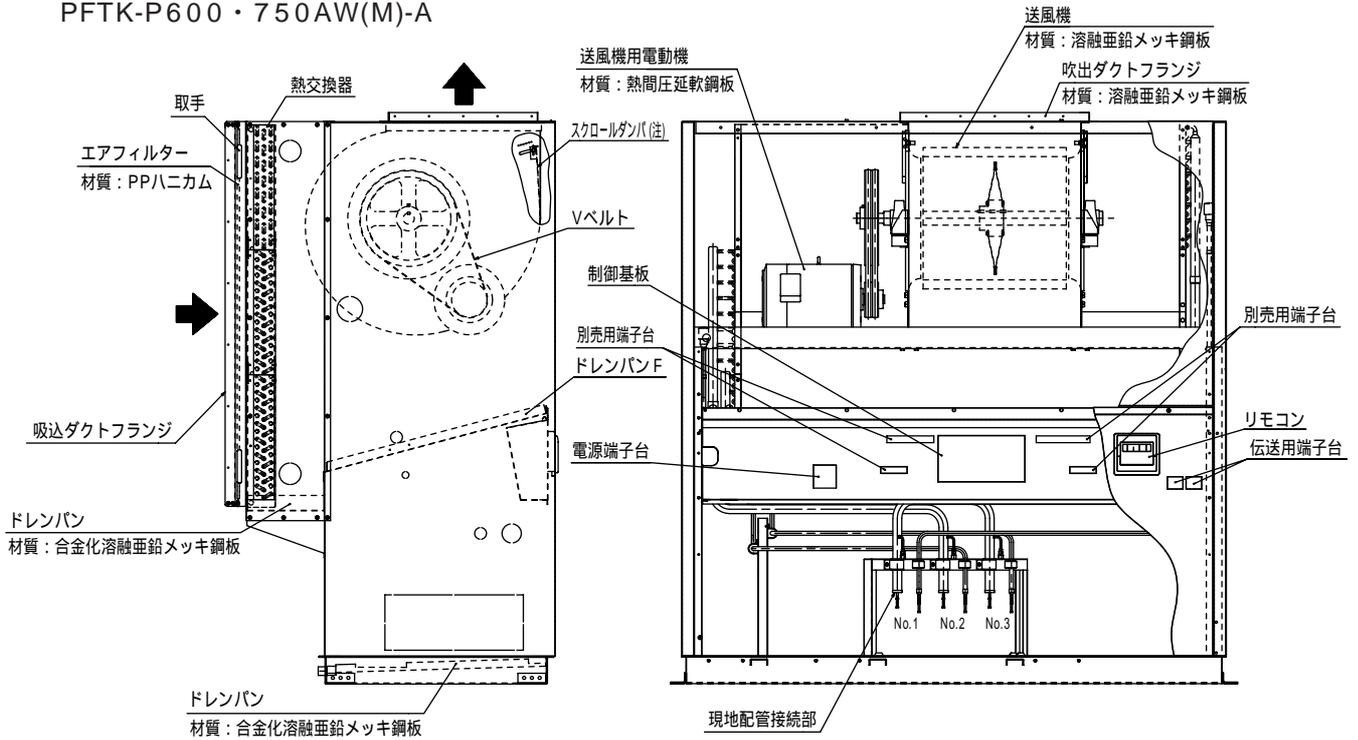
- PFAK-P140,224,280AW(M)-A形
PFTK-P125,200,250AW(M)-A形
PFAK-P167,265,355AW(M)-A-F形



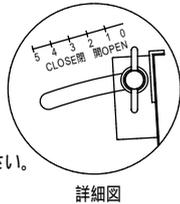
- PFAK-P450,560AW(M)-A形
PFTK-P400,500AW(M)-A形
PFAK-P530,670AW(M)-A-F形



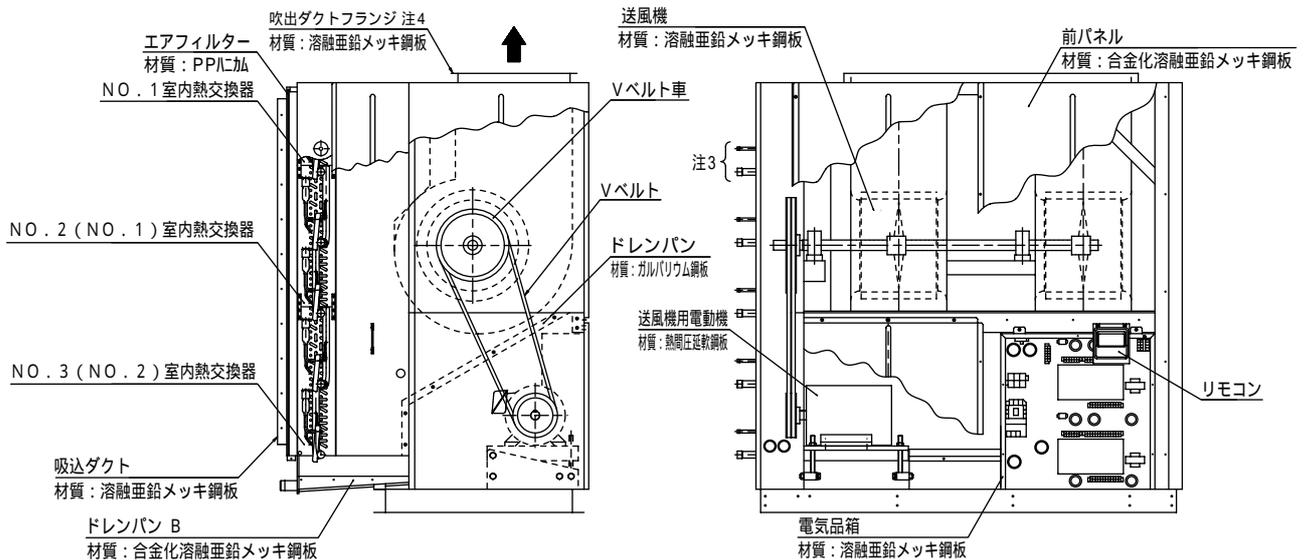
PFAK-P630・800AW(M)-A
PFTK-P600・750AW(M)-A



- 注1. スコールドガンバは出荷時目盛0(全開)にセットされています。(詳細図参照)
 注2. スコールドガンバの開度を調節することにより風量調節が可能です。
 注3. 静風圧部品選定表及び送風機性能線図を参考にガンバ開度を調節してください。



PFAK-P1120・P1400AW(M)-A-L.R
PFTK-P1000・P1250AW(M)-A-L.R

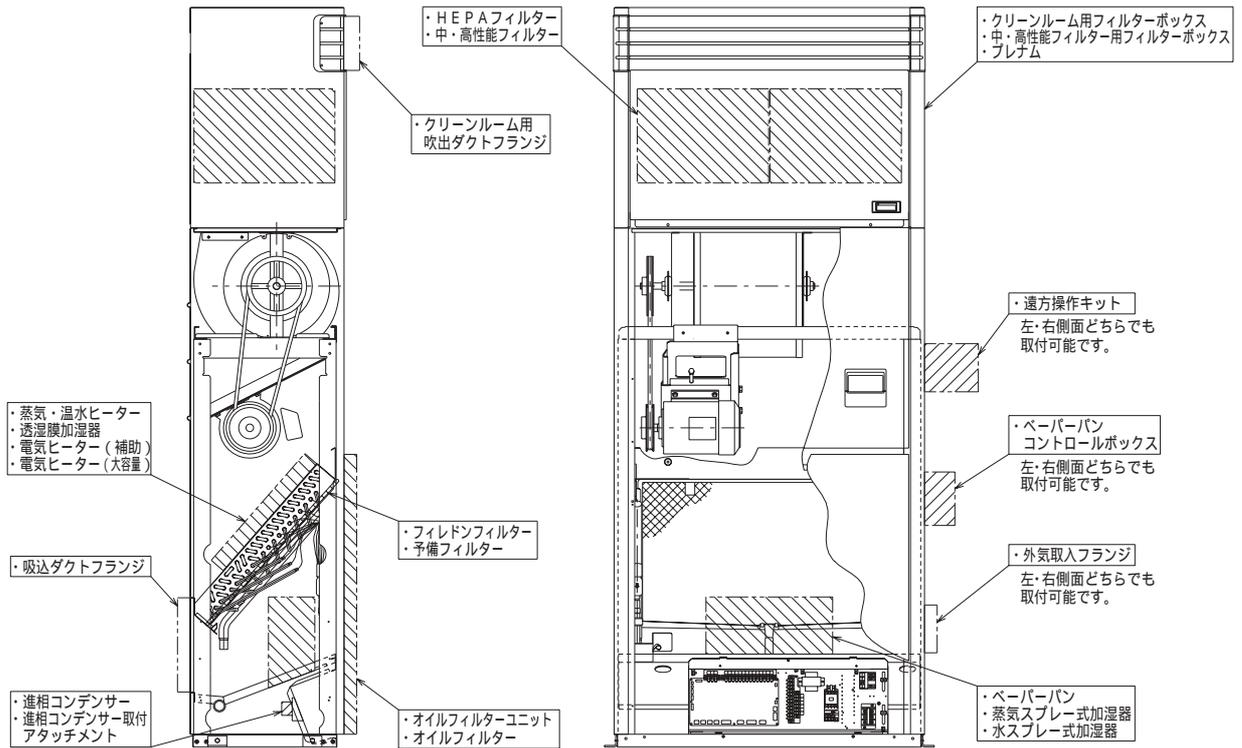


- 注1. 右配管(R)仕様は、部品の配置が本図と左右逆になります。
 注2. 本図はPFAK-P1400AW(M)-A-L、PFTK-P1000AW(M)-A-L形の場合を示します。
 注3. PFAK-P1120AW(M)-A-L、PFTK-P1250AW(M)-A-L形は4冷媒回路のため、本図最上段の配管はありません。
 注4. 出荷時、吹出ダクトフランジはユニット内に付属しています。

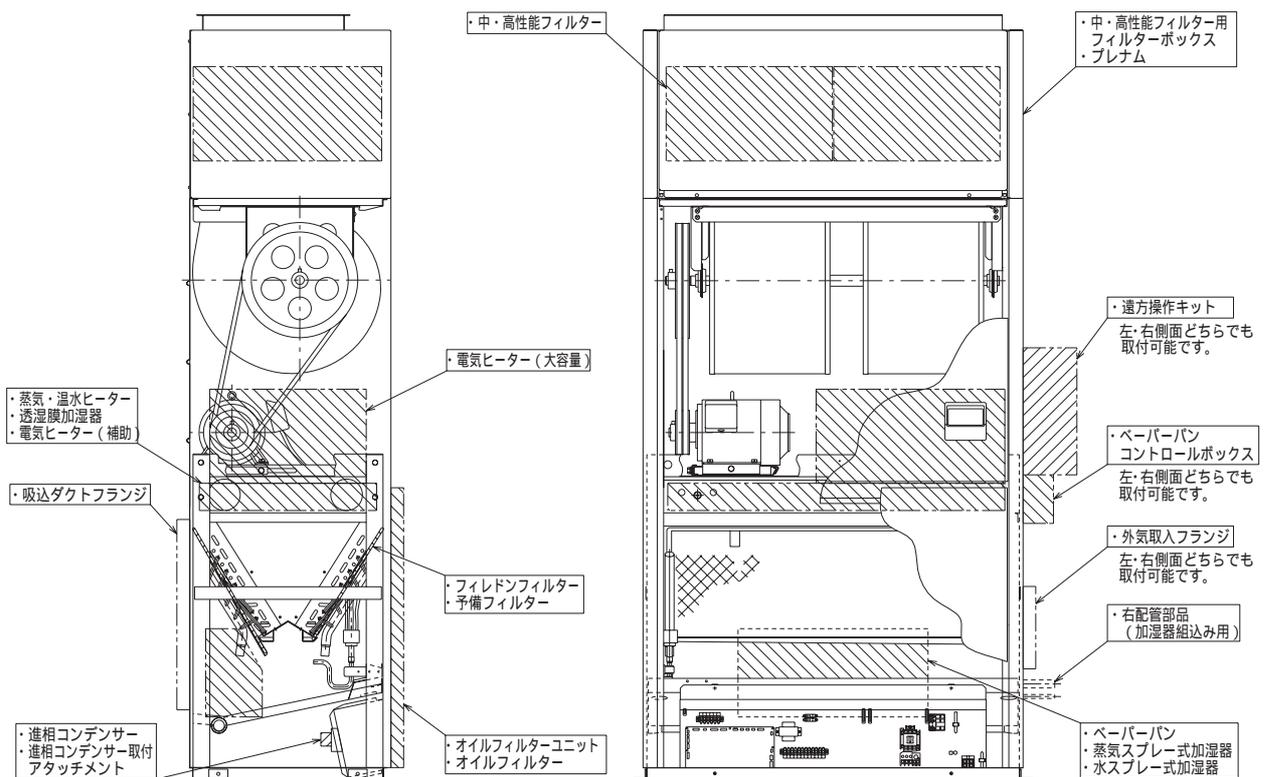
(6)別売部品組み込み配置図

機種によって組み込み可能な別売部品があります。P97の取付可能部品表を参照ください。

- PFAK-P140,224,280AW(M)-A形
PFTK-P125,200,250AW(M)-A形
PFAK-P167,265,355AW(M)-A-F形



- PFAK-P450,560AW(M)-A形
PFTK-P400,500AW(M)-A形
PFAK-P530,670AW(M)-A-F形



(7)電磁接触器余剰接点数

● 室内ユニット

	余剰接点 送風機用 < 52F >
PFAK-P140AW(M)-A PFTK-P125AW(M)-A PFAK-P167AW(M)-A-F	なし
PFAK-P224AW(M)-A PFTK-P200AW(M)-A PFAK-P265AW(M)-A-F	なし
PFAK-P280AW(M)-A PFTK-P250AW(M)-A PFAK-P335AW(M)-A-F	なし
PFAK-P450AW(M)-A PFTK-P400AW(M)-A PFAK-P530AW(M)-A-F	なし
PFAK-P560AW(M)-A PFTK-P500AW(M)-A PFAK-P670AW(M)-A-F	1b
PFAK-P630AW(M)-A PFAK-P800AW(M)-A PFTK-P600AW(M)-A PFTK-P750AW(M)-A PFAK-P1120AW(M)-A-L,R PFAK-P1400AW(M)-A-L,R PFTK-P1000AW(M)-A-L,R PFTK-P1250AW(M)-A-L,R	1a2b

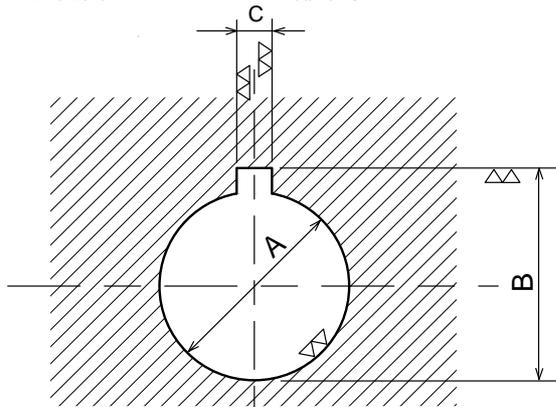
● 室外ユニット

	余剰接点 圧縮機用 < 52C >
PU(H)K-P140AW-A	2a2b
PU(H)K-P224(U)AW-A	2a2b
PU(H)K-P280(U)AW-A	2a2b

全形名ともA接点を1つ持っていますが、室内ユニット制御箱内端子台に、A接点取出し(未使用)をしています。

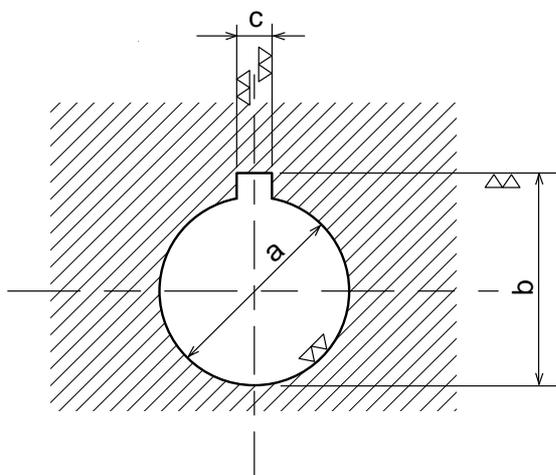
(8)プーリーボス部形状

● 電動機側プーリーボス部形状



電動機容量 \ 寸法	A	B	C
0.75kW	19 ^{+0.028} / _{+0.007}	21.8 ^{+0.1} / ₀	6 ^{±0.0150}
1.5kW	24 ^{+0.028} / _{+0.007}	27.3 ^{+0.2} / ₀	8 ^{±0.0180}
2.2kW	28 ^{+0.028} / _{+0.007}	31.3 ^{+0.2} / ₀	8 ^{±0.0180}
3.7kW	28 ^{+0.028} / _{+0.007}	31.3 ^{+0.2} / ₀	8 ^{±0.0180}
5.5kW	38 ^{+0.034} / _{+0.009}	41.3 ^{+0.2} / ₀	10 ^{±0.0180}
7.5kW	38 ^{+0.034} / _{+0.009}	41.3 ^{+0.2} / ₀	10 ^{±0.0180}
11kW	42 ^{+0.041} / _{+0.025}	45.3 ⁰ / _{-0.12}	12 ^{±0.0215}
15kW	42 ^{+0.041} / _{+0.025}	45.3 ⁰ / _{-0.12}	12 ^{±0.0215}

● 送風機プーリーボス部形状



軸径(mm) \ 寸法	a	b	c
20	20 ^{+0.028} / _{+0.007}	23.5 ^{+0.1} / ₀	7 ^{+0.028} / _{+0.013}
24	24 ^{+0.028} / _{+0.007}	27.5 ⁰ / _{-0.100}	7 ^{+0.076} / _{+0.040}
28	28 ^{+0.028} / _{+0.007}	31.5 ⁰ / _{-0.100}	7 ^{+0.076} / _{+0.040}
32	32 ^{+0.034} / _{+0.009}	36 ^{+0.2} / ₀	10 ^{+0.028} / _{+0.013}
42	42 ^{+0.041} / _{+0.025}	45.3 ⁰ / _{-0.12}	12 ^{±0.0215}

(9) 恒温恒湿回路例

改造については、現地責任でお願いします。
破線部分が現地改造になります。

外部サーモ使用時は、電源投入前に
DipSW1-6をONに変更してください。

ヒーターは必ずFANと連動させてください。
(51F作動時に強制的にFANをOFFしますので
ヒーターのみONにならないようにしてください。
また、51F作動時はマイコン制御により3分間
FANをOFFにしています)
BOX内端子台A2、L2よりFANに連動したレベル
信号を取出すことが可能です。(2.5A以下)

別売加湿器を組み込んだ場合、ユニット1次側の組込と
なるため、1次側で加湿 熱交換器で除湿となるため
加湿がのりません。
そのためユニット外へ別置で対応していただく
ことを推奨します。

製品本体記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	X01~X12	補助継電器(室内基板内)
51F	熱動過電流継電器	LD1	発光ダイオード(表示)
52F	補助継電器(送風機用)	LED2	発光ダイオード(リモコン給電)
TB2	電源端子台	TH1	サーミスター(吸込み空気温度)
TB15	MAリモコン用端子台	TH2-1	サーミスター(No.1 熱交換管温度)
I.B	室内制御基板	TH3-1	サーミスター(No.1 熱交二相管温度)
ZNR	バリスター	SW1(L.B)	スイッチ(機種設定)
CN24	コネクター(補助ヒーター)	SW2(L.B)	スイッチ(自己診断)
CN25	コネクター(加湿器)	SW3(L.B)	スイッチ(能力設定)
CN41	コネクター(HA)	SW4(L.B)	スイッチ(機能切換)
CNH1	コネクター(暖房ヒーター1)	SW11(L.B)	スイッチ(アドレス設定用10の位)
CNH2	コネクター(暖房ヒーター2)	SW12(L.B)	スイッチ(アドレス設定用10の位)
CNIT	コネクター(51F)	R.B	リモコン基板
CNFAN	コネクター(52F)	CN	コネクター(別売:スケジュールタイマー)
CN2L	コネクター(ロスナイ)	TB6	端子台(室内ユニット接続)
T	トランス	LCD	液晶表示器
F1,F2	ヒューズ	DSA	アレスター
E	アース端子		

使用部品記号説明

記号	名称
26H	過昇防止サーモ
88H1,88H2	電磁接触器(ヒーター用)
23H1,23H2	温度調節器
23HS1	湿度調節器(加湿用)
23HS2	湿度調節器(減湿用)
23WA	温度調節器
MT	限時継電器(余熱排除用1分)
X	補助継電器

